

2025 中野区 区民意識・実態調査
《報告書》

2026年（令和8年）1月

中野区

はじめに

すでに、我が国は、人口減少・超高齢社会に突入しており、円安や人件費上昇による物価高騰に直面し、また、気候変動による生命に危険を及ぼすレベルの猛暑なども発生しています。こうした人口構造や環境の変化は、地域経済や中野区の財政、地域コミュニティの活力に深刻な影響を与えており、区民の皆さんが安心して生活できる環境を取り戻すため、区民生活に軸を置いた対策をスピーディに行っていく必要があります。

また、今年、中野区基本構想で描くまちの実現に向けて、今後5年間の区の方向性を示す新たな中野区基本計画の策定の年です。子育て先進区の実現、地域包括ケア体制の実現、活力ある持続可能なまちの実現に向けて着実に取り組んでいきます。

基本計画に定める政策・施策を実現するためには、区民の生活に関する実態や意識をさまざまな観点から調査し、区民のニーズを的確に把握するとともに、十分な分析を行うことが必要です。

「中野区区民意識・実態調査」は、その結果を公開し幅広い分野で活用していただくとともに、区の施策や事業を適切に実施していくための基礎資料とすることを目的に実施しており、特に「基本構想に掲げる「つながる はじまる なかの」、「人と人がつながり、新たな活力が生み出されるまち」の実現に向けた検討資料として、活用していきたいと思っております。

今年度も、「定住意向」「生活環境」「施策への要望」など経年調査事項のほか、「社会や地域との関わり」「中野駅周辺」「環境に関する理解・関心」「中野区のまちの姿」など区が重点的に取り組む施策に関連する事項を調査しました。

調査結果は、施策、事業の基礎資料とするだけでなく、中野区政の成果を図る指標とするなど、区政運営のさまざまな場面で活用してまいります。区民や事業者の皆さまにも参考としていただければ幸いです。

最後になりましたが、今回の調査の実施にあたり、ご協力いただきました区民並びに関係者の皆さまに心から御礼申し上げます。

2026年(令和8年)1月

中野区長 酒井 直人

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	3
2	調査の内容	3
3	調査の設計	4
4	回収結果	4
5	報告書の見方	4
II	回答者の属性	5
III	質問と回答	11
IV	結果と分析	40
1	定住意向について	42
(1)	居住年数	42
(2)	住みやすさの評価	45
(3)	定住・転出意向	48
(4)	定住理由	51
(5)	転出理由	54
(6)	転居予定先	56
2	生活環境について	57
3	中野区への愛着度、中野区の魅力について	60
(1)	中野区への愛着度	60
(2)	中野区の街の魅力（ブランドイメージ）	63
4	区政情報の入手、区政参加について	66
(1)	区政情報の入手	66
(2)	東京都議会議員選挙・参議院議員選挙	69
5	文化芸術活動について	72
(1)	芸術や文化の鑑賞、文化イベントへの興味・関心	72
(2)	中野区の文化的環境への満足度	75
(3)	過去1年間で行った文化芸術活動	78
(4)	中野区からの文化芸術活動における情報発信	81
(5)	子どもの文化・芸術の鑑賞、体験機会	84
6	健康増進のための運動習慣について	87
7	多文化共生について	90
(1)	地域に暮らす外国人と交流する機会の有無	90
(2)	外国人が住みやすいまちづくりのために力を入れるべきこと	93
(3)	外国人の生活に対するイメージ	96
(4)	「やさしい日本語」の認知度	99
8	社会や地域との関わりについて	102
(1)	最近1年間に参加した地域活動	102
(2)	今後参加したい地域活動	105

(3) 趣味・文化・芸術活動の発表の場.....	108
(4) 他団体と交流.....	109
(5) 町会・自治会・ボランティア活動への不参加理由.....	110
9 生涯学習について	112
10 区立施設の貸出利用について	115
(1) 区立施設の貸出利用〔①文化・スポーツ施設等（施設予約システム導入施設）〕 ...	115
(2) 区立施設の利便性〔①文化・スポーツ施設等（施設予約システム導入施設）〕 ...	118
(3) 貸出利用の便利な点〔①文化・スポーツ施設等（施設予約システム導入施設）〕 ...	120
(4) 貸出利用の不便な点〔①文化・スポーツ施設等（施設予約システム導入施設）〕 ...	122
(5) 区立施設の貸出利用〔②区民活動センター集会室等（施設予約システム未導入施設）〕	123
(6) 区立施設の利便性〔②区民活動センター集会室等（施設予約システム未導入施設）〕	126
(7) 貸出利用の便利な点〔②区民活動センター集会室等（施設予約システム未導入施設）〕	128
(8) 貸出利用の不便な点〔②区民活動センター集会室等（施設予約システム未導入施設）〕	129
11 自転車利用について	130
(1) 自転車の利用頻度.....	130
(2) 持っている自転車.....	133
(3) 自転車を利用する理由.....	136
(4) 自転車を利用する主目的.....	139
(5) 片道の所要時間.....	142
(6) 乗り換える交通機関.....	145
(7) 自転車用ヘルメットの着用.....	148
(8) 自転車賠償責任保険等への加入.....	151
(9) 不便な点	154
12 中野駅周辺について	157
(1) 中野駅周辺に行く頻度.....	157
(2) 中野駅周辺に行く目的.....	160
(3) 中野駅周辺に行く際の交通手段.....	163
(4) 中野駅周辺利用時の不満.....	166
(5) 中野駅周辺利用時の不満の内容.....	169
13 中野駅周辺以外の鉄道駅（駅周辺）について	172
(1) 最も利用する鉄道駅（駅周辺）	172
(2) 鉄道駅（駅周辺）に行く目的.....	175
(3) 鉄道駅（駅周辺）に行く際の交通手段.....	178
(4) 鉄道駅（駅周辺）利用時の不満の有無.....	181
(5) 鉄道駅（駅周辺）利用時の不満の内容.....	184

1 4	商店街について	186
1 5	公園・広場等の利用について	189
	（1）区内の公園・広場の利用頻度	189
	（2）区内の公園・広場の満足度	192
	（3）区内の公園・広場の不満の理由	195
1 6	区のサービスの電子化について	197
1 7	地震災害への対策について	200
	（1）家庭での備え	200
	（2）食料の備蓄量	204
	（3）飲料水の備蓄量	205
	（4）地域で頼れる人の有無と属性	206
1 8	環境に関する理解・関心について	209
	（1）環境問題対策の重要度	209
	（2）ゼロカーボンに必要な対策	212
	（3）「気候変動への適応策」の認知度	215
	（4）健康への影響・災害による被害を防ぐために、普段の生活の中で取り組んでいること	218
	（5）取り組んでいる環境に配慮した行動	221
	（6）知っている（参加したことがある）環境事業	224
1 9	人権・男女共同参画について	227
	（1）「中野区人権及び多様性を尊重するまちづくり条例」の認知度	227
	（2）人権侵害に関する相談体制の認知度	230
	（3）男女の地位の平等感	233
	① 家庭生活における男女の地位	235
	② 職場における男女の地位	236
	③ 学校教育の場における男女の地位	237
	④ 社会全体における男女の地位	238
	（4）男女共同参画関連用語の認知度	239
	① 男女共同参画社会	241
	② 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）	242
	③ DV（ドメスティック・バイオレンス）	243
	④ デートDV	244
2 0	ユニバーサルデザインについて	245
	（1）「ユニバーサルデザイン」の認知度	245
	（2）「心のバリアフリー」の認知度	248
	（3）普段の生活で感じる不便	251
2 1	パートナーシップ宣誓について	253
2 2	子どもの権利について	256
	（1）「中野区子どもの権利に関する条例」の認知度	256

(2) 子どもの権利.....	259
23 次世代に渡る定住意向について	262
24 基本構想について	265
25 中野区のまちの姿について	268
26 SDGsについて	281
27 施策への評価・要望について	284
(1) 区の施策への評価.....	284
(2) 区の施策への要望.....	287
(3) 行政サービスの満足度.....	291

I 調査の概要

1 調査の目的

広く区民を対象として、定住意向といった経年調査事項のほか、テーマ別調査を継続的に行うことにより、その時点での区民の行動や意識から区民のニーズを把握するとともに、その変遷をとらえ、施策立案のための統計的・基礎資料とする。

2 調査の内容

- (1) 定住意向について
- (2) 生活環境について
- (3) 中野区への愛着度、中野区の魅力について
- (4) 区政情報の入手、区政参加について
- (5) 文化芸術活動について
- (6) 健康増進のための運動習慣について
- (7) 多文化共生について
- (8) 社会や地域との関わりについて
- (9) 生涯学習について
- (10) 区立施設の貸出利用について
- (11) 自転車について
- (12) 中野駅周辺について
- (13) 中野駅周辺以外の鉄道駅（駅周辺）について
- (14) 商店街について
- (15) 公園・広場等の利用について
- (16) 区のサービスの電子化について
- (17) 地震災害への対策について
- (18) 環境に関する理解・関心について
- (19) 人権・男女共同参画について
- (20) ユニバーサルデザインについて
- (21) パートナーシップ宣誓について
- (22) 子どもの権利について
- (23) 次世代に渡る定住意向について
- (24) 基本構想について
- (25) 中野区のまちの姿について
- (26) SDGsについて
- (27) 施策への評価・要望について

3 調査の設計

- (1) 対象地域 中野区全域
- (2) 調査対象 18歳以上の中野区民
- (3) 標本数 2,000人
- (4) 抽出方法 無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送配布・郵送回収・インターネット回答併用
- (6) 調査期間 令和7年8月26日(火)～令和7年9月19日(金)
- (7) 調査機関 株式会社名豊

4 回収結果

- (1) 有効回収数 1,105人(55.3%)

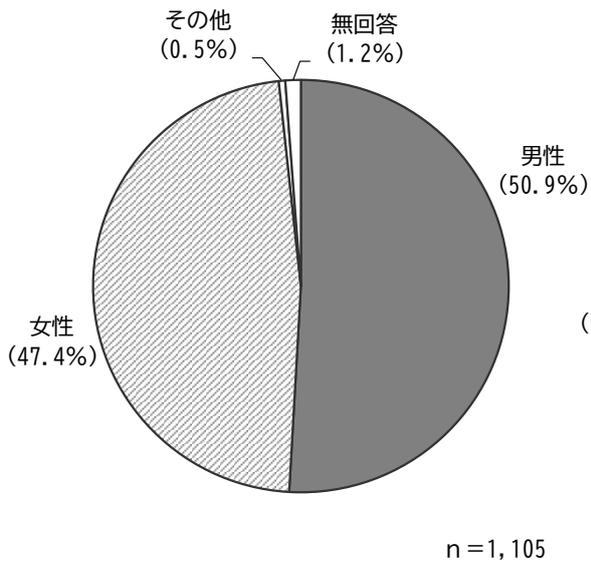
5 報告書の見方

- (1) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって単数回答の設問については、すべての選択肢の合計が100.0%に満たない、または上回る場合がある。また、小計の比率も同様に各選択肢の比率の合計に満たない、または上回る場合がある。
- (2) 複数回答の設問については、すべての選択肢の比率の合計が、通常100.0%を超える。
- (3) 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は場合によっては語句を簡略化してある。
- (4) 集計は、すべて単純集計、必要に応じて属性別クロス集計を行った。また、分析の必要に応じて設問間クロス集計を行った。
- (5) 分析軸に使用した属性項目は、無回答を除いてあるため、各属性の件数の合計が全体件数と一致しないことがある。また、設問間クロス集計についても、視点の明確化を図るため、必要選択肢にのみしぼって使用している場合があるため同様となっている。
- (6) グラフに表記されている「n=*」(*は数字)は、集計対象の母数を表している。
- (7) 表中の網掛けは、全体の数値よりプラスマイナス5ポイント以上の差がある場合に表示しており、プラスは(濃い)白抜き文字、マイナスは(薄い)黒文字としている。
- (8) クロス集計において、回答対象者の属性毎のサンプル数が30を下回る場合は、参考値とみなし該当属性に対するコメントは控え、比較対象としない。
- (9) 文中の割合の表記は、下記のとおりである。

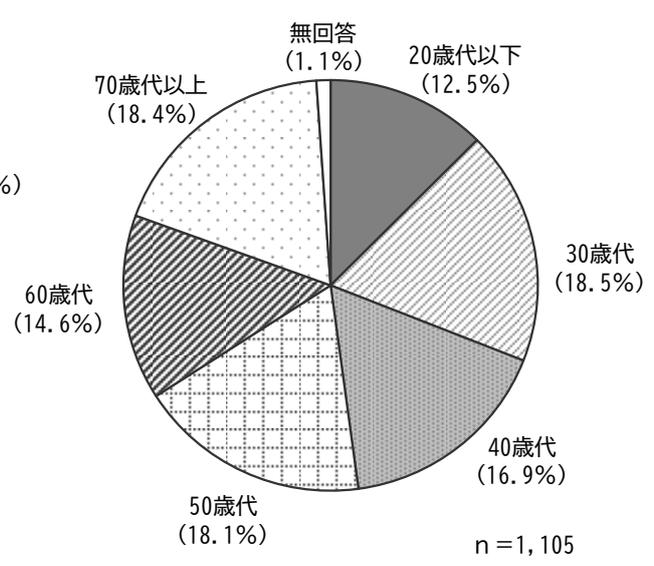
表記	約4割 (4割)	4割前半	4割半ば	4割後半	約5割 (5割)
範囲	39.0～41.9% (40.0%)	42.0～43.9%	44.0～46.9%	47.0～48.9%	49.0～51.9% (50.0%)

II 回答者の属性

F 1 性別



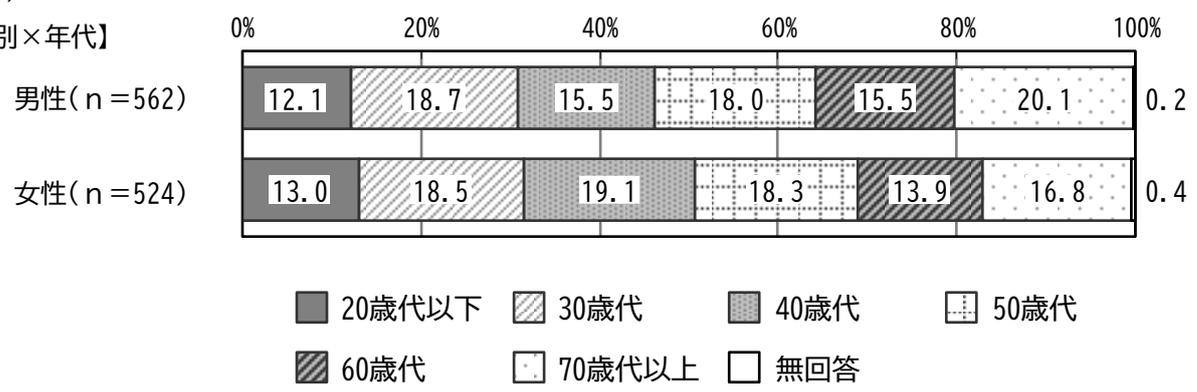
F 2 年代



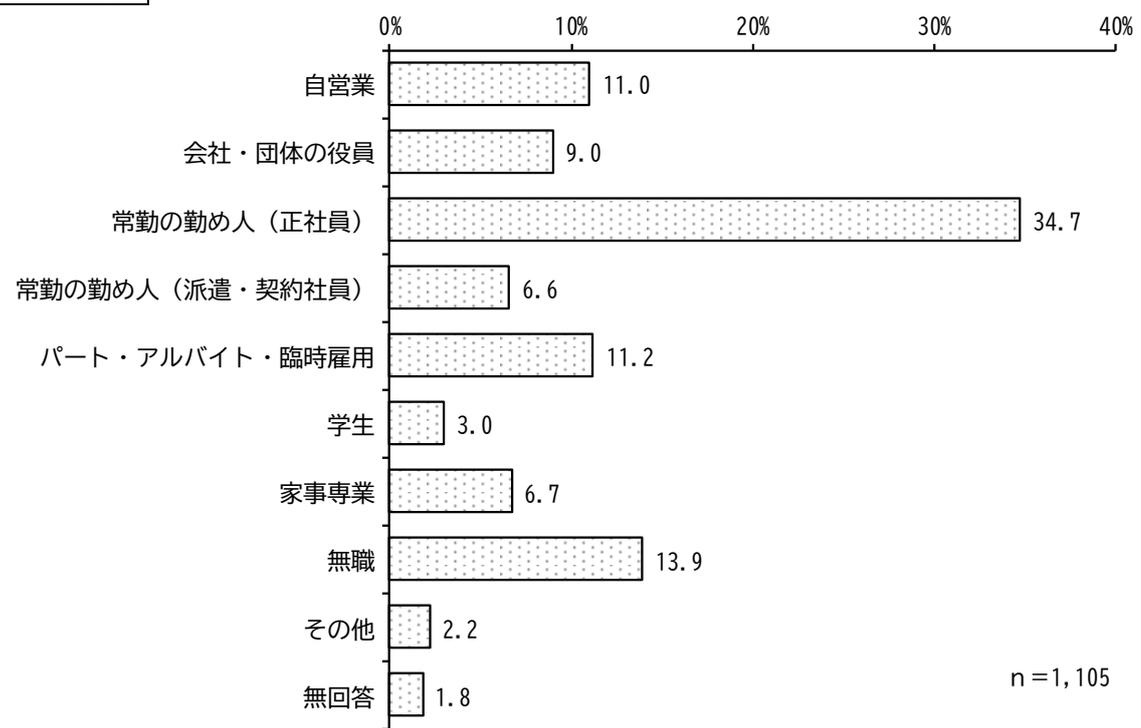
性・年代別

n=1,105

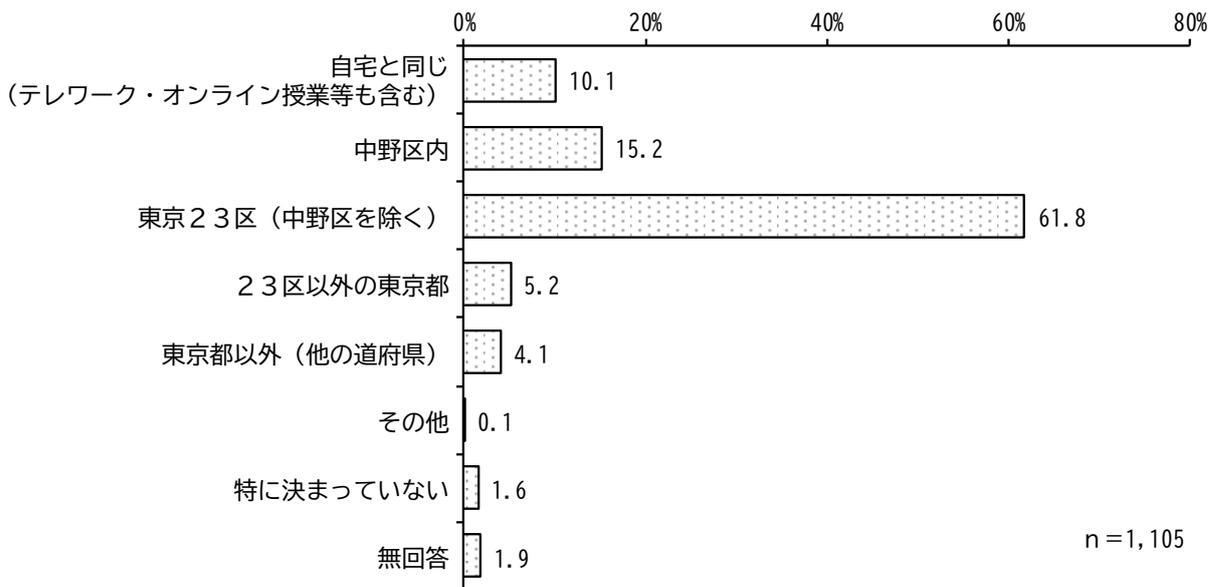
【性別×年代】



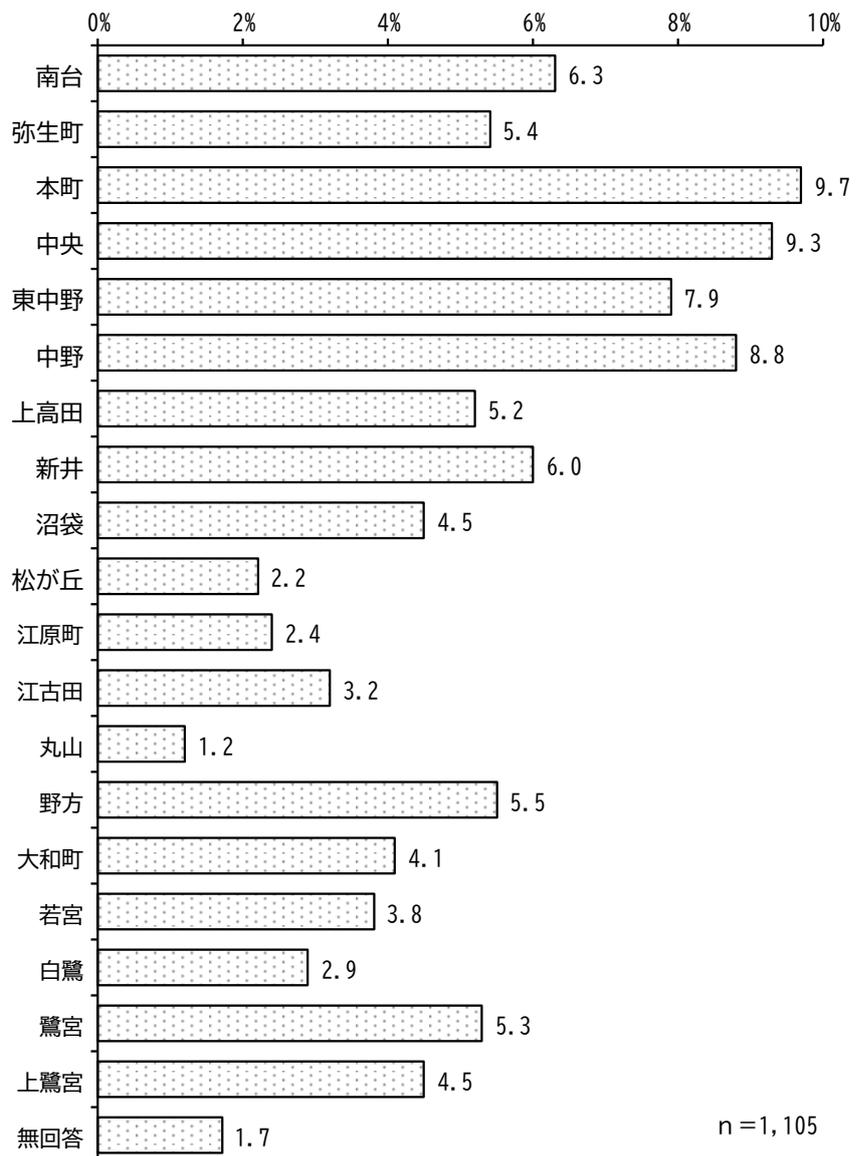
F 3 職業



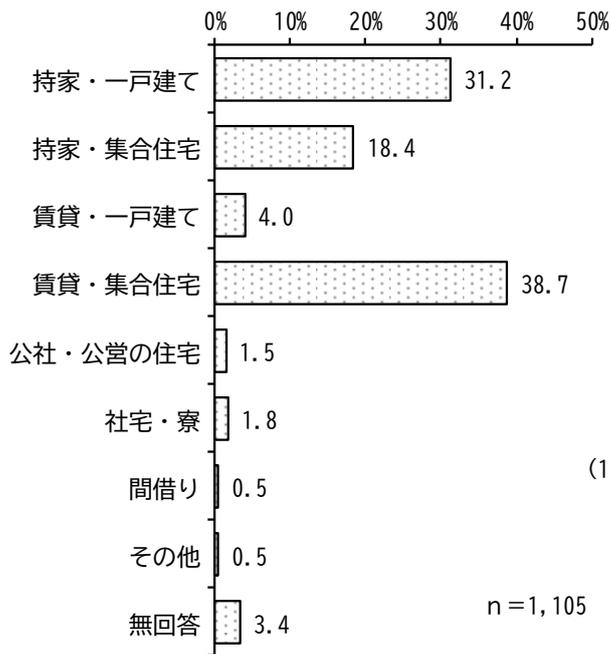
F 3 - 1 勤務・通学先（ベース：勤労者、学生）



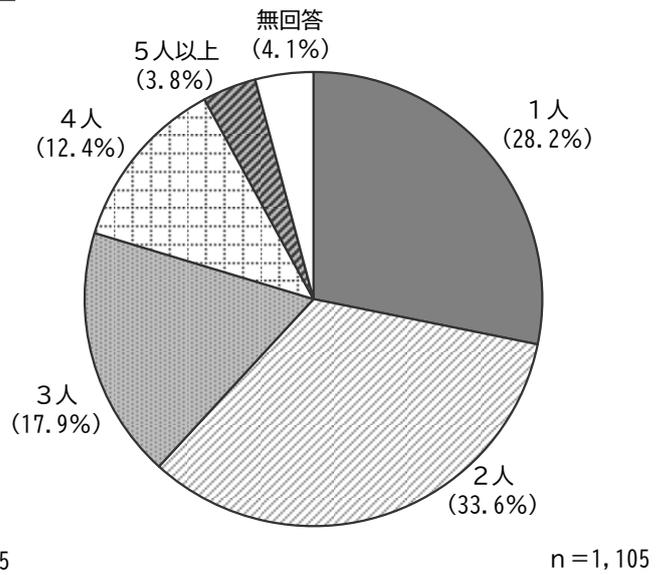
F 4 居住地域



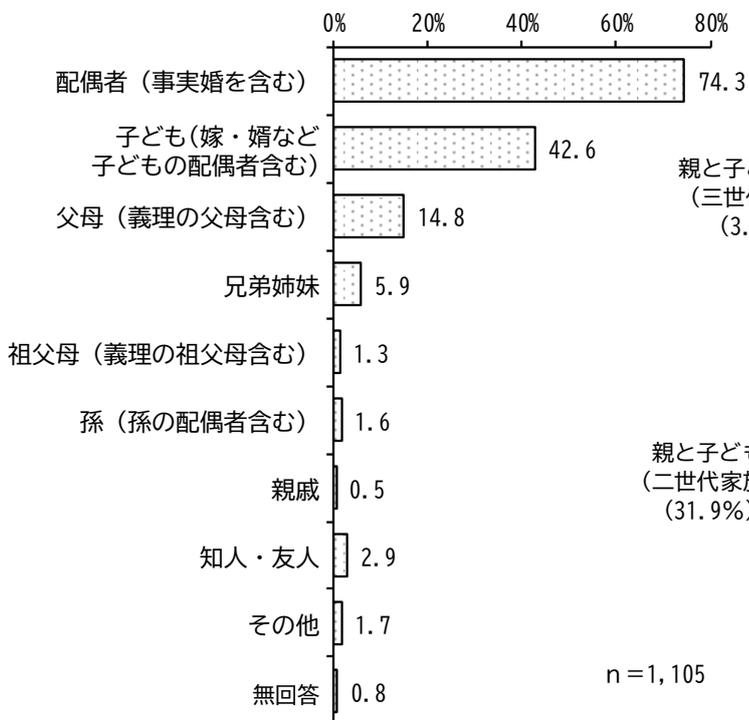
F 5 住居形態



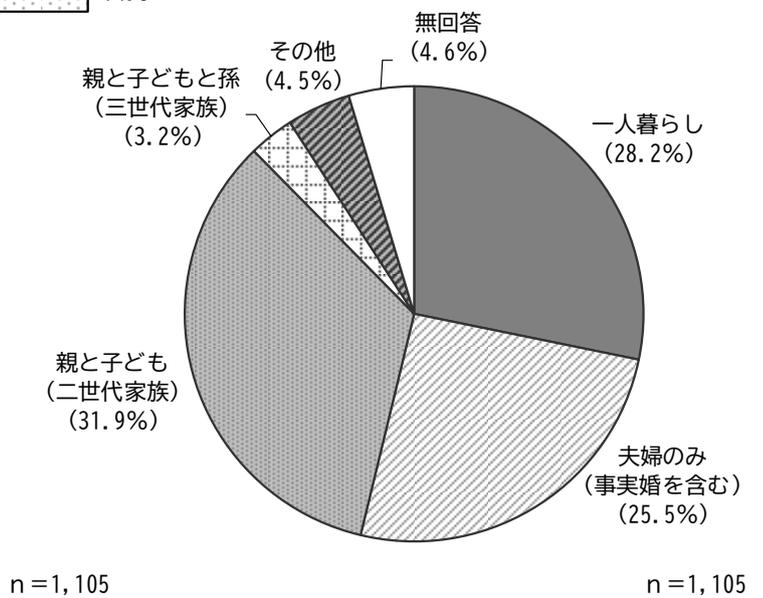
F 6 同居人数



F 6 - 1 同居者 (ベース:同居人数2人以上)



同居家族構成



Ⅲ 質問と回答

「2025中野区区民意識・実態調査」調査票

中野区では、区民の皆様のお考えや日常の生活実態などをお伺いし、今後の区政運営の基礎資料にさせていただき調査を毎年実施しております。

今回の調査は、18歳以上の区民の皆様2,000人を対象に、「定住意向」「生活に関わるさまざまな事項」「施策への要望」などについてお伺いします。

調査の回答については、インターネットによる回答を推奨しています。ぜひご利用ください。

また、今回、あなた様にこの調査票をお送りしたのは、中野区民の中から統計的手法によって無作為に選ばせていただいた結果です。お答えいただく内容は統計的数値としてまとめますので、個人のお名前や回答内容が外部に漏れることは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年8月

中野区長 酒井 直人

===== 【ご回答にあたってのお願い】 =====

- ◆ あて名のご本人が回答してください。
- ◆ 「1つだけの回答」や「あてはまるものすべてに回答」などがありますので、説明に従って回答してください。
- ◆ 「その他」を選択した場合は、() 内にその内容を具体的に記入してください。
- ◆ **令和7年9月19日(金)**までにインターネットまたは郵送にてご回答ください。

インターネット回答専用 ID・パスワード	
ID	
パスワード	

※インターネットで回答される場合は、別紙「インターネット回答の方法」をご覧ください。

※ID・パスワードを紛失したことで、お名前やご住所が外部に漏れることは一切ありません。

※再ログインする際、ID・パスワードをお忘れの場合には、中野区担当までご連絡ください。

===== 【お問い合わせ先（中野区担当）】 =====

中野区 総務部 総務課 統計係

〒164-8501 東京都中野区中野 4-11-19（中野区役所 8階）

TEL:03-3228-8892 FAX:03-3228-5647 ㊚:chosakenkyu@city.tokyo-nakano.lg.jp

受付時間：月～金までの午前8時30分から午後5時まで（祝休日、年末年始を除く）

1 定住意向について

問1 中野区にお住まいになって何年になりますか。(○は1つ) (N=1,105) NA=0.9

1. 1年未満	7.2	4. 5～10年未満	13.8	7. 30年以上	31.1
2. 1～3年未満	9.6	5. 10～20年未満	15.2		
3. 3～5年未満	8.7	6. 20～30年未満	13.4		

問2 現在の中野区を住みよいと思いますか。(○は1つ) (N=1,105) NA=1.0

1. とても住みよい	29.1	3. やや住みにくい	6.0
2. まあ住みよい	63.4	4. とても住みにくい	0.5

問3 今後も引き続き中野区にお住まいになりますか。(○は1つ) (N=1,105) NA=1.0

1. ずっと住み続けるつもり	27.3	3. いずれ区外へ転出するつもり	8.2
2. 今のところは住み続けるつもり	56.0	4. 近いうちに区外へ転出するつもり	2.9
		5. わからない	4.5

問3で「1」「2」と答えた方にお聞きします。

問3-1 今後も中野区に住み続ける(住み続けたい)理由は何ですか。(○はいくつでも) (N=921) NA=0.3

1. 住み慣れているから	62.9	9. 地域の間関係がよいから	9.7
2. 家・土地を持っているから	50.4	10. 親族や友人・知人がいるから	17.0
3. 家の広さなど居住環境がよいから	13.4	11. 自然や街並みがよいから	9.2
4. 家賃(地代)が手頃だから	8.3	12. 治安がよいから	18.2
5. 通勤・通学に便利だから	42.6	13. 公共施設が充実しているから	7.1
6. 買い物や病院などの生活の便がよいから	43.4	14. まちが好きだから	14.3
7. 仕事や商売の都合で	10.4	15. その他()	2.4
8. 子育て・教育環境がよいから	3.9		

問3で「3」「4」と答えた方にお聞きします。

問3-2 中野区から転出する(転出したい)理由は何ですか。(○はいくつでも) (N=123) NA=0.8

1. 自分の家・土地ではないから	35.8	9. 地域の間関係がよくないから	1.6
2. 就職や結婚のため	23.6	10. 親族や友人・知人がいないから	2.4
3. 家の広さなど居住環境がよくないから	23.6	11. 自然や街並みがよくないから	5.7
4. 家賃(地代)が高いから	34.1	12. 治安がよくないから	4.1
5. 通勤・通学に不便だから	6.5	13. 公共施設が充実していないから	6.5
6. 買い物や病院などの生活の便がよくないから	5.7	14. まちが好きではないから	2.4
7. 仕事や商売の都合で	15.4	15. その他()	8.9
8. 子育て・教育環境がよくないから	7.3		

問3-3 転居予定先はどちらですか。(○は1つ) (N=123) NA=0.8

1. 杉並区	4.1	5. 渋谷区	0.8	9. 東京都以外(他の道府県)	30.9
2. 世田谷区	-	6. 豊島区	-	10. 外国	0.8
3. 練馬区	0.8	7. 近隣区以外の都内他区	9.8	11. 決めていない	39.0
4. 新宿区	3.3	8. 23区以外の東京都	9.8		

2 生活環境について

問4 お住まい周辺の生活環境についてどのように感じていますか。(○はそれぞれ1つ)

(N=1,105)	NA	よい	い え ば よ い ど ち ら か と	い え ば 悪 い ど ち ら か と	悪 い
① 交通の便について	1.4	57.3	33.9	6.8	0.6
② 買い物の便について	1.1	49.7	38.7	9.6	0.9
③ 病院や医療機関の便について	1.7	41.7	46.2	9.3	1.1
④ みどりの豊かさについて	1.7	16.8	50.2	26.2	5.0
⑤ 公園や広場について	2.4	20.8	45.8	25.6	5.3
⑥ 近所付き合いについて	3.3	13.1	55.7	21.1	6.8
⑦ ご自身の住宅環境について	2.3	30.1	55.7	9.1	2.7
⑧ 交通の安全性について	1.9	27.9	49.5	16.9	3.8
⑨ 自転車の走行環境について	4.1	8.8	36.3	37.7	13.1
⑩ 自転車駐車場の利便性について	6.2	8.2	35.9	36.4	13.2
⑪ 災害時の安全性について	3.8	11.0	58.6	21.4	5.2
⑫ 風紀や治安について	2.4	15.8	62.9	15.0	3.8
⑬ 景観や街並みについて	2.6	15.8	59.4	19.9	2.3
⑭ 騒音や大気汚染について	2.4	14.3	52.9	25.1	5.3
⑮ ごみ出しやリサイクルについて	1.4	26.2	56.6	12.6	3.2
⑯ 住みやすさ全般について	1.8	32.3	61.2	4.0	0.7
⑰ まちの清潔さについて	1.6	22.1	60.2	12.6	3.5
⑱ ①～⑰の答えについて、特に理由があればお書きください。					

3 中野区への愛着度、中野区の魅力について

問5 中野区に愛着を感じていますか。(○は1つ) (N=1,105) NA=1.2

1. とても感じている	27.7	3. どちらかといえば感じていない	10.1
2. どちらかといえば感じている	57.7	4. 感じていない	3.3

問6 中野区の街の魅力(ブランドイメージ)としてふさわしいと思うものをお選びください。

(○はいくつでも) (N=1,105) NA=1.9

1. アニメ、サブカルチャー文化やコンテンツ産業が豊富	49.0
2. お笑い、演劇、ライブ等エンターテインメントが活発	17.5
3. 個性的な飲食産業の集積、食文化が豊富	33.7
4. ダイバーシティ(多様性)が活発	7.0
5. ICT産業、スマートシティ	0.5
6. コンパクトシティ、エコ(環境)シティ	4.1
7. 伝統的な文化・芸術活動が盛ん	7.1
8. 子育てや高齢者に配慮したライフサポートが充実	9.8
9. 広場・公園が充実	17.2
10. 交通の利便性が高く、都心に近い	66.6
11. 防犯・防災といった安全性が高い	9.6
12. その他()	1.2
13. 特にない	6.3

4 区政情報の入手、区政参加について

問7 あなたは中野区の情報を、主に何から得ていますか。(○はいくつでも) (N=1,105) NA=3.0

1. 区報	71.2	9. 街中の掲示板	25.4
2. 区議会だより	21.5	10. ないせす	
3. 区のホームページ	16.7	(生涯学習スポーツ情報紙)	7.0
4. 区の Facebook	0.7	11. 区の窓口	2.2
5. 区の X (旧 Twitter)	2.4	12. 電話での問合せ	2.2
6. 区の Instagram	1.0	13. 人づて(家族・友人・知人等)	22.3
7. 区の LINE	5.0	14. その他()	3.8
8. 区の YouTube	0.3		

問8 令和7年6月22日に東京都議会議員選挙、7月20日に参議院議員選挙が行われました。このことをどういった手段で知りましたか。(○はいくつでも) (N=1,105) NA=2.9

1. 選挙啓発ポスター (区内施設・商店街など)	71.0
2. 横断幕・懸垂幕 (JR 中野駅・JR 東中野駅、区役所)	14.4
3. 柱巻き啓発物 (総合体育館入口)	1.3
4. 啓発宣伝カー (ラッピングカー) による呼びかけ	9.1
5. 街頭啓発 (ウェットティッシュの配布など)	4.2
6. 広告ステッカー (清掃車、区民活動センターなど)	2.4
7. 起き上がりこぼし (区役所、明治大学、帝京平成大学)	-
8. 中野坂上駅周辺LEDビジョン	1.0
9. 区のホームページやSNS	12.8
10. その他()	15.8
11. 選挙があったことを知らなかった	2.1

5 文化芸術活動について

問9 あなたは芸術や文化を鑑賞したり、文化イベントに参加することに興味・関心がありますか。(○は1つ) (N=1,105) NA=1.2

1. ある	37.8	3. あまりない	21.0
2. 少しある	31.7	4. 全くない	8.3

問10 文化芸術を鑑賞したり、習い事をしたりする機会や文化財・伝統的まちなみの保存・整備など、中野区での文化的環境に満足していますか。(○は1つ) (N=1,105) NA=1.4

1. 満足している	5.3	3. どちらかといえば満足していない	18.3
2. どちらかといえば満足している	30.2	4. 満足していない	8.6
		5. わからない	36.2

問11 文化芸術に関わる活動には、作品鑑賞だけでなく、作品の創作や習い事、あるいはボランティアとしてこれらの活動を支援することを含みます。

あなたは、過去1年間で、この中にあるような文化芸術に関わる活動を行いましたか。

(○はいくつでも) (N=1,105) NA=2.3

1. 音楽、舞踊、茶道、華道、書道などの習い事の受講	8.1
2. 文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作	7.4
3. 地域の芸能や祭りへの参加	16.0
4. 音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演	5.0
5. 子どもの文化芸術体験のための参加	4.2
6. 音楽祭・映画祭などの開催のための支援活動	2.0
7. 歴史的な建物や遺跡などを保存・活用するための支援活動	1.2
8. 美術館・博物館などにおける案内や作品解説などの支援活動	1.5
9. その他 ()	1.5
10. 特に行ったことはない	62.5
11. わからない	4.6

問12 区からの文化芸術活動における情報発信は十分だと思いますか。(○は1つ) (N=1,105) NA=1.7

1. そう思う	5.2	3. どちらかといえばそう思わない	24.3
2. どちらかといえばそう思う	22.6	4. そう思わない	14.8
		5. わからない	31.5

問13 子どもの文化・芸術の鑑賞、体験機会は十分にあると思いますか。(○は1つ) (N=1,105) NA=2.4

1. そう思う	5.2	3. どちらかといえばそう思わない	16.1
2. どちらかといえばそう思う	20.3	4. そう思わない	7.1
		5. わからない	49.0

6 健康増進のための運動習慣について

問14 1回30分以上の連続した運動や身体活動を週1~2回以上行っていますか。(○は1つ) (N=1,105) NA=1.5

1. 継続的に行っている	35.2	3. 以前は行っていたが、現在は行っていない	17.1
2. ときどき行っている	26.2	4. 全く行っていない	19.9

7 多文化共生について

問15 地域に暮らす外国人と交流する機会はありますか。(○は1つ) (N=1,105) NA=1.2

1. たくさんある	2.5	3. あまりない	27.0
2. 少しある	10.1	4. 全くない	59.2

問16 地域で区民と外国人が理解しあい、外国人が住みやすいまちづくりを進めるために、中野区が力を入れるべきだと思うことは何ですか。(〇はいくつでも) (N=1,105) NA=2.5

1. 生活情報や行政手続の多言語対応・発信	34.0
2. 災害や医療・福祉面での支援	20.1
3. 外国人向け日本語習得の支援	29.3
4. 区民と文化の交流機会の充実	17.1
5. 区民の多文化共生に関する意識啓発	15.2
6. 相談体制の充実	21.9
7. 外国人の地域社会への参加支援	20.7
8. その他()	7.8
9. 特にない	12.9
10. わからない	15.4

問17 あなたの周りにいる外国人にとって、生活で困っていること、不満なことは何だと思えますか。(〇はいくつでも) (N=1,105) NA=5.6

1. 日本語が不自由	34.4	10. 近所付き合い	14.6
2. 情報が少ない	19.9	11. 友人が少ない	8.2
3. 住居	6.2	12. 近所の人との間のトラブル	11.4
4. 病院・医療	10.6	13. 偏見・差別	13.4
5. 年金	3.8	14. 日本人が閉鎖的だと感じる	9.0
6. 出産・育児	3.5	15. 生活費などの金銭的な問題	8.0
7. 子どもの教育	6.0	16. その他()	6.2
8. 仕事	8.2	17. 特にない	31.4
9. 災害時・緊急時の対応	12.2		

問18 あなたは外国人などとコミュニケーションを取る際に有効とされる「やさしい日本語」を知っていますか。(〇は1つ) (N=1,105) NA=2.2

1. 知っている	19.3	2. 知らない	78.6
----------	------	---------	------

問19①最近1年間に参加した活動で「6」「7」と答えた方にお聞きします。

問19-1 趣味・文化・芸術活動を行っている人にお伺いします。

あなたの活動の発表の場は、主にどこですか。(○は1つ) (N=83) NA=22.9

1. 地域でのまつりやイベント	25.3	4. 民間のホール等を借りて発表	9.6
2. 福祉施設等でのイベント	3.6	5. その他 ()	3.6
3. 公共のホール等を借りて発表	10.8	6. 発表はしない	24.1

問19-2 他団体と交流するなどの繋がりがありますか。(○は1つ) (N=83) NA=9.6

1. ある	22.9	2. ない	67.5
-------	------	-------	------

問19②今後、参加したい活動で「13」と答えた方にお聞きします。

問19-3 その理由は何ですか。(○はいくつでも) (N=353) NA=4.2

1. 活動する時間がない	39.1
2. 参加するきっかけが得られない	18.4
3. 情報がない	15.6
4. 参加したい活動や団体がない	20.7
5. 興味・関心がない	44.2
6. その他 ()	5.7

9 生涯学習について

問20 講座や教室、スポーツ活動や文化芸術活動など、区内における生涯学習の機会は充実していると思いますか。(○は1つ) (N=1,105) NA=1.7

1. そう思う	4.8	3. どちらかといえばそう思わない	14.1
2. どちらかといえばそう思う	22.5	4. そう思わない	8.3
		5. わからない	48.5

10 区立施設の貸出利用について

問21① 文化・スポーツ施設等（施設予約システム導入施設）について、個人や団体の用途に応じた利用ができることを知っていますか、または借りて利用したことがありますか。（○は1つ）
（N=1,105）NA=2.5

例：体育館（フットサル、バスケットボールなど）、
文化施設（なかのZEROのホール、学習室、多目的練習室など）

1. 知っている、かつ、借りて利用したことがある	14.4	3. 全く知らない	34.5
2. 知っているが、借りて利用したことはない	48.6		

※利用にあたっては、原則として事前予約が必要であり、使用料がかかります。

問21①で「1」と答えた方にお聞きします。

問21-1 施設の利便性についてお答えください。（○は1つ）（N=159）NA=2.5

1. 便利に感じている	52.8	3. どちらとも思わない	32.1
2. 不便に感じている	12.6		

問21-1で「1」と答えた方にお聞きします。

問21-2 便利に感じている点は何ですか。（○はいくつでも）（N=84）NA=6.0

1. 施設の空き状況が把握できる	58.3	4. システムで簡単に利用予約ができる	25.0
2. 施設に直接聞かなくても利用予約ができる	34.5	5. その他()	7.1
3. システムの操作がわかりやすい	9.5		

問21-1で「2」と答えた方にお聞きします。

問21-3 不便に感じている点は何ですか。（○はいくつでも）（N=20）NA=0.0

1. 貸出利用の方法がわからない	15.0	4. 利用したい時間帯に利用できない	95.0
2. 事前登録が必要	45.0	5. 使用料のキャッシュレス決済に対応して	
3. システムの操作が難しいまたは		いない	30.0
わかりづらい	20.0	6. その他()	10.0

問21② 区民活動センター集会室等（施設予約システム未導入施設）について、個人や団体の用途に応じた利用ができることを知っていますか、または借りて利用したことがありますか。
（○は1つ）（N=1,105）NA=3.8

例：区民活動センター（集会室（和室、洋室）、調理室、多目的室、音楽室）など

1. 知っている、かつ、借りて利用したことがある	11.8	3. 全く知らない	42.4
2. 知っているが、借りて利用したことはない	42.0		

※利用にあたっては、原則として事前予約が必要であり、使用料がかかります。

問21-4へ

問21②で「1」と答えた方にお聞きします。

問21-4 施設の利便性についてお答えください。(○は1つ) (N=130) NA=3.1

1. 便利に感じている	49.2	3. どちらとも思わない	33.1
2. 不便に感じている	14.6		

問21-4で「1」と答えた方にお聞きします。

問21-5 便利に感じている点は何ですか。(○はいくつでも) (N=64) NA=3.1

1. 施設の空き状況が把握できる	40.6	4. 不便に感じている点がない	25.0
2. 利用予約が施設の窓口で簡単にできる	51.6	5. その他()	4.7
3. 施設に電話すれば、いつでも利用予約ができる	18.8		

問21-4で「2」と答えた方にお聞きします。

問21-6 不便に感じている点は何ですか。(○はいくつでも) (N=19) NA=0.0

1. 貸出利用の方法がわからない	5.3	4. 施設開館時間でないと利用予約ができない	73.7
2. 事前登録が必要	42.1	5. 使用料のキャッシュレス決済に対応していない	10.5
3. 施設の空き状況が施設に直接聞かないとわからない	57.9	6. その他()	31.6

11 自転車について

問22 あなたは自転車を利用しますか、また、利用する頻度はどのくらいですか。(○は1つ)
(N=1,105) NA=1.5

1. 利用する(週5日以上)	16.3	3. 利用する(週1~2日)	11.5	5. 全く利用しない	48.3
2. 利用する(週3~4日)	9.0	4. 利用する(月に数回)	13.3		

問23へ

問22で「1」~「4」と答えた方にお聞きします。

問22-1 あなたはどのような自転車をお持ちですか。

該当するものを選んでください。(○はいくつでも) (N=554) NA=1.4

1. シティサイクル(軽快車)	46.9	4. 折り畳み自転車	6.1
2. 電動アシスト車	42.4	5. その他()	3.1
3. スポーツ車	10.3		

引き続き、問22で「1」～「4」と答えた方にお聞きします。

問22-2 あなたが自転車を利用する理由は何ですか。(〇はいくつでも)(N=554) NA=1.8

1. 手軽に使える	76.7	6. 環境に優しい	13.4
2. 早く移動できる	73.6	7. 利用に適した公共交通機関がない	18.6
3. 健康によい	22.6	8. 走っていて気持ちがよい	18.6
4. ガソリン代・電気代がかからない	18.8	9. ストレス解消	7.9
5. 車の渋滞・満員電車などのストレスがない	17.9	10. その他()	5.6

問22-3 あなたが自転車を利用する主な目的は何ですか。(〇はいくつでも)(N=554) NA=1.4

1. 日常的な生活圏内の利用 (買い物・公共施設の利用・通院等)	88.3	4. サイクリング	7.2
2. 通勤・通学	27.8	5. 業務・仕事中の移動	8.3
3. 日常の生活圏より遠出の利用 (レジャー・観光等)	10.8	6. その他()	2.0

問22-4 あなたが問22-3で選択した自転車の主な利用目的において、自転車に乗っている所要時間は片道どのくらいですか。(〇は1つ)(N=546) NA=1.3

1. 5分未満	2.9	3. 15分～30分未満	41.8	5. 45分～60分未満	2.7
2. 5分～15分未満	41.2	4. 30分～45分未満	7.5	6. 60分以上	2.6

問22-5 あなたの自転車の主な利用目的において、自転車から他の交通機関へ乗り換えることがありますか。乗り換える場合は、その主な交通手段を1つ選んでください。(〇は1つ)(N=546) NA=4.2

1. 電車	33.3	3. バス	9.9	5. その他()	0.9
2. 自家用車	2.4	4. バイク・原付	0.7	6. 乗り換えない	48.5

問22-6 令和5年4月1日から、すべての年代で自転車用ヘルメットの着用が努力義務になりました。

現在、自転車を利用する際に自転車用ヘルメットを着用していますか。(〇は1つ)

(N=554) NA=1.8

1. はい	14.6	2. いいえ	83.6
-------	------	--------	------

問22-7 令和2年4月1日から、自転車賠償責任保険等への加入が義務化されています。

あなたは、自転車保険に加入していますか。(〇は1つ)(〇は1つ)(N=554) NA=2.3

1. はい	66.2	2. いいえ	31.4
-------	------	--------	------

問23 あなたが自転車の利用に関して最も不便に思う点は何ですか。(〇は1つ)(N=1,105) NA=15.7

1. 雨天時に利用しにくい	20.0	6. 目的地が遠すぎる	0.5
2. 自転車の走行環境が整っていない	16.0	7. 運転に自信がない	3.2
3. 運転時に危険を感じる	8.1	8. シェアサイクルが不足している	2.2
4. 駐輪環境が整っていない	14.9	9. その他()	2.7
5. 荷物を運ぶのに不便	0.2	10. 特にない	16.6

12 中野駅周辺について

問24 中野駅周辺に行くことは、どの程度の頻度でありますか。(○は1つ) (N=1,105) NA=2.4

1. ほぼ毎日	13.4	3. 週に1~2日	16.3	5. 年に数回程度	25.4
2. 週に3~5日	10.5	4. 月に1~2日程度	28.2	6. 全く行かない	3.8

問24で「1」~「5」と答えた方にお聞きします。

問24-1 中野駅周辺に行く目的は何ですか。(○はいくつでも) (N=1,037) NA=1.1

1. 通勤・通学	21.0	8. 習い事・塾	4.7
2. 商用・仕事	8.9	9. サークル活動	1.2
3. 買い物	66.4	10. イベントに参加するため	5.8
4. 飲食・喫茶	37.5	11. 公園・広場を利用するため	7.4
5. 区外へ出かけるため	21.1	12. 銀行・郵便局・役所に行くため	31.8
6. 医療機関へ行くため	17.2	13. その他()	2.4
7. 音楽・演劇鑑賞・スポーツをするため	5.0		

問24-2 中野駅周辺に行く際、よく利用する交通手段は何ですか。(○はいくつでも)

(N=1,037) NA=0.3

1. 徒歩	46.2	5. オートバイ・バイク	1.5
2. バス	49.1	6. 自家用車	5.3
3. 電車	20.0	7. タクシー	4.0
4. 自転車	30.9	8. その他()	0.9

問24-3 中野駅周辺を利用する際、不便や不快など不満に感じていますか。(○は1つ)

(N=1,037) NA=1.1

1. 感じている	45.0	2. 感じていない	45.5	3. わからない	8.4
----------	------	-----------	------	----------	-----

問24-3で「1」と答えた方にお聞きします。

問24-4 その不満の内容は何ですか。(○はいくつでも) (N=467) NA=0.6

1. 混雑していて歩きにくい	59.3	7. 衣料品や贈答品がある大型店舗が少ない	26.1
2. 座れるところが少ない	23.1	8. 魅力的な商店が少ない	20.1
3. 駅の南北間が行き来しづらい	31.9	9. 自転車マナーの悪い人がいる	35.5
4. 自転車と歩行者が混在し危険を感じる	51.6	10. 歩きたばこや指定の喫煙所以外で喫煙をする人がいる	26.8
5. 目的の場所から自転車駐車が遠い	33.0		
6. 道路が狭い	34.0	11. その他()	16.3

13 中野駅周辺以外の鉄道駅（駅周辺）について

問25 中野駅以外で、日常で最も利用する鉄道駅（駅周辺）はどこですか。（○は1つ）（N=1,105）NA=9.3

1. 新江古田駅	3.6	6. 新井薬師前駅	8.6	11. 中野新橋駅	4.0
2. 鷺ノ宮駅	8.1	7. 落合駅	2.2	12. 中野富士見町駅	3.2
3. 都立家政駅	3.1	8. 東中野駅	10.7	13. その他()	11.7
4. 野方駅	7.0	9. 新中野駅	9.5		
5. 沼袋駅	8.2	10. 中野坂上駅	10.9		

問25-1 問25の鉄道駅（駅周辺）に行く目的は何ですか。（○はいくつでも）（N=1,002）NA=1.3

1. 通勤・通学	42.7	8. 習い事・塾	3.4
2. 商用・仕事	13.1	9. サークル活動	1.1
3. 買い物	48.7	10. イベントに参加するため	4.5
4. 飲食・喫茶	24.0	11. 公園・広場を利用するため	2.4
5. 区外へ出かけるため	45.2	12. 銀行・郵便局・役所に行くため	9.7
6. 医療機関へ行くため	16.0	13. その他()	3.8
7. 音楽・演劇鑑賞・スポーツをするため	8.7		

問25-2 問25の鉄道駅（駅周辺）に行く際、よく利用する交通手段は何ですか。（○はいくつでも）（N=1,002）NA=0.7

1. 徒歩	79.9	4. 自転車	17.3	7. タクシー	1.8
2. バス	10.3	5. オートバイ・バイク	0.7	8. その他()	1.0
3. 電車	10.0	6. 自家用車	0.6		

問25-3 問25の鉄道駅（駅周辺）を利用する際、不便や不快など不満に感じていますか。（○は1つ）（N=1,002）NA=1.8

1. 感じている	32.4	2. 感じていない	57.7	3. わからない	8.1
----------	------	-----------	------	----------	-----

問25-3で「1」と答えた方にお聞きします。

問25-4 その不満の内容は何ですか。（○はいくつでも）（N=325）NA=2.2

1. 混雑していて歩きにくい	17.2	7. 衣料品や贈答品がある大型店舗が少ない	27.1
2. 座れるところが少ない	11.1	8. 魅力的な商店が少ない	39.1
3. 駅の南北間が行き来しづらい	16.9	9. 自転車マナーの悪い人がいる	24.0
4. 自転車と歩行者が混在し危険を感じる	27.1	10. 歩きたばこや指定の喫煙所以外で喫煙をする人がいる	19.4
5. 目的の場所から自転車駐車が遠い	14.2	11. その他()	21.8
6. 道路が狭い	29.8		

14 商店街について

問26 買い物やサービス等利用のため、商店街へはどの程度の頻度で行きますか。(○は1つ)
(N=1,105) NA=1.4

1. ほぼ毎日	14.8	4. 月に1~2日程度	14.0	6. 全く行かない	8.5
2. 週に3~5日	21.3	5. 年に数回程度	8.3		
3. 週に1~2日	31.7				

15 公園・広場等の利用について

問27 区内の公園や広場を、どの程度の頻度で利用していますか。(○は1つ) (N=1,105) NA=3.2

1. ほぼ毎日	2.3	4. 月に1~2日程度	15.7	6. 利用していない	40.2
2. 週に3~5日	2.9	5. 年に数回程度	23.1		
3. 週に1~2日	12.8				

問27で「1」~「5」と答えた方にお聞きします。

問27-1 現在の区内の公園や広場に満足していますか。(○は1つ) (N=626) NA=1.6

1. 非常に満足している	8.3	3. やや不満である	23.0
2. まあ満足している	60.5	4. 非常に不満である	6.5

問27-1で「3」「4」と答えた方にお聞きします。

問27-2 その理由は何ですか。(○はいくつでも) (N=185) NA=3.8

1. アクセスが悪いから	17.8
2. 狭いから	38.9
3. きれいではないから	29.2
4. 治安が悪いから	13.0
5. 数が少ないから	40.0
6. ペットを連れて入れないから	13.5
7. ボール遊びができないから	21.1
8. その他 ()	20.5

16 区のサービスの電子化について

問28 今後、電子化の拡充を期待する区のサービス等についてお選びください。(○は3つまで) (N=1,105) NA=8.0

1. 住民票の写しや各種証明書の交付申請	52.4	7. 子育て支援サービスの利用申込み	8.1
2. 税金、施設使用料や証明書手数料等 支払の電子決済	30.8	8. 区のイベントへの参加申込み	7.7
3. 区立施設の利用予約や利用状況の確認	15.7	9. 施設情報や地理情報などの電子地図情報の公開	4.7
4. 災害や防犯情報等の配信	20.6	10. 行政データの公開(オープンデータ)	4.9
5. 区への相談・問合せ	14.6	11. その他()	2.0
6. 補助金、助成金や交付金等の申請	22.4	12. 拡充を期待するサービス等はない	12.8

17 地震災害への対策について

問29 地震災害に備えて、家庭内でどのような対策を行っていますか。(○はいくつでも) (N=1,105) NA=2.0

1. 食料の備蓄	58.1	→問29-1へ	7. 地域の防災訓練への参加	4.9
2. 飲料水の備蓄	64.8	→問29-2へ	8. 避難方法・避難場所の確認	21.1
3. 簡易トイレの備蓄	35.7		9. 家庭での連絡方法などの話し合い	16.4
4. 家具類の転倒防止	22.0		10. 建物の補強	3.2
5. 感震ブレーカーの設置	4.2		11. その他()	0.5
6. 救命救助の講習会への参加	4.0		12. 対策は特に行っていない	17.6

問29で「1」と答えた方にお聞きします。

問29-1 食料の備蓄の量はどのくらいありますか。(○は1つ) (N=642) NA=0.0

1. 3日以上	54.8	3. 1日分	10.9
2. 2日分	32.4	4. 1食分	1.9

問29で「2」と答えた方にお聞きします。

問29-2 飲料水の備蓄の量はどのくらいありますか。(○は1つ) (N=716) NA=1.7

1. 3リットル以上	71.9	3. 1リットル以上2リットル未満	8.5
2. 2リットル以上3リットル未満	16.1	4. 1リットル未満	1.8

問30 いざというとき、お住まいの地域に頼れる人はいますか。(○はいくつでも) (N=1,105) NA=1.9

1. 同居の家族	40.5	5. 地域の民生委員・児童委員	1.2
2. 近くに住んでいる家族	16.4	6. 町会・自治会の役員	3.7
3. 近くに住んでいる親戚	8.0	7. その他()	1.4
4. 近くに住んでいる友人・知人	24.3	8. 頼れる人はいない	30.3

18 環境に関する理解・関心について

問31 環境問題への対策について、どのように考えていますか。(○は1つ) (N=1,105) NA=2.5

1. 重要である	54.0	3. どちらかといえば重要ではない	4.3
2. どちらかといえば重要である	36.2	4. 重要ではない	2.9

問32 中野区ではゼロカーボンシティ宣言を行いました。

ゼロカーボン(2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロ)のために、あなたが考える必要な対策についてお答えください。(○はいくつでも) (N=1,105) NA=4.0

1. 建物の省エネ化促進 (建物のZEB化、住宅のZEH化等)	20.1	5. ごみ減量の促進	38.9
2. 再生可能エネルギー電力、設備等の導入支援	31.0	6. 区民や事業所の意識の向上	25.4
3. 省エネ機器等の導入支援	31.7	7. その他()	3.6
4. 電気自動車等購入支援(充電設備含む)	14.2	8. 「ゼロカーボンシティ宣言」について知らない	28.1

問33 「気候変動への適応策」とは、気候の変動の影響に対し自然や人間社会のあり方を適応させていく施策のことです。

「気候変動への適応策」について、普段の生活の中で中野区内において力を入れるべきだと思うことは何ですか。(○はいくつでも) (N=1,105) NA=3.2

1. 自然災害への対策	54.0	5. その他()	1.4
2. 熱中症対策	46.1	6. 特にない	3.5
3. ヒートアイランド対策	51.5	7. 「気候変動への適応策」について知らない	6.6
4. 自然環境・緑化保全などの対策	50.1		

問34 世界的な気候変動は、熱中症や集中豪雨による被害などをはじめ様々な形で皆さんの生活にも影響しています。気候変動の影響に適応しながら、健康への影響や災害による被害を防ぐために、普段の生活の中で取り組んでいることを教えてください。(○はいくつでも) (N=1,105) NA=2.8

1. 自宅やオフィスでの冷房の適切な利用	67.7	5. 集中豪雨などの水災害への備え	13.4
2. 外出時、涼をとれる施設の利用	34.0	6. その他()	1.4
3. 壁面緑化(緑のカーテン等)	7.9	7. 取り組んでいない	5.9
4. こまめな水分補給や暑熱順化(暑さに体を慣れさせること)	69.9		

問35 あなたが取り組んでいる環境に配慮した行動について教えてください。(○はいくつでも)
(N=1,105) NA=2.7

1. 住宅や事業所の省エネ化（高断熱設備の導入など）	9.7
2. 再生可能エネルギー電力、設備の導入	4.1
3. 省エネ性能の高い機器の使用（照明のLED化や省エネ性能の高い家電など）	27.9
4. ごみの減量に取り組んでいる（ごみの分別、マイバッグの持参など）	59.9
5. 食べ物を無駄にしないようにしている（食べ残しを減らす、食材を使い切るなど）	66.3
6. なるべく徒歩、自転車、公共交通機関を使用している	56.7
7. 環境イベントへの参加（なかのエコフェアなど）	1.7
8. その他（	） 1.2
9. 取り組んでいない	6.9

問36 区が実施している環境事業について、あなたが、知っているまたは参加したことがある事業について教えてください。(○はいくつでも) (N=1,105) NA=5.3

1. 高断熱窓・ドア設置補助金	7.7	7. 中野の森プロジェクト	5.8
2. 蓄電システム設置補助金	6.2	8. なかのエコチャレンジ	6.2
3. 太陽光発電設備設置補助金	9.6	9. 子どもエコ講座	1.0
4. 家庭用燃料電池システム（エネファーム）設置補助金	5.3	10. 花と緑の祭典	10.9
5. 自然冷媒ヒートポンプ給湯機（エコキュー）設置補助金	4.0	11. 園芸緑化相談	3.3
6. なかのエコフェア	3.8	12. その他（	） 0.5
		13. 特にない	63.7

19 人権・男女共同参画について

問37 中野区人権及び多様性を尊重するまちづくり条例を知っていますか。(○は1つ)
(N=1,105) NA=2.1

1. 内容を知っている	3.7	3. 知らない	72.3
2. 聞いたことはあるが、内容は知らない	21.9		

問38 人権侵害に関する相談体制があることを知っていますか。(○は1つ) (N=1,105) NA=2.0

1. 知っている	14.0	2. 知らない	84.0
----------	------	---------	------

問39 次の各分野において、男女の地位は平等だと思いますか。(○はそれぞれ1つ)

(N=1, 105)	NA	女性が優遇	やや女性が優遇	平等	やや男性が優遇	男性が優遇	わからない
① 家庭生活における男女の地位	2.5	3.9	9.7	35.5	19.5	11.3	17.6
② 職場における男女の地位	4.0	2.1	4.6	28.6	29.4	17.6	13.8
③ 学校教育の場における男女の地位	4.3	1.2	3.1	41.8	11.5	4.3	33.8
④ 社会全体における男女の地位	2.7	2.6	4.8	17.6	37.6	22.5	12.2

問40 次の男女共同参画社会に関連する用語について、見たり聞いたりしたことはありますか。(○はそれぞれ1つ)

(N=1, 105)	NA	内容を知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない
① 男女共同参画社会	2.7	29.4	37.4	30.5
② 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)	3.3	50.6	23.6	22.5
③ DV(ドメスティック・バイオレンス)	2.5	76.5	13.2	7.8
④ デートDV	3.3	38.0	19.4	39.3

20 ユニバーサルデザインについて

問41 「ユニバーサルデザイン」という言葉をどの程度知っていますか。(○は1つ) (N=1, 105) NA=2.1

1. 詳しく知っている	13.1	3. 言葉だけは知っている	27.9
2. 知っている	34.8	4. 全く知らない	22.2

問42 「心のバリアフリー」という言葉をどの程度知っていますか。(○は1つ) (N=1, 105) NA=2.2

1. 詳しく知っている	5.2	3. 言葉だけは知っている	39.9
2. 知っている	23.7	4. 全く知らない	29.0

問4 3 あなたが普段の生活の中で、中野区内において不便だと感じている場合は「はい」、不便だと感じていない場合は「いいえ」でお答えください。(○はそれぞれ1つ)

(N=1,105)	NA	はい (不便だと 感じている)	いいえ (不便だと 感じていない)
① 歩道に凹凸や傾斜がある	3.5	45.0	51.5
② 歩道と車道の間に段差がある	3.8	42.4	53.8
③ 歩道に障害物(看板・自転車等)がある	3.7	57.7	38.6
④ 施設内の移動がしづらい	6.7	18.5	74.8
⑤ 施設を利用したとき必要な設備やサービスがない	6.5	20.0	73.5
⑥ 外出時にトイレが使いにくい	4.7	45.2	50.0
⑦ 外出時に休憩できる場所が少ない	4.1	57.5	38.5
⑧ 案内表示などがわかりにくい	5.7	23.0	71.3
⑨ 欲しい情報が手に入らない	6.0	26.5	67.5
⑩ 申請書などの書類関係の書類がわかりにくい	5.3	42.0	52.7
⑪ 地域の活動やイベントに気軽に参加できない	6.2	27.0	66.9
⑫ 食事や買い物などを安心してできるお店が少ない	5.3	15.2	79.5
⑬ 自転車利用や歩きタバコなどマナーが悪い	4.1	56.9	39.0
⑭ 外出時に困ったとき手助けを頼みにくい	6.6	31.5	61.9

2 1 パートナーシップ宣誓について

問4 4 中野区パートナーシップ宣誓*を知っていますか。(○は1つ) (N=1,105) NA=2.3

※パートナーシップ関係にあるお二人が宣誓書等を区に提出し、区が宣誓書等受領証を交付する取組

1. 内容を知っている	13.6	2. 聞いたことはあるが、内容は知らない	26.8	3. 知らない	57.4
-------------	------	----------------------	------	---------	------

2 2 子どもの権利について

問4 5 子どもの権利を保障し、子どもにやさしいまちづくりを推進することを目的とした「中野区子どもの権利に関する条例」があることを知っていますか。(○は1つ) (N=1,105) NA=2.9

1. 内容を知っている	6.2	3. 知らない	64.3
2. 聞いたことはあるが内容は知らない	26.6		

問46 中野区において、子どもの権利（生命・生存・発達の権利、意見表明権、子どもの最善の利益、差別の禁止など）が守られていると思いますか。（○は1つ）（N=1,105）NA=3.0

1. そう思う	6.7	3. どちらかといえばそう思わない	5.2	5. わからない	54.3
2. どちらかといえばそう思う	27.4	4. そう思わない	3.3		

23 次世代に渡る定住意向について

問47 中野区のまちは、次世代を担う子どもたちに住んでもらいたいまちだと思いますか。（○は1つ）（N=1,105）NA=2.8

1. そう思う	16.6	3. どちらかといえばそう思わない	9.4
2. どちらかといえばそう思う	47.9	4. そう思わない	4.6
		5. わからない	18.7

24 基本構想について

問48 区は2021年3月に、中野区基本構想を改定しました。基本構想は、中野区に住む人々や、このまちで働き、学び、活動する全ての人々にとっての共通目標であり、最も基本的な区政運営の指針となるものです。現在の基本構想を知っていますか。（○は1つ）（N=1,105）NA=2.8

1. 内容を知っている	2.4	2. 聞いたことはあるが、内容は知らない	23.3	3. 全く知らない	71.6
-------------	-----	----------------------	------	-----------	------

25 中野区のまちの姿について

問49 次の項目は、基本構想において描く「10年後に目指すまちの姿」の概要を表しています。10年後に目指すまちの姿の実現に向けて、「現在の中野区に対する、あなたの生活における実感」をお答えください。（○はそれぞれ1つ）

	NA	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
(N=1,105)						
① 国籍や文化、年齢、障害、性別などが異なる多様な人々が暮らす中で、人権や価値観が尊重されている	3.3	8.5	36.8	12.4	6.5	32.4
② 気軽に地域で関わりを持てるようなつながりがあり、人々の地域への愛着が生まれている	3.3	7.2	31.6	22.4	9.8	25.7
③ 文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整い、にぎわいにあふれている	3.4	7.1	34.3	19.4	8.8	27.1
④ 区内産業の発展や新たな企業の参入、商店街の活発な活動などにより、地域経済が活性化している	3.3	7.1	33.7	18.5	12.3	25.2

	NA	そう思う	そう思う どちらかといえば	そう思わない どちらかといえば	そう思わない	わからない
⑤ 中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている	3.8	13.0	44.1	11.3	7.2	20.5
⑥ 子どもたちは、一人の人間として尊重されており、虐待の防止や学びの支援など子どもの命と権利を守る体制が整っている	4.2	6.9	31.0	8.8	3.9	45.3
⑦ 良好な教育環境が整うとともに、学校や幼稚園、保育園などが家庭や地域と連携し、協働しながら特色のある教育が行われている	4.3	7.2	28.9	8.5	5.0	46.2
⑧ 子育てに関する様々な人や団体の活動が活発であり、多様なサービスの提供により安心して子どもを産み、育てられる体制が整っている	4.6	6.7	25.5	10.9	5.1	47.2
⑨ 子どもと子育て家庭にとって快適な住まいや魅力的な空間・施設などが整備され、住み続けたいと思えるまちである	4.4	7.3	29.0	11.9	5.1	42.3
⑩ 若者がチャレンジできる環境や、若者一人ひとりの課題の解決を支える体制が整っている	4.5	5.4	18.1	15.5	8.3	48.1
⑪ 地域のつながりや見守り・支えあいが生まれ、介護・福祉サービスや医療を受けながら、高齢期も安心して過ごすことができる体制が整っている	4.2	7.8	26.9	14.2	7.7	39.3
⑫ いくつになっても生きがいを見つけられ、就労や社会参画などを通じて生涯現役で活躍できる環境が整っている	4.5	5.6	20.5	15.5	9.0	44.9
⑬ 障害や生活困窮、生活上の様々な課題や困りごとを抱えても、相談や支援が受けられる体制が整っている	4.3	5.9	22.4	12.5	6.7	48.1
⑭ 障害や認知症の有無などにかかわらず、個々の特性や強みを生かし、自分らしく暮らせる環境が整っている	4.9	4.7	19.7	12.8	7.8	50.1
⑮ 健康的な生活習慣が身につけられる環境が整うとともに、誰もが運動や学びなどに楽しみながら取り組んでいる	4.5	5.7	27.9	13.9	7.4	40.5
⑯ 防災まちづくりの推進や地域の防災力の向上などにより、災害に強いまちづくりが進んでいる	4.8	6.6	31.0	14.8	7.1	35.7
⑰ 西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくりや地区の特性に応じたまちづくりにより、安全性・快適性・利便性が向上している	4.5	6.8	26.8	11.7	11.1	39.1
⑱ 居心地が良く歩きたくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境が整備され、快適で魅力ある住環境の形成が進んでいる	4.4	7.3	32.2	19.6	12.9	23.4
⑲ 環境負荷の少ないライフスタイルなどが、区民の生活や企業活動に浸透している	4.4	4.2	17.9	17.1	11.2	45.2
⑳ 防犯、消費生活、感染症などに関する意識の高まりや行動の変化が生まれ、安全・安心な暮らしが守られている	4.5	6.2	32.5	15.6	8.8	32.5

26 SDGsについて

問50 あなたはSDGsを知っていますか。(○は1つ) (N=1,105) NA=3.4

1. 内容を知っている 64.3 2. 聞いたことはあるが、内容は知らない 23.3 3. 全く知らない 8.9

SDGs (持続可能な開発目標) は、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。



27 施策への評価・要望について

問51 ①中野区が特に力を入れていると感じる施策を以下の選択肢から3つ以内で選び、番号を記入してください。

②今後、特に力を入れてほしい施策を以下の選択肢から3つ以内で選び、第1位から第3位までの順位をつけて、それぞれの番号を記入してください。

	①評価 (N=1,105) NA=15.4	②要望 [1位~3位総合] (N=1,105) NA=8.9	②要望 [1位のみ] (N=1,105) NA=9.0
① 平和	9.2	13.7	7.5
② 国際化	10.5	4.4	1.4
③ 人権	7.7	6.6	2.6
④ 男女共同参画	4.8	2.7	0.9
⑤ 情報化 (ICT) の推進	5.3	7.1	3.2
⑥ 産業振興	10.8	4.9	1.9
⑦ 観光	9.0	3.0	0.9
⑧ 防災	11.0	26.5	11.5
⑨ 防犯	5.0	26.9	9.8
⑩ 地域・自治活動支援	9.9	4.0	0.9
⑪ 消費者問題	0.9	5.2	1.4
⑫ 学校教育	5.2	9.3	3.0
⑬ 子育て支援	13.3	19.7	9.7
⑭ 高齢者福祉	8.7	19.1	7.4
⑮ 障害者福祉	2.1	3.7	1.3
⑯ 健康推進	2.9	7.3	1.1

	①評価	②要望 [1位～3位総合]	②要望 [1位のみ]
⑰ 文化・スポーツ	15.2	10.0	1.9
⑱ 低所得者支援（生活援護）	2.4	6.9	2.2
⑲ みどり・公園	16.7	16.7	4.3
⑳ ごみ・リサイクル	11.7	10.1	1.7
㉑ 公衆衛生	1.9	11.0	2.4
㉒ 駅前などの重点的まちづくり	27.9	13.9	5.0
㉓ 住宅・まちづくり	6.5	12.4	3.3
㉔ 道路・交通	5.3	15.5	3.8
㉕ 区財政の健全化	2.7	6.8	1.7
㉖ ユニバーサルデザイン	1.4	1.8	0.4

問5 1 ①中野区が特に力を入れていると感じる施策を以下の選択肢から3つ以内で選び、番号を記入してください。

<回答欄①>

②今後、特に力を入れてほしい施策を以下の選択肢から3つ以内で選び、第1位から第3位までの順位をつけて、それぞれの番号を記入してください。

<回答欄②>

第1位

第2位

第3位

③上記①および②の答えについて、理由があればお書きください。

【選択肢】

1. 平和	10. 地域・自治活動支援	19. みどり・公園
2. 国際化	11. 消費者問題	20. ごみ・リサイクル
3. 人権	12. 学校教育	21. 公衆衛生
4. 男女共同参画	13. 子育て支援	22. 駅前などの重点的まちづくり
5. 情報化（ICT）の推進	14. 高齢者福祉	23. 住宅・まちづくり
6. 産業振興	15. 障害者福祉	24. 道路・交通
7. 観光	16. 健康推進	25. 区財政の健全化
8. 防災	17. 文化・スポーツ	26. ユニバーサルデザイン
9. 防犯	18. 低所得者支援（生活援護）	

問52 中野区の行政サービスに満足していますか（過去1年間）。（○はそれぞれ1つ）

(N=1,105)	NA	非常に満足 している	まあ満足 している	やや不満 である	非常に不満 である
① 平和	9.6	8.5	66.7	12.7	2.5
② 国際化	10.9	4.7	57.5	20.9	6.1
③ 人権	11.0	6.8	68.9	11.0	2.4
④ 男女共同参画	12.5	5.1	66.5	13.2	2.7
⑤ 情報化（ICT）の推進	11.9	5.4	58.6	20.3	3.8
⑥ 産業振興	12.2	6.1	58.9	19.4	3.4
⑦ 観光	11.6	6.1	54.5	23.5	4.3
⑧ 防災	9.7	6.2	57.6	23.4	3.1
⑨ 防犯	10.0	5.6	50.5	28.5	5.4
⑩ 地域・自治活動支援	11.7	6.0	61.1	18.5	2.8
⑪ 消費者問題	12.4	4.1	55.6	24.2	3.8
⑫ 学校教育	12.9	5.1	63.0	16.3	2.7
⑬ 子育て支援	13.0	5.2	60.6	17.5	3.6
⑭ 高齢者福祉	11.9	6.9	56.3	20.9	4.1
⑮ 障害者福祉	12.9	5.5	58.1	20.4	3.1
⑯ 健康推進	12.1	5.9	60.9	18.8	2.3
⑰ 文化・スポーツ	11.9	7.9	60.7	16.4	3.2
⑱ 低所得者支援（生活援護）	13.9	6.4	53.8	20.5	5.2
⑲ みどり・公園	10.3	10.0	51.8	20.7	7.2
⑳ ごみ・リサイクル	9.2	11.0	58.7	17.8	3.3
㉑ 公衆衛生	10.4	6.5	53.1	24.3	5.6
㉒ 駅前などの重点的まちづくり	10.4	7.7	49.4	24.4	8.1
㉓ 住宅・まちづくり	11.4	5.2	54.1	24.3	5.0
㉔ 道路・交通	10.0	5.8	44.8	29.4	10.0
㉕ 区財政の健全化	12.7	4.1	53.6	24.1	5.6
㉖ ユニバーサルデザイン	13.9	4.3	58.6	19.9	3.3
㉗ その他 ()	52.1	3.8	34.6	6.1	3.4

以上で質問は終了です。

次のページからは調査結果を統計的に分析するために必要な事柄をお聞かせください。

28 あなたご自身について

F 1 あなたの性別は、どちらですか。(○は1つ) (N=1,105) NA=1.2

1. 男性	50.9	2. 女性	47.4	3. その他 ()	0.5
-------	------	-------	------	------------	-----

F 2 あなたの年齢は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ) (N=1,105) NA=1.1

1. 18～24歳	5.2	6. 45～49歳	9.0	11. 70～74歳	5.3
2. 25～29歳	7.2	7. 50～54歳	8.6	12. 75～79歳	7.6
3. 30～34歳	9.0	8. 55～59歳	9.5	13. 80～84歳	4.1
4. 35～39歳	9.4	9. 60～64歳	7.1	14. 85歳以上	1.4
5. 40～44歳	7.9	10. 65～69歳	7.5		

F 3 あなたの主なご職業は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ) (N=1,105) NA=1.8

1. 自営業	11.0	7. 家事専業	6.7
2. 会社・団体の役員	9.0	8. 無職	13.9
3. 常勤の勤め人(正社員)	34.7	9. その他 ()	2.2
4. 常勤の勤め人(派遣・契約社員)	6.6		
5. パート・アルバイト・臨時雇用	11.2		
6. 学生	3.0		

F 3で「1」～「6」と答えた方にお聞きします。

F 3-1 主な勤務先または通学先は、どちらですか。(○は1つ) (N=833) NA=1.9

1. 自宅と同じ (テレワーク・オンライン授業等も含む)	10.1	4. 23区以外の東京都	5.2
2. 中野区内	15.2	5. 東京都以外(他の道府県)	4.1
3. 東京23区(中野区を除く)	61.8	6. その他 ()	0.1
		7. 特に決まっていない	1.6

F 4 あなたのお住まいの地域は、どちらですか。(○は1つ) (N=1,105) NA=1.7

1. 南台	6.3	8. 新井	6.0	15. 大和町	4.1
2. 弥生町	5.4	9. 沼袋	4.5	16. 若宮	3.8
3. 本町	9.7	10. 松が丘	2.2	17. 白鷺	2.9
4. 中央	9.3	11. 江原町	2.4	18. 鷺宮	5.3
5. 東中野	7.9	12. 江古田	3.2	19. 上鷺宮	4.5
6. 中野	8.8	13. 丸山	1.2		
7. 上高田	5.2	14. 野方	5.5		

F 5 あなたのお住まいは、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ) (N=1,105) NA=3.4

1. 持家・一戸建て	31.2	4. 賃貸・集合住宅	38.7	7. 間借り	0.5
2. 持家・集合住宅	18.4	5. 公社・公営の住宅	1.5	8. その他	0.5
3. 賃貸・一戸建て	4.0	6. 社宅・寮	1.8	()	()

F 6 現在、一緒にお住まいの方は、あなたを含めて何人ですか。(○は1つ) (N=1,105) NA=4.1

1. 1人	28.2	2. 2人	33.6	3. 3人	17.9	4. 4人	12.4	5. 5人以上	3.8
-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	---------	-----

F 6で「2」～「5」と答えた方にお聞きします。

F 6-1 あなたの同居者は、次のどれにあてはまりますか。(○はいくつでも) (N=748) NA=0.8

1. 配偶者(事実婚を含む)	74.3	6. 孫(孫の配偶者含む)	1.6
2. 子ども(嫁・婿など子どもの配偶者含む)	42.6	7. 親戚	0.5
3. 父母(義理の父母含む)	14.8	8. 友人・知人	2.9
4. 兄弟姉妹	5.9	9. その他()	1.7
5. 祖父母(義理の祖父母含む)	1.3		

===== ご協力ありがとうございました =====

お名前、ご住所等は記入不要です。同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに投かんしてください。

なお、本調査の結果につきましては、なかの区報と中野区ホームページで3月頃に公表する予定です。概要版の冊子をご希望の方は、表紙に記載のお問い合わせ先にご連絡ください。

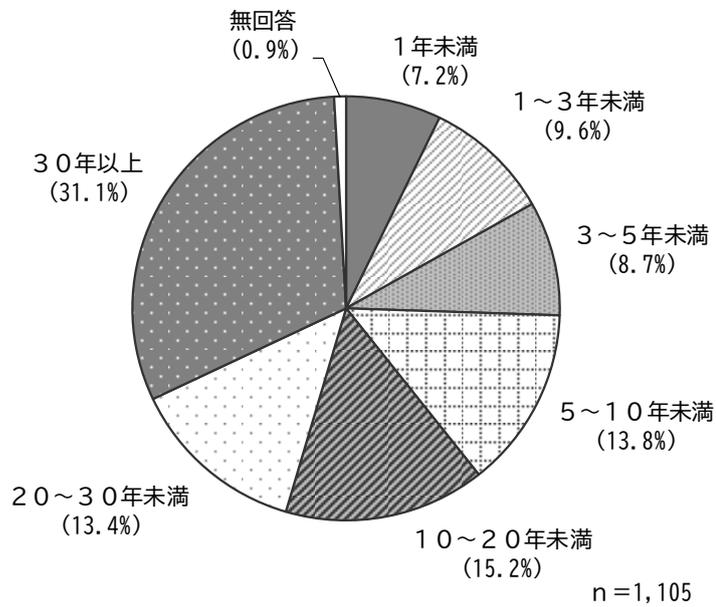
IV 結果と分析

1 定住意向について

(1) 居住年数

「30年以上」住んでいる人が約3割

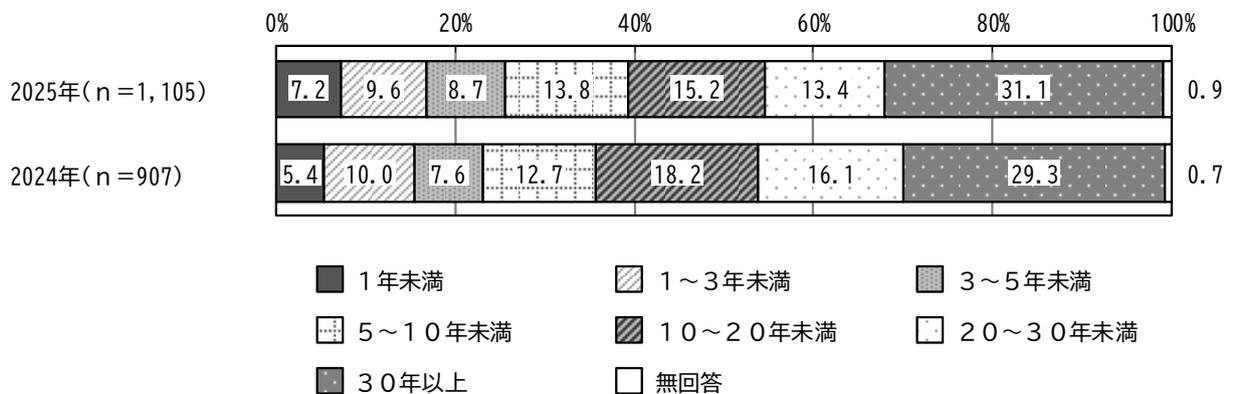
問1 中野区にお住まいになって何年になりますか。(○は1つ)



居住年数を聞いたところ、「30年以上」(31.1%)が約3割で最も高く、次いで「10～20年未満」(15.2%)、「5～10年未満」(13.8%)となっている。

前回調査(2024年)と比較すると、「1年未満」、「30年以上」が1.8ポイント増加している。一方、「10～20年未満」が3.0ポイント、「20～30年未満」が2.7ポイント減少している。

<参考> 前回調査との比較



性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別でみると、「1年未満」は20歳代以下で、「1～3年未満」は20歳代以下、30歳代で、「5～10年未満」は30歳代で、「10～20年未満」は40歳代で、「30年以上」は60歳代、70歳代以上で、それぞれ高くなっている。

		1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～20年未満	20～30年未満	30年以上	無回答
全体 (n=1,105)		7.2	9.6	8.7	13.8	15.2	13.4	31.1	0.9
性別	男性 (n=562)	7.3	10.1	9.1	14.8	13.3	13.2	31.1	1.1
	女性 (n=524)	7.4	8.8	8.4	13.2	17.2	13.7	30.7	0.6
年代別	20歳代以下 (n=138)	26.1	29.7	12.3	9.4	5.1	17.4	0.0	0.0
	30歳代 (n=204)	11.3	19.6	18.1	29.9	8.3	4.9	7.8	0.0
	40歳代 (n=187)	3.2	7.0	9.6	20.3	33.2	7.5	18.2	1.1
	50歳代 (n=200)	4.5	5.0	7.5	10.0	23.0	22.5	27.0	0.5
	60歳代 (n=161)	2.5	1.2	3.7	6.2	10.6	22.4	52.2	1.2
	70歳代以上 (n=203)	1.0	0.0	1.5	3.9	8.4	8.4	74.9	2.0

居住地域別でみると、「1～3年未満」は上鷺宮で高くなっている。また、「30年以上」は大和町でやや高くなっている。

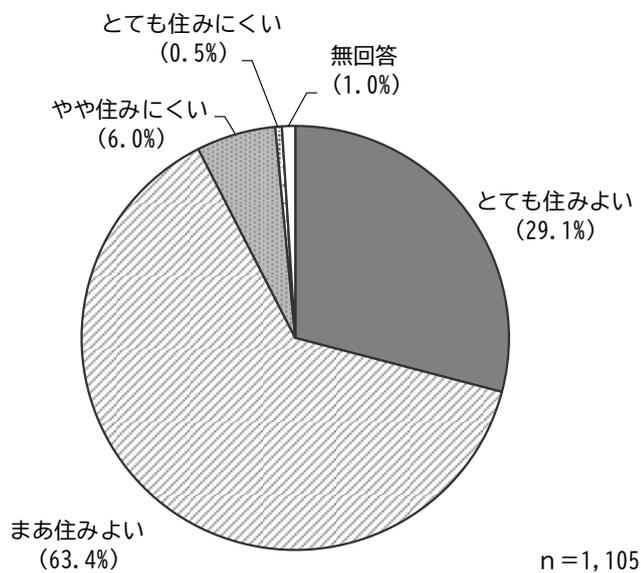
	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～20年未満	20～30年未満	30年以上	無回答	
全体 (n=1,105)	7.2	9.6	8.7	13.8	15.2	13.4	31.1	0.9	
居住地域別	南台 (n=70)	5.7	8.6	11.4	10.0	18.6	12.9	32.9	0.0
	弥生町 (n=60)	10.0	8.3	11.7	13.3	15.0	11.7	30.0	0.0
	本町 (n=107)	9.3	9.3	7.5	12.1	19.6	16.8	24.3	0.9
	中央 (n=103)	9.7	7.8	7.8	14.6	15.5	13.6	29.1	1.9
	東中野 (n=87)	11.5	11.5	5.7	17.2	17.2	10.3	26.4	0.0
	中野 (n=97)	10.3	13.4	11.3	14.4	11.3	12.4	26.8	0.0
	上高田 (n=58)	6.9	8.6	10.3	17.2	8.6	6.9	39.7	1.7
	新井 (n=66)	1.5	10.6	6.1	12.1	13.6	21.2	34.8	0.0
	沼袋 (n=50)	8.0	10.0	6.0	16.0	6.0	16.0	36.0	2.0
	松が丘 (n=24)	12.5	8.3	8.3	4.2	12.5	29.2	25.0	0.0
	江原町 (n=27)	7.4	7.4	11.1	14.8	14.8	11.1	33.3	0.0
	江古田 (n=35)	5.7	14.3	8.6	22.9	8.6	11.4	28.6	0.0
	丸山 (n=13)	0.0	0.0	15.4	0.0	30.8	15.4	38.5	0.0
	野方 (n=61)	6.6	8.2	4.9	6.6	21.3	16.4	36.1	0.0
	大和町 (n=45)	8.9	6.7	11.1	13.3	6.7	11.1	40.0	2.2
	若宮 (n=42)	4.8	2.4	9.5	23.8	14.3	7.1	38.1	0.0
	白鷺 (n=32)	3.1	6.3	15.6	12.5	15.6	9.4	34.4	3.1
鷺宮 (n=59)	1.7	8.5	6.8	18.6	13.6	18.6	32.2	0.0	
上鷺宮 (n=50)	4.0	20.0	8.0	10.0	28.0	6.0	20.0	4.0	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(2) 住みやすさの評価

《住みよい》（「とても住みよい」と「まあ住みよい」）と感じている人が9割前半

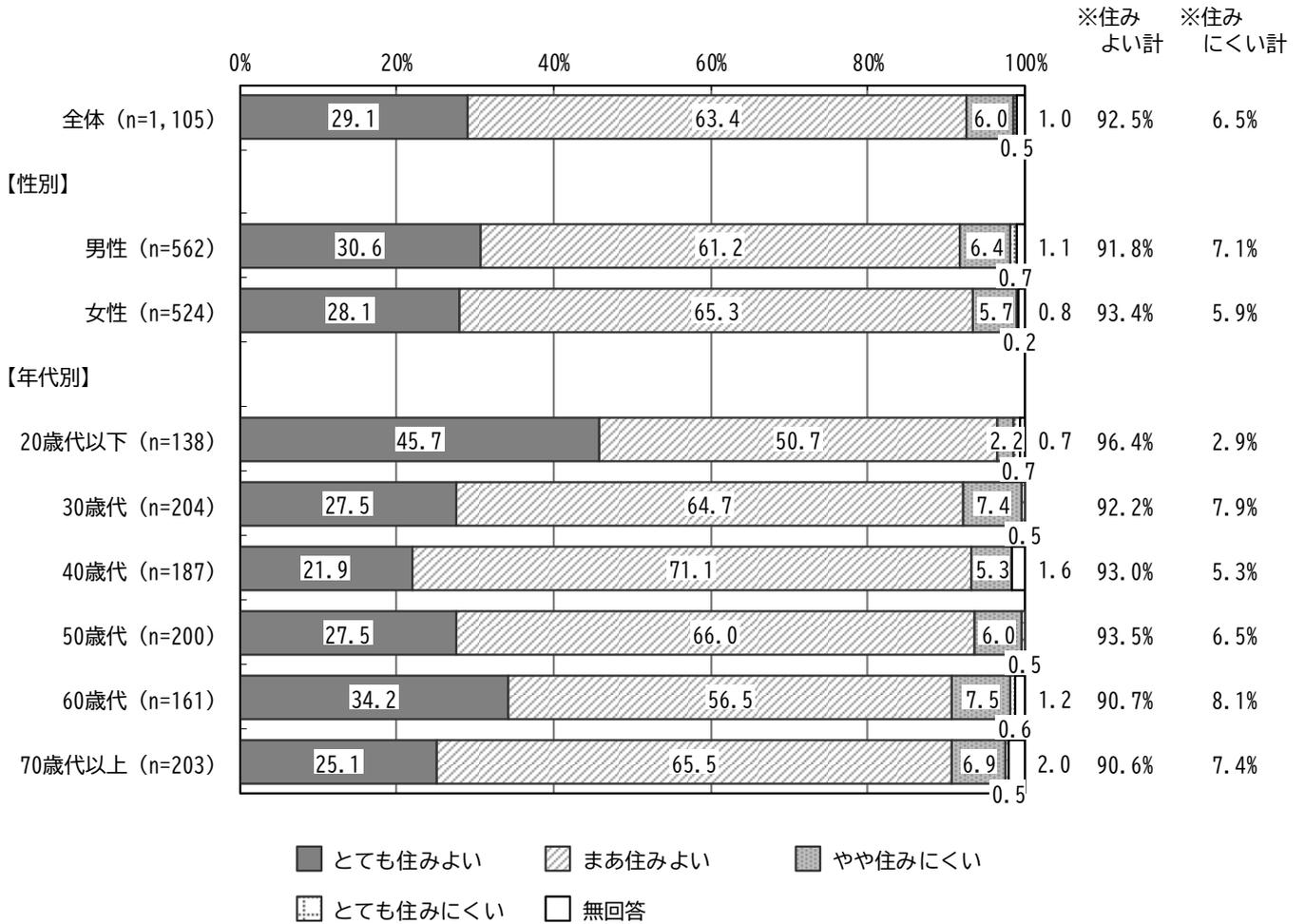
問2 現在の中野区を住みよいと思いますか。(○は1つ)



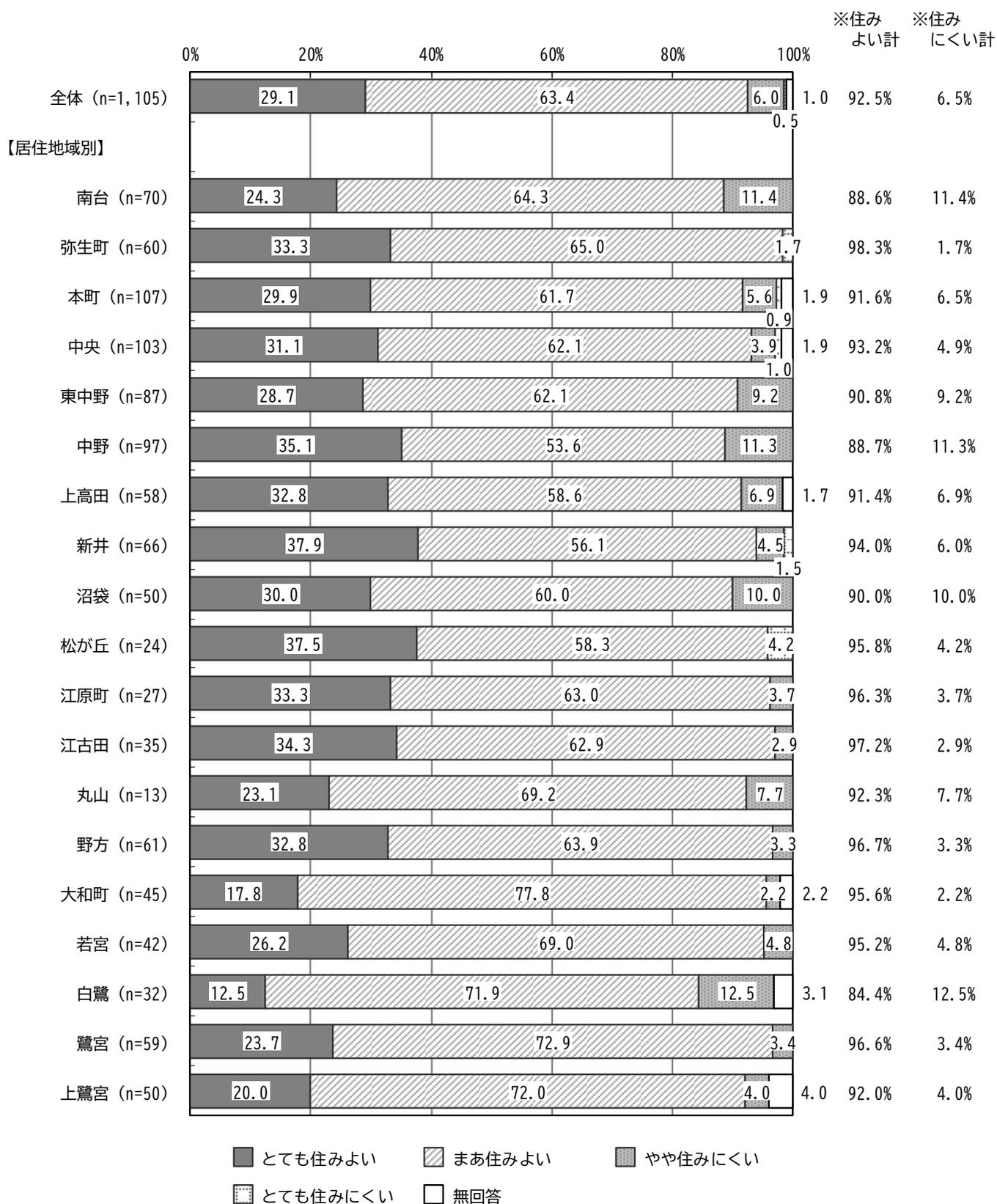
住みやすさを聞いたところ、「とても住みよい」(29.1%)と「まあ住みよい」(63.4%)を合わせた《住みよい》(92.5%)は9割前半となっている。「やや住みにくい」(6.0%)と「とても住みにくい」(0.5%)を合わせた《住みにくい》(6.5%)は1割未満となっている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別でみると、「住みよい」は20歳代以下で9割半ばと最も高くなっている。一方、「住みにくい」は全ての年代で1割未満となっている。



居住地域別でみると、「住みよい」は弥生町、江古田で9割後半となっている。一方、「住みにくい」は白鷺で1割前半となっている。

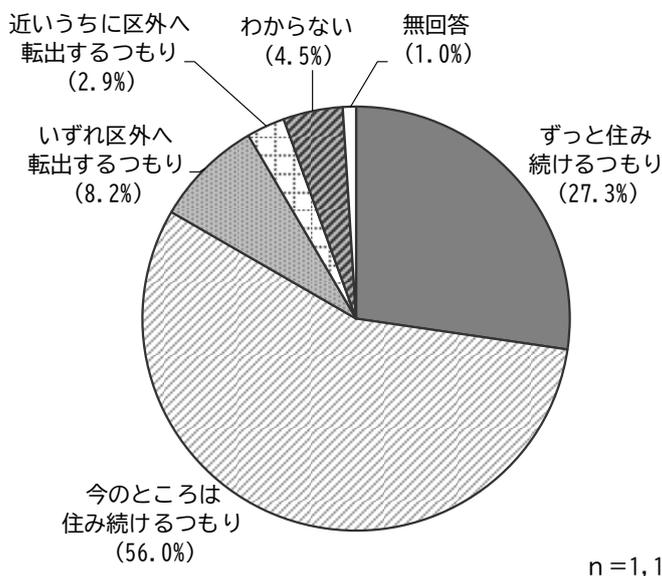


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(3) 定住・転出意向

《定住意向あり》（「ずっと住み続けるつもり」と「今のところは住み続けるつもり」）が8割前半

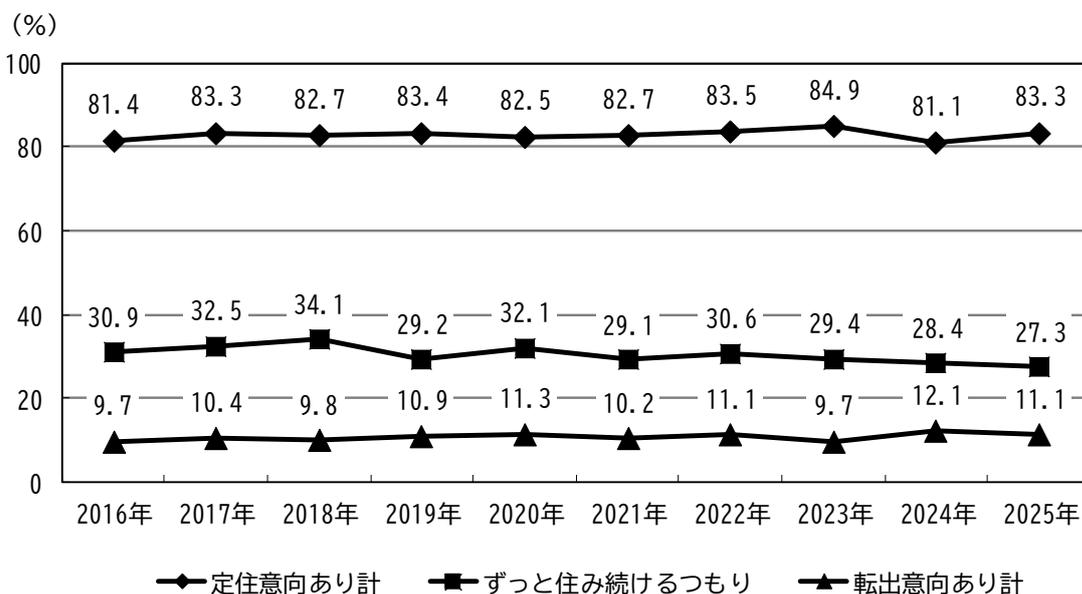
問3 今後も引き続き中野区にお住まいになりますか。(○は1つ)



定住意向を聞いたところ、「ずっと住み続けるつもり」(27.3%)と「今のところは住み続けるつもり」(56.0%)を合わせた《定住意向あり》(83.3%)は8割前半となっている。一方、「いずれ区外へ転出するつもり」(8.2%)と「近いうちに区外へ転出するつもり」(2.9%)を合わせた《転出意向あり》(11.1%)は約1割となっている。

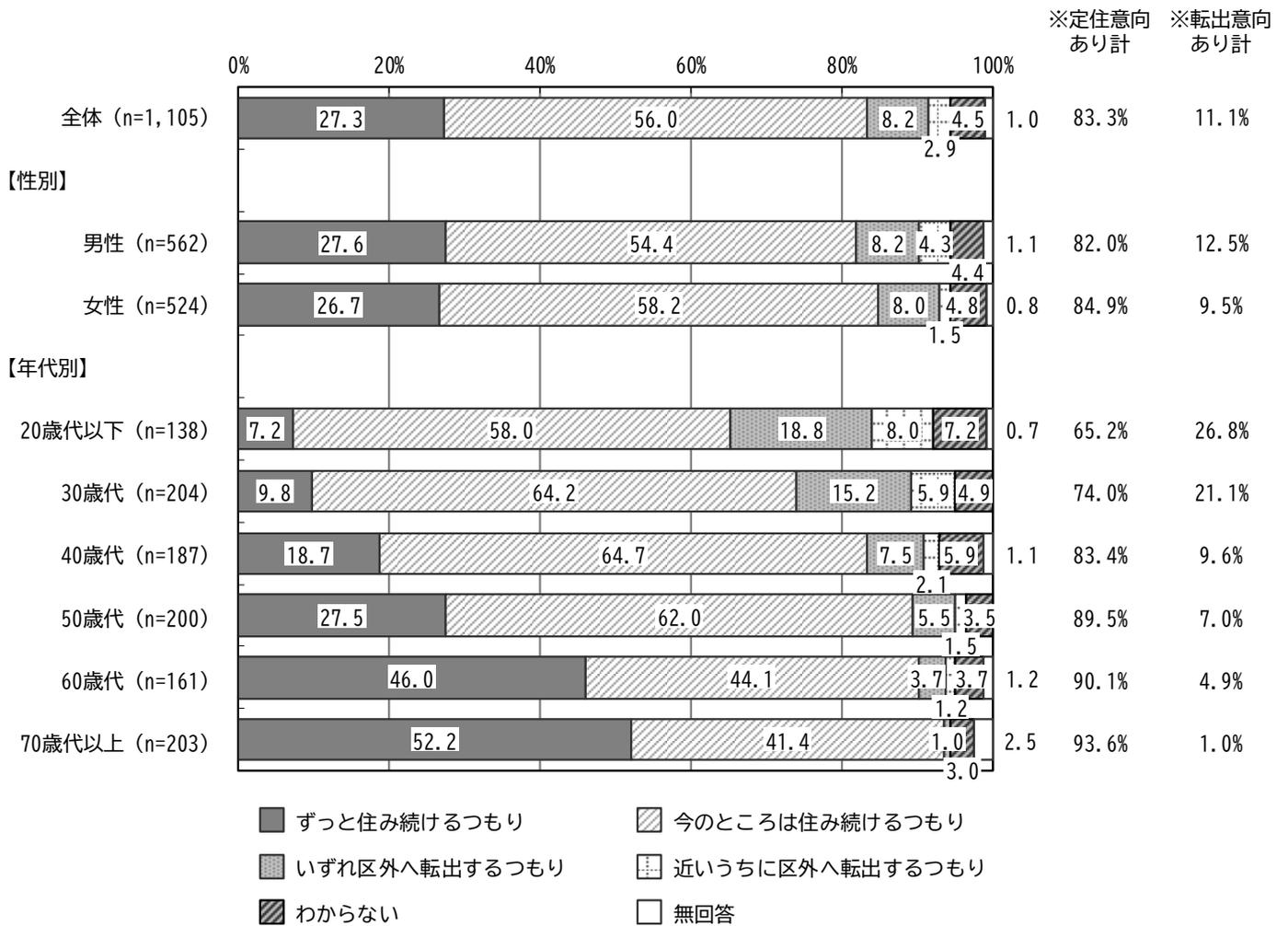
定住・転出意向の推移をみると、2024年と比較して《定住意向あり》が高く、《転出意向あり》が低くなっている。

<参考> 経年調査との比較

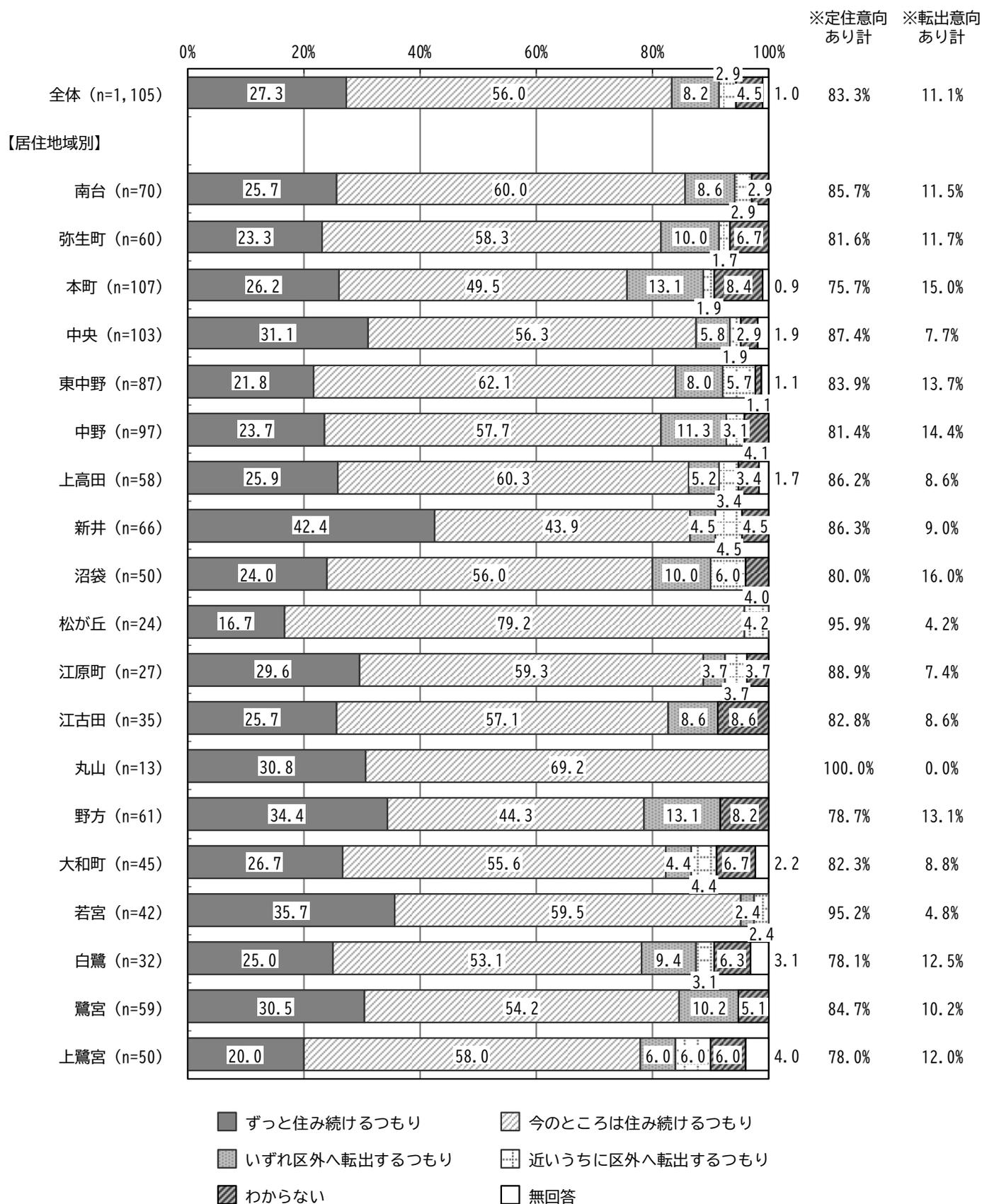


性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別でみると、「ずっと住み続けるつもり」は20歳代以下、30歳代で1割未満となっており、70歳代以上では5割前半と高くなっている。一方、「転出意向あり」は20歳代以下で2割半ばと高くなっている。



居住地域別でみると、「定住意向あり」は若宮で9割半ばと高くなっている。一方、「転出意向あり」は本町、中野、沼袋で1割半ばとやや高くなっている。



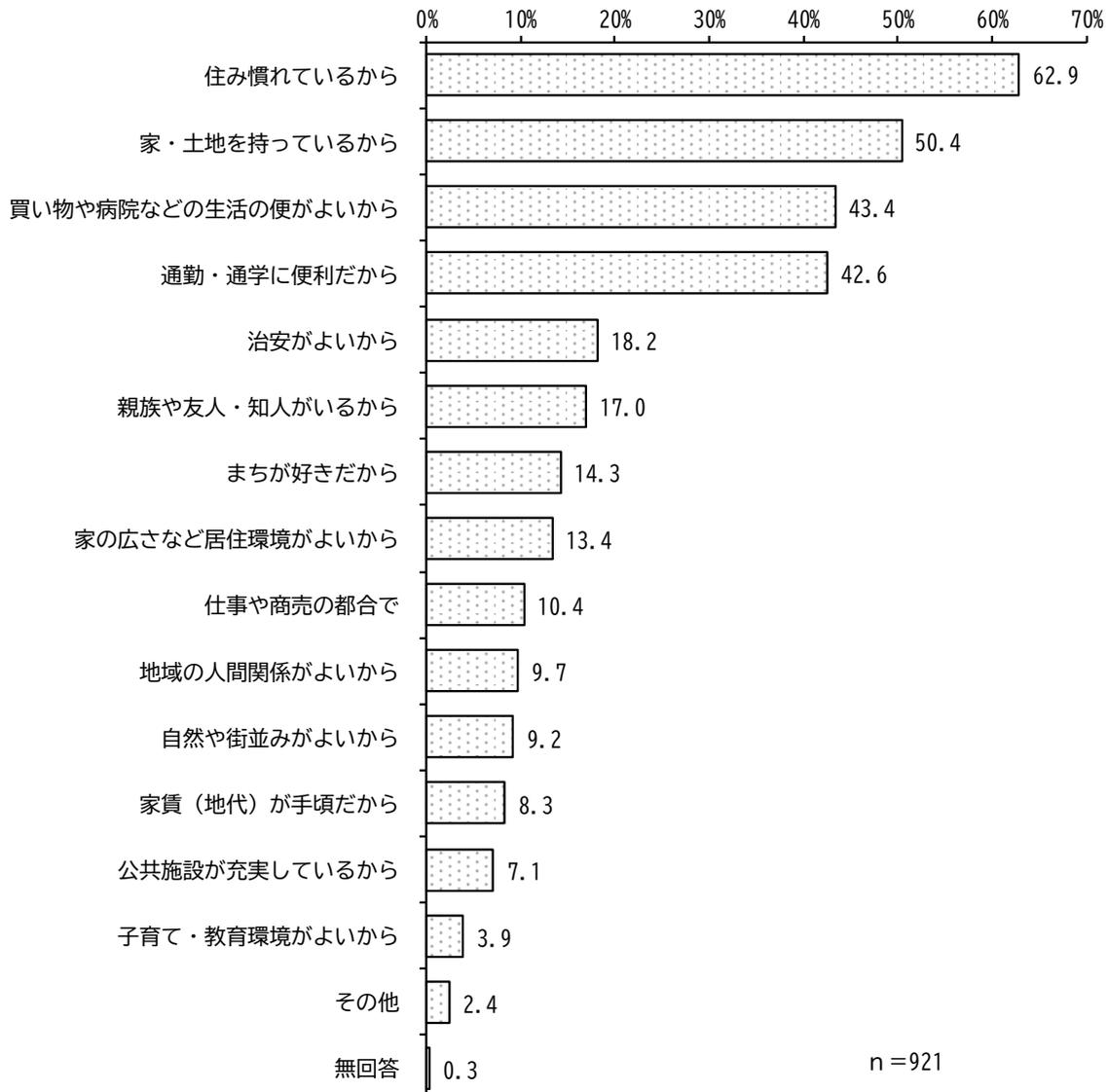
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(4) 定住理由

「住み慣れているから」が6割前半で最も高い

【問3で「1」「2」と答えた方にお聞きします。】

問3-1 今後も中野区に住み続ける（住み続けたい）理由は何ですか。（○はいくつでも）



定住を考えている人に定住理由（複数回答）を聞いたところ、「住み慣れているから」（62.9%）が6割前半で最も高く、次いで「家・土地を持っているから」（50.4%）、「買い物や病院などの生活の便がよいから」（43.4%）、「通勤・通学に便利だから」（42.6%）となっている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別でみると、「家・土地を持っているから」は60歳代、70歳代以上で、「通勤・通学に便利だから」は20歳代以下、40歳代で、それぞれ高くなっている。

		住み慣れているから	家・土地を持っているから	買い物や病院などの生活の便がよいから	通勤・通学に便利だから	治安がよいから	親族や友人・知人がいるから	まちが好きだから	家の広さなど居住環境がよいから	仕事や商売の都合で	地域の人間関係がよいから	自然や街並みがよいから	家賃（地代）が手頃だから	公共施設が充実しているから	子育て・教育環境がよいから	その他	無回答
全体 (n=921)		62.9	50.4	43.4	42.6	18.2	17.0	14.3	13.4	10.4	9.7	9.2	8.3	7.1	3.9	2.4	0.3
性別	男性 (n=461)	65.5	48.4	41.9	43.8	18.0	13.2	13.4	13.2	13.2	9.3	9.1	11.1	6.9	3.0	2.4	0.2
	女性 (n=445)	60.2	52.8	45.4	42.2	18.2	20.9	15.5	13.5	7.6	10.1	9.4	5.4	7.2	4.9	2.2	0.4
年代別	20歳代以下 (n=90)	54.4	20.0	36.7	63.3	23.3	12.2	8.9	10.0	17.8	3.3	4.4	13.3	6.7	3.3	3.3	0.0
	30歳代 (n=151)	51.0	29.8	34.4	49.7	19.2	10.6	17.2	13.9	9.3	4.0	11.9	17.2	6.6	9.3	3.3	0.0
	40歳代 (n=156)	65.4	45.5	33.3	57.7	17.9	21.2	12.2	12.8	9.0	6.4	7.7	7.7	6.4	3.8	2.6	0.0
	50歳代 (n=179)	63.1	59.2	43.6	48.6	17.3	12.8	15.6	10.6	8.9	11.2	9.5	6.1	7.3	3.9	2.2	0.6
	60歳代 (n=145)	66.2	64.1	53.1	33.8	15.2	21.4	15.9	12.4	15.9	13.1	10.3	4.8	9.7	1.4	2.1	0.7
	70歳代以上 (n=190)	71.6	66.3	54.2	17.4	17.4	21.6	14.7	17.9	6.3	16.3	9.5	3.7	6.3	2.1	1.6	0.5

居住地域別でみると、「住み慣れているから」は沼袋、上鷲宮で、「家・土地を持っているから」は野方、若宮で、「買い物や病院などの生活の便がよいから」は新井、中野、野方で、「通勤・通学に便利だから」は本町、中野、新井で、「親族や友人・知人がいるから」は新井で、それぞれ高くなっている。

	住み慣れているから	家・土地を持っているから	買い物や病院などの生活の便がよいから	通勤・通学に便利だから	治安がよいから	親族や友人・知人がいるから	まちが好きだから	家の広さなど居住環境がよいから	仕事や商売の都合で	地域の人間関係がよいから	自然や街並みがよいから	家賃（地代）が手頃だから	公共施設が充実しているから	子育て・教育環境がよいから	その他	無回答	
全体 (n=921)	62.9	50.4	43.4	42.6	18.2	17.0	14.3	13.4	10.4	9.7	9.2	8.3	7.1	3.9	2.4	0.3	
居住地域別	南台 (n=60)	53.3	51.7	38.3	25.0	13.3	11.7	6.7	13.3	8.3	13.3	6.7	5.0	1.7	5.0	5.0	0.0
	弥生町 (n=49)	55.1	42.9	42.9	51.0	18.4	10.2	4.1	8.2	14.3	8.2	0.0	6.1	4.1	0.0	2.0	0.0
	本町 (n=81)	66.7	48.1	48.1	60.5	23.5	23.5	17.3	13.6	13.6	7.4	6.2	6.2	8.6	1.2	1.2	0.0
	中央 (n=90)	72.2	52.2	45.6	51.1	16.7	24.4	17.8	15.6	8.9	12.2	6.7	4.4	8.9	2.2	1.1	1.1
	東中野 (n=73)	58.9	45.2	45.2	47.9	9.6	9.6	15.1	13.7	13.7	6.8	5.5	16.4	9.6	4.1	2.7	0.0
	中野 (n=79)	55.7	49.4	57.0	53.2	20.3	13.9	20.3	13.9	12.7	8.9	7.6	7.6	10.1	5.1	6.3	1.3
	上高田 (n=50)	52.0	50.0	42.0	42.0	12.0	18.0	20.0	6.0	18.0	12.0	12.0	8.0	4.0	2.0	0.0	0.0
	新井 (n=57)	70.2	52.6	61.4	52.6	17.5	33.3	26.3	15.8	15.8	12.3	12.3	8.8	7.0	8.8	1.8	0.0
	沼袋 (n=40)	80.0	40.0	25.0	37.5	15.0	7.5	10.0	2.5	10.0	2.5	12.5	15.0	10.0	0.0	5.0	0.0
	松が丘 (n=23)	52.2	43.5	47.8	47.8	21.7	13.0	17.4	17.4	8.7	13.0	8.7	8.7	13.0	4.3	0.0	0.0
	江原町 (n=24)	70.8	50.0	58.3	33.3	25.0	0.0	12.5	12.5	8.3	0.0	16.7	12.5	8.3	0.0	0.0	0.0
	江古田 (n=29)	69.0	48.3	44.8	27.6	31.0	24.1	10.3	27.6	6.9	17.2	24.1	6.9	20.7	10.3	3.4	0.0
	丸山 (n=13)	76.9	69.2	38.5	30.8	15.4	23.1	7.7	0.0	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0
	野方 (n=48)	64.6	60.4	54.2	47.9	20.8	16.7	18.8	12.5	10.4	8.3	18.8	10.4	14.6	10.4	2.1	0.0
	大和町 (n=37)	48.6	54.1	40.5	35.1	10.8	16.2	13.5	8.1	5.4	2.7	8.1	2.7	0.0	2.7	0.0	0.0
	若宮 (n=40)	47.5	62.5	30.0	40.0	20.0	17.5	7.5	7.5	7.5	17.5	10.0	7.5	5.0	10.0	0.0	0.0
	白鷲 (n=25)	52.0	36.0	24.0	20.0	12.0	24.0	16.0	8.0	4.0	8.0	4.0	12.0	0.0	0.0	8.0	0.0
	鷲宮 (n=50)	70.0	52.0	34.0	22.0	18.0	14.0	8.0	8.0	6.0	10.0	10.0	14.0	2.0	2.0	2.0	2.0
上鷲宮 (n=39)	82.1	53.8	17.9	38.5	30.8	10.3	7.7	38.5	2.6	12.8	15.4	2.6	2.6	5.1	0.0	0.0	

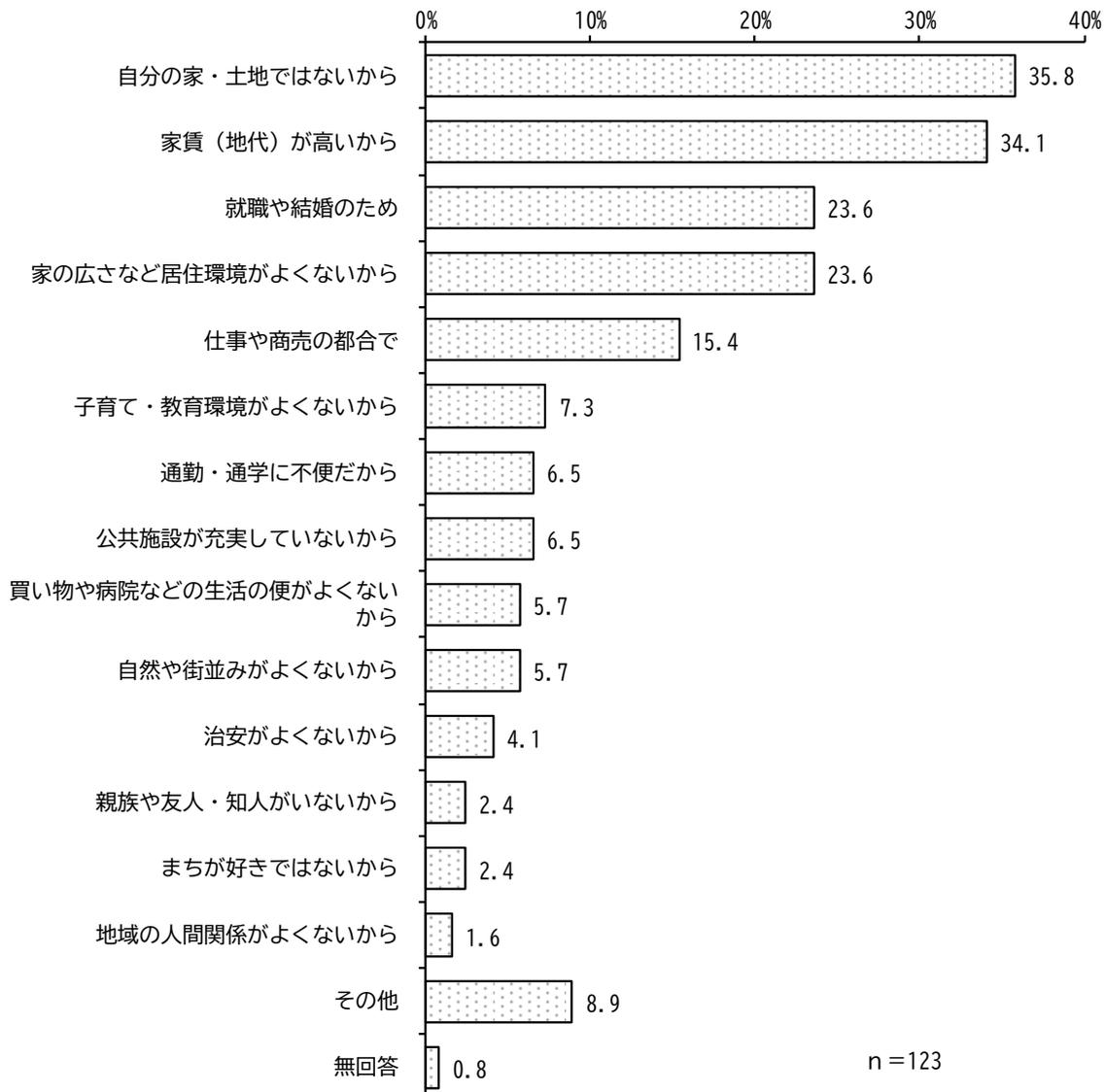
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(5) 転出理由

「自分の家・土地ではないから」が3割半ばで最も高い

【問3で「3」「4」と答えた方にお聞きします。】

問3-2 中野区から転出する（転出したい）理由は何ですか。（○はいくつでも）



転出を考えている人に転出理由（複数回答）を聞いたところ、「自分の家・土地ではないから」（35.8%）が3割半ばで最も高く、次いで「家賃（地代）が高いから」（34.1%）、「就職や結婚のため」、「家の広さなど居住環境がよくないから」（23.6%）となっている。

性別で見ると、「仕事や商売の都合で」は女性に比べ男性で高くなっている。

年代別で見ると、「家賃（地代）が高いから」は30歳代で、「就職や結婚のため」は20歳代以下で、それぞれ高くなっている。

		自分の家・土地ではないから	家賃（地代）が高いから	就職や結婚のため	家の広さなど居住環境がよくないから	仕事や商売の都合で	子育て・教育環境がよくないから	通勤・通学に不便だから	公共施設が充実していないから	買い物や病院などの生活の便がよくないから	自然や街並みがよくないから	治安がよくないから	親族や友人・知人がいないから	まちが好きではないから	地域の人間関係がよくないから	その他	無回答
全体 (n=123)		35.8	34.1	23.6	23.6	15.4	7.3	6.5	6.5	5.7	5.7	4.1	2.4	2.4	1.6	8.9	0.8
性別	男性 (n=70)	31.4	32.9	25.7	24.3	21.4	5.7	5.7	5.7	1.4	4.3	1.4	1.4	0.0	1.4	4.3	0.0
	女性 (n=50)	42.0	36.0	22.0	20.0	6.0	10.0	8.0	8.0	12.0	8.0	8.0	4.0	6.0	2.0	16.0	0.0
年代別	20歳代以下 (n=37)	18.9	29.7	51.4	18.9	10.8	8.1	5.4	2.7	2.7	2.7	5.4	0.0	2.7	5.4	2.7	0.0
	30歳代 (n=43)	39.5	44.2	20.9	30.2	14.0	9.3	7.0	7.0	9.3	4.7	4.7	2.3	2.3	0.0	7.0	0.0
	40歳代 (n=18)	44.4	22.2	5.6	27.8	33.3	11.1	11.1	16.7	5.6	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	11.1	0.0
	50歳代 (n=14)	57.1	28.6	0.0	14.3	14.3	0.0	7.1	7.1	7.1	21.4	0.0	7.1	7.1	0.0	14.3	0.0
	60歳代 (n=8)	37.5	37.5	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0
	70歳代以上 (n=2)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

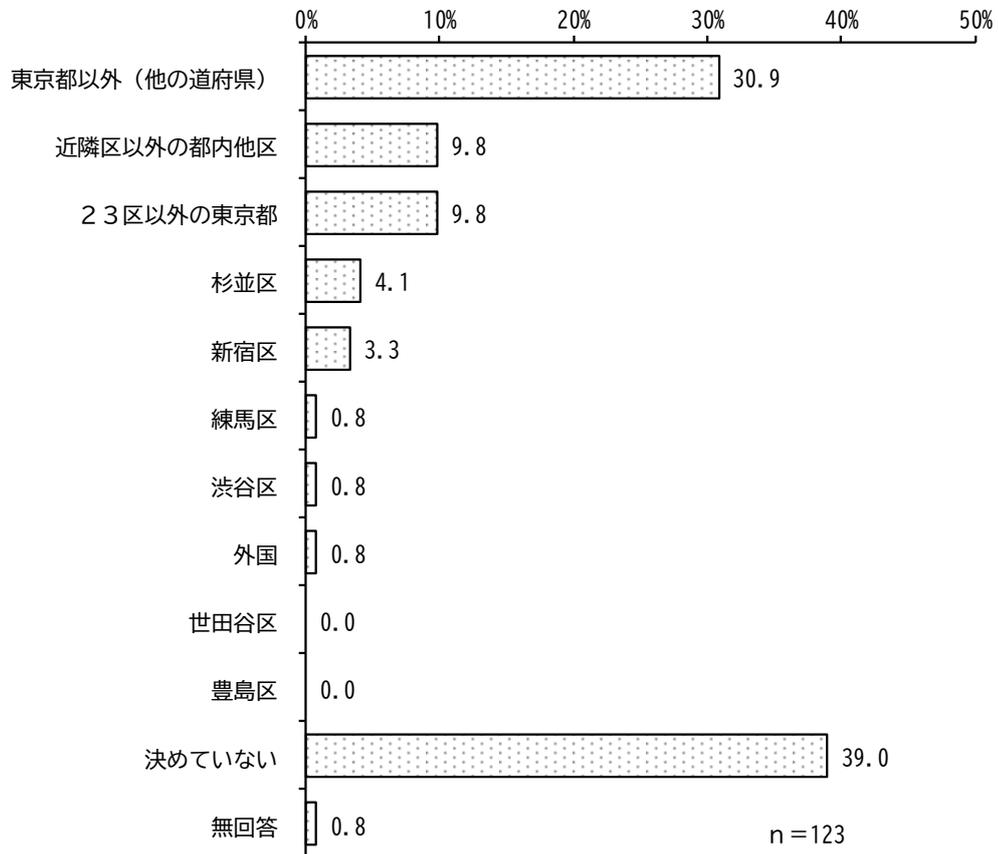
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(6) 転居予定先

「東京都以外（他の道府県）」が約3割

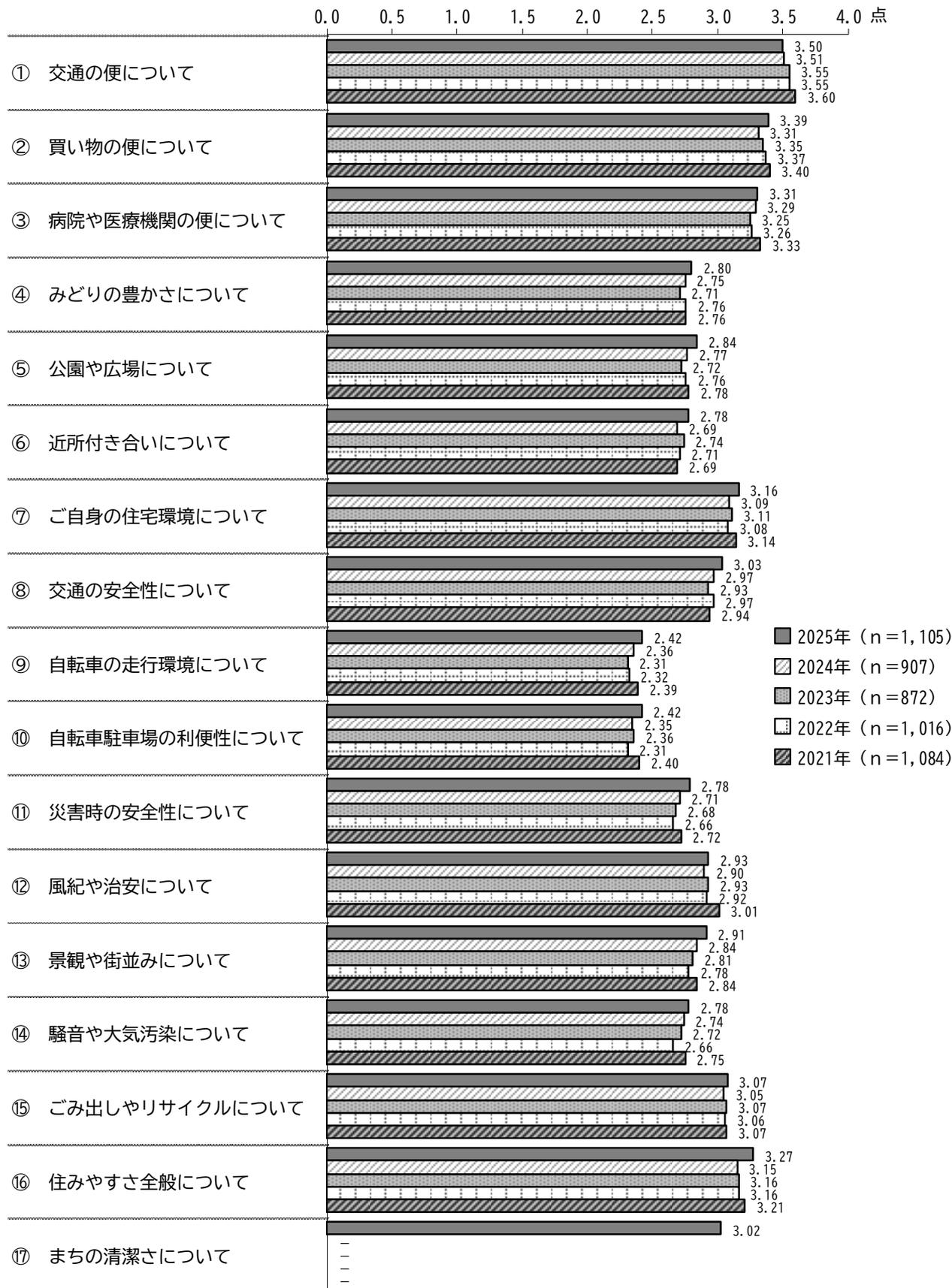
【問3で「3」「4」と答えた方にお聞きします。】

問3-3 転居予定先はどちらですか。(○は1つ)



転出を考えている人に転出先を聞いたところ、「東京都以外（他の道府県）」（30.9%）が約3割で最も高く、次いで「近隣区以外の都内他区」、「23区以外の東京都」（9.8%）となっている。一方、「決めていない」（39.0%）は約4割となっている。

生活環境の評価を平均値で過去の調査結果（2021～2024年）と比較すると、「①交通の便について」以外の項目で昨年（2024年）の評価を上回っている。



※「よい」を4点、「どちらかといえばよい」を3点、「どちらかといえば悪い」を2点、「悪い」を1点として、「無回答」を除いた母数で割り、算出している。

※『⑰まちの清潔さについて』は2025年から調査開始。

「よい評価」について、居住地域別でみると、「④みどりの豊かさについて」、「⑤公園や広場について」は新井、沼袋、江古田で、「⑧交通の安全性について」は江古田で、「⑩自転車駐車場の利便性について」は白鷺、鷺宮で、「⑪災害時の安全性について」は弥生町、江古田、上鷺宮で、「⑬景観や街並みについて」は沼袋、江古田、上鷺宮で、「⑭騒音や大気汚染について」は若宮、白鷺、上鷺宮で、それぞれ高くなっている。

	①交通の便について	②買い物の便について	③病院や医療機関の便について	④みどりの豊かさについて	⑤公園や広場について	⑥近所付き合いについて	⑦ご自身の住宅環境について	⑧交通の安全性について	⑨自転車の走行環境について	⑩自転車駐車場の利便性について	⑪災害時の安全性について	⑫風紀や治安について	⑬景観や街並みについて	⑭騒音や大気汚染について	⑮ごみ出しやリサイクルについて	⑯住みやすさ全般について	⑰まちの清潔さについて	
全体 (n=1,105)	91.2	88.4	87.9	67.0	66.6	68.8	85.8	77.4	45.1	44.1	69.6	78.7	75.2	67.2	82.8	93.5	82.3	
居住地域別	南台 (n=70)	91.5	88.6	88.6	61.4	67.2	75.8	85.8	81.5	48.6	42.8	60.0	72.8	78.6	68.5	88.6	92.9	85.7
	弥生町 (n=60)	93.3	93.4	85.0	68.3	73.3	71.7	90.0	81.7	51.6	50.0	81.7	91.7	75.0	70.0	88.3	96.7	88.3
	本町 (n=107)	97.2	92.5	92.6	65.4	71.0	65.4	86.9	82.2	48.6	43.9	71.0	81.3	67.3	62.6	81.3	95.3	84.1
	中央 (n=103)	97.1	94.2	93.2	68.0	63.1	62.2	86.4	80.6	51.5	45.6	70.9	78.7	77.7	64.0	84.5	96.1	84.4
	東中野 (n=87)	97.7	95.4	88.5	55.1	49.4	67.8	87.3	77.0	51.7	48.2	68.9	73.6	73.5	54.0	77.0	95.4	78.1
	中野 (n=97)	93.8	95.8	93.8	55.7	68.0	62.9	85.6	78.3	35.1	38.1	67.0	63.9	66.0	54.7	80.4	93.9	66.0
	上高田 (n=58)	94.8	87.9	89.7	63.8	72.4	65.5	79.3	75.9	41.3	31.1	65.5	75.9	72.4	72.4	81.0	86.2	77.6
	新井 (n=66)	96.9	92.4	94.0	78.8	86.4	72.8	81.8	75.8	24.3	28.7	65.2	68.2	72.8	68.2	71.2	94.0	65.2
	沼袋 (n=50)	86.0	70.0	78.0	88.0	86.0	60.0	80.0	72.0	58.0	54.0	78.0	86.0	86.0	76.0	92.0	90.0	90.0
	松が丘 (n=24)	95.8	87.5	83.3	95.8	83.3	83.3	91.7	79.2	29.1	37.5	75.0	95.9	87.5	79.2	79.2	100.0	91.7
	江原町 (n=27)	88.9	96.3	92.6	85.2	77.8	85.2	85.2	88.9	70.4	51.8	88.9	92.6	85.2	85.2	88.8	96.3	96.3
	江古田 (n=35)	94.3	82.9	91.4	85.7	82.9	68.6	91.4	88.6	37.2	31.5	82.9	91.4	91.5	71.4	91.4	97.1	88.6
	丸山 (n=13)	92.3	92.3	84.6	61.5	53.9	76.9	92.3	84.6	38.5	69.2	53.8	100.0	92.3	69.2	69.3	92.3	100.0
	野方 (n=61)	90.1	80.3	93.5	67.2	65.5	70.5	90.1	70.5	39.3	34.5	60.7	85.3	68.8	59.0	88.5	93.5	80.3
	大和町 (n=45)	91.2	86.6	86.7	68.8	71.1	77.8	91.1	73.3	40.0	44.4	71.1	73.3	82.2	66.7	82.2	93.3	84.5
	若宮 (n=42)	80.9	83.3	78.6	45.3	38.1	71.4	83.3	64.3	40.5	42.9	52.3	83.4	73.8	83.3	76.2	90.5	85.7
	白鷺 (n=32)	81.3	78.1	81.3	71.9	62.5	68.8	71.9	65.7	37.5	59.4	62.6	75.0	65.6	81.3	78.1	87.6	84.4
	鷺宮 (n=59)	76.3	84.8	84.7	62.7	50.9	72.9	88.1	74.5	52.6	59.3	72.9	83.1	74.6	72.9	84.7	93.2	91.5
	上鷺宮 (n=50)	80.0	80.0	72.0	74.0	56.0	70.0	92.0	84.0	56.0	52.0	84.0	84.0	88.0	84.0	90.0	96.0	90.0

※上記表は「よい評価」の割合を示したものである。

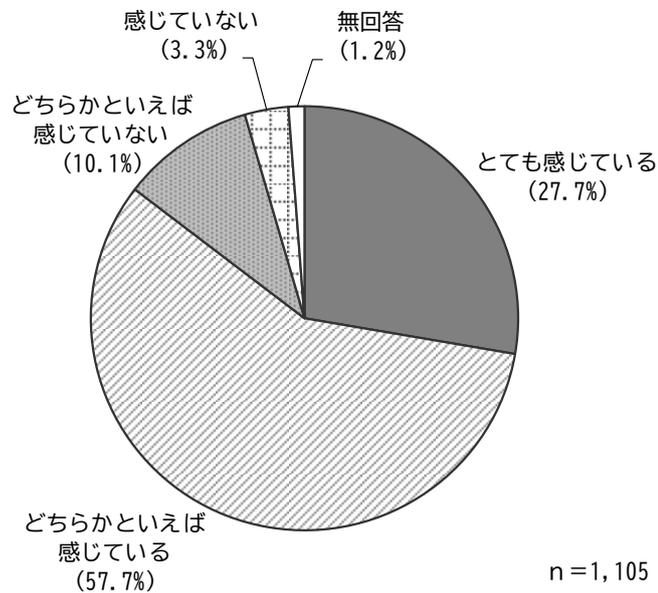
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

3 中野区への愛着度、中野区の魅力について

(1) 中野区への愛着度

愛着を「感じている」(「とても感じている」と「どちらかといえば感じている」)が8割半ば

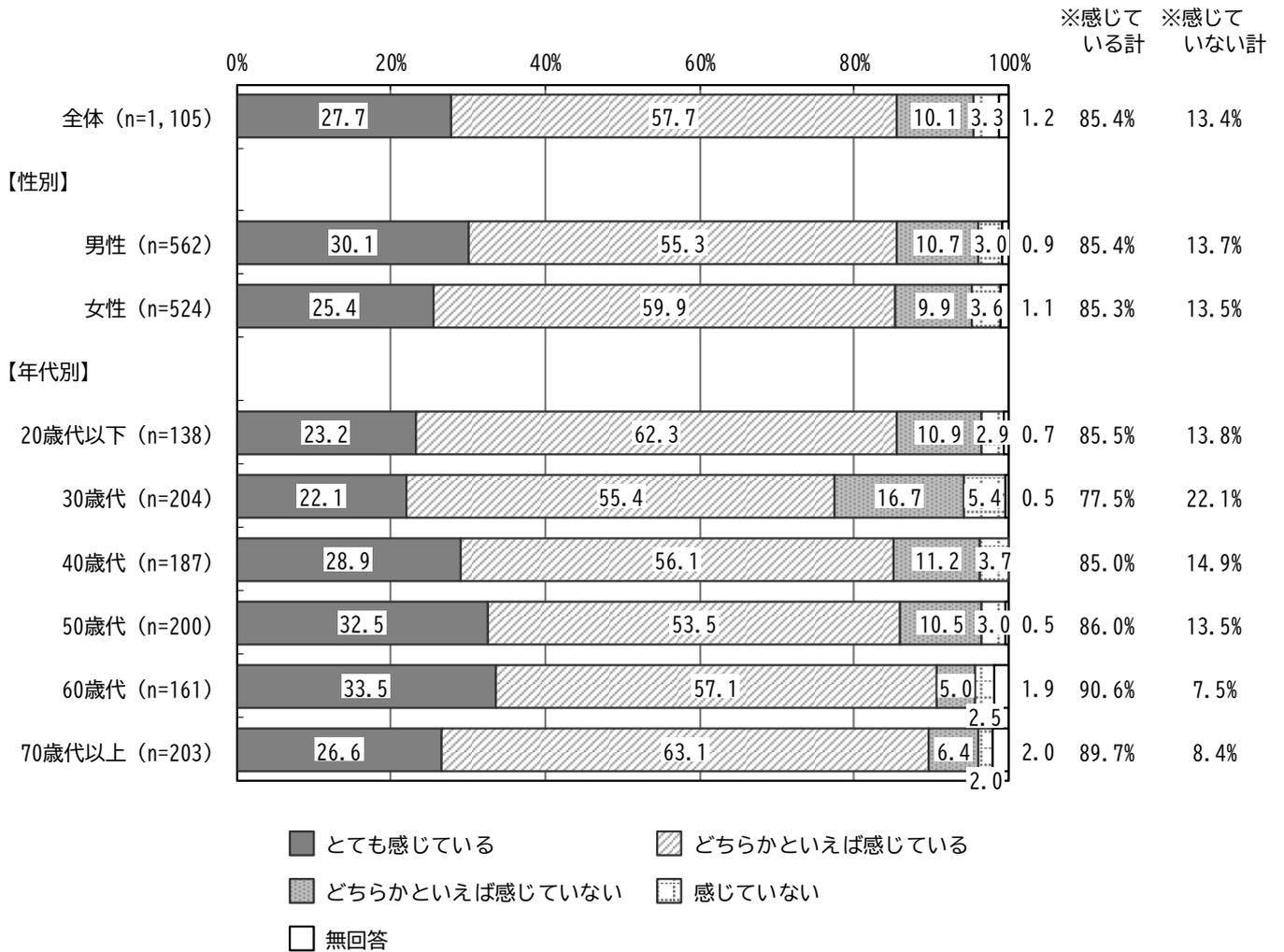
問5 中野区に愛着を感じていますか。(○は1つ)



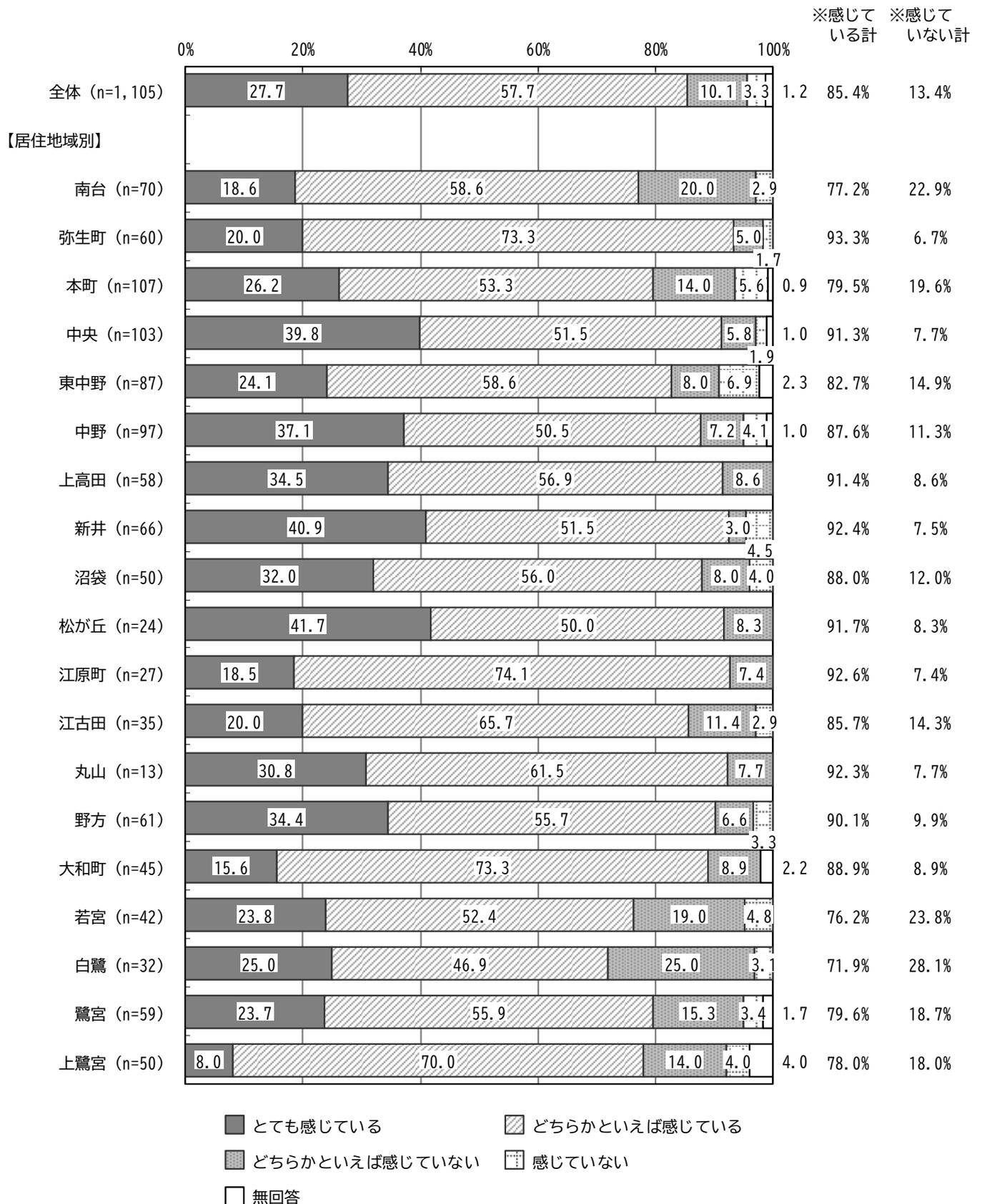
中野区への愛着度を聞いたところ、「とても感じている」(27.7%)と「どちらかといえば感じている」(57.7%)を合わせた「感じている」(85.4%)は8割半ばとなっている。一方、「どちらかといえば感じていない」(10.1%)と「感じていない」(3.3%)を合わせた「感じていない」(13.4%)は1割前半となっている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別でみると、「感じていない」は30歳代で2割前半とやや高くなっている。



居住地域別でみると、「とても感じている」は中央、新井で約4割と高くなっている。《感じていない》は若宮で2割前半、白鷺で2割後半と高くなっている。

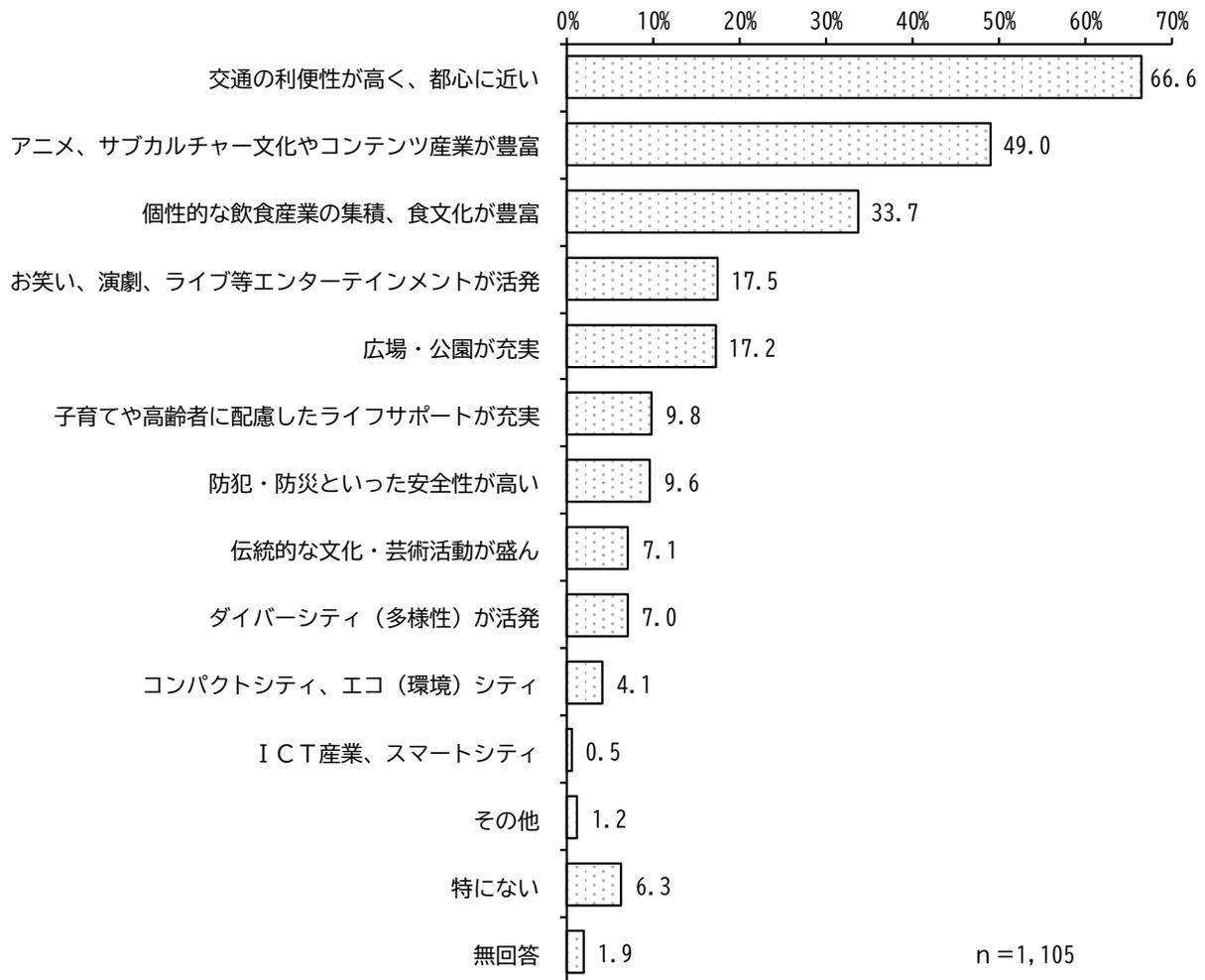


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(2) 中野区の街の魅力(ブランドイメージ)

「交通の利便性が高く、都心に近い」が6割半ばで最も高い

問6 中野区の街の魅力(ブランドイメージ)としてふさわしいと思うものをお選びください。(〇はいくつでも)



中野区の街の魅力(ブランドイメージ)(複数回答)を聞いたところ、「交通の利便性が高く、都心に近い」(66.6%)が6割半ばで最も高く、次いで「アニメ、サブカルチャー文化やコンテンツ産業が豊富」(49.0%)、「個性的な飲食産業の集積、食文化が豊富」(33.7%)、「お笑い、演劇、ライブ等エンターテインメントが活発」(17.5%)となっている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別でみると、「交通の利便性が高く、都心に近い」は60歳代で、「アニメ、サブカルチャー文化やコンテンツ産業が豊富」は30歳代から50歳代で、「個性的な飲食産業の集積、食文化が豊富」は30歳代で、それぞれ高くなっている。

		交通の利便性が高く、都心に近い	アニメ、サブカルチャー文化やコンテンツ産業が豊富	個性的な飲食産業の集積、食文化が豊富	お笑い、演劇、ライブ等エンターテインメントが活発	広場・公園が充実	子育てや高齢者に配慮したライフサポートが充実	防犯・防災といった安全性が高い	伝統的な文化・芸術活動が盛ん	ダイバーシティ（多様性）が活発	コンパクトシティ、エコ（環境）シティ	ICT産業、スマートシティ	その他	特になし	無回答
全体 (n=1,105)		66.6	49.0	33.7	17.5	17.2	9.8	9.6	7.1	7.0	4.1	0.5	1.2	6.3	1.9
性別	男性 (n=562)	65.5	52.8	34.5	18.7	17.4	8.9	10.7	6.9	6.8	4.8	0.7	1.2	5.5	1.1
	女性 (n=524)	68.5	45.0	33.2	16.4	16.8	9.9	8.4	7.4	6.9	3.4	0.2	1.1	7.3	2.1
年代別	20歳代以下 (n=138)	55.1	49.3	38.4	15.9	20.3	9.4	2.9	8.0	5.8	5.8	0.7	0.7	2.9	2.2
	30歳代 (n=204)	58.8	60.3	45.1	19.6	20.1	9.8	6.4	8.3	10.3	5.4	0.5	1.0	5.9	1.0
	40歳代 (n=187)	59.4	64.7	41.2	23.0	13.4	9.1	7.0	3.7	5.3	3.7	1.1	1.6	5.9	0.0
	50歳代 (n=200)	70.5	64.0	37.5	23.0	12.0	7.5	6.0	10.0	8.0	2.0	0.5	3.0	6.0	1.0
	60歳代 (n=161)	78.9	42.9	24.2	18.0	17.4	8.1	16.8	7.5	8.1	4.3	0.0	0.0	5.0	2.5
	70歳代以上 (n=203)	76.4	14.8	17.2	5.9	20.2	13.3	17.2	5.4	3.9	3.9	0.0	0.5	11.3	3.0

居住地域別でみると、「交通の利便性が高く、都心に近い」は本町、中央、新井で、「アニメ、サブカルチャー文化やコンテンツ産業が豊富」は中野、沼袋、江古田で、「防犯・防災といった安全性が高い」は江古田、上鷺宮で、それぞれ高くなっている。

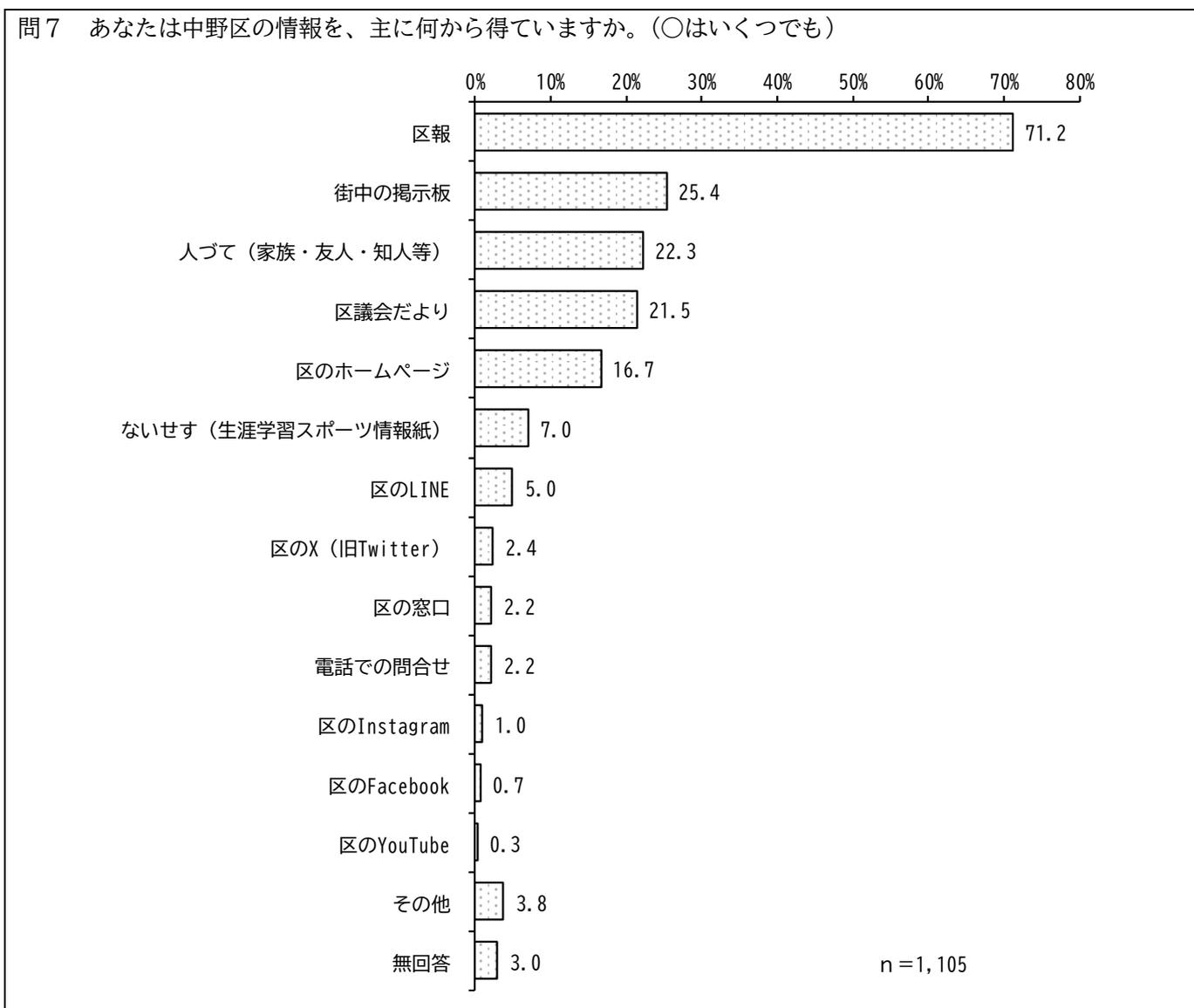
	交通の利便性が高く、都心に近い	アニメ、サブカルチャー文化やコンテンツ産業が豊富	個性的な飲食産業の集積、食文化が豊富	お笑い、演劇、ライブ等エンターテインメントが活発	広場・公園が充実	子育てや高齢者に配慮したライフサポートが充実	防犯・防災といった安全性が高い	伝統的な文化・芸術活動が盛ん	ダイバーシティ（多様性）が活発	コンパクトシティ、エコ（環境）シティ	ICT産業、スマートシティ	その他	特になし	無回答	
全体 (n=1,105)	66.6	49.0	33.7	17.5	17.2	9.8	9.6	7.1	7.0	4.1	0.5	1.2	6.3	1.9	
居住地域別	南台 (n=70)	61.4	45.7	24.3	15.7	21.4	10.0	8.6	1.4	1.4	5.7	0.0	1.4	8.6	0.0
	弥生町 (n=60)	70.0	45.0	21.7	13.3	11.7	8.3	8.3	5.0	5.0	1.7	0.0	1.7	1.7	1.7
	本町 (n=107)	76.6	44.9	25.2	15.9	10.3	5.6	7.5	1.9	6.5	3.7	0.9	3.7	4.7	2.8
	中央 (n=103)	78.6	55.3	35.9	20.4	5.8	10.7	11.7	8.7	10.7	2.9	0.0	1.0	1.9	0.0
	東中野 (n=87)	66.7	51.7	28.7	13.8	4.6	6.9	4.6	2.3	8.0	6.9	0.0	0.0	8.0	3.4
	中野 (n=97)	74.2	60.8	48.5	19.6	17.5	11.3	9.3	8.2	6.2	6.2	1.0	0.0	4.1	0.0
	上高田 (n=58)	65.5	44.8	43.1	13.8	19.0	8.6	10.3	5.2	1.7	3.4	0.0	1.7	8.6	1.7
	新井 (n=66)	83.3	56.1	47.0	15.2	28.8	12.1	9.1	7.6	7.6	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	沼袋 (n=50)	70.0	60.0	38.0	24.0	36.0	12.0	2.0	12.0	10.0	4.0	2.0	0.0	0.0	0.0
	松が丘 (n=24)	70.8	50.0	29.2	8.3	41.7	12.5	8.3	8.3	4.2	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0
	江原町 (n=27)	66.7	44.4	22.2	18.5	25.9	18.5	14.8	18.5	11.1	3.7	0.0	3.7	7.4	0.0
	江古田 (n=35)	51.4	62.9	42.9	20.0	28.6	14.3	22.9	17.1	14.3	11.4	5.7	2.9	0.0	2.9
	丸山 (n=13)	46.2	69.2	69.2	15.4	15.4	23.1	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	野方 (n=61)	68.9	50.8	44.3	21.3	27.9	9.8	8.2	4.9	8.2	6.6	0.0	1.6	3.3	0.0
	大和町 (n=45)	62.2	42.2	33.3	20.0	22.2	8.9	8.9	6.7	13.3	0.0	0.0	2.2	8.9	2.2
	若宮 (n=42)	61.9	40.5	42.9	19.0	14.3	19.0	9.5	14.3	9.5	2.4	0.0	0.0	14.3	2.4
	白鷺 (n=32)	40.6	43.8	15.6	18.8	6.3	0.0	3.1	6.3	9.4	3.1	0.0	0.0	21.9	6.3
鷺宮 (n=59)	54.2	33.9	22.0	23.7	8.5	5.1	10.2	8.5	1.7	1.7	0.0	0.0	15.3	1.7	
上鷺宮 (n=50)	42.0	40.0	28.0	16.0	20.0	6.0	20.0	12.0	4.0	4.0	0.0	2.0	18.0	0.0	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

4 区政情報の入手、区政参加について

(1) 区政情報の入手

「区報」が約7割で最も高い



中野区の区政情報の入手方法（複数回答）を聞いたところ、「区報」（71.2%）が約7割で最も高く、次いで「街中の掲示板」（25.4%）、「人づて（家族・友人・知人等）」（22.3%）、「区議会だより」（21.5%）となっている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別でみると、「区報」は60歳代、70歳代以上で高くなっている。また、「街中の掲示板」は40歳代でやや高くなっている。

		区報	街中の掲示板	人づて（家族・友人・知人等）	区議会だより	区のホームページ	ないせす（生涯学習スポーツ情報紙）	区のLINE	区のX（旧Twitter）	区の窓口	電話での問合せ	区のInstagram	区のFacebook	区のYouTube	その他	無回答
全体（n=1,105）		71.2	25.4	22.3	21.5	16.7	7.0	5.0	2.4	2.2	2.2	1.0	0.7	0.3	3.8	3.0
性別	男性（n=562）	69.6	22.4	22.4	24.0	17.8	5.0	3.6	2.8	1.8	1.1	0.5	1.1	0.4	4.3	2.3
	女性（n=524）	72.9	28.6	22.5	18.7	15.3	9.0	6.3	1.5	2.7	3.2	1.5	0.4	0.2	3.4	3.2
年代別	20歳代以下（n=138）	46.4	21.7	24.6	19.6	11.6	2.2	1.4	2.2	1.4	0.7	1.4	1.4	1.4	4.3	5.1
	30歳代（n=204）	55.9	26.0	22.1	16.7	13.2	2.5	12.3	3.9	3.4	2.0	2.0	1.5	0.5	5.9	5.4
	40歳代（n=187）	70.1	32.6	22.5	21.4	25.7	3.7	4.3	2.7	1.1	0.5	2.1	1.1	0.0	4.3	2.1
	50歳代（n=200）	73.5	23.5	22.0	21.0	21.5	8.0	6.5	2.5	1.0	1.5	0.0	0.0	0.0	5.0	1.0
	60歳代（n=161）	85.7	22.4	24.2	28.0	14.3	8.7	2.5	0.6	3.7	1.9	0.0	0.6	0.0	1.2	2.5
	70歳代以上（n=203）	90.6	25.1	20.7	23.6	12.8	14.3	1.0	1.5	2.5	5.9	0.5	0.0	0.0	2.0	1.0

居住地域別でみると、「区報」は白鷺、鷺宮で、「人づて（家族・友人・知人等）」は若宮で、それぞれ高くなっている。

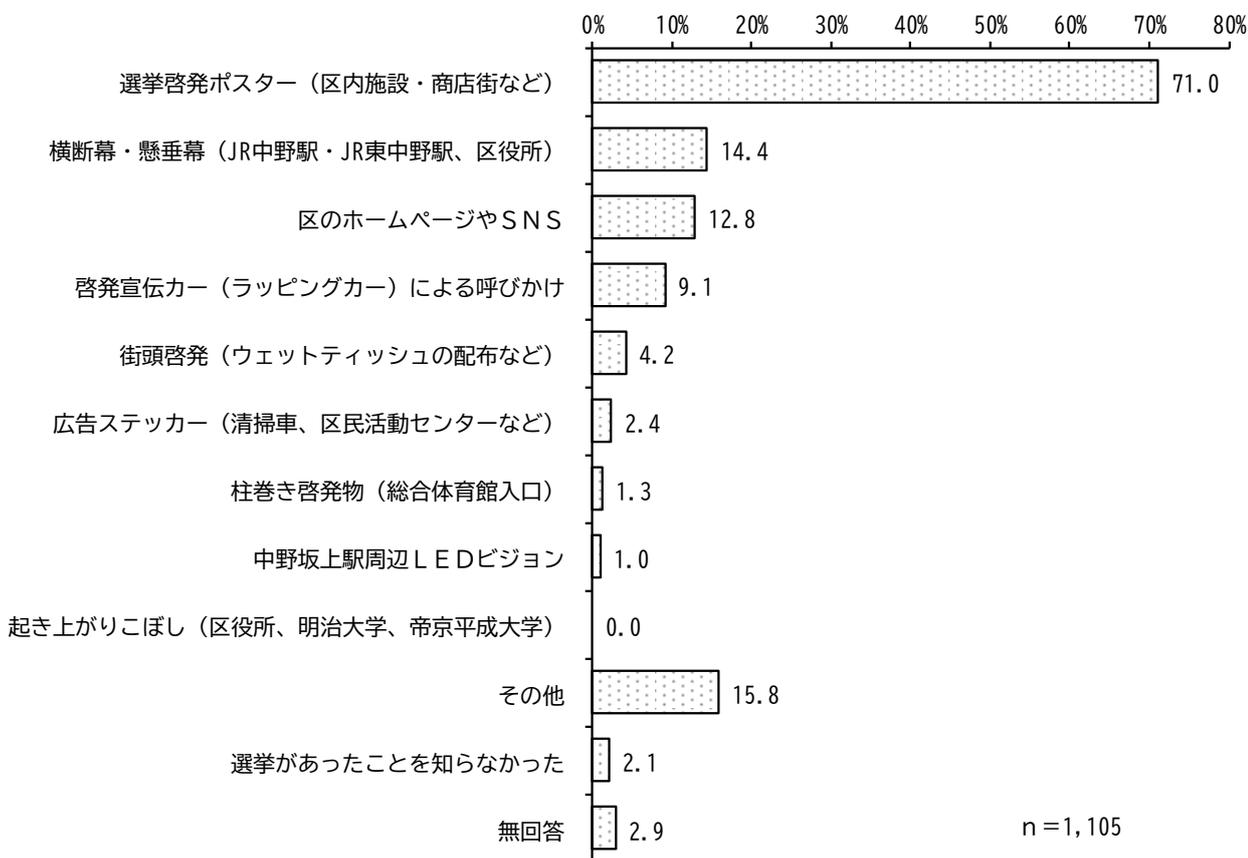
	区報	街中の掲示板	人づて（家族・友人・知人等）	区議会だより	区のホームページ	ないせす（生涯学習スポーツ情報紙）	区のLINE	区のX（旧Twitter）	区の窓口	電話での問合せ	区のInstagram	区のFacebook	区のYouTube	その他	無回答	
全体（n=1,105）	71.2	25.4	22.3	21.5	16.7	7.0	5.0	2.4	2.2	2.2	1.0	0.7	0.3	3.8	3.0	
居住地域別	南台（n=70）	72.9	24.3	20.0	17.1	15.7	7.1	2.9	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	2.9	2.9
	弥生町（n=60）	70.0	26.7	16.7	15.0	18.3	1.7	5.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	6.7	1.7	
	本町（n=107）	68.2	20.6	24.3	17.8	20.6	4.7	3.7	0.9	3.7	1.9	0.9	1.9	0.9	2.8	3.7
	中央（n=103）	72.8	26.2	26.2	27.2	16.5	5.8	5.8	3.9	1.9	2.9	1.9	0.0	0.0	1.9	1.9
	東中野（n=87）	70.1	20.7	17.2	21.8	18.4	6.9	6.9	1.1	4.6	3.4	1.1	0.0	0.0	2.3	3.4
	中野（n=97）	67.0	25.8	24.7	26.8	15.5	6.2	4.1	4.1	0.0	1.0	2.1	3.1	1.0	6.2	2.1
	上高田（n=58）	75.9	20.7	12.1	15.5	13.8	6.9	1.7	3.4	1.7	0.0	3.4	1.7	0.0	5.2	0.0
	新井（n=66）	72.7	33.3	21.2	25.8	10.6	12.1	9.1	3.0	3.0	3.0	1.5	0.0	0.0	3.0	4.5
	沼袋（n=50）	68.0	32.0	16.0	26.0	18.0	4.0	8.0	4.0	4.0	2.0	0.0	0.0	2.0	4.0	0.0
	松が丘（n=24）	83.3	37.5	29.2	8.3	12.5	8.3	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0
	江原町（n=27）	66.7	22.2	18.5	25.9	29.6	11.1	11.1	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7
	江古田（n=35）	74.3	28.6	11.4	22.9	20.0	2.9	11.4	5.7	2.9	2.9	0.0	2.9	0.0	8.6	5.7
	丸山（n=13）	76.9	46.2	38.5	30.8	30.8	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0
	野方（n=61）	65.6	29.5	24.6	31.1	16.4	6.6	0.0	1.6	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	6.6	0.0
	大和町（n=45）	68.9	24.4	22.2	20.0	15.6	4.4	2.2	2.2	2.2	4.4	0.0	2.2	0.0	4.4	0.0
	若宮（n=42）	66.7	28.6	42.9	19.0	19.0	7.1	2.4	0.0	7.1	4.8	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0
	白鷺（n=32）	84.4	18.8	25.0	9.4	12.5	12.5	6.3	0.0	3.1	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3
鷺宮（n=59）	81.4	28.8	25.4	18.6	15.3	13.6	5.1	3.4	1.7	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	3.4	
上鷺宮（n=50）	70.0	16.0	24.0	26.0	14.0	4.0	8.0	0.0	2.0	6.0	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(2) 東京都議会議員選挙・参議院議員選挙

「選挙啓発ポスター（区内施設・商店街など）」が約7割で最も高い

問8 令和7年6月22日に東京都議会議員選挙、7月20日に参議院議員選挙が行われました。このことをどういった手段で知りましたか。（〇はいくつでも）



東京都議会議員選挙・参議院議員選挙を知った手段（複数回答）を聞いたところ、「選挙啓発ポスター（区内施設・商店街など）」（71.0%）が約7割で最も高く、次いで「横断幕・懸垂幕（JR中野駅・JR東中野駅、区役所）」（14.4%）、「区のホームページやSNS」（12.8%）となっている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別でみると、「選挙啓発ポスター（区内施設・商店街など）」は40歳代から50歳代でやや高くなっている。

		選挙啓発ポスター （区内施設・商店街など）	横断幕・懸垂幕 （JR中野駅・JR東中野駅、区役所）	区のホームページやSNS	啓発宣伝カー（ラッピングカー）による 呼びかけ	街頭啓発 （ウエットティッシュの配布など）	広告ステッカー （清掃車、区民活動センターなど）	柱巻き啓発物（総合体育館入口）	中野坂上駅周辺LEDビジョン	起き上がりこぼし （区役所、明治大学、帝京平成大学）	その他	選挙があったことを知らなかった	無回答
全体（n=1,105）		71.0	14.4	12.8	9.1	4.2	2.4	1.3	1.0	0.0	15.8	2.1	2.9
性別	男性（n=562）	68.0	14.4	12.6	8.2	3.6	2.5	1.2	0.9	0.0	20.3	2.3	3.0
	女性（n=524）	74.4	14.5	13.0	9.9	4.8	2.3	1.3	1.1	0.0	11.5	1.7	2.5
年代別	20歳代以下（n=138）	64.5	16.7	15.2	10.1	6.5	4.3	2.2	1.4	0.0	8.0	4.3	2.2
	30歳代（n=204）	67.6	15.7	14.7	9.3	3.9	1.0	0.5	0.5	0.0	9.3	4.4	2.9
	40歳代（n=187）	76.5	14.4	13.4	9.6	4.8	1.1	1.6	0.5	0.0	17.1	1.1	1.1
	50歳代（n=200）	79.0	14.0	9.0	8.0	2.5	1.0	1.5	1.0	0.0	20.0	1.0	0.5
	60歳代（n=161）	68.9	16.8	9.3	6.8	3.1	3.1	0.6	1.2	0.0	21.7	0.6	5.6
	70歳代以上（n=203）	67.5	10.8	15.3	10.8	4.4	4.4	1.5	1.5	0.0	18.7	1.0	4.4

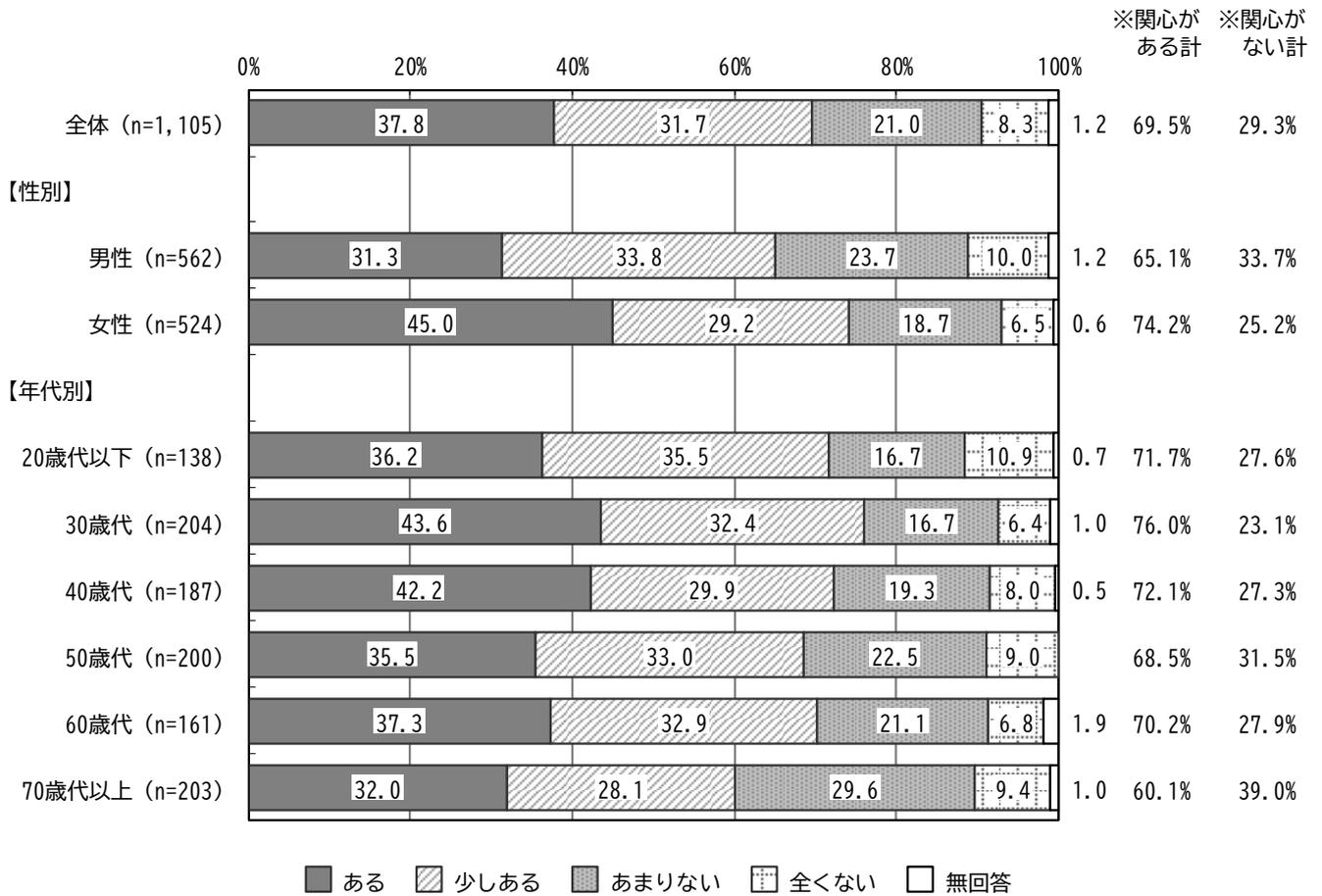
居住地域別でみると、「選挙啓発ポスター（区内施設・商店街など）」は白鷺で、「横断幕・懸垂幕（JR中野駅・JR 東中野駅、区役所）」は東中野、中野、新井、野方で、「区のホームページやSNS」は江古田で、それぞれ高くなっている。

		選挙啓発ポスター （区内施設・商店街など）	横断幕・懸垂幕 （JR中野駅・JR東中野駅、区役所）	区のホームページやSNS	啓発宣伝カー（ラッピングカー）による 呼びかけ	街頭啓発 （ウエットティッシュの配布など）	広告ステッカー （清掃車、区民活動センターなど）	柱巻き啓発物（総合体育館入口）	中野坂上駅周辺LEDビジョン	起き上がりこぼし （区役所、明治大学、帝京平成大学）	その他	選挙があったことを知らなかった	無回答
全体（n=1,105）		71.0	14.4	12.8	9.1	4.2	2.4	1.3	1.0	0.0	15.8	2.1	2.9
居住地域別	南台（n=70）	78.6	2.9	11.4	8.6	7.1	2.9	1.4	0.0	0.0	7.1	1.4	2.9
	弥生町（n=60）	68.3	3.3	13.3	5.0	3.3	6.7	1.7	0.0	0.0	15.0	6.7	3.3
	本町（n=107）	66.4	9.3	12.1	15.0	4.7	2.8	1.9	2.8	0.0	22.4	0.0	2.8
	中央（n=103）	78.6	6.8	6.8	10.7	5.8	2.9	0.0	3.9	0.0	12.6	1.0	3.9
	東中野（n=87）	70.1	26.4	9.2	9.2	3.4	0.0	1.1	2.3	0.0	13.8	0.0	4.6
	中野（n=97）	61.9	29.9	14.4	7.2	10.3	5.2	1.0	0.0	0.0	19.6	4.1	1.0
	上高田（n=58）	60.3	19.0	20.7	6.9	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	17.2	1.7	1.7
	新井（n=66）	69.7	28.8	10.6	7.6	3.0	0.0	1.5	0.0	0.0	22.7	1.5	3.0
	沼袋（n=50）	76.0	14.0	16.0	12.0	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	6.0	4.0	0.0
	松が丘（n=24）	70.8	12.5	8.3	4.2	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	4.2
	江原町（n=27）	66.7	3.7	11.1	3.7	3.7	3.7	3.7	0.0	0.0	33.3	0.0	3.7
	江古田（n=35）	62.9	20.0	28.6	17.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.1	2.9	0.0
	丸山（n=13）	84.6	7.7	0.0	30.8	23.1	0.0	15.4	0.0	0.0	15.4	0.0	7.7
	野方（n=61）	72.1	27.9	11.5	16.4	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	16.4	0.0	0.0
	大和町（n=45）	77.8	15.6	13.3	4.4	0.0	2.2	0.0	2.2	0.0	8.9	4.4	0.0
	若宮（n=42）	73.8	7.1	14.3	4.8	2.4	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8	7.1	0.0
	白鷺（n=32）	84.4	6.3	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.4	3.1	6.3
鷺宮（n=59）	74.6	6.8	16.9	11.9	6.8	3.4	1.7	0.0	0.0	16.9	0.0	1.7	
上鷺宮（n=50）	76.0	6.0	18.0	2.0	2.0	4.0	0.0	0.0	0.0	24.0	2.0	2.0	

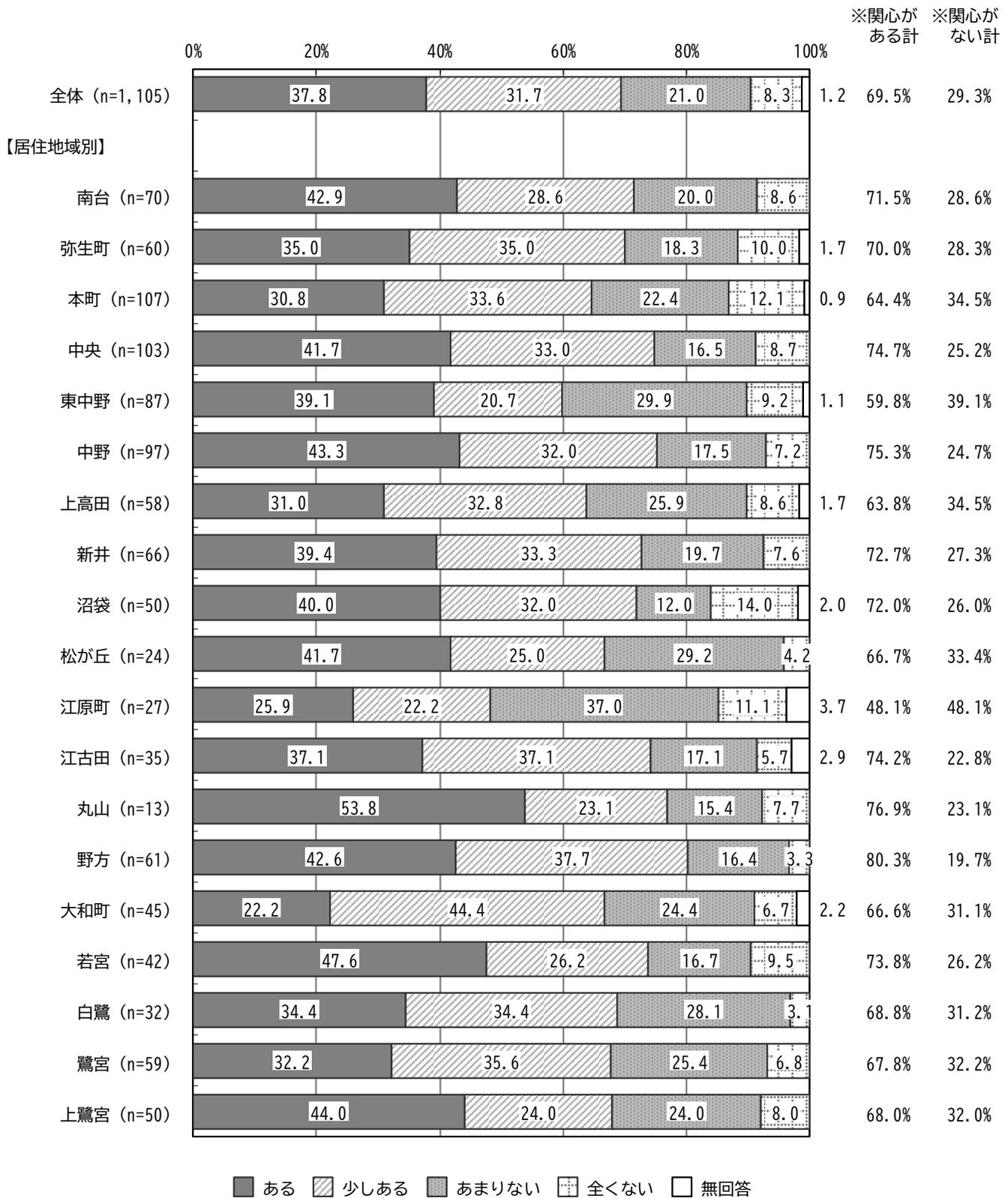
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

性別でみると、「ある」は男性に比べ女性で4割半ばと高くなっている。

年代別でみると、「関心がある」は30歳代で7割半ばとやや高くなっている。一方、「関心がない」は70歳代以上で約4割とやや高くなっている。



居住地域別でみると、「関心がある」は野方で約8割と高くなっている。一方、「関心がない」は東中野で約4割とやや高くなっている。

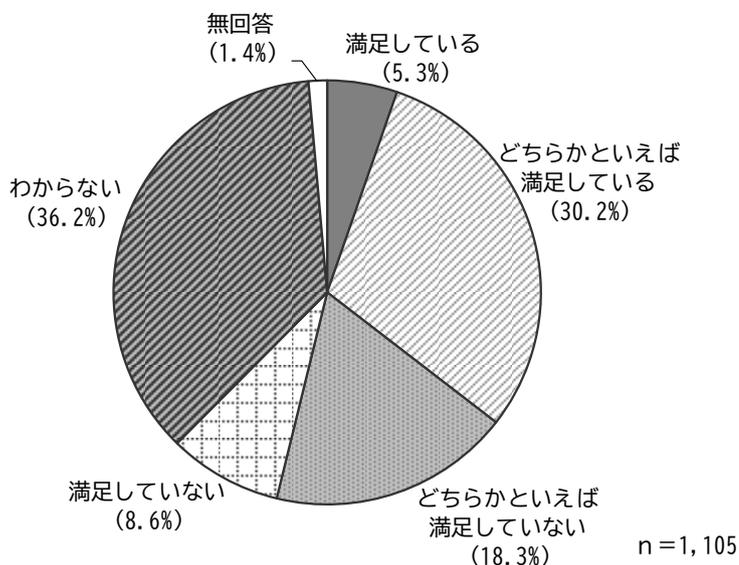


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(2) 中野区の文化的環境への満足度

《満足している》（「満足している」と「どちらかといえば満足している」）が3割半ば

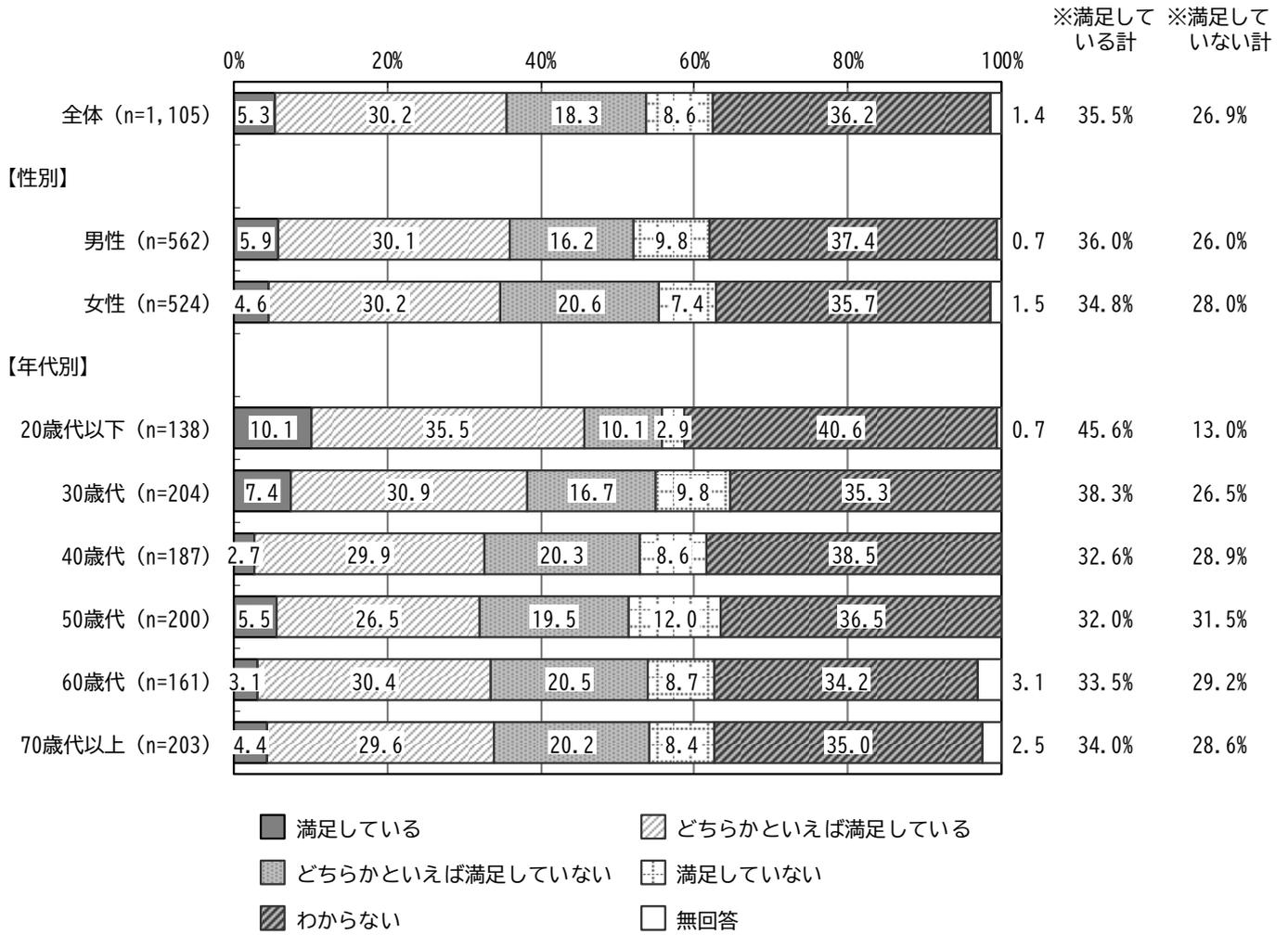
問10 文化芸術を鑑賞したり、習い事をしたりする機会や文化財・伝統的まちなみの保存・整備など、中野区での文化的環境に満足していますか。（○は1つ）



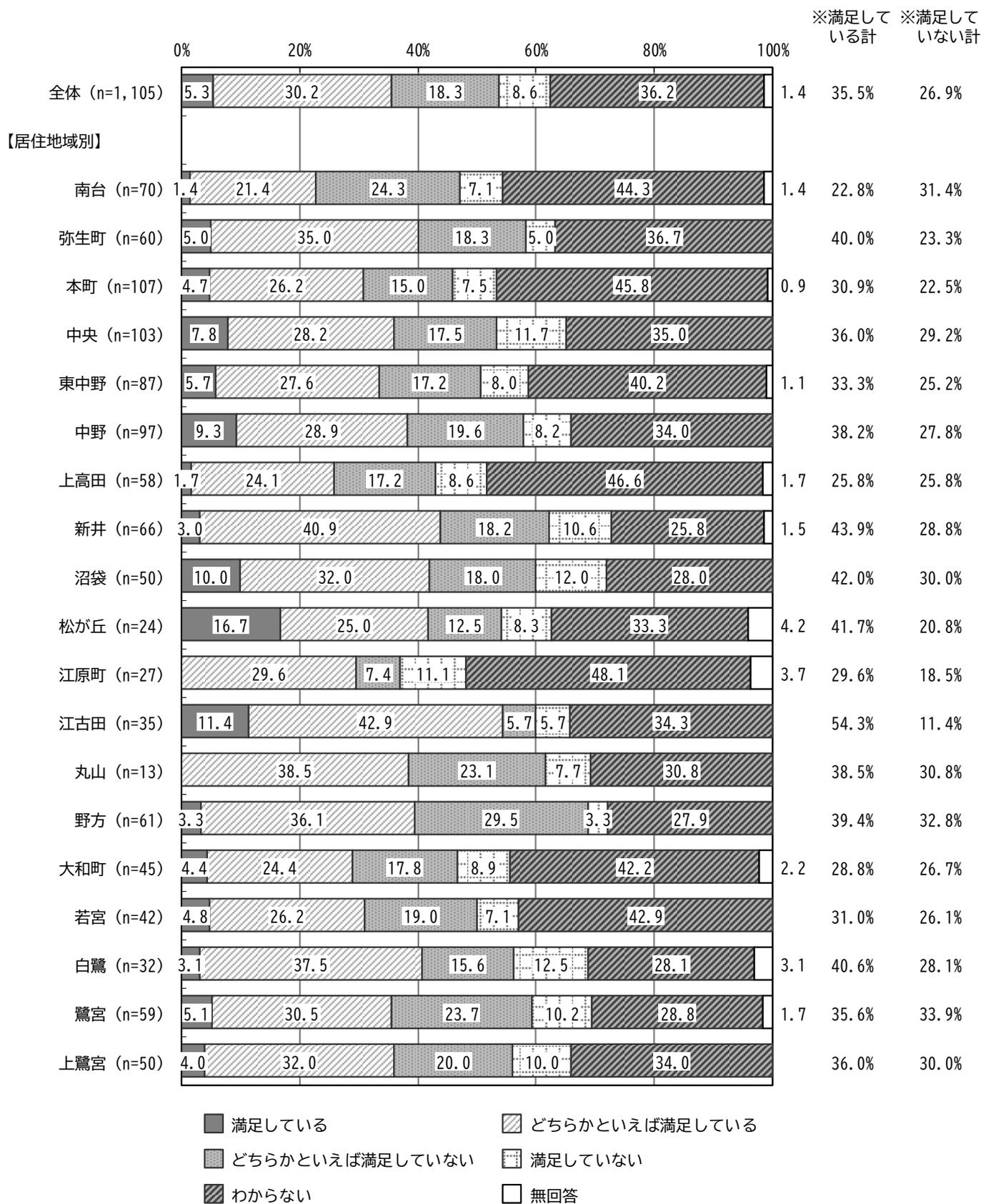
中野区の文化的環境への満足度を聞いたところ、「満足している」(5.3%)と「どちらかといえば満足している」(30.2%)を合わせた《満足している》(35.5%)は3割半ばとなっている。一方、「どちらかといえば満足していない」(18.3%)と「満足していない」(8.6%)を合わせた《満足していない》(26.9%)は2割半ばとなっている。

性別で見ると、特徴的な差はみられない。

年代別で見ると、「満足している」は20歳代以下で4割半ばと高くなっている。



居住地域別でみると、「満足している」は江古田で5割半ばと高くなっている。一方、「満足していない」は野方、鷺宮で3割前半とやや高くなっている。

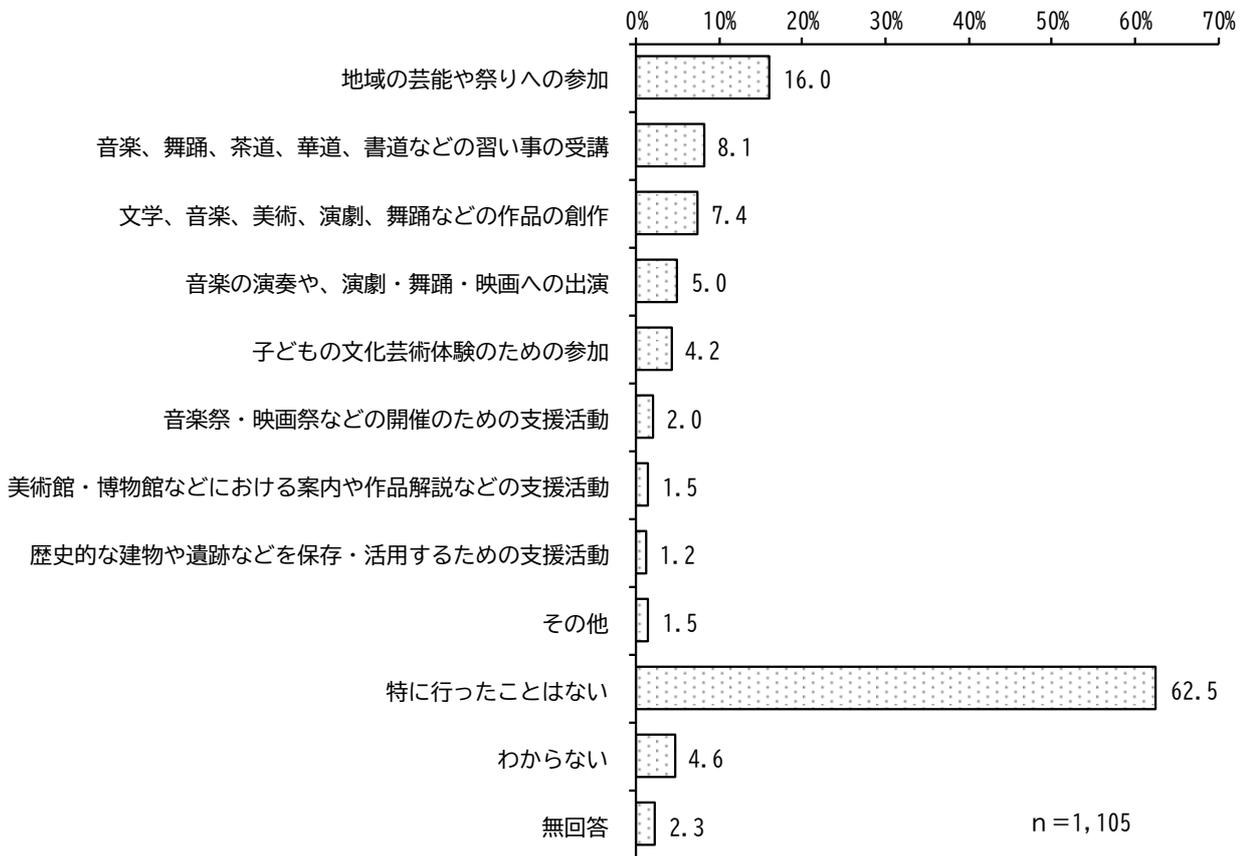


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(3) 過去1年間で行った文化芸術活動

「特に行ったことはない」が6割前半

問11 文化芸術に関わる活動には、作品鑑賞だけでなく、作品の創作や習い事、あるいはボランティアとしてこれらの活動を支援することを含みます。
あなたは、過去1年間で、この中にあるような文化芸術に関わる活動を行いましたか。(○はいくつでも)



過去1年間で行った文化芸術に関わる活動（複数回答）を聞いたところ、「地域の芸能や祭りへの参加」（16.0%）が1割半ばで最も高く、次いで「音楽、舞踊、茶道、華道、書道などの習い事の受講」（8.1%）、「文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作」（7.4%）となっている。一方、「特に行ったことはない」（62.5%）は6割前半となっている。

性別で見ると、「地域の芸能や祭りへの参加」は男性に比べ女性で高くなっている。一方、「特に行ったことはない」は女性に比べ男性で高くなっている。

年代別で見ると、「地域の芸能や祭りへの参加」、「子どもの文化芸術体験のための参加」は40歳代でやや高くなっている。一方、「特に行ったことはない」は50歳代でやや高くなっている。

		地域の芸能や祭りへの参加	音楽、舞踊、茶道、華道、書道などの習い事の受講	文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作	音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演	子どもの文化芸術体験のための参加	音楽祭・映画祭などの開催のための支援活動	美術館・博物館などにおける案内や作品解説などの支援活動	・歴史的な建物や遺跡などを保存・活用するための支援活動	その他	特に行ったことはない	わからない	無回答
全体 (n=1,105)		16.0	8.1	7.4	5.0	4.2	2.0	1.5	1.2	1.5	62.5	4.6	2.3
性別	男性 (n=562)	11.0	5.5	7.3	4.8	3.2	2.7	2.1	1.6	1.6	67.8	5.2	2.0
	女性 (n=524)	21.4	10.7	7.8	5.2	5.3	1.3	1.0	0.8	1.3	57.3	4.0	2.1
年代別	20歳代以下 (n=138)	10.9	7.2	12.3	6.5	0.0	0.0	1.4	1.4	0.7	62.3	7.2	2.2
	30歳代 (n=204)	20.1	8.3	10.8	5.4	4.4	3.9	2.0	0.5	1.0	56.9	8.3	0.5
	40歳代 (n=187)	23.5	9.6	7.5	2.7	12.3	2.1	0.0	1.1	1.6	52.4	6.4	1.1
	50歳代 (n=200)	13.0	8.5	9.5	5.5	2.5	1.5	2.0	1.0	0.0	70.5	3.0	0.0
	60歳代 (n=161)	10.6	5.6	3.1	5.0	1.2	2.5	2.5	2.5	3.7	66.5	0.0	6.2
	70歳代以上 (n=203)	16.3	8.9	2.5	4.9	3.4	1.5	1.5	1.0	2.5	67.0	3.0	2.5

居住地域別にみると、「地域の芸能や祭りへの参加」は南台、中央、上鷺宮で、「文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作」は弥生町、沼袋、江古田で、それぞれやや高くなっている。一方、「特に行ったことはない」は本町、野方で高くなっている。

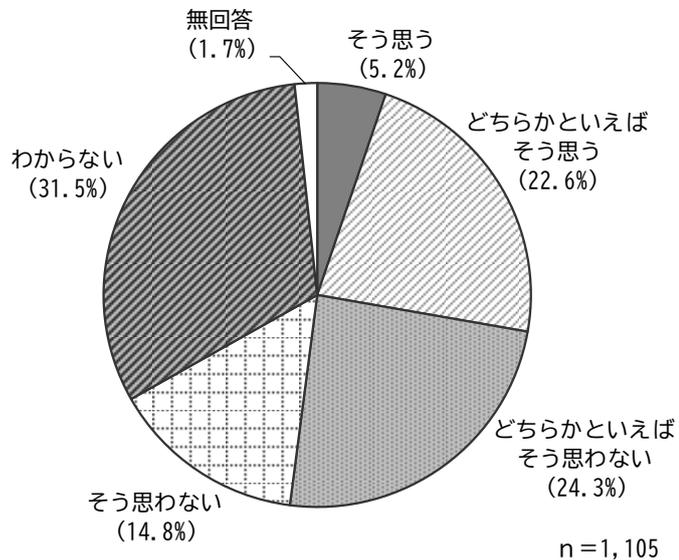
	地域の芸能や祭りへの参加	音楽、舞踊、茶道、華道、書道などの習い事の受講	文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作	音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演	子どもの文化芸術体験のための参加	音楽祭・映画祭などの開催のため	美術館・博物館などの支援活動	美術館・博物館などにおける案内や作品解説などの支援活動	・歴史的な建物や遺跡などを保存活用するための支援活動	その他	特に行ったことはない	わからない	無回答
全体 (n=1,105)	16.0	8.1	7.4	5.0	4.2	2.0	1.5	1.2	1.5	62.5	4.6	2.3	
居住地域別	南台 (n=70)	21.4	11.4	5.7	7.1	2.9	1.4	2.9	1.4	0.0	57.1	2.9	1.4
	弥生町 (n=60)	8.3	6.7	13.3	1.7	1.7	1.7	5.0	1.7	5.0	60.0	8.3	1.7
	本町 (n=107)	8.4	5.6	7.5	1.9	0.9	0.9	2.8	0.9	0.0	72.9	3.7	1.9
	中央 (n=103)	24.3	12.6	5.8	8.7	6.8	2.9	1.0	1.9	1.0	49.5	2.9	1.9
	東中野 (n=87)	14.9	8.0	5.7	4.6	4.6	2.3	0.0	0.0	1.1	69.0	3.4	1.1
	中野 (n=97)	18.6	5.2	8.2	8.2	1.0	2.1	2.1	2.1	3.1	58.8	8.2	0.0
	上高田 (n=58)	20.7	5.2	1.7	1.7	5.2	0.0	0.0	0.0	1.7	65.5	10.3	0.0
	新井 (n=66)	18.2	7.6	7.6	0.0	4.5	1.5	0.0	1.5	1.5	56.1	7.6	4.5
	沼袋 (n=50)	14.0	10.0	18.0	10.0	0.0	6.0	2.0	4.0	0.0	64.0	2.0	0.0
	松が丘 (n=24)	16.7	12.5	4.2	4.2	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	54.2	8.3	8.3
	江原町 (n=27)	7.4	11.1	7.4	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	66.7	3.7	3.7
	江古田 (n=35)	17.1	11.4	20.0	5.7	2.9	0.0	0.0	5.7	8.6	60.0	2.9	0.0
	丸山 (n=13)	38.5	15.4	7.7	15.4	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	38.5	0.0	0.0
	野方 (n=61)	9.8	4.9	8.2	6.6	6.6	1.6	1.6	0.0	0.0	77.0	1.6	0.0
	大和町 (n=45)	13.3	4.4	6.7	2.2	6.7	0.0	2.2	0.0	0.0	64.4	6.7	2.2
	若宮 (n=42)	19.0	7.1	7.1	4.8	4.8	2.4	2.4	0.0	4.8	61.9	4.8	0.0
	白鷺 (n=32)	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	71.9	0.0	3.1
鷺宮 (n=59)	11.9	8.5	5.1	1.7	5.1	1.7	1.7	0.0	0.0	67.8	0.0	6.8	
上鷺宮 (n=50)	22.0	6.0	6.0	10.0	14.0	6.0	2.0	2.0	2.0	58.0	6.0	4.0	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(4) 中野区からの文化芸術活動における情報発信

「十分だと思わない」(「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」)が約4割

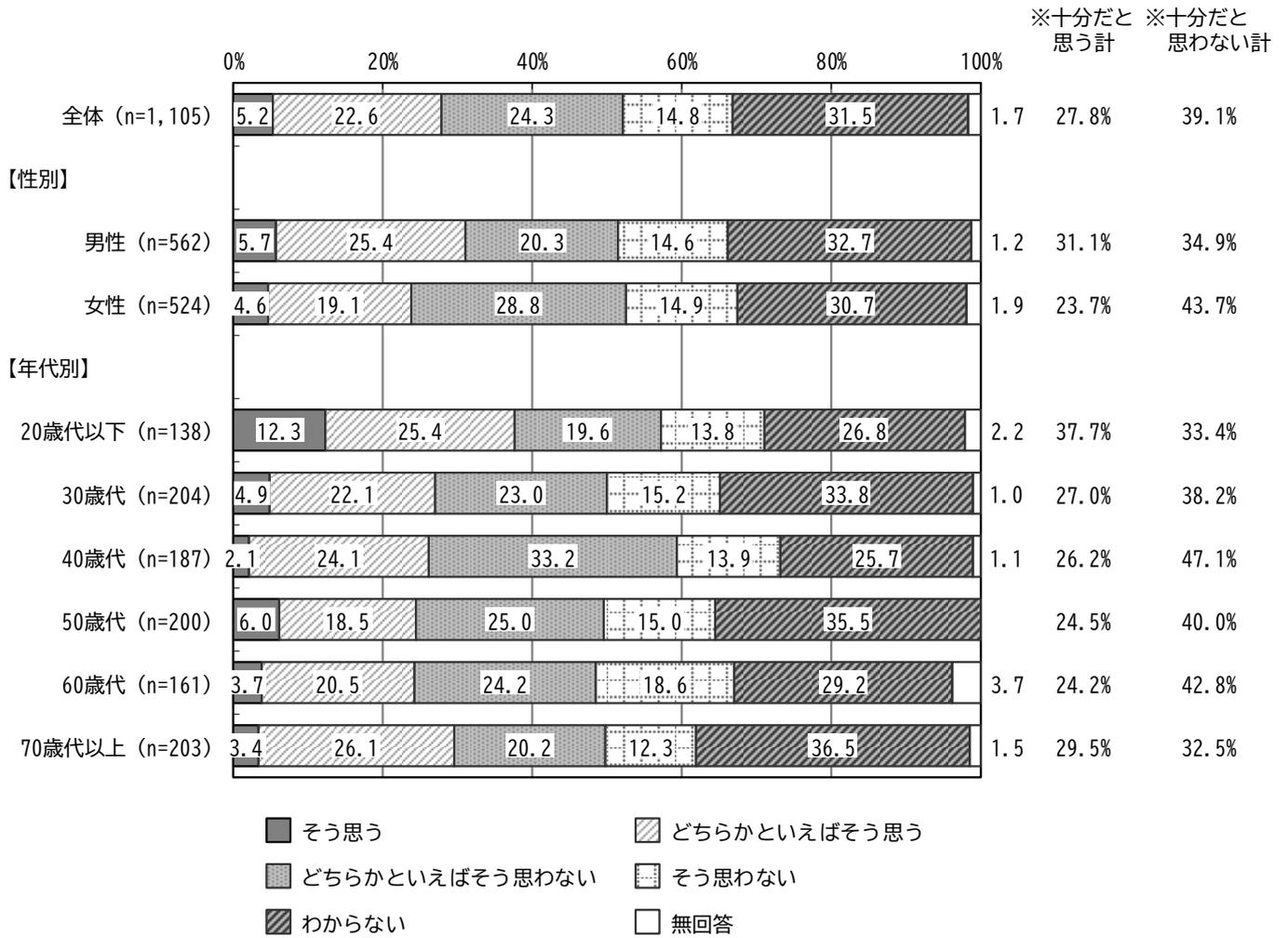
問12 区からの文化芸術活動における情報発信は十分だと思いますか。(○は1つ)



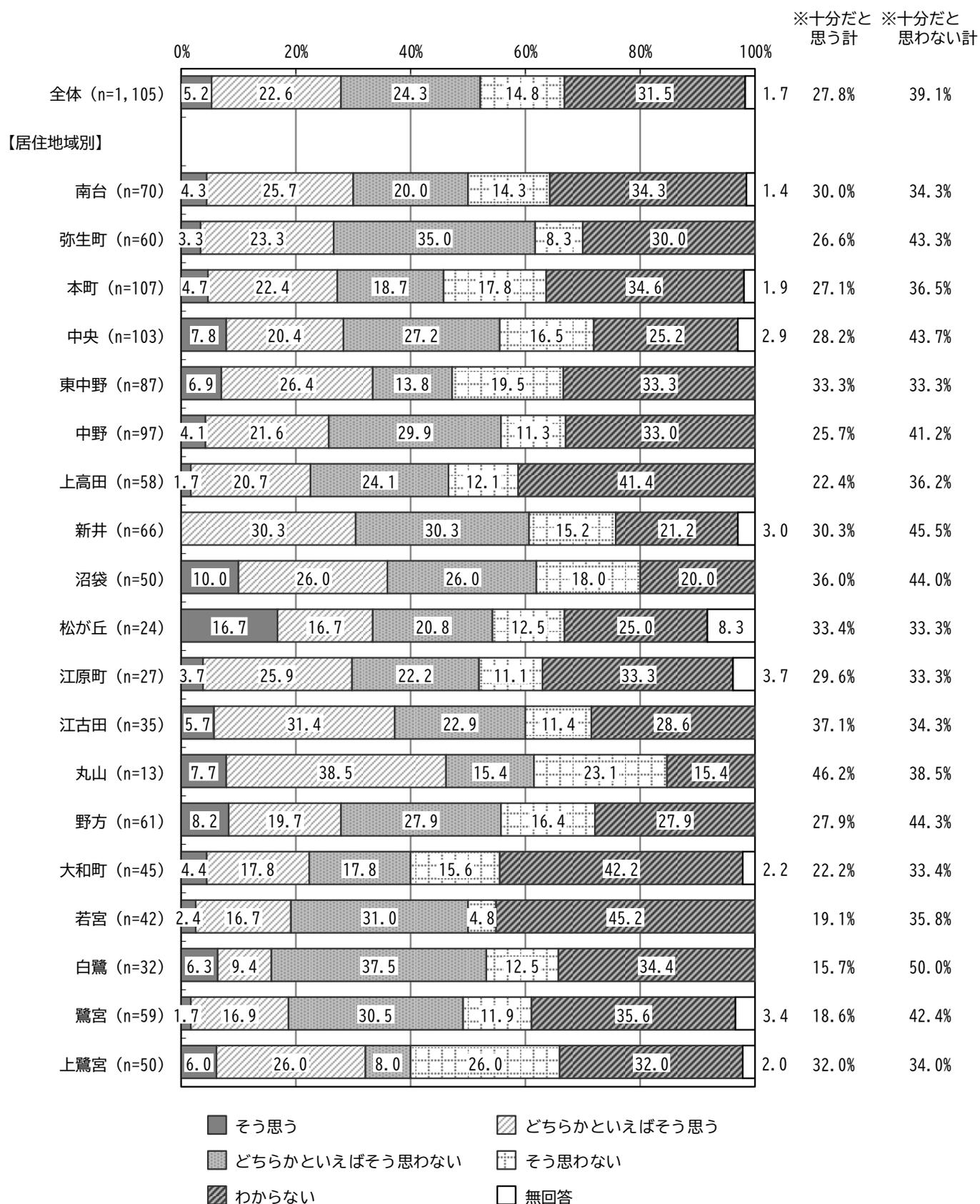
文化芸術活動における情報発信が十分だと思うか聞いたところ、「そう思う」(5.2%)と「どちらかといえばそう思う」(22.6%)を合わせた「十分だと思う」(27.8%)は2割後半となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(24.3%)と「そう思わない」(14.8%)を合わせた「十分だと思わない」(39.1%)は約4割となっている。

性別でみると、「十分だと思う」は女性に比べ男性は約3割とやや高くなっている。

年代別でみると、「十分だと思う」は20歳代以下で3割後半とやや高くなっている。一方、「十分だと思わない」は40歳代で4割後半とやや高くなっている。



居住地域別でみると、「十分だと思う」は江古田で3割後半とやや高くなっている。一方、「十分だと思わない」は白鷺で5割と高くなっている。

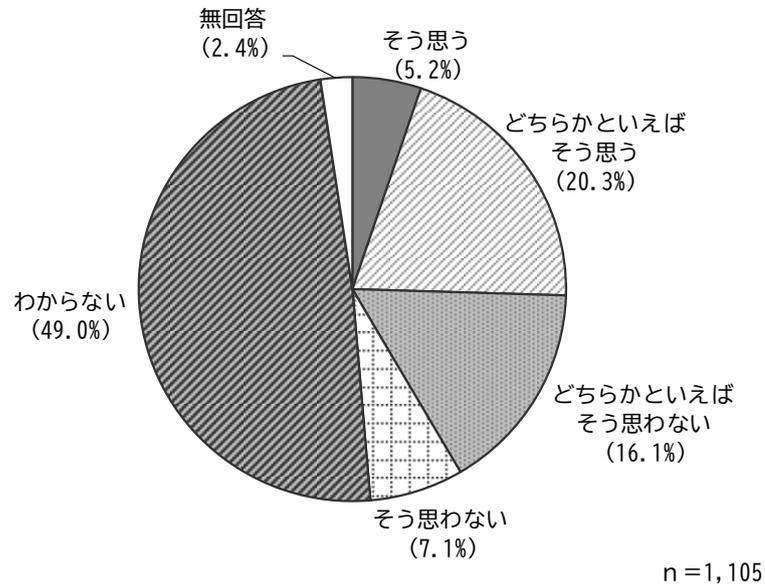


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(5) 子どもの文化・芸術の鑑賞、体験機会

《十分にありと思う》（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」）が2割半ば

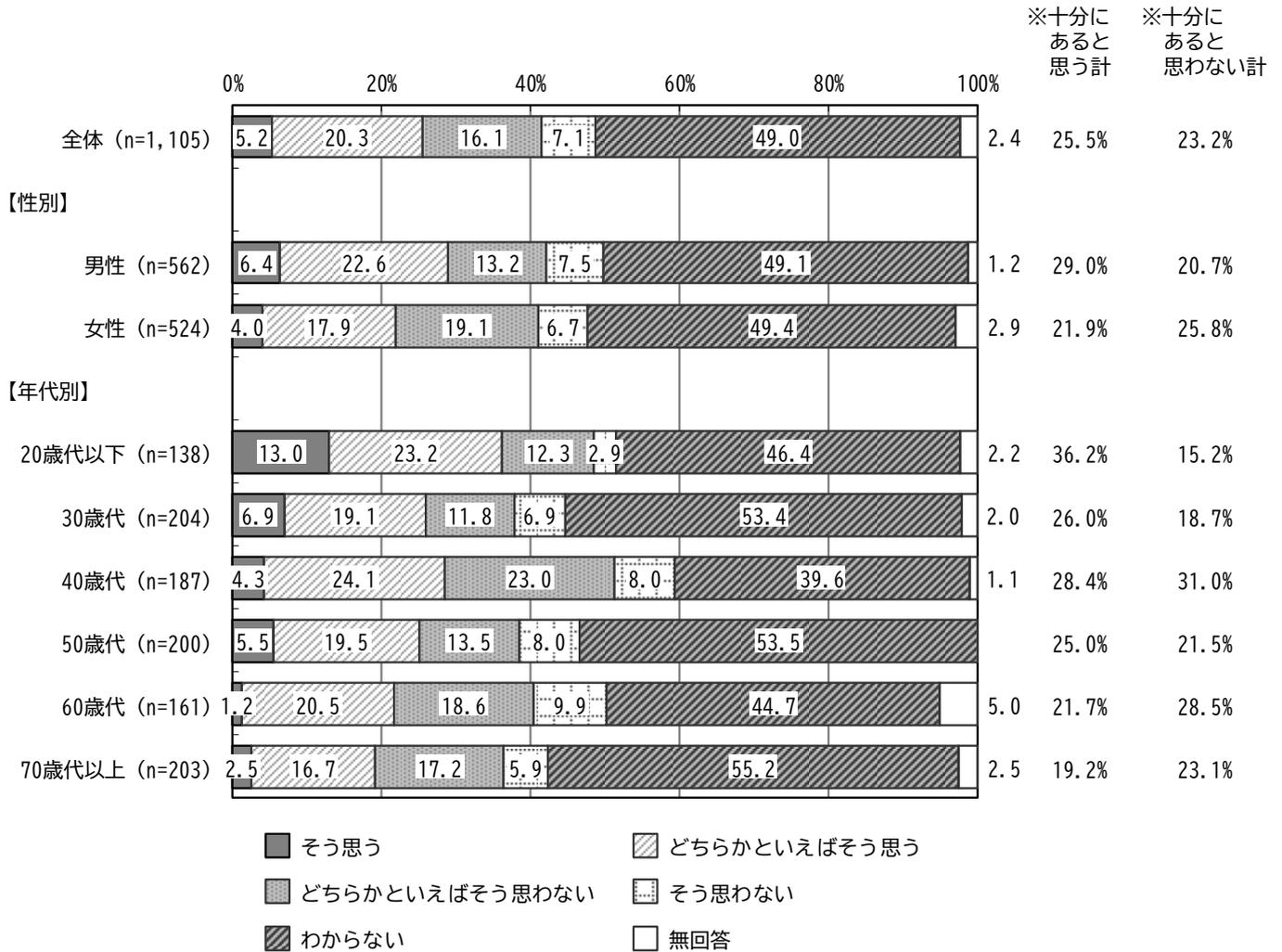
問13 子どもの文化・芸術の鑑賞、体験機会は十分にありと思いますか。（○は1つ）



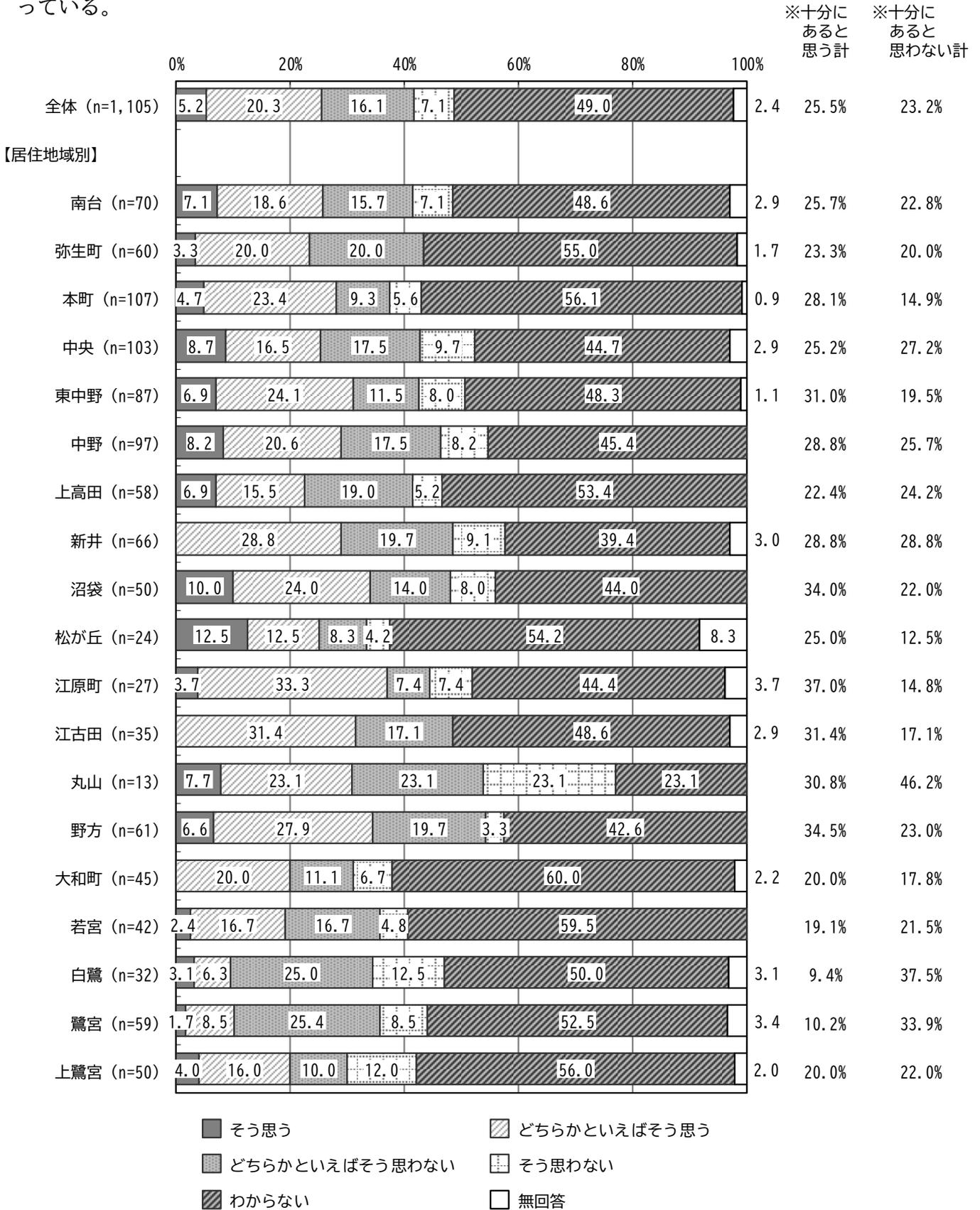
子どもの文化・芸術の鑑賞、体験機会は十分にありと思うか聞いたところ、「そう思う」(5.2%)と「どちらかといえばそう思う」(20.3%)を合わせた《十分にありと思う》(25.5%)は2割半ばとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(16.1%)と「そう思わない」(7.1%)を合わせた《十分にありと思わない》(23.2%)は2割前半となっている。

性別でみると、「十分にあると思う」は女性に比べ男性で約3割とやや高くなっている。

年代別でみると、「十分にあると思う」は20歳代以下で3割半ばと高くなっている。一方、「十分にあると思わない」は40歳代で約3割とやや高くなっている。

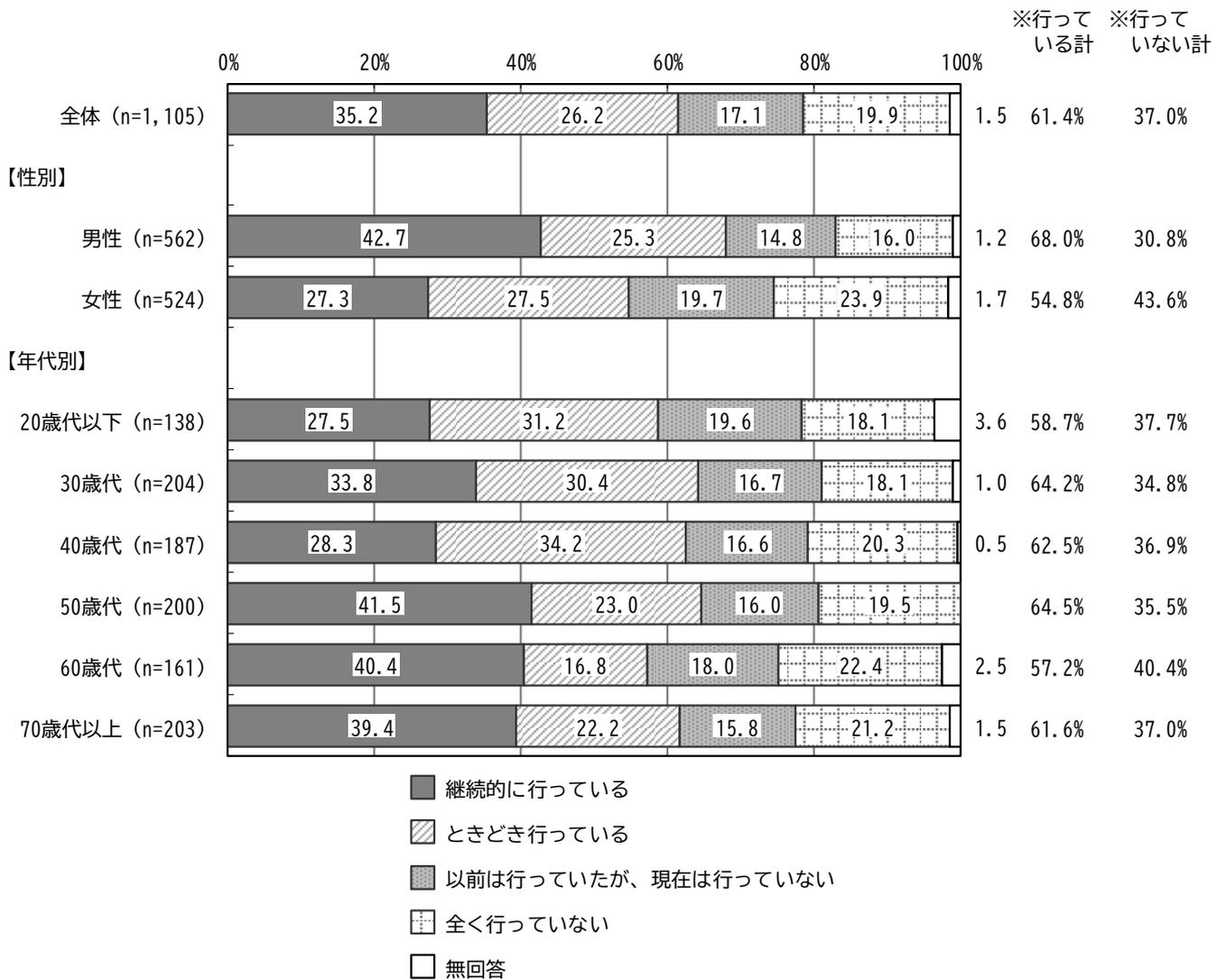


居住地域別でみると、「十分にありと思う」は東中野、沼袋、江古田、野方で3割台とやや高くなっている。一方、「十分にありと思わない」は白鷺で3割後半、鷺宮で3割前半と、それぞれ高くなっている。

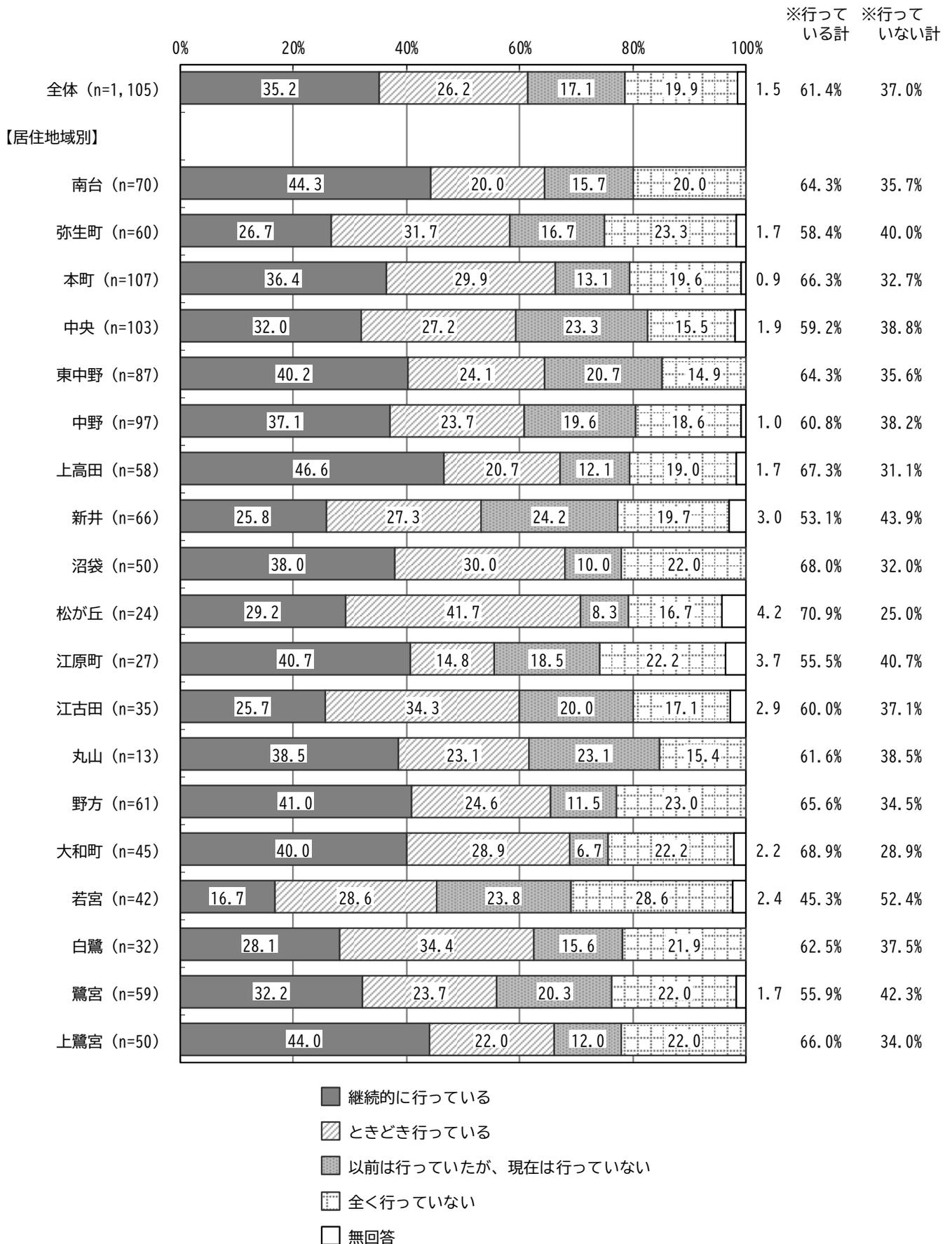


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

性別で見ると、「継続的に行っている」は女性に比べ男性で4割前半と高くなっている。
 年代別で見ると、「継続的に行っている」は50歳代、60歳代で約4割とやや高くなっている。

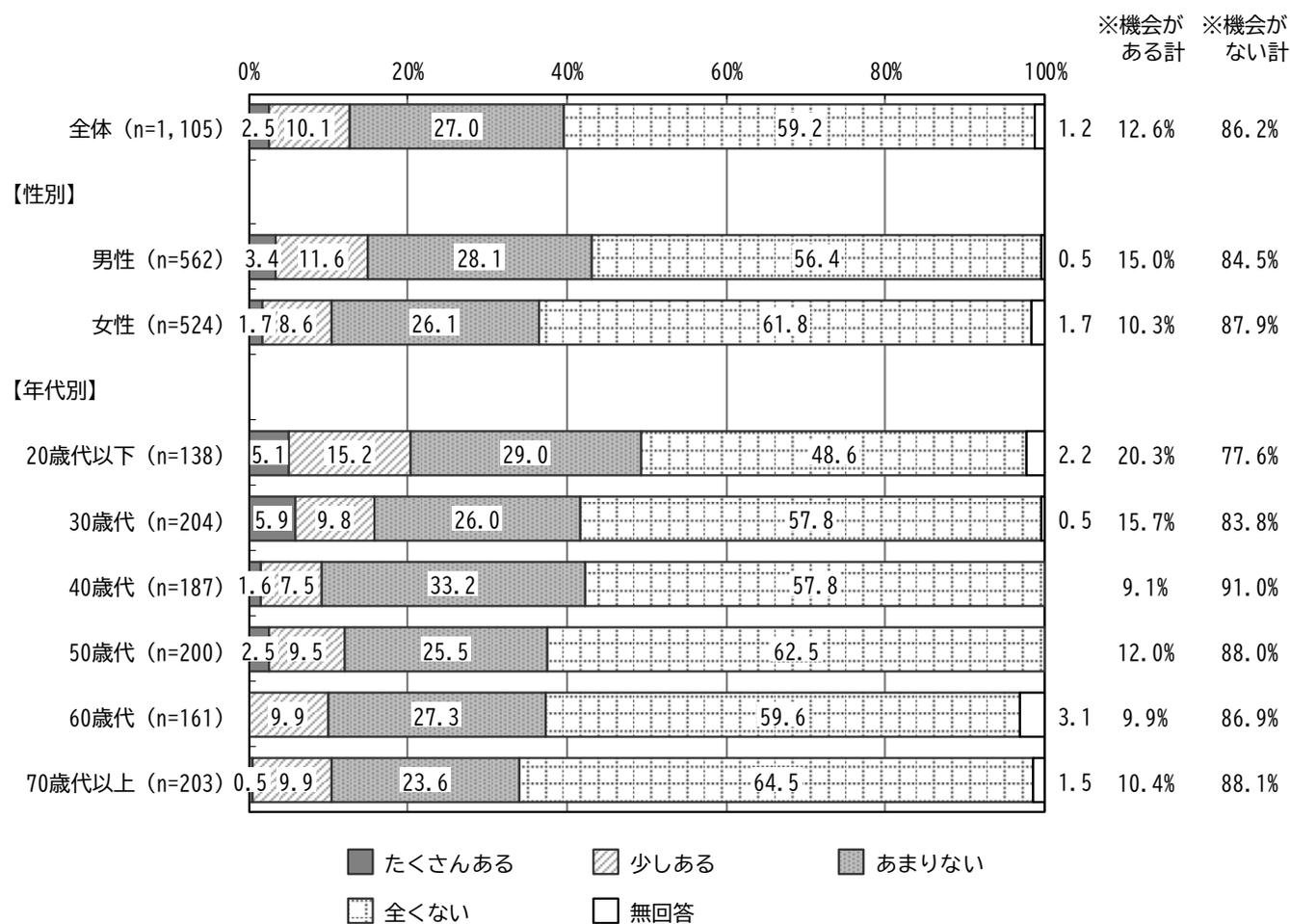


居住地域別でみると、「行っている」は上高田、沼袋、大和町で6割後半とやや高くなっている。一方、「行っていない」は若宮で5割前半と高くなっている。

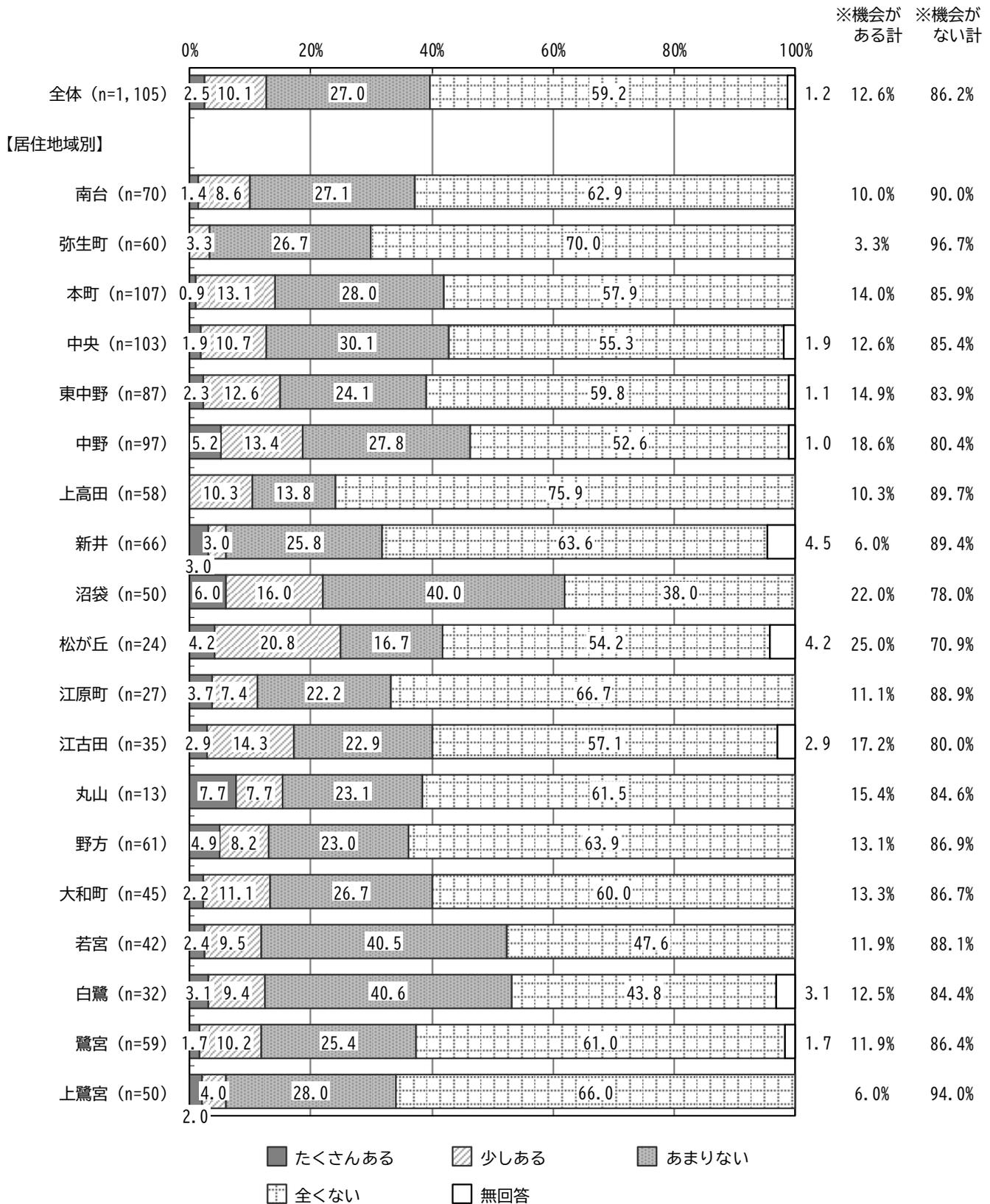


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

性別で見ると、「全くない」は男性に比べ女性で約6割とやや高くなっている。
 年代別で見ると、「機会がある」は20歳代以下で約2割とやや高くなっている。



居住地域別でみると、「機会がある」は中野で1割後半、沼袋で2割前半とやや高くなっている。一方、「機会がない」は弥生町で9割半ばと高くなっている。

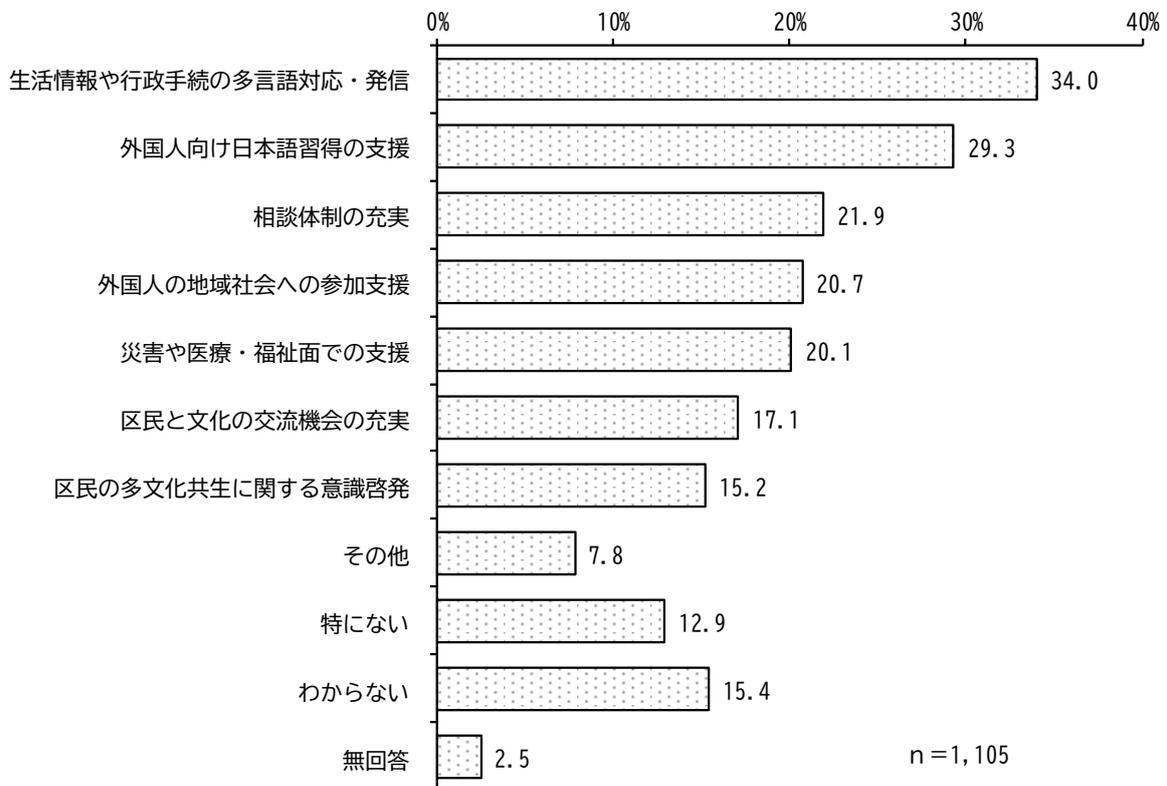


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(2) 外国人が住みやすいまちづくりのために力を入れるべきこと

「生活情報や行政手続の多言語対応・発信」が3割半ばで最も高い

問16 地域で区民と外国人が理解しあい、外国人が住みやすいまちづくりを進めるために、中野区が力を入れるべきだと思うことは何ですか。(○はいくつでも)



外国人が住みやすいまちづくりを進めるために中野区が力を入れるべきこと(複数回答)を聞いたところ、「生活情報や行政手続の多言語対応・発信」(34.0%)が3割半ばで最も高く、次いで「外国人向け日本語習得の支援」(29.3%)、「相談体制の充実」(21.9%)、「外国人の地域社会への参加支援」(20.7%)となっている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別でみると、「生活情報や行政手続の多言語対応・発信」、「外国人向け日本語習得の支援」、「災害や医療・福祉面での支援」は60歳代で高くなっている。「わからない」は70歳代以上で約2割とやや高くなっている。

		生活情報や行政手続の多言語対応・発信	外国人向け日本語習得の支援	相談体制の充実	外国人の地域社会への参加支援	災害や医療・福祉面での支援	区民と文化の交流機会の充実	区民の多文化共生に関する意識啓発	その他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全体 (n=1,105)		34.0	29.3	21.9	20.7	20.1	17.1	15.2	7.8	12.9	15.4	2.5
性別	男性 (n=562)	32.0	31.7	20.5	21.7	20.3	16.9	15.5	9.1	14.2	12.8	2.1
	女性 (n=524)	36.1	26.9	23.1	19.8	19.7	16.8	14.7	6.7	11.6	18.3	2.7
年代別	20歳代以下 (n=138)	26.8	18.8	9.4	19.6	11.6	12.3	10.1	7.2	21.7	16.7	2.9
	30歳代 (n=204)	26.0	30.9	16.2	20.6	12.7	18.1	13.7	11.3	13.7	13.2	1.0
	40歳代 (n=187)	36.4	28.3	23.5	19.3	17.6	19.3	15.5	12.3	12.3	10.7	1.6
	50歳代 (n=200)	39.0	32.0	24.5	22.0	23.0	14.5	14.5	9.0	11.5	18.0	1.0
	60歳代 (n=161)	46.0	39.8	29.2	23.6	31.1	24.2	23.0	4.3	7.5	11.2	1.9
	70歳代以上 (n=203)	31.0	25.1	27.1	20.2	23.6	14.8	14.8	2.5	13.3	21.7	4.9

居住地域別でみると、「生活情報や行政手続きの多言語対応・発信」は野方、白鷺、上鷺宮で、「外国人向け日本語習得の支援」は白鷺で、「災害や医療・福祉面での支援」は野方で、それぞれ高くなっている。

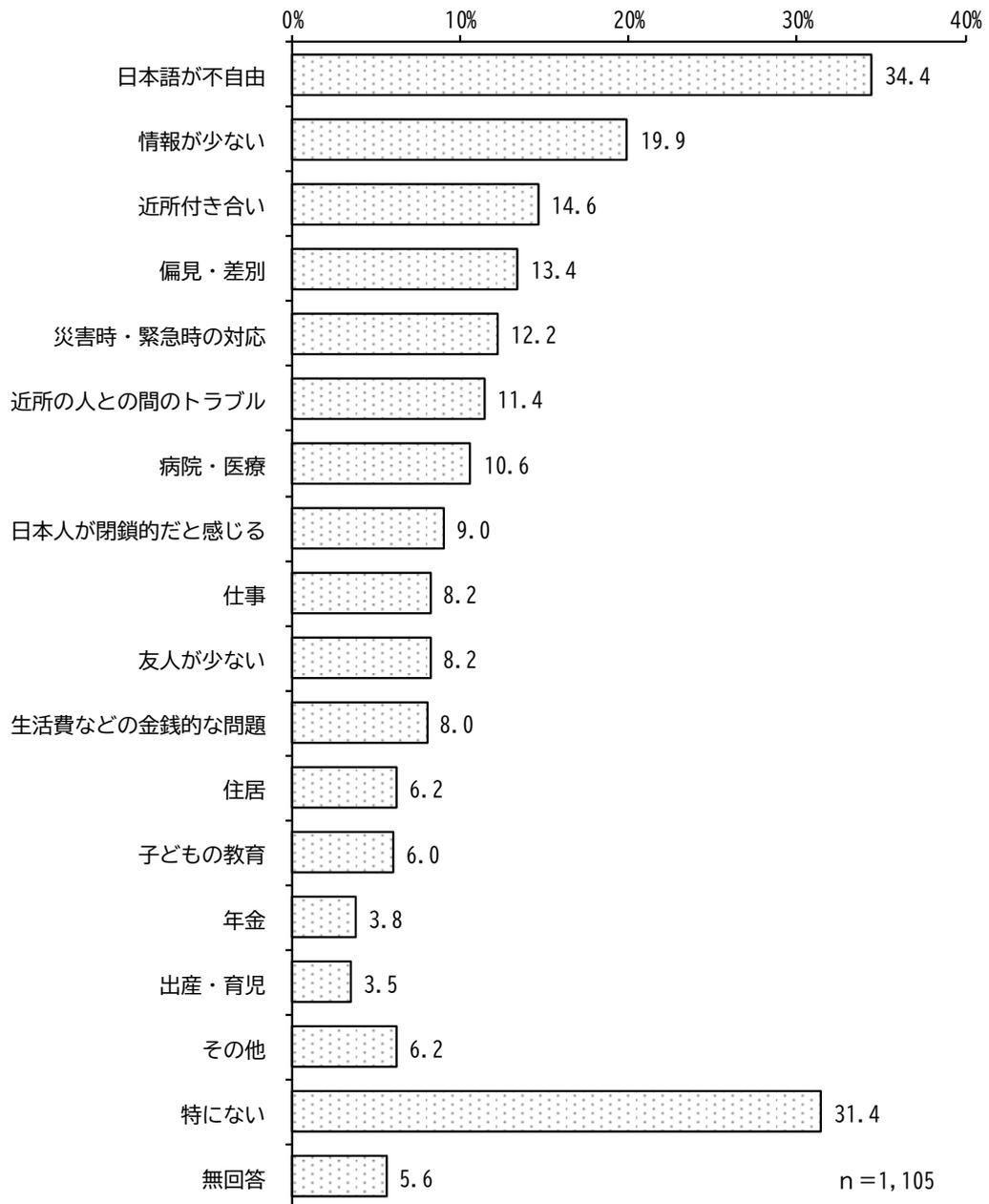
	生活情報や行政手続きの多言語対応・発信	外国人向け日本語習得の支援	相談体制の充実	外国人の地域社会への参加支援	災害や医療・福祉面での支援	区民と文化の交流機会の充実	区民の多文化共生に関する意識啓発	その他	特にない	わからない	無回答	
全体 (n=1,105)	34.0	29.3	21.9	20.7	20.1	17.1	15.2	7.8	12.9	15.4	2.5	
居住地域別	南台 (n=70)	30.0	28.6	15.7	20.0	15.7	24.3	15.7	7.1	17.1	21.4	1.4
	弥生町 (n=60)	26.7	30.0	13.3	21.7	20.0	25.0	15.0	6.7	8.3	21.7	0.0
	本町 (n=107)	37.4	32.7	26.2	15.9	22.4	14.0	16.8	7.5	15.9	13.1	2.8
	中央 (n=103)	31.1	29.1	27.2	23.3	18.4	13.6	12.6	5.8	9.7	14.6	3.9
	東中野 (n=87)	27.6	24.1	21.8	16.1	17.2	13.8	11.5	11.5	13.8	14.9	2.3
	中野 (n=97)	35.1	29.9	18.6	19.6	18.6	16.5	13.4	8.2	17.5	14.4	3.1
	上高田 (n=58)	27.6	17.2	17.2	15.5	12.1	17.2	20.7	8.6	13.8	20.7	0.0
	新井 (n=66)	31.8	31.8	18.2	16.7	18.2	19.7	9.1	7.6	10.6	10.6	3.0
	沼袋 (n=50)	26.0	30.0	24.0	32.0	18.0	24.0	14.0	8.0	20.0	12.0	0.0
	松が丘 (n=24)	37.5	41.7	12.5	33.3	29.2	33.3	25.0	4.2	12.5	4.2	8.3
	江原町 (n=27)	40.7	48.1	18.5	7.4	25.9	14.8	11.1	22.2	7.4	14.8	0.0
	江古田 (n=35)	31.4	31.4	28.6	31.4	20.0	20.0	14.3	8.6	14.3	11.4	0.0
	丸山 (n=13)	30.8	23.1	38.5	38.5	30.8	23.1	15.4	7.7	23.1	7.7	0.0
	野方 (n=61)	54.1	31.1	31.1	26.2	39.3	9.8	21.3	9.8	9.8	3.3	0.0
	大和町 (n=45)	26.7	17.8	22.2	13.3	8.9	15.6	11.1	6.7	15.6	26.7	2.2
	若宮 (n=42)	38.1	28.6	19.0	31.0	21.4	19.0	14.3	7.1	11.9	16.7	2.4
	白鷺 (n=32)	46.9	43.8	31.3	31.3	21.9	18.8	25.0	3.1	9.4	9.4	6.3
鷺宮 (n=59)	32.2	28.8	18.6	10.2	15.3	8.5	15.3	5.1	11.9	28.8	3.4	
上鷺宮 (n=50)	48.0	26.0	28.0	28.0	28.0	18.0	18.0	6.0	6.0	16.0	2.0	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(3) 外国人の生活に対するイメージ

「日本語が不自由」が3割半ばで最も高い

問17 あなたの周りにいる外国人にとって、生活で困っていること、不満なことは何だと思いますか。(〇はいくつでも)



周りにいる外国人にとって、生活で困っていること、不満なことは何であると思うか（複数回答）を聞いたところ、「日本語が不自由」（34.4%）が3割半ばで最も高く、次いで「情報が少ない」（19.9%）、「近所付き合い」（14.6%）、「偏見・差別」（13.4%）となっている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別でみると、「日本語が不自由」、「情報が少ない」は60歳代で高くなっている。また、「近所付き合い」、「災害時・緊急時の対応」は60歳代で、「病院・医療」は50歳代で、それぞれやや高くなっている。一方、「特にない」は20歳代以下から30歳代で3割後半とやや高くなっている。

		日本語が不自由	情報が少ない	近所付き合い	偏見・差別	災害時・緊急時の対応	近所の人との間のトラブル	病院・医療	日本人が閉鎖的だと感じる	仕事	友人が少ない	生活費などの金銭的な問題	住居	子どもの教育	年金	出産・育児	その他	特にない	無回答
全体 (n=1,105)		34.4	19.9	14.6	13.4	12.2	11.4	10.6	9.0	8.2	8.2	8.0	6.2	6.0	3.8	3.5	6.2	31.4	5.6
性別	男性 (n=562)	35.1	20.1	16.4	14.4	11.6	14.6	10.3	10.3	8.7	10.3	8.2	7.1	6.2	3.2	3.6	6.0	31.5	3.7
	女性 (n=524)	34.4	19.7	12.2	11.6	12.4	7.8	10.9	7.4	7.8	6.1	7.6	5.3	5.7	4.4	3.6	6.5	31.1	7.4
年代別	20歳代以下 (n=138)	29.7	18.1	10.9	12.3	8.0	9.4	5.8	10.1	7.2	11.6	8.7	8.7	2.9	4.3	1.4	2.9	37.7	3.6
	30歳代 (n=204)	27.5	14.7	10.8	12.7	6.4	9.8	4.4	6.9	7.4	8.8	8.3	3.4	4.9	4.9	2.0	4.9	38.2	1.5
	40歳代 (n=187)	39.0	17.6	14.4	14.4	12.8	15.0	11.2	11.2	10.2	11.2	9.1	7.0	6.4	3.7	7.0	6.4	30.5	4.8
	50歳代 (n=200)	39.0	26.0	13.5	17.0	16.5	12.5	19.5	9.5	7.5	4.0	8.5	6.0	5.5	3.0	3.0	9.0	30.5	1.5
	60歳代 (n=161)	45.3	30.4	23.0	14.3	18.6	14.9	14.3	10.6	11.2	9.3	10.6	9.3	9.9	5.0	5.0	6.2	21.7	5.6
	70歳代以上 (n=203)	28.6	14.8	15.8	9.4	10.3	7.4	7.9	6.4	6.9	6.4	3.4	4.9	5.9	2.5	3.0	6.9	30.0	14.3

居住地域別でみると、「情報が少ない」は江古田、白鷺で、「子どもの教育」は白鷺で、それぞれ高くなっている。また、「日本人が閉鎖的だと感じる」は弥生町、白鷺、上鷺宮で、やや高くなっている。

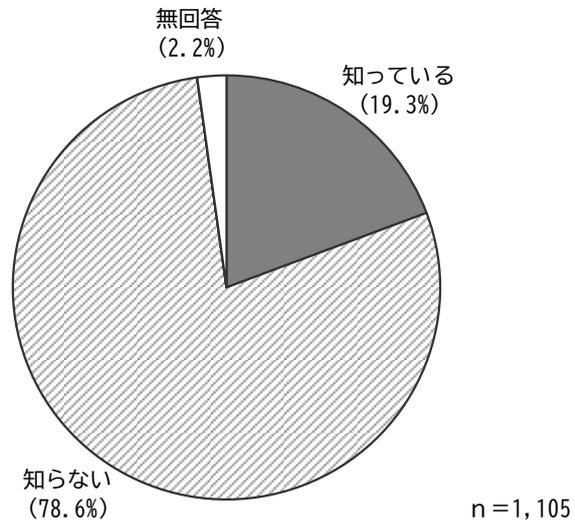
	日本語が不自由	情報が少ない	近所付き合い	偏見・差別	災害時・緊急時の対応	近所の人との間のトラブル	病院・医療	日本人が閉鎖的だと感じる	仕事	友人が少ない	生活費などの金銭的な問題	住居	子どもの教育	年金	出産・育児	その他	特にない	無回答	
全体 (n=1,105)	34.4	19.9	14.6	13.4	12.2	11.4	10.6	9.0	8.2	8.2	8.0	6.2	6.0	3.8	3.5	6.2	31.4	5.6	
居住地域別	南台 (n=70)	34.3	15.7	15.7	7.1	8.6	7.1	8.6	10.0	10.0	4.3	4.3	7.1	5.7	2.9	2.9	38.6	2.9	
	弥生町 (n=60)	28.3	23.3	16.7	18.3	15.0	8.3	11.7	15.0	8.3	6.7	5.0	5.0	5.0	3.3	5.0	40.0	3.3	
	本町 (n=107)	36.4	20.6	7.5	11.2	15.9	14.0	13.1	6.5	10.3	3.7	10.3	5.6	7.5	4.7	4.7	4.7	31.8	6.5
	中央 (n=103)	37.9	14.6	13.6	11.7	8.7	9.7	13.6	5.8	8.7	8.7	4.9	1.0	1.9	2.9	3.9	31.1	6.8	
	東中野 (n=87)	32.2	14.9	14.9	17.2	10.3	16.1	8.0	12.6	5.7	4.6	6.9	6.9	9.2	8.0	5.7	9.2	32.2	4.6
	中野 (n=97)	34.0	18.6	16.5	16.5	8.2	14.4	8.2	13.4	11.3	8.2	7.2	6.2	5.2	2.1	3.1	7.2	30.9	7.2
	上高田 (n=58)	27.6	15.5	20.7	12.1	13.8	15.5	1.7	5.2	1.7	8.6	5.2	6.9	6.9	3.4	3.4	8.6	37.9	3.4
	新井 (n=66)	25.8	25.8	13.6	6.1	15.2	7.6	10.6	10.6	3.0	1.5	4.5	9.1	4.5	1.5	3.0	3.0	30.3	9.1
	沼袋 (n=50)	50.0	28.0	16.0	6.0	12.0	14.0	14.0	10.0	16.0	22.0	12.0	8.0	0.0	2.0	0.0	2.0	22.0	0.0
	松が丘 (n=24)	58.3	29.2	12.5	12.5	12.5	12.5	16.7	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	4.2	4.2	0.0	20.8	8.3
	江原町 (n=27)	40.7	29.6	22.2	14.8	14.8	18.5	14.8	3.7	11.1	22.2	14.8	11.1	11.1	3.7	7.4	11.1	25.9	0.0
	江古田 (n=35)	37.1	31.4	11.4	14.3	17.1	11.4	14.3	8.6	5.7	14.3	11.4	2.9	5.7	0.0	0.0	5.7	25.7	8.6
	丸山 (n=13)	46.2	23.1	30.8	15.4	30.8	7.7	0.0	15.4	7.7	0.0	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0	7.7	30.8	0.0
	野方 (n=61)	27.9	19.7	8.2	16.4	18.0	8.2	13.1	8.2	13.1	8.2	9.8	11.5	6.6	4.9	4.9	9.8	32.8	1.6
	大和町 (n=45)	35.6	11.1	15.6	13.3	4.4	2.2	6.7	2.2	6.7	6.7	6.7	6.7	4.4	4.4	2.2	6.7	37.8	4.4
	若宮 (n=42)	38.1	16.7	14.3	9.5	14.3	14.3	11.9	0.0	4.8	7.1	7.1	4.8	9.5	4.8	7.1	11.9	28.6	4.8
	白鷺 (n=32)	43.8	40.6	15.6	18.8	15.6	9.4	15.6	15.6	9.4	9.4	9.4	6.3	21.9	3.1	6.3	0.0	25.0	12.5
鷺宮 (n=59)	28.8	15.3	18.6	11.9	6.8	13.6	10.2	6.8	3.4	5.1	5.1	1.7	1.7	3.4	1.7	6.8	39.0	6.8	
上鷺宮 (n=50)	28.0	22.0	8.0	14.0	10.0	6.0	10.0	14.0	8.0	8.0	14.0	8.0	6.0	4.0	4.0	12.0	22.0	4.0	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(4) 「やさしい日本語」の認知度

「知らない」が7割後半

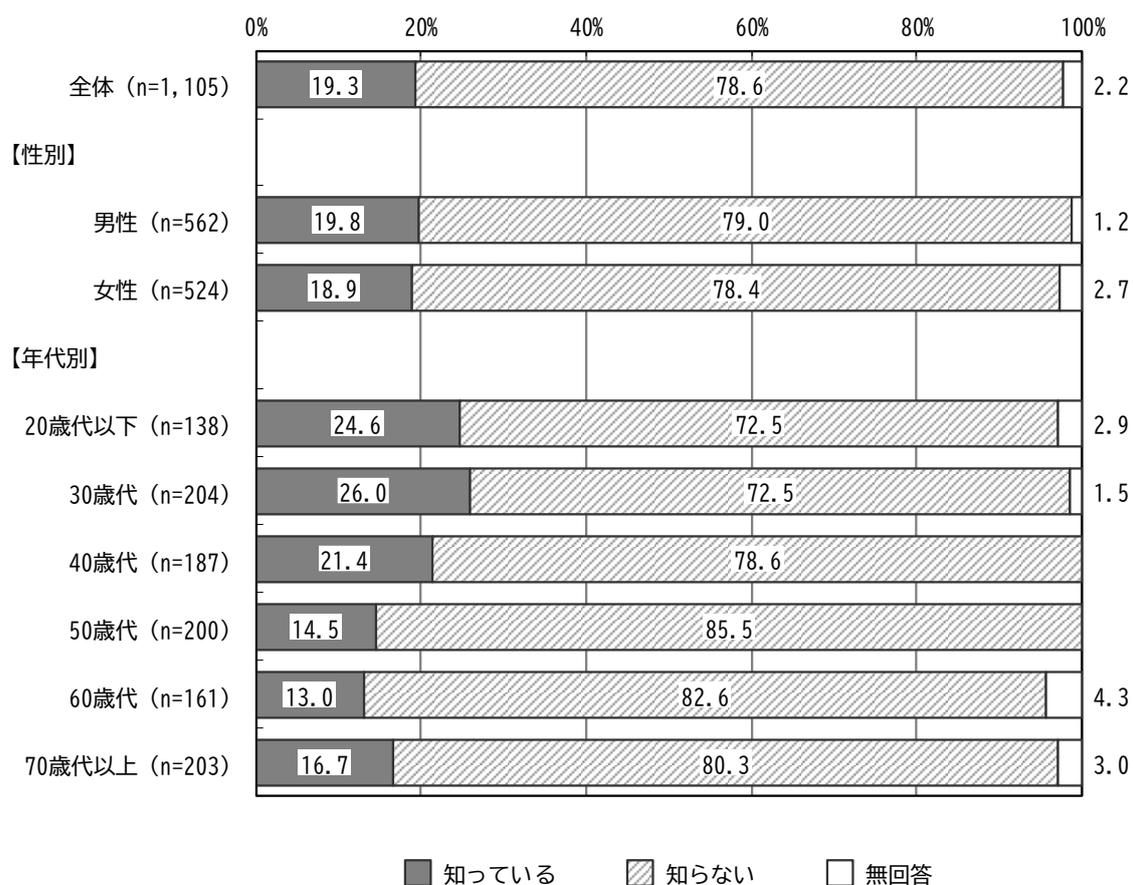
問18 あなたは外国人などとコミュニケーションを取る際に有効とされる「やさしい日本語」を知っていますか。(○は1つ)



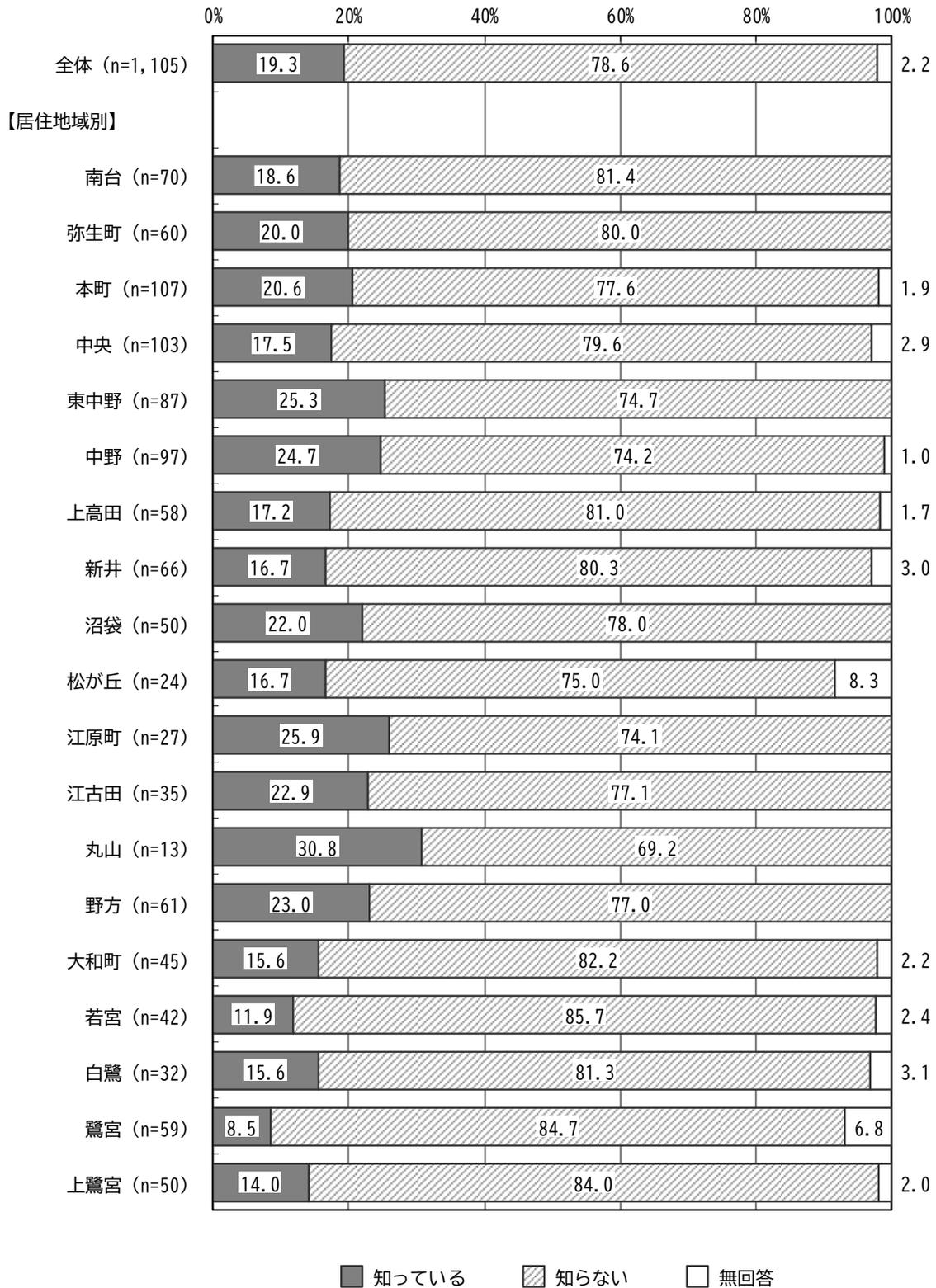
「やさしい日本語」の認知度を聞いたところ、「知っている」(19.3%)は約2割、「知らない」(78.6%)は7割後半となっている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別でみると、「知っている」は20歳代以下から30歳代で2割半ばとやや高くなっている。



居住地域別でみると、「知っている」は東中野、中野で2割半ばとやや高くなっている。



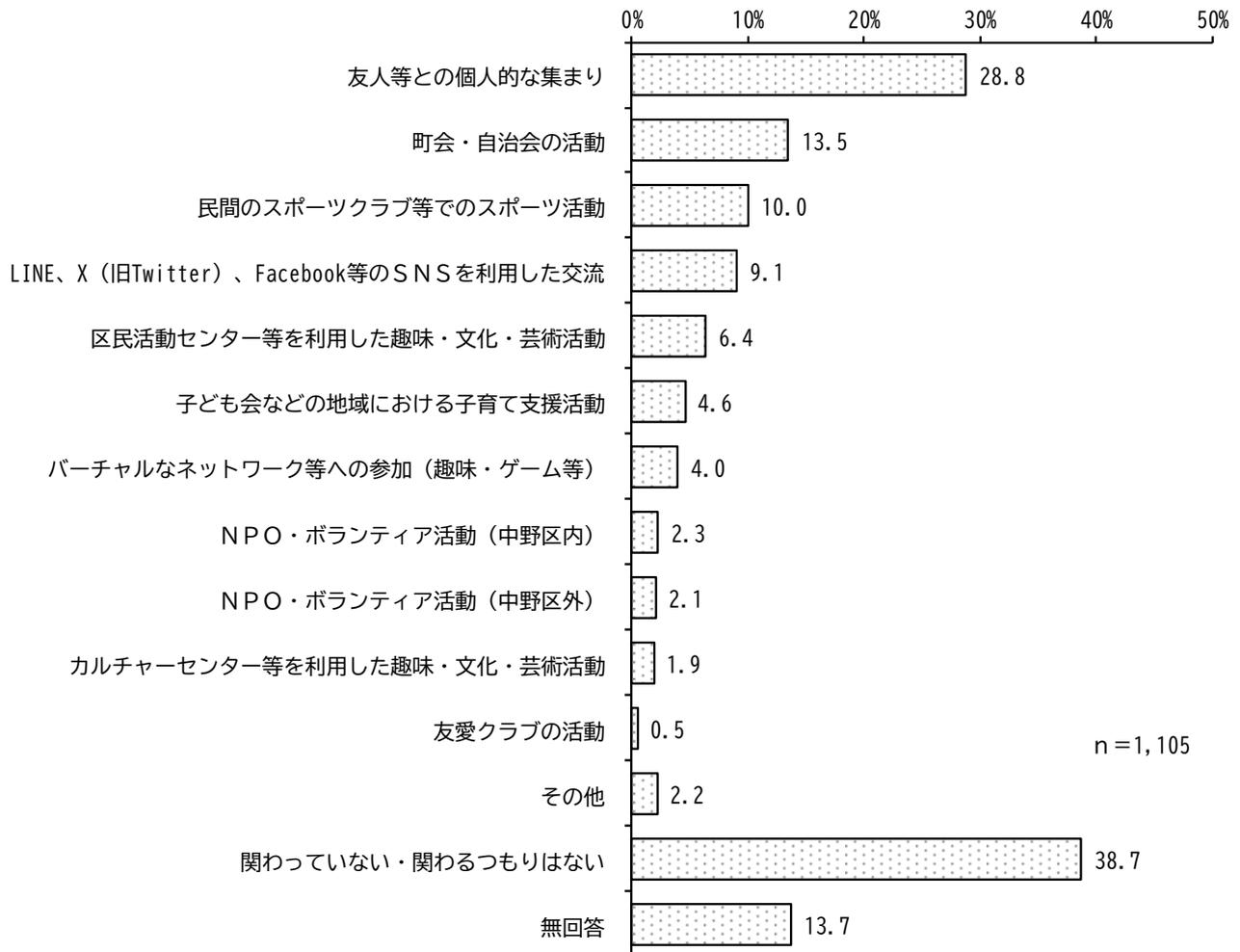
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

8 社会や地域との関わりについて
 (1) 最近1年間に参加した地域活動

「友人等との個人的な集まり」が2割後半で最も高い

問19 あなたの社会や地域との関わり（就労以外）として、①最近1年間に参加した活動、②今後、参加したい活動に、あてはまるものをそれぞれ選んでください。（○はそれぞれいくつでも）

【①最近1年間に参加した活動】



社会や地域との関わり（就労以外）として、最近1年間に参加した活動（複数回答）を聞いたところ、「友人等との個人的な集まり」(28.8%)が2割後半で最も高く、次いで「町会・自治会の活動」(13.5%)、「民間のスポーツクラブ等でのスポーツ活動」(10.0%)となっている。一方、「関わっていない・関わるつもりはない」(38.7%)は3割後半となっている。

性別で見ると、「友人等との個人的な集まり」は男性に比べ女性でやや高く、「関わっていない・関わるつもりはない」は女性に比べ男性で高くなっている。

年代別で見ると、「民間のスポーツクラブ等でのスポーツ活動」、「子ども会などの地域における子育て支援活動」は40歳代で、「区民活動センター等を利用した趣味・文化・芸術活動」は70歳代以上で、それぞれやや高くなっている。

	友人等との個人的な集まり	区民活動センター等を利用した趣味・文化・芸術活動	民間のスポーツクラブ等でのスポーツ活動	カルチャーセンター等を利用した趣味・文化・芸術活動	町会・自治会の活動	NPO・ボランティア活動（中野区内）	子ども会などの地域における子育て支援活動	（趣味・ゲーム等）バーチャルなネットワーク等への参加	FACEBOOK等（旧Twitter）のSNSを利用した交流	NPO・ボランティア活動（中野区外）	友愛クラブの活動	その他	関わっていない・関わるつもりはない	無回答	
全体（n=1,105）	22.1	18.6	18.6	17.7	9.5	8.5	7.9	7.4	6.2	4.2	1.5	1.7	31.9	10.0	
性別	男性（n=562）	21.5	16.4	17.3	14.2	10.9	8.5	6.4	9.1	5.9	4.1	1.8	33.8	8.7	
	女性（n=524）	23.1	21.2	20.0	21.9	8.4	8.4	9.7	5.7	6.7	4.2	1.1	30.2	10.3	
年代別	20歳代以下（n=138）	23.2	13.8	17.4	12.3	8.7	8.7	4.3	13.8	8.7	6.5	2.2	2.9	37.0	5.8
	30歳代（n=204）	27.0	21.6	25.0	20.1	10.3	6.4	16.2	14.7	9.3	2.5	2.0	1.5	30.4	3.9
	40歳代（n=187）	21.9	21.9	21.9	21.4	11.2	11.2	12.3	7.0	8.0	4.8	0.5	0.5	30.5	3.2
	50歳代（n=200）	22.5	20.0	22.5	21.5	10.0	8.5	4.5	4.5	7.0	5.0	1.5	1.0	30.0	7.5
	60歳代（n=161）	22.4	19.9	18.0	19.9	11.8	13.7	8.1	5.6	3.1	5.0	0.6	3.1	26.1	12.4
70歳代以上（n=203）	16.7	13.8	6.9	10.3	5.9	4.4	1.5	1.0	2.0	2.5	2.0	2.0	38.9	22.7	

居住地域別でみると、「友人等との個人的な集まり」は新井、若宮で、「町会・自治会の活動」は中央、白鷺で高くなっている。一方、「関わっていない・関わるつもりはない」は東中野、中野、沼袋でやや高くなっている。

	友人等との個人的な集まり	町会・自治会の活動	民間のスポーツクラブ等でのスポーツ活動	FACEBOOK(旧Twitter)、LINE、X等のSNSを利用した交流	区民活動センター等を利用した趣味・文化・芸術活動	子ども会などの地域における子育て支援活動	バーチャルなネットワーク等への参加(趣味・ゲーム等)	NPO・ボランティア活動(中野区内)	NPO・ボランティア活動(中野区外)	カルチャーセンター等を利用した趣味・文化・芸術活動	友愛クラブの活動	その他	関わっていない・関わるつもりはない	無回答	
全体 (n=1,105)	28.8	13.5	10.0	9.1	6.4	4.6	4.0	2.3	2.1	1.9	0.5	2.2	38.7	13.7	
居住地域別	南台 (n=70)	31.4	22.9	8.6	11.4	4.3	12.9	2.9	0.0	0.0	1.4	0.0	4.3	32.9	10.0
	弥生町 (n=60)	18.3	13.3	10.0	3.3	3.3	0.0	3.3	0.0	5.0	1.7	0.0	3.3	43.3	10.0
	本町 (n=107)	21.5	10.3	8.4	7.5	6.5	3.7	3.7	3.7	1.9	0.0	0.0	1.9	42.1	18.7
	中央 (n=103)	28.2	25.2	12.6	9.7	4.9	4.9	2.9	2.9	1.0	2.9	1.9	1.0	32.0	14.6
	東中野 (n=87)	21.8	6.9	13.8	6.9	9.2	3.4	5.7	2.3	2.3	3.4	1.1	1.1	48.3	13.8
	中野 (n=97)	34.0	10.3	8.2	11.3	7.2	4.1	5.2	3.1	4.1	2.1	1.0	3.1	44.3	11.3
	上高田 (n=58)	20.7	17.2	5.2	5.2	8.6	3.4	1.7	1.7	3.4	0.0	0.0	0.0	39.7	20.7
	新井 (n=66)	40.9	16.7	4.5	13.6	7.6	4.5	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	31.8	9.1
	沼袋 (n=50)	22.0	6.0	4.0	8.0	4.0	2.0	4.0	4.0	6.0	0.0	0.0	2.0	44.0	14.0
	松が丘 (n=24)	12.5	16.7	12.5	4.2	8.3	12.5	0.0	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0	62.5	8.3
	江原町 (n=27)	33.3	0.0	7.4	11.1	0.0	3.7	11.1	3.7	0.0	0.0	0.0	3.7	44.4	7.4
	江古田 (n=35)	37.1	5.7	11.4	11.4	8.6	2.9	2.9	5.7	2.9	11.4	2.9	5.7	40.0	14.3
	丸山 (n=13)	53.8	15.4	7.7	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	7.7	30.8	0.0
	野方 (n=61)	31.1	4.9	13.1	13.1	4.9	0.0	4.9	1.6	1.6	3.3	0.0	3.3	39.3	13.1
	大和町 (n=45)	37.8	8.9	6.7	6.7	4.4	4.4	2.2	2.2	0.0	2.2	0.0	0.0	37.8	13.3
	若宮 (n=42)	40.5	16.7	9.5	14.3	11.9	9.5	4.8	7.1	2.4	0.0	0.0	0.0	28.6	11.9
	白鷺 (n=32)	18.8	28.1	12.5	6.3	3.1	3.1	9.4	3.1	0.0	6.3	3.1	6.3	28.1	15.6
	鷺宮 (n=59)	28.8	11.9	15.3	11.9	8.5	3.4	5.1	0.0	0.0	1.7	0.0	1.7	35.6	15.3
上鷺宮 (n=50)	30.0	16.0	16.0	8.0	8.0	12.0	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	2.0	38.0	12.0	

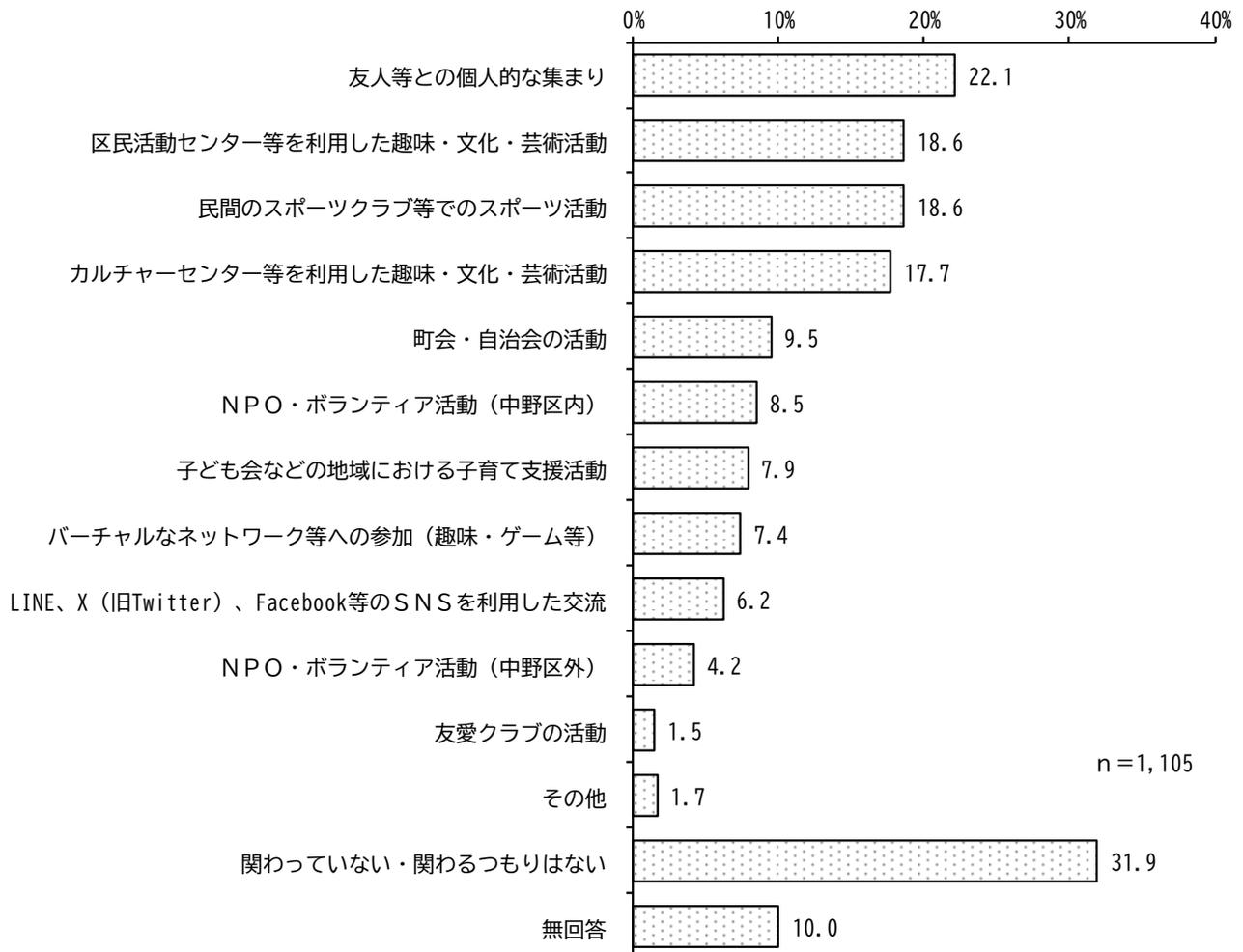
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(2) 今後参加したい地域活動

「友人等との個人的な集まり」が2割前半で最も高い

問19 あなたの社会や地域との関わり（就労以外）として、①最近1年間に参加した活動、②今後、参加したい活動に、あてはまるものをそれぞれ選んでください。（○はそれぞれいくつでも）

【②今後、参加したい活動】



社会や地域との関わり（就労以外）として、今後、参加したい活動（複数回答）を聞いたところ、「友人等との個人的な集まり」（22.1%）が2割前半で最も高く、次いで「区民活動センター等を利用した趣味・文化・芸術活動」、「民間のスポーツクラブ等でのスポーツ活動」（18.6%）、「カルチャーセンター等を利用した趣味・文化・芸術活動」（17.7%）となっている。一方、「関わっていない・関わるつもりはない」（31.9%）は約3割となっている。

性別で見ると、「カルチャーセンター等を利用した趣味・文化・芸術活動」は男性に比べ女性でやや高くなっている。

年代別で見ると、「NPO・ボランティア活動（中野区内）」は60歳代で、「子ども会などの地域における子育て支援活動」は30歳代で、「バーチャルなネットワーク等への参加（趣味・ゲーム等）」は20歳代以下、30歳代で、それぞれやや高くなっている。一方、「関わっていない・関わるつもりはない」は20歳代以下、70歳代以上で3割後半とやや高くなっている。

	友人等との個人的な集まり	区民活動センター等を利用した趣味・文化・芸術活動	民間のスポーツクラブ等でのスポーツ活動	カルチャーセンター等を利用した趣味・文化・芸術活動	町会・自治会の活動	NPO・ボランティア活動（中野区内）	子ども会などの地域における子育て支援活動	（趣味・ゲーム等）バーチャルなネットワーク等への参加	FACEBOOK等（旧Twitter）のSNSを利用した交流	NPO・ボランティア活動（中野区外）	友愛クラブの活動	その他	関わっていない・関わるつもりはない	無回答	
全体（n=1,105）	22.1	18.6	18.6	17.7	9.5	8.5	7.9	7.4	6.2	4.2	1.5	1.7	31.9	10.0	
性別	男性（n=562）	21.5	16.4	17.3	14.2	10.9	8.5	6.4	9.1	5.9	4.1	1.8	33.8	8.7	
	女性（n=524）	23.1	21.2	20.0	21.9	8.4	8.4	9.7	5.7	6.7	4.2	1.1	30.2	10.3	
年代別	20歳代以下（n=138）	23.2	13.8	17.4	12.3	8.7	8.7	4.3	13.8	8.7	6.5	2.2	2.9	37.0	5.8
	30歳代（n=204）	27.0	21.6	25.0	20.1	10.3	6.4	16.2	14.7	9.3	2.5	2.0	30.4	3.9	
	40歳代（n=187）	21.9	21.9	21.9	21.4	11.2	11.2	12.3	7.0	8.0	4.8	0.5	30.5	3.2	
	50歳代（n=200）	22.5	20.0	22.5	21.5	10.0	8.5	4.5	4.5	7.0	5.0	1.5	30.0	7.5	
	60歳代（n=161）	22.4	19.9	18.0	19.9	11.8	13.7	8.1	5.6	3.1	5.0	0.6	26.1	12.4	
	70歳代以上（n=203）	16.7	13.8	6.9	10.3	5.9	4.4	1.5	1.0	2.0	2.5	2.0	38.9	22.7	

居住地域別でみると、「友人等との個人的な集まり」は中野、大和町でやや高く、「民間のスポーツクラブ等でのスポーツ活動」は白鷺で高くなっている。

	友人等との個人的な集まり	区民活動センター等を利用した趣味・文化・芸術活動	民間のスポーツクラブ等でのスポーツ活動	カルチャーセンター等を利用した趣味・文化・芸術活動	町会・自治会の活動	NPO・ボランティア活動（中野区内）	子ども会などの地域における子育て支援活動	（趣味・ゲーム等）バーチャルなネットワーク等への参加	LINE、X（旧Twitter）、Facebook等のSNSを利用した交流	NPO・ボランティア活動（中野区外）	友愛クラブの活動	その他	関わっていない・関わるつもりはない	無回答	
全体（n=1,105）	22.1	18.6	18.6	17.7	9.5	8.5	7.9	7.4	6.2	4.2	1.5	1.7	31.9	10.0	
居住地域別	南台（n=70）	20.0	20.0	22.9	18.6	7.1	5.7	7.1	10.0	5.7	4.3	2.9	2.9	25.7	15.7
	弥生町（n=60）	16.7	15.0	21.7	21.7	6.7	8.3	0.0	6.7	0.0	1.7	0.0	1.7	40.0	10.0
	本町（n=107）	22.4	16.8	20.6	12.1	8.4	6.5	5.6	5.6	5.6	2.8	1.9	0.0	40.2	7.5
	中央（n=103）	19.4	19.4	10.7	22.3	13.6	8.7	9.7	7.8	6.8	4.9	1.9	1.0	26.2	13.6
	東中野（n=87）	24.1	23.0	17.2	18.4	8.0	10.3	8.0	8.0	8.0	2.3	1.1	0.0	36.8	10.3
	中野（n=97）	28.9	14.4	14.4	15.5	9.3	9.3	7.2	11.3	8.2	6.2	2.1	2.1	34.0	7.2
	上高田（n=58）	20.7	19.0	6.9	13.8	17.2	6.9	10.3	5.2	5.2	3.4	0.0	1.7	34.5	6.9
	新井（n=66）	25.8	25.8	24.2	21.2	10.6	6.1	16.7	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	24.2	12.1
	沼袋（n=50）	18.0	12.0	12.0	18.0	10.0	12.0	4.0	6.0	6.0	8.0	2.0	4.0	30.0	4.0
	松が丘（n=24）	20.8	20.8	16.7	12.5	16.7	8.3	8.3	4.2	0.0	4.2	4.2	0.0	29.2	12.5
	江原町（n=27）	14.8	14.8	22.2	14.8	7.4	7.4	7.4	7.4	3.7	3.7	0.0	3.7	40.7	3.7
	江古田（n=35）	22.9	25.7	8.6	17.1	5.7	11.4	8.6	17.1	14.3	5.7	2.9	2.9	25.7	14.3
	丸山（n=13）	46.2	23.1	15.4	15.4	23.1	0.0	7.7	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0
	野方（n=61）	23.0	19.7	27.9	16.4	8.2	9.8	6.6	8.2	13.1	3.3	1.6	3.3	26.2	9.8
	大和町（n=45）	31.1	15.6	20.0	17.8	4.4	8.9	4.4	6.7	8.9	4.4	2.2	2.2	40.0	4.4
	若宮（n=42）	19.0	19.0	28.6	14.3	11.9	11.9	16.7	4.8	4.8	2.4	0.0	2.4	35.7	4.8
	白鷺（n=32）	15.6	21.9	40.6	25.0	15.6	3.1	12.5	6.3	6.3	3.1	3.1	3.1	25.0	12.5
鷺宮（n=59）	20.3	11.9	16.9	20.3	6.8	8.5	3.4	11.9	6.8	5.1	0.0	1.7	35.6	6.8	
上鷺宮（n=50）	24.0	26.0	20.0	22.0	6.0	12.0	10.0	6.0	6.0	8.0	0.0	2.0	30.0	8.0	

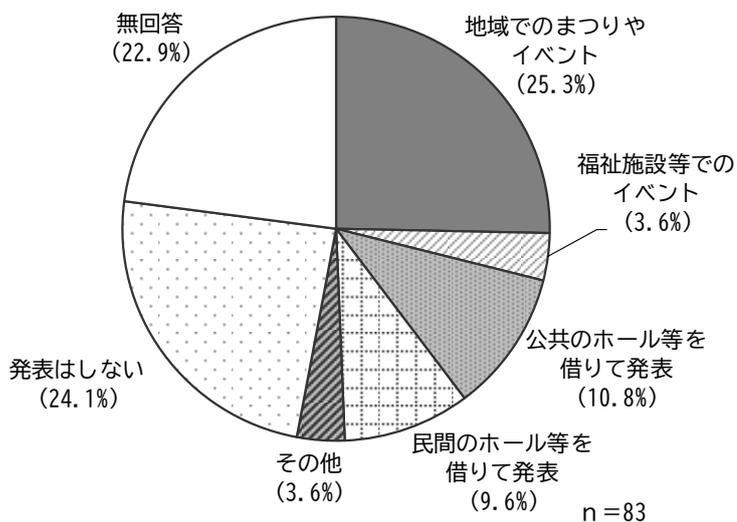
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(3) 趣味・文化・芸術活動の発表の場

「地域でのまつりやイベント」が2割半ば

【問19①で「6」「7」と答えた方にお聞きします。】

問19-1 趣味・文化・芸術活動を行っている人にお伺いします。あなたの活動の発表の場は、主にどこですか。(〇は1つ)



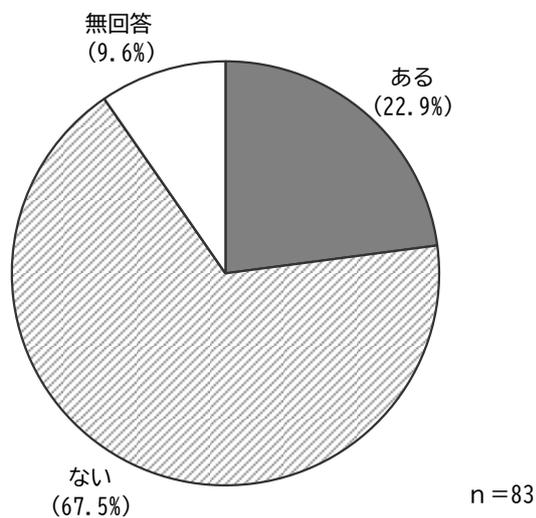
趣味・文化・芸術活動を行っている人に主な活動の発表場所を聞いたところ、「地域でのまつりやイベント」(25.3%)が2割半ばで最も高く、次いで「公共のホール等を借りて発表」(10.8%)、「民間のホール等を借りて発表」(9.6%)となっている。一方、「発表はしない」(24.1%)は4割半ばとなっている。

(4) 他団体と交流

他団体との交流は「ない」が6割後半

【問19①で「6」「7」と答えた方にお聞きします。】

問19-2 他団体と交流するなどの繋がりがありますか。(○は1つ)



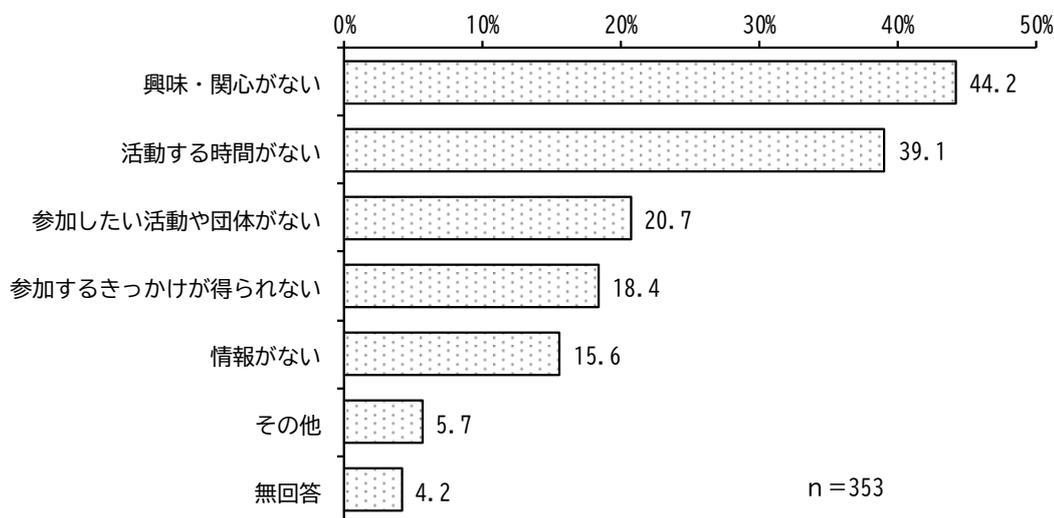
趣味・文化・芸術活動を行っている人に他団体との交流の有無を聞いたところ、「ある」(22.9%)が2割前半、「ない」(67.5%)が6割後半となっている。

(5) 町会・自治会・ボランティア活動への不参加理由

「興味・関心がない」が4割半ば

【問19②で「13」と答えた方にお聞きします。】

問19-3 その理由は何ですか。(〇はいくつでも)



町会・自治会・ボランティア活動への不参加理由（複数回答）を聞いたところ、「興味・関心がない」（44.2%）が4割半ばで最も高く、次いで「活動する時間がない」（39.1%）、「参加したい活動や団体がない」（20.7%）となっている。

性別で見ると、「興味・関心がない」は女性に比べ男性でやや高くなっている。

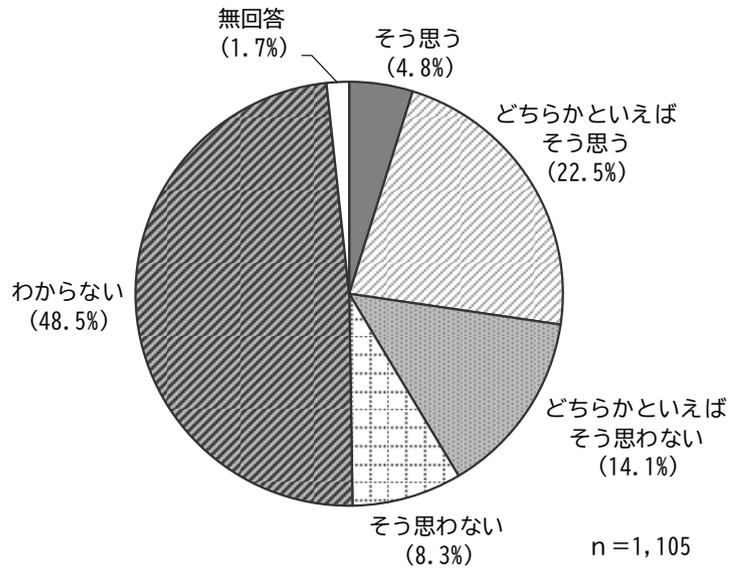
年代別で見ると、「興味・関心がない」は30歳代でやや高くなっており、「活動する時間がない」は20歳代以下、40歳代で、「参加したい活動や団体がない」は50歳代で、それぞれ高くなっている。

		興味・関心がない	活動する時間がない	参加したい活動や団体がない	参加するきっかけが得られない	情報がない	その他	無回答
全体 (n=353)		44.2	39.1	20.7	18.4	15.6	5.7	4.2
性別	男性 (n=190)	46.8	38.4	22.6	18.9	15.8	5.3	5.3
	女性 (n=158)	40.5	40.5	18.4	17.1	15.2	6.3	3.2
年代別	20歳代以下 (n=51)	49.0	51.0	15.7	25.5	13.7	0.0	3.9
	30歳代 (n=62)	50.0	40.3	19.4	21.0	14.5	3.2	1.6
	40歳代 (n=57)	40.4	54.4	19.3	21.1	14.0	5.3	1.8
	50歳代 (n=60)	36.7	43.3	33.3	21.7	13.3	8.3	3.3
	60歳代 (n=42)	42.9	38.1	16.7	14.3	21.4	7.1	7.1
	70歳代以上 (n=79)	45.6	17.7	19.0	8.9	16.5	8.9	7.6

9 生涯学習について

《そう思う》（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」）が2割後半

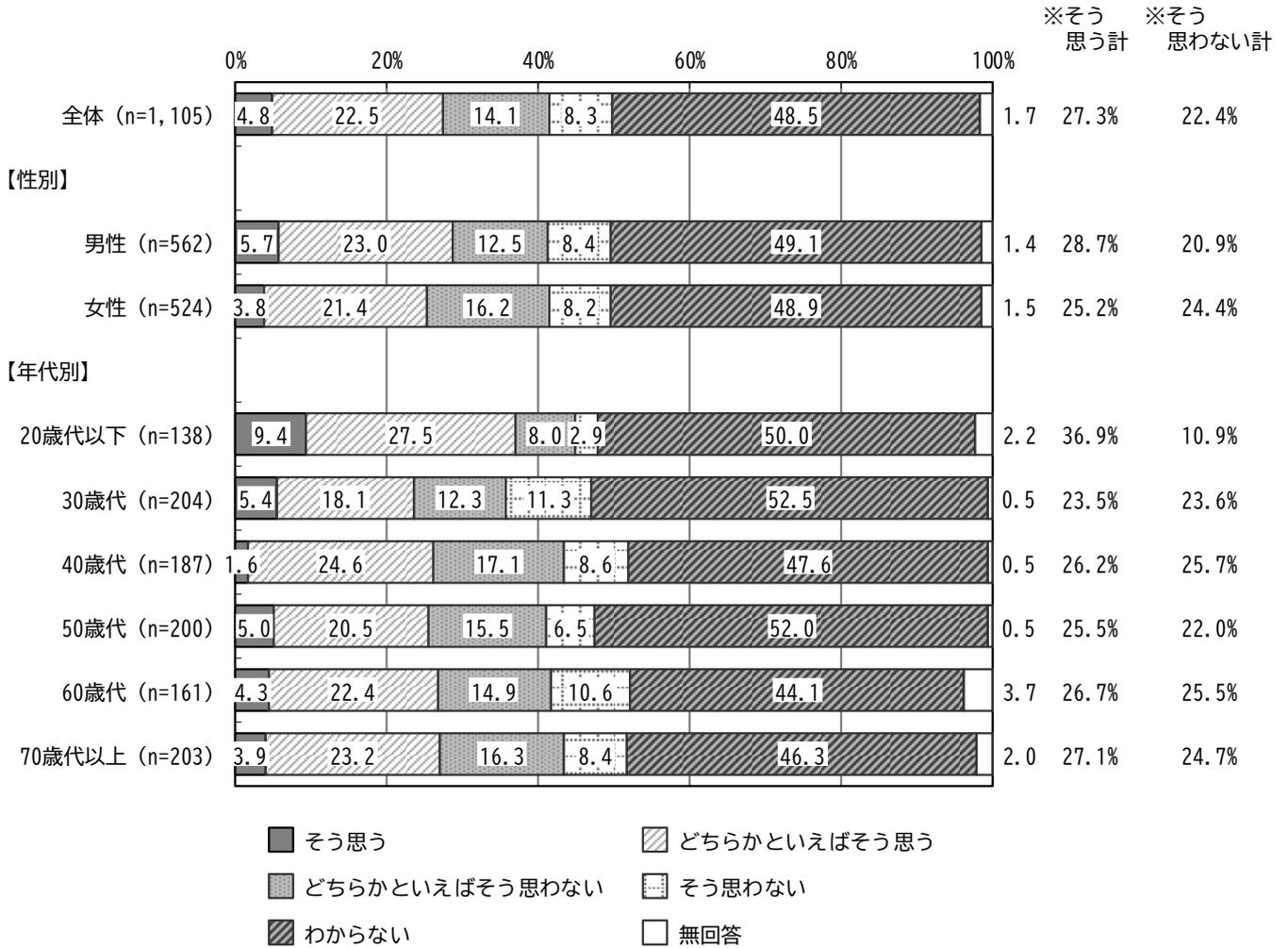
問20 講座や教室、スポーツ活動や文化芸術活動など、区内における生涯学習の機会は充実していると思いますか。(○は1つ)



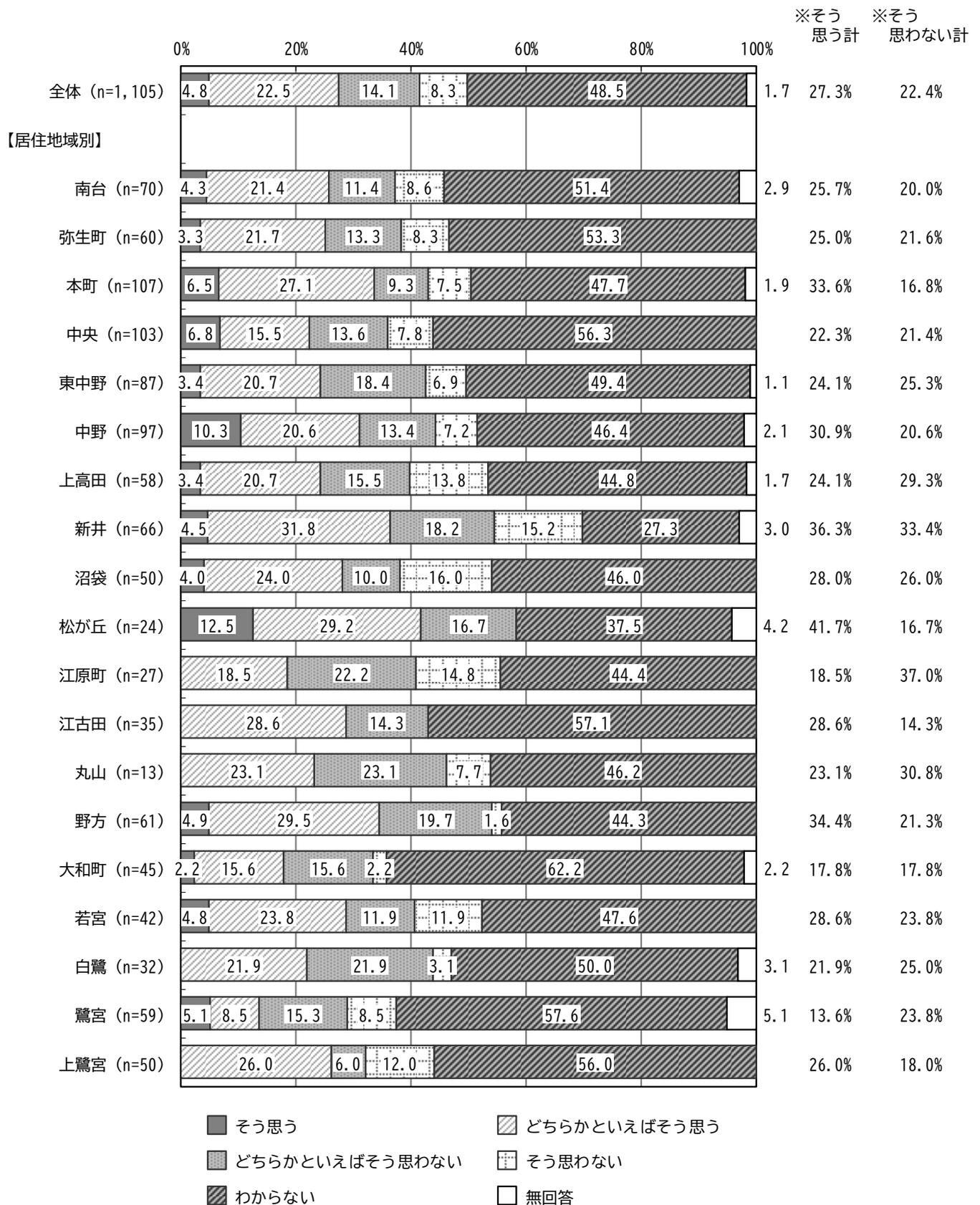
生涯学習の機会が充実していると思うか聞いたところ、「そう思う」(4.8%)と「どちらかといえばそう思う」(22.5%)を合わせた《そう思う》(27.3%)は2割後半となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(14.1%)と「そう思わない」(8.3%)を合わせた《そう思わない》(22.4%)は2割前半となっている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別でみると、「<<そう思う>>は20歳代以下で3割半ばとやや高くなっている。一方、「<<そう思わない>>は40歳代、60歳代、70歳代以上で2割半ばとなっている。



居住地域別でみると、「<<そう思う>>は新井、野方で3割半ばとやや高くなっている。一方、「<<そう思わない>>は新井で3割前半と高くなっている。



※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

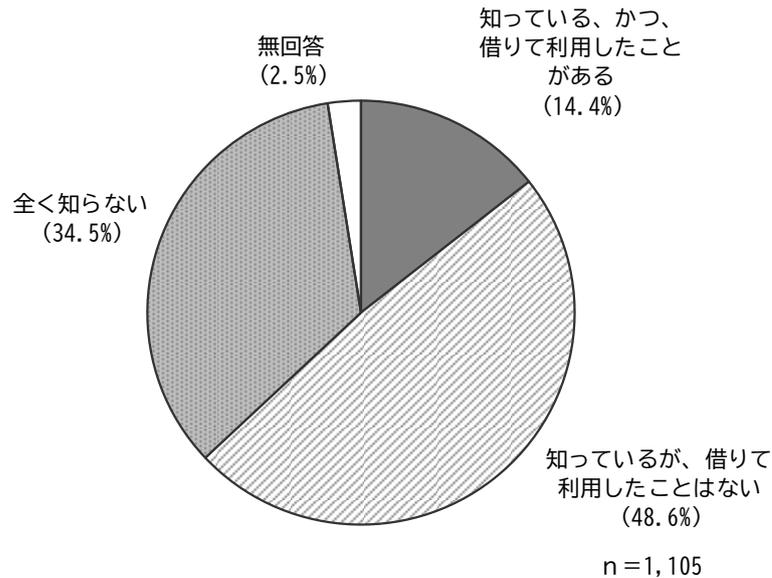
10 区立施設の貸出利用について

(1) 区立施設の貸出利用〔①文化・スポーツ施設等（施設予約システム導入施設）〕

「知っているが、借りて利用したことはない」が4割後半で最も高い

問21① 文化・スポーツ施設等（施設予約システム導入施設）について、個人や団体の用途に応じた利用ができることを知っていますか、または借りて利用したことがありますか。（○は1つ）

例：体育館（フットサル、バスケットボールなど）、文化施設（なかのZEROのホール、学習室、多目的練習室など）

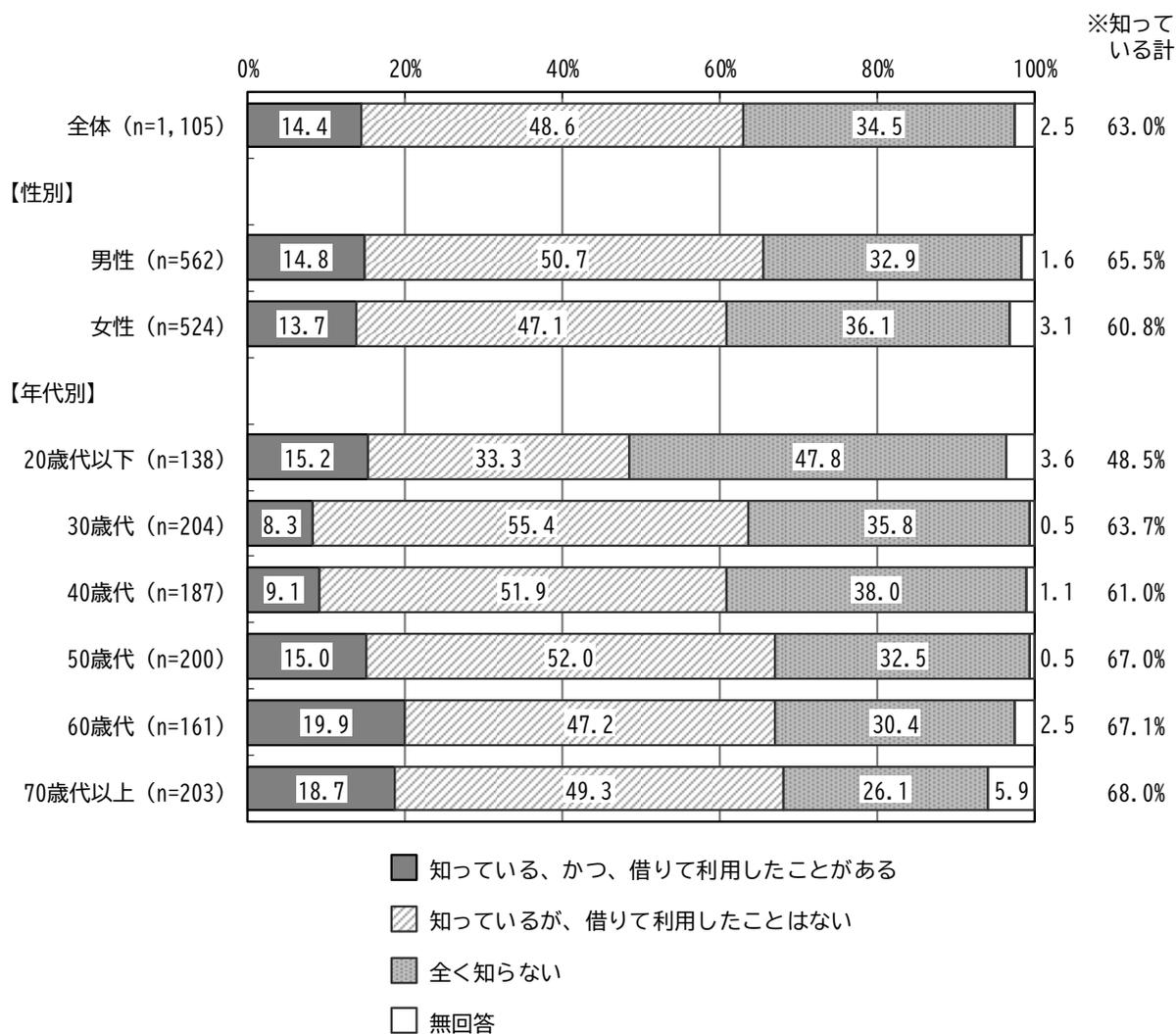


区立施設の貸出利用について聞いたところ、〔①文化・スポーツ施設等（施設予約システム導入施設）〕では、「知っているが、借りて利用したことはない」（48.6%）が4割後半で最も高く、次いで「全く知らない」（34.5%）、「知っている、かつ、借りて利用したことがある」（14.4%）となっている。

「知っている、かつ、借りて利用したことがある」と「知っているが、借りて利用したことはない」を合わせた「知っている」（63.0%）は6割前半となっている。

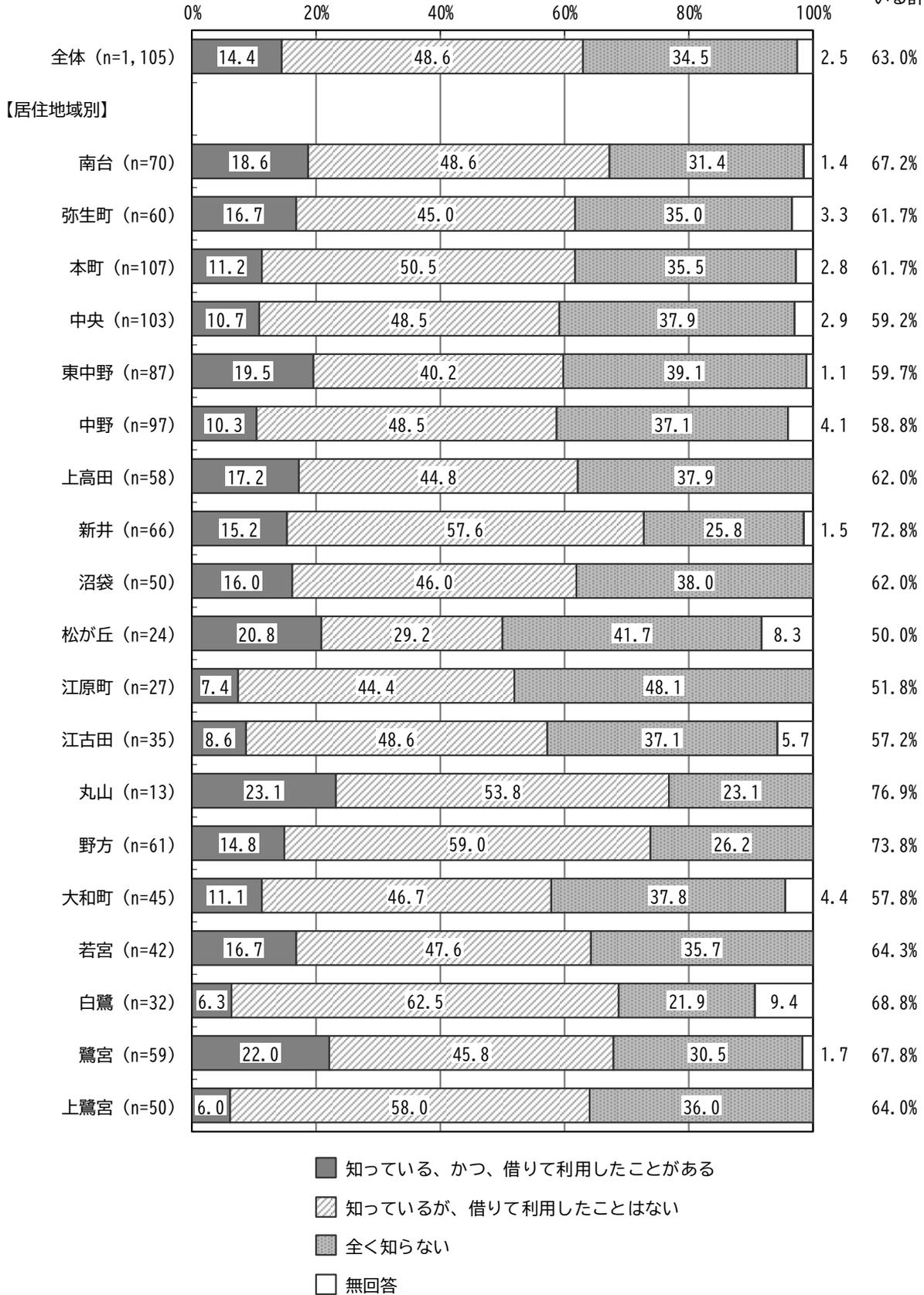
性別で見ると、「知っている」は特徴的な差はみられない。

年代別で見ると、「知っている」は50歳、60歳、70歳代以上で6割後半とやや高くなっている。



居住地域別でみると、「知っている」は野方で7割前半と高くなっている。

※知っている計



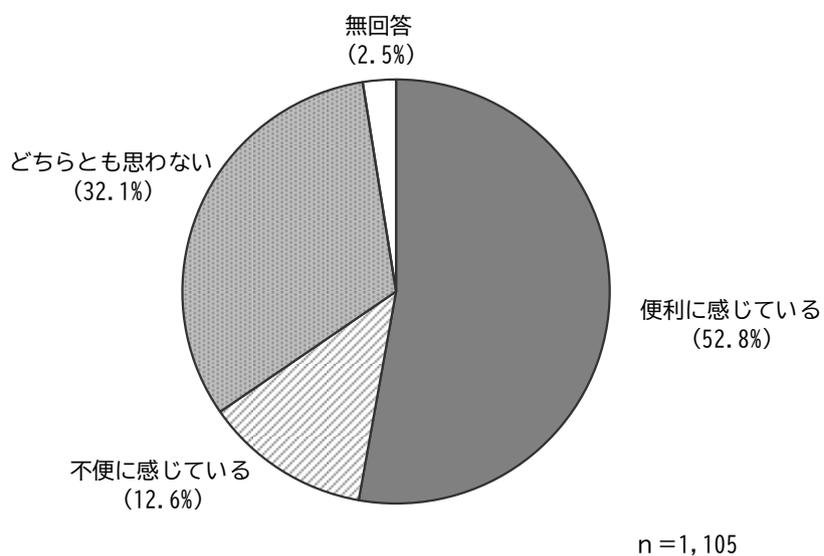
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(2) 区立施設の利便性〔①文化・スポーツ施設等（施設予約システム導入施設）〕

「便利に感じている」が5割前半

【問2 1 ①で「1」と答えた方にお聞きします。】

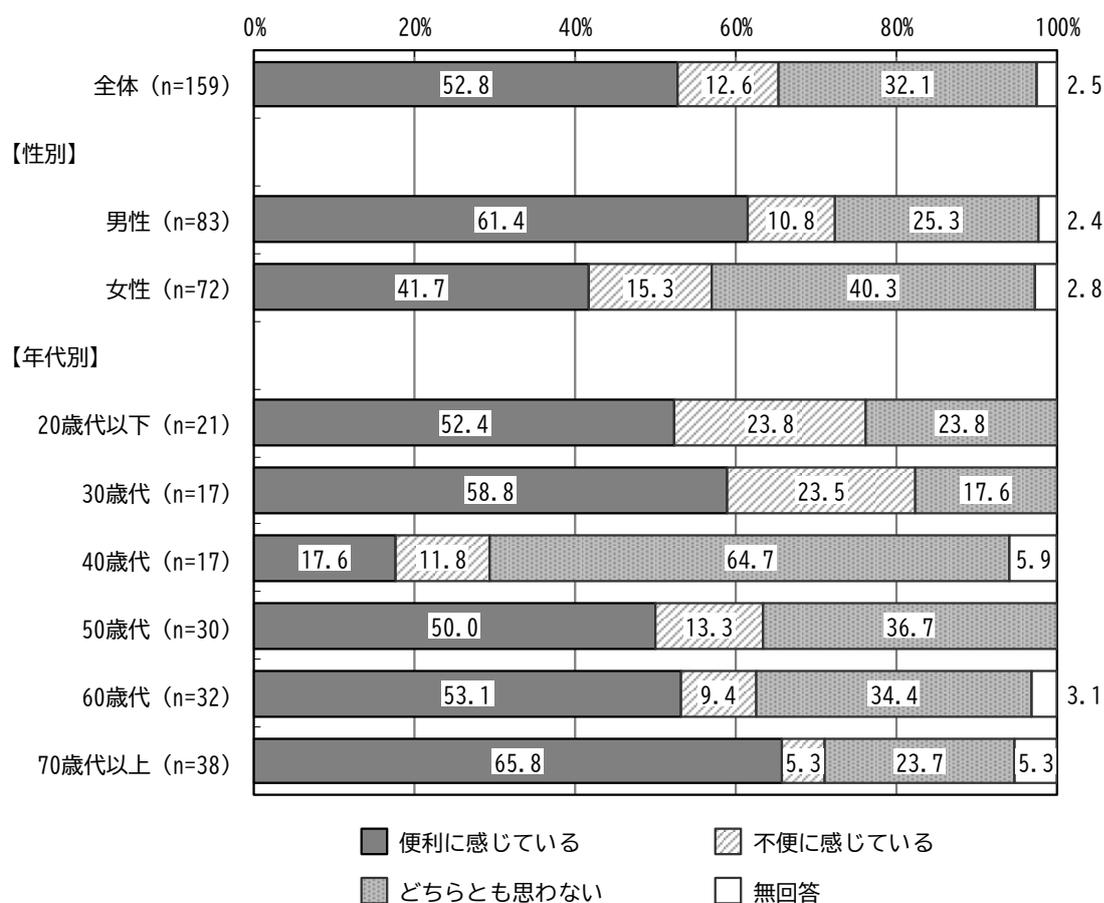
問2 1 - 1 施設の利便性についてお答えください。(○は1つ)



〔①文化・スポーツ施設等（施設予約システム導入施設）〕の利便性を聞いたところ、「便利に感じている」(52.8%)が5割前半、「不便に感じている」(12.6%)が1割前半となっている。「どちらとも思わない」(32.1%)は3割前半となっている。

性別で見ると、「便利に感じている」は女性に比べ男性で高くなっている。

年代別で見ると、「便利に感じている」は70歳代以上で6割半ばと高くなっている。



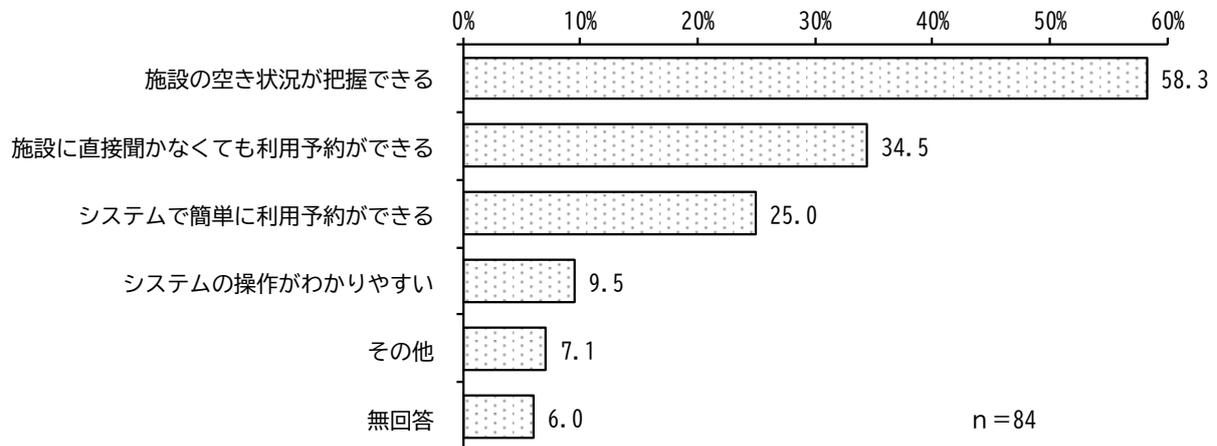
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(3) 貸出利用の便利な点〔①文化・スポーツ施設等（施設予約システム導入施設）〕

「施設の空き状況が把握できる」が5割後半で最も高い

【問21-1で「1」と答えた方にお聞きします。】

問21-2 便利に感じている点は何ですか。(〇はいくつでも)



〔①文化・スポーツ施設等（施設予約システム導入施設）〕の貸出利用の便利な点（複数回答）を聞いたところ、「施設の空き状況が把握できる」（58.3%）が5割後半で最も高く、次いで「施設に直接聞かなくても利用予約ができる」（34.5%）、「システムで簡単に利用予約ができる」（25.0%）、「システムの操作がわかりやすい」（9.5%）となっている。

性別で見ると、「施設に直接聞かなくても利用予約ができる」は女性に比べ男性で高く、「施設の空き状況が把握できる」は男性に比べ女性で高くなっている。

		施設の空き状況が把握できる	施設に直接聞かなくても利用予約ができる	システムの操作がわかりやすい	システムで簡単に利用予約ができる	その他	無回答
全体 (n=84)		58.3	34.5	9.5	25.0	7.1	6.0
性別	男性 (n=51)	47.1	39.2	9.8	25.5	7.8	3.9
	女性 (n=30)	73.3	26.7	10.0	23.3	6.7	10.0
年代別	20歳代以下 (n=11)	54.5	18.2	9.1	27.3	9.1	0.0
	30歳代 (n=10)	70.0	60.0	20.0	20.0	0.0	10.0
	40歳代 (n=3)	66.7	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0
	50歳代 (n=15)	53.3	46.7	20.0	26.7	0.0	6.7
	60歳代 (n=17)	47.1	23.5	11.8	23.5	17.6	5.9
	70歳代以上 (n=25)	60.0	28.0	0.0	24.0	8.0	8.0

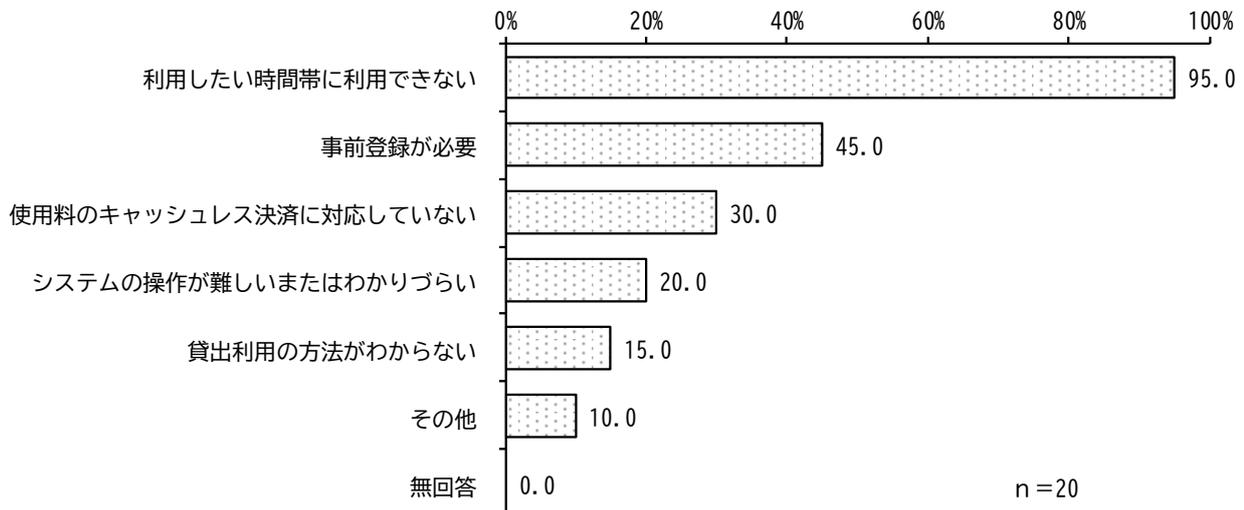
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(4) 貸出利用の不便な点〔①文化・スポーツ施設等（施設予約システム導入施設）〕

「利用したい時間帯に利用できない」が9割半ば

【問2 1-1で「2」と答えた方にお聞きします。】

問2 1-3 不便に感じている点は何ですか。(〇はいくつでも)



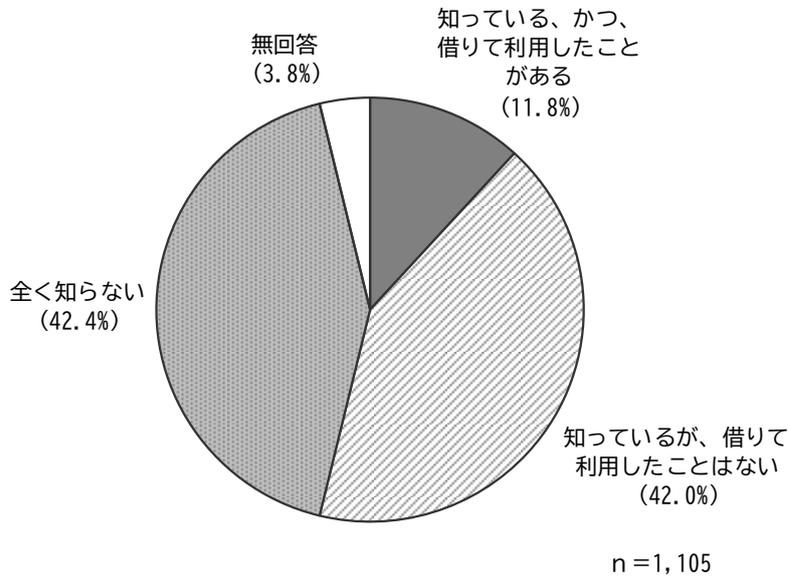
〔①文化・スポーツ施設等（施設予約システム導入施設）〕の貸出利用で不便に感じている点（複数回答）を聞いたところ、「利用したい時間帯に利用できない」（95.0%）が9割半ばで最も高く、次いで「事前登録が必要」（45.0%）、「使用料のキャッシュレス決済に対応していない」（30.0%）、「システムの操作が難しいまたはわかりづらい」（20.0%）となっている。

(5) 区立施設の貸出利用〔②区民活動センター集会室等（施設予約システム未導入施設）〕

「全く知らない」が4割前半で最も高い

問2 1 ② 区民活動センター集会室等（施設予約システム未導入施設）について、個人や団体の用途に応じた利用ができることを知っていますか、または借りて利用したことがありますか。（○は1つ）

例：区民活動センター（集会室（和室、洋室）、調理室、多目的室、音楽室）など

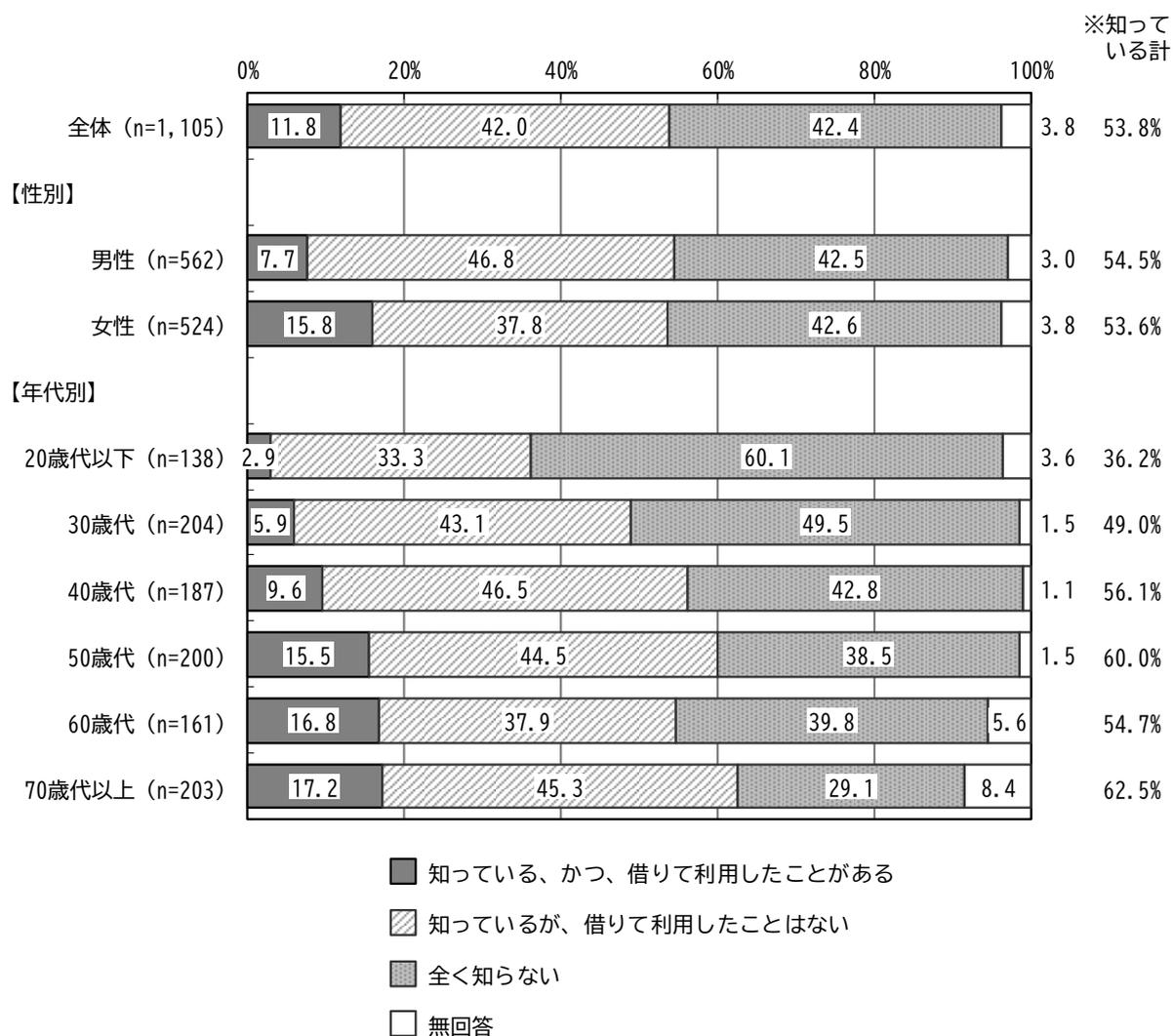


区立施設の貸出利用について聞いたところ、〔②区民活動センター集会室等（施設予約システム未導入施設）〕では、「全く知らない」（42.4%）が4割前半で最も高く、次いで「知っているが、借りて利用したことはない」（42.0%）、「知っている、かつ、借りて利用したことがある」（11.8%）となっている。

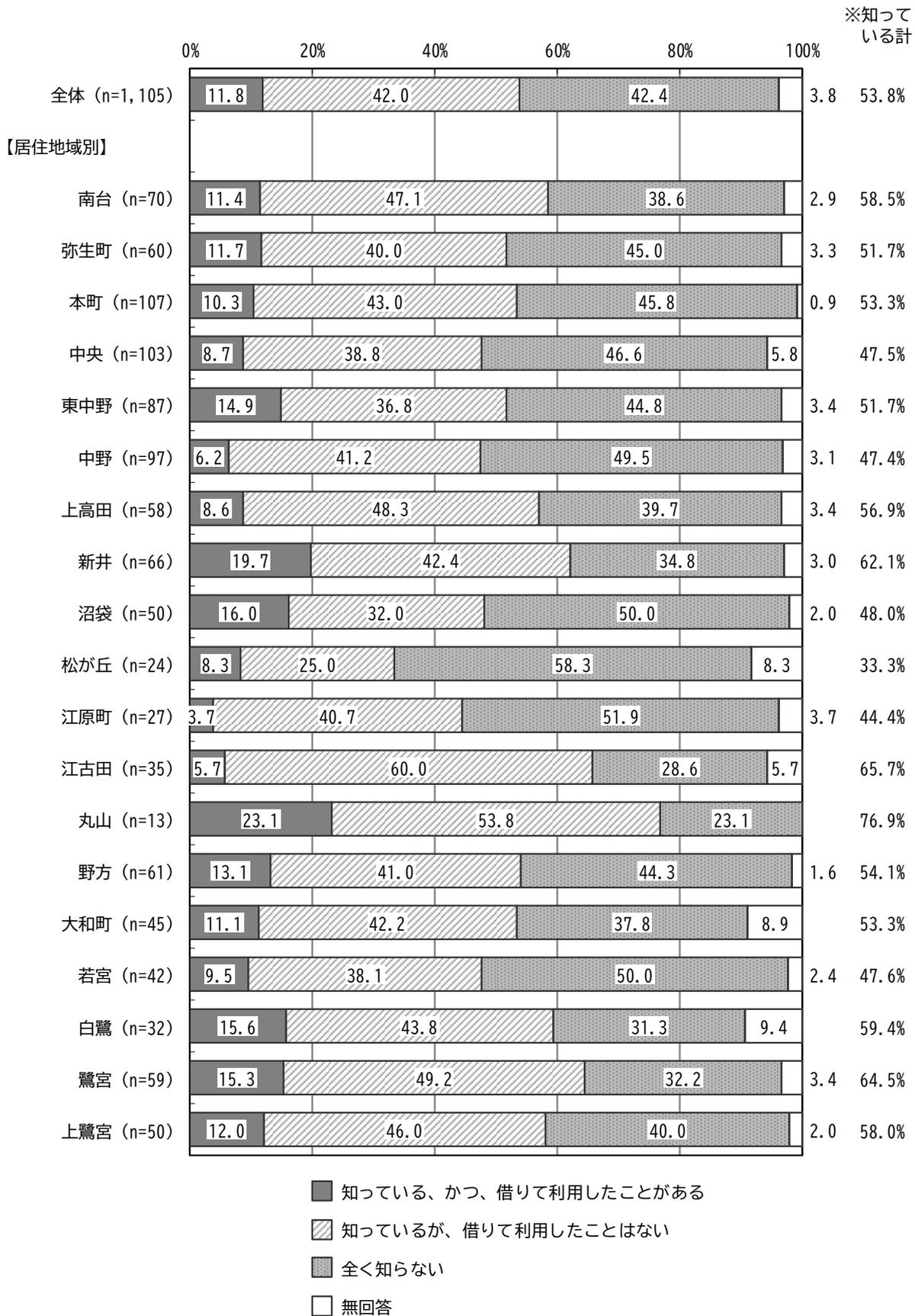
「知っている、かつ、借りて利用したことがある」と「知っているが、借りて利用したことはない」を合わせた「知っている」（53.8%）は5割前半となっている。

性別でみると、「知っている」は特徴的な差はみられない。

年代別でみると、「知っている」は70歳代以上で6割前半とやや高くなっている。



居住地域別でみると、「知っている」は江古田、鷺宮で6割半ばと高くなっている。



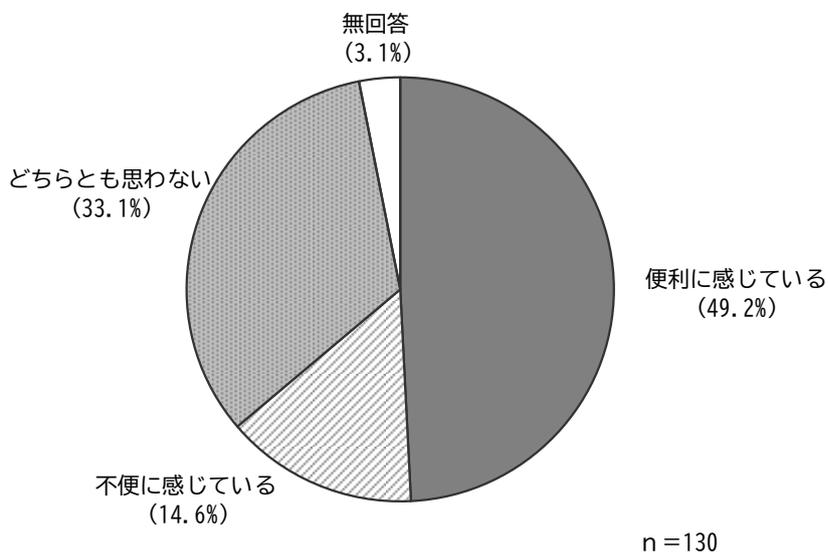
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(6) 区立施設の利便性〔②区民活動センター集会室等（施設予約システム未導入施設）〕

「便利に感じている」が約5割

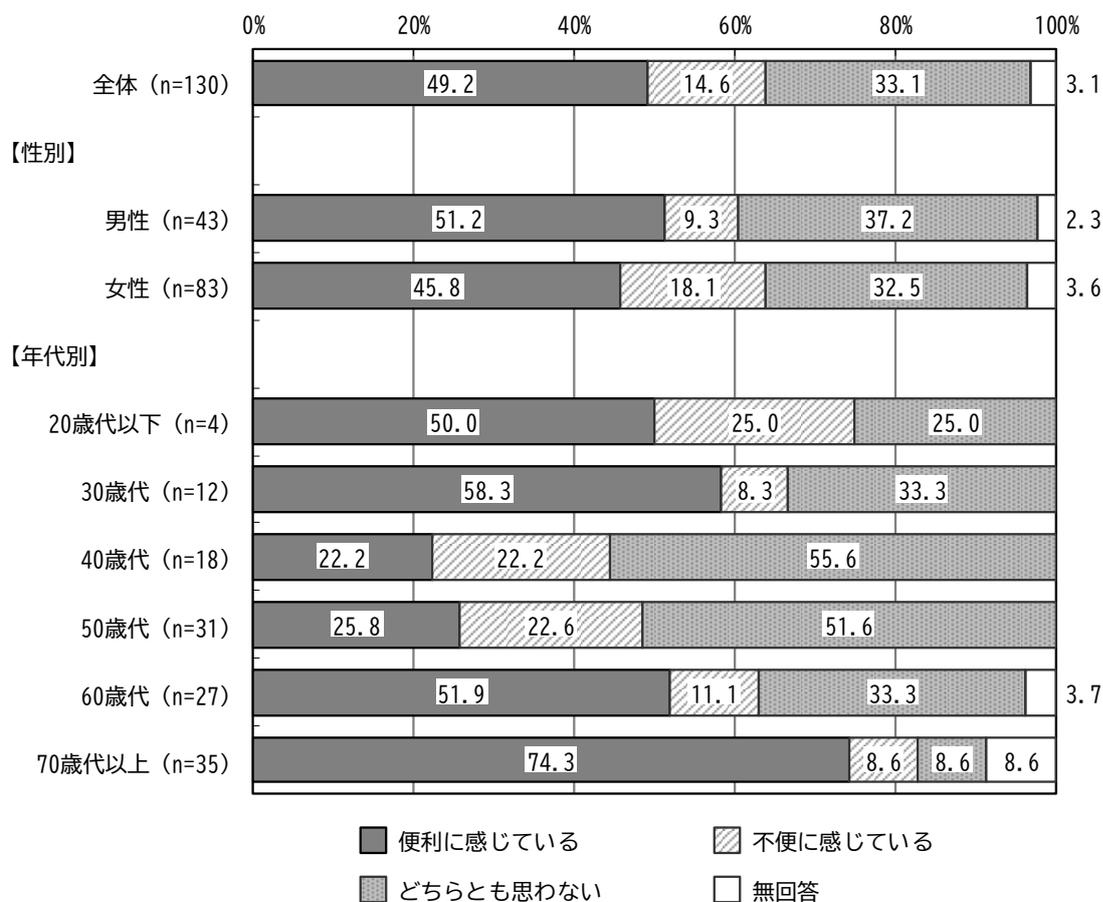
【問21②で「1」と答えた方にお聞きします。】

問21-4 施設の利便性についてお答えください。(○は1つ)



〔②区民活動センター集会室等（施設予約システム未導入施設）〕の利便性を聞いたところ、「便利に感じている」(49.2%)が約5割、「不便に感じている」(14.6%)が1割半ばとなっている。「どちらとも思わない」(33.1%)は3割前半となっている。

性別で見ると、「不便に感じている」は男性に比べ女性でやや高くなっている。
 年代別で見ると、「便利に感じている」は70歳代以上で7割半ばと高くなっている。



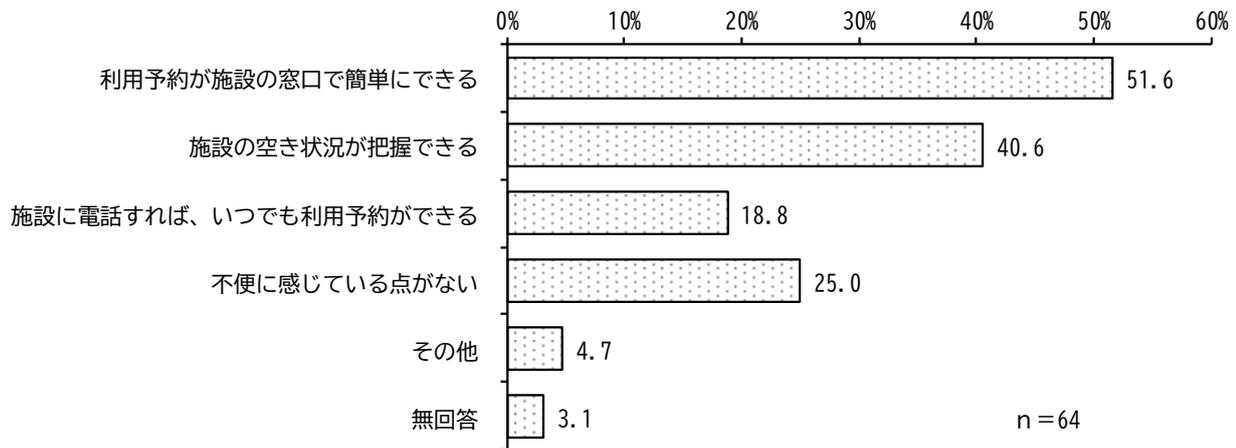
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(7) 貸出利用の便利な点〔②区民活動センター集会室等（施設予約システム未導入施設）〕

「利用予約が施設の窓口で簡単にできる」が約5割で最も高い

【問21-4で「1」と答えた方にお聞きします。】

問21-5 便利に感じている点は何ですか。(○はいくつでも)



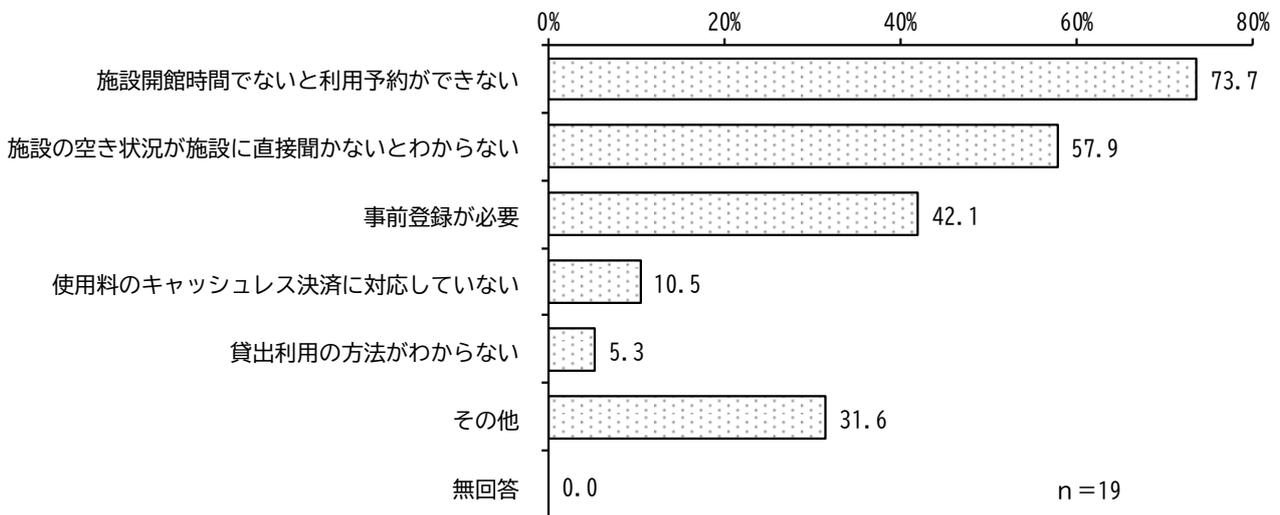
〔②区民活動センター集会室等（施設予約システム未導入施設）〕の貸出利用の便利な点（複数回答）を聞いたところ、「利用予約が施設の窓口で簡単にできる」（51.6%）が約5割で最も高く、次いで「施設の空き状況が把握できる」（40.6%）、「不便に感じている点がない」（25.0%）、「施設に電話すれば、いつでも利用予約ができる」（18.8%）となっている。

(8) 貸出利用の不便な点〔②区民活動センター集会室等（施設予約システム未導入施設）〕

「施設開館時間でないと利用予約ができない」が7割前半

【問2 1-4で「2」と答えた方にお聞きします】

問2 1-6 不便に感じている点は何ですか。(○はいくつでも)

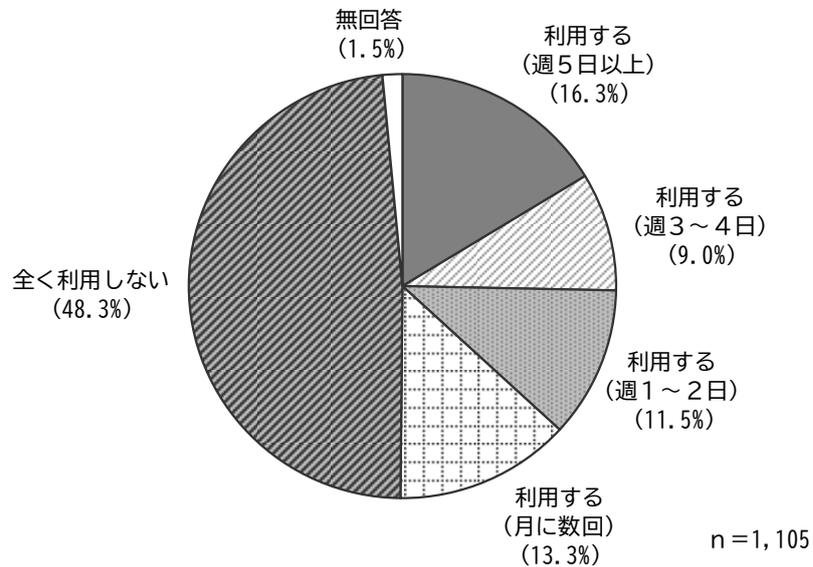


〔②区民活動センター集会室等（施設予約システム未導入施設）〕の貸出利用で不便に感じている点（複数回答）を聞いたところ、「施設開館時間でないと利用予約ができない」（73.7%）が7割前半で最も高く、次いで「施設の空き状況が施設に直接聞かないとわからない」（57.9%）、「事前登録が必要」（42.1%）、「使用料のキャッシュレス決済に対応していない」（10.5%）となっている。

1.1 自転車について
(1) 自転車の利用頻度

「全く利用しない」が4割後半

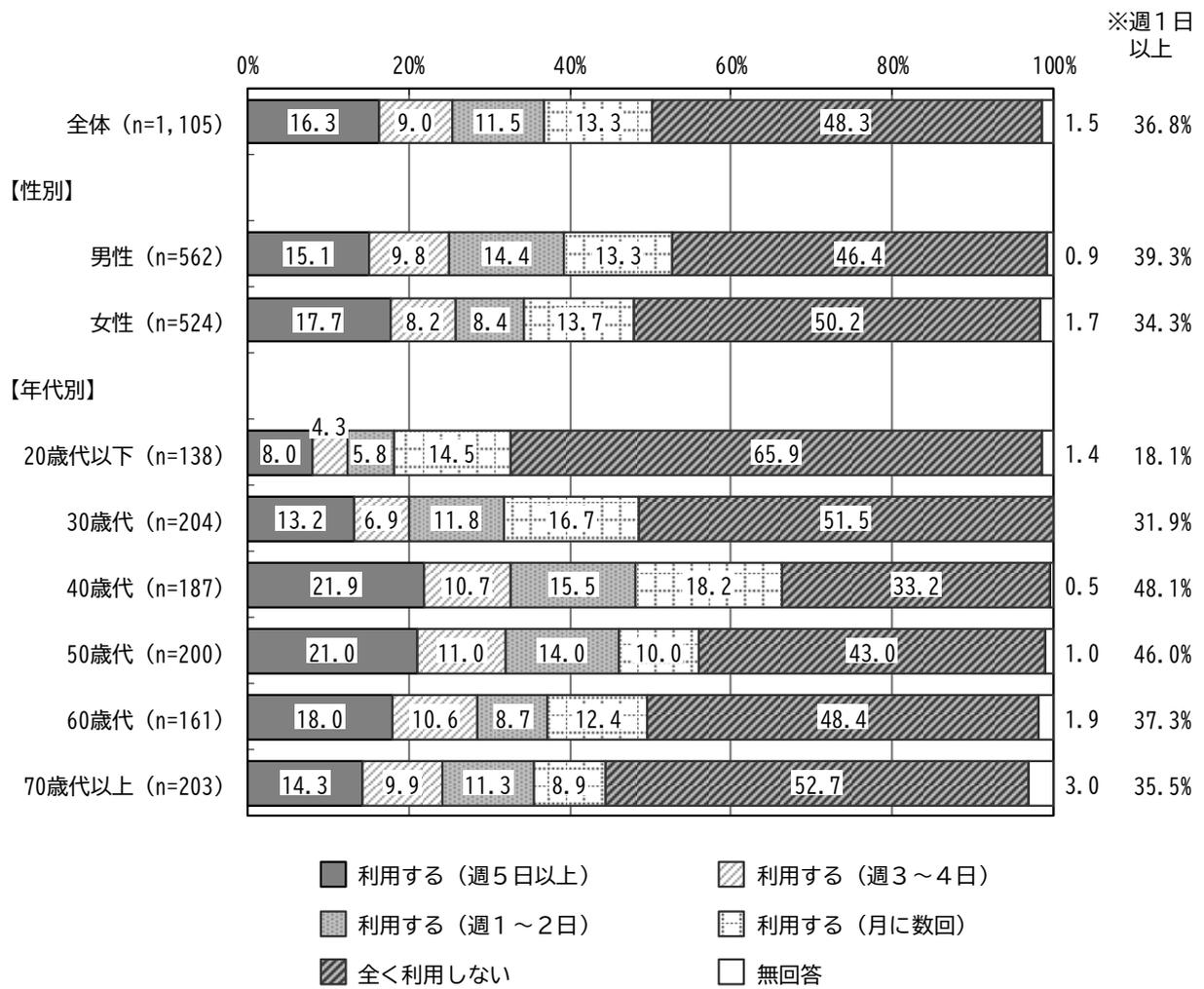
問2.2 あなたは自転車を利用しますか、また、利用する頻度はどのくらいですか。(○は1つ)



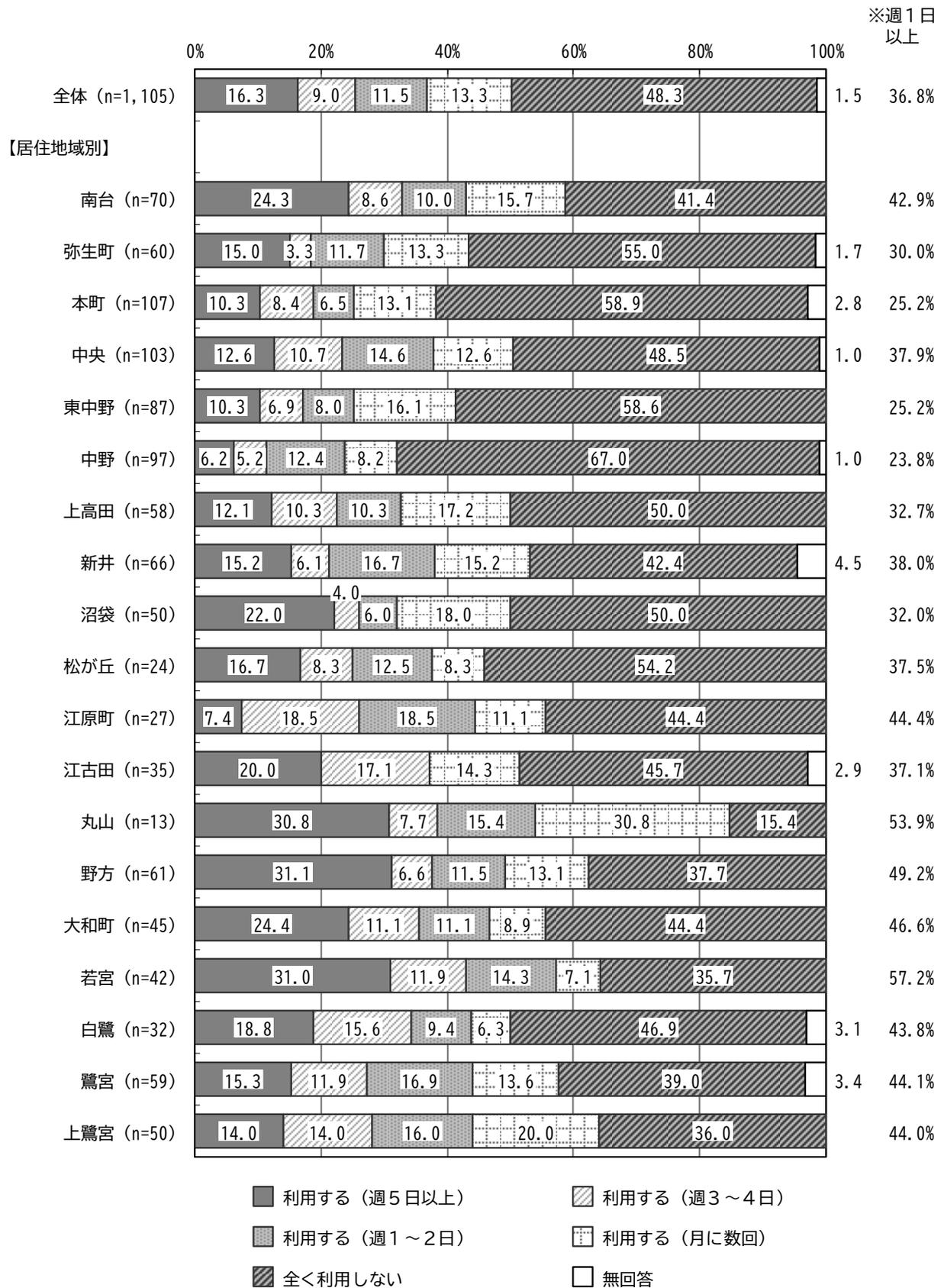
自転車の利用頻度を聞いたところ、「全く利用しない」(48.3%)が4割後半で最も高く、次いで「利用する(週5日以上)」(16.3%)、「利用する(月に数回)」(13.3%)となっている。

「利用する(週5日以上)」(16.3%)、「利用する(週3~4日)」(9.0%)、「利用する(週1~2日)」(11.5%)を合わせた「週1日以上」(36.8%)は3割半ばとなっている。

性別で見ると、「週1日以上」は女性に比べ男性で約4割とやや高くなっている。
 年代別で見ると、「週1日以上」は40歳代で4割後半と高くなっている。



居住地域別でみると、「週1日以上」は若宮で5割後半、野方で約5割と、それぞれ高くなっている。



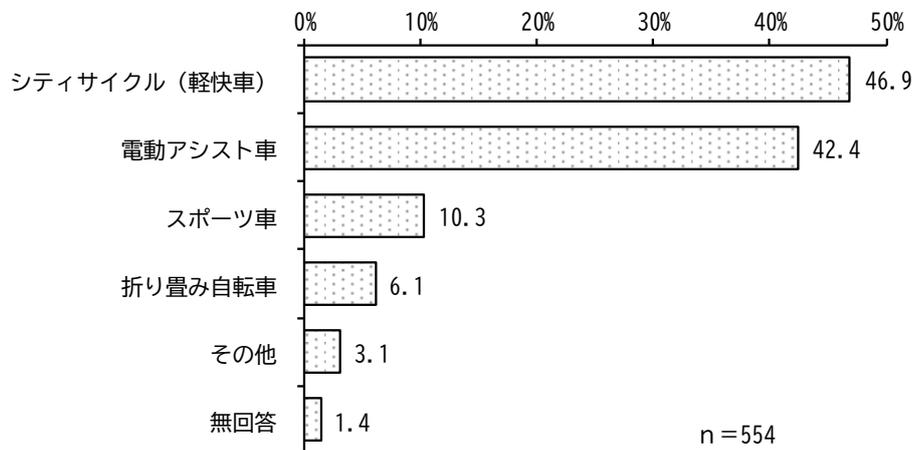
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(2) 持っている自転車

「シティサイクル（軽快車）」が4割半ばで最も高い

【問22で「1」～「4」と答えた方にお聞きします。】

問22-1 あなたはどのような自転車をお持ちですか。該当するものを選んでください。（○はいくつでも）



自転車を利用する人に持っている自転車（複数回答）について聞いたところ、「シティサイクル（軽快車）」(46.9%)が4割半ばで最も高く、次いで「電動アシスト車」(42.4%)、「スポーツ車」(10.3%)、「折り畳み自転車」(6.1%)となっている。

性別で見ると、「電動アシスト車」は男性に比べ女性で高くなっている。

年代別で見ると、「折り畳み自転車」は20歳代以下で高く、「シティサイクル（軽快車）」は70歳代以上で、「電動アシスト車」は40歳代で、それぞれ高くなっている。

		シティサイクル (軽快車)	電動アシスト車	スポーツ車	折り畳み自転車	その他	無回答
全体 (n=554)		46.9	42.4	10.3	6.1	3.1	1.4
性別	男性 (n=296)	50.0	34.5	17.6	7.4	4.4	1.4
	女性 (n=252)	43.7	51.6	2.0	4.4	1.6	1.6
年代別	20歳代以下 (n=45)	48.9	31.1	11.1	17.8	2.2	0.0
	30歳代 (n=99)	44.4	42.4	14.1	2.0	4.0	0.0
	40歳代 (n=124)	32.3	52.4	11.3	7.3	4.0	2.4
	50歳代 (n=112)	54.5	42.9	9.8	7.1	0.9	0.9
	60歳代 (n=80)	47.5	41.3	10.0	6.3	0.0	1.3
	70歳代以上 (n=90)	60.0	34.4	5.6	2.2	6.7	2.2

居住地域別でみると、「シティサイクル（軽快車）」は鷺宮、上鷺宮で、「折り畳み自転車」は中野で高くなっている。

		シティサイクル (軽快車)	電動アシスト車	スポーツ車	折り畳み自転車	その他	無回答
全体 (n=554)		46.9	42.4	10.3	6.1	3.1	1.4
居住地域別	南台 (n=41)	41.5	48.8	9.8	4.9	2.4	0.0
	弥生町 (n=26)	38.5	46.2	15.4	7.7	3.8	3.8
	本町 (n=41)	43.9	36.6	14.6	4.9	4.9	0.0
	中央 (n=52)	38.5	51.9	15.4	5.8	1.9	1.9
	東中野 (n=36)	38.9	50.0	13.9	5.6	2.8	0.0
	中野 (n=31)	41.9	38.7	12.9	16.1	9.7	0.0
	上高田 (n=29)	58.6	34.5	6.9	3.4	0.0	0.0
	新井 (n=35)	48.6	45.7	2.9	2.9	2.9	2.9
	沼袋 (n=25)	40.0	32.0	12.0	12.0	4.0	0.0
	松が丘 (n=11)	45.5	63.6	0.0	9.1	0.0	0.0
	江原町 (n=15)	33.3	53.3	6.7	6.7	0.0	13.3
	江古田 (n=18)	72.2	27.8	11.1	11.1	5.6	0.0
	丸山 (n=11)	45.5	36.4	0.0	9.1	9.1	0.0
	野方 (n=38)	39.5	50.0	15.8	5.3	2.6	0.0
	大和町 (n=25)	60.0	36.0	4.0	4.0	0.0	0.0
	若宮 (n=27)	48.1	51.9	11.1	11.1	0.0	3.7
	白鷺 (n=16)	56.3	43.8	6.3	0.0	0.0	0.0
鷺宮 (n=34)	61.8	29.4	11.8	2.9	0.0	2.9	
上鷺宮 (n=32)	62.5	25.0	3.1	3.1	9.4	0.0	

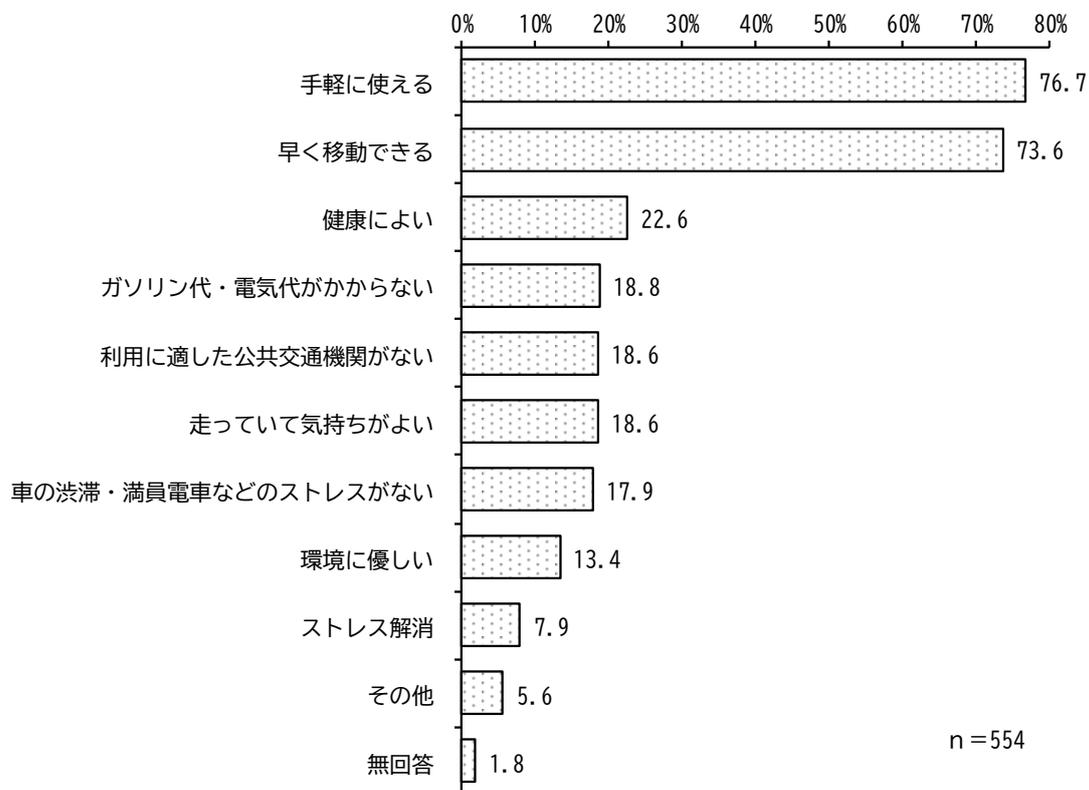
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(3) 自転車を利用する理由

「手軽に使える」が7割半ばで最も高い

【問22で「1」～「4」と答えた方にお聞きします。】

問22-2 あなたが自転車を利用する理由は何ですか。(〇はいくつでも)



自転車を利用する人に自転車を利用する理由(複数回答)を聞いたところ、「手軽に使える」(76.7%)が7割半ばで最も高く、次いで「早く移動できる」(73.6%)、「健康によい」(22.6%)、「ガソリン代・電気代がかからない」(18.8%)となっている。

性別で見ると、「早く移動できる」は男性に比べ女性でやや高くなっている。

年代別で見ると、「利用に適した公共交通機関がない」は20歳代以下、40歳代でやや高く、「手軽に使える」、「早く移動できる」、「健康によい」「環境に優しい」は50歳代でやや高くなっている。

		手軽に使える	早く移動できる	健康によい	ガソリン代・電気代がかからない	車の渋滞・満員電車などのストレスがない	環境に優しい	利用に適した公共交通機関がない	走っていて気持ちがいい	ストレス解消	その他	無回答
全体 (n=554)		76.7	73.6	22.6	18.8	17.9	13.4	18.6	18.6	7.9	5.6	1.8
性別	男性 (n=296)	74.3	69.6	28.7	23.0	18.2	13.5	17.2	19.9	9.1	6.4	2.4
	女性 (n=252)	79.8	78.6	15.1	13.9	17.5	13.5	19.4	17.1	6.7	4.4	1.2
年代別	20歳代以下 (n=45)	73.3	75.6	15.6	24.4	20.0	8.9	26.7	15.6	8.9	2.2	2.2
	30歳代 (n=99)	66.7	73.7	19.2	20.2	17.2	8.1	23.2	19.2	11.1	9.1	1.0
	40歳代 (n=124)	81.5	76.6	18.5	18.5	19.4	10.5	29.8	18.5	8.1	6.5	0.8
	50歳代 (n=112)	82.1	79.5	31.3	24.1	22.3	18.8	13.4	21.4	8.0	0.9	1.8
	60歳代 (n=80)	75.0	70.0	22.5	20.0	17.5	17.5	7.5	17.5	6.3	7.5	0.0
	70歳代以上 (n=90)	77.8	63.3	25.6	7.8	10.0	14.4	10.0	16.7	5.6	6.7	5.6

居住地域別でみると、「早く移動できる」、「ガソリン代・電気代がかからない」、「車の渋滞・満員電車などのストレスがない」、「走っていて気持ちが良い」は本町で、「健康によい」は中央で高くなっている。

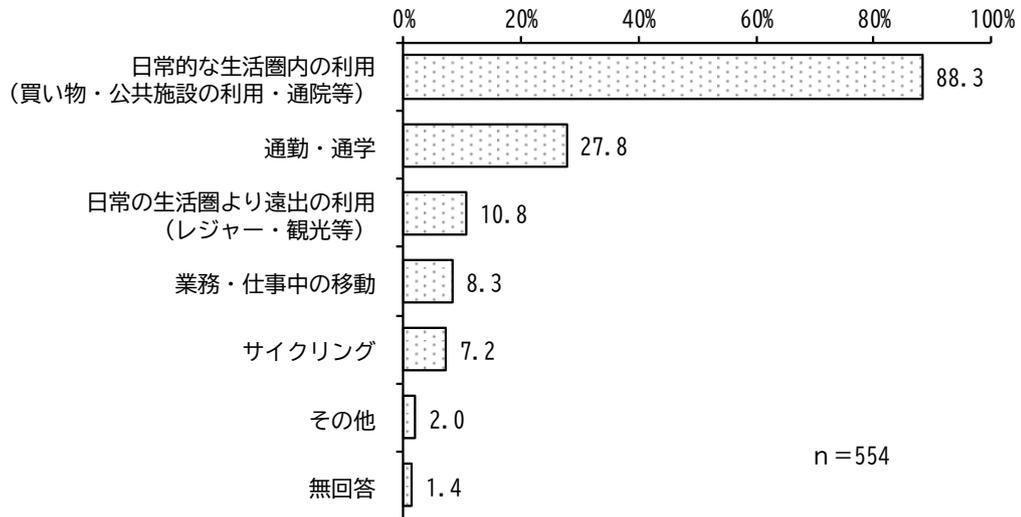
	手軽に使える	早く移動できる	健康によい	ガソリン代・電気代がかからない	車の渋滞・満員電車などのストレスがない	環境に優しい	利用に適した公共交通機関がない	走っていて気持ちが良い	ストレス解消	その他	無回答
全体 (n=554)	76.7	73.6	22.6	18.8	17.9	13.4	18.6	18.6	7.9	5.6	1.8
居住地域別	南台 (n=41)	70.7	68.3	14.6	14.6	17.1	12.2	17.1	4.9	4.9	2.4
	弥生町 (n=26)	76.9	80.8	23.1	23.1	15.4	11.5	23.1	11.5	0.0	3.8
	本町 (n=41)	85.4	85.4	26.8	31.7	34.1	17.1	19.5	31.7	14.6	7.3
	中央 (n=52)	82.7	73.1	34.6	21.2	21.2	15.4	13.5	28.8	17.3	1.9
	東中野 (n=36)	83.3	77.8	22.2	11.1	19.4	11.1	11.1	11.1	8.3	2.8
	中野 (n=31)	80.6	80.6	29.0	25.8	9.7	16.1	22.6	19.4	6.5	3.2
	上高田 (n=29)	69.0	69.0	3.4	3.4	3.4	6.9	10.3	3.4	3.4	6.9
	新井 (n=35)	68.6	80.0	17.1	11.4	14.3	17.1	17.1	22.9	8.6	17.1
	沼袋 (n=25)	80.0	72.0	36.0	24.0	28.0	16.0	16.0	28.0	4.0	0.0
	松が丘 (n=11)	72.7	81.8	27.3	45.5	36.4	18.2	27.3	27.3	9.1	0.0
	江原町 (n=15)	80.0	73.3	26.7	20.0	13.3	13.3	26.7	20.0	6.7	13.3
	江古田 (n=18)	83.3	72.2	27.8	22.2	16.7	27.8	22.2	22.2	16.7	5.6
	丸山 (n=11)	72.7	45.5	27.3	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1
	野方 (n=38)	68.4	73.7	28.9	21.1	13.2	7.9	15.8	18.4	5.3	2.6
	大和町 (n=25)	64.0	68.0	8.0	4.0	8.0	4.0	20.0	12.0	4.0	4.0
	若宮 (n=27)	77.8	85.2	29.6	29.6	18.5	18.5	33.3	18.5	7.4	7.4
	白鷺 (n=16)	75.0	62.5	18.8	25.0	25.0	18.8	12.5	18.8	6.3	0.0
鷺宮 (n=34)	85.3	67.6	17.6	11.8	23.5	11.8	26.5	14.7	8.8	5.9	
上鷺宮 (n=32)	84.4	68.8	12.5	25.0	15.6	12.5	21.9	9.4	6.3	9.4	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(4) 自転車を利用する主目的

「日常的な生活圏内の利用（買い物・公共施設の利用・通院等）」が8割後半で最も高い

問22-3 あなたが自転車を利用する主な目的は何ですか。（○はいくつでも）



自転車を利用する人に利用する主な目的（複数回答）を聞いたところ、「日常的な生活圏内の利用（買い物・公共施設の利用・通院等）」（88.3%）が8割後半で最も高く、次いで「通勤・通学」（27.8%）、「日常の生活圏より遠出の利用（レジャー・観光等）」（10.8%）となっている。

性別で見ると、「日常的な生活圏内の利用（買い物・公共施設の利用・通院等）」は男性に比べ女性でやや高くなっている。

年代別で見ると、「通勤・通学」は20歳代以下で高く、「業務・仕事中の移動」は20歳代以下、60歳代でやや高くなっている。

		（日常的な生活圏内の利用・通院等） （買い物・公共施設の利用・通院等）	通勤・通学	（レジャー・観光等） （日常の生活圏より遠出の利用）	サイクリング	業務・仕事中の移動	その他	無回答
全体（n=554）		88.3	27.8	10.8	7.2	8.3	2.0	1.4
性別	男性（n=296）	84.8	26.7	13.2	10.5	8.4	2.4	1.4
	女性（n=252）	92.1	29.4	7.9	3.6	8.3	1.6	1.6
年代別	20歳代以下（n=45）	82.2	37.8	11.1	6.7	13.3	0.0	0.0
	30歳代（n=99）	85.9	28.3	15.2	4.0	7.1	4.0	2.0
	40歳代（n=124）	91.9	29.0	12.9	6.5	8.1	3.2	0.8
	50歳代（n=112）	91.1	35.7	10.7	11.6	8.0	0.9	0.9
	60歳代（n=80）	86.3	23.8	6.3	5.0	13.8	1.3	0.0
	70歳代以上（n=90）	86.7	14.4	7.8	8.9	3.3	1.1	4.4

居住地域別でみると、「通勤・通学」は野方で高く、「日常の生活圏より遠出の利用（レジャー・観光等）」は中野、野方で、「サイクリング」は本町、中央で、「業務・仕事中の移動」は東中野でやや高くなっている。

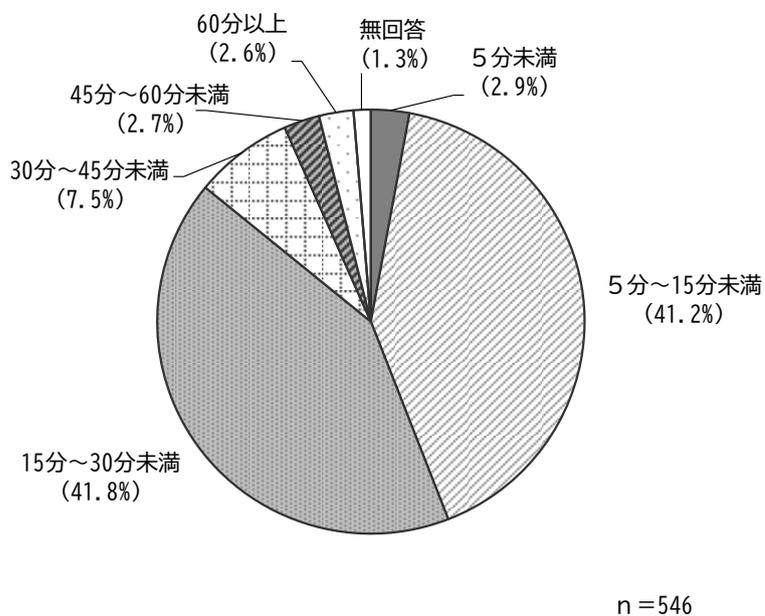
		（買 日常的な生活圏内の利用 物・公共施設の利用・通院等）	通勤・通学	（レ 日常の生活圏より遠出の利用 ジャー・観光等）	サイ クリ ング	業 務 ・ 仕 事 中 の 移 動	そ の 他	無 回 答
全体（n=554）		88.3	27.8	10.8	7.2	8.3	2.0	1.4
居住地域別	南台（n=41）	78.0	34.1	14.6	4.9	9.8	7.3	2.4
	弥生町（n=26）	88.5	23.1	11.5	3.8	7.7	0.0	3.8
	本町（n=41）	87.8	22.0	9.8	17.1	9.8	0.0	4.9
	中央（n=52）	92.3	15.4	9.6	13.5	9.6	7.7	0.0
	東中野（n=36）	88.9	27.8	11.1	0.0	13.9	0.0	0.0
	中野（n=31）	90.3	29.0	16.1	6.5	3.2	3.2	0.0
	上高田（n=29）	89.7	13.8	6.9	6.9	0.0	0.0	0.0
	新井（n=35）	82.9	20.0	8.6	5.7	8.6	0.0	2.9
	沼袋（n=25）	96.0	28.0	4.0	4.0	4.0	0.0	0.0
	松が丘（n=11）	90.9	36.4	36.4	0.0	9.1	0.0	0.0
	江原町（n=15）	93.3	13.3	6.7	6.7	13.3	6.7	0.0
	江古田（n=18）	94.4	55.6	0.0	5.6	16.7	0.0	0.0
	丸山（n=11）	90.9	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	野方（n=38）	86.8	50.0	15.8	5.3	7.9	0.0	0.0
	大和町（n=25）	76.0	56.0	4.0	8.0	8.0	0.0	0.0
	若宮（n=27）	88.9	25.9	22.2	11.1	22.2	3.7	3.7
	白鷺（n=16）	93.8	37.5	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0
鷺宮（n=34）	91.2	17.6	14.7	11.8	2.9	0.0	2.9	
上鷺宮（n=32）	90.6	21.9	9.4	3.1	3.1	0.0	3.1	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(5) 片道の所要時間

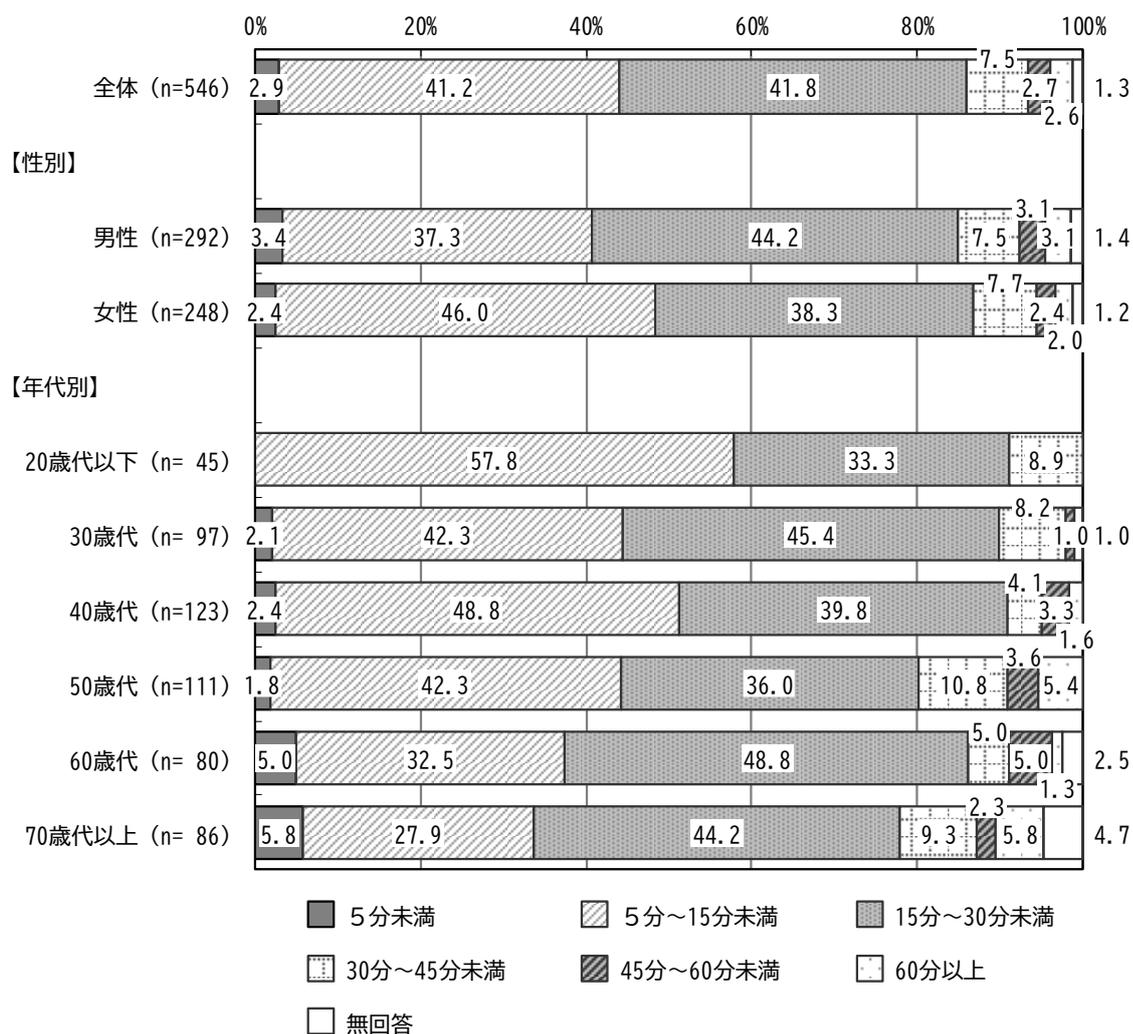
「15分～30分未満」が約4割で最も高い

問22-4 あなたが問22-3で選択した自転車の主な利用目的において、自転車に乗っている所要時間は片道どのくらいですか。(○は1つ)

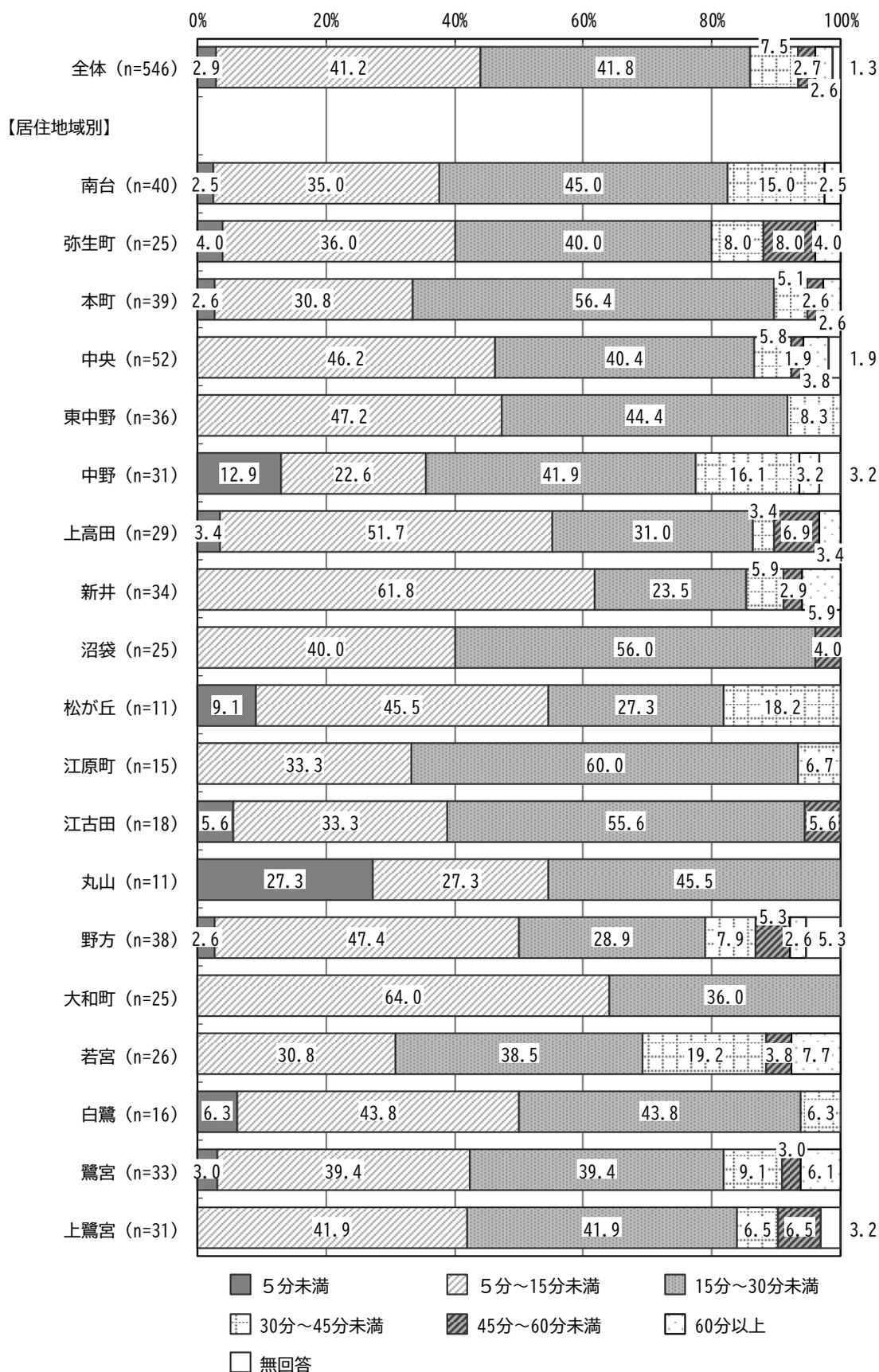


自転車を利用する人に片道の所要時間を聞いたところ、「15分～30分未満」(41.8%)が約4割で最も高く、次いで「5分～15分未満」(41.2%)、「30分～45分未満」(7.5%)となっている。

性別で見ると、「5分～15分未満」は男性に比べ女性で4割半ばとやや高くなっている。
 年代別で見ると、「5分～15分未満」は20歳代以下で5割後半と高くなっている。



居住地域別でみると、「5分未満」は中野、「5分～15分未満」は新井、「15分～30分未満」は本町で高くなっている。

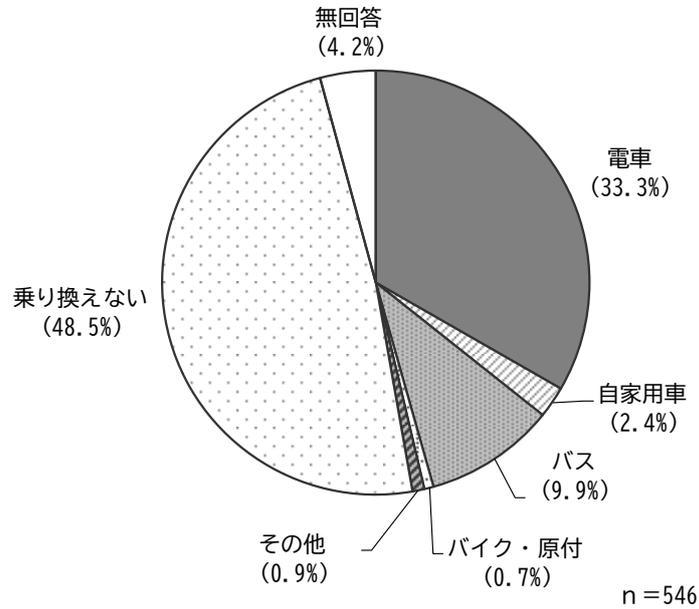


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(6) 乗り換える交通機関

「電車」が3割前半

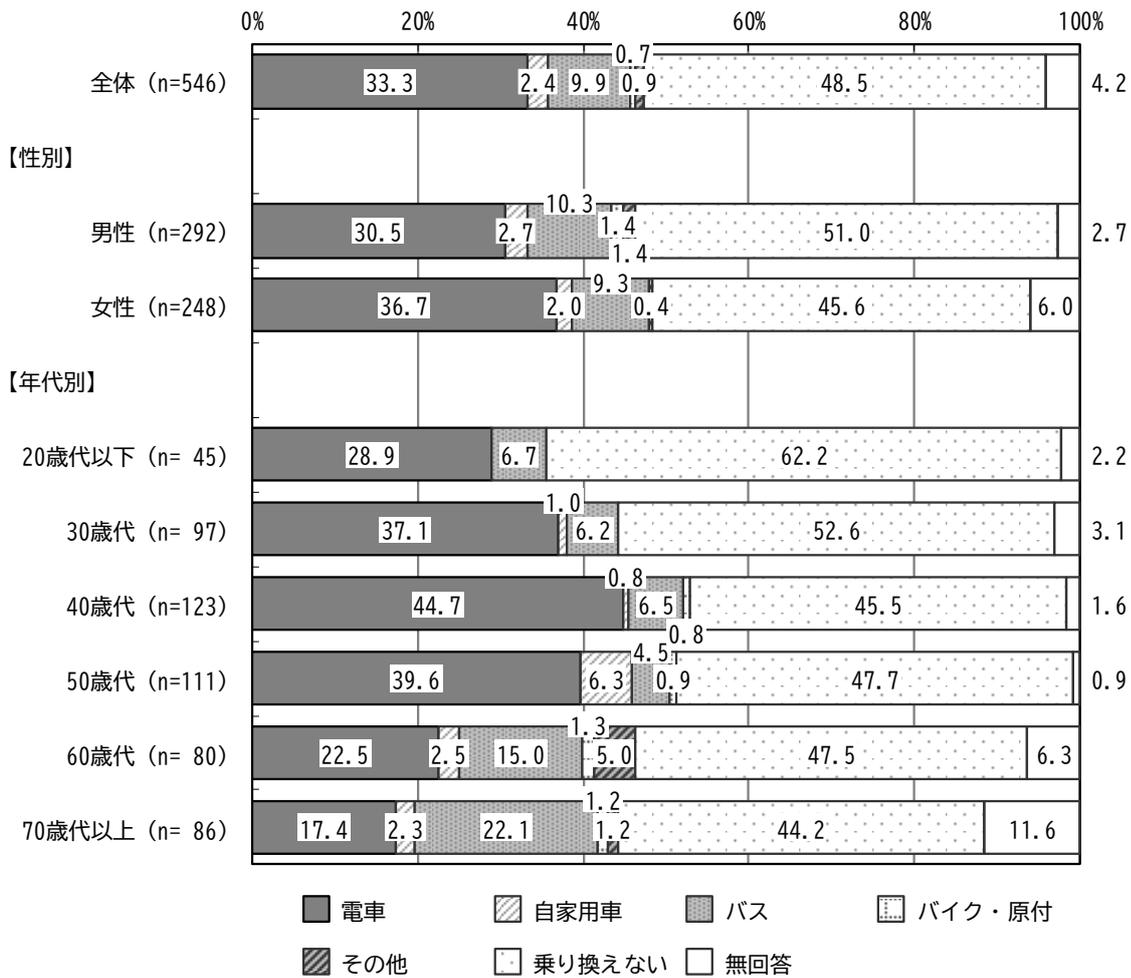
問22-5 あなたの自転車の主な利用目的において、自転車から他の交通機関へ乗り換えることがありますか。乗り換える場合は、その主な交通手段を1つ選んでください。(○は1つ)



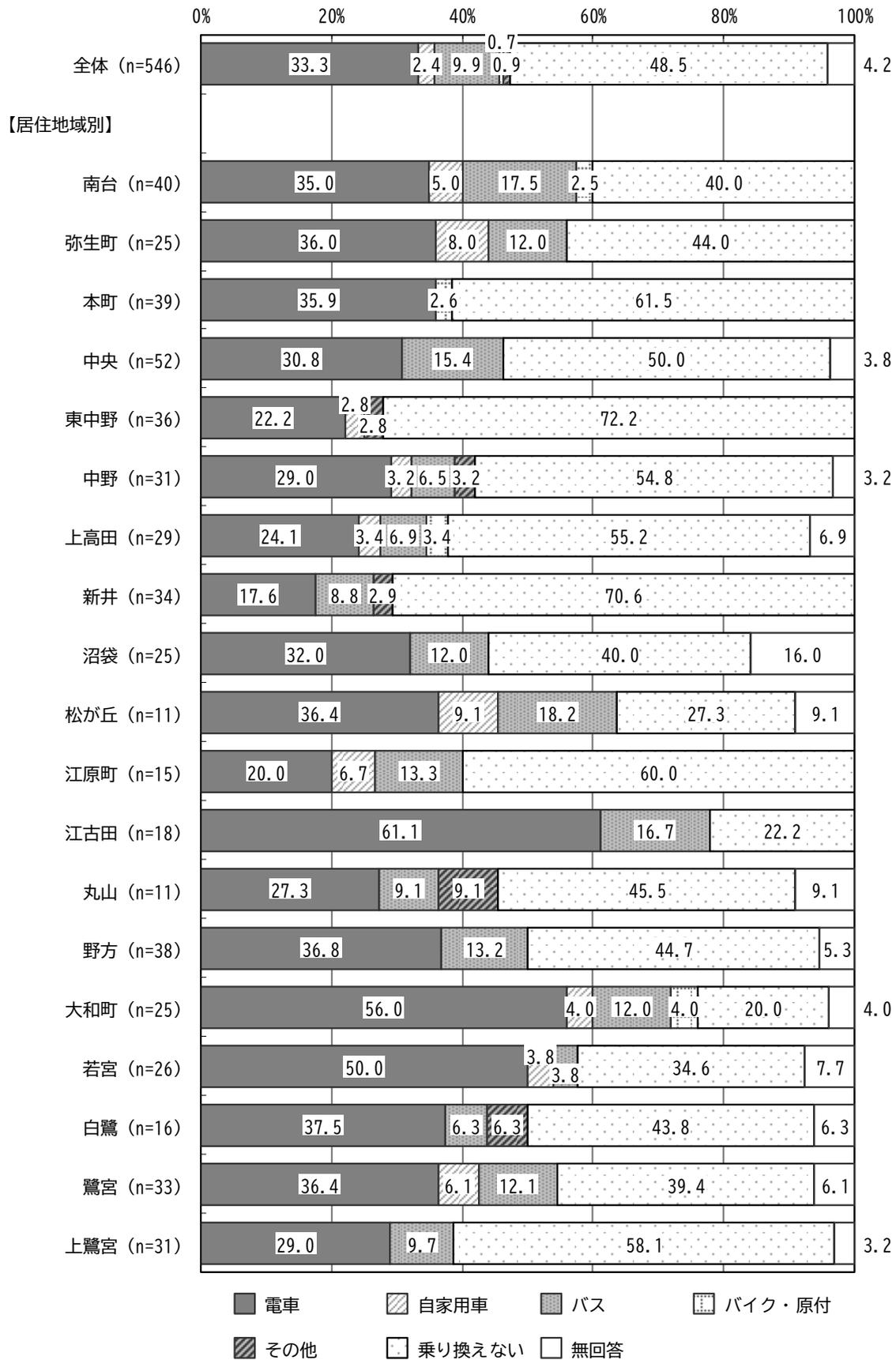
自転車を利用する人に乗り換える交通機関について聞いたところ、「電車」(33.3%)が3割前半で最も高く、次いで「バス」(9.9%)、「自家用車」(2.4%)となっている。一方、「乗り換えしない」(48.5%)は4割後半となっている。

性別で見ると、「電車」は男性に比べ女性でやや高くなっている。

年代別で見ると、「電車」は40歳代、「バス」は70歳代以上で高くなっている。



居住地域別でみると、「電車」は江古田、大和町、若宮で、「乗り換えなし」は本町、東中野、新井、江原町で、それぞれ高くなっている。

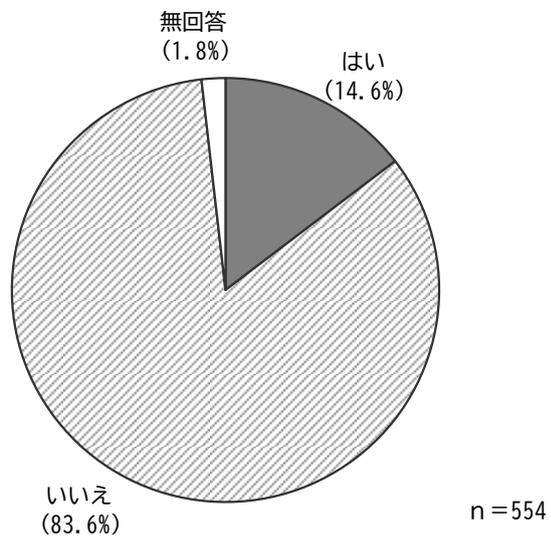


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(7) 自転車用ヘルメットの着用

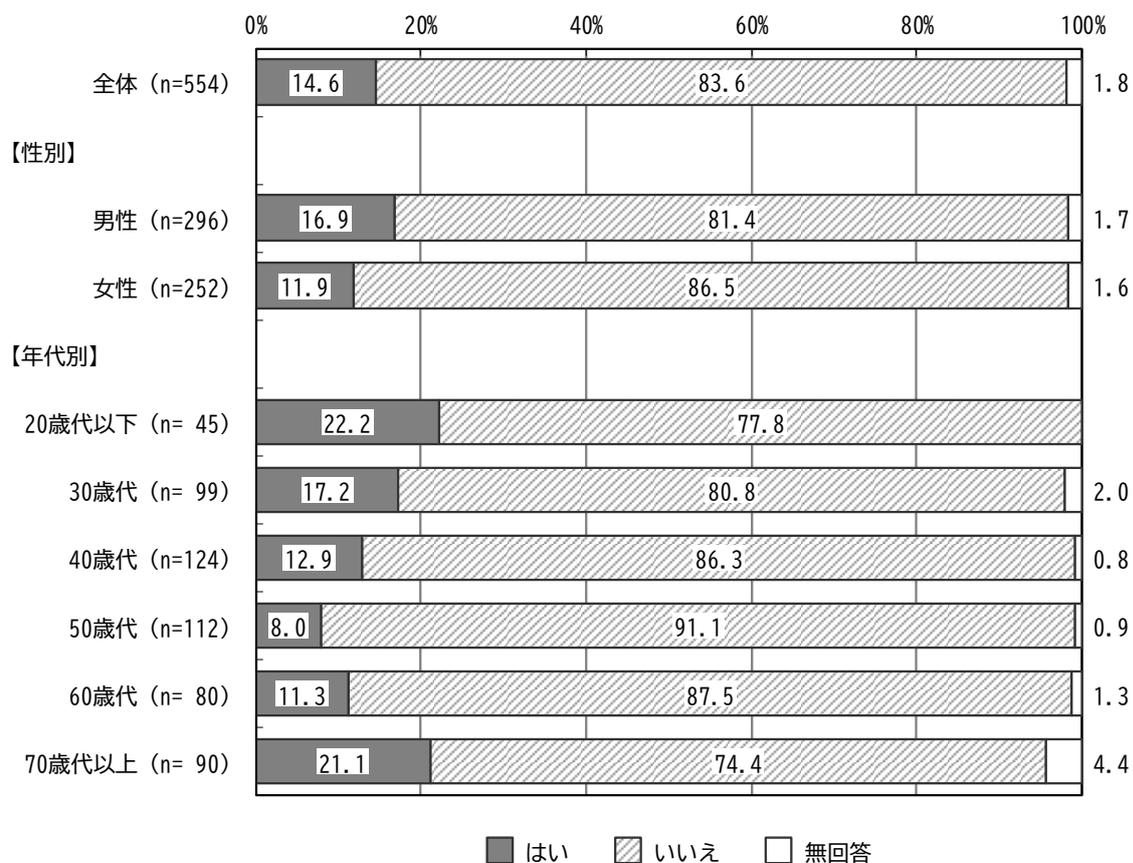
「いいえ」が8割前半

問22-6 令和5年4月1日から、すべての年代で自転車用ヘルメットの着用が努力義務になりました。現在、自転車を利用する際に自転車用ヘルメットを着用していますか。(○は1つ)

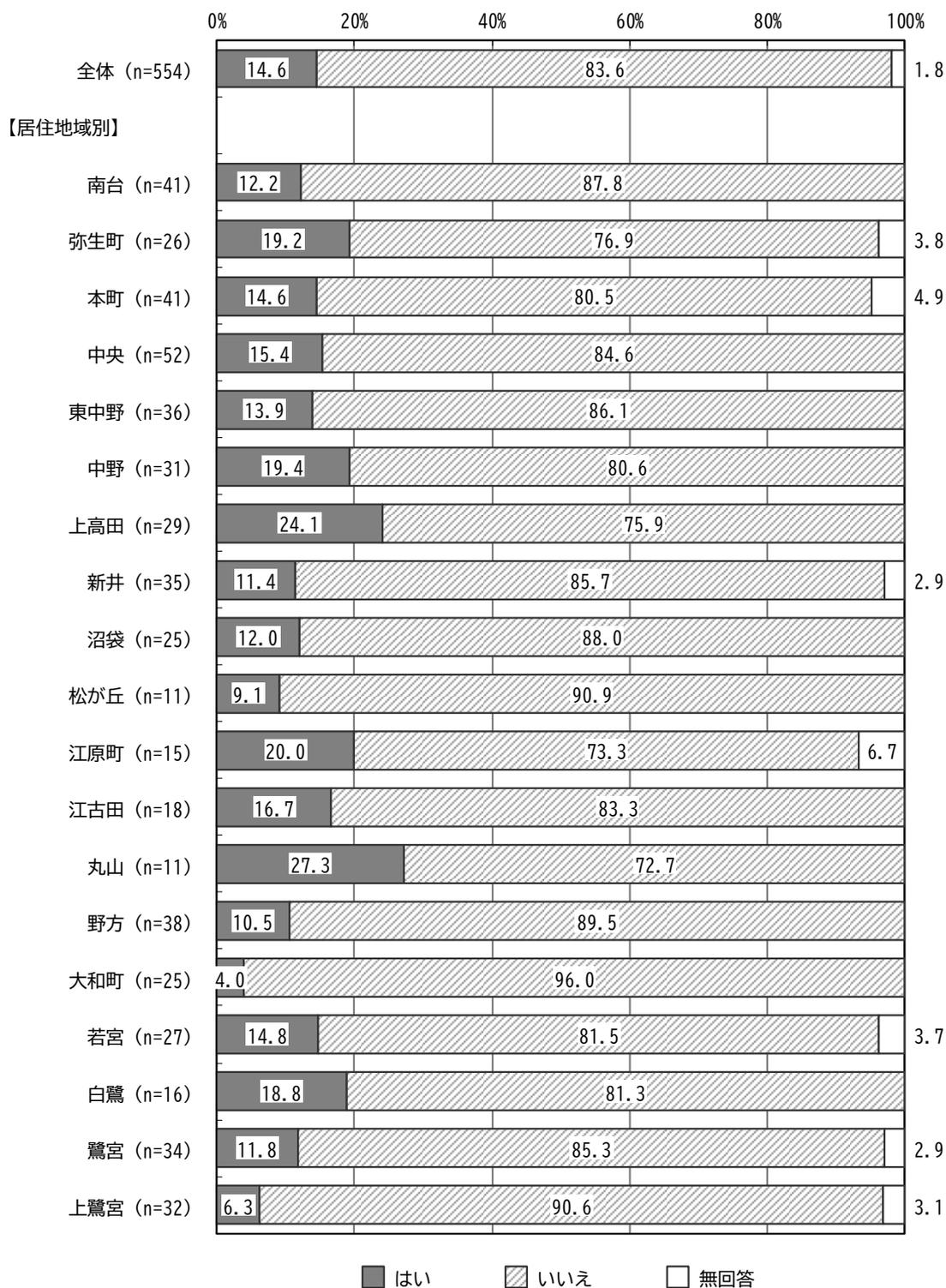


自転車用ヘルメットを着用しているか聞いたところ、「いいえ」(83.6%)が8割前半、「はい」(14.6%)が1割半ばとなっている。

性別で見ると、「はい」は女性に比べ男性で1割半ばとやや高くなっている。
 年代別で見ると、「はい」は20歳代以下で2割前半とやや高くなっている。



居住地域別でみると、「はい」は中野で約2割となっている。

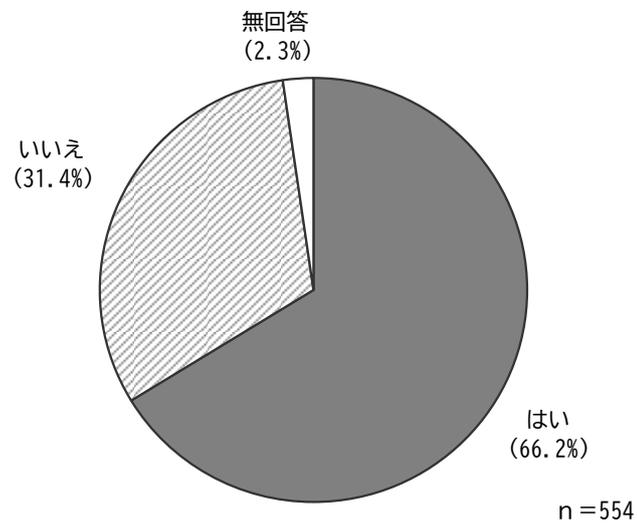


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(8) 自転車賠償責任保険等への加入

「はい」が6割半ば

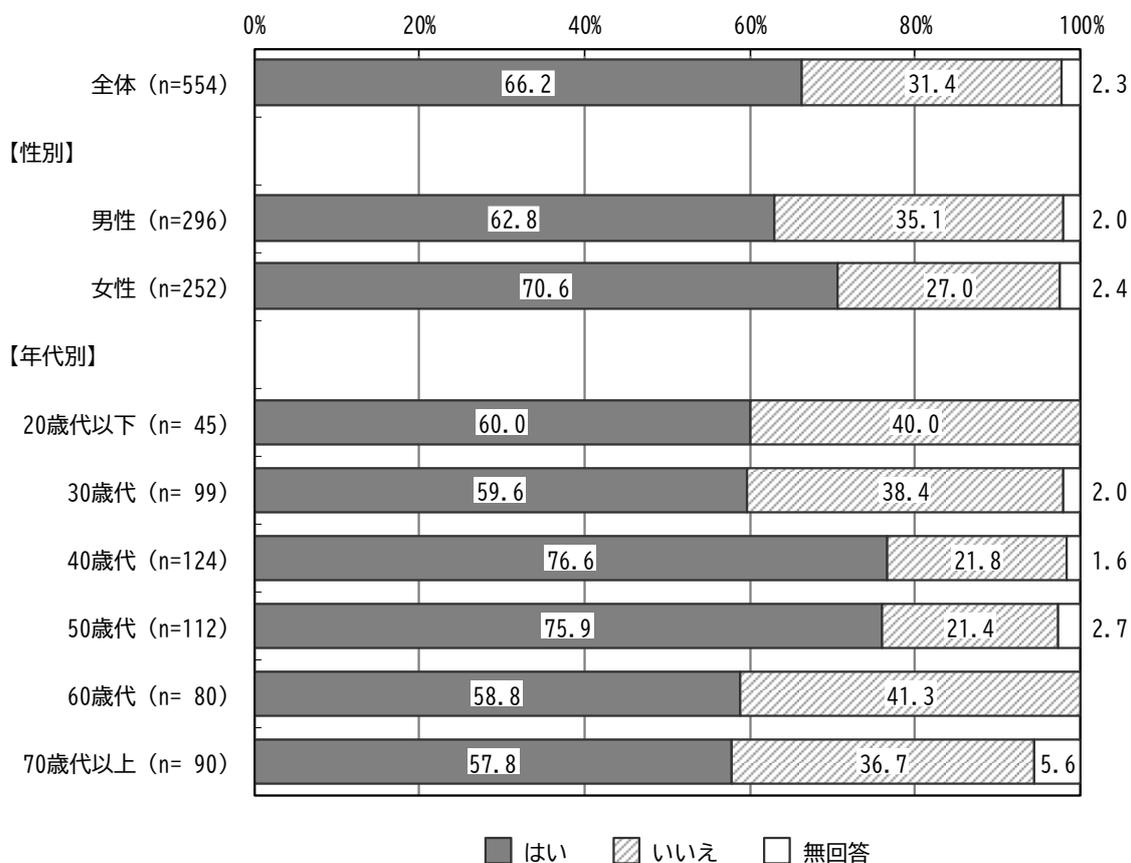
問22-7 令和2年4月1日から、自転車賠償責任保険等への加入が義務化されています。あなたは、自転車保険に加入していますか。(○は1つ)



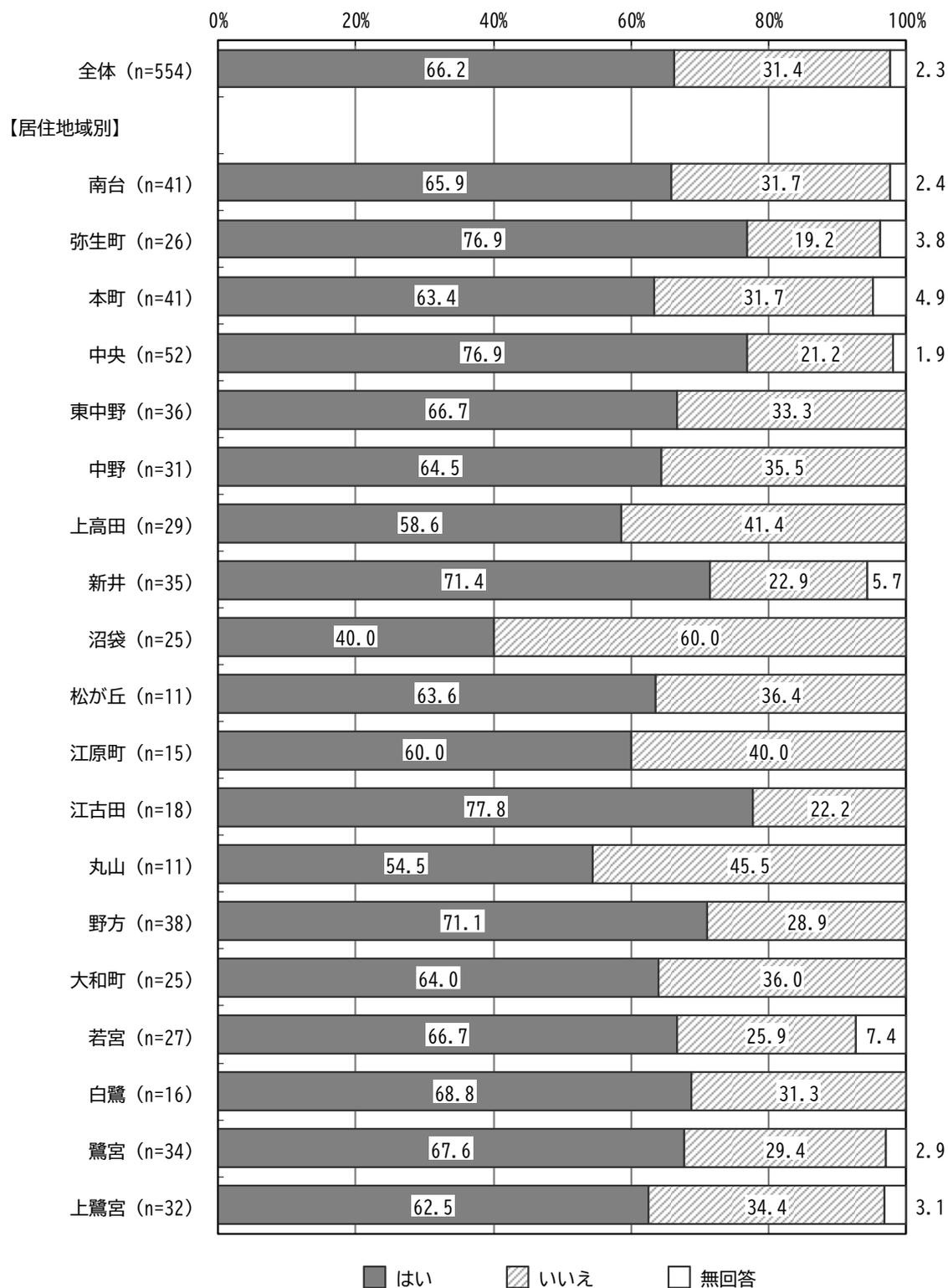
自転車保険に加入しているか聞いたところ、「はい」(66.2%)が6割半ば、「いいえ」(31.4%)が約3割となっている。

性別で見ると、「はい」は男性に比べ女性で約7割とやや高くなっている。

年代別で見ると、「はい」は40歳代で7割半ばと高く、「いいえ」は20歳代以下、60歳代で約4割とやや高くなっている。



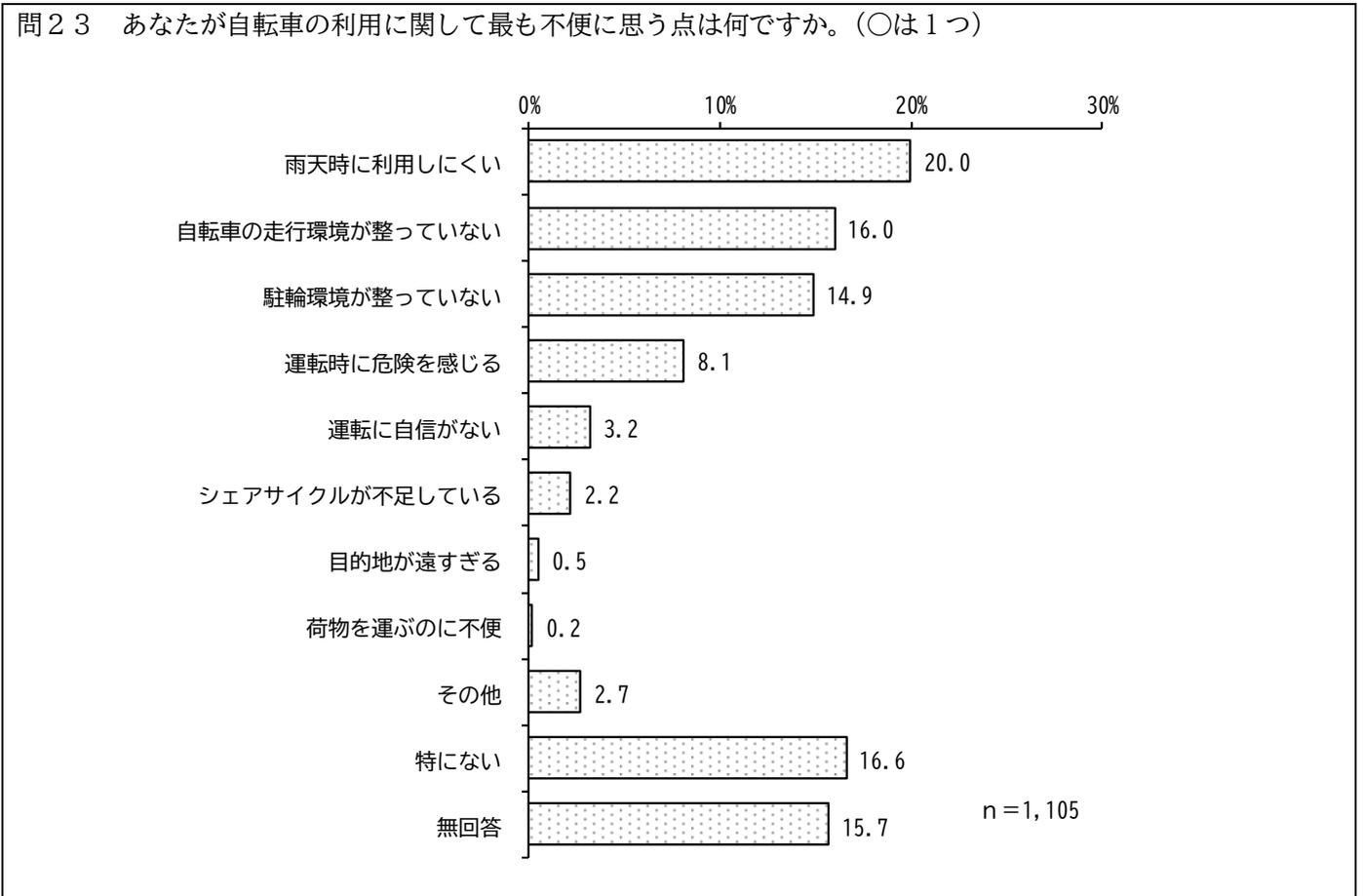
居住地域別でみると、「はい」は中央で7割半ばと高くなっている。



※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(9) 不便な点

「雨天時に利用しにくい」が2割で最も高い



自転車利用に関して不便に思う点を聞いたところ、「雨天時に利用しにくい」(20.0%)が2割で最も高く、次いで「自転車の走行環境が整っていない」(16.0%)、「駐輪環境が整っていない」(14.9%)となっている。一方、「特にない」(16.6%)は1割半ばとなっている。

性別でみると、「運転に自信がない」は女性がやや高くなっている。

年代別でみると、「雨天時に利用しにくい」は30歳代で、「駐輪環境が整っていない」は40歳代で、それぞれやや高くなっている。一方、「特にない」は20歳代以下で高くなっている。

		雨天時に利用しにくい	自転車の走行環境が整っていない	運転時に危険を感じる	駐輪環境が整っていない	荷物を運ぶのに不便	目的地が遠すぎる	運転に自信がない	シェアサイクルが不足している	その他	特にない	無回答
全体 (n=1,105)		20.0	16.0	8.1	14.9	0.2	0.5	3.2	2.2	2.7	16.6	15.7
性別	男性 (n=562)	21.5	16.5	7.1	14.2	0.2	0.5	0.7	2.7	3.0	21.0	12.5
	女性 (n=524)	18.9	15.5	9.4	15.8	0.2	0.6	5.9	1.5	2.1	12.0	18.1
年代別	20歳代以下 (n=138)	16.7	12.3	9.4	9.4	0.7	2.2	2.2	3.6	2.9	32.6	8.0
	30歳代 (n=204)	26.5	16.2	8.8	16.7	0.0	0.0	2.5	4.4	2.5	12.3	10.3
	40歳代 (n=187)	20.9	20.9	5.3	23.5	0.5	0.5	1.6	3.7	3.2	11.2	8.6
	50歳代 (n=200)	21.5	19.0	4.5	17.5	0.0	0.5	1.5	1.5	4.5	18.0	11.5
	60歳代 (n=161)	15.5	20.5	9.9	13.0	0.0	0.6	5.6	0.0	0.6	14.9	19.3
	70歳代以上 (n=203)	17.7	7.9	11.3	8.4	0.0	0.0	5.9	0.0	2.5	15.8	30.5

居住地域別でみると、「雨天時に利用しにくい」は丸山、大和町で高くなっている。

	雨天時に利用しにくい	自転車の走行環境が整っていない	運転時に危険を感じる	駐輪環境が整っていない	荷物を運ぶのに不便	目的地が遠すぎる	運転に自信がない	シェアサイクルが不足している	その他	特にない	無回答	
全体 (n=1,105)	20.0	16.0	8.1	14.9	0.2	0.5	3.2	2.2	2.7	16.6	15.7	
居住地域別	南台 (n=70)	22.9	15.7	12.9	18.6	-	1.4	1.4	-	2.9	11.4	12.9
	弥生町 (n=60)	10.0	8.3	8.3	20.0	-	3.3	6.7	6.7	3.3	20.0	13.3
	本町 (n=107)	22.4	17.8	4.7	16.8	0.9	-	3.7	3.7	1.9	14.0	14.0
	中央 (n=103)	20.4	18.4	6.8	18.4	-	1.0	2.9	1.0	2.9	19.4	8.7
	東中野 (n=87)	21.8	16.1	12.6	12.6	-	-	2.3	2.3	2.3	19.5	10.3
	中野 (n=97)	11.3	19.6	9.3	13.4	-	-	4.1	-	5.2	21.6	15.5
	上高田 (n=58)	15.5	13.8	5.2	22.4	-	-	5.2	3.4	1.7	20.7	12.1
	新井 (n=66)	13.6	21.2	9.1	18.2	-	-	6.1	1.5	1.5	12.1	16.7
	沼袋 (n=50)	12.0	10.0	10.0	10.0	-	-	2.0	4.0	6.0	24.0	22.0
	松が丘 (n=24)	20.8	12.5	4.2	20.8	-	-	4.2	-	-	12.5	25.0
	江原町 (n=27)	29.6	22.2	3.7	18.5	-	-	-	3.7	3.7	18.5	-
	江古田 (n=35)	25.7	20.0	5.7	11.4	-	-	8.6	-	-	5.7	22.9
	丸山 (n=13)	30.8	23.1	7.7	7.7	-	-	-	-	-	23.1	7.7
	野方 (n=61)	24.6	14.8	9.8	19.7	-	1.6	-	1.6	-	14.8	13.1
	大和町 (n=45)	31.1	11.1	8.9	11.1	-	-	2.2	4.4	2.2	15.6	13.3
	若宮 (n=42)	26.2	11.9	9.5	14.3	2.4	-	7.1	-	2.4	7.1	19.0
白鷺 (n=32)	25.0	15.6	9.4	6.3	-	-	-	-	3.1	21.9	18.8	
鷺宮 (n=59)	20.3	23.7	3.4	1.7	-	1.7	1.7	1.7	5.1	20.3	20.3	
上鷺宮 (n=50)	24.0	8.0	8.0	10.0	-	-	-	6.0	4.0	12.0	28.0	

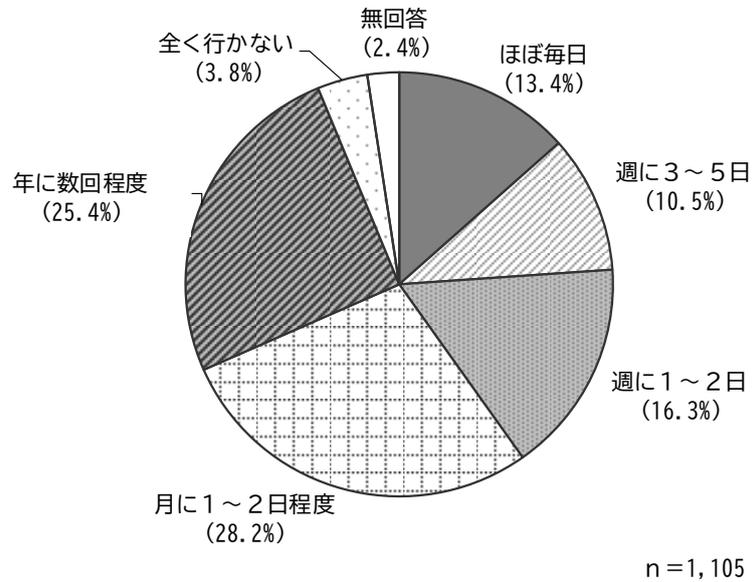
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

1.2 中野駅周辺について

(1) 中野駅周辺に行く頻度

「週1日以上」（「ほぼ毎日」と「週に3～5日」と「週に1～2日」）が約4割

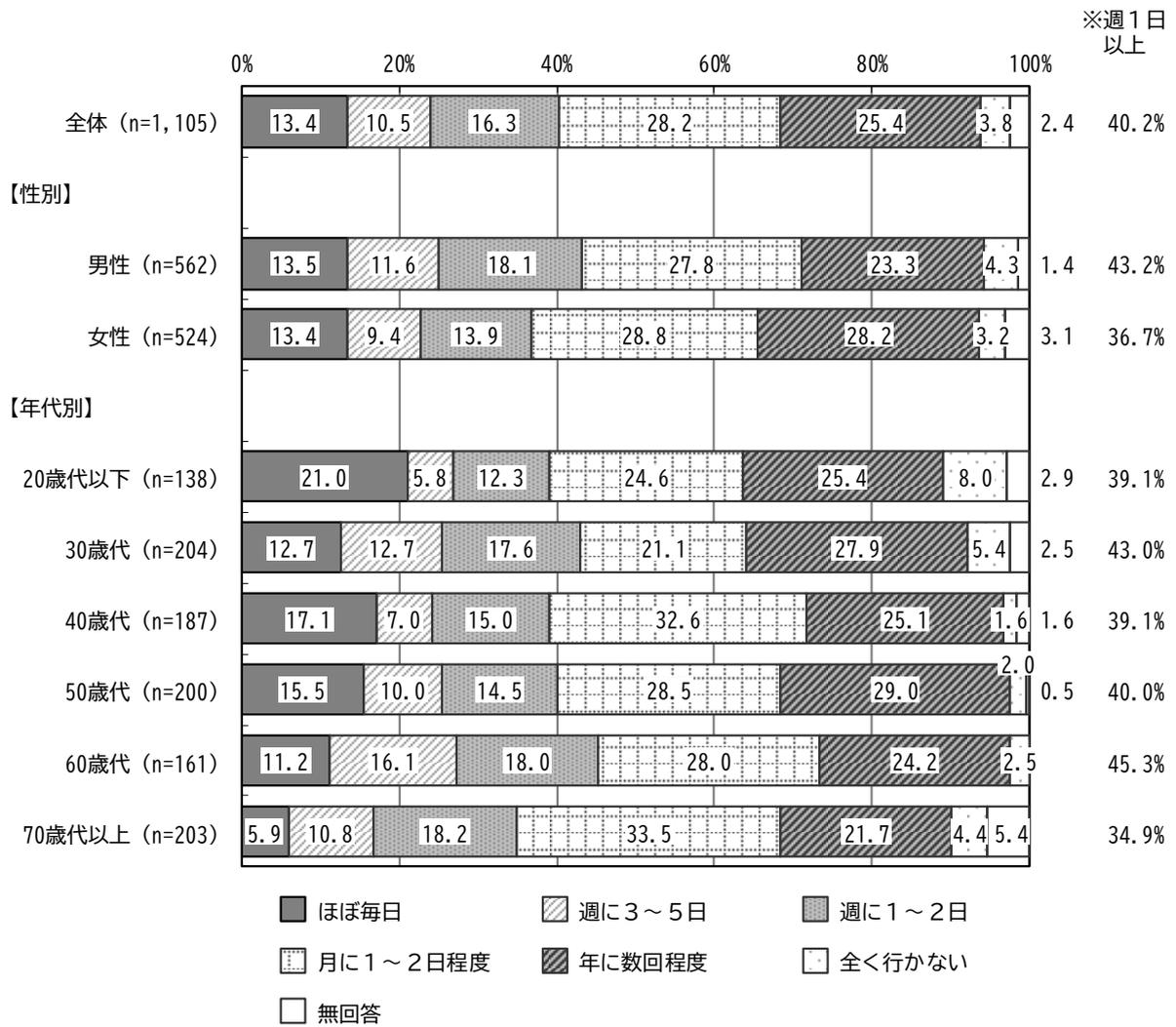
問2.4 中野駅周辺に行くことは、どの程度の頻度でありますか。(○は1つ)



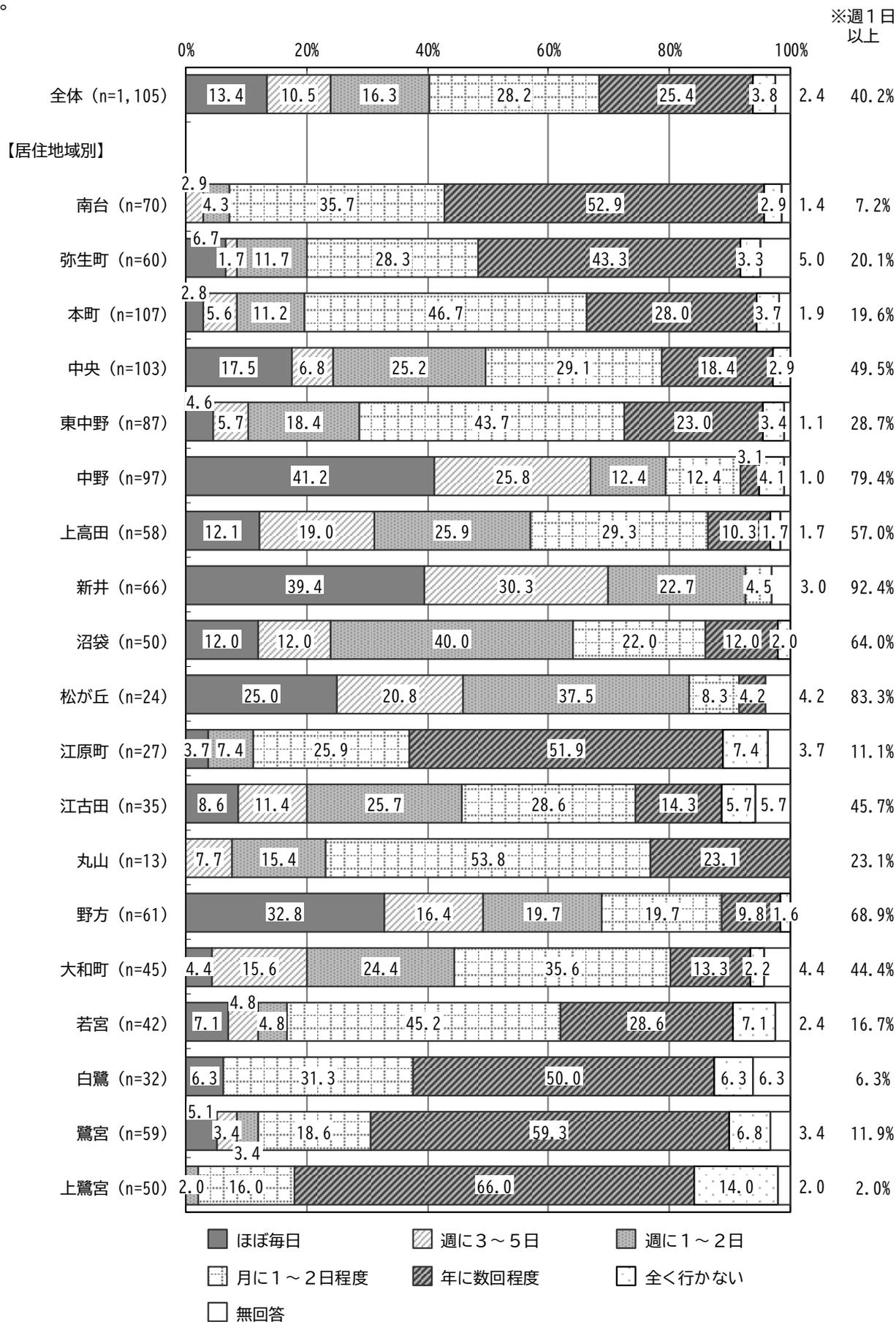
中野駅周辺に行く頻度を聞いたところ、「月に1～2日程度」(28.2%)が2割後半で最も高く、次いで「年に数回程度」(25.4%)、「週に1～2日」(16.3%)となっている。

「ほぼ毎日」(13.4%)、「週に3～5日」(10.5%)、「週に1～2日」(16.3%)を合わせた「週1日以上」(40.2%)は約4割となっている。

性別でみると、「週1日以上」は女性に比べ男性で4割前半とやや高くなっている。
 年代別でみると、「週1日以上」は60歳代で4割半ばとやや高くなっている。



居住地域別でみると、「週1日以上」は新井で9割前半、中野で約8割とそれぞれ高くなっている。



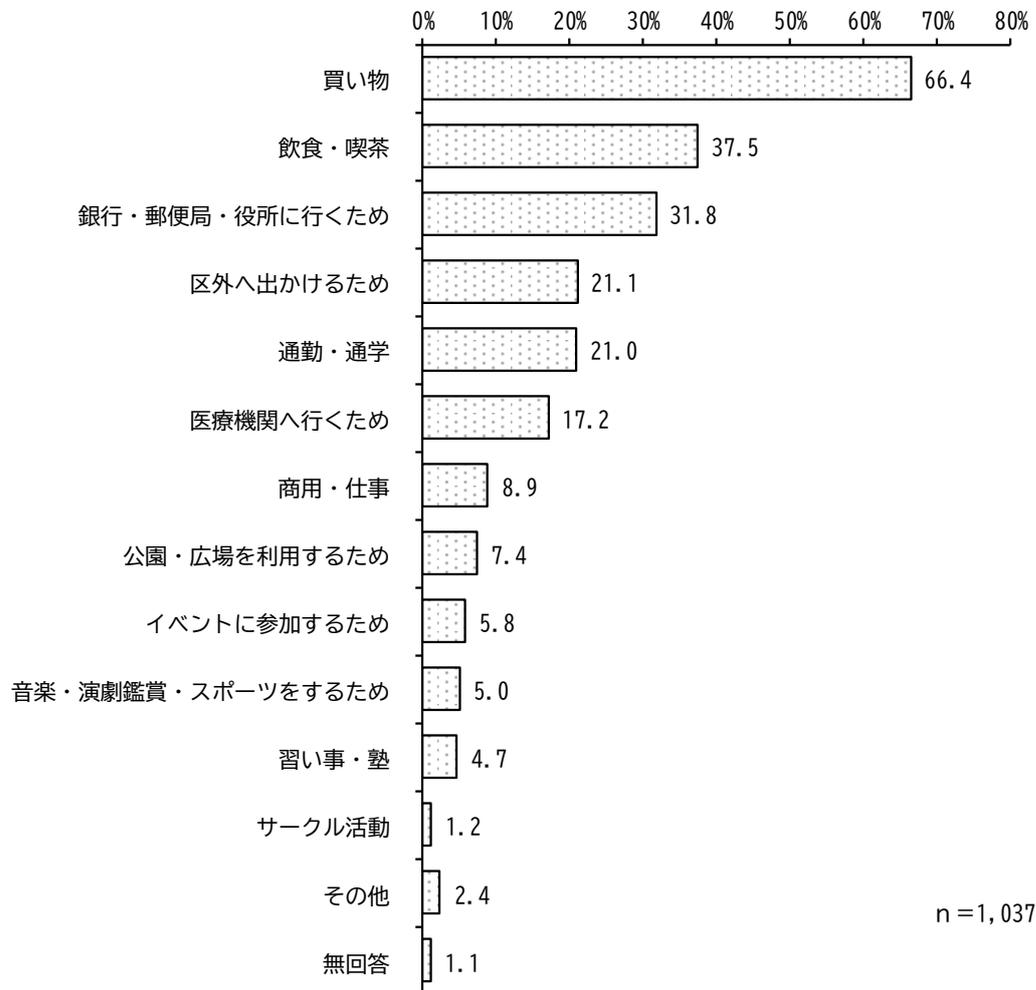
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(2) 中野駅周辺に行く目的

「買い物」が6割半ばで最も高い

【問24で「1」～「5」と答えた方にお聞きします。】

問24-1 中野駅周辺に行く目的は何ですか。(○はいくつでも)



中野駅周辺に行く人に目的(複数回答)を聞いたところ、「買い物」(66.4%)が6割半ばで最も高く、次いで「飲食・喫茶」(37.5%)、「銀行・郵便局・役所に行くため」(31.8%)、「区外へ出かけるため」(21.1%)となっている。

性別で見ると、「銀行・郵便局・役所に行くため」は男性に比べ女性でやや高くなっている。

年代別で見ると、「通勤・通学」は20歳代以下で、「飲食・喫茶」は20歳代以下、30歳代で、「銀行・郵便局・役所に行くため」は70歳代以上で高くなっている。「区外へ出かけるため」、「公園・広場を利用するため」は30歳代で、「医療機関へ行くため」は70歳代以上で、「習い事・塾」は40歳代で、それぞれやや高くなっている。

		通勤・通学	商用・仕事	買い物	飲食・喫茶	区外へ出かけるため	医療機関へ行くため	音楽・演劇鑑賞・スポーツをするため	習い事・塾	サークル活動	イベントに参加するため	公園・広場を利用するため	銀行・郵便局・役所に行くため	その他	無回答
全体 (n=1,037)		21.0	8.9	66.4	37.5	21.1	17.2	5.0	4.7	1.2	5.8	7.4	31.8	2.4	1.1
性別	男性 (n=530)	21.5	10.8	62.8	39.1	19.6	14.3	4.9	1.9	0.9	4.9	6.2	27.4	3.2	1.5
	女性 (n=491)	20.4	6.9	69.9	35.8	23.0	20.2	5.3	7.7	1.4	6.7	8.8	36.5	1.4	0.6
年代別	20歳代以下 (n=123)	33.3	9.8	61.0	53.7	21.1	11.4	2.4	2.4	0.8	2.4	4.9	17.1	1.6	0.8
	30歳代 (n=188)	26.1	7.4	64.9	49.5	29.3	14.4	4.8	4.3	0.0	9.6	17.0	27.1	2.7	0.0
	40歳代 (n=181)	25.4	9.9	64.6	33.1	20.4	14.9	4.4	11.0	0.0	10.5	10.5	29.3	2.8	0.0
	50歳代 (n=195)	25.1	10.3	69.2	40.5	16.9	16.4	6.7	4.1	0.5	2.6	4.1	33.3	3.6	0.5
	60歳代 (n=157)	16.6	9.6	66.9	28.7	17.8	17.2	4.5	0.6	0.6	3.2	4.5	36.9	1.9	2.5
	70歳代以上 (n=183)	3.3	6.6	68.9	22.4	21.3	26.2	6.6	4.9	4.9	5.5	2.7	42.6	1.6	2.2

居住地域別でみると、「通勤・通学」は中野、新井、野方で、「買い物」は上高田、新井、沼袋、野方で、「区外へ出かけるため」は中野、上高田、新井、江古田、野方で、「医療機関へ行くため」は中野で、「銀行・郵便局・役所に行くため」は上鷺宮で、それぞれ高くなっている。

	通勤・通学	商用・仕事	買い物	飲食・喫茶	区外へ出かけるため	医療機関へ行くため	音楽・演劇鑑賞・スポーツをするため	習い事・塾	サークル活動	イベントに参加するため	公園・広場を利用するため	銀行・郵便局・役所に行くため	その他	無回答	
全体 (n=1,037)	21.0	8.9	66.4	37.5	21.1	17.2	5.0	4.7	1.2	5.8	7.4	31.8	2.4	1.1	
居住地域別	南台 (n=67)	6.0	6.0	52.2	31.3	19.4	4.5	3.0	7.5	0.0	1.5	3.0	28.4	4.5	0.0
	弥生町 (n=55)	10.9	5.5	58.2	36.4	5.5	9.1	0.0	1.8	1.8	5.5	1.8	38.2	1.8	0.0
	本町 (n=101)	7.9	5.9	63.4	46.5	10.9	14.9	5.0	5.0	0.0	6.9	4.0	33.7	4.0	1.0
	中央 (n=100)	17.0	6.0	70.0	44.0	19.0	15.0	4.0	8.0	1.0	6.0	12.0	29.0	1.0	1.0
	東中野 (n=83)	8.4	8.4	61.4	43.4	4.8	7.2	8.4	7.2	4.8	6.0	13.3	30.1	3.6	1.2
	中野 (n=92)	52.2	16.3	73.9	41.3	40.2	28.3	8.7	8.7	2.2	7.6	9.8	40.2	0.0	1.1
	上高田 (n=56)	21.4	8.9	80.4	39.3	35.7	17.9	5.4	1.8	1.8	3.6	12.5	17.9	0.0	1.8
	新井 (n=64)	56.3	17.2	82.8	31.3	48.4	25.0	10.9	6.3	0.0	7.8	4.7	18.8	1.6	0.0
	沼袋 (n=49)	26.5	8.2	79.6	42.9	28.6	20.4	2.0	2.0	0.0	2.0	8.2	40.8	0.0	4.1
	松が丘 (n=23)	43.5	8.7	69.6	39.1	34.8	21.7	4.3	4.3	4.3	13.0	4.3	26.1	0.0	0.0
	江原町 (n=24)	4.2	12.5	58.3	33.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	4.2	4.2	41.7	4.2	4.2
	江古田 (n=31)	29.0	16.1	74.2	29.0	51.6	12.9	0.0	0.0	0.0	9.7	3.2	29.0	0.0	0.0
	丸山 (n=13)	0.0	15.4	84.6	46.2	23.1	7.7	0.0	0.0	7.7	15.4	7.7	30.8	7.7	0.0
	野方 (n=60)	45.0	8.3	78.3	35.0	36.7	26.7	5.0	6.7	0.0	1.7	11.7	26.7	1.7	0.0
	大和町 (n=42)	14.3	7.1	66.7	45.2	4.8	16.7	7.1	0.0	0.0	0.0	9.5	26.2	4.8	2.4
	若宮 (n=38)	15.8	7.9	60.5	34.2	13.2	23.7	5.3	7.9	2.6	7.9	10.5	34.2	5.3	2.6
	白鷺 (n=28)	7.1	10.7	71.4	17.9	0.0	28.6	7.1	0.0	0.0	7.1	3.6	28.6	3.6	0.0
鷺宮 (n=53)	5.7	7.5	50.9	24.5	15.1	20.8	7.5	3.8	0.0	5.7	3.8	37.7	3.8	0.0	
上鷺宮 (n=42)	2.4	2.4	23.8	26.2	4.8	14.3	0.0	0.0	0.0	11.9	4.8	47.6	4.8	0.0	

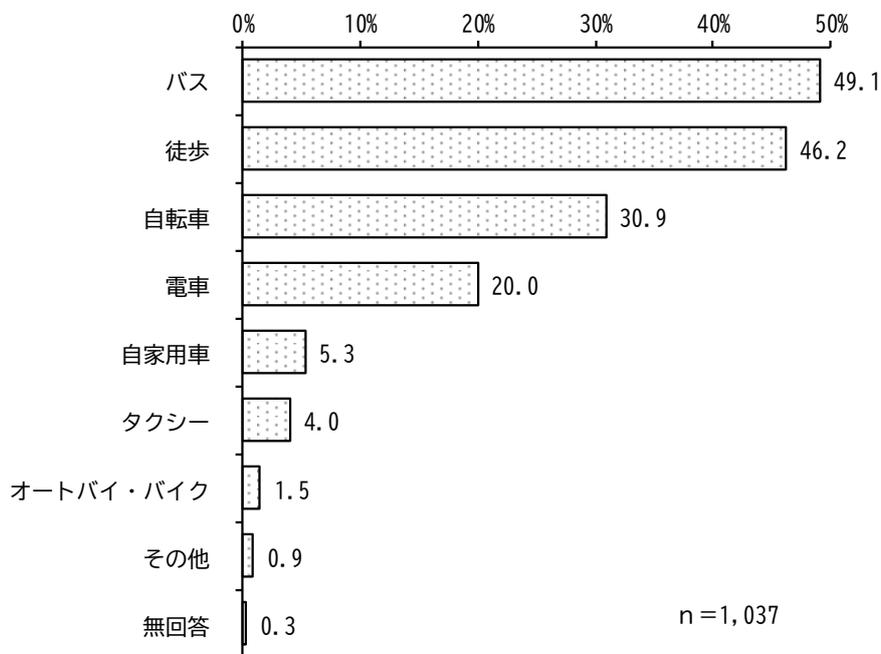
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(3) 中野駅周辺に行く際の交通手段

「バス」が約5割で最も高い

【問24で「1」～「5」と答えた方にお聞きします。】

問24-2 中野駅周辺に行く際、よく利用する交通手段は何ですか。(○はいくつでも)



中野駅周辺に行く人に行く際の交通手段（複数回答）を聞いたところ、「バス」（49.1%）が約5割で最も高く、次いで「徒歩」（46.2%）、「自転車」（30.9%）、「電車」（20.0%）となっている。

性別でみると、「バス」は男性に比べ女性でやや高くなっている。

年代別でみると、「徒歩」は20歳代以下で、「バス」は70歳代以上で高く、「電車」は20歳代以下、30歳代で、「自転車」は40歳代、50歳代で、「タクシー」は70歳代以上で、それぞれやや高くなっている。

		徒歩	バス	電車	自転車	オートバイ・バイク	自家用車	タクシー	その他	無回答
全体 (n=1,037)		46.2	49.1	20.0	30.9	1.5	5.3	4.0	0.9	0.3
性別	男性 (n=530)	47.7	45.5	20.0	30.6	2.3	5.7	3.6	1.1	0.4
	女性 (n=491)	44.4	53.2	20.0	31.2	0.8	5.1	4.3	0.6	0.2
年代別	20歳代以下 (n=123)	60.2	37.4	29.3	22.0	2.4	0.0	0.8	0.0	0.0
	30歳代 (n=188)	54.3	42.0	27.1	26.1	0.5	3.7	2.1	2.1	0.0
	40歳代 (n=181)	43.1	47.5	17.1	40.3	2.8	5.0	1.1	2.2	0.0
	50歳代 (n=195)	43.1	44.1	17.4	39.5	1.5	8.7	1.5	0.0	0.5
	60歳代 (n=157)	47.8	51.6	14.6	32.5	1.3	7.0	4.5	0.6	0.6
	70歳代以上 (n=183)	33.9	67.8	15.8	21.9	1.1	6.0	12.6	0.0	0.5

居住地域別でみると、「徒歩」は中央、中野、上高田、新井、沼袋、野方で、「バス」は南台、弥生町、江古田、若宮、鷺宮で、「電車」は東中野、上鷺宮で、「自転車」は江古田、野方、若宮で、「自家用車」は上鷺宮で、それぞれ高くなっている。

		徒歩	バス	電車	自転車	オートバイ・バイク	自家用車	タクシー	その他	無回答
全体 (n=1,037)		46.2	49.1	20.0	30.9	1.5	5.3	4.0	0.9	0.3
居住地域別	南台 (n=67)	13.4	76.1	13.4	29.9	1.5	4.5	4.5	0.0	0.0
	弥生町 (n=55)	25.5	72.7	9.1	21.8	3.6	5.5	1.8	0.0	0.0
	本町 (n=101)	53.5	55.4	10.9	32.7	1.0	4.0	1.0	3.0	0.0
	中央 (n=100)	59.0	41.0	12.0	34.0	1.0	2.0	5.0	0.0	0.0
	東中野 (n=83)	43.4	24.1	68.7	19.3	2.4	2.4	2.4	2.4	0.0
	中野 (n=92)	89.1	19.6	10.9	10.9	0.0	1.1	2.2	0.0	0.0
	上高田 (n=56)	69.6	37.5	12.5	30.4	0.0	3.6	3.6	1.8	0.0
	新井 (n=64)	90.6	23.4	4.7	23.4	0.0	1.6	6.3	0.0	0.0
	沼袋 (n=49)	57.1	53.1	6.1	38.8	6.1	4.1	2.0	0.0	0.0
	松が丘 (n=23)	47.8	65.2	8.7	34.8	0.0	8.7	4.3	0.0	0.0
	江原町 (n=24)	16.7	95.8	16.7	29.2	0.0	12.5	4.2	0.0	0.0
	江古田 (n=31)	16.1	83.9	0.0	41.9	0.0	3.2	3.2	0.0	3.2
	丸山 (n=13)	15.4	61.5	0.0	38.5	0.0	15.4	7.7	0.0	0.0
	野方 (n=60)	56.7	48.3	10.0	45.0	0.0	3.3	6.7	0.0	0.0
	大和町 (n=42)	45.2	40.5	28.6	38.1	2.4	9.5	4.8	0.0	2.4
	若宮 (n=38)	21.1	60.5	21.1	60.5	5.3	10.5	5.3	2.6	0.0
	白鷺 (n=28)	10.7	46.4	64.3	25.0	0.0	14.3	3.6	3.6	0.0
鷺宮 (n=53)	13.2	66.0	28.3	34.0	5.7	11.3	3.8	0.0	0.0	
上鷺宮 (n=42)	4.8	57.1	47.6	28.6	0.0	16.7	7.1	2.4	2.4	

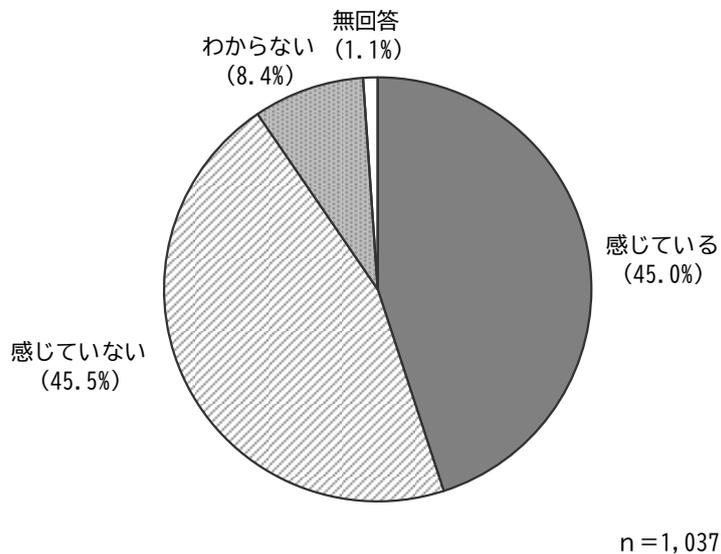
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(4) 中野駅周辺利用時の不満

「感じている」が4割半ば

【問24で「1」～「5」と答えた方にお聞きします。】

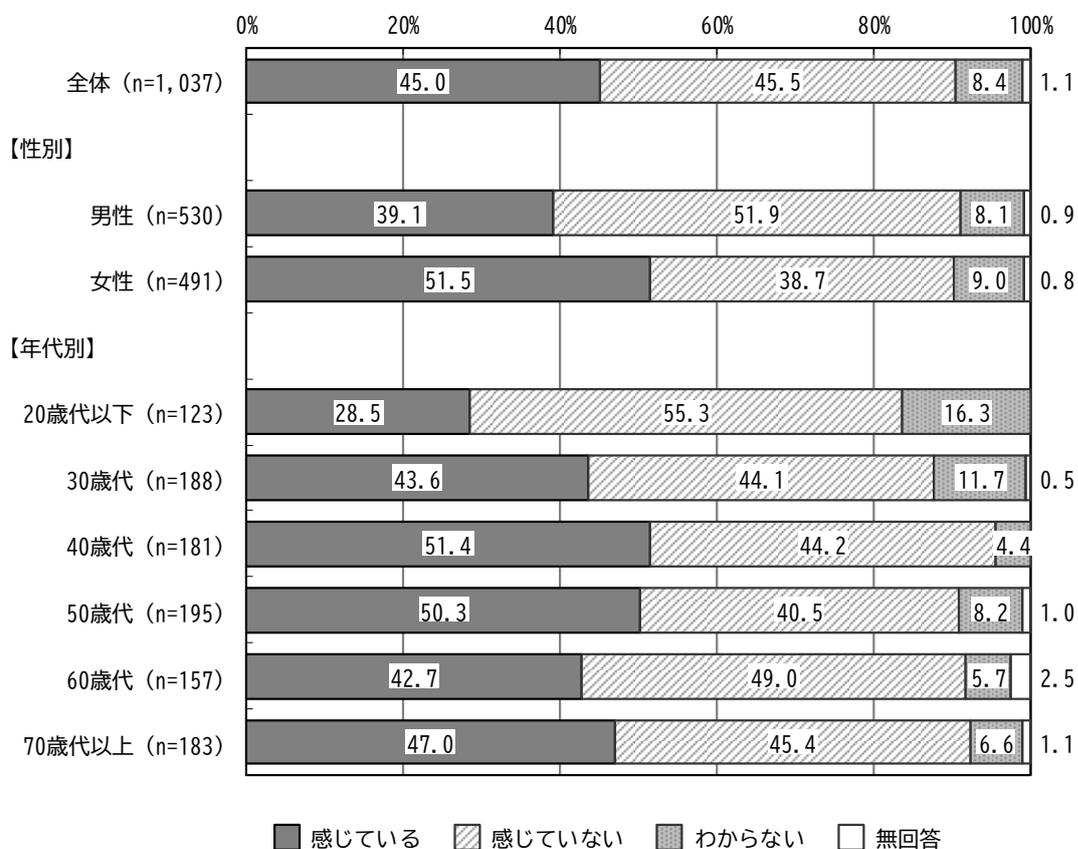
問24-3 中野駅周辺を利用する際、不便や不快など不満に感じていますか。(○は1つ)



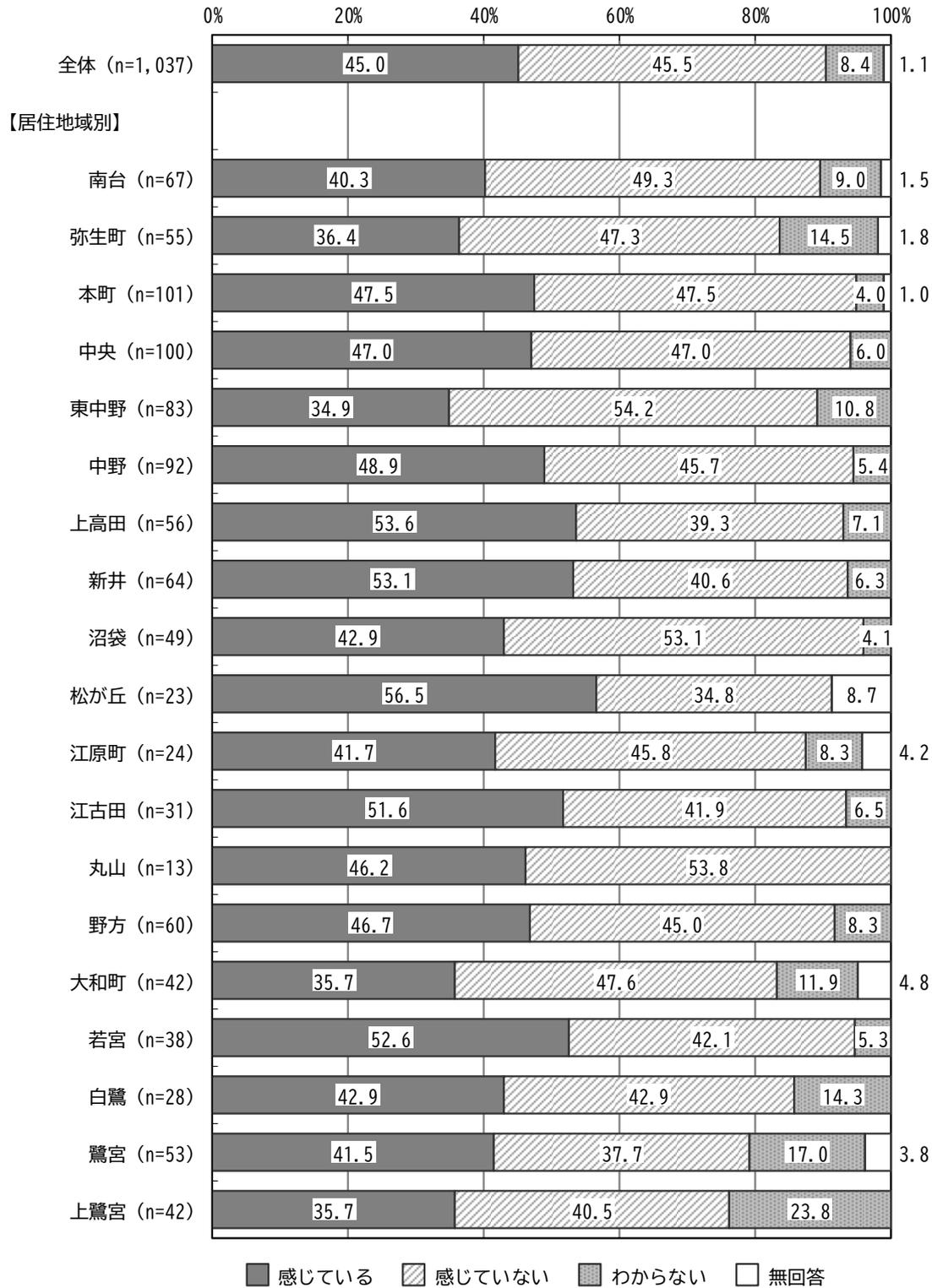
中野駅周辺を利用する人に不便や不快など不満を感じているか聞いたところ、「感じていない」(45.5%)が4割半ば、「感じている」(45.0%)を上回っている。

性別でみると、「感じている」は男性に比べ女性で高くなっている。

年代別でみると、「感じている」は40歳代、50歳代で約5割、「感じていない」は20歳代以下で5割半ばとやや高くなっている。



居住地域別でみると、「感じている」は上高田、新井、江古田、若宮で5割前半とやや高くなっている。



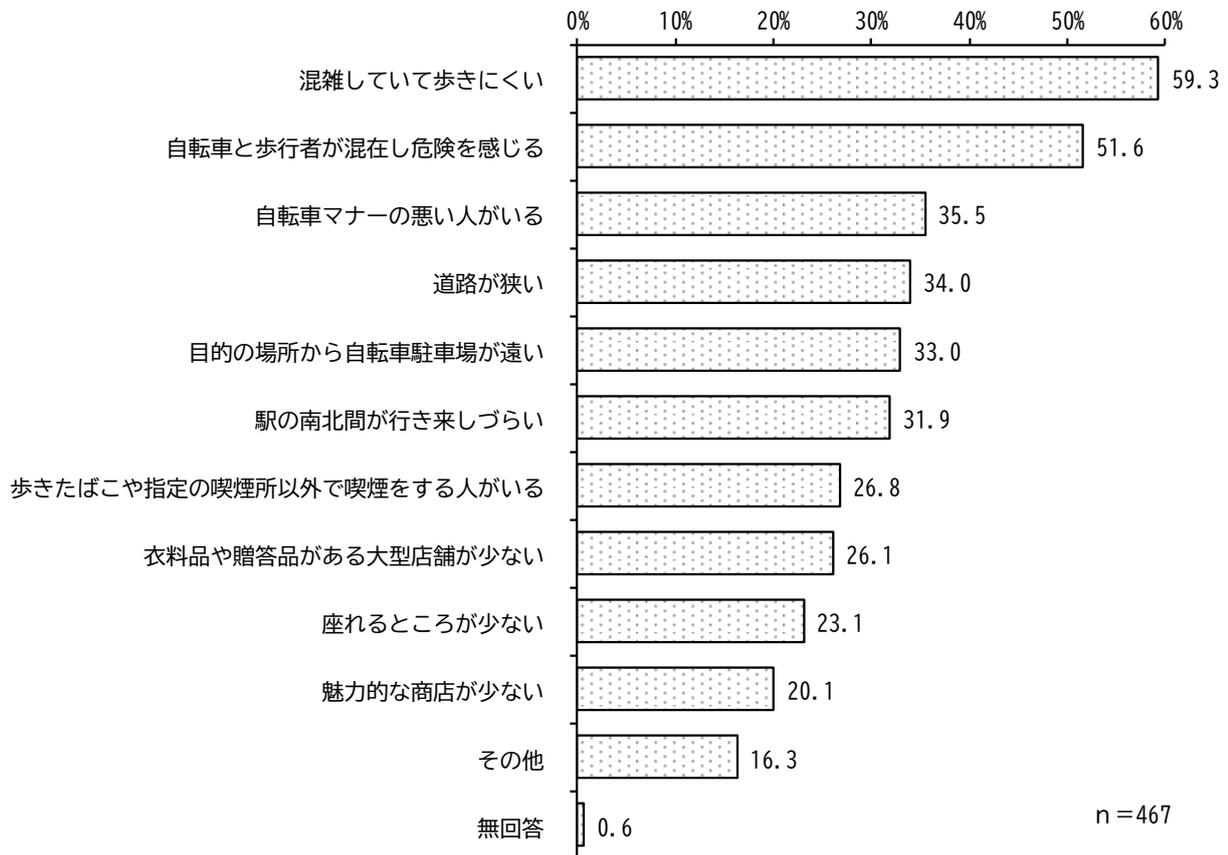
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(5) 中野駅周辺利用時の不満の内容

「混雑していて歩きにくい」が約6割で最も高い

【問24-3で「1」と答えた方にお聞きします。】

問24-4 その不満の内容は何ですか。(〇はいくつでも)



不満を感じている人に不満の内容(複数回答)を聞いたところ、「混雑していて歩きにくい」(59.3%)が約6割で最も高く、次いで「自転車と歩行者が混在し危険を感じる」(51.6%)、「自転車マナーの悪い人がある」(35.5%)、「道路が狭い」(34.0%)となっている。

性別でみると、「衣料品や贈答品がある大型店舗が少ない」は男性に比べ女性で高くなっている。

年代別でみると、「混雑していて歩きにくい」は20歳代以下で、「座れるところが少ない」、「魅力的な商店が少ない」は70歳代以上で、「歩きたばこや指定の喫煙所以外で喫煙をする人がいる」は30歳代で、それぞれ高くなっている。

		混雑して いて歩き にくい	座れる ところが 少ない	駅の南 北間が 行き来 しづらい	自転車 と歩行 者が混 在し危 険を感 じる	目的の 場所か ら自転 車駐車 場が遠 い	道路が 狭い	衣料品 や贈答 品があ る大型 店舗が 少な い	魅力的 な商店 が少な い	自転車 マナー の悪い 人がい る	歩きた ばこや 指定の 喫煙所 以外で 喫煙 する人 がいて る	その他	無回 答
全体 (n=467)		59.3	23.1	31.9	51.6	33.0	34.0	26.1	20.1	35.5	26.8	16.3	0.6
性別	男性 (n=207)	58.5	22.7	32.9	45.9	33.3	32.4	16.9	19.3	35.3	28.0	17.9	0.5
	女性 (n=253)	59.7	23.3	31.2	55.3	32.8	36.0	34.0	20.9	36.4	26.5	15.0	0.8
年代別	20歳代以下 (n=35)	77.1	20.0	25.7	45.7	22.9	37.1	22.9	28.6	25.7	31.4	11.4	0.0
	30歳代 (n=82)	65.9	25.6	32.9	54.9	29.3	36.6	29.3	20.7	36.6	43.9	24.4	0.0
	40歳代 (n=93)	47.3	17.2	35.5	44.1	32.3	38.7	26.9	11.8	30.1	24.7	22.6	1.1
	50歳代 (n=98)	59.2	17.3	32.7	50.0	41.8	40.8	26.5	18.4	32.7	21.4	17.3	0.0
	60歳代 (n=67)	64.2	16.4	28.4	55.2	35.8	25.4	16.4	11.9	41.8	23.9	6.0	1.5
	70歳代以上 (n=86)	54.7	38.4	31.4	54.7	30.2	24.4	31.4	33.7	41.9	18.6	11.6	1.2

居住地域別でみると、「混雑していて歩きにくい」は上高田、新井で、「駅の南北間が行き来しづらい」は本町、中野で、「自転車と歩行者が混在し危険を感じる」は上高田で、「道路が狭い」は中野で、「魅力的な商店が少ない」は新井で、「自転車マナーの悪い人がいる」は中野、上高田で、それぞれ高くなっている。

	混雑して いて歩き にくい	座れる ところが 少ない	駅の南 北間が 行き来 しづら い	自転 車と歩 行者が 混在し 危険を 感じる	目的 の場所 から自 転車駐 車場が 遠い	道路 が狭 い	衣料 品や 贈答 品が ある 大型 店舗 が少 ない	魅 力的 な商 店が 少 ない	自 転 車 マ ナー の悪 い人 が い る	歩 きた ばこ や指 定の 喫煙 所以 外で 喫煙 をす る人 が い る	そ の 他	無 回 答	
全体 (n=467)	59.3	23.1	31.9	51.6	33.0	34.0	26.1	20.1	35.5	26.8	16.3	0.6	
居住地域別	南台 (n=27)	66.7	14.8	22.2	44.4	29.6	33.3	11.1	18.5	22.2	7.4	14.8	0.0
	弥生町 (n=20)	55.0	20.0	35.0	60.0	25.0	30.0	15.0	10.0	35.0	20.0	25.0	0.0
	本町 (n=48)	50.0	16.7	43.8	43.8	25.0	31.3	16.7	16.7	33.3	25.0	18.8	0.0
	中央 (n=47)	61.7	27.7	40.4	48.9	38.3	40.4	29.8	14.9	27.7	25.5	12.8	0.0
	東中野 (n=29)	55.2	13.8	27.6	55.2	20.7	48.3	10.3	24.1	41.4	34.5	20.7	0.0
	中野 (n=45)	64.4	24.4	42.2	60.0	13.3	48.9	31.1	26.7	46.7	42.2	22.2	0.0
	上高田 (n=30)	76.7	26.7	23.3	66.7	23.3	30.0	30.0	23.3	50.0	26.7	6.7	0.0
	新井 (n=34)	73.5	26.5	23.5	47.1	38.2	38.2	29.4	32.4	44.1	26.5	5.9	2.9
	沼袋 (n=21)	61.9	19.0	14.3	42.9	38.1	23.8	23.8	19.0	28.6	14.3	14.3	0.0
	松が丘 (n=13)	69.2	23.1	30.8	53.8	38.5	30.8	46.2	30.8	23.1	23.1	15.4	0.0
	江原町 (n=10)	70.0	0.0	20.0	50.0	30.0	20.0	30.0	30.0	40.0	20.0	20.0	0.0
	江古田 (n=16)	62.5	25.0	43.8	62.5	37.5	31.3	31.3	18.8	50.0	31.3	18.8	0.0
	丸山 (n=6)	33.3	33.3	33.3	83.3	50.0	33.3	50.0	16.7	33.3	50.0	50.0	0.0
	野方 (n=28)	50.0	10.7	39.3	64.3	53.6	42.9	42.9	14.3	35.7	32.1	14.3	0.0
	大和町 (n=15)	60.0	26.7	13.3	40.0	33.3	20.0	26.7	20.0	60.0	20.0	13.3	0.0
	若宮 (n=20)	50.0	35.0	55.0	55.0	70.0	20.0	40.0	25.0	30.0	45.0	20.0	0.0
	白鷺 (n=12)	58.3	33.3	33.3	33.3	16.7	33.3	8.3	8.3	33.3	33.3	8.3	0.0
鷺宮 (n=22)	31.8	36.4	22.7	40.9	59.1	27.3	31.8	22.7	13.6	27.3	13.6	4.5	
上鷺宮 (n=15)	53.3	26.7	13.3	20.0	13.3	26.7	13.3	6.7	13.3	0.0	26.7	6.7	

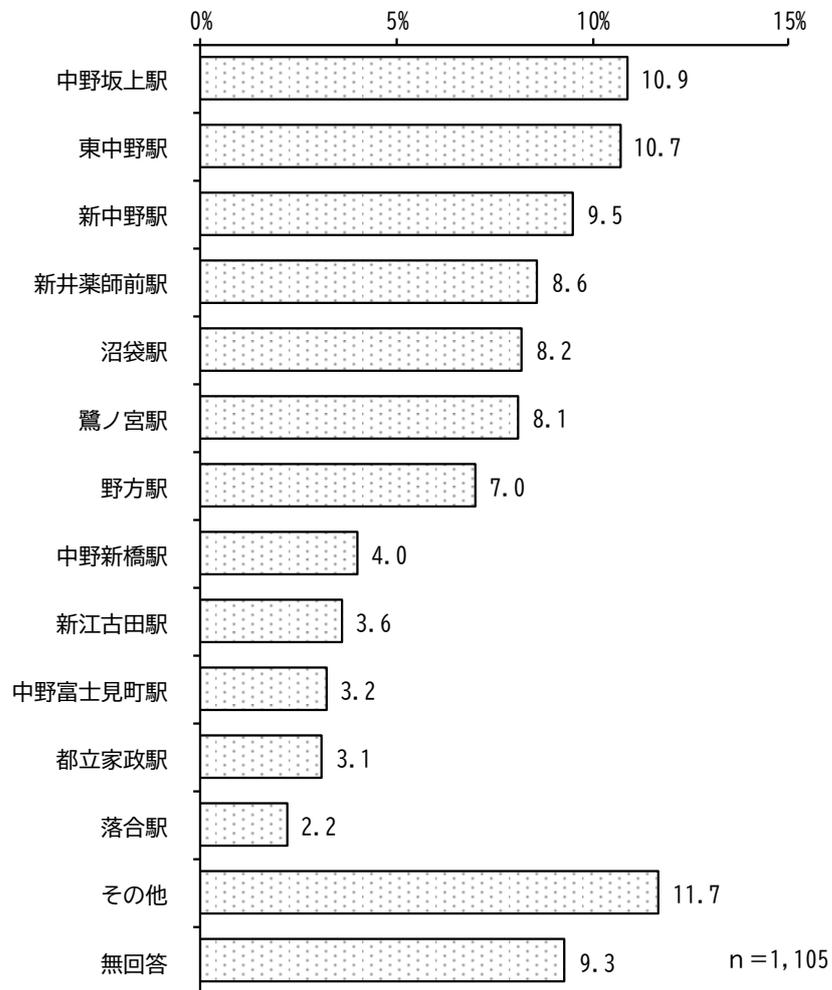
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

1.3 中野駅周辺以外の鉄道駅（駅周辺）について

(1) 最も利用する鉄道駅（駅周辺）

「中野坂上駅」が約1割で最も高い

問25 中野駅以外で、日常で最も利用する鉄道駅（駅周辺）はどこですか。（○は1つ）



中野駅以外の日常で最も利用する鉄道駅（駅周辺）を聞いたところ、「中野坂上駅」（10.9%）が約1割で最も高く、次いで「東中野駅」（10.7%）、「新中野駅」（9.5%）、「新井薬師前駅」（8.6%）となっている。

性別、年代別でみると、特徴的な差はみられない。

		新江古田駅	鷲ノ宮駅	都立家政駅	野方駅	沼袋駅	新井薬師前駅	落合駅	東中野駅	新中野駅	中野坂上駅	中野新橋駅	中野富士見町駅	その他	無回答
全体 (n=1,105)		3.6	8.1	3.1	7.0	8.2	8.6	2.2	10.7	9.5	10.9	4.0	3.2	11.7	9.3
性別	男性 (n=562)	3.6	8.0	2.8	6.2	9.8	9.4	2.1	11.2	10.7	11.0	4.3	2.8	10.3	7.7
	女性 (n=524)	3.4	8.6	3.4	7.4	6.9	7.8	2.1	9.9	8.6	10.9	3.8	3.4	13.2	10.5
年代別	20歳代以下 (n=138)	4.3	7.2	5.1	8.7	8.7	6.5	2.9	12.3	8.7	11.6	5.8	1.4	11.6	5.1
	30歳代 (n=204)	3.9	6.4	4.4	3.9	7.4	10.8	1.5	12.7	7.8	14.2	4.4	2.5	15.2	4.9
	40歳代 (n=187)	1.6	8.0	1.6	5.9	8.6	9.1	2.7	9.6	8.0	14.4	4.8	4.3	15.0	6.4
	50歳代 (n=200)	3.5	11.0	2.0	8.0	9.5	5.0	2.5	13.0	11.0	10.0	4.5	4.5	11.0	4.5
	60歳代 (n=161)	5.6	6.8	2.5	8.1	9.9	9.9	3.1	6.8	13.0	9.3	1.9	3.7	10.6	8.7
	70歳代以上 (n=203)	3.0	9.4	3.4	7.4	6.4	10.3	1.0	9.4	8.9	6.4	2.5	2.5	6.9	22.7

居住地域別でみると、「新江古田駅」は江古田で、「鷺ノ宮駅」は白鷺で、「都立家政駅」は若宮で、「沼袋駅」は沼袋で、それぞれ全体の割合の10倍以上と高くなっている。

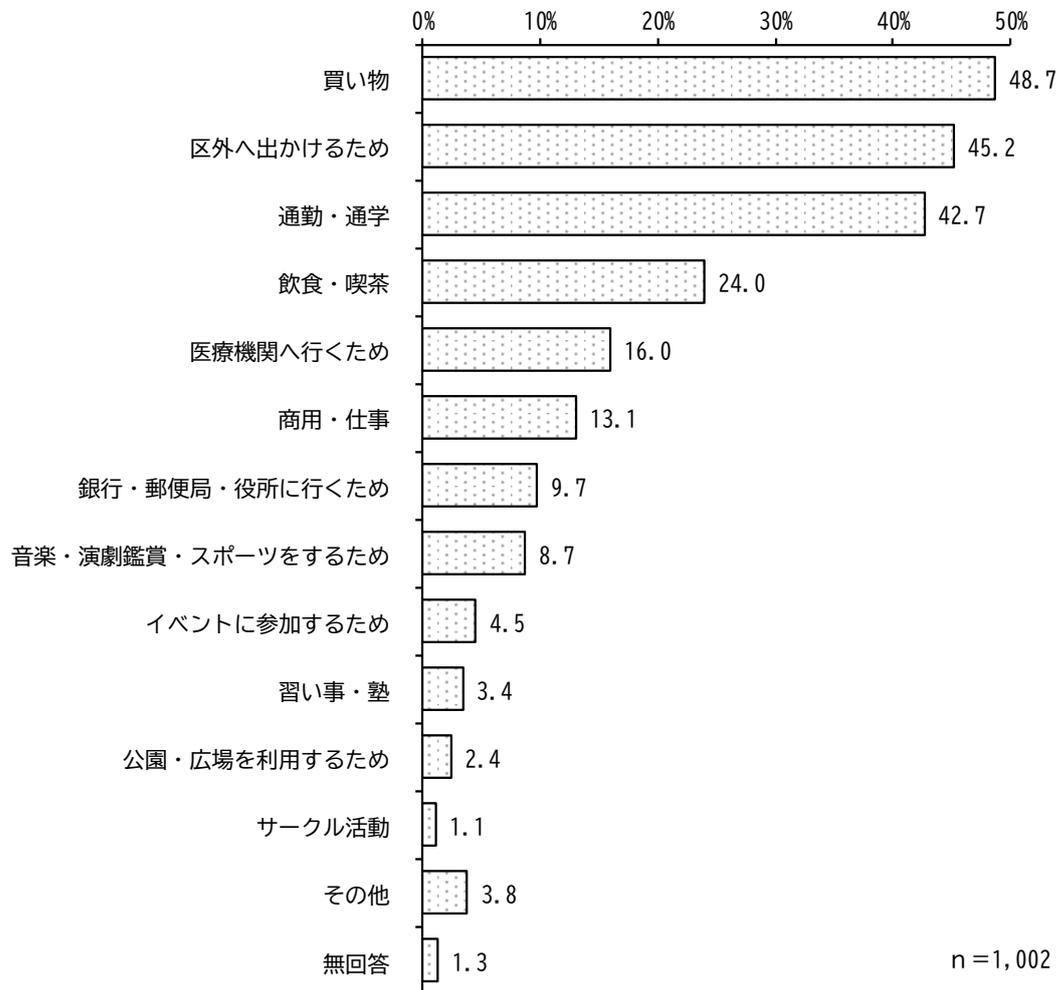
	新江古田駅	鷺ノ宮駅	都立家政駅	野方駅	沼袋駅	新井薬師前駅	落合駅	東中野駅	新中野駅	中野坂上駅	中野新橋駅	中野富士見町駅	その他	無回答	
全体 (n=1,105)	3.6	8.1	3.1	7.0	8.2	8.6	2.2	10.7	9.5	10.9	4.0	3.2	11.7	9.3	
居住地域別	南台 (n=70)	1.4	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	11.4	8.6	21.4	40.0	11.4	
	弥生町 (n=60)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.3	38.3	25.0	10.0	3.3	
	本町 (n=107)	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	41.1	33.6	11.2	2.8	0.9	8.4
	中央 (n=103)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	4.9	41.7	42.7	0.0	0.0	2.9	6.8
	東中野 (n=87)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	73.6	0.0	9.2	0.0	0.0	1.1	8.0
	中野 (n=97)	0.0	1.0	1.0	2.1	3.1	13.4	7.2	27.8	10.3	7.2	1.0	0.0	12.4	13.4
	上高田 (n=58)	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	51.7	10.3	17.2	0.0	0.0	0.0	0.0	5.2	13.8
	新井 (n=66)	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	40.9	1.5	6.1	6.1	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1
	沼袋 (n=50)	0.0	2.0	0.0	0.0	92.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0
	松が丘 (n=24)	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	79.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	12.5
	江原町 (n=27)	85.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	7.4	0.0
	江古田 (n=35)	42.9	0.0	0.0	0.0	37.1	5.7	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	5.7	5.7
	丸山 (n=13)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	野方 (n=61)	0.0	0.0	0.0	57.4	13.1	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	1.6	0.0	14.8	11.5
	大和町 (n=45)	0.0	2.2	0.0	26.7	0.0	2.2	0.0	2.2	4.4	0.0	0.0	0.0	46.7	15.6
	若宮 (n=42)	0.0	23.8	33.3	21.4	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	9.5
	白鷺 (n=32)	0.0	81.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	6.3
鷺宮 (n=59)	0.0	45.8	27.1	6.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.8	13.6	
上鷺宮 (n=50)	0.0	44.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	2.0	0.0	2.0	44.0	4.0	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(2) 鉄道駅（駅周辺）に行く目的

「買い物」が4割後半で最も高い

問25-1 問25の鉄道駅（駅周辺）に行く目的は何ですか。（○はいくつでも）



中野駅以外の日常で最も利用する鉄道駅（駅周辺）に行く目的（複数回答）を聞いたところ、「買い物」(48.7%)が4割後半で最も高く、次いで「区外へ出かけるため」(45.2%)、「通勤・通学」(42.7%)、「飲食・喫茶」(24.0%)となっている。

性別で見ると、「買い物」は男性に比べ女性でやや高く、「通勤・通学」、「商用・仕事」は女性に比べ男性でやや高くなっている。

年代別で見ると、「通勤・通学」は20歳代以下、30歳代で、「買い物」、「医療機関へ行くため」は70歳代以上で、それぞれ高くなっている。

		通勤・通学	商用・仕事	買い物	飲食・喫茶	区外へ出かけるため	医療機関へ行くため	音楽・演劇鑑賞・スポーツをするため	習い事・塾	サークル活動	イベントに参加するため	公園・広場を利用するため	銀行・郵便局・役所に行くため	その他	無回答
全体 (n=1,002)		42.7	13.1	48.7	24.0	45.2	16.0	8.7	3.4	1.1	4.5	2.4	9.7	3.8	1.3
性別	男性 (n=519)	46.4	16.8	44.9	23.9	43.5	13.7	7.7	1.7	0.4	3.3	2.3	7.5	2.9	0.8
	女性 (n=469)	38.8	9.2	52.7	24.3	47.8	18.3	10.0	5.1	1.9	6.0	2.6	11.5	4.7	1.9
年代別	20歳代以下 (n=131)	65.6	11.5	40.5	22.9	39.7	8.4	9.2	3.1	1.5	6.9	0.0	3.8	3.1	0.0
	30歳代 (n=194)	56.2	13.9	40.2	27.3	47.4	10.8	7.2	2.6	0.5	5.7	5.2	7.2	5.7	0.0
	40歳代 (n=175)	48.6	16.0	46.3	26.9	46.3	10.3	5.7	6.3	0.6	1.7	3.4	5.1	4.0	1.7
	50歳代 (n=191)	44.5	13.1	48.2	24.1	43.5	14.7	6.8	4.2	0.5	2.6	2.1	7.9	4.7	1.0
	60歳代 (n=147)	31.3	14.3	55.8	22.4	46.3	20.4	15.0	1.4	1.4	6.8	2.7	15.0	3.4	3.4
	70歳代以上 (n=157)	9.6	8.3	61.8	19.1	47.1	31.8	10.2	2.5	2.5	4.5	0.0	19.1	1.3	1.9

居住地域別でみると、「通勤・通学」は本町、東中野、上鷲宮で、「商用・仕事」は若宮で、「買い物」は大和町、白鷲で、「飲食・喫茶」は大和町で、「区外へ出かけるため」は江古田、若宮で、「銀行・郵便局・役所に行くため」は若宮、上鷲宮で、それぞれ高くなっている。

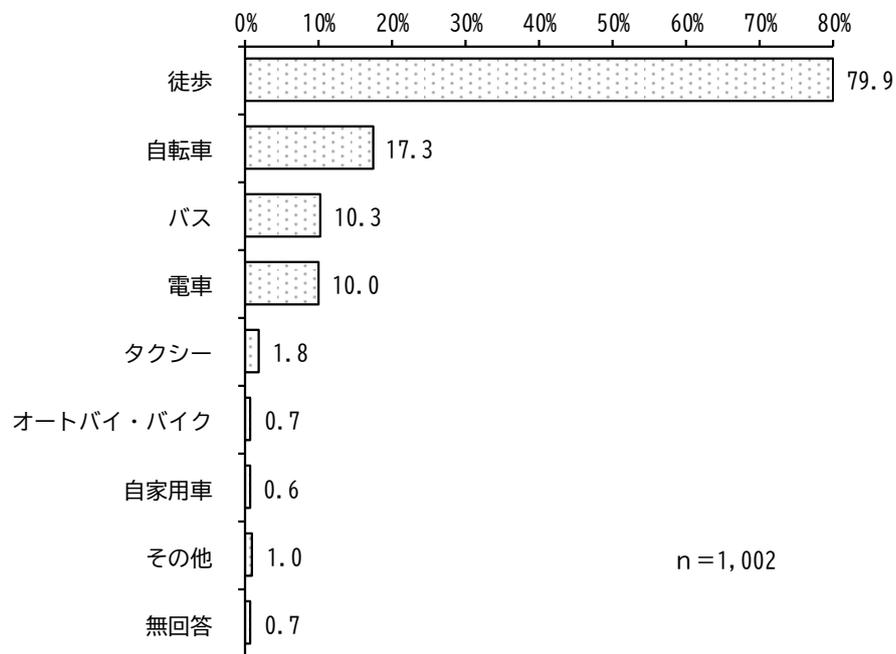
	通勤・通学	商用・仕事	買い物	飲食・喫茶	区外へ出かけるため	医療機関へ行くため	音楽・演劇鑑賞・スポーツをするため	習い事・塾	サークル活動	イベントに参加するため	公園・広場を利用するため	銀行・郵便局・役所に行くため	その他	無回答	
全体 (n=1,002)	42.7	13.1	48.7	24.0	45.2	16.0	8.7	3.4	1.1	4.5	2.4	9.7	3.8	1.3	
居住地域別	南台 (n=62)	30.6	21.0	43.5	21.0	40.3	8.1	11.3	3.2	3.2	8.1	3.2	11.3	3.2	0.0
	弥生町 (n=58)	46.6	15.5	51.7	27.6	53.4	13.8	6.9	0.0	0.0	5.2	1.7	6.9	0.0	0.0
	本町 (n=98)	56.1	10.2	56.1	30.6	51.0	14.3	8.2	4.1	2.0	7.1	2.0	7.1	4.1	2.0
	中央 (n=96)	44.8	10.4	45.8	25.0	37.5	15.6	8.3	5.2	0.0	4.2	0.0	5.2	2.1	2.1
	東中野 (n=80)	56.3	13.8	53.8	21.3	46.3	11.3	8.8	2.5	1.3	5.0	1.3	16.3	3.8	1.3
	中野 (n=84)	36.9	13.1	41.7	19.0	38.1	15.5	9.5	3.6	2.4	3.6	2.4	7.1	4.8	0.0
	上高田 (n=50)	46.0	12.0	40.0	22.0	32.0	10.0	4.0	6.0	2.0	6.0	2.0	4.0	6.0	2.0
	新井 (n=60)	23.3	11.7	50.0	23.3	43.3	16.7	5.0	1.7	0.0	1.7	0.0	3.3	8.3	1.7
	沼袋 (n=48)	50.0	16.7	52.1	18.8	39.6	14.6	12.5	2.1	0.0	2.1	8.3	14.6	2.1	0.0
	松が丘 (n=21)	33.3	9.5	33.3	42.9	57.1	9.5	4.8	4.8	0.0	0.0	9.5	9.5	0.0	0.0
	江原町 (n=27)	44.4	11.1	44.4	22.2	59.3	18.5	14.8	3.7	3.7	3.7	3.7	7.4	3.7	3.7
	江古田 (n=33)	48.5	15.2	36.4	18.2	69.7	18.2	9.1	3.0	3.0	6.1	3.0	3.0	3.0	0.0
	丸山 (n=13)	53.8	7.7	61.5	23.1	53.8	30.8	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0
	野方 (n=54)	29.6	3.7	42.6	29.6	38.9	13.0	3.7	3.7	1.9	1.9	1.9	9.3	5.6	3.7
	大和町 (n=38)	36.8	18.4	65.8	36.8	39.5	15.8	5.3	0.0	0.0	2.6	0.0	13.2	5.3	0.0
	若宮 (n=38)	34.2	23.7	52.6	18.4	63.2	34.2	15.8	7.9	0.0	13.2	0.0	21.1	2.6	0.0
	白鷲 (n=30)	33.3	10.0	60.0	33.3	53.3	26.7	16.7	3.3	0.0	3.3	6.7	16.7	0.0	3.3
鷲宮 (n=51)	43.1	7.8	45.1	19.6	49.0	29.4	15.7	2.0	0.0	2.0	3.9	7.8	5.9	0.0	
上鷲宮 (n=48)	56.3	16.7	50.0	16.7	35.4	10.4	4.2	6.3	0.0	4.2	2.1	20.8	4.2	4.2	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(3) 鉄道駅（駅周辺）に行く際の交通手段

「徒歩」が約8割で最も高い

問25-2 問25の鉄道駅（駅周辺）に行く際、よく利用する交通手段は何ですか。（○はいくつでも）



中野駅以外の日常で最も利用する鉄道駅（駅周辺）に行く際の交通手段（複数回答）を聞いたところ、「徒歩」（79.9%）が約8割で最も高く、次いで「自転車」（17.3%）、「バス」（10.3%）となっている。

性別で見ると、「徒歩」は女性に比べ、男性でやや高くなっている。

年代別で見ると、「バス」は70歳代以上で高く、「徒歩」は60歳代で、「電車」は20歳代以下で、「自転車」は40歳代、50歳代で、やや高くなっている。

		徒歩	バス	電車	自転車	オートバイ・バイク	自家用車	タクシー	その他	無回答
全体 (n=1,002)		79.9	10.3	10.0	17.3	0.7	0.6	1.8	1.0	0.7
性別	男性 (n=519)	84.4	7.7	7.1	15.0	1.2	0.6	1.3	0.8	0.6
	女性 (n=469)	75.5	12.8	12.8	19.8	0.2	0.6	1.9	1.3	0.9
年代別	20歳代以下 (n=131)	83.2	6.1	15.3	6.9	0.0	0.0	0.8	0.0	0.8
	30歳代 (n=194)	80.4	6.7	12.9	15.5	1.5	0.0	1.0	1.5	0.0
	40歳代 (n=175)	78.9	6.9	9.7	24.6	0.6	1.7	0.6	0.6	0.6
	50歳代 (n=191)	78.0	8.4	6.3	23.6	1.0	0.5	0.0	2.1	1.0
	60歳代 (n=147)	85.0	10.9	6.8	14.3	0.7	0.7	3.4	0.0	1.4
	70歳代以上 (n=157)	75.8	22.3	9.6	15.3	0.0	0.6	5.1	1.3	0.6

居住地域別でみると、「徒歩」は東中野、沼袋で、「バス」は南台、白鷺で、「自転車」は南台、江古田、野方、大和町、若宮、白鷺で、それぞれ高く、「電車」は南台、中野、上鷺宮で、「タクシー」は新井で、それぞれやや高くなっている。

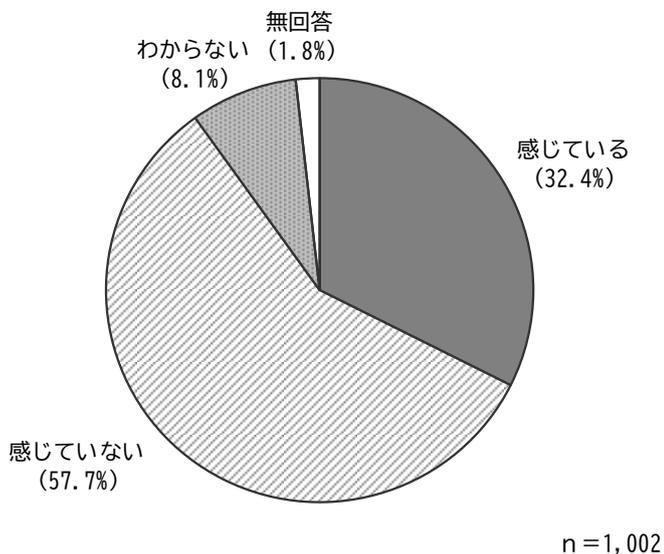
		徒歩	バス	電車	自転車	オートバイ・バイク	自家用車	タクシー	その他	無回答
全体 (n=1,002)		79.9	10.3	10.0	17.3	0.7	0.6	1.8	1.0	0.7
居住地域別	南台 (n=62)	56.5	21.0	19.4	27.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	弥生町 (n=58)	70.7	15.5	12.1	8.6	1.7	1.7	0.0	1.7	0.0
	本町 (n=98)	84.7	3.1	12.2	8.2	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0
	中央 (n=96)	87.5	8.3	4.2	14.6	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0
	東中野 (n=80)	92.5	1.3	8.8	3.8	1.3	0.0	1.3	0.0	0.0
	中野 (n=84)	79.8	17.9	16.7	7.1	0.0	0.0	2.4	0.0	1.2
	上高田 (n=50)	82.0	4.0	4.0	12.0	2.0	0.0	4.0	4.0	0.0
	新井 (n=60)	73.3	11.7	10.0	15.0	0.0	1.7	10.0	5.0	1.7
	沼袋 (n=48)	93.8	2.1	6.3	16.7	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	松が丘 (n=21)	90.5	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0
	江原町 (n=27)	92.6	7.4	3.7	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	江古田 (n=33)	69.7	18.2	6.1	33.3	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0
	丸山 (n=13)	100.0	7.7	0.0	38.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	野方 (n=54)	72.2	13.0	13.0	29.6	0.0	1.9	0.0	1.9	1.9
	大和町 (n=38)	84.2	10.5	7.9	31.6	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0
	若宮 (n=38)	81.6	5.3	7.9	34.2	2.6	2.6	2.6	0.0	0.0
	白鷺 (n=30)	83.3	26.7	3.3	30.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0
鷺宮 (n=51)	84.3	9.8	11.8	21.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	
上鷺宮 (n=48)	60.4	12.5	16.7	25.0	0.0	2.1	4.2	0.0	4.2	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(4) 鉄道駅（駅周辺）利用時の不満の有無

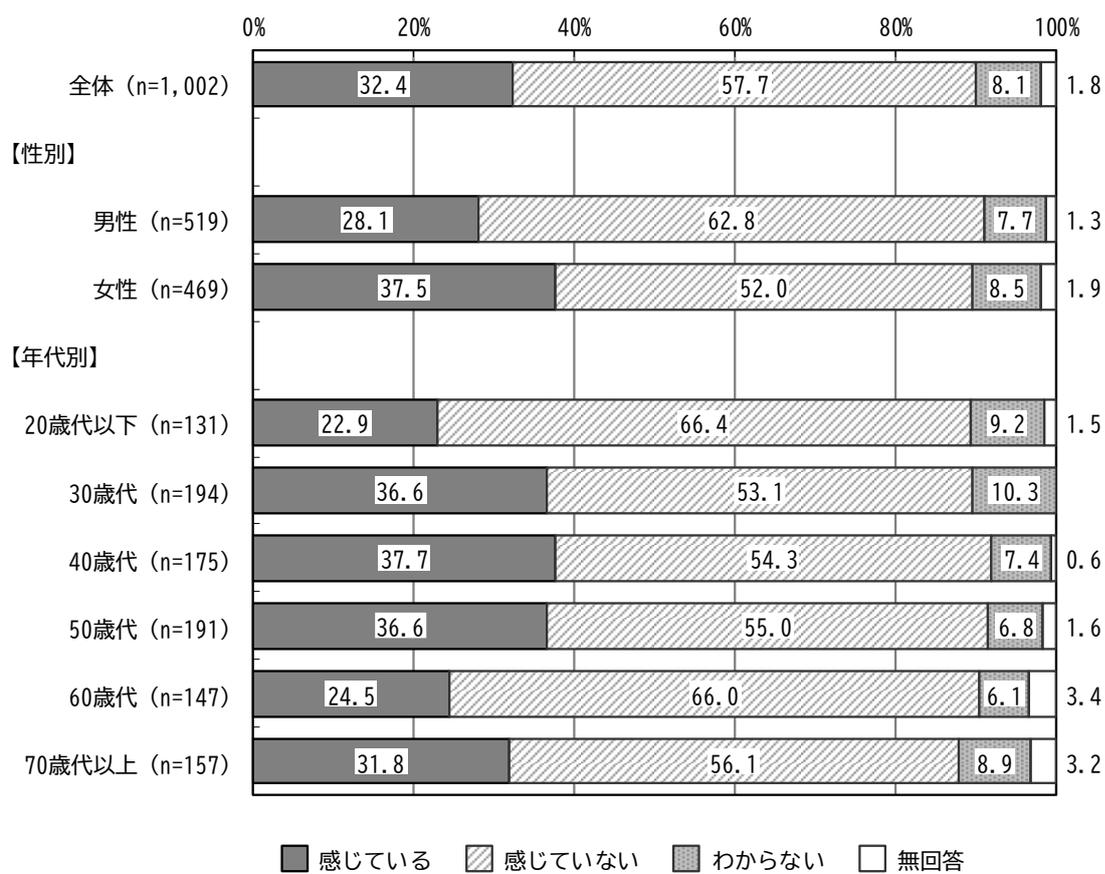
不満を「感じている」は3割前半

問25-3 問25の鉄道駅（駅周辺）を利用する際、不便や不快など不満を感じていますか。（○は1つ）

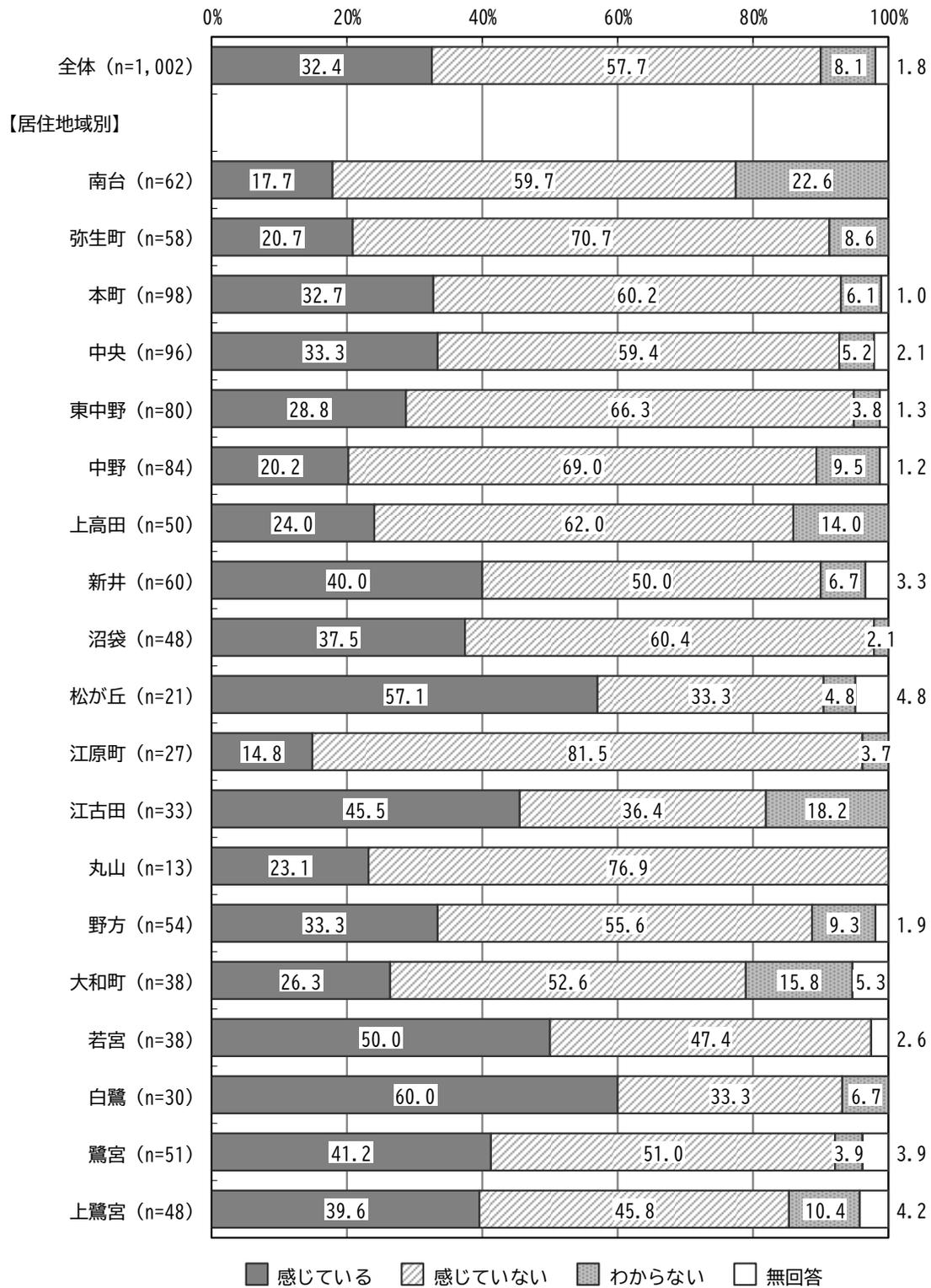


中野駅以外の日常で最も利用する鉄道駅（駅周辺）利用時に不便や不快などの不満を感じているかどうかを聞いたところ、「感じていない」（57.7%）が5割後半と、「感じている」（32.4%）を上回っている。

性別で見ると、「感じている」は男性に比べ女性でやや高くなっている。
 年代別で見ると、「感じている」は40歳代で3割後半とやや高くなっている。



居住地域別でみると、「感じている」は白鷺で6割と高くなっている。



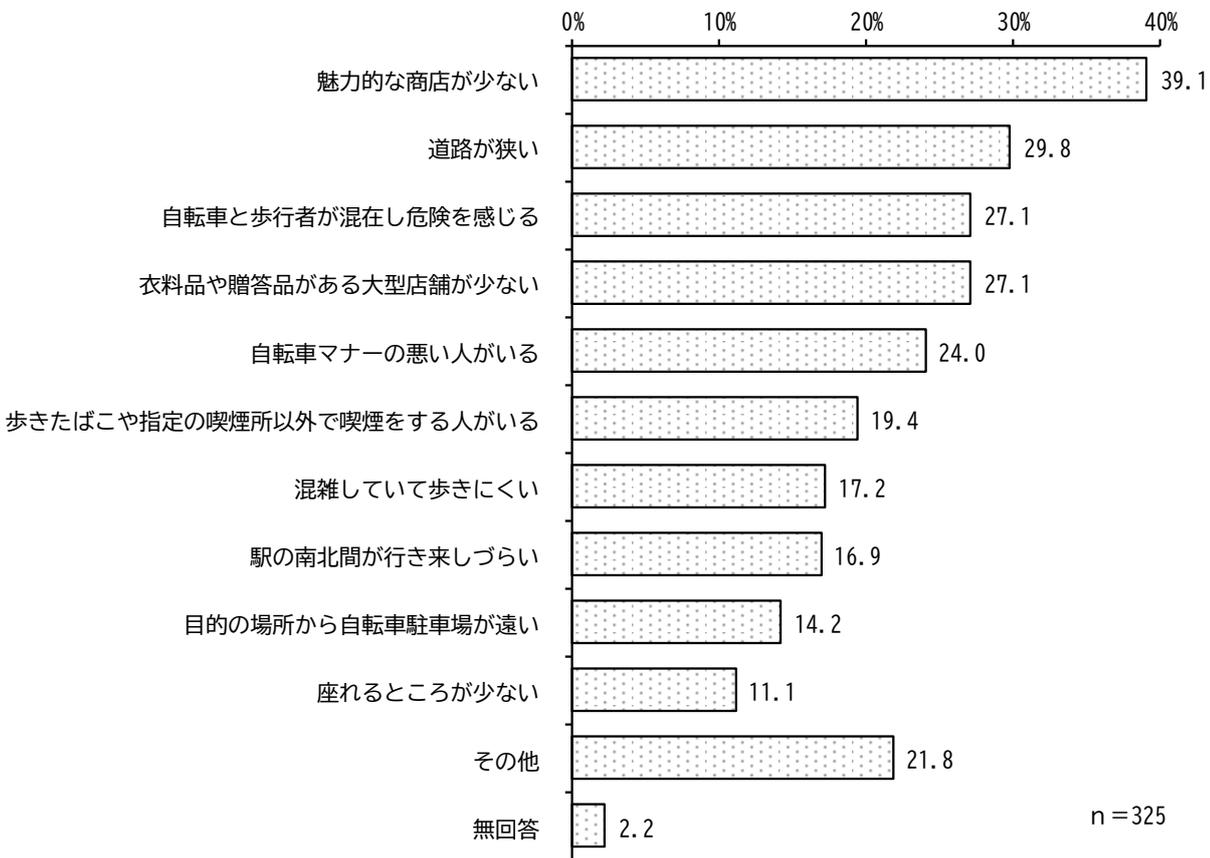
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(5) 鉄道駅（駅周辺）利用時の不満の内容

「魅力的な商店が少ない」が約4割で最も高い

【問25-3で「1」と答えた方にお聞きします。】

問25-4 その不満の内容は何ですか。（○はいくつでも）



中野駅以外の日常で最も利用する鉄道駅（駅周辺）を利用する際に不満を感じている人に不満の内容（複数回答）を聞いたところ、「魅力的な商店が少ない」（39.1%）が約4割で最も高く、次いで「道路が狭い」（29.8%）、「自転車と歩行者が混在し危険を感じる」（27.1%）、「自転車と歩行者が混在し危険を感じる」（27.1%）となっている。

性別でみると、「衣料品や贈答品がある大型店舗が少ない」は男性に比べ女性で高くなっている。

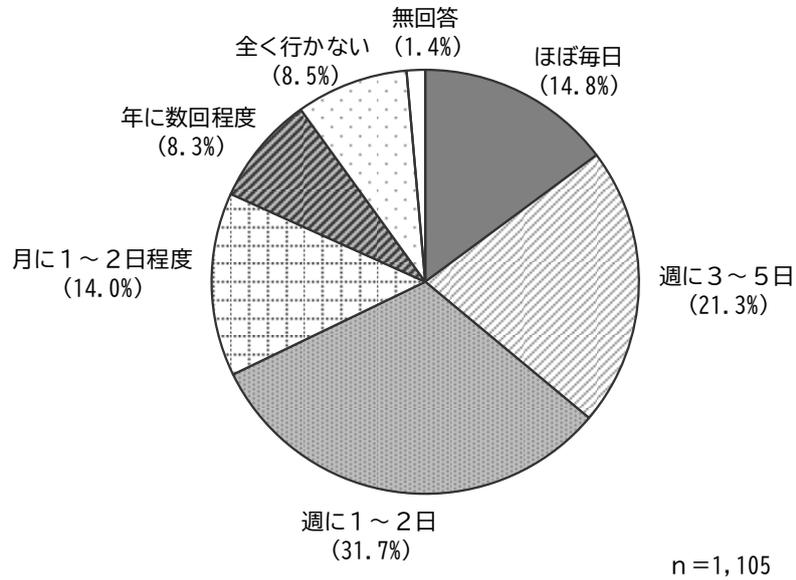
年代別でみると、「混雑していて歩きにくい」は60歳代で、「歩きたばこや指定の喫煙所以外で喫煙をする人がいる」は30歳代で高くなっている。

		混雑して いて歩き にくい	座れる ところが 少ない	駅の南 北間が 行き来 しづらい	自転車 と歩行者 が混在 し危険 を感じる	目的の 場所から 自転車 駐車が 遠い	道路が 狭い	衣料品 や贈答 品があ る大型 店舗が 少ない	魅力的 な商店 が少な い	自転車 マナー の悪い 人がい る	歩きた ばこや 指定の 喫煙所 以外で 喫煙を する人 がいて いる	その他	無回答
全体 (n=325)		17.2	11.1	16.9	27.1	14.2	29.8	27.1	39.1	24.0	19.4	21.8	2.2
性別	男性 (n=146)	15.1	8.9	16.4	24.7	15.1	27.4	21.2	35.6	24.0	20.5	26.7	0.7
	女性 (n=176)	19.3	13.1	17.6	29.5	13.1	32.4	31.8	42.0	24.4	18.8	17.6	3.4
年代別	20歳代以下 (n=30)	16.7	13.3	13.3	23.3	6.7	20.0	23.3	40.0	20.0	16.7	23.3	3.3
	30歳代 (n=71)	18.3	7.0	15.5	22.5	14.1	31.0	32.4	46.5	29.6	31.0	26.8	0.0
	40歳代 (n=66)	13.6	6.1	19.7	19.7	13.6	30.3	27.3	31.8	21.2	16.7	30.3	1.5
	50歳代 (n=70)	11.4	12.9	15.7	32.9	15.7	30.0	21.4	37.1	17.1	18.6	18.6	4.3
	60歳代 (n=36)	27.8	13.9	13.9	33.3	16.7	33.3	25.0	38.9	22.2	19.4	22.2	0.0
	70歳代以上 (n=50)	22.0	16.0	22.0	32.0	14.0	30.0	28.0	38.0	32.0	8.0	8.0	4.0

14 商店街について

「週1日以上」(「ほぼ毎日」と「週に3～5日」と「週に1～2日」)が6割後半

問26 買い物やサービス等利用のため、商店街へほどの程度の頻度で行きますか。(○は1つ)

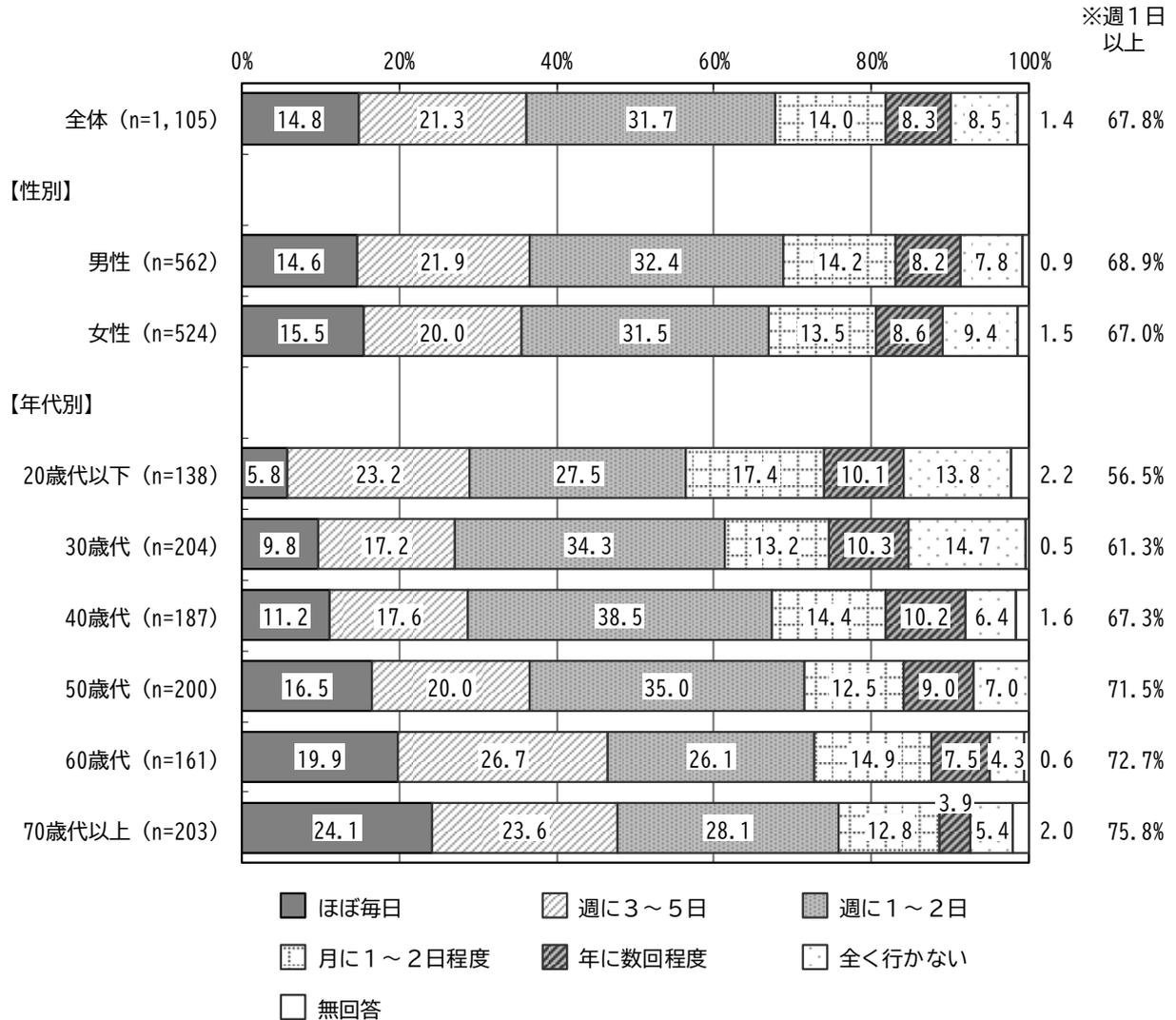


商店街へ行く頻度を聞いたところ、「週に1～2日」(31.7%)が約3割で最も高く、次いで「週に3～5日」(21.3%)、「ほぼ毎日」(14.8%)となっている。

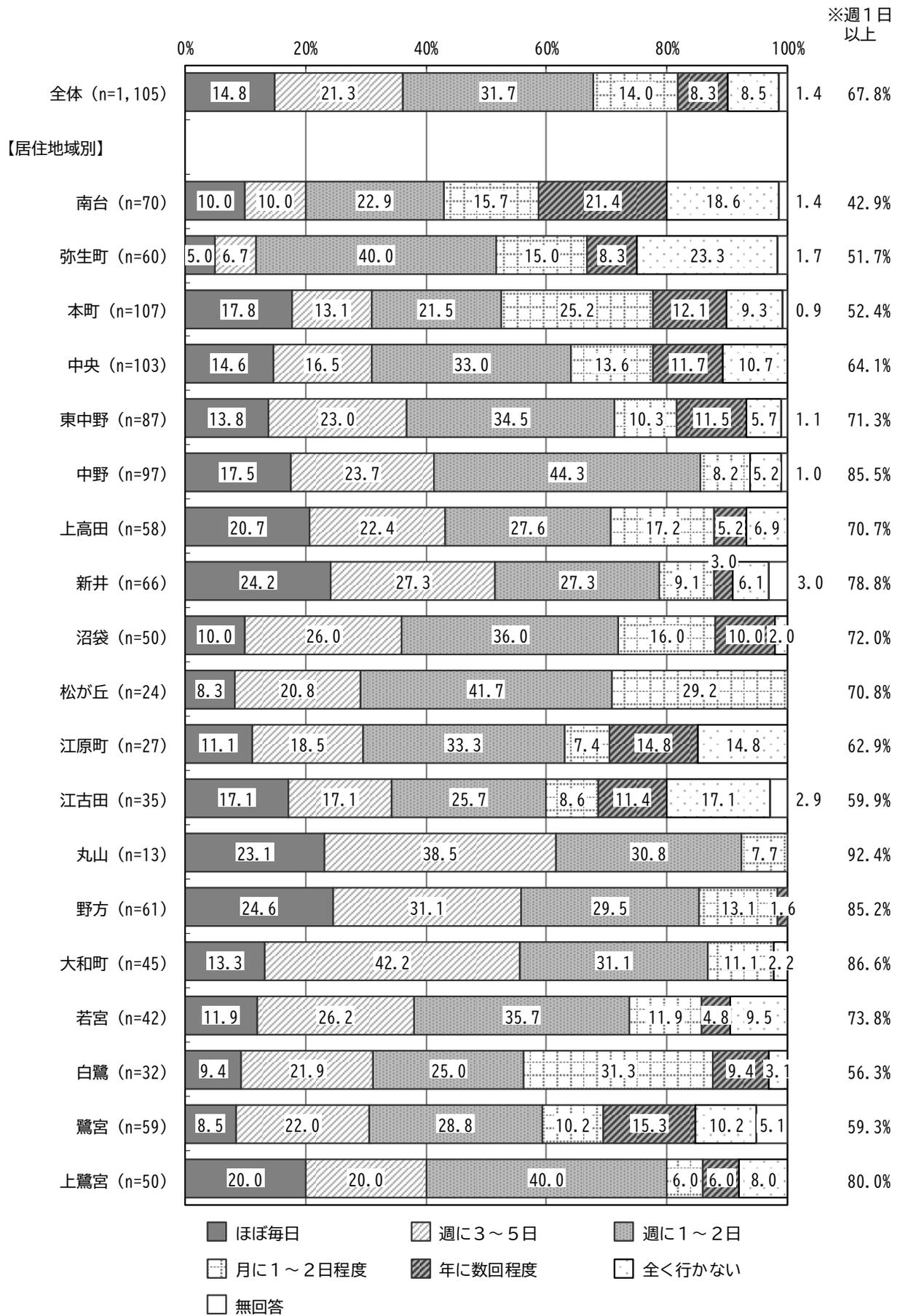
「ほぼ毎日」、「週に3～5日」、「週に1～2日」を合わせた「週1日以上」(67.8%)は6割後半となっている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別でみると、「週1日以上」は70歳代以上で7割半ばとやや高くなっている。一方、「全く行かない」は20歳代以下、30歳代でやや高くなっている。



居住地域別でみると、「週1日以上」は中野、野方、大和町で8割半ばと高くなっている。

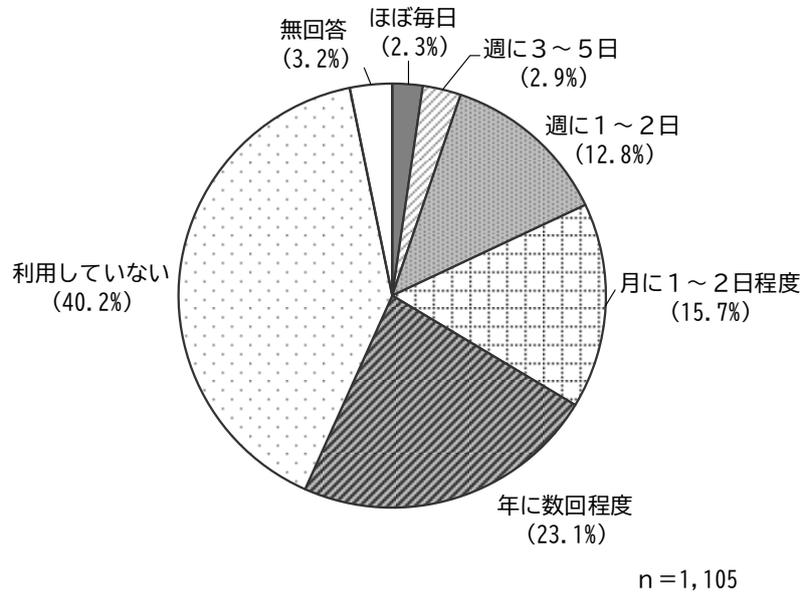


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

15 公園・広場等の利用について
(1) 区内の公園・広場の利用頻度

「利用していない」が1割後半

問27 区内の公園や広場を、どの程度の頻度で利用していますか。(○は1つ)

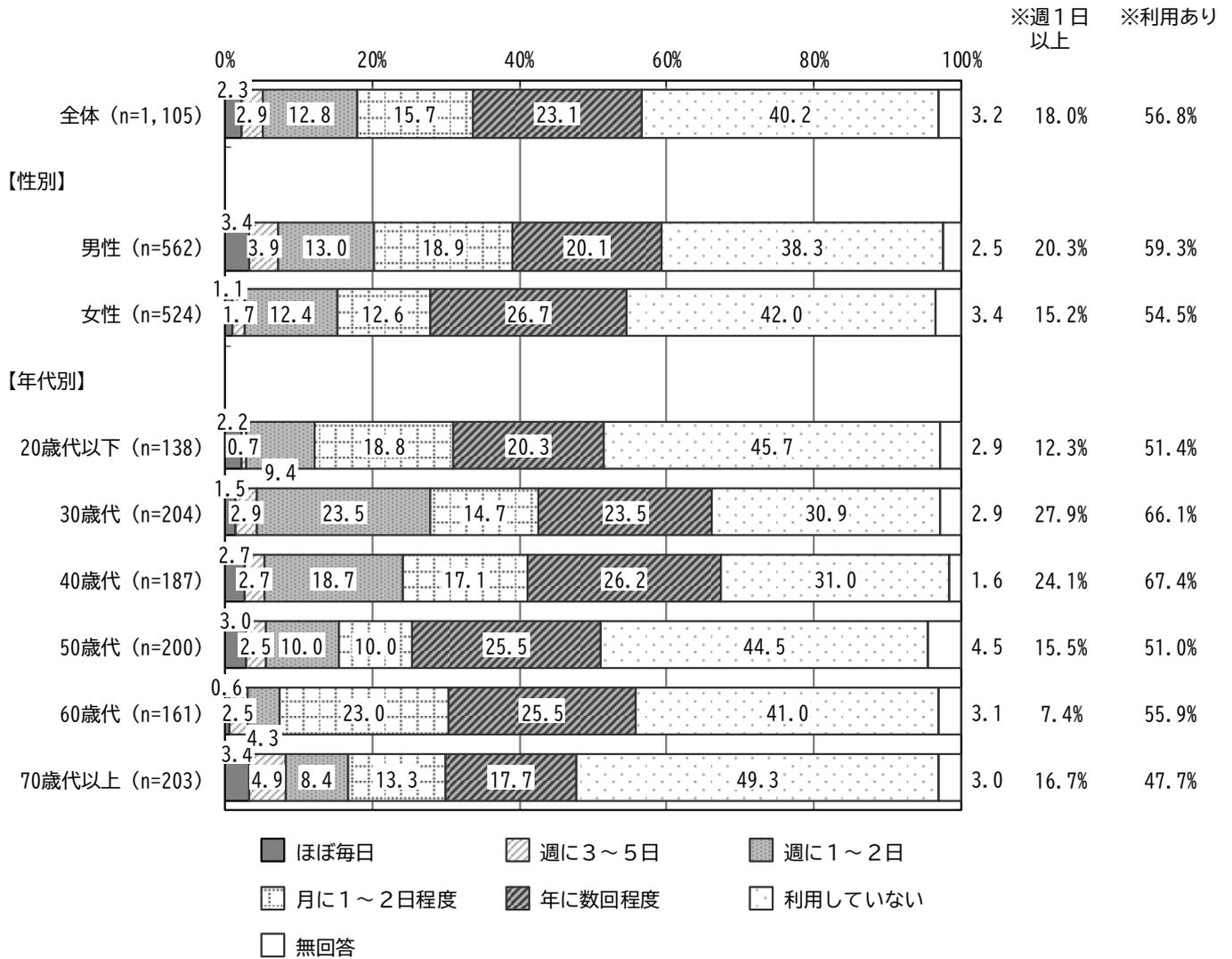


公園や広場の利用頻度を聞いたところ、「利用していない」(40.2%)が約4割と最も高く、次いで「年に数回程度」(23.1%)、「月に1～2日程度」(15.7%)となっている。

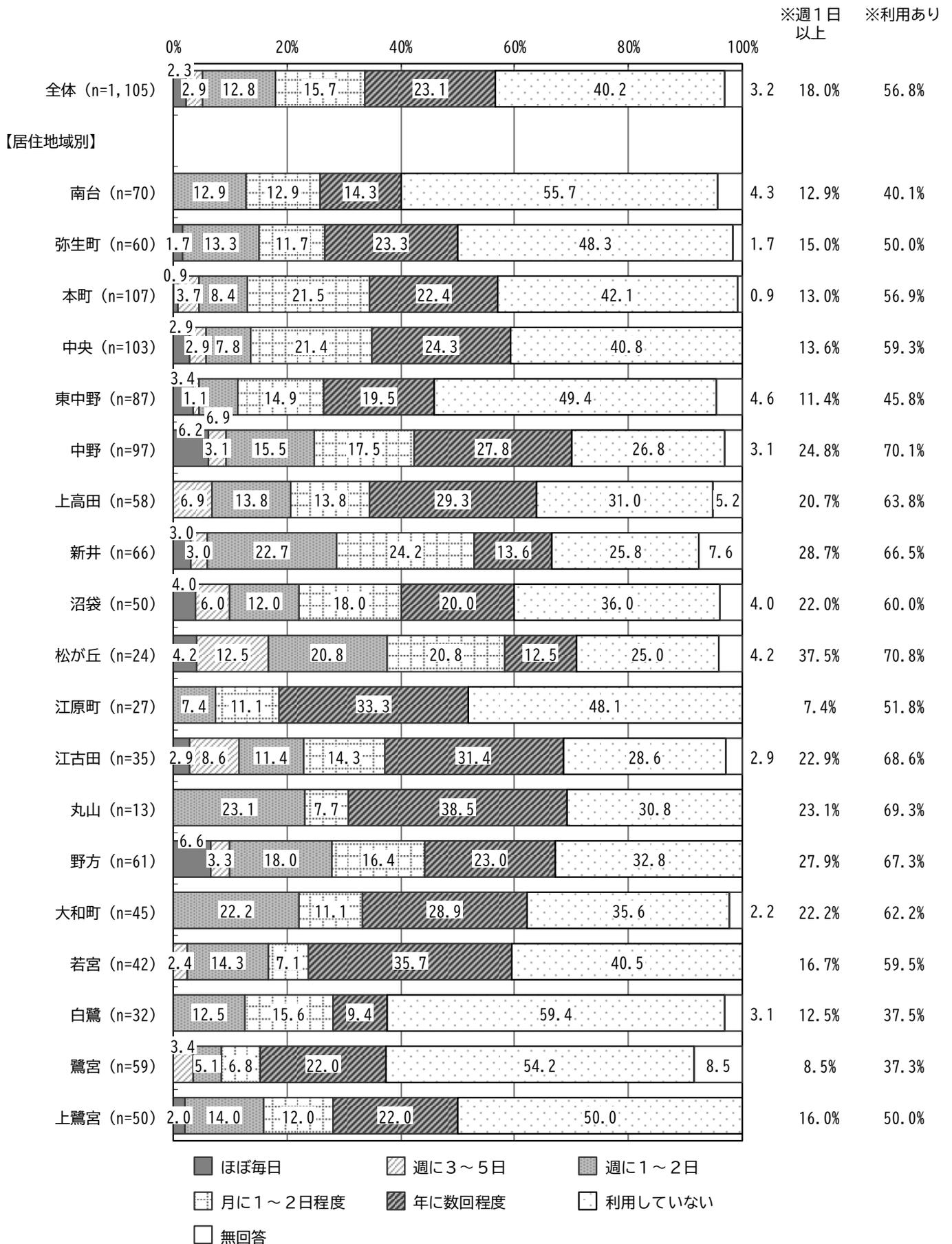
「ほぼ毎日」(2.3%)、「週に3～5日」(2.9%)、「週に1～2日」(12.8%)を合わせた「週1日以上利用あり」(18.0%)は1割後半となっている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別でみると、「週1日以上利用あり」は30歳代で2割後半とやや高くなっている。一方、「利用していない」は70歳代以上で約5割とやや高くなっている。



居住地域別でみると、「週1日以上利用あり」は野方で2割後半とやや高くなっている。一方、「利用していない」は白鷺で約6割と高くなっている。



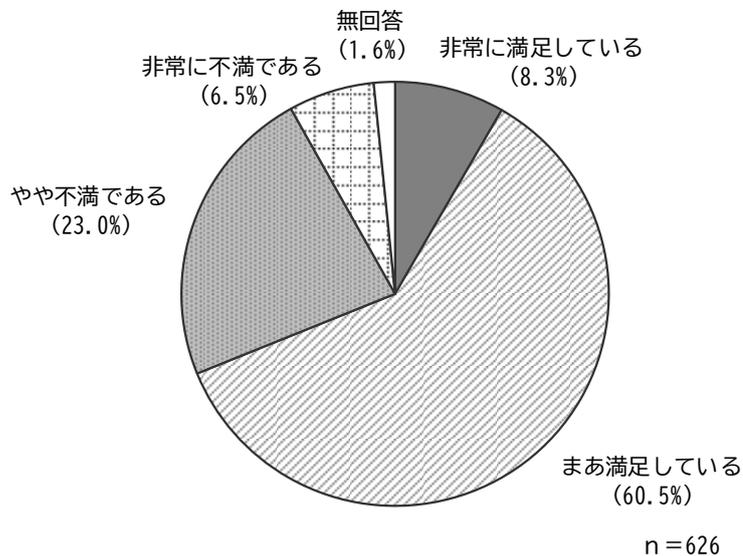
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(2) 区内の公園・広場の満足度

《満足している》（「非常に満足している」と「まあ満足している」）が6割後半

【問27で「1」～「5」と答えた方にお聞きします。】

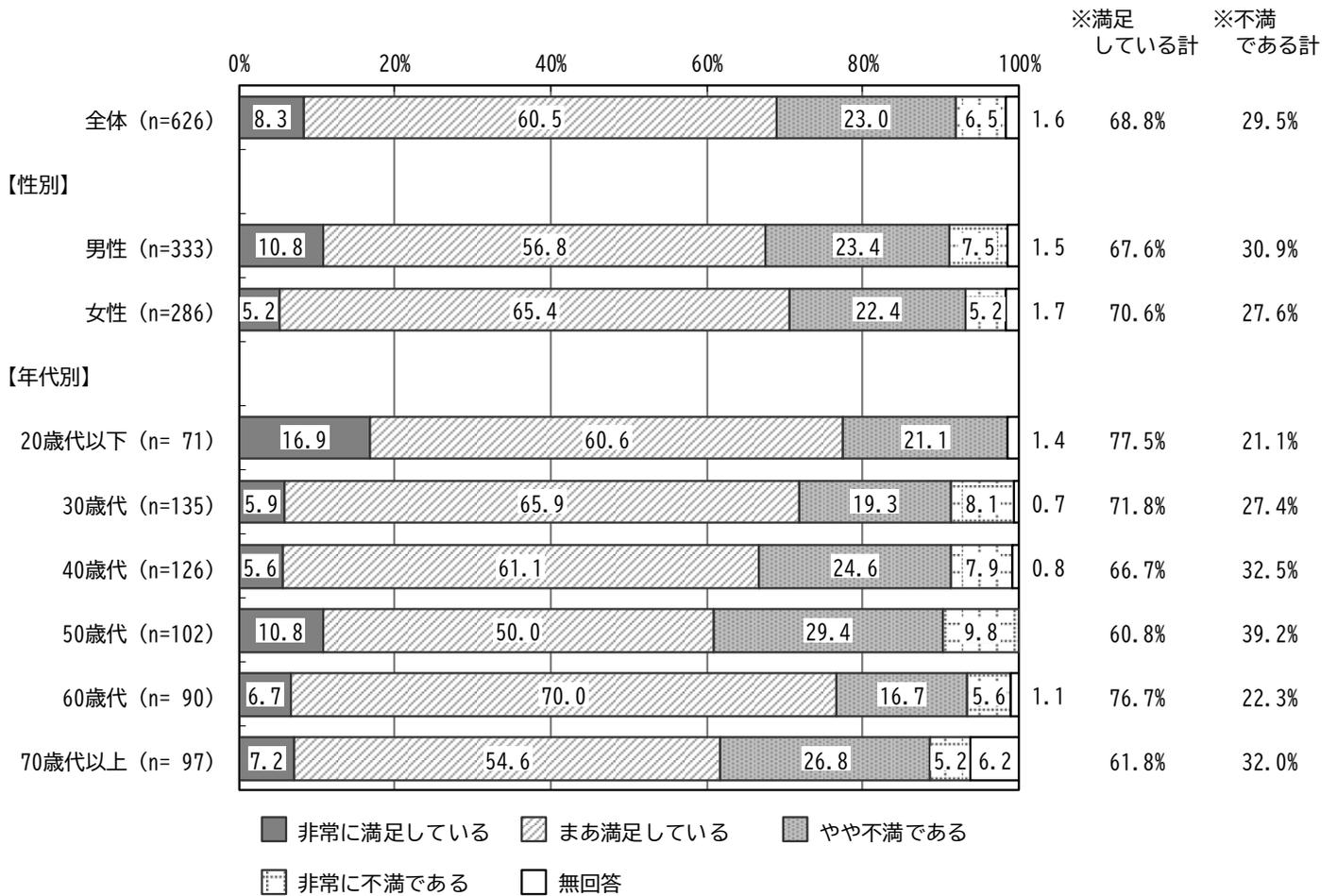
問27-1 現在の区内の公園や広場に満足していますか。(○は1つ)



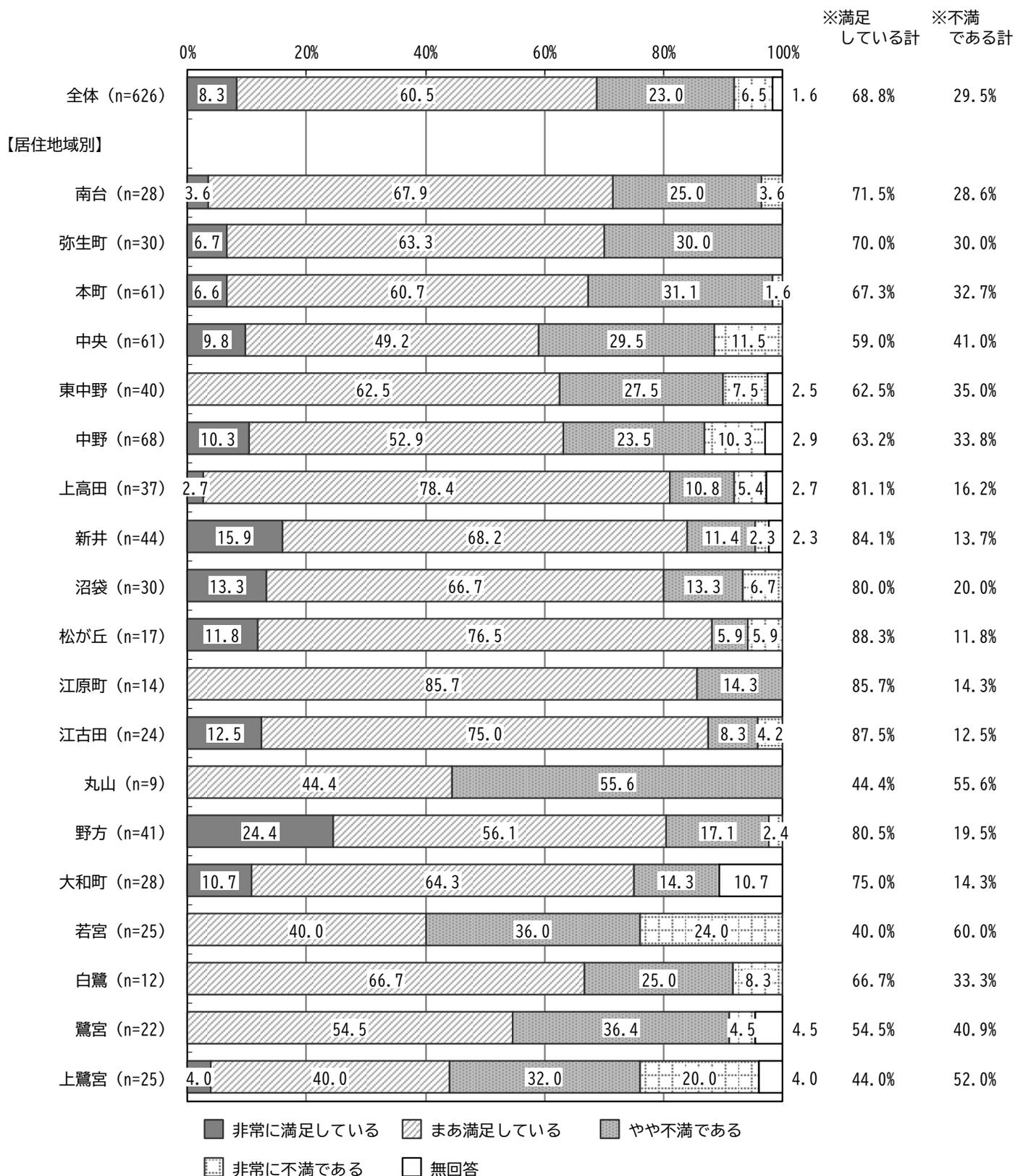
公園や広場の利用者に満足度を聞いたところ、「非常に満足している」(8.3%)と「まあ満足している」(60.5%)を合わせた《満足している》(68.8%)は6割後半となっている。一方、「やや不満である」(23.0%)と「非常に不満である」(6.5%)を合わせた《不満である》(29.5%)は約3割となっている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別でみると、「不満である」は50歳代で約4割とやや高くなっている。



居住地域別でみると、「満足している」は新井で8割半ばと高くなっている。一方、「不満である」は中央で約4割と高くなっている。



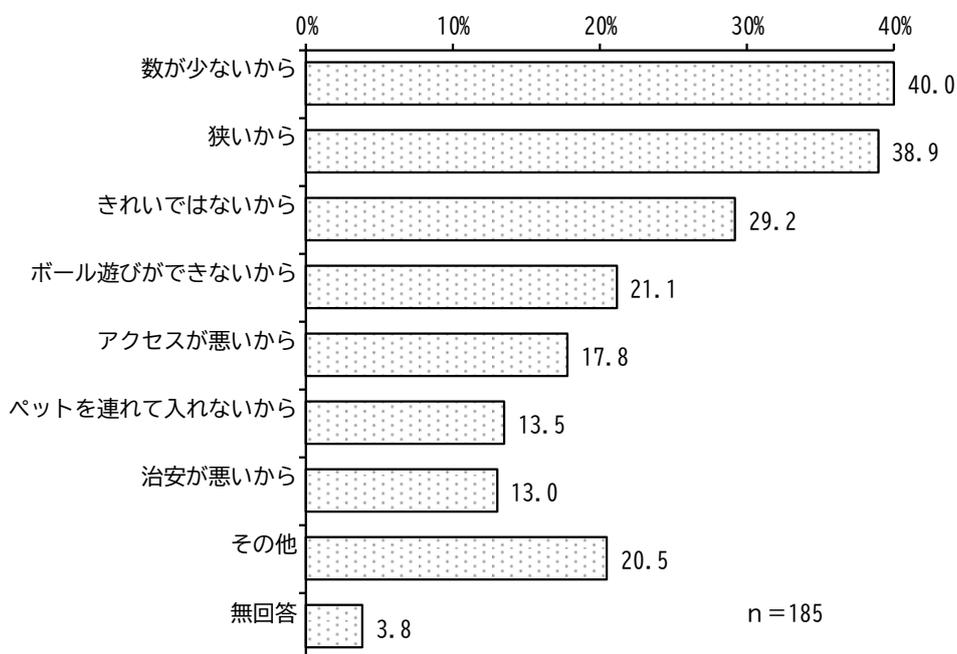
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(3) 区内の公園・広場の不満の理由

「数が少ないから」が4割で最も高い

【問27-1で「3」「4」と答えた方にお聞きします。】

問27-2 その理由は何ですか。(○はいくつでも)



公園や広場に不満がある人に理由（複数回答）を聞いたところ、「数が少ないから」（40.0%）が4割で最も高く、次いで「狭いから」（38.9%）、「きれいではないから」（29.2%）となっている。

性別で見ると、「狭いから」は女性に比べ男性でやや高く「きれいではないから」は男性に比べ女性で高くなっている。

年代別で見ると、「アクセスが悪いから」、「狭いから」は20歳代以下で、「きれいではないから」は30歳代で、「治安が悪いから」は40歳代で、「ペットを連れて入れないから」は50歳代で、「ボール遊びができないから」は20歳代以下、40歳代で、それぞれ高くなっている。

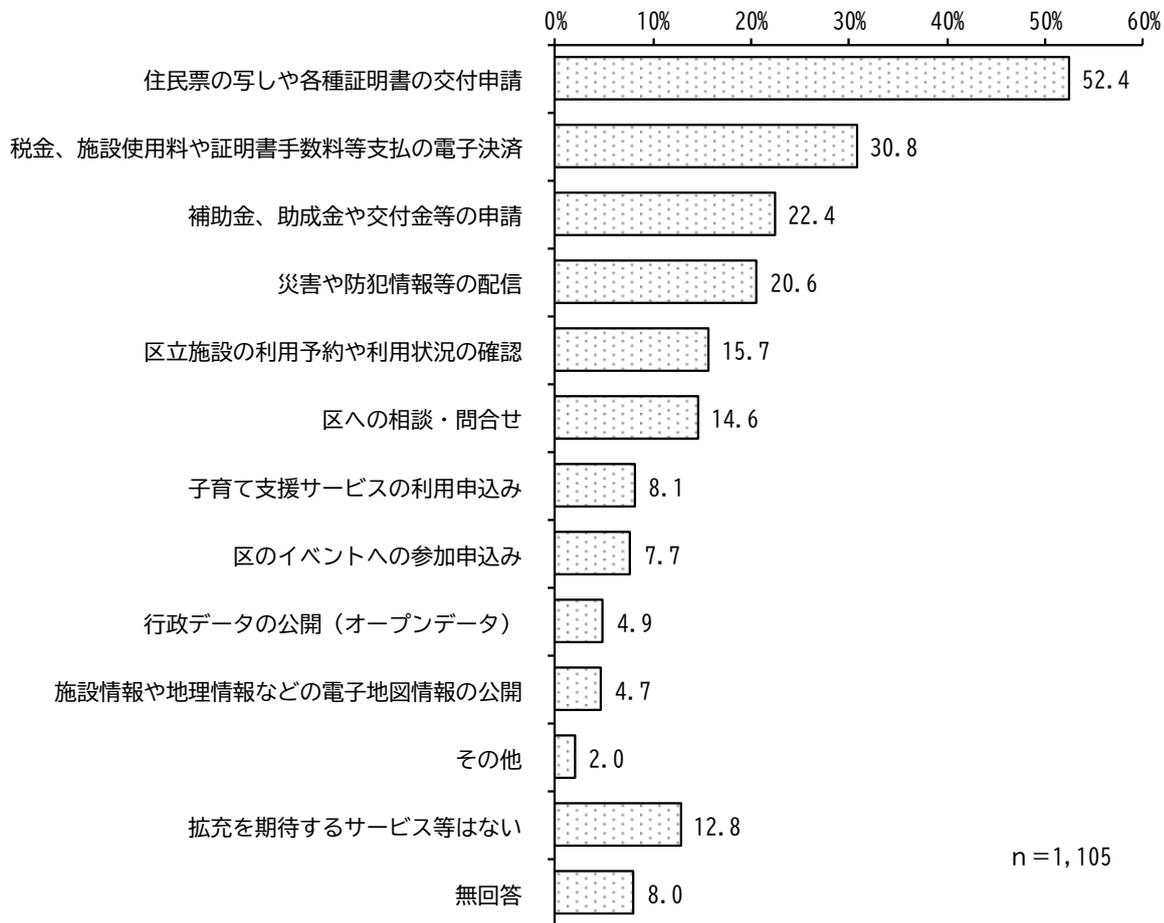
		アクセスが悪いから	狭いから	きれいではないから	治安が悪いから	数が少ないから	ペットを連れて入れないから	ボール遊びができないから	その他	無回答
全体 (n=185)		17.8	38.9	29.2	13.0	40.0	13.5	21.1	20.5	3.8
性別	男性 (n=103)	16.5	43.7	22.3	11.7	38.8	14.6	22.3	18.4	3.9
	女性 (n=79)	20.3	34.2	38.0	13.9	40.5	11.4	20.3	24.1	3.8
年代別	20歳代以下 (n=15)	33.3	60.0	20.0	13.3	46.7	0.0	46.7	0.0	0.0
	30歳代 (n=37)	18.9	40.5	51.4	16.2	29.7	8.1	16.2	29.7	2.7
	40歳代 (n=41)	9.8	31.7	39.0	24.4	41.5	12.2	34.1	31.7	0.0
	50歳代 (n=40)	12.5	47.5	22.5	10.0	47.5	27.5	17.5	12.5	2.5
	60歳代 (n=20)	25.0	40.0	15.0	5.0	35.0	10.0	20.0	15.0	15.0
	70歳代以上 (n=31)	19.4	25.8	12.9	3.2	41.9	12.9	3.2	16.1	6.5

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

16 区のサービスの電子化について

「住民票の写しや各種証明書の交付申請」が5割前半で最も高い

問28 今後、電子化の拡充を期待する区のサービス等についてお選びください。(○は3つまで)



電子化の拡充を期待する区のサービス等（3つまで回答）を聞いたところ、「住民票の写しや各種証明書の交付申請」（52.4%）が5割前半で最も高く、次いで「税金、施設使用料や証明書手数料等支払の電子決済」（30.8%）、「補助金、助成金や交付金等の申請」（22.4%）、「災害や防犯情報等の配信」（20.6%）となっている。

性別でみると、「税金、施設使用料や証明書手数料等支払の電子決済」は女性に比べ男性で高くなっている。

年代別でみると、「住民票の写しや各種証明書の交付申請」は20歳代以下で、「子育て支援サービスの利用申込み」は30歳代で高く、「税金、施設使用料や証明書手数料等支払の電子決済」は40歳代で、「災害や防犯情報等の配信」は50歳代、60歳代で、「補助金、助成金や交付金等の申請」は30歳代、40歳代で、それぞれやや高くなっている。

		住民票の写しや各種証明書の交付申請	税金、施設使用料や証明書手数料等支払の電子決済	区立施設の利用予約や利用状況の確認	災害や防犯情報等の配信	区への相談・問合せ	補助金、助成金や交付金等の申請	子育て支援サービスの利用申込み	区のイベントへの参加申込み	施設情報や地理情報などの電子地図情報の公開	行政データの公開（オープンデータ）	その他	拡充を期待するサービス等はない	無回答
全体 (n=1,105)		52.4	30.8	15.7	20.6	14.6	22.4	8.1	7.7	4.7	4.9	2.0	12.8	8.0
性別	男性 (n=562)	53.9	37.0	19.0	17.4	14.2	18.3	6.9	6.4	5.7	7.3	2.1	11.0	7.3
	女性 (n=524)	50.8	24.2	12.4	24.4	14.9	26.3	9.7	9.2	3.8	2.3	1.7	14.9	8.2
年代別	20歳代以下 (n=138)	67.4	34.1	18.8	15.2	10.1	21.7	8.0	6.5	2.2	4.3	0.0	14.5	3.6
	30歳代 (n=204)	54.9	34.3	20.1	18.6	15.7	28.4	24.0	11.8	5.9	4.9	1.5	6.9	3.9
	40歳代 (n=187)	55.6	37.4	19.3	19.8	17.6	28.9	11.8	10.2	3.7	2.7	2.7	11.8	4.8
	50歳代 (n=200)	55.5	33.5	17.0	26.0	17.0	23.5	3.5	6.5	5.5	7.0	1.5	11.5	4.0
	60歳代 (n=161)	47.2	31.7	12.4	28.0	7.5	15.5	0.0	7.5	5.6	5.6	2.5	16.8	9.3
	70歳代以上 (n=203)	38.9	16.7	8.4	17.2	17.2	14.8	0.5	3.4	4.9	4.9	3.4	16.7	18.2

居住地域別でみると、「住民票の写しや各種証明書の交付申請」は本町、東中野、大和町で、「税金、施設使用料や証明書手数料等支払の電子決済」は本町、中央、東中野で、「区立施設の利用予約や利用状況の確認」は中野で、「区への相談・問合せ」は弥生町、野方、鷺宮で、「補助金、助成金や交付金等の申請」は大和町で、「区のイベントへの参加申し込み」は新井で、「施設情報や地理情報などの電子地図情報の公開」は江古田で、それぞれやや高くなっている。

	住民票の写しや各種証明書の交付申請	税金、施設使用料や証明書手数料等支払の電子決済	区立施設の利用予約や利用状況の確認	災害や防犯情報等の配信	区への相談・問合せ	補助金、助成金や交付金等の申請	子育て支援サービスの利用申込み	区のイベントへの参加申込み	施設情報や地理情報などの電子地図情報の公開	行政データの公開（オープンデータ）	その他	拡充を期待するサービス等はない	無回答	
全体 (n=1,105)	52.4	30.8	15.7	20.6	14.6	22.4	8.1	7.7	4.7	4.9	2.0	12.8	8.0	
居住地域別	南台 (n=70)	51.4	25.7	12.9	17.1	14.3	18.6	11.4	11.4	2.9	4.3	0.0	15.7	12.9
	弥生町 (n=60)	53.3	31.7	16.7	23.3	21.7	18.3	5.0	11.7	5.0	8.3	0.0	10.0	6.7
	本町 (n=107)	61.7	38.3	13.1	22.4	15.9	26.2	5.6	5.6	6.5	1.9	0.9	10.3	4.7
	中央 (n=103)	54.4	35.9	15.5	19.4	13.6	21.4	11.7	5.8	3.9	4.9	2.9	10.7	4.9
	東中野 (n=87)	58.6	40.2	17.2	24.1	12.6	26.4	10.3	6.9	4.6	5.7	1.1	8.0	4.6
	中野 (n=97)	44.3	29.9	22.7	22.7	11.3	17.5	10.3	10.3	3.1	6.2	0.0	16.5	6.2
	上高田 (n=58)	44.8	19.0	19.0	22.4	12.1	19.0	10.3	5.2	5.2	8.6	0.0	24.1	6.9
	新井 (n=66)	50.0	28.8	16.7	15.2	12.1	19.7	6.1	13.6	4.5	4.5	4.5	12.1	12.1
	沼袋 (n=50)	44.0	22.0	18.0	16.0	10.0	26.0	6.0	2.0	6.0	6.0	6.0	20.0	8.0
	松が丘 (n=24)	50.0	33.3	8.3	33.3	8.3	12.5	4.2	8.3	8.3	4.2	4.2	16.7	8.3
	江原町 (n=27)	63.0	44.4	14.8	18.5	22.2	48.1	0.0	7.4	3.7	14.8	7.4	3.7	0.0
	江古田 (n=35)	51.4	17.1	8.6	22.9	11.4	22.9	8.6	8.6	11.4	5.7	0.0	17.1	8.6
	丸山 (n=13)	30.8	15.4	23.1	15.4	23.1	15.4	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	23.1	7.7
	野方 (n=61)	50.8	34.4	14.8	32.8	21.3	21.3	9.8	6.6	4.9	1.6	1.6	8.2	6.6
	大和町 (n=45)	62.2	31.1	15.6	13.3	11.1	31.1	6.7	8.9	4.4	6.7	4.4	8.9	4.4
	若宮 (n=42)	52.4	28.6	14.3	11.9	14.3	23.8	9.5	4.8	2.4	2.4	2.4	11.9	14.3
	白鷺 (n=32)	53.1	28.1	12.5	21.9	15.6	18.8	9.4	9.4	9.4	0.0	9.4	6.3	9.4
鷺宮 (n=59)	50.8	27.1	20.3	25.4	20.3	22.0	5.1	10.2	5.1	3.4	1.7	13.6	6.8	
上鷺宮 (n=50)	56.0	34.0	12.0	14.0	14.0	22.0	8.0	2.0	2.0	4.0	0.0	18.0	10.0	

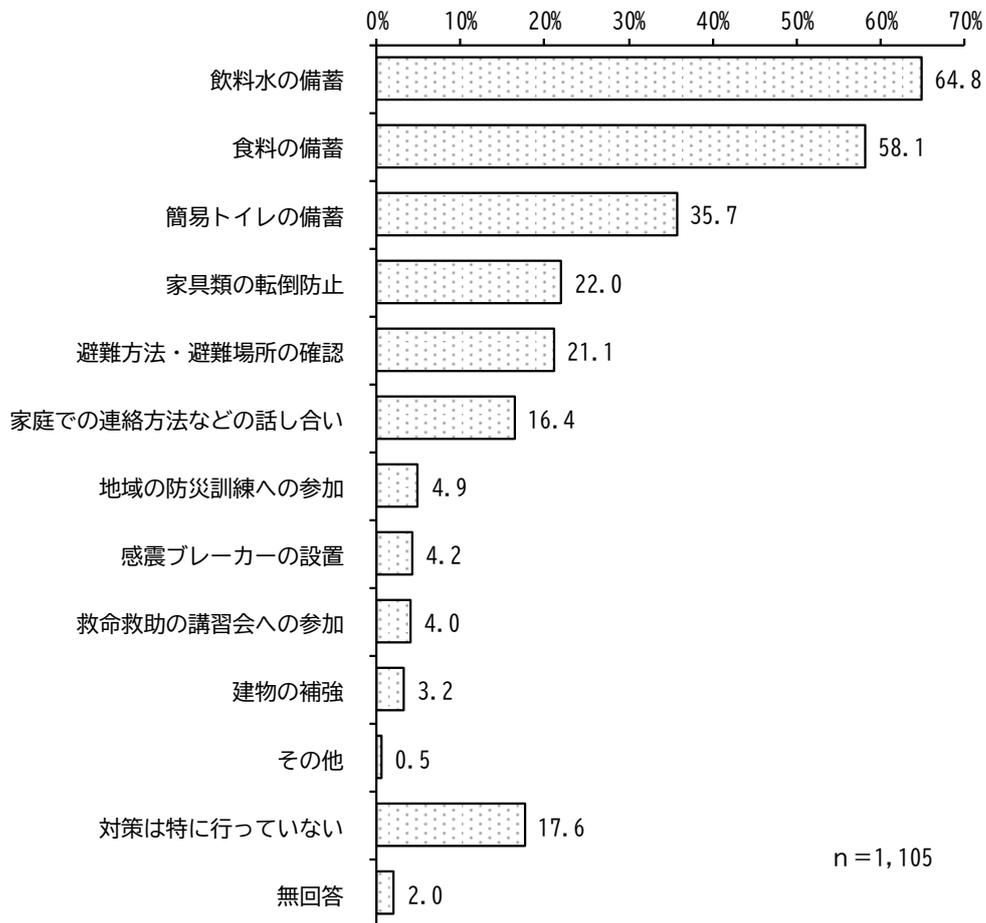
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

1.7 地震災害への対策について

(1) 家庭での備え

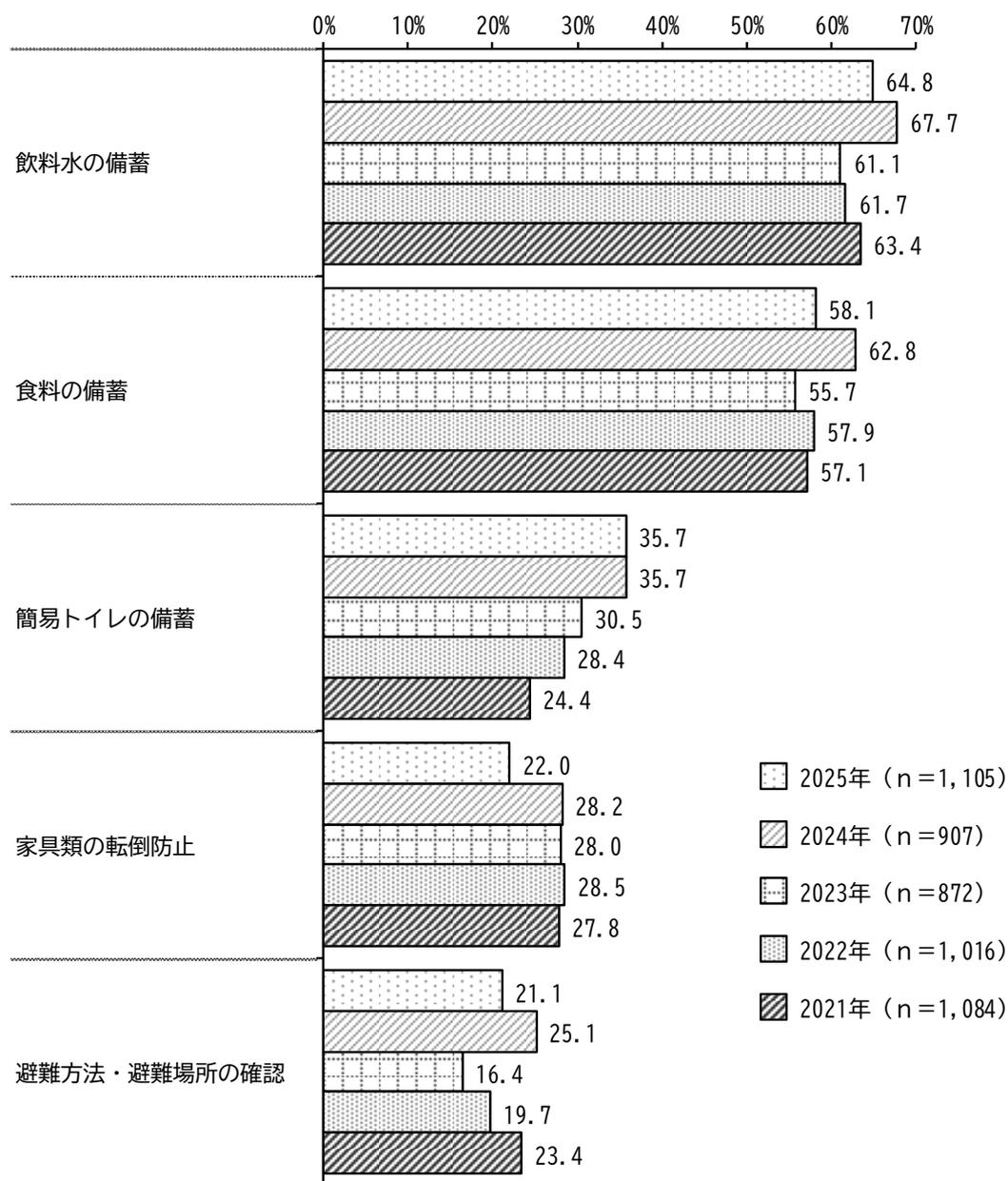
「飲料水の備蓄」が6割半ばで最も高い

問29 地震災害に備えて、家庭内でどのような対策を行っていますか。(○はいくつでも)



地震災害に備えて家庭内で行っている対策（複数回答）を聞いたところ、「飲料水の備蓄」（64.8%）が6割半ばで最も高く、次いで「食料の備蓄」（58.1%）、「簡易トイレの備蓄」（35.7%）、「家具類の転倒防止」（22.0%）となっている。

過去5年間の調査との比較（2025年上位5項目を対象）



性別で見ると、「飲料水の備蓄」、「食料の備蓄」、「簡易トイレの備蓄」、「家庭での連絡方法などの話し合い」は男性に比べ女性でやや高くなっている。

年代別で見ると、「飲料水の備蓄」は50歳代、60歳代、70歳代以上で、「簡易トイレの備蓄」は40歳代、50歳代で、「家庭での連絡方法などの話し合い」は60歳代で、それぞれやや高くなっている。

		飲料水の備蓄	食料の備蓄	簡易トイレの備蓄	家具類の転倒防止	避難方法・避難場所の確認	家庭での連絡方法などの話し合い	地域の防災訓練への参加	感震ブレイカーの設置	救命救助の講習会への参加	建物の補強	その他	対策は特に行っていない	無回答
全体 (n=1,105)		64.8	58.1	35.7	22.0	21.1	16.4	4.9	4.2	4.0	3.2	0.5	17.6	2.0
性別	男性 (n=562)	62.3	54.4	31.0	22.1	20.1	14.1	5.2	4.6	4.1	3.0	0.5	21.7	1.2
	女性 (n=524)	67.6	62.4	40.8	21.8	22.5	19.1	4.4	3.6	3.8	3.4	0.4	13.4	2.3
年代別	20歳代以下 (n=138)	53.6	52.2	26.1	20.3	24.6	13.8	5.1	5.8	6.5	5.8	0.0	26.8	2.9
	30歳代 (n=204)	57.8	56.9	33.3	15.7	18.1	13.2	1.5	2.5	1.5	2.0	0.5	21.6	0.5
	40歳代 (n=187)	64.7	61.5	41.2	22.5	24.6	17.6	3.7	3.2	2.1	2.1	0.5	17.1	0.5
	50歳代 (n=200)	70.5	62.5	44.5	25.0	23.0	19.0	4.0	5.5	5.5	1.5	1.0	13.5	0.0
	60歳代 (n=161)	70.2	56.5	36.6	24.8	16.1	21.7	5.6	3.7	5.0	3.1	0.0	14.9	3.1
	70歳代以上 (n=203)	70.4	57.6	30.5	24.1	21.2	14.3	9.4	4.9	4.4	5.4	0.5	14.8	3.4

居住地域別でみると、「飲料水の備蓄」は野方で、「簡易トイレの備蓄」は上鷺宮で高くなっている。一方、「対策は特に行っていない」は沼袋で高くなっている。

	飲料水の備蓄	食料の備蓄	簡易トイレの備蓄	家具類の転倒防止	避難方法・避難場所の確認	家庭での連絡方法などの話し合い	地域の防災訓練への参加	感震ブレイカーの設置	救命救助の講習会への参加	建物の補強	その他	対策は特に行っていない	無回答	
全体 (n=1,105)	64.8	58.1	35.7	22.0	21.1	16.4	4.9	4.2	4.0	3.2	0.5	17.6	2.0	
居住地域別	南台 (n=70)	60.0	57.1	31.4	21.4	18.6	14.3	4.3	0.0	2.9	0.0	18.6	2.9	
	弥生町 (n=60)	63.3	55.0	40.0	13.3	13.3	15.0	1.7	1.7	3.3	1.7	0.0	20.0	0.0
	本町 (n=107)	63.6	61.7	39.3	22.4	29.9	15.0	5.6	2.8	6.5	5.6	0.9	16.8	0.9
	中央 (n=103)	68.0	58.3	31.1	22.3	13.6	16.5	4.9	4.9	2.9	2.9	1.0	16.5	0.0
	東中野 (n=87)	70.1	60.9	36.8	23.0	19.5	12.6	4.6	2.3	4.6	2.3	0.0	14.9	0.0
	中野 (n=97)	68.0	66.0	36.1	25.8	18.6	12.4	6.2	7.2	7.2	3.1	1.0	18.6	2.1
	上高田 (n=58)	51.7	46.6	27.6	20.7	20.7	12.1	3.4	6.9	3.4	8.6	1.7	25.9	0.0
	新井 (n=66)	62.1	51.5	39.4	19.7	27.3	22.7	1.5	1.5	1.5	4.5	0.0	19.7	3.0
	沼袋 (n=50)	52.0	50.0	24.0	14.0	20.0	16.0	2.0	4.0	8.0	0.0	0.0	32.0	0.0
	松が丘 (n=24)	66.7	54.2	54.2	12.5	25.0	20.8	16.7	4.2	12.5	8.3	0.0	12.5	4.2
	江原町 (n=27)	77.8	70.4	22.2	18.5	18.5	18.5	3.7	7.4	0.0	0.0	0.0	18.5	0.0
	江古田 (n=35)	62.9	57.1	42.9	14.3	22.9	20.0	8.6	0.0	2.9	2.9	0.0	14.3	5.7
	丸山 (n=13)	76.9	53.8	30.8	30.8	15.4	15.4	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	15.4	0.0
	野方 (n=61)	75.4	67.2	41.0	23.0	21.3	18.0	0.0	9.8	0.0	1.6	1.6	13.1	0.0
	大和町 (n=45)	64.4	60.0	24.4	26.7	24.4	15.6	6.7	6.7	0.0	8.9	0.0	11.1	4.4
	若宮 (n=42)	57.1	52.4	42.9	23.8	19.0	21.4	11.9	4.8	2.4	2.4	0.0	21.4	2.4
	白鷺 (n=32)	62.5	46.9	34.4	21.9	25.0	21.9	3.1	3.1	9.4	3.1	0.0	18.8	6.3
鷺宮 (n=59)	67.8	59.3	40.7	30.5	28.8	18.6	5.1	8.5	3.4	1.7	0.0	16.9	3.4	
上鷺宮 (n=50)	74.0	64.0	48.0	30.0	20.0	20.0	6.0	2.0	0.0	2.0	0.0	8.0	0.0	

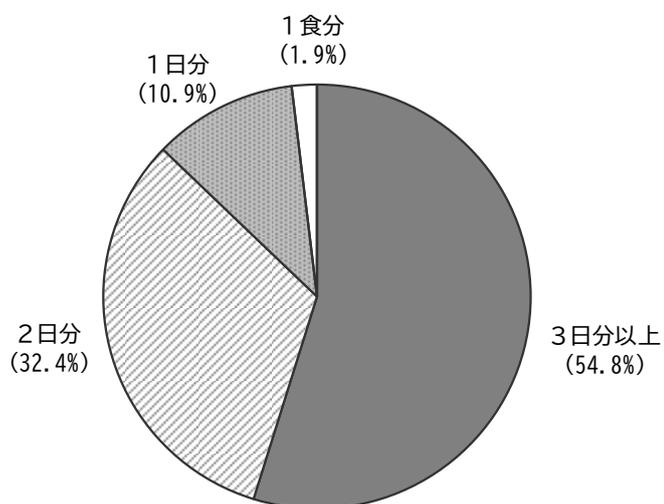
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(2) 食料の備蓄量

「3日分以上」が5割半ば

【問29で「1」と答えた方にお聞きします。】

問29-1 食料の備蓄の量はどのくらいありますか。(○は1つ)



n=642

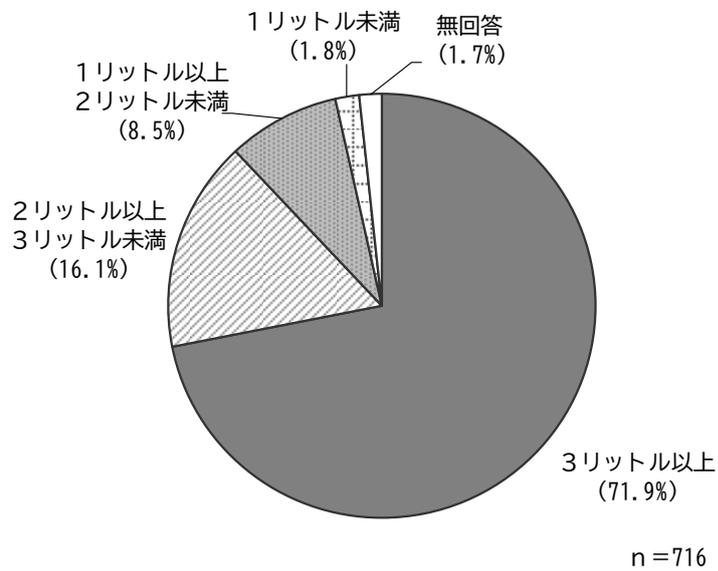
食料を備蓄している人に、備蓄量を聞いたところ、「3日分以上」(54.8%)が5割半ばで最も高く、次いで「2日分」(32.4%)、「1日分」(10.9%)、「1食分」(1.9%)となっている。

(3) 飲料水の備蓄量

「3リットル以上」が約7割

【問29で「2」と答えた方にお聞きします。】

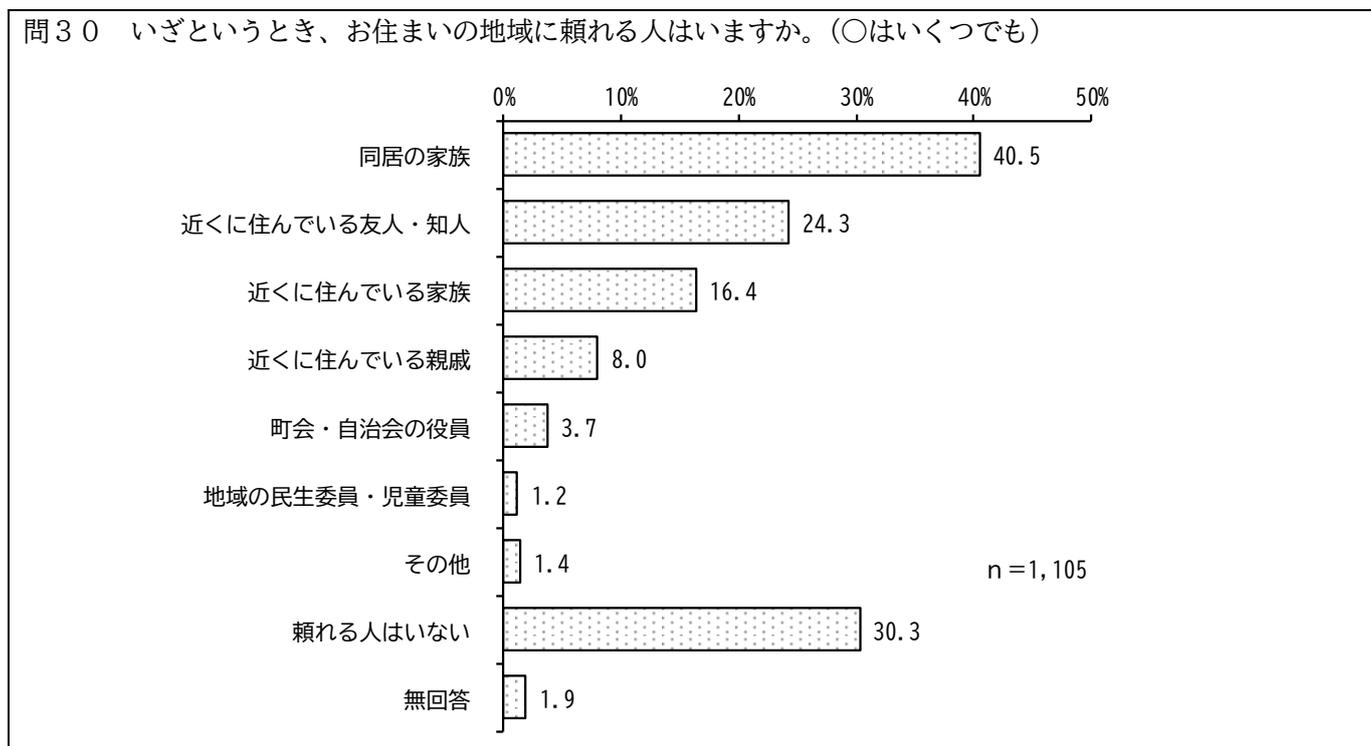
問29-2 飲料水の備蓄の量はどのくらいありますか。(○は1つ)



飲料水を備蓄している人に、備蓄量を聞いたところ、「3リットル以上」(71.9%)が約7割で最も高く、次いで「2リットル以上3リットル未満」(16.1%)、「1リットル以上2リットル未満」(8.5%)、「1リットル未満」(1.8%)となっている。

(4) 地域で頼れる人の有無と属性

「同居の家族」が約4割で最も高く、「頼れる人はいない」は約3割



いざというとき、お住まいの地域に頼れる人はいるか（複数回答）を聞いたところ、「同居の家族」（40.5%）が約4割で最も高く、次いで「近くに住んでいる友人・知人」（24.3%）、「近くに住んでいる家族」（16.4%）となっている。一方、「頼れる人はいない」（30.3%）は約3割となっている。

性別でみると、「同居の家族」は男性に比べ女性で、それぞれ高くなっている。

年代別でみると、「同居の家族」は50歳代、60歳代で、「近くに住んでいる親戚」は60歳代で、「近くに住んでいる家族」、「町会・自治会の役員」は70歳代以上で、それぞれやや高くなっている。一方、「頼れる人はいない」は20歳代以下で高くなっている。

		同居の家族	近くに住んでいる友人・知人	近くに住んでいる家族	近くに住んでいる親戚	町会・自治会の役員	地域の民生委員・児童委員	その他	頼れる人はいない	無回答
全体 (n=1,105)		40.5	24.3	16.4	8.0	3.7	1.2	1.4	30.3	1.9
性別	男性 (n=562)	35.6	23.7	14.4	8.2	3.6	1.4	0.9	33.6	1.8
	女性 (n=524)	45.8	24.8	18.7	7.6	4.0	1.0	1.7	26.9	1.7
年代別	20歳代以下 (n=138)	32.6	20.3	9.4	5.1	0.7	1.4	0.0	40.6	4.3
	30歳代 (n=204)	31.9	25.0	12.3	7.4	1.5	0.5	1.5	37.7	0.5
	40歳代 (n=187)	38.5	25.7	18.7	9.6	2.7	1.1	1.6	31.6	0.5
	50歳代 (n=200)	46.5	27.0	15.0	4.0	3.0	0.0	1.5	30.0	0.0
	60歳代 (n=161)	47.2	23.6	18.0	13.0	3.1	1.2	1.9	24.2	3.7
	70歳代以上 (n=203)	45.3	22.2	23.6	8.9	10.3	3.0	1.0	20.2	2.5

居住地域別でみると、「同居の家族」は若宮、白鷺で、「近くに住んでいる友人・知人」は野方で、「近くに住んでいる家族」は南台で、それぞれ高くなっている。

		同居の家族	近くに住んでいる友人・知人	近くに住んでいる家族	近くに住んでいる親戚	町会・自治会の役員	地域の民生委員・児童委員	その他	頼れる人はいない	無回答
全体 (n=1,105)		40.5	24.3	16.4	8.0	3.7	1.2	1.4	30.3	1.9
居住地域別	南台 (n=70)	32.9	28.6	27.1	8.6	10.0	1.4	0.0	28.6	4.3
	弥生町 (n=60)	38.3	23.3	11.7	6.7	6.7	0.0	0.0	38.3	0.0
	本町 (n=107)	41.1	18.7	10.3	9.3	3.7	0.9	0.9	34.6	0.9
	中央 (n=103)	44.7	25.2	21.4	7.8	5.8	1.0	1.9	26.2	0.0
	東中野 (n=87)	40.2	14.9	17.2	6.9	0.0	0.0	0.0	37.9	2.3
	中野 (n=97)	32.0	28.9	12.4	9.3	3.1	4.1	1.0	34.0	1.0
	上高田 (n=58)	36.2	31.0	13.8	8.6	5.2	1.7	1.7	32.8	0.0
	新井 (n=66)	40.9	24.2	24.2	15.2	3.0	1.5	1.5	13.6	6.1
	沼袋 (n=50)	44.0	20.0	6.0	2.0	2.0	0.0	0.0	34.0	4.0
	松が丘 (n=24)	50.0	29.2	16.7	8.3	8.3	4.2	0.0	25.0	4.2
	江原町 (n=27)	44.4	29.6	25.9	3.7	0.0	0.0	7.4	29.6	0.0
	江古田 (n=35)	28.6	20.0	11.4	0.0	2.9	2.9	5.7	40.0	5.7
	丸山 (n=13)	38.5	15.4	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0	30.8	0.0
	野方 (n=61)	45.9	37.7	14.8	3.3	1.6	1.6	0.0	24.6	0.0
	大和町 (n=45)	40.0	22.2	13.3	2.2	4.4	0.0	2.2	31.1	0.0
	若宮 (n=42)	54.8	21.4	21.4	11.9	4.8	0.0	4.8	21.4	0.0
	白鷺 (n=32)	68.8	25.0	12.5	12.5	3.1	0.0	0.0	15.6	0.0
鷺宮 (n=59)	32.2	25.4	20.3	8.5	1.7	0.0	1.7	39.0	3.4	
上鷺宮 (n=50)	42.0	18.0	16.0	12.0	0.0	2.0	0.0	30.0	0.0	

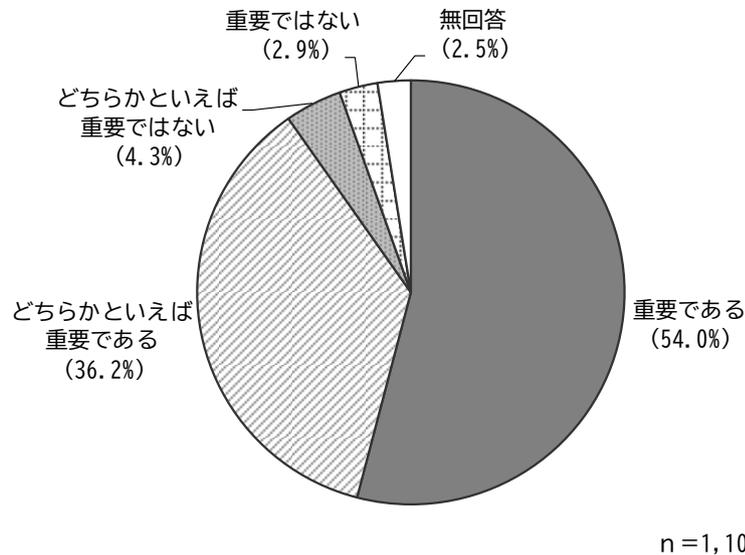
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

18 環境に関する理解・関心について

(1) 環境問題対策の重要度

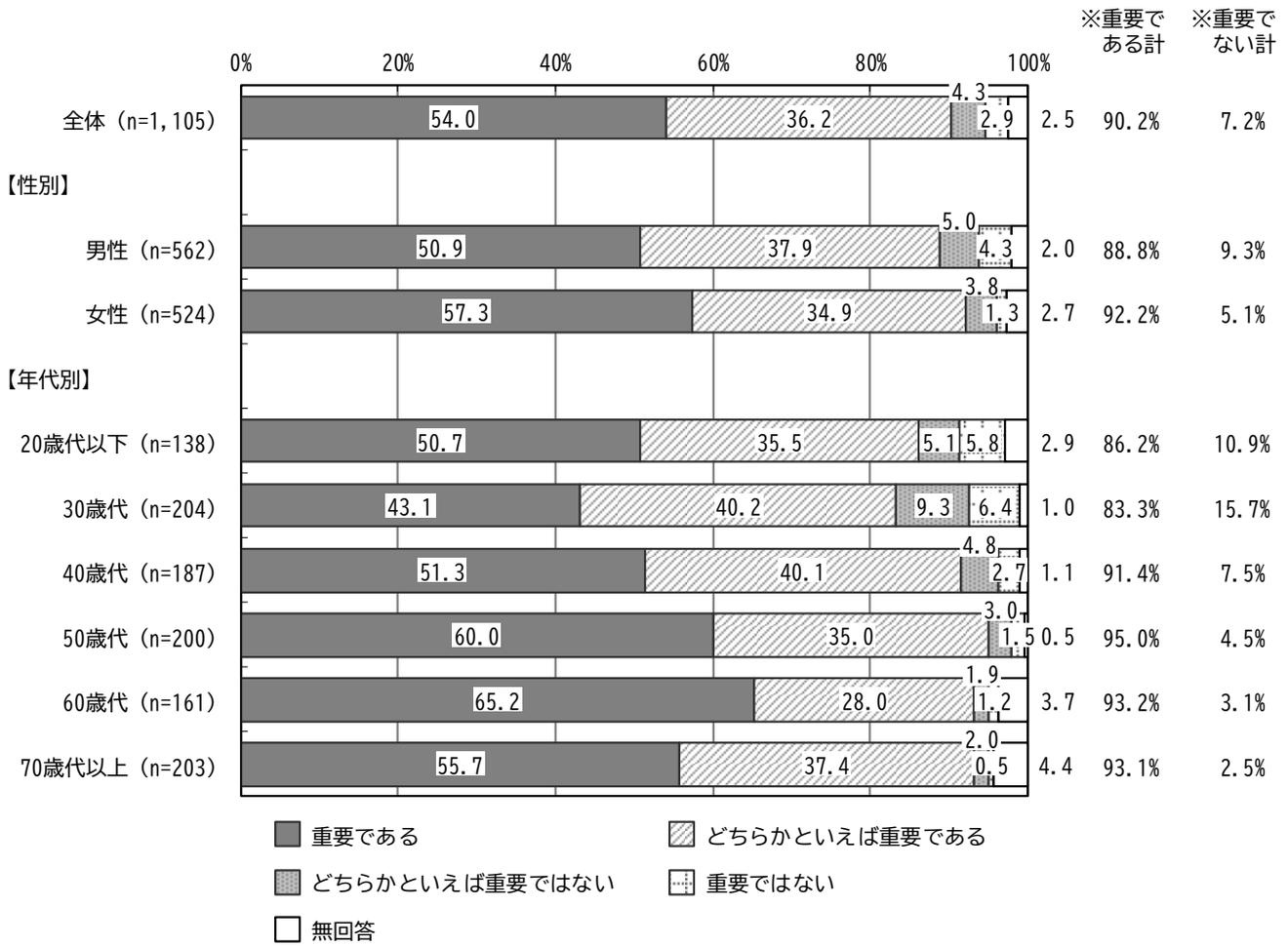
《重要である》（「重要である」と「どちらかといえば重要である」）は約9割

問31 環境問題への対策について、どのように考えていますか。(○は1つ)

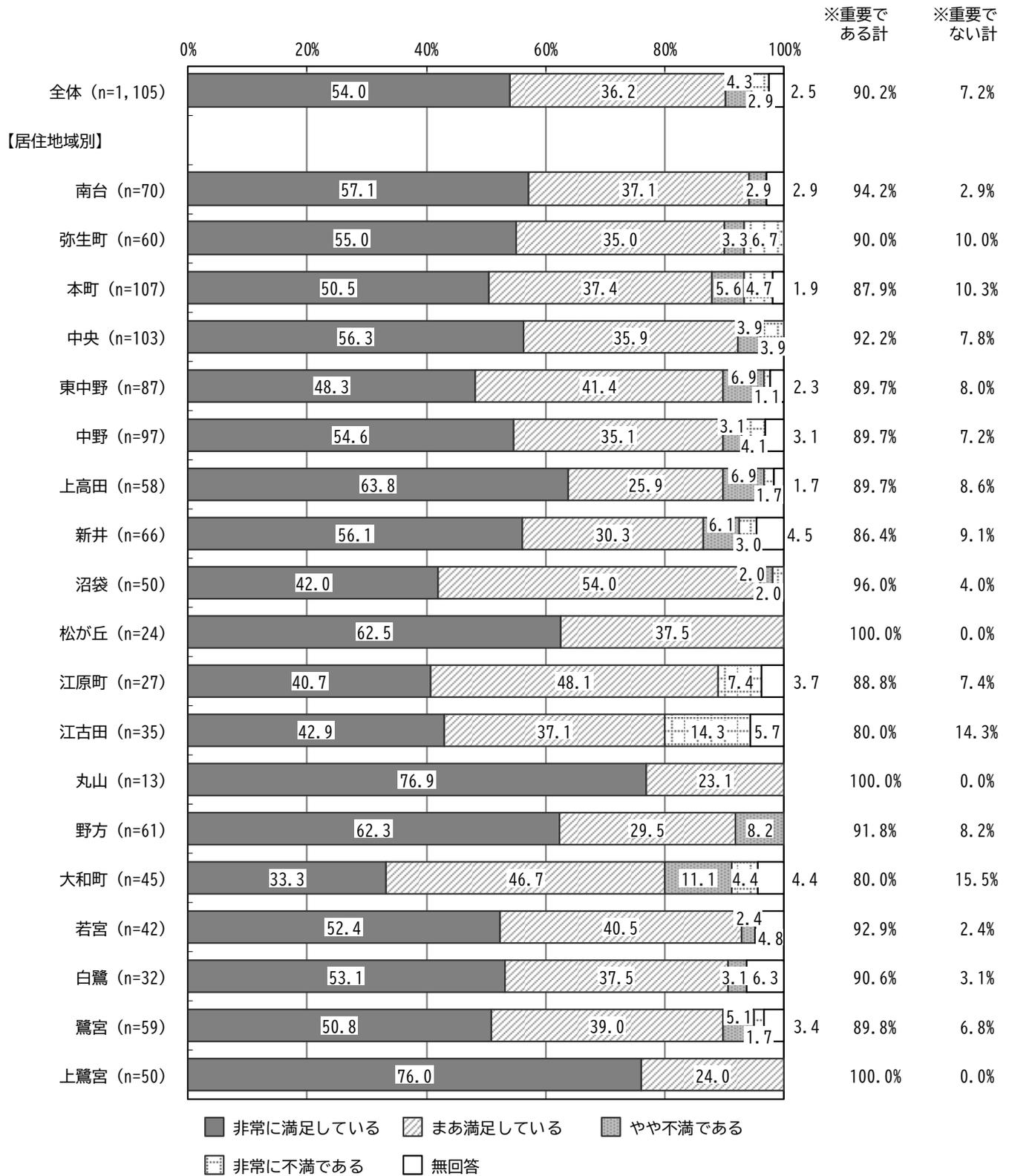


環境問題対策の重要度を聞いたところ、「重要である」(54.0%)と「どちらかといえば重要である」(36.2%)を合わせた《重要である》(90.2%)は約9割となっている。一方、「どちらかといえば重要ではない」(4.3%)と「重要ではない」(2.9%)を合わせた《重要ではない》は7.2%となっている。

性別で見ると、「重要である」は男性に比べ女性でやや高くなっている。
 年代別で見ると、特徴的な差はみられない。



居住地域別でみると、「重要である」は沼袋で9割後半となっている。

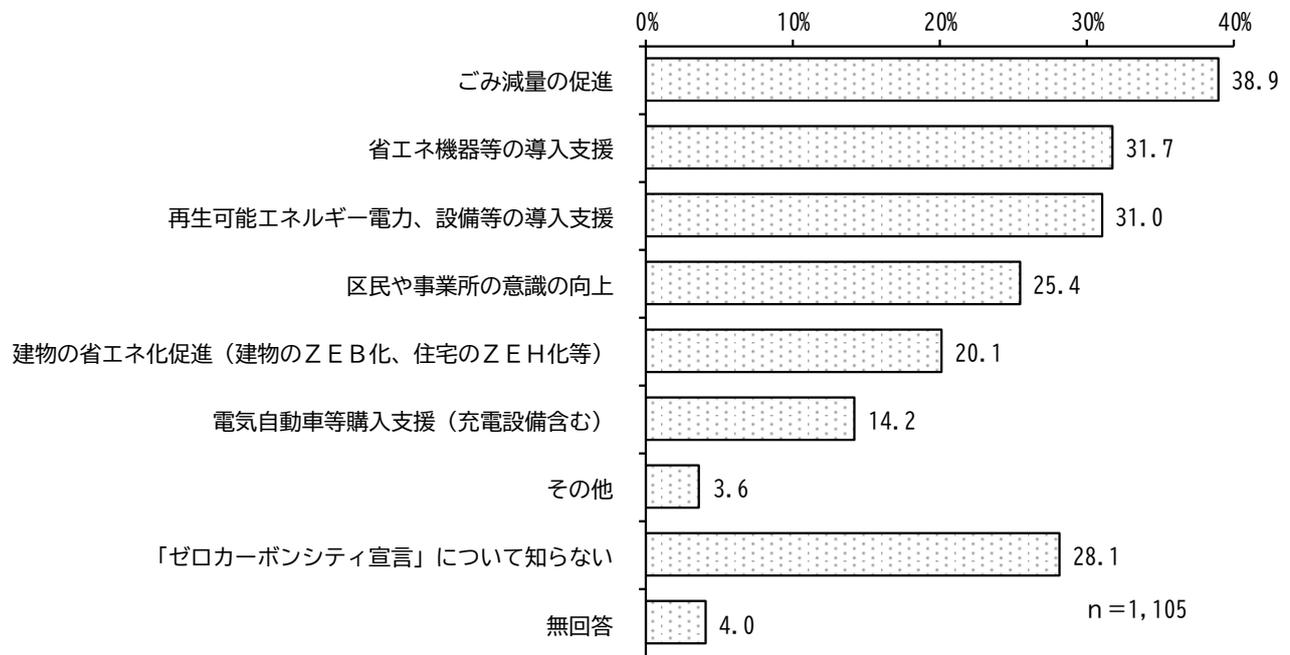


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(2) ゼロカーボンに必要な対策

「ごみ減量の促進」が3割後半で最も高い

問32 中野区ではゼロカーボンシティ宣言を行いました。ゼロカーボン（2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロ）のために、あなたが考える必要な対策についてお答えください。（〇はいくつでも）



ゼロカーボンのために必要な対策（複数回答）を聞いたところ、「ごみ減量の促進」（38.9%）が3割後半で最も高く、次いで「省エネ機器等の導入支援」（31.7%）、「再生可能エネルギー電力、設備等の導入支援」（31.0%）となっている。「『ゼロカーボンシティ宣言』について知らない」（28.1%）は2割後半となっている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別でみると、「ごみ減量の促進」は70歳代以上で高く、「省エネ機器等の導入支援」は60歳代でやや高くなっている。「『ゼロカーボンシティ宣言』について知らない」は20歳代以下、30歳代でやや高くなっている。

		ごみ減量の促進	省エネ機器等の導入支援	再生可能エネルギー電力、設備の導入支援	区民や事業所の意識の向上	建築物の省エネ化促進（建築物のZEB化、住宅のZEH化等）	電気自動車等購入支援（充電設備含む）	その他	「ゼロカーボンシティ宣言」について知らない	無回答
全体 (n=1,105)		38.9	31.7	31.0	25.4	20.1	14.2	3.6	28.1	4.0
性別	男性 (n=562)	37.7	31.5	31.9	26.3	22.2	14.8	4.8	26.5	3.9
	女性 (n=524)	39.9	31.7	29.6	24.2	18.1	13.5	2.5	30.0	3.6
年代別	20歳代以下 (n=138)	31.2	21.0	29.0	19.6	18.1	13.0	4.3	35.5	3.6
	30歳代 (n=204)	27.9	26.0	28.4	25.5	20.1	16.2	4.4	37.7	1.5
	40歳代 (n=187)	34.2	35.3	33.7	28.9	24.1	18.2	3.7	25.7	1.6
	50歳代 (n=200)	40.0	36.5	33.0	24.5	22.5	17.5	4.0	26.5	1.5
	60歳代 (n=161)	44.7	37.3	32.9	27.3	23.0	9.9	4.3	22.4	5.6
	70歳代以上 (n=203)	53.2	32.0	28.1	27.1	13.8	9.4	1.5	22.7	8.4

居住地域別でみると、「ごみ減量の促進」は、白鷺で、「再生可能エネルギー電力、設備等の導入支援」は若宮、上鷺宮で、「区民や事業所の意識の向上」は江古田で、「建物の省エネ化促進（建物のZEB化、住宅のZEH化等）」は上鷺宮で、「電気自動車等購入支援（充電設備含む）」は若宮で、それぞれ高くなっている。「『ゼロカーボンシティ宣言』について知らない」は上高田で高くなっている。

	ごみ減量の促進	省エネ機器等の導入支援	再生可能エネルギー電力、設備等の導入支援	区民や事業所の意識の向上	建物の省エネ化促進（建物のZEB化、住宅のZEH化等）	電気自動車等購入支援（充電設備含む）	その他	『ゼロカーボンシティ宣言』について知らない	無回答	
全体 (n=1,105)	38.9	31.7	31.0	25.4	20.1	14.2	3.6	28.1	4.0	
居住地域別	南台 (n=70)	30.0	27.1	28.6	20.0	14.3	11.4	1.4	34.3	4.3
	弥生町 (n=60)	36.7	36.7	30.0	23.3	18.3	13.3	6.7	25.0	1.7
	本町 (n=107)	45.8	34.6	32.7	27.1	21.5	15.0	3.7	29.0	2.8
	中央 (n=103)	40.8	30.1	26.2	27.2	17.5	11.7	3.9	29.1	1.9
	東中野 (n=87)	40.2	26.4	26.4	29.9	24.1	14.9	3.4	27.6	1.1
	中野 (n=97)	36.1	38.1	35.1	28.9	26.8	15.5	7.2	26.8	4.1
	上高田 (n=58)	32.8	20.7	24.1	29.3	19.0	10.3	3.4	39.7	5.2
	新井 (n=66)	42.4	27.3	22.7	25.8	13.6	13.6	0.0	30.3	7.6
	沼袋 (n=50)	24.0	34.0	26.0	18.0	24.0	8.0	4.0	32.0	4.0
	松が丘 (n=24)	50.0	33.3	33.3	37.5	29.2	16.7	8.3	12.5	8.3
	江原町 (n=27)	37.0	25.9	33.3	29.6	22.2	11.1	7.4	22.2	3.7
	江古田 (n=35)	31.4	37.1	31.4	37.1	14.3	11.4	2.9	25.7	8.6
	丸山 (n=13)	61.5	30.8	30.8	38.5	23.1	15.4	0.0	7.7	0.0
	野方 (n=61)	27.9	36.1	32.8	13.1	19.7	11.5	1.6	34.4	0.0
	大和町 (n=45)	37.8	20.0	20.0	20.0	4.4	15.6	0.0	31.1	8.9
	若宮 (n=42)	40.5	31.0	42.9	31.0	19.0	26.2	2.4	33.3	4.8
	白鷺 (n=32)	50.0	37.5	40.6	28.1	12.5	15.6	0.0	28.1	3.1
	鷺宮 (n=59)	45.8	35.6	37.3	20.3	27.1	20.3	6.8	18.6	5.1
上鷺宮 (n=50)	44.0	36.0	48.0	22.0	32.0	18.0	4.0	20.0	0.0	

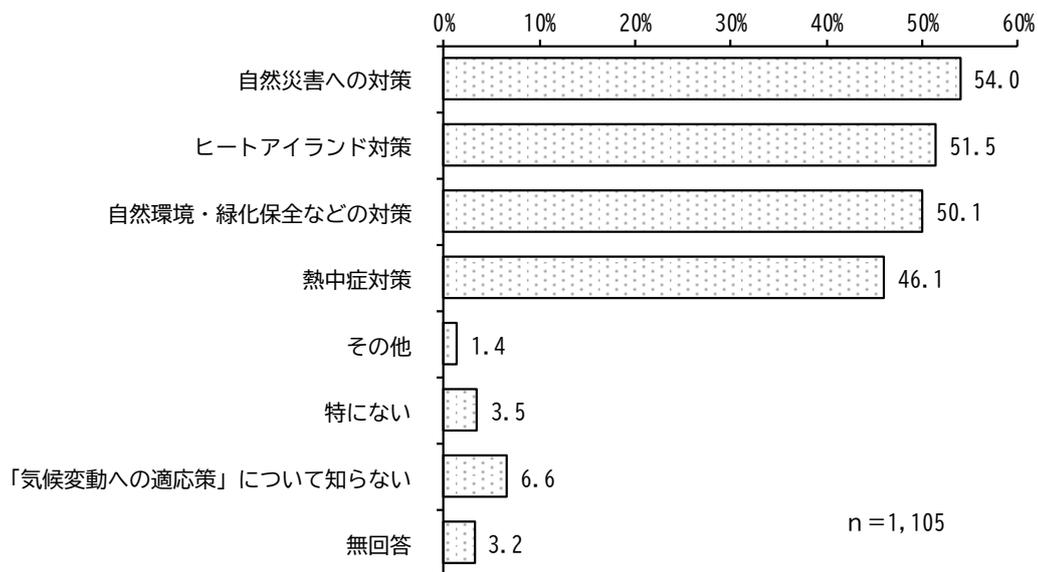
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(3) 「気候変動への適応策」の認知度

「自然災害への対策」が5割半ばで最も高い

問33 「気候変動への適応策」とは、気候の変動の影響に対し自然や人間社会のあり方を適応させていく施策のことです。

「気候変動への適応策」について、普段の生活の中で中野区内において力を入れるべきだと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)



「気候変動への適応策」について、普段の生活の中で力を入れるべきこと（複数回答）を聞いたところ、「自然災害への対策」(54.0%)が5割半ばで最も高く、次いで「ヒートアイランド対策」(51.5%)、「自然環境・緑化保全などの対策」(50.1%)、「熱中症対策」(46.1%)となっている。

性別で見ると、「自然災害への対策」、「熱中症対策」は男性に比べ女性でやや高くなっている。

年代別で見ると、「自然災害への対策」、「自然環境・緑化保全などの対策」は60歳代、70歳代以上で、「ヒートアイランド対策」は40歳代、50歳代、60歳代で、それぞれやや高くなっている。一方、「『気候変動への適応策』について知らない」は30歳代でやや高くなっている。

		自然災害への対策	ヒートアイランド対策	自然環境・緑化保全などの対策	熱中症対策	その他	特にない	「『気候変動への適応策』について知らない」	無回答
全体 (n=1,105)		54.0	51.5	50.1	46.1	1.4	3.5	6.6	3.2
性別	男性 (n=562)	50.5	52.8	48.8	42.5	1.8	4.4	4.6	3.0
	女性 (n=524)	58.0	50.4	51.5	50.2	1.0	2.5	8.6	2.9
年代別	20歳代以下 (n=138)	42.0	41.3	42.8	47.8	0.7	4.3	9.4	2.9
	30歳代 (n=204)	45.1	52.0	44.6	50.5	2.0	5.4	12.7	2.0
	40歳代 (n=187)	54.5	57.2	49.2	47.6	2.1	2.7	5.3	1.1
	50歳代 (n=200)	58.0	61.0	51.5	44.5	1.5	2.0	6.0	1.0
	60歳代 (n=161)	59.0	57.8	55.3	49.1	1.9	3.1	2.5	5.0
	70歳代以上 (n=203)	63.1	39.9	56.7	39.4	0.0	3.9	3.4	5.4

居住地域別でみると、「自然災害への対策」は若宮で、「ヒートアイランド対策」は野方、上鷺宮で、それぞれ高くなっている。

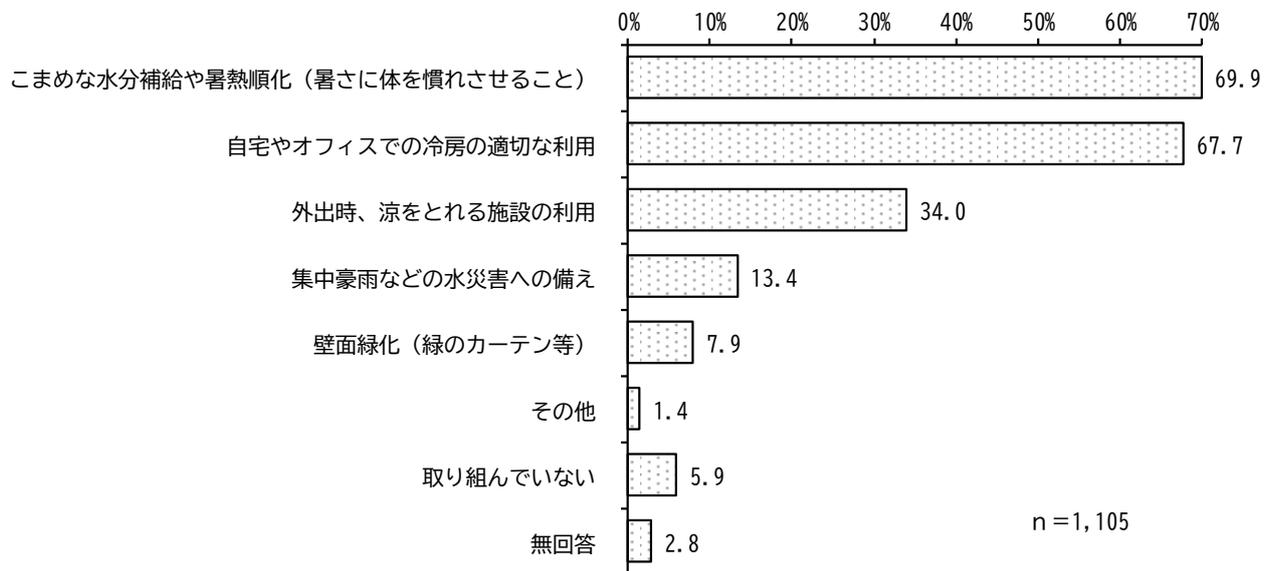
		自然災害への対策	ヒートアイランド対策	自然環境・緑化保全などの対策	熱中症対策	その他	特にない	「気候変動への適応策」について知らない	無回答
全体 (n=1,105)		54.0	51.5	50.1	46.1	1.4	3.5	6.6	3.2
居住地域別	南台 (n=70)	54.3	52.9	54.3	40.0	1.4	1.4	11.4	4.3
	弥生町 (n=60)	53.3	55.0	45.0	50.0	5.0	1.7	8.3	3.3
	本町 (n=107)	50.5	48.6	50.5	46.7	1.9	4.7	5.6	0.9
	中央 (n=103)	53.4	54.4	43.7	39.8	0.0	5.8	7.8	1.9
	東中野 (n=87)	54.0	49.4	56.3	40.2	1.1	4.6	6.9	0.0
	中野 (n=97)	55.7	56.7	44.3	52.6	1.0	3.1	9.3	3.1
	上高田 (n=58)	60.3	32.8	46.6	39.7	0.0	5.2	5.2	5.2
	新井 (n=66)	47.0	59.1	51.5	36.4	0.0	3.0	4.5	7.6
	沼袋 (n=50)	46.0	36.0	42.0	48.0	0.0	8.0	12.0	4.0
	松が丘 (n=24)	50.0	54.2	58.3	62.5	4.2	0.0	0.0	4.2
	江原町 (n=27)	59.3	55.6	51.9	66.7	3.7	3.7	0.0	3.7
	江古田 (n=35)	57.1	48.6	60.0	51.4	0.0	5.7	0.0	8.6
	丸山 (n=13)	53.8	53.8	76.9	30.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	野方 (n=61)	60.7	70.5	50.8	50.8	0.0	0.0	4.9	0.0
	大和町 (n=45)	40.0	35.6	42.2	53.3	2.2	4.4	4.4	4.4
	若宮 (n=42)	73.8	40.5	57.1	47.6	4.8	2.4	9.5	2.4
	白鷺 (n=32)	56.3	59.4	56.3	43.8	0.0	3.1	6.3	0.0
鷺宮 (n=59)	52.5	57.6	52.5	50.8	3.4	5.1	5.1	3.4	
上鷺宮 (n=50)	58.0	62.0	52.0	46.0	0.0	0.0	6.0	0.0	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(4) 健康への影響や・災害による被害を防ぐために、普段の生活の中で取り組んでいること

「こまめな水分補給や暑熱順化（暑さに体を慣れさせること）」が約7割

問34 世界的な気候変動は、熱中症や集中豪雨による被害などをはじめ様々な形で皆さんの生活にも影響しています。気候変動の影響に適応しながら、健康への影響や災害による被害を防ぐために、普段の生活の中で取り組んでいることを教えてください。（○はいくつでも）



取り組んでいる環境に配慮した行動（複数回答）を聞いたところ、「こまめな水分補給や暑熱順化（暑さに体を慣れさせること）」（69.9%）が約7割で最も高く、次いで「自宅やオフィスでの冷房の適切な利用」（67.7%）、「外出時、涼をとれる施設の利用」（34.0%）となっている。

性別で見ると、「外出時、涼をとれる施設の利用」は男性に比べ女性で高くなっている。

年代別で見ると、「外出時、涼をとれる施設の利用」は20歳代以下で高く、「こまめな水分補給や暑熱順化（暑さに体を慣れさせること）」は60歳代、70歳代以上でやや高くなっている。

		（こまめな水分補給や暑熱順化（暑さに体を慣れさせること））	自宅やオフィスでの冷房の適切な利用	外出時、涼をとれる施設の利用	集中豪雨などの水災害への備え	壁面緑化（緑のカーテン等）	その他	取り組んでいない	無回答
全体（n=1,105）		69.9	67.7	34.0	13.4	7.9	1.4	5.9	2.8
性別	男性（n=562）	66.5	65.8	29.2	11.4	8.9	0.9	7.5	3.2
	女性（n=524）	73.7	70.2	39.3	15.3	6.9	1.9	4.2	1.7
年代別	20歳代以下（n=138）	60.1	63.0	46.4	14.5	8.0	0.7	6.5	3.6
	30歳代（n=204）	62.7	62.7	42.2	13.2	7.4	1.0	9.8	3.4
	40歳代（n=187）	67.9	69.0	36.9	15.0	8.6	2.1	5.3	1.1
	50歳代（n=200）	71.0	71.5	28.5	14.5	10.0	2.0	5.5	0.5
	60歳代（n=161）	77.6	69.6	30.4	9.3	7.5	1.9	3.7	3.7
	70歳代以上（n=203）	79.3	70.0	23.2	13.3	6.4	0.5	4.4	2.5

居住地域別でみると、「こまめな水分補給や暑熱順化（暑さに体を慣れさせること）」は野方、白鷺、上鷺宮で高くなっている。

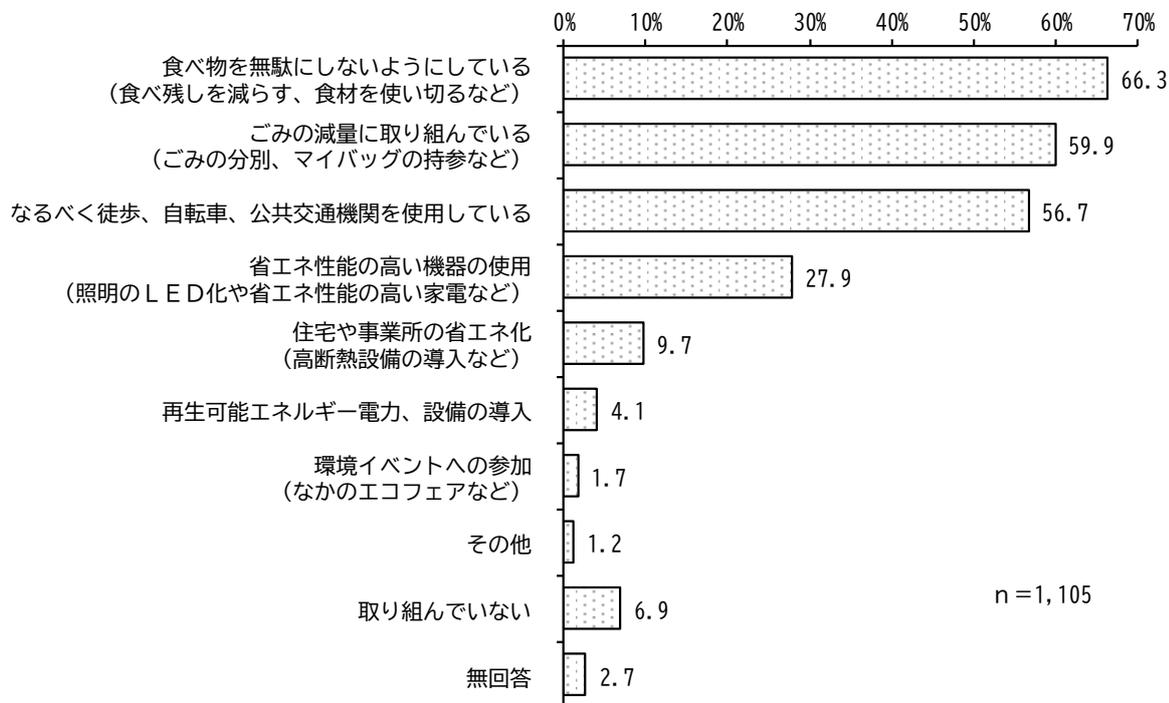
	こまめな水分補給や暑熱順化（暑さに体を慣れさせること）	自宅やオフィスでの冷房の適切な利用	外出時、涼をとれる施設の利用	集中豪雨などの水災害への備え	壁面緑化（緑のカーテン等）	その他	取り組んでいない	無回答	
全体 (n=1,105)	69.9	67.7	34.0	13.4	7.9	1.4	5.9	2.8	
居住地域別	南台 (n=70)	65.7	55.7	32.9	20.0	14.3	0.0	4.3	5.7
	弥生町 (n=60)	70.0	71.7	31.7	13.3	3.3	0.0	6.7	3.3
	本町 (n=107)	71.0	72.0	34.6	12.1	9.3	1.9	5.6	1.9
	中央 (n=103)	66.0	69.9	31.1	11.7	6.8	1.0	6.8	2.9
	東中野 (n=87)	72.4	72.4	34.5	16.1	8.0	3.4	3.4	0.0
	中野 (n=97)	71.1	61.9	43.3	13.4	9.3	0.0	8.2	3.1
	上高田 (n=58)	56.9	51.7	39.7	10.3	1.7	1.7	15.5	1.7
	新井 (n=66)	66.7	65.2	18.2	12.1	6.1	1.5	6.1	3.0
	沼袋 (n=50)	66.0	74.0	34.0	14.0	8.0	4.0	6.0	0.0
	松が丘 (n=24)	75.0	83.3	41.7	25.0	8.3	0.0	4.2	4.2
	江原町 (n=27)	66.7	74.1	22.2	7.4	0.0	7.4	3.7	3.7
	江古田 (n=35)	77.1	54.3	42.9	11.4	11.4	2.9	5.7	8.6
	丸山 (n=13)	76.9	84.6	38.5	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	野方 (n=61)	82.0	72.1	41.0	16.4	11.5	1.6	3.3	0.0
	大和町 (n=45)	57.8	57.8	31.1	15.6	13.3	2.2	4.4	4.4
	若宮 (n=42)	59.5	76.2	38.1	16.7	9.5	0.0	14.3	0.0
	白鷺 (n=32)	90.6	75.0	40.6	12.5	9.4	0.0	3.1	0.0
鷺宮 (n=59)	72.9	72.9	33.9	8.5	5.1	0.0	1.7	3.4	
上鷺宮 (n=50)	80.0	68.0	26.0	8.0	6.0	0.0	2.0	0.0	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(5) 取り組んでいる環境に配慮した行動

「食べ物を無駄にしないようにしている（食べ残しを減らす、食材を使い切るなど）」が6割半ば

問35 あなたが取り組んでいる環境に配慮した行動について教えてください。(○はいくつでも)



取り組んでいる環境に配慮した行動（複数回答）を聞いたところ、「食べ物を無駄にしないようにしている（食べ残しを減らす、食材を使い切るなど）」(66.3%)が6割半ばで最も高く、次いで「ごみの減量に取り組んでいる（ごみの分別、マイバッグの持参など）」(59.9%)、「なるべく徒歩、自転車、公共交通機関を使用している」(56.7%)となっている。

性別でみると、「食べ物を無駄にしないようにしている（食べ残しを減らす、食材を使い切るなど）」、「ごみの減量に取り組んでいる（ごみの分別、マイバッグの持参など）」は男性に比べ女性で高くなっている。

年代別でみると、「ごみの減量に取り組んでいる（ごみの分別、マイバッグの持参など）」、「なるべく徒歩、自転車、公共交通機関を使用している」、「省エネ性能の高い機器の使用（照明のLED化や省エネ性能の高い家電など）」は60歳代で高くなっている。

		食べ物を無駄にしないようにしている （食べ残しを減らす、食材を使い切るなど）	ごみの減量に取り組んでいる （ごみの分別、マイバッグの持参など）	なるべく徒歩、自転車、公共交通機関を使用している	省エネ性能の高い機器の使用 （照明のLED化や省エネ性能の高い家電など）	住宅や事業所の省エネ化 （高断熱設備の導入など）	再生可能エネルギー電力、設備の導入	環境イベントへの参加 （なかのエコフェアなど）	その他	取り組んでいない	無回答
全体 (n=1,105)		66.3	59.9	56.7	27.9	9.7	4.1	1.7	1.2	6.9	2.7
性別	男性 (n=562)	61.6	50.2	54.6	26.9	8.2	5.0	0.9	1.4	8.5	3.0
	女性 (n=524)	71.6	70.2	58.6	29.2	11.3	3.2	2.7	1.0	5.2	1.7
年代別	20歳代以下 (n=138)	57.2	43.5	50.7	13.0	5.8	4.3	0.7	2.9	13.8	3.6
	30歳代 (n=204)	70.6	52.9	52.5	18.6	8.3	3.4	1.5	1.0	10.3	2.9
	40歳代 (n=187)	63.6	52.9	53.5	21.9	10.7	3.7	3.2	1.1	7.0	1.6
	50歳代 (n=200)	68.5	66.5	58.0	33.0	8.0	4.5	1.0	1.5	4.5	0.5
	60歳代 (n=161)	72.0	71.4	68.9	41.0	12.4	4.3	1.9	0.6	2.5	4.3
	70歳代以上 (n=203)	64.5	69.5	57.6	37.4	11.8	4.4	2.0	0.5	4.9	2.0

居住地域別でみると、「食べ物を無駄にしないようにしている（食べ残しを減らす、食材を使い切るなど）」は若宮、上鷲宮で、「ごみの減量に取り組んでいる（ごみの分別、マイバッグの持参など）」は大和町、白鷲、上鷲宮で、「なるべく徒歩、自転車、公共交通機関を使用している」は野方で、「省エネ性能の高い機器の使用（照明のLED化や省エネ性能の高い家電など）」は上高田で、「住宅や事業所の省エネ化（高断熱設備の導入など）」は鷲宮で、それぞれ高くなっている。

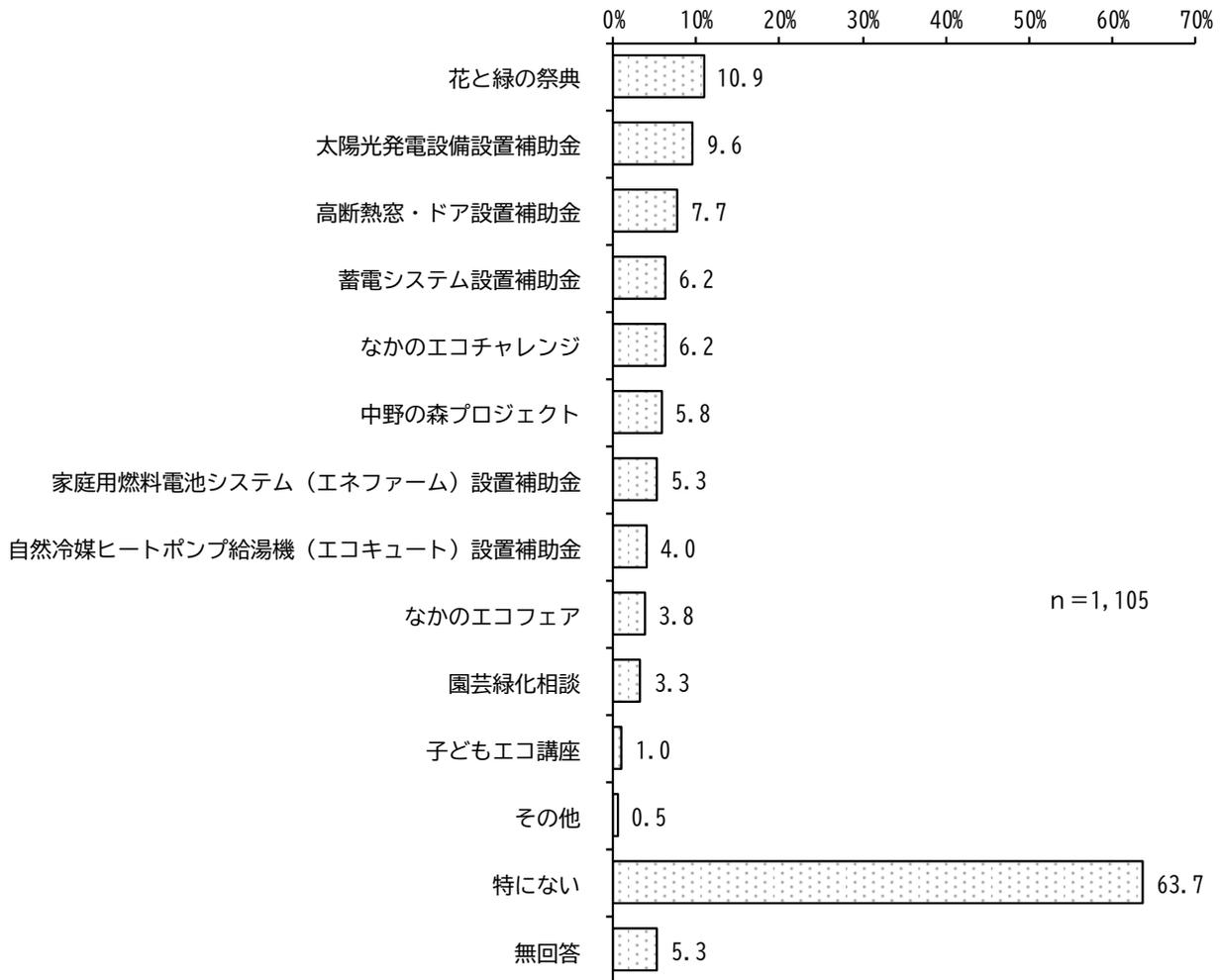
	（食べ物を無駄にしないようにしているなど）	（ごみの減分量に、取り組んでいる持参など）	なるべく徒歩、自転車、公共交通機関を使用している	省エネ性能の高い機器の使用（照明のLED化や省エネ性能の高い家電など）	住宅や事業所の省エネ化（高断熱設備の導入など）	再生可能エネルギー電力、設備の導入	環境イベントへの参加（なかのエコフェアなど）	その他	取り組んでいない	無回答
全体 (n=1,105)	66.3	59.9	56.7	27.9	9.7	4.1	1.7	1.2	6.9	2.7
居住地域別	南台 (n=70)	72.9	61.4	52.9	17.1	2.9	1.4	0.0	2.9	4.3
	弥生町 (n=60)	75.0	60.0	58.3	30.0	10.0	0.0	1.7	3.3	1.7
	本町 (n=107)	65.4	55.1	57.0	21.5	8.4	4.7	1.9	0.0	10.3
	中央 (n=103)	61.2	53.4	54.4	24.3	7.8	2.9	0.0	0.0	6.8
	東中野 (n=87)	59.8	52.9	54.0	29.9	10.3	1.1	2.3	2.3	9.2
	中野 (n=97)	67.0	64.9	57.7	26.8	8.2	3.1	5.2	0.0	4.1
	上高田 (n=58)	65.5	55.2	56.9	39.7	8.6	5.2	0.0	1.7	8.6
	新井 (n=66)	60.6	59.1	62.1	28.8	9.1	1.5	1.5	3.0	4.5
	沼袋 (n=50)	66.0	48.0	56.0	32.0	8.0	6.0	0.0	0.0	12.0
	松が丘 (n=24)	75.0	62.5	62.5	37.5	25.0	12.5	4.2	0.0	0.0
	江原町 (n=27)	51.9	66.7	55.6	33.3	7.4	7.4	7.4	3.7	7.4
	江古田 (n=35)	65.7	57.1	48.6	28.6	5.7	2.9	2.9	2.9	5.7
	丸山 (n=13)	61.5	61.5	53.8	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7
	野方 (n=61)	65.6	63.9	67.2	32.8	11.5	6.6	0.0	1.6	8.2
	大和町 (n=45)	68.9	73.3	46.7	31.1	11.1	2.2	2.2	0.0	6.7
	若宮 (n=42)	83.3	59.5	54.8	26.2	11.9	7.1	4.8	0.0	9.5
	白鷲 (n=32)	62.5	75.0	59.4	37.5	9.4	6.3	0.0	0.0	6.3
鷲宮 (n=59)	64.4	59.3	62.7	22.0	22.0	8.5	0.0	3.4	5.1	
上鷲宮 (n=50)	78.0	76.0	54.0	30.0	10.0	8.0	0.0	2.0	2.0	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(6) 知っている（参加したことがある）環境事業

「特にない」が6割前半

問36 区が実施している環境事業について、あなたが、知っているまたは参加したことがある事業について教えてください。（○はいくつでも）



区が実施している環境事業について、知っているまたは参加したことがある事業（複数回答）を聞いたところ、「花と緑の祭典」（10.9%）が約1割で最も高く、次いで「太陽光発電設備設置補助金」（9.6%）、「高断熱窓・ドア設置補助金」（7.7%）となっている。一方、「特にない」（63.7%）は6割前半となっている。

性別で見ると、「花と緑の祭典」は男性に比べ女性で、「特にない」は女性に比べ男性で、それぞれやや高くなっている。

年代別で見ると、「花と緑の祭典」、「園芸緑化相談」は70歳代以上で、「太陽光発電設備設置補助金」は50歳代で、「なかのエコチャレンジ」は40歳代で、それぞれやや高くなっている。一方、「特にない」は20歳代以下と30歳代で7割前半を超えて高くなっている。

		花と緑の祭典	太陽光発電設備設置補助金	高断熱窓・ドア設置補助金	蓄電システム設置補助金	なかのエコチャレンジ	中野の森プロジェクト	家庭用燃料電池システム(エネファーム)設置補助金	自然冷媒ヒートポンプ給湯機(エコキュート)設置補助金	なかのエコフェア	園芸緑化相談	子どもエコ講座	その他	特にない	無回答
全体 (n=1,105)		10.9	9.6	7.7	6.2	6.2	5.8	5.3	4.0	3.8	3.3	1.0	0.5	63.7	5.3
性別	男性 (n=562)	6.8	9.1	6.2	6.2	4.8	5.7	6.4	3.7	3.6	2.8	0.7	0.2	67.1	5.3
	女性 (n=524)	15.1	10.1	9.2	6.3	7.4	6.1	4.2	4.2	4.2	3.6	1.3	0.8	60.5	5.0
年代別	20歳代以下 (n=138)	1.4	4.3	5.1	5.1	3.6	3.6	3.6	2.2	0.7	0.0	0.0	0.0	77.5	5.1
	30歳代 (n=204)	3.9	7.4	4.4	5.9	4.4	5.4	3.9	2.0	3.9	0.5	0.0	0.0	74.0	5.9
	40歳代 (n=187)	11.2	8.6	7.5	3.7	14.4	4.8	4.3	5.3	3.7	1.1	2.1	0.5	61.5	2.1
	50歳代 (n=200)	12.5	15.0	11.0	9.5	8.0	5.5	6.5	6.0	4.5	3.5	0.5	0.0	64.5	2.0
	60歳代 (n=161)	15.5	14.3	9.9	9.3	4.3	9.3	8.7	6.2	4.3	5.0	3.1	1.2	52.8	6.8
	70歳代以上 (n=203)	17.7	7.4	8.4	4.4	1.0	6.4	4.9	2.0	4.9	8.4	0.5	1.0	55.7	8.4

居住地域別でみると、「花と緑の祭典」は野方で、「太陽光発電設備設置補助金」は若宮で、「中野の森プロジェクト」は江古田で、それぞれ高くなっている。一方、「特にない」は本町、沼袋で高くなっている。

	花と緑の祭典	太陽光発電設備設置補助金	高断熱窓・ドア設置補助金	蓄電システム設置補助金	なかのエコチャレンジ	中野の森プロジェクト	家庭用燃料電池システム（エネファーム）設置補助金	自然冷媒ヒートポンプ給湯機（エコキュート）設置補助金	なかのエコフェア	園芸緑化相談	子どもエコ講座	その他	特にない	無回答	
全体 (n=1,105)	10.9	9.6	7.7	6.2	6.2	5.8	5.3	4.0	3.8	3.3	1.0	0.5	63.7	5.3	
居住地域別	南台 (n=70)	8.6	4.3	4.3	1.4	4.3	4.3	2.9	4.3	2.9	2.9	0.0	65.7	7.1	
	弥生町 (n=60)	6.7	5.0	6.7	3.3	3.3	10.0	5.0	1.7	5.0	6.7	0.0	65.0	10.0	
	本町 (n=107)	4.7	3.7	5.6	1.9	6.5	4.7	2.8	2.8	1.9	1.9	0.9	75.7	1.9	
	中央 (n=103)	5.8	8.7	7.8	2.9	4.9	6.8	2.9	1.9	2.9	1.9	0.0	66.0	4.9	
	東中野 (n=87)	9.2	4.6	6.9	3.4	3.4	5.7	1.1	1.1	1.1	3.4	0.0	71.3	4.6	
	中野 (n=97)	11.3	8.2	6.2	4.1	9.3	4.1	6.2	4.1	5.2	3.1	2.1	0.0	61.9	7.2
	上高田 (n=58)	10.3	17.2	8.6	12.1	6.9	6.9	6.9	3.4	5.2	5.2	0.0	0.0	67.2	0.0
	新井 (n=66)	16.7	13.6	6.1	7.6	6.1	1.5	3.0	3.0	1.5	1.5	3.0	1.5	54.5	7.6
	沼袋 (n=50)	8.0	8.0	6.0	6.0	6.0	4.0	6.0	4.0	4.0	2.0	0.0	0.0	76.0	0.0
	松が丘 (n=24)	8.3	20.8	16.7	16.7	4.2	4.2	20.8	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	12.5
	江原町 (n=27)	14.8	18.5	14.8	14.8	3.7	14.8	11.1	14.8	3.7	0.0	0.0	3.7	55.6	3.7
	江古田 (n=35)	14.3	11.4	11.4	8.6	2.9	17.1	11.4	5.7	11.4	5.7	2.9	0.0	57.1	11.4
	丸山 (n=13)	15.4	15.4	7.7	7.7	30.8	7.7	7.7	7.7	7.7	15.4	0.0	0.0	38.5	0.0
	野方 (n=61)	21.3	8.2	8.2	9.8	9.8	8.2	4.9	3.3	6.6	6.6	1.6	0.0	52.5	1.6
	大和町 (n=45)	6.7	17.8	11.1	8.9	6.7	2.2	4.4	2.2	4.4	0.0	0.0	0.0	66.7	2.2
	若宮 (n=42)	14.3	21.4	9.5	14.3	4.8	4.8	4.8	9.5	2.4	4.8	4.8	0.0	61.9	4.8
	白鷺 (n=32)	18.8	6.3	6.3	6.3	0.0	0.0	6.3	6.3	3.1	0.0	0.0	0.0	68.8	3.1
	鷺宮 (n=59)	13.6	11.9	13.6	13.6	3.4	6.8	6.8	5.1	5.1	3.4	0.0	1.7	55.9	6.8
上鷺宮 (n=50)	12.0	8.0	6.0	2.0	12.0	6.0	8.0	2.0	4.0	4.0	0.0	0.0	64.0	4.0	

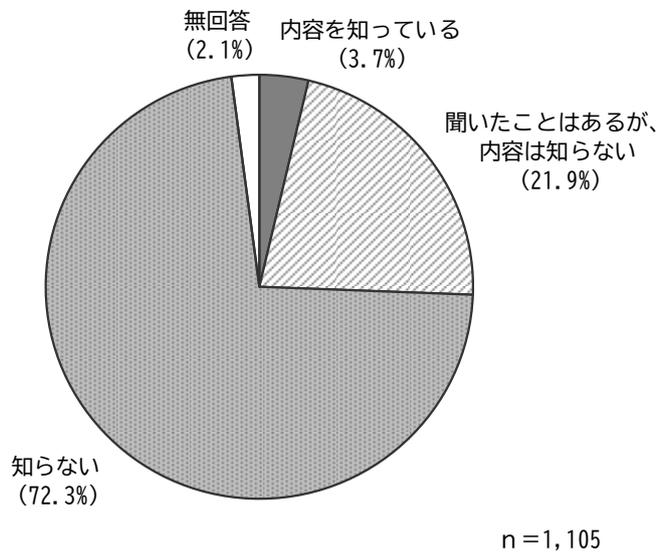
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

19 人権・男女共同参画について

(1) 「中野区人権及び多様性を尊重するまちづくり条例」の認知度

「知らない」が7割前半

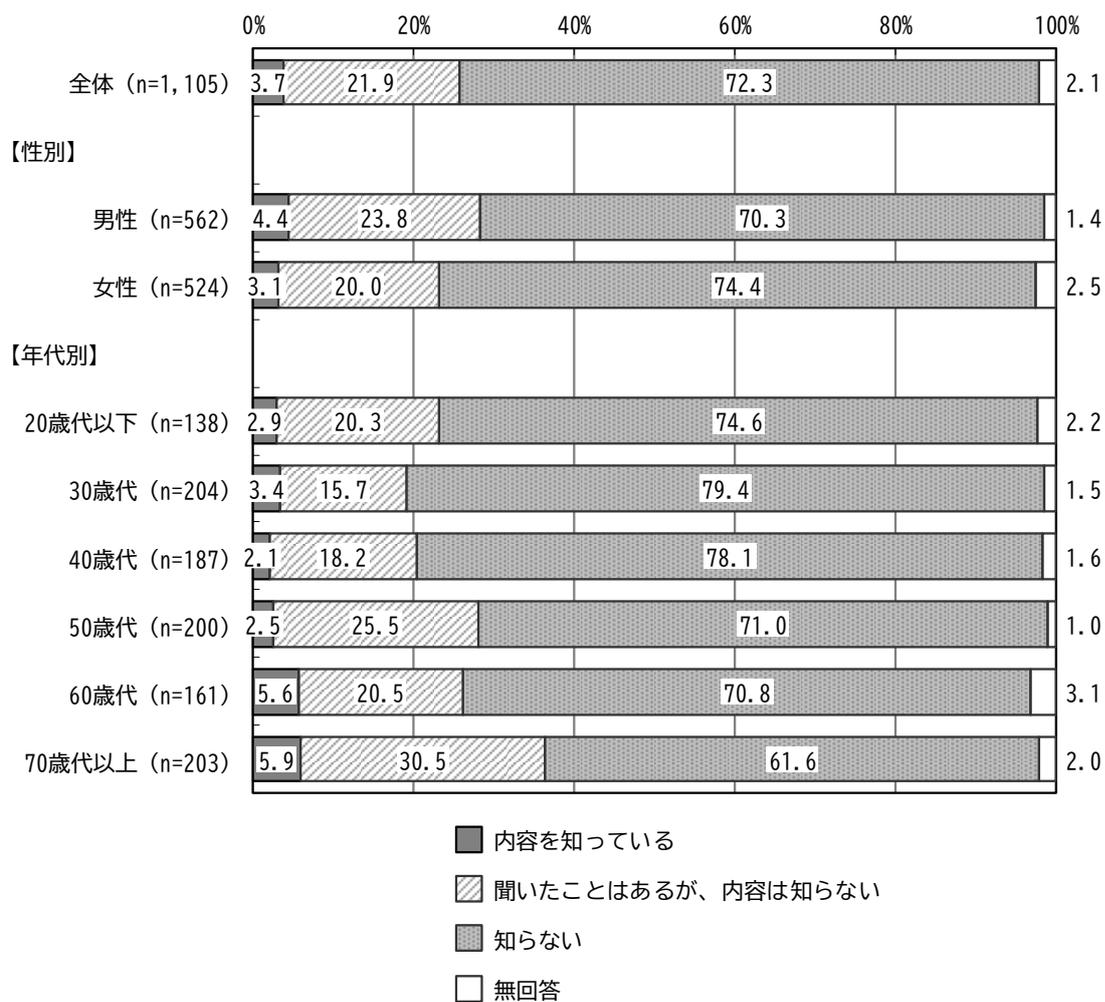
問37 中野区人権及び多様性を尊重するまちづくり条例を知っていますか。(○は1つ)



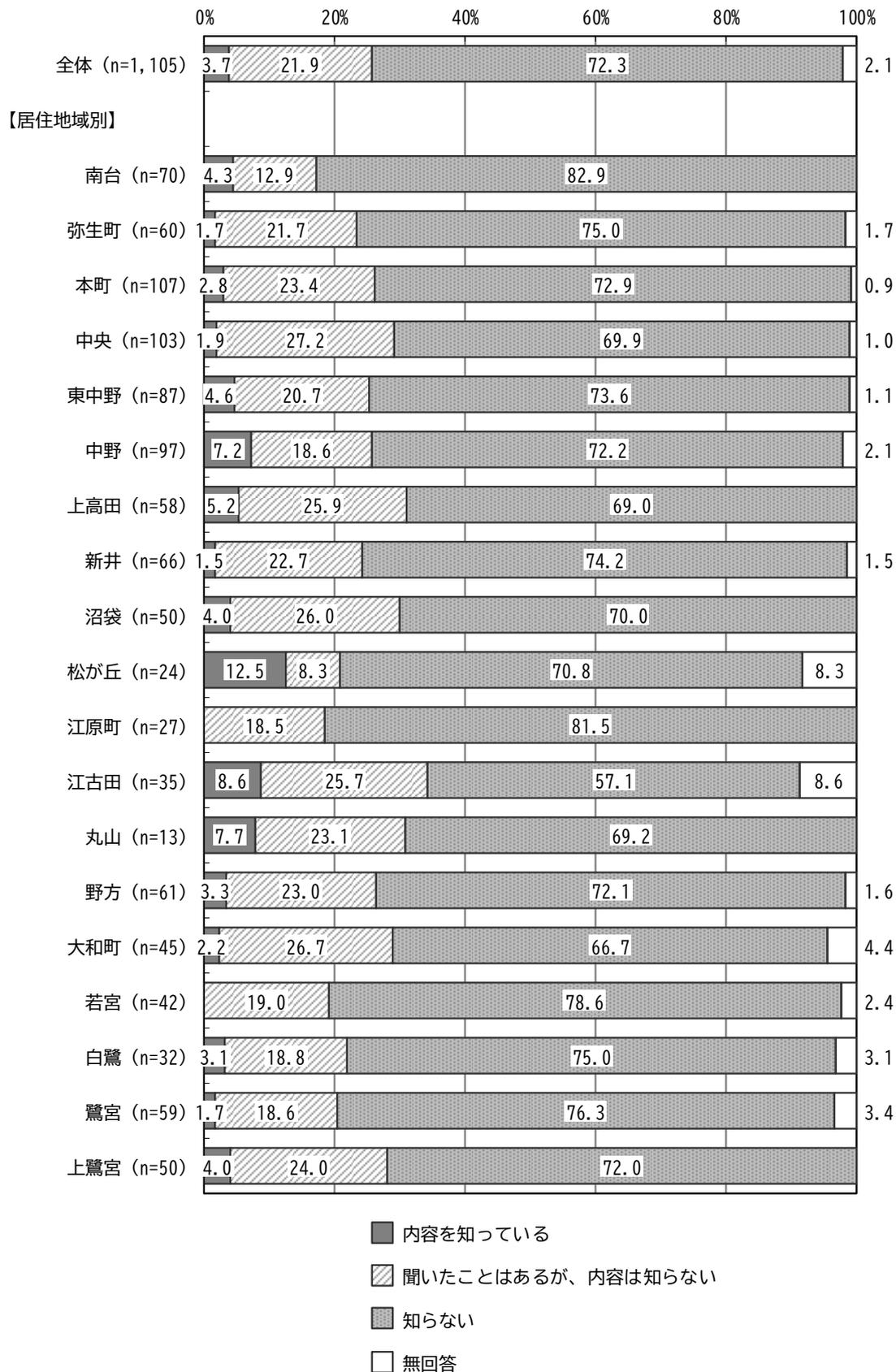
「中野区人権及び多様性を尊重するまちづくり条例」の認知度を聞いたところ、「知らない」(72.3%)が7割前半で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」(21.9%)、「内容を知っている」(3.7%)となっている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別でみると、「知らない」は30歳代で約8割とやや高くなっている。



居住地域別でみると、「知らない」は江古田で5割後半と低くなっている。

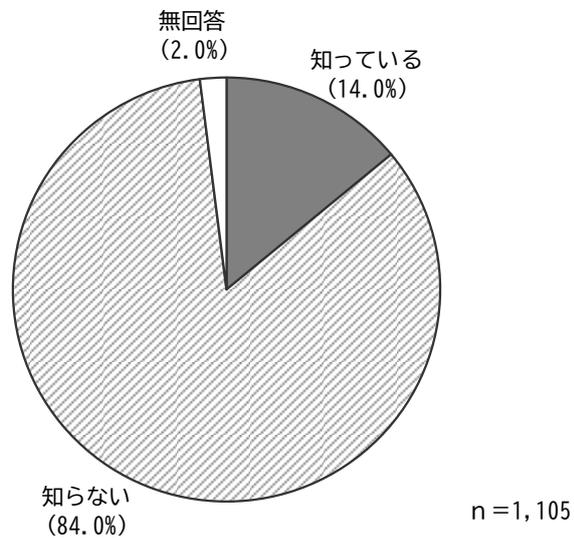


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(2) 人権侵害に関する相談体制の認知度

「知っている」は1割半ば、「知らない」が8割半ば

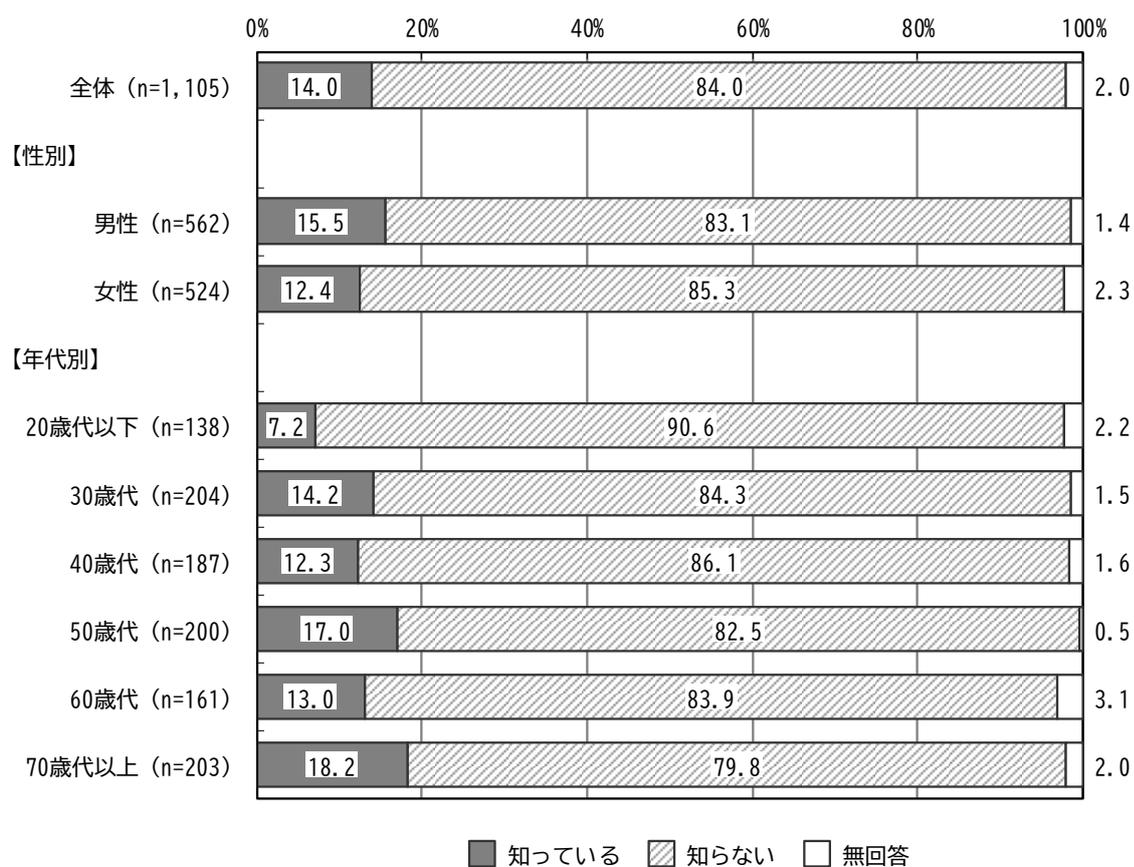
問38 人権侵害に関する相談体制があることを知っていますか。(○は1つ)



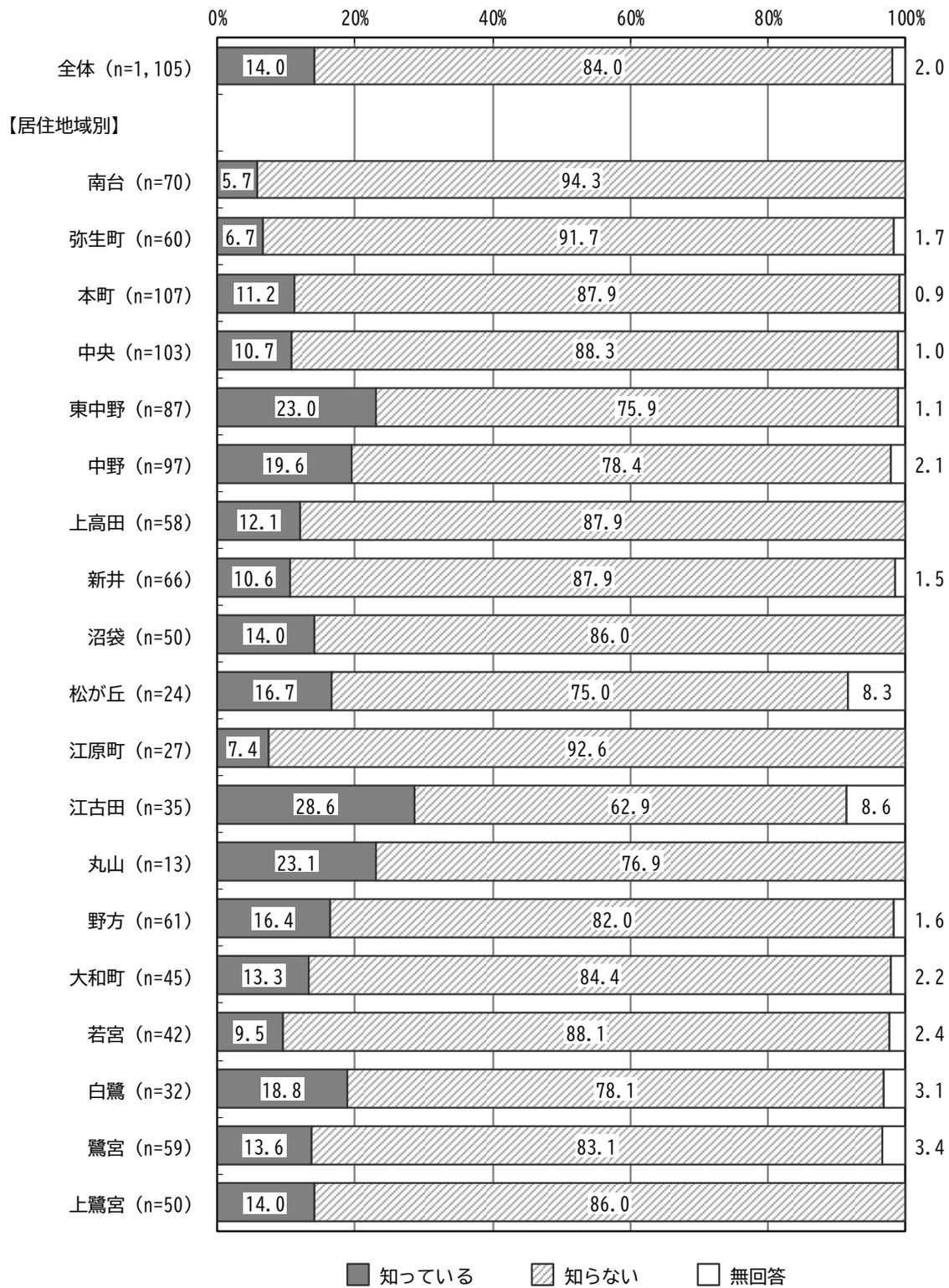
人権侵害に関する相談体制の認知度を聞いたところ、「知っている」(14.0%)が1割半ば、「知らない」(84.0%)が8割半ばとなっている。

性別、特徴的な差はみられない。

年齢別で見ると、「知らない」は20歳代以下で約9割とやや高くなっている。



居住地域別でみると、「知っている」は江古田で2割後半と高くなっている。

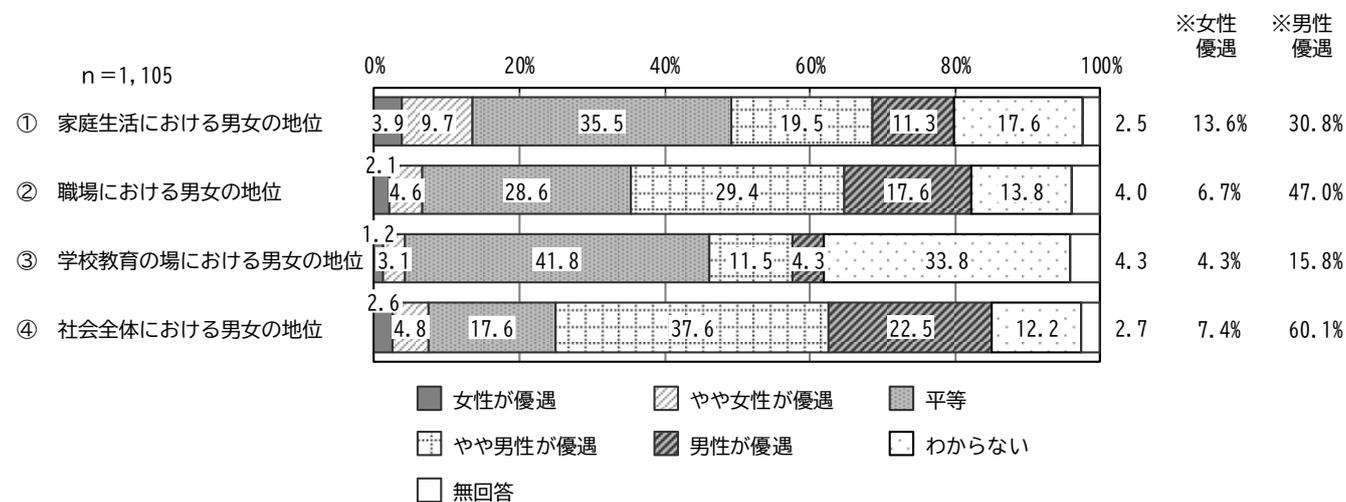


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(3) 男女の地位の平等感

『学校教育の場における男女の地位』で「平等」が約4割

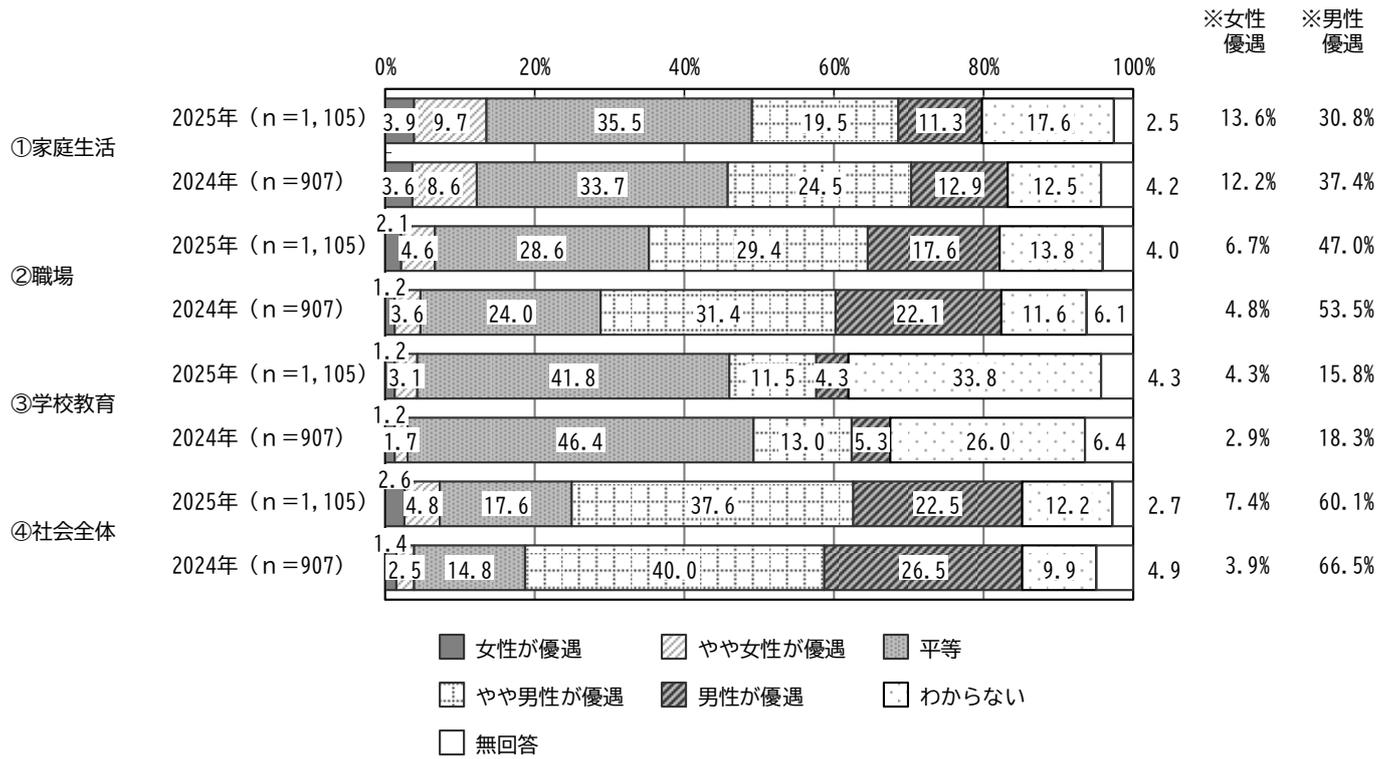
問40 次の各分野において、男女の地位は平等だと思いますか。(○はそれぞれ1つ)



4つの分野において、男女の地位は平等だと思うか聞いたところ、「平等」が最も高かったのは『③学校教育の場における男女の地位』(41.8%)であり、次いで『①家庭生活における男女の地位』(35.5%)、『②職場における男女の地位』(28.6%)、『④社会全体における男女の地位』(17.6%)となっている。

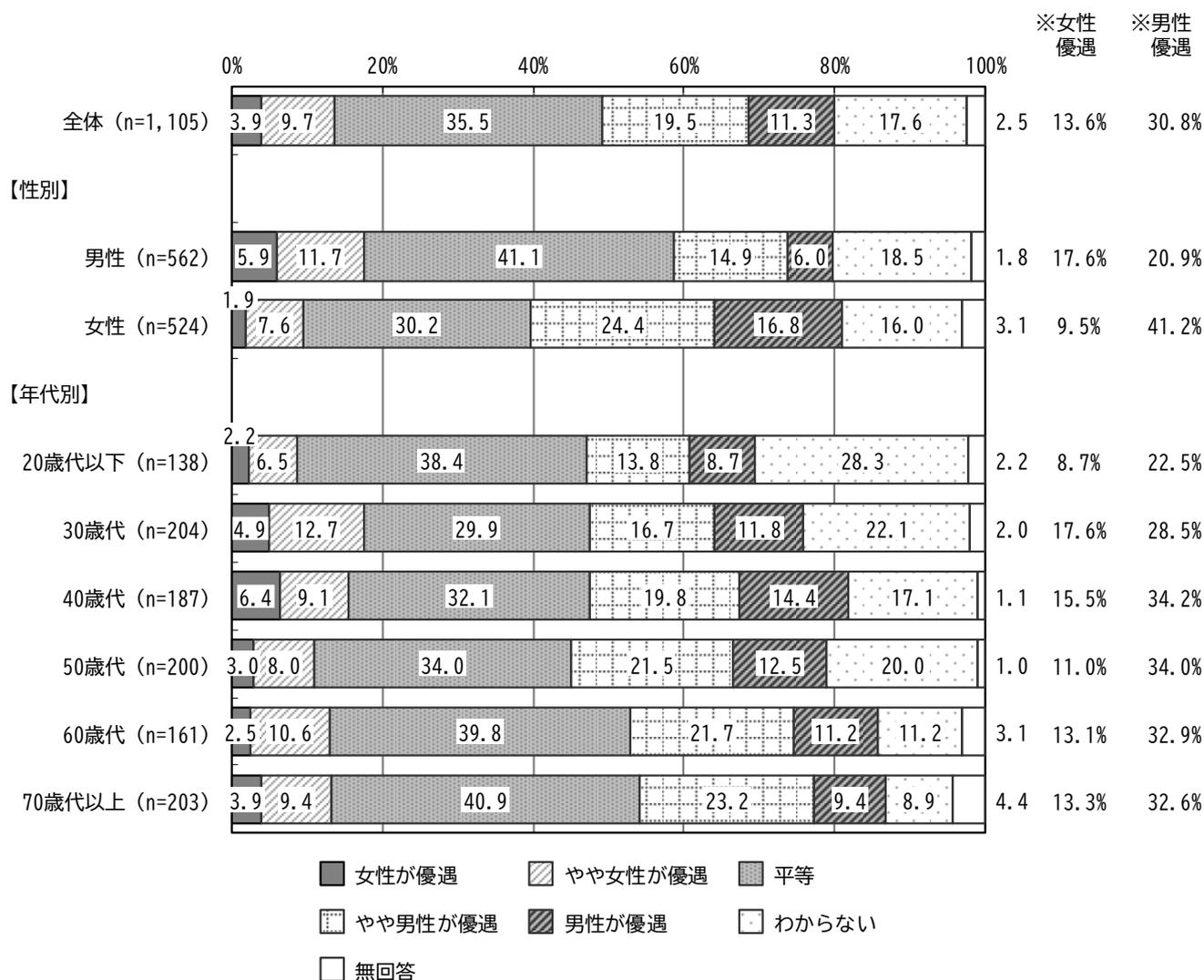
4つの分野はいずれも、「男性が優遇」と「やや男性が優遇」を合わせた「男性優遇」が、「女性が優遇」と「やや女性が優遇」を合わせた「女性優遇」を上回っている。『④社会全体における男女の地位』では、「男性優遇」(60.1%)と「女性優遇」(7.4%)の格差が52.7ポイントと最も大きくなっている。

男女の地位の平等感について、前回（2024年）と比較した結果は、以下のとおりである。



① 家庭生活における男女の地位

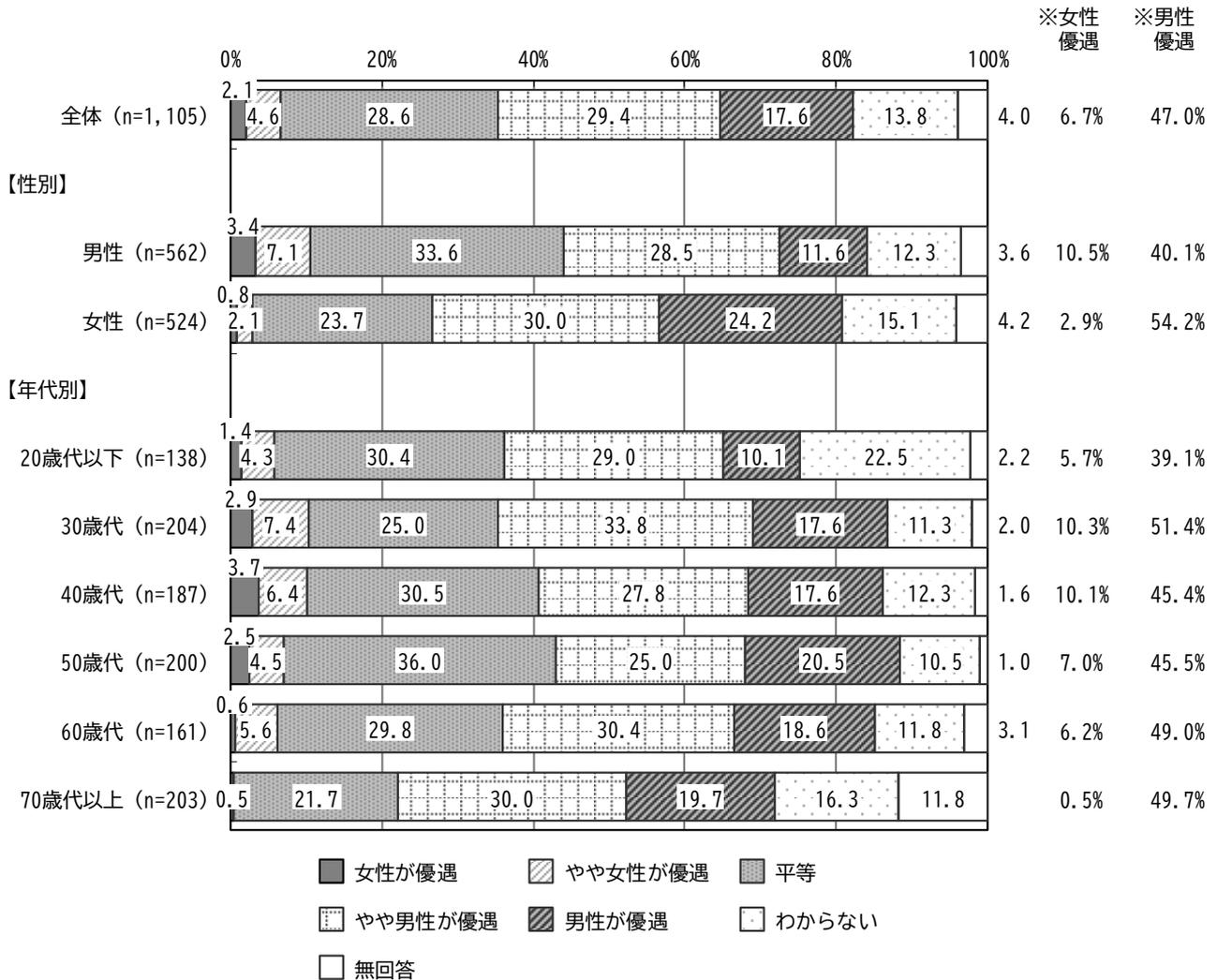
性別でみると、「平等」は女性に比べ男性で高く、「男性優遇」は男性に比べ女性で高くなっている。
 年代別でみると、「平等」は70歳代以上で約4割と、やや高くなっている。



② 職場における男女の地位

性別で見ると、「平等」は女性に比べ男性でやや高く、《男性優遇》は男性に比べ女性で高くなっている。

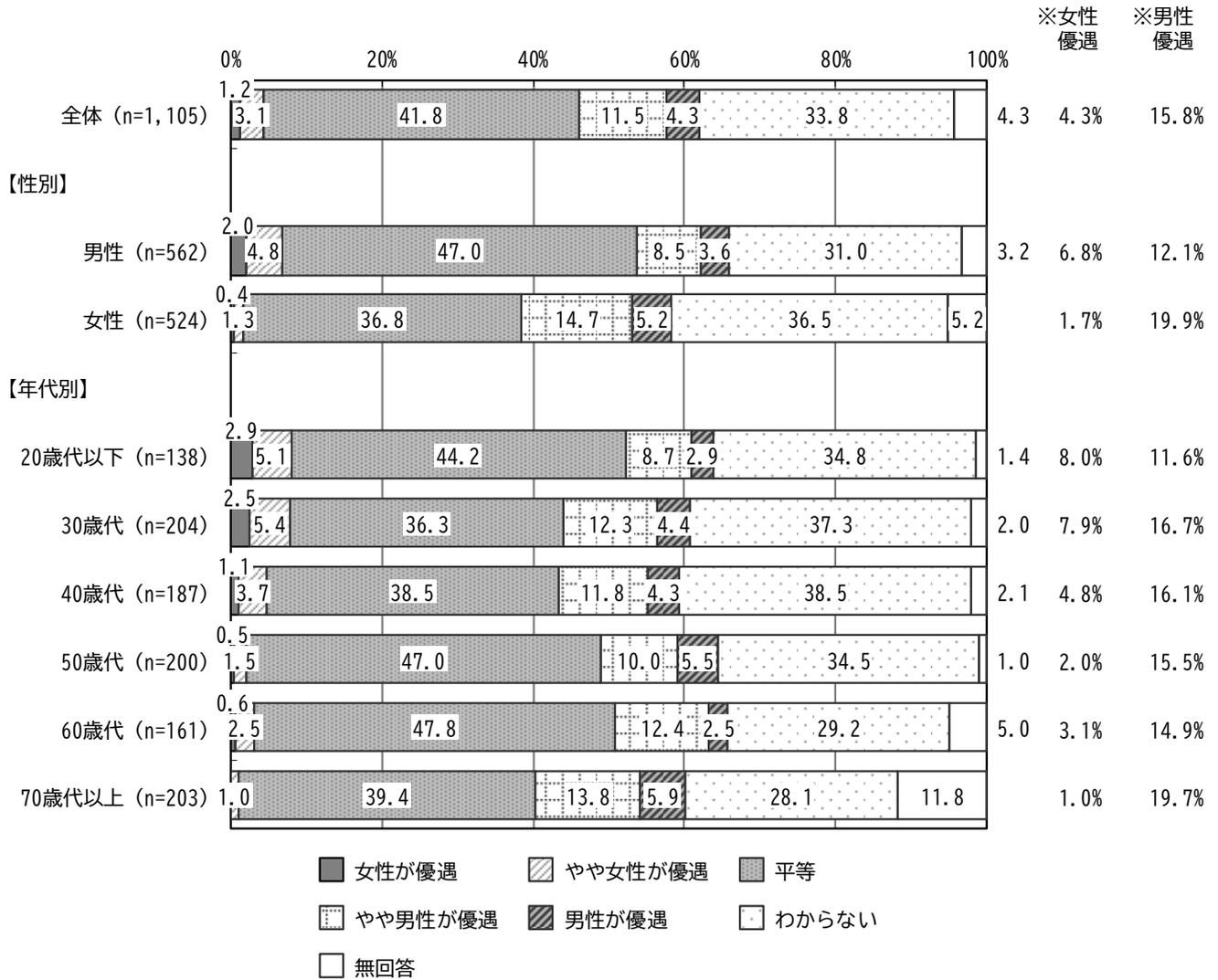
年代別で見ると、「平等」は50歳代で3割半ばと、やや高くなっている。



③ 学校教育の場における男女の地位

性別でみると、「平等」は女性に比べ男性で高く、《男性優遇》は男性に比べ女性でやや高くなっている。

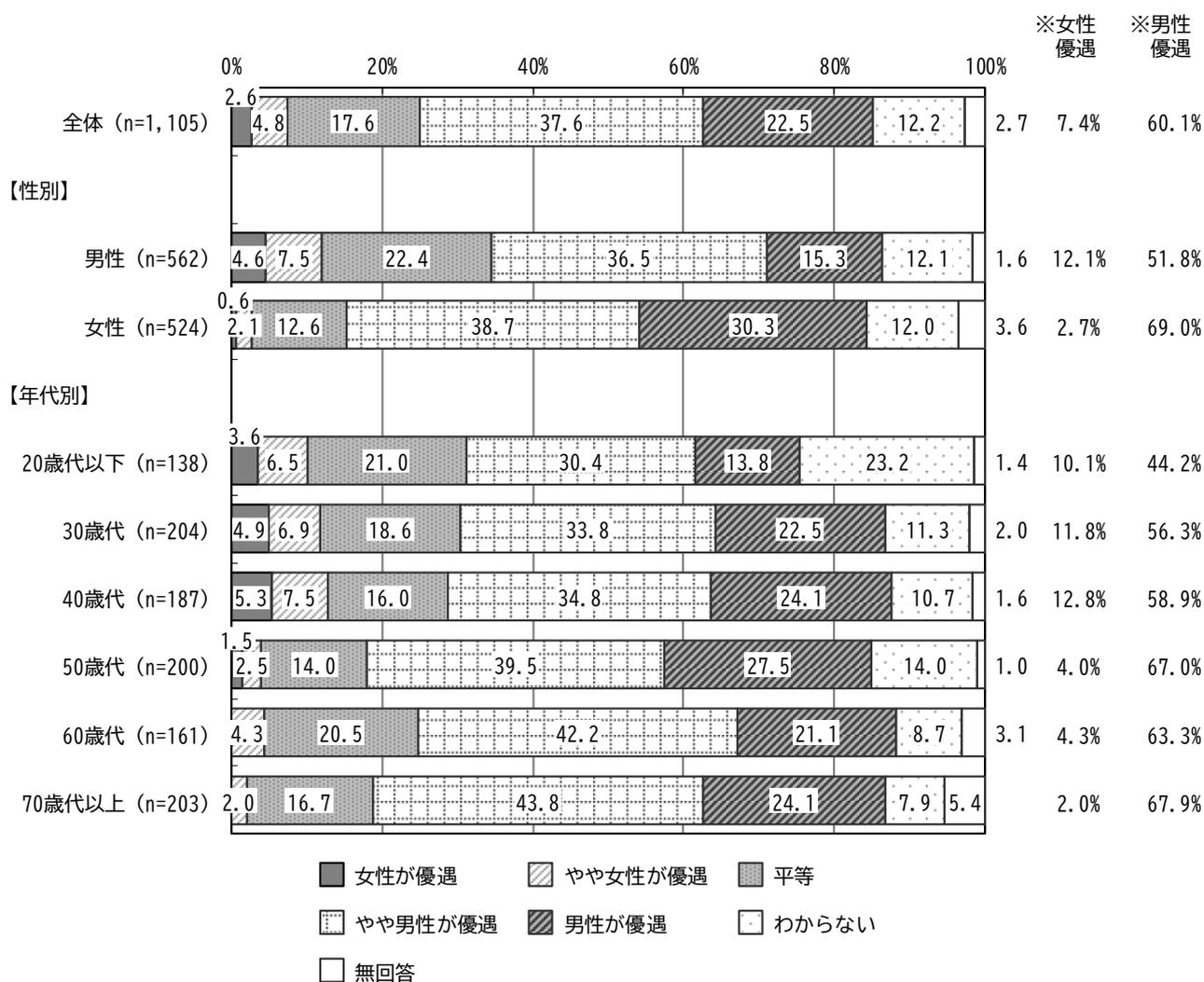
年代別でみると、「平等」は50歳代、60歳代で4割後半とやや高くなっている。



④ 社会全体における男女の地位

性別でみると、「平等」は女性に比べ男性でやや高く、《男性優遇》は男性に比べ女性で高くなっている。

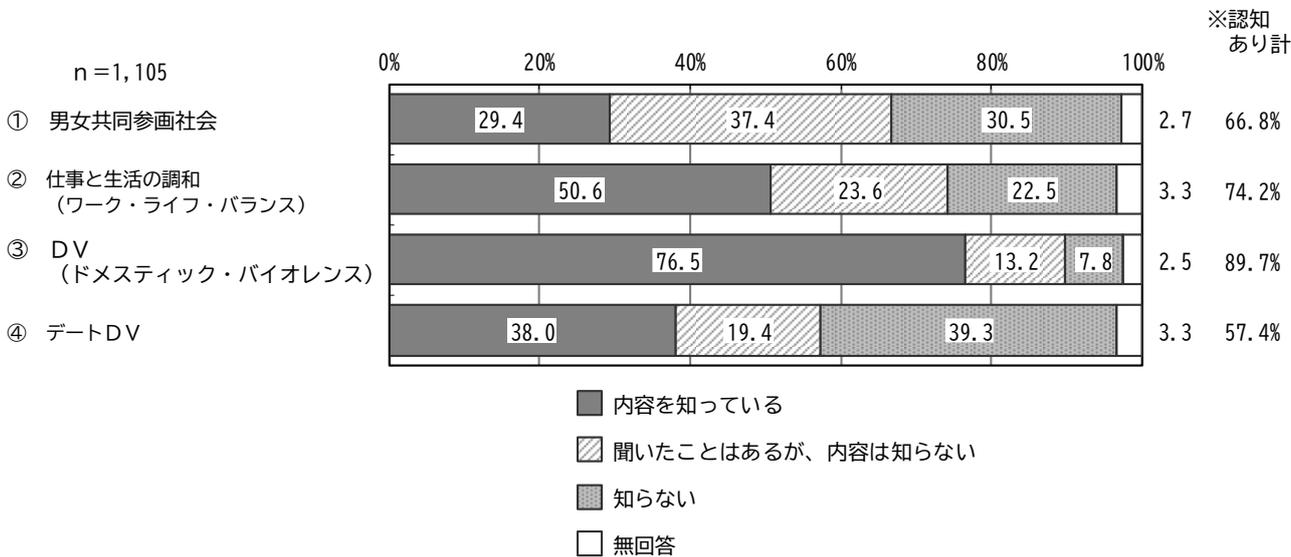
年代別でみると、《男性優遇》は50歳代、70歳代以上で6割後半とやや高くなっている。



(4) 男女共同参画関連用語の認知度

『DV（ドメスティック・バイオレンス）』の「内容を知っている」が7割半ば

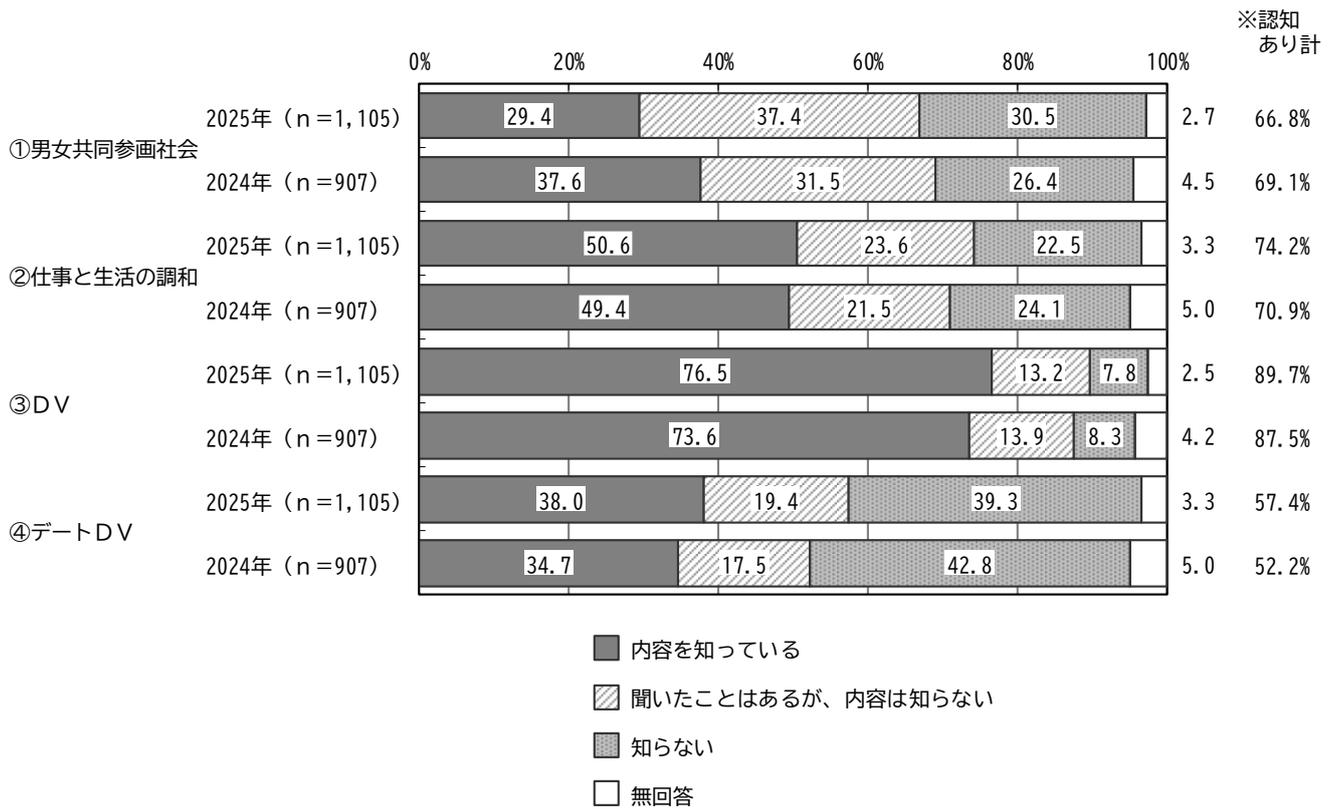
問40 次の男女共同参画社会に関連する用語について、見たり聞いたりしたことはありますか。(○はそれぞれ1つ)



男女共同参画関連用語の認知度を聞いたところ、「内容を知っている」は『③DV（ドメスティック・バイオレンス）』（76.5%）で7割半ばと最も高く、次いで『②仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）』（50.6%）、「④デートDV」（38.0%）、『①男女共同参画社会』（29.4%）となっている。

「内容を知っている」と「聞いたことはあるが、内容は知らない」を合わせた「認知あり」は、『④デートDV』（57.4%）で5割後半となっている。

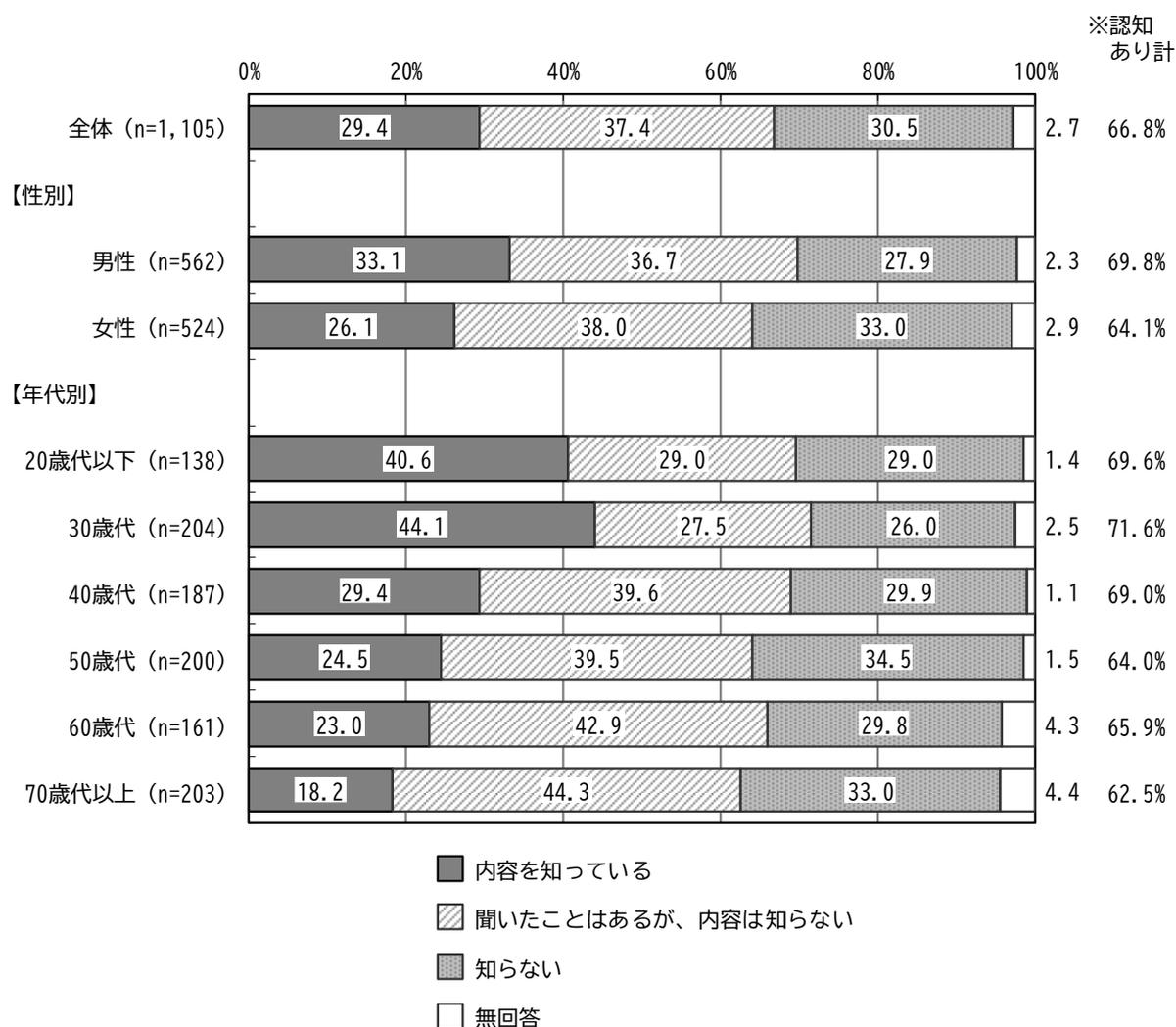
男女の地位の平等感について、前回（2024年）と比較した結果は、以下のとおりである。



① 男女共同参画社会

性別でみると、「認知あり」は女性に比べ男性で約7割とやや高くなっている。

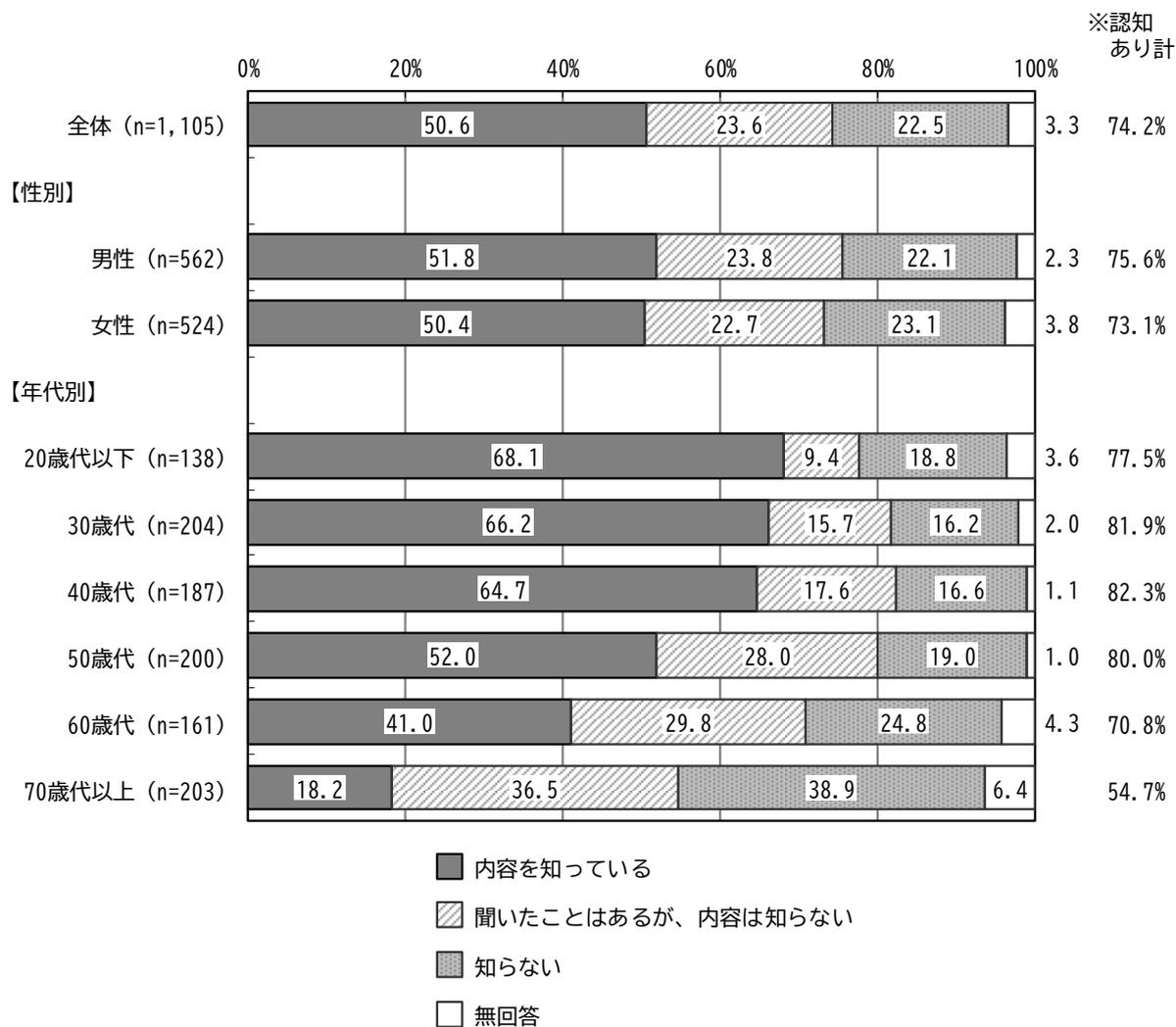
年代別でみると、「内容を知っている」は、30歳代を除き、年代が高くなるにつれ低くなる傾向がみられ、30歳代で4割半ばと最も高く、70歳代以上で1割後半と最も低くなっている。



② 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）

性別でみると、特徴的な差はみられない。

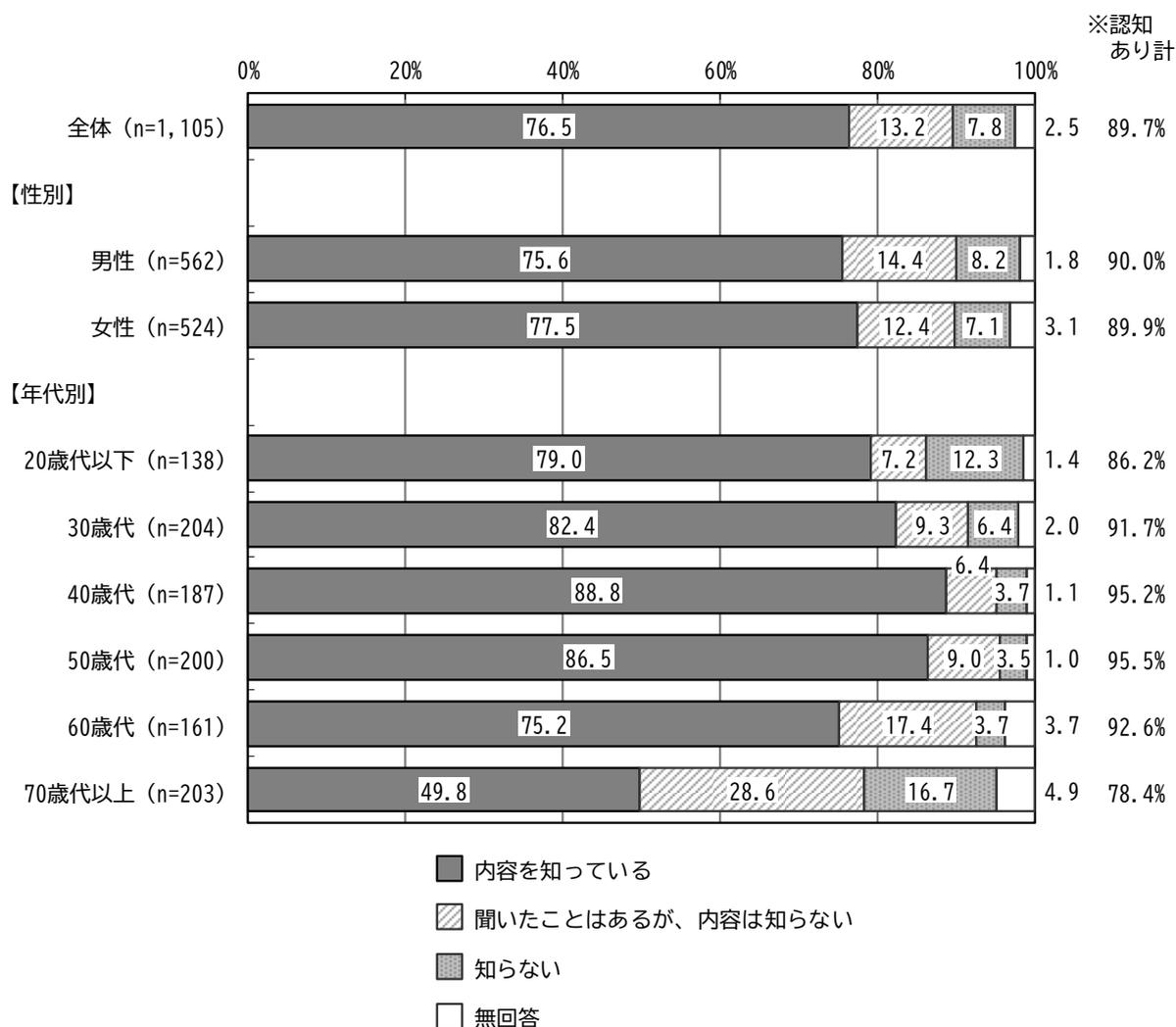
年代別でみると、「内容を知っている」は年代が高くなるにつれ低くなる傾向がみられ、20歳代以下で6割後半と高く、70歳代以上で1割後半と最も低くなっている。



③ DV (ドメスティック・バイオレンス)

性別でみると、特徴的な差はみられない。

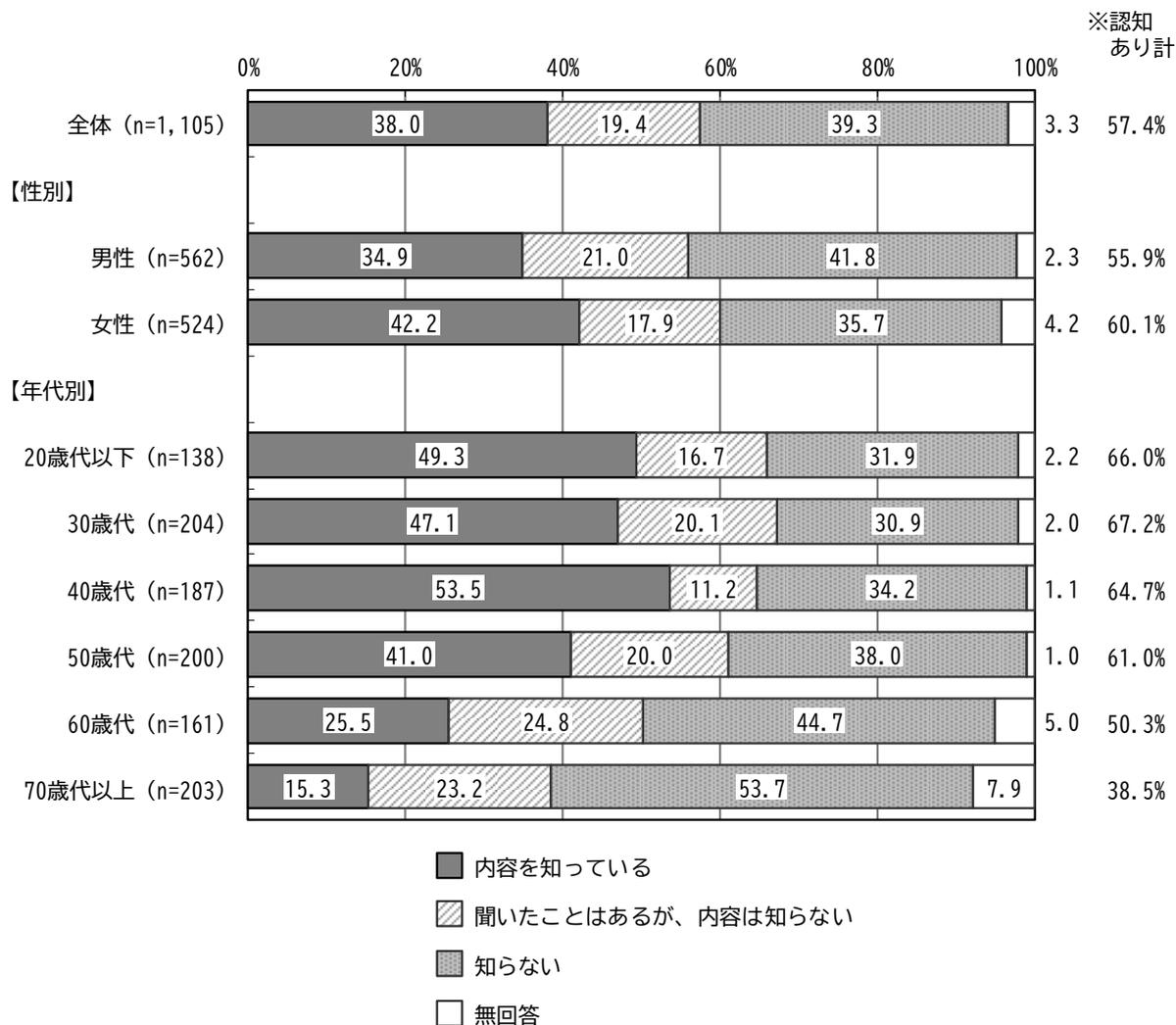
年代別でみると、「内容を知っている」は40歳代で8割後半と高く、70歳代以上で約5割と最も低くなっている。



④ デートDV

性別でみると、「内容を知っている」は男性に比べ女性でやや高くなっている。

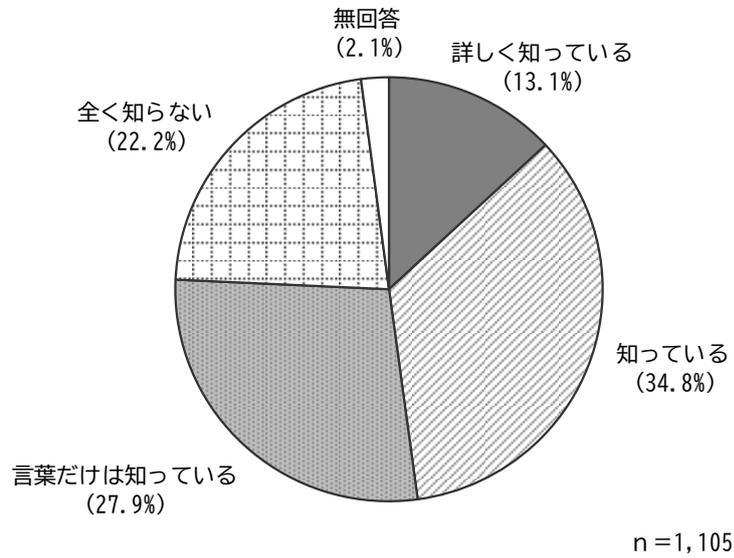
年代別でみると、「内容を知っている」は40歳代で5割前と最も高く、70歳代以上で1割半ほど最も低くなっている。



20 ユニバーサルデザインについて
(1) 「ユニバーサルデザイン」の認知度

「知っている」(「詳しく知っている」と「知っている」と「言葉だけは知っている」)が7割半ば

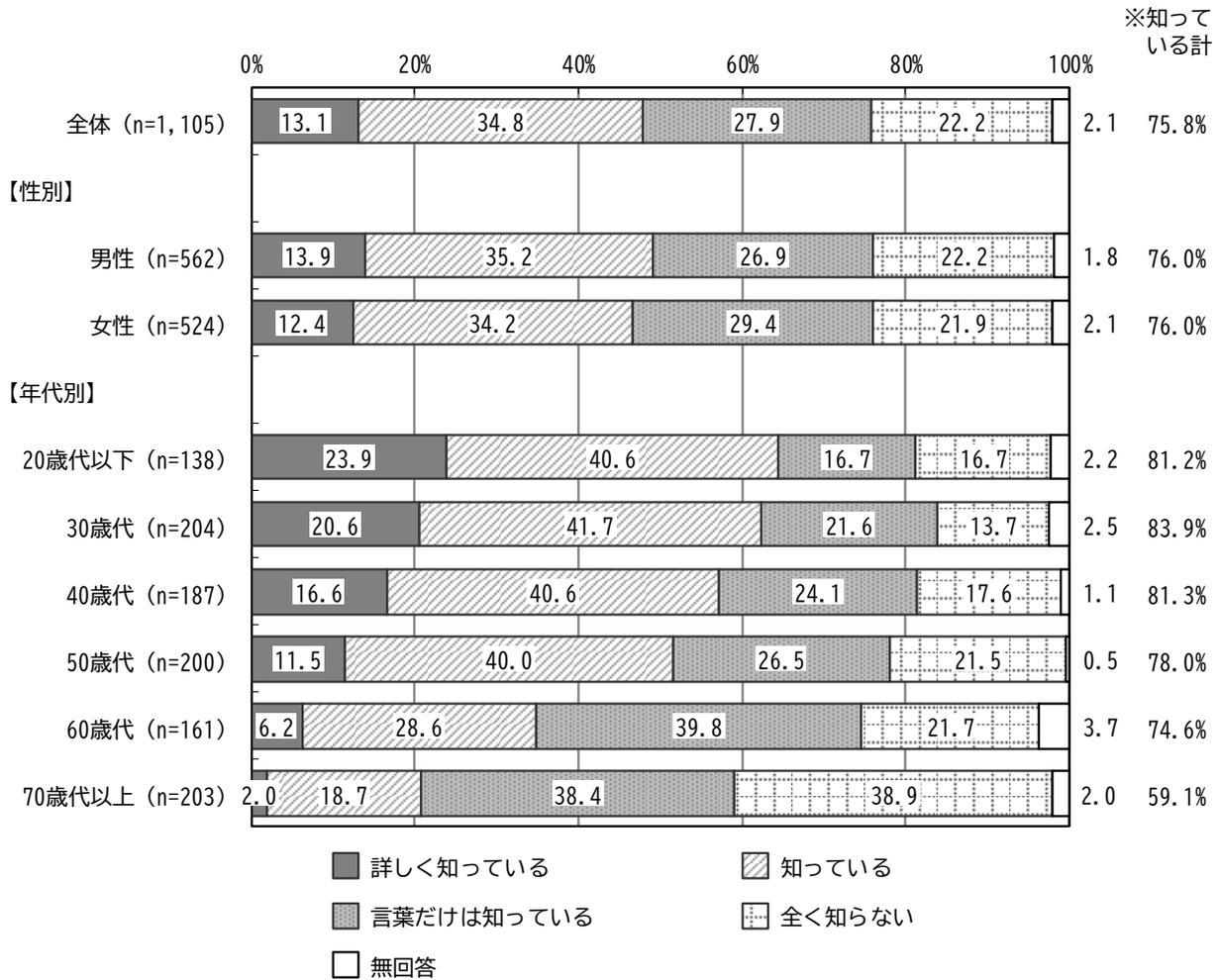
問41 「ユニバーサルデザイン」という言葉をどの程度知っていますか。(○は1つ)



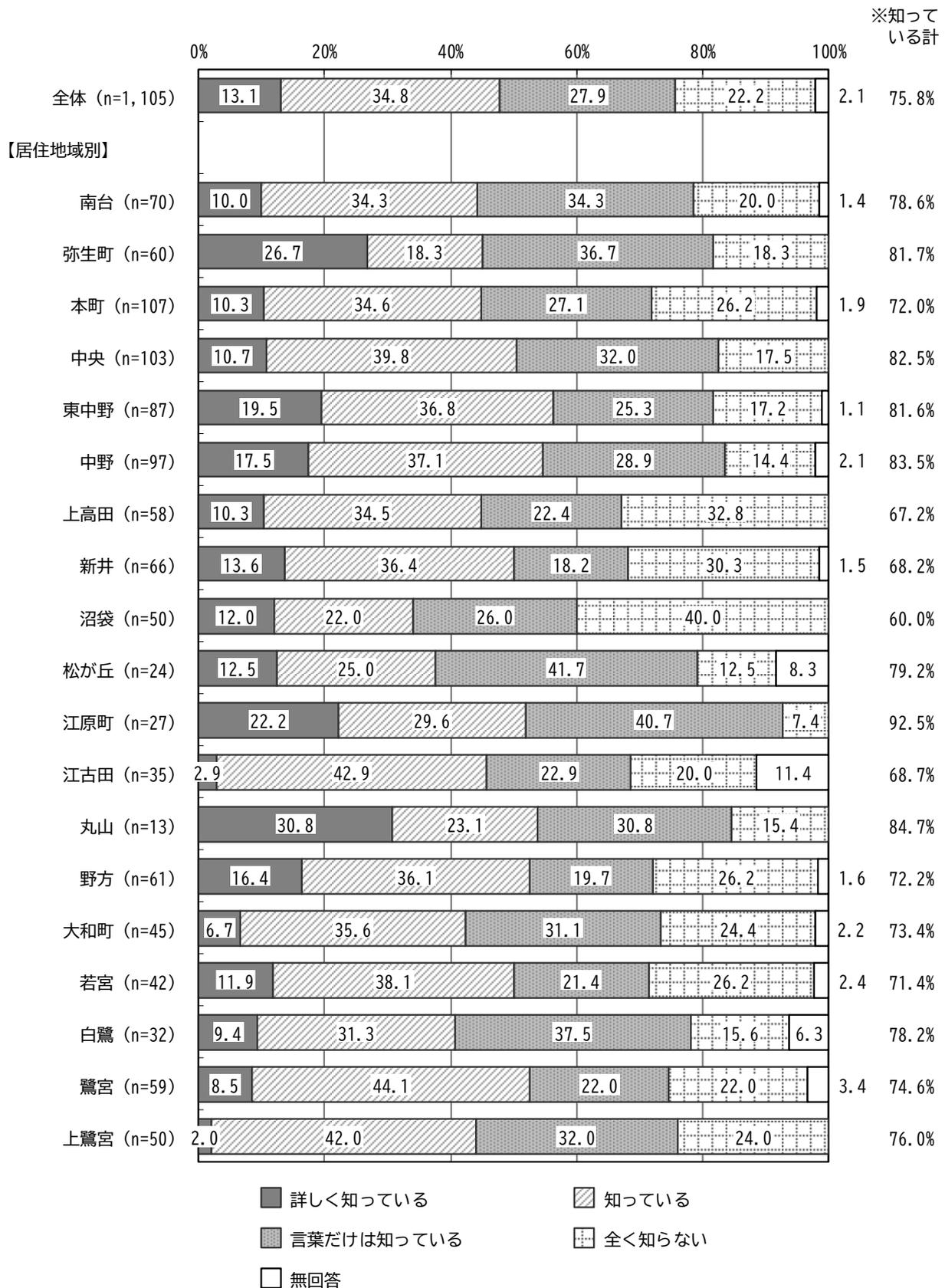
「ユニバーサルデザイン」の認知度を聞いたところ、「詳しく知っている」(13.1%)、「知っている」(34.8%)、「言葉だけは知っている」(27.9%)を合わせた「知っている」(75.8%)が7割半ば、「全く知らない」(22.2%)が2割前半となっている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別でみると、「知っている」は30歳代で8割前半とやや高くなっている。一方、「全く知らない」は70歳代以上で3割後半と高くなっている。



居住地域別でみると、「知っている」は中央、中野で8割前半とやや高くなっている。

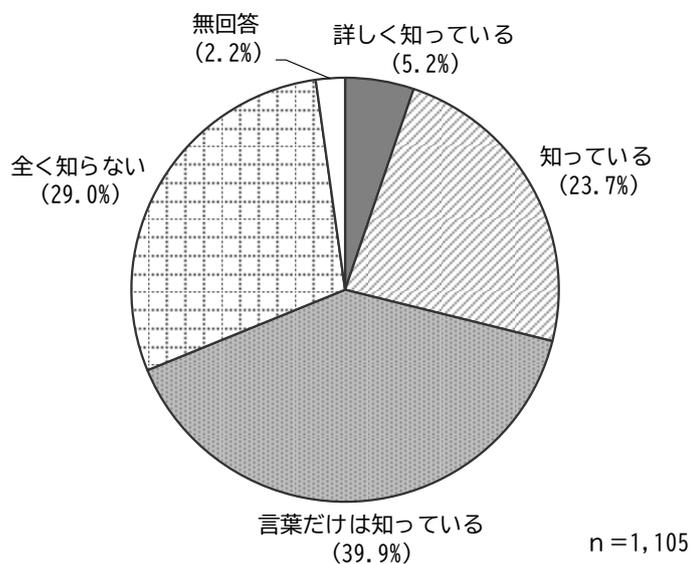


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(2) 「心のバリアフリー」の認知度

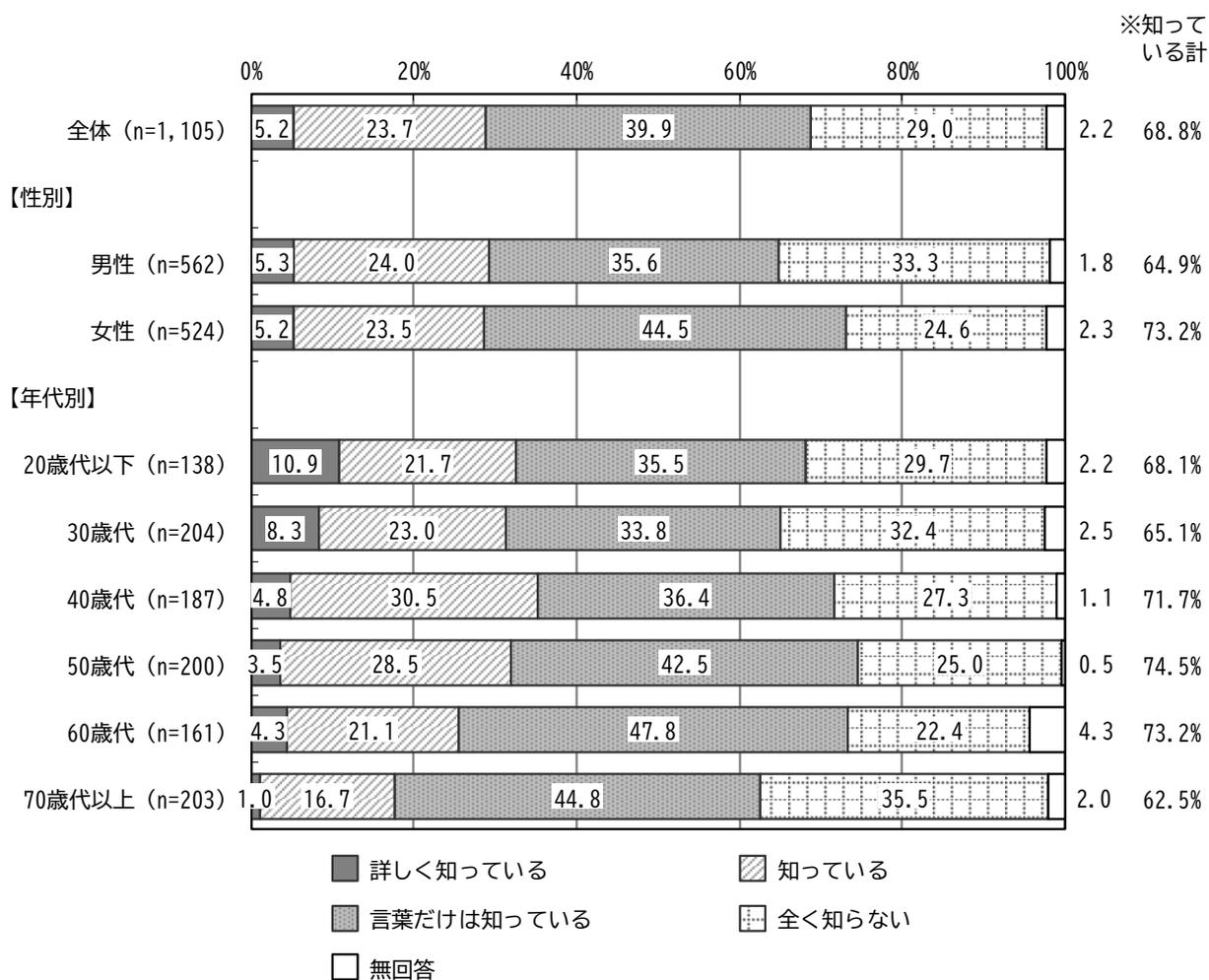
「知っている」(「詳しく知っている」と「知っている」と「言葉だけは知っている」)が6割後半

問42 「心のバリアフリー」という言葉をどの程度知っていますか。(○は1つ)

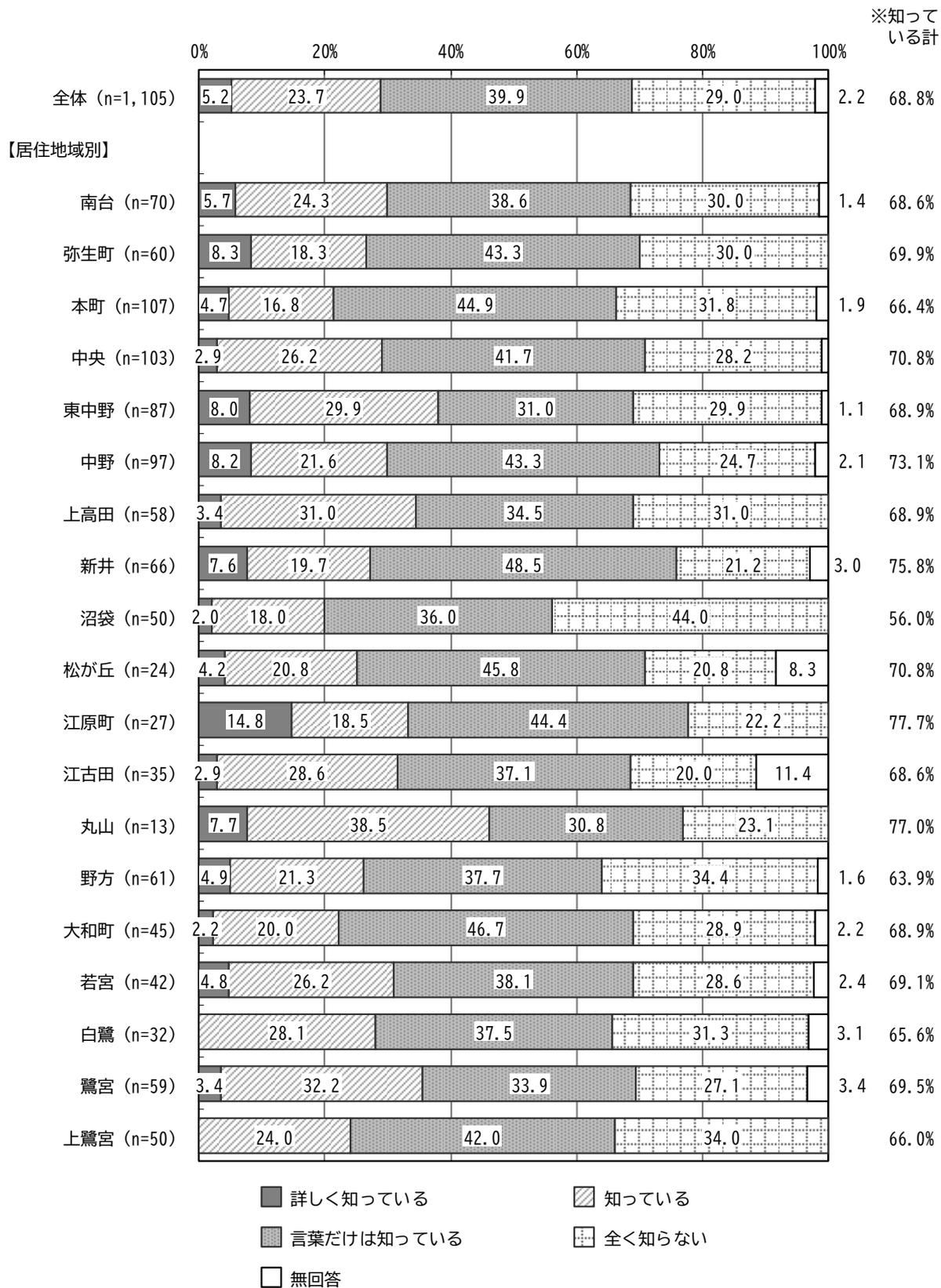


「心のバリアフリー」の認知度を聞いたところ、「詳しく知っている」(5.2%)、「知っている」(23.7%)、「言葉だけは知っている」(39.9%)を合わせた「知っている」(68.8%)が6割後半、「全く知らない」(29.0%)が約3割となっている。

性別で見ると、「全く知らない」は女性に比べ男性で3割前半とやや高くなっている。
 年代別で見ると、「知っている」は50歳代で7割半ばと高くなっている。



居住地域別でみると、「知っている」は新井で7割半ばとやや高くなっている。

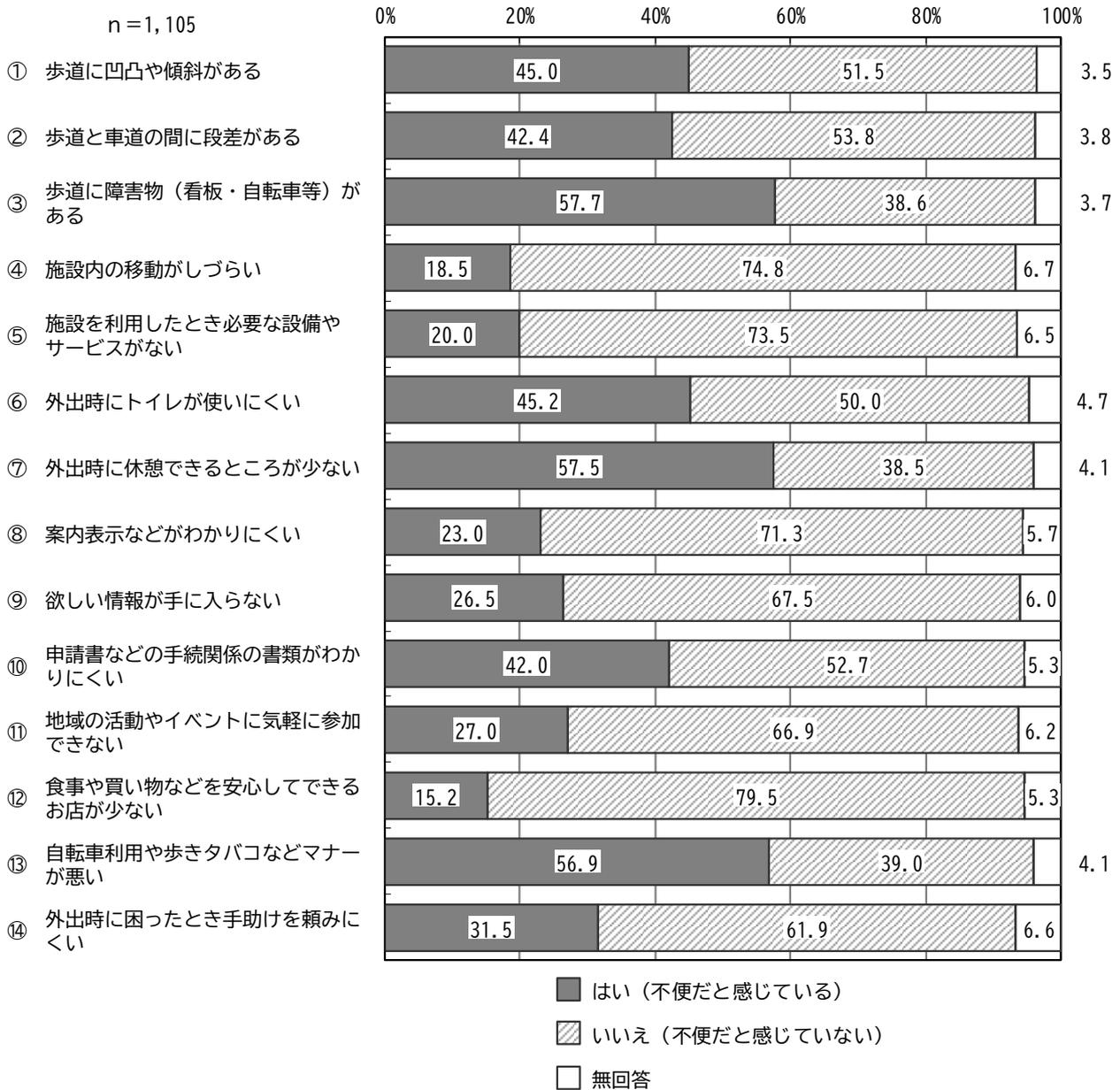


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(3) 普段の生活で感じる不便

『歩道に障害物（看板・自転車等）がある』『外出時に休憩できる場所が少ない』が5割後半

問43 あなたが普段の生活の中で、中野区内において不便だと感じている場合は「はい」、不便だと感じていない場合は「いいえ」でお答えください。（○はそれぞれ1つ）



普段の生活で感じる不便について、「はい（不便だと感じている）」は、「③歩道に障害物（看板・自転車等）がある」（57.7%）が5割後半で最も高く、次いで「⑦外出時に休憩できる場所が少ない」（57.5%）、「⑬自転車利用や歩きタバコなどマナーが悪い」（56.9%）となっており、3項目で5割を超えている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別でみると、『⑧案内表示などがわかりにくい』は70歳代以上で高くなっている。

		①歩道に凹凸や傾斜がある	②歩道と車道の間段差がある	③歩道に障害物（看板・自転車等）がある	④施設内の移動がしづらい	⑤施設を利用したとき必要な設備やサービスがない	⑥外出時にトイレが使いにくい	⑦外出時に休憩できる場所が少ない	⑧案内表示などがわかりにくい	⑨欲しい情報が手に入らない	⑩申請書などの書類関係の書類がわかりにくい	⑪地域の活動やイベントに気軽に参加できない	⑫食事や買い物などを安心してできるお店が少ない	⑬自転車利用や歩きタバコなどマナーが悪い	⑭外出時に困ったとき手助けを頼みにくい
全体 (n=1,105)		45.0	42.4	57.7	18.5	20.0	45.2	57.5	23.0	26.5	42.0	27.0	15.2	56.9	31.5
性別	男性 (n=562)	40.6	38.8	54.4	14.9	16.5	42.9	53.7	19.4	22.8	37.9	24.0	12.8	53.7	27.8
	女性 (n=524)	49.2	45.8	61.8	22.3	23.9	47.5	61.6	26.5	30.2	46.4	30.3	17.7	60.5	35.9
年代別	20歳代以下 (n=138)	26.8	23.2	42.0	17.4	21.0	47.8	52.2	19.6	27.5	35.5	23.9	10.9	43.5	26.1
	30歳代 (n=204)	46.1	37.7	52.0	24.5	22.5	48.5	57.4	18.1	22.5	44.6	25.5	20.1	61.8	32.4
	40歳代 (n=187)	38.5	46.0	55.1	21.4	20.9	47.1	57.2	17.1	27.3	46.5	26.2	19.8	51.9	34.2
	50歳代 (n=200)	51.5	44.5	62.5	17.5	21.5	48.0	57.5	22.0	25.0	42.0	27.0	11.5	60.5	29.0
	60歳代 (n=161)	45.3	47.2	64.6	16.8	19.9	44.1	60.2	25.5	28.6	41.0	34.8	13.0	63.4	33.5
	70歳代以上 (n=203)	54.7	50.2	67.0	13.3	15.3	36.9	60.1	34.5	29.6	40.9	26.6	14.8	57.6	34.0

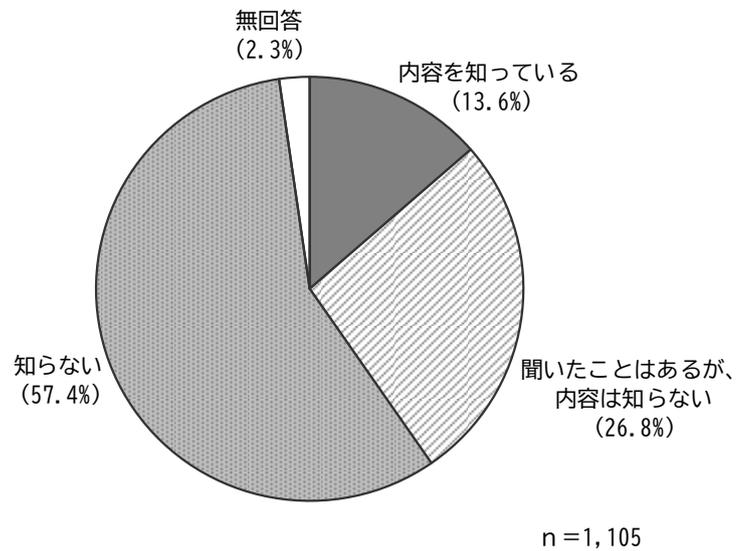
※上記表は「はい（不便だと感じている）」の割合を示したものである。

21 パートナーシップ宣誓について

「知らない」が5割後半

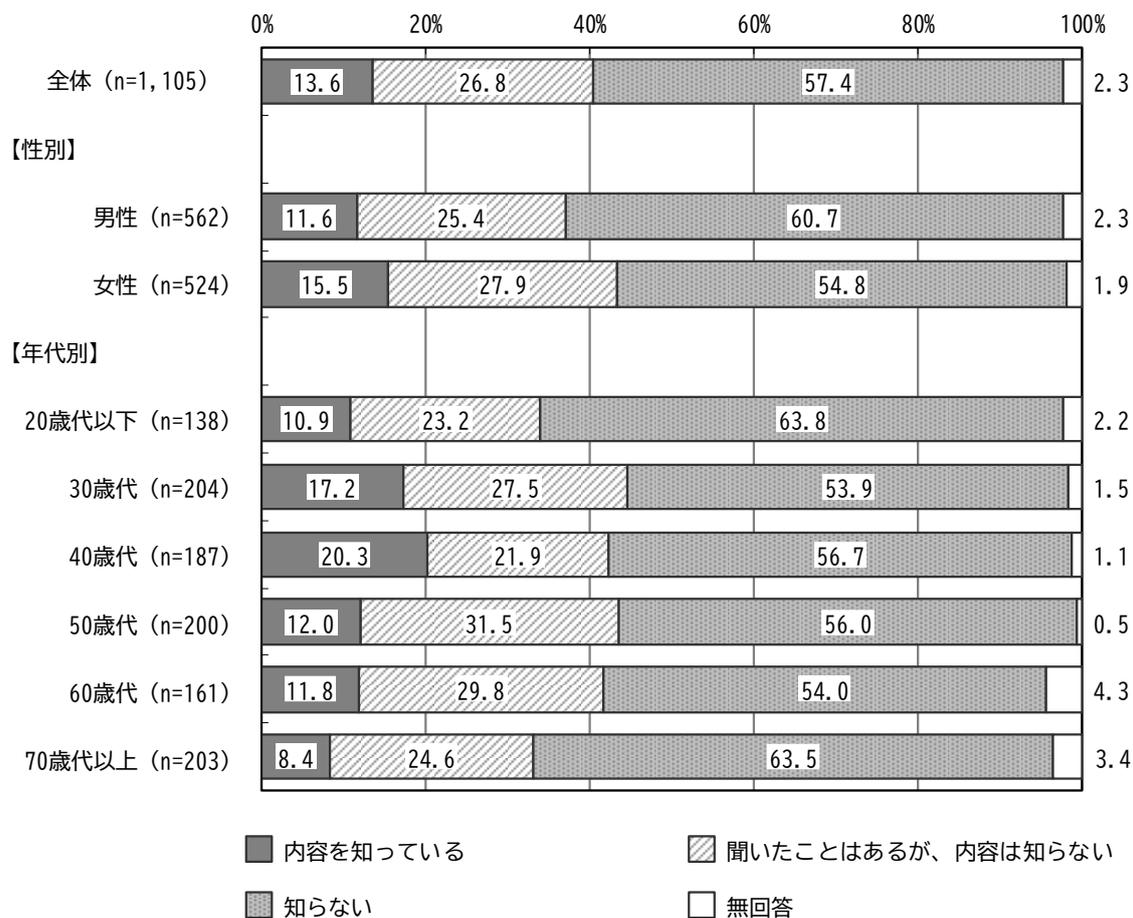
問44 中野区パートナーシップ宣誓※を知っていますか。(○は1つ)

※パートナーシップ関係にあるお二人が宣誓書等を区に提出し、区が宣誓書等受領証を交付する取組

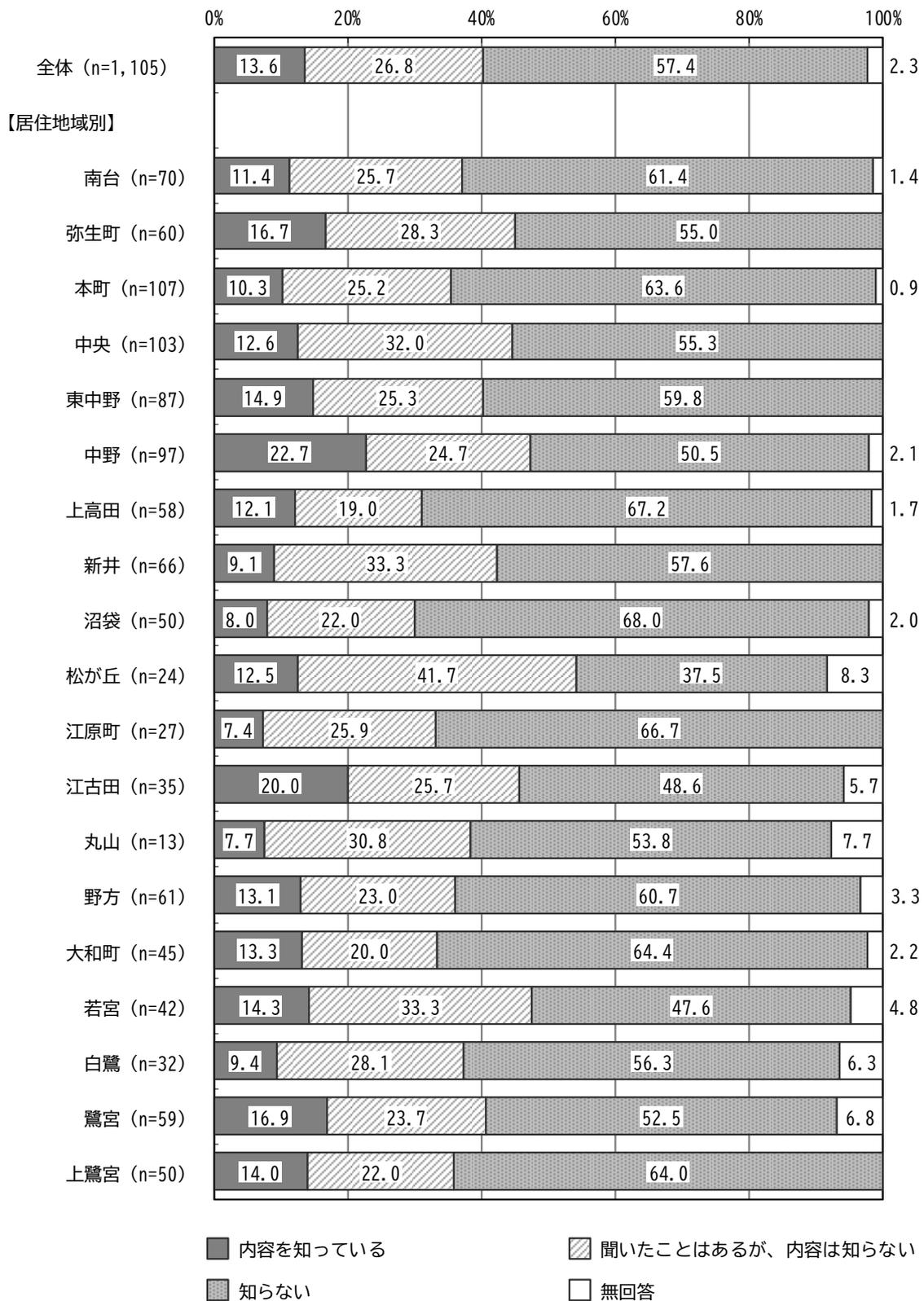


中野区パートナーシップ宣誓の認知度を聞いたところ、「知らない」(57.4%)が5割後半と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」(26.8%)、「内容を知っている」(13.6%)となっている。

性別で見ると、「知らない」は女性に比べ男性で約6割とやや高くなっている。
 年代別で見ると、「知らない」は20歳代以下、70歳代以上で6割前半とやや高くなっている。



居住地域別でみると、「知らない」は、上高田、沼袋で6割後半と高くなっている。



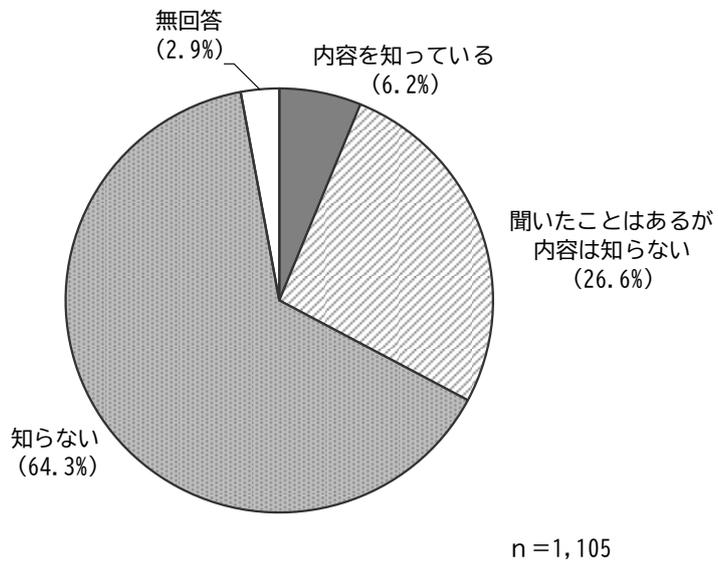
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

2.2 子どもの権利について

(1) 「中野区子どもの権利に関する条例」の認知度

「知らない」が6割半ば

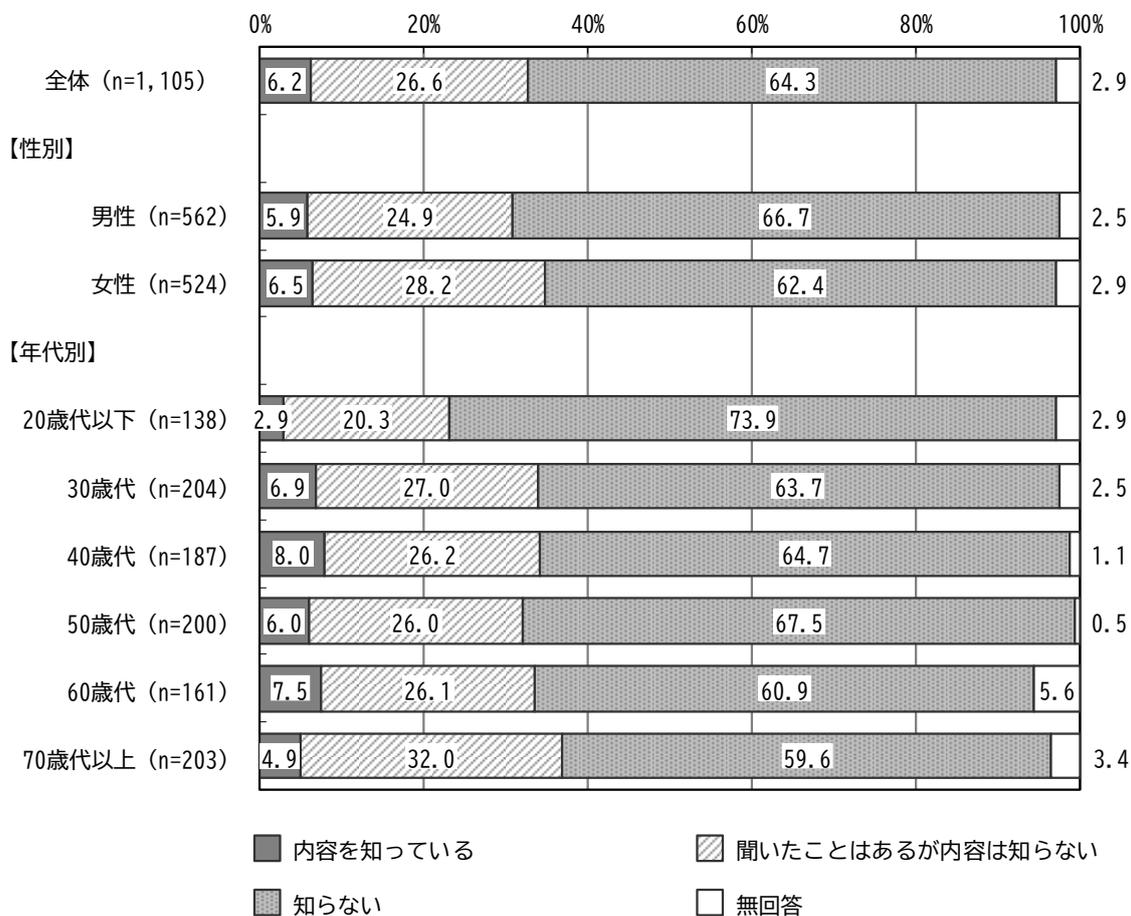
問45 子どもの権利を保障し、子どもにやさしいまちづくりを推進することを目的とした「中野区子どもの権利に関する条例」があることを知っていますか。(○は1つ)



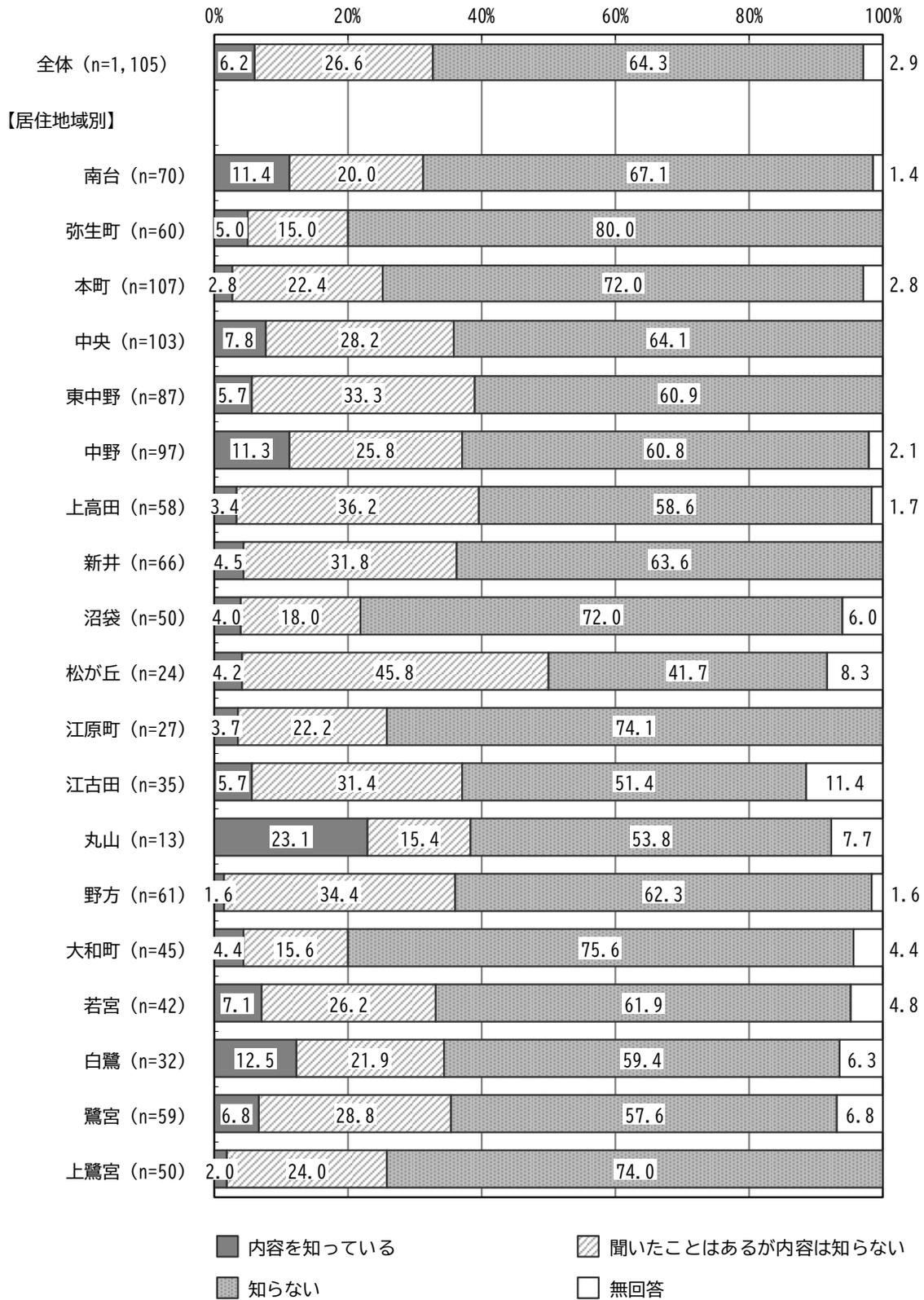
「中野区子どもの権利に関する条例」の認知度を聞くと、「知らない」(64.3%)が6割半ばで最も高く、次いで「聞いたことはあるが内容は知らない」(26.6%)、「内容を知っている」(6.2%)となっている。

性別で見ると、特徴的な差はみられない。

年代別で見ると、「知らない」は20歳代以下で7割前半とやや高くなっている。



居住地域別でみると、「知らない」は弥生町で8割と高くなっている。

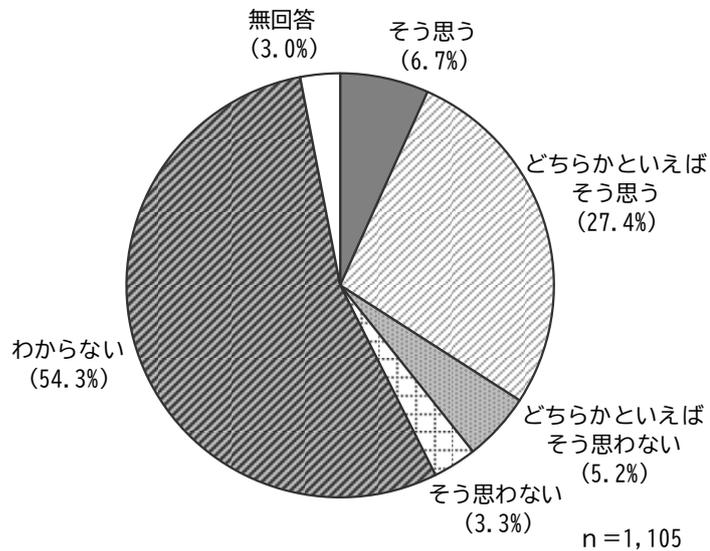


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(2) 子どもの権利

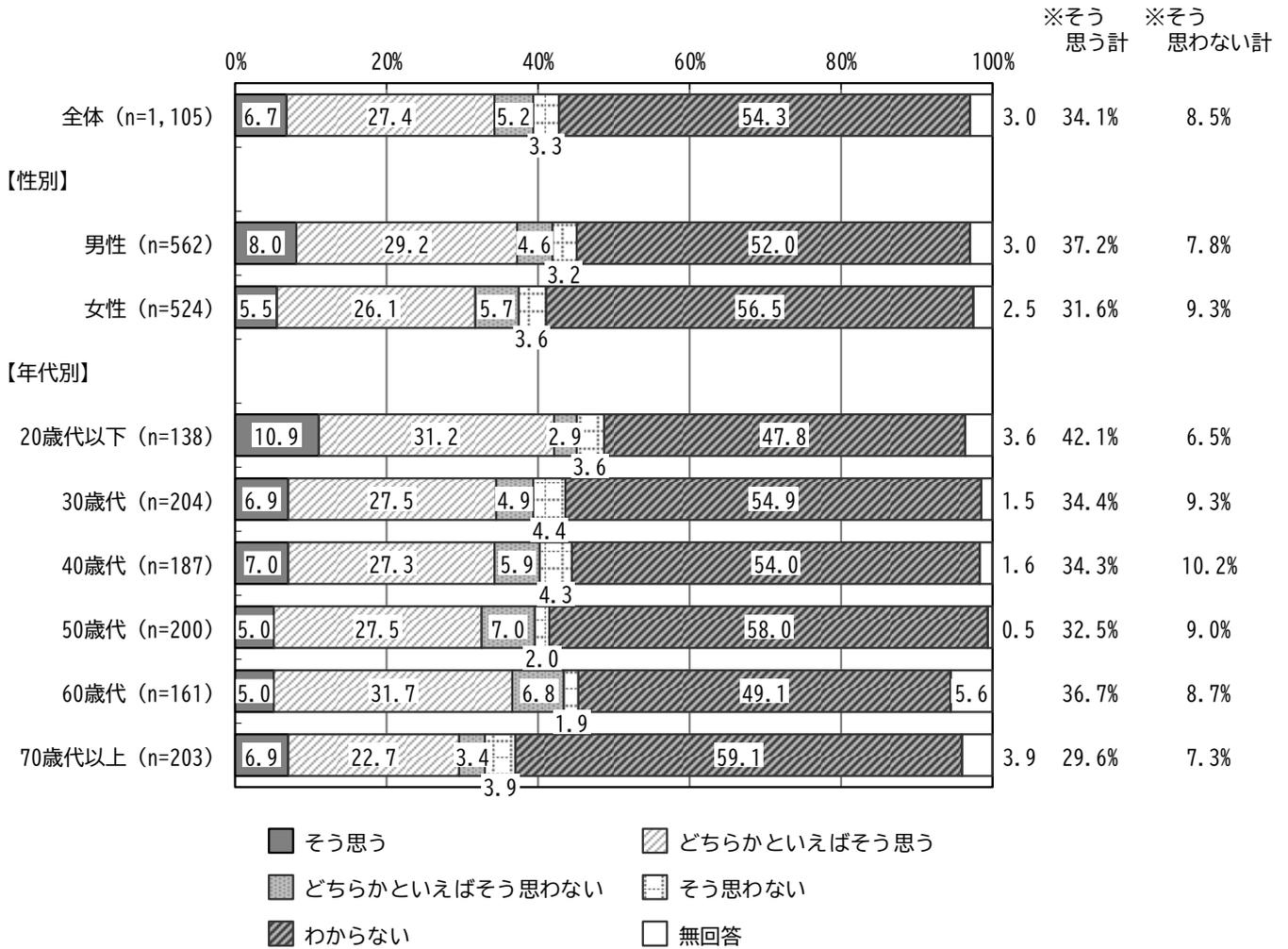
《そう思う》（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」）が3割半ば

問46 中野区において、子どもの権利（生命・生存・発達の権利、意見表明権、子どもの最善の利益、差別の禁止など）が守られていると思いますか。（○は1つ）

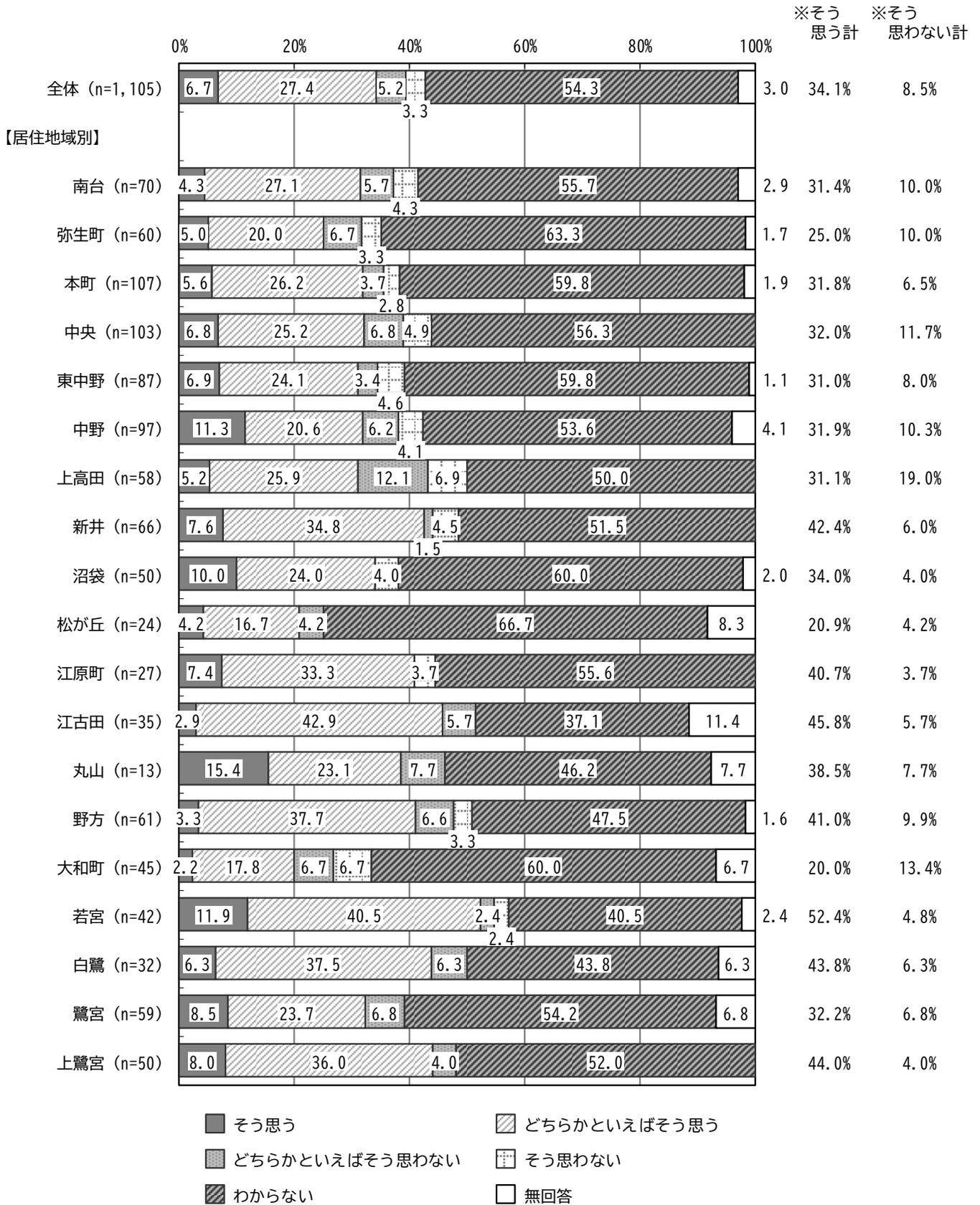


子どもの権利が守られていると思うか聞いたところ、「そう思う」（6.7%）と「どちらかといえばそう思う」（27.4%）を合わせた《そう思う》（34.1%）は3割半ばとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」（5.2%）と「そう思わない」（3.3%）を合わせた《そう思わない》（8.5%）は1割未満となっている。

性別でみると、「**そう思う**」は女性に比べ男性で3割後半とやや高くなっている。
 年代別でみると、「**そう思う**」は20歳代以下で4割前半とやや高くなっている。



居住地域別でみると、「<そう思う>」は若宮で5割前半と高くなっている。

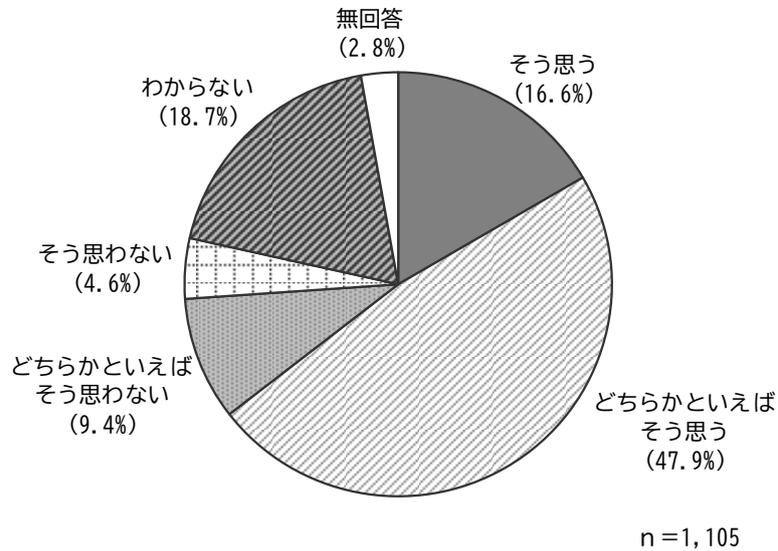


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

2.3 次世代に渡る定住意向について

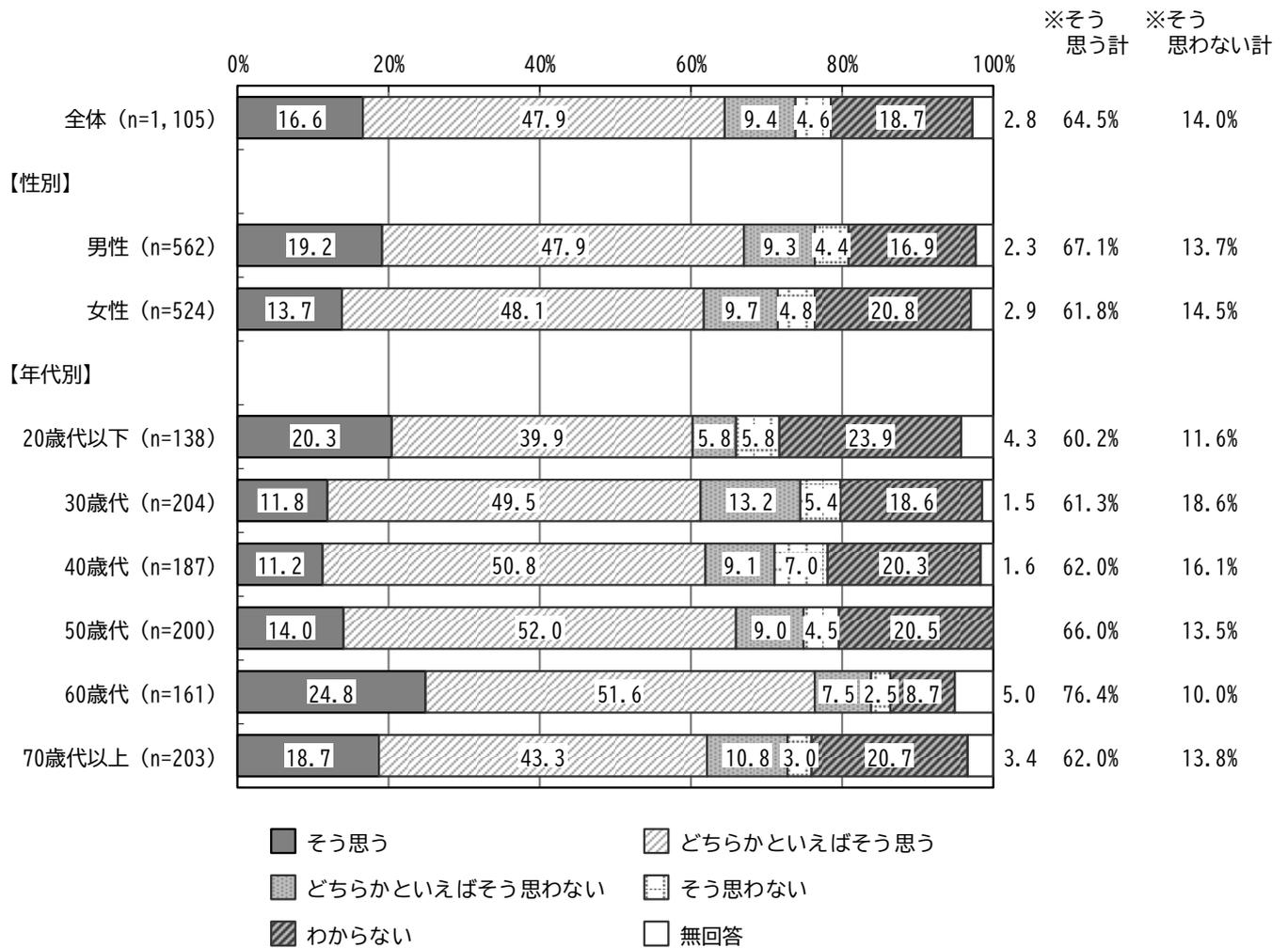
「**そう思う**」(「**そう思う**」と「**どちらかといえばそう思う**」)が**6割半ば**

問47 中野区のまちは、次世代を担う子どもたちに住んでもらいたいまちだと思いますか。(○は1つ)

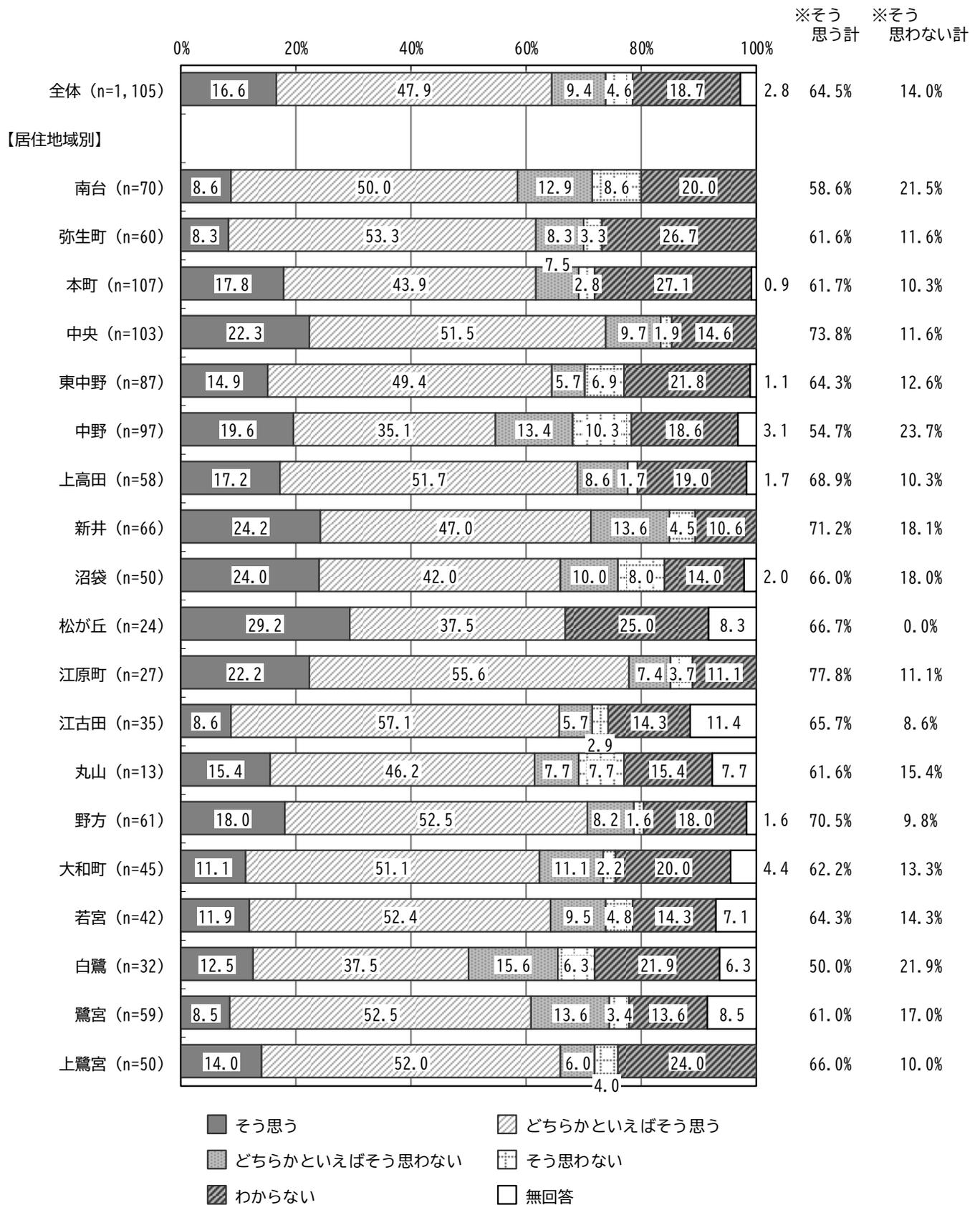


中野区のまちは次世代を担う子どもたちに住んでもらいたいまちだと思うかを聞いたところ、「**そう思う**」(16.6%)と「**どちらかといえばそう思う**」(47.9%)を合わせた**「そう思う」**(64.5%)は**6割半ば**となっている。一方、「**どちらかといえばそう思わない**」(9.4%)と「**そう思わない**」(4.6%)を合わせた**「そう思わない」**(14.0%)は**1割半ば**となっている。

性別で見ると、「そう思う」は女性に比べ男性で約2割とやや高くなっている。
 年代別で見ると、「そう思う」は60歳代で7割半ばと高くなっている。



居住地域別でみると、「<<そう思う>>は中央、野方で7割前半とやや高くなっている。一方、「<<そう思わない>>は中野で2割前半とやや高くなっている。



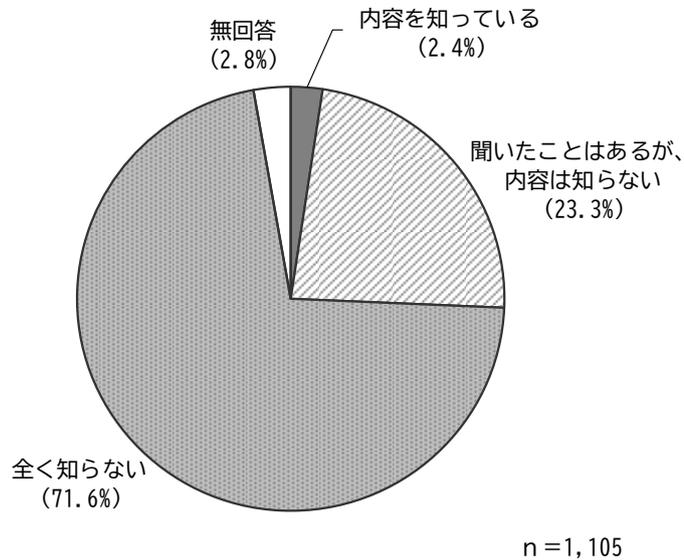
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

2.4 基本構想について

「全く知らない」が約7割

問48 区は2021年3月に、中野区基本構想を改定しました。

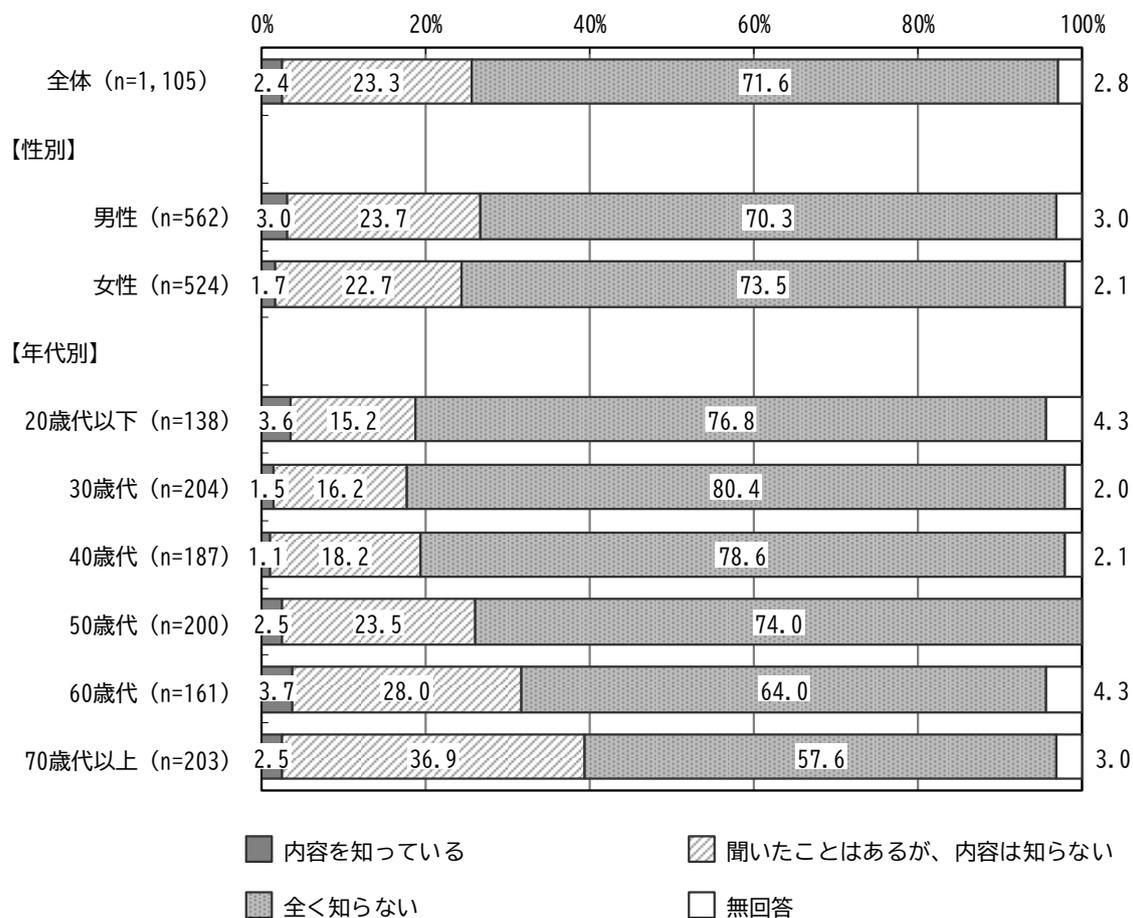
基本構想は、中野区に住む人々や、このまちで働き、学び、活動する全ての人々にとっての共通目標であり、最も基本的な区政運営の指針となるものです。現在の基本構想を知っていますか。(○は1つ)



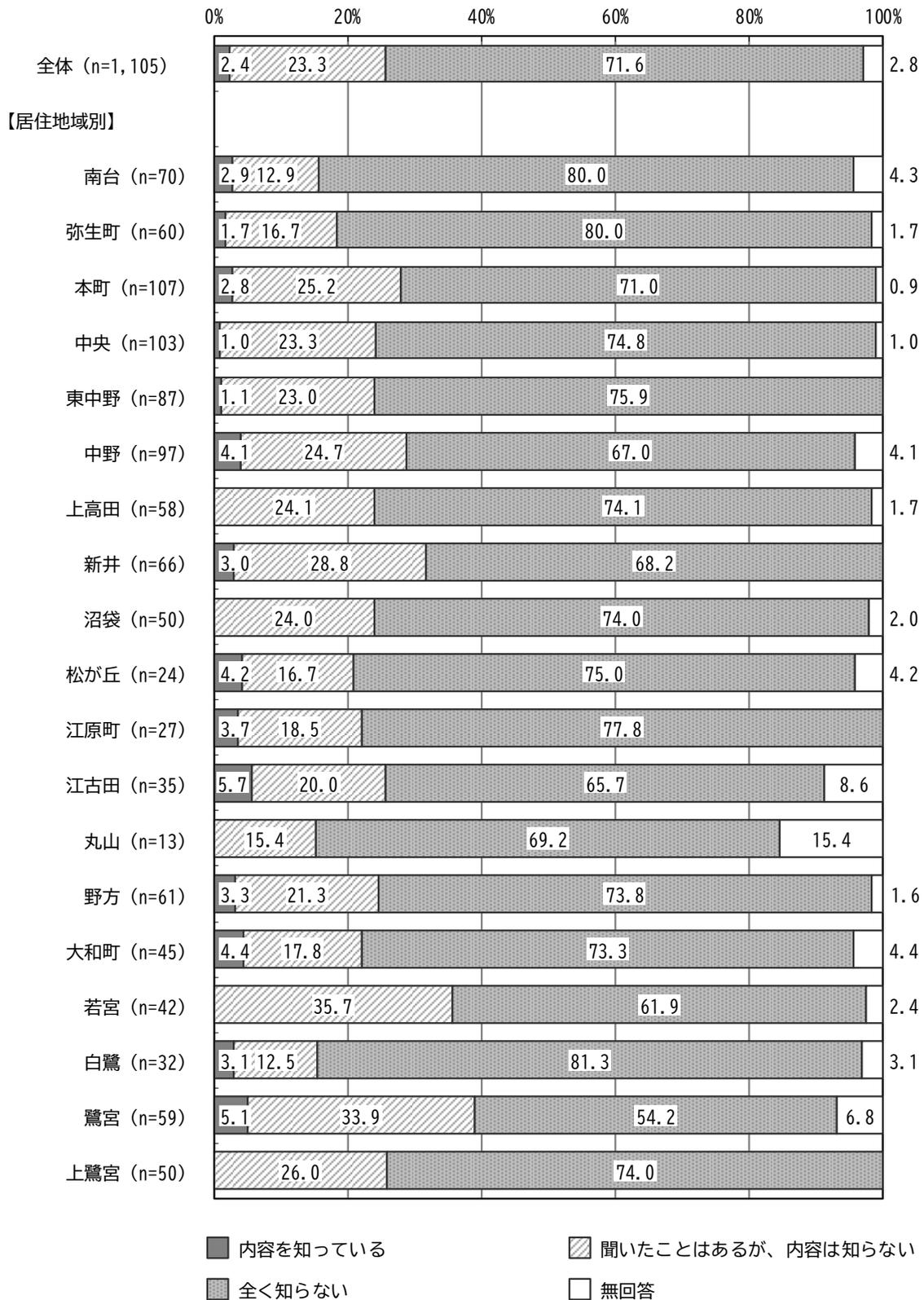
中野区基本構想の認知度を聞いたところ、「全く知らない」(71.6%)が約7割で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」(23.3%)、「内容を知っている」(2.4%)となっている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別でみると、「全く知らない」は30歳代で約8割とやや高くなっている。



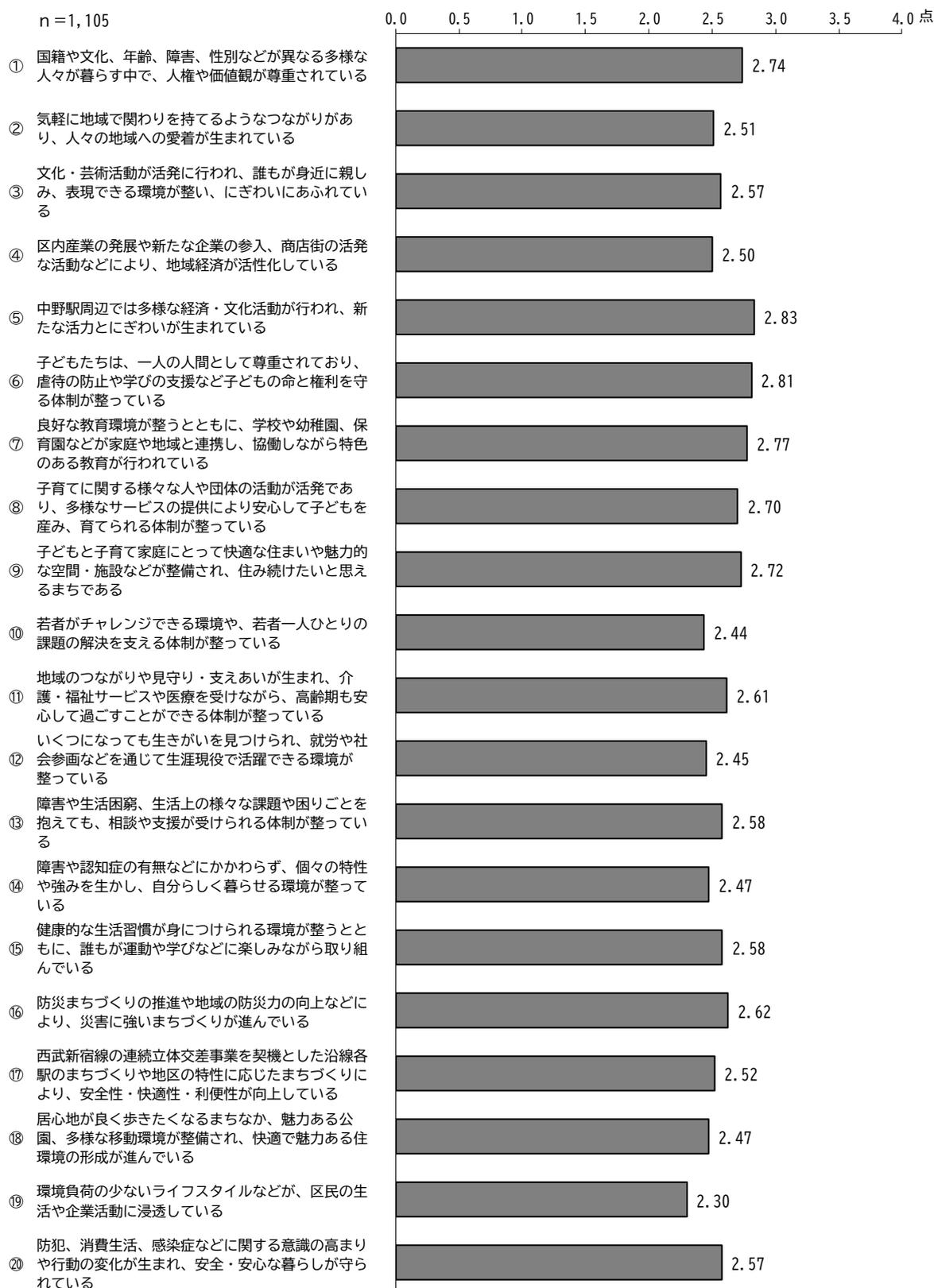
居住地域別でみると、「全く知らない」は南台、弥生町、白鷺で約8割とやや高くなっている。



※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

中野区のまちの姿について、「現在の中野区に対する、あなたの生活における実感」を聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた「そう思う」は、『⑤中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている』(57.1%)で5割後半と最も高く、次いで『①国籍や文化、年齢、障害、性別などが異なる多様な人々が暮らす中で、人権や価値観が尊重されている』(45.3%)、『③文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整い、にぎわいにあふれている』(41.4%)、となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた「そう思わない」は、『⑱居心地が良く歩きたくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境が整備され、快適で魅力ある住環境の形成が進んでいる』(32.5%)で3割前半と最も高く、次いで『②気軽に地域で関わりを持てるようなつながりがあり、人々の地域への愛着が生まれている』(32.2%)、『④区内産業の発展や新たな企業の参入、商店街の活発な活動などにより、地域経済が活性化している』(30.8%)、となっている。

各項目の平均値を比較すると、『⑤中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている』(2.83P)で最も高く、次いで『⑥子どもたちは、一人の人間として尊重されており、虐待の防止や学びの支援など子どもの命と権利を守る体制が整っている』(2.81P)、『⑦良好な教育環境が整うとともに、学校や幼稚園、保育園などが家庭や地域と連携し、協働しながら特色のある教育が行われている』(2.77P)となっている。



※「そう思う」を4点、「どちらかといえばそう思う」を3点、「どちらかといえばそう思わない」を2点、「そう思わない」を1点として、「わからない」、「無回答」を除いた母数で割り算出している。

「そう思う」の割合を性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別でみると、『⑮居心地が良く歩きたくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境が整備され、快適で魅力ある住環境の形成が進んでいる』は20歳代以下で高くなっている。

	① 国籍や文化、年齢、障害、性別などが異なる多様な人々が喜ぶ中で、人権や価値観が尊重されている	② 域への愛着が生まれている	③ 文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、表現でき、環境が整い、にぎわいがある	④ 区内産業の発展や新たな企業の参入、商店街の活発な活動などにより、地域経済が活性化している	⑤ 中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている	⑥ 子どもたちは、一人の人間として尊重されており、虐待の防止や学びの支援など子どもの命と権利を守る体制が整っている	⑦ 家庭や地域と連携し、協働しながら、学校や幼稚園、保育園などが、良好な教育環境を整うとともに、学校や幼稚園、保育園などが、家庭や地域と連携し、協働しながら、学校や幼稚園、保育園などが	⑧ 子育てに関する様々な安心な人や団体の活動が活発であり、多様なサービスを提供により安心して子どもを産み、育てられる体制が整っている	⑨ 子どもと子育て家庭にとって快適な住まいや魅力的な空間・施設などが整備され、住み続けたいと思えるまちである	⑩ 若者がチャレンジできる環境や、若者一人ひとりの課題の解決を支える体制が整っている	⑪ 地域のつながりや見守り・支えあいが生まれ、介護・福祉サービスや医療を受けながら、高齢期も安心して過ごすことができる体制が整っている	⑫ いくつになっても生きがいを見つければ、就労や社会参画などを通じて生涯現役で活躍できる環境が整っている	⑬ 障害や生活困窮、生活上の様々な課題や困りごとを抱えても、相談や支援が受けられる体制が整っている	⑭ 障害や認知症の有無などにかかわらず、個々の特性や強みを生かし、自分らしく暮らせる環境が整っている	⑮ 健康的な生活習慣が身につけられる環境が整うとともに、誰もが運動や学びなどに楽しみながら取り組んでいる	⑯ 防災まちづくりの推進や地域の防災力の向上などにより、災害に強いまちづくりが進んでいる	⑰ 西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくり・利便性が向上している	⑱ 居心地が良く歩きたくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境が整備され、快適で魅力ある住環境の形成が進んでいる	⑲ 環境負荷の少ないライフスタイルなどが、区民の生活や企業活動に浸透している	⑳ 防犯、消費生活、感染症などに関する意識の高まりや行動の変化が生まれ、安全・安心な暮らしが守られている	
全体 (n=1,105)	8.5	7.2	7.1	7.1	13.0	6.9	7.2	6.7	7.3	5.4	7.8	5.6	5.9	4.7	5.7	6.6	6.8	7.3	4.2	6.2	
性別	男性 (n=562)	10.1	8.7	8.5	7.7	14.6	8.4	8.5	8.9	6.4	9.4	6.2	6.8	5.7	7.1	8.2	8.4	8.5	5.0	6.9	
	女性 (n=524)	7.1	5.7	5.7	6.9	11.6	5.5	6.1	6.1	5.9	4.6	6.3	5.2	5.2	3.8	4.4	5.0	6.3	3.4	5.5	
年代別	20歳代以下 (n=138)	13.8	11.6	16.7	15.2	21.0	13.0	14.5	12.3	14.5	10.1	14.5	8.7	10.9	8.0	10.9	11.6	8.7	17.4	9.4	11.6
	30歳代 (n=204)	8.8	7.4	8.3	9.8	14.7	11.3	10.3	9.8	9.8	9.8	10.3	10.3	8.8	8.3	10.3	9.8	9.8	10.3	6.9	9.3
	40歳代 (n=187)	5.9	4.8	4.8	6.4	10.2	4.3	4.8	3.7	3.2	2.1	2.1	1.6	3.7	2.1	2.7	4.3	1.6	2.7	1.6	2.7
	50歳代 (n=200)	8.5	9.0	9.0	8.0	13.0	5.5	5.0	7.0	7.5	6.5	7.5	7.0	7.0	6.0	6.5	8.0	6.5	8.0	5.0	5.5
	60歳代 (n=161)	8.1	4.3	2.5	1.2	10.6	4.3	6.2	5.0	5.0	1.9	6.2	3.1	2.5	2.5	3.1	3.1	8.1	4.3	1.2	3.1
	70歳代以上 (n=203)	7.9	6.9	3.4	3.9	10.8	4.4	4.9	3.9	5.9	3.0	7.9	3.4	3.4	2.0	2.0	3.4	6.9	3.9	2.0	5.9

※上記表は「そう思う」の割合を示したものである。

「そう思う」の割合を居住地域別でみると、『②気軽に地域で関わりを持てるようなつながりがあり、人々の地域への愛着が生まれている』、『④区内産業の発展や新たな企業の参入、商店街の活発な活動などにより、地域経済が活性化している』、『⑦良好な教育環境が整うとともに、学校や幼稚園、保育園などが家庭や地域と連携し、協働しながら特色のある教育が行われている』、『⑨子どもと子育て家庭にとって快適な住まいや魅力的な空間・施設などが整備され、住み続けたいと思えるまちである』は沼袋で、それぞれ高くなっている。

	① 国籍や文化、年齢や価値観が尊重されている	② 気軽に地域で関わりを持てるようなつながりがあり、人々の地域への愛着が生まれている	③ 文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整い、にぎわいにあふれている	④ 区内産業の発展や新たな企業の参入、商店街の活発な活動などにより、地域経済が活性化している	⑤ 中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている	⑥ 子どもたちは、一人の人間として尊重されており、虐待の防止や学びの支援など子どもの命と権利を守る体制が整っている	⑦ 家庭や地域と連携し、協働しながら特色のある教育が行われている	⑧ 良好な教育環境が整うとともに、学校や幼稚園、保育園などがサービスの提供により安心して子どもを産み、育てられる体制が整っている	⑨ 子どもと子育て家庭にとって快適な住まいや魅力的な空間・施設などが整備され、住み続けたいと思えるまちである	⑩ 子育てに関する様々な人や団体の活動が活発であり、多様な体制を整えている	⑪ 若者がチャレンジできる環境や、若者一人ひとりの課題の解決を支える体制が整っている	⑫ 地域のつながりや見守り・支えあいが生まれ、介護・福祉サービスや医療を受けながら、高齢期も安心して過ごすことができる体制が整っている	⑬ いくつになっても生きがいを見つけれ、就労や社会参画などを通じて生涯現役で活躍できる環境が整っている	⑭ 障害や生活困窮、生活上の様々な課題や困りごとを抱えても、相談や支援を受けられる体制が整っている	⑮ 健康的な生活習慣が身につけられる環境が整うとともに、誰もが運動や学びなどに楽しみながら取り組んでいる	⑯ 防災まちづくりの推進や地域の防災力の向上などにより、災害に強いまちづくりが進んでいる	⑰ 西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくり・利便性が向上している	⑱ 居心地が良く歩きやすくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境が整備され、快適で魅力ある住環境の形成が進んでいる	⑲ 環境負荷の少ないライフスタイルなどが、区民の生活や企業活動に浸透している	⑳ 防犯、消費生活、感染症などに関する意識の高まりや行動の変化が生まれ、安全・安心な暮らしが守られている	
全体 (n=1,105)	8.5	7.2	7.1	7.1	13.0	6.9	7.2	6.7	7.3	5.4	7.8	5.6	5.9	4.7	5.7	6.6	6.8	7.3	4.2	6.2	
居住地域別	南台 (n=70)	7.1	1.4	4.3	2.9	11.4	5.7	4.3	5.7	2.9	4.3	5.7	2.9	2.9	5.7	2.9	4.3	5.7	2.9	7.1	
	弥生町 (n=60)	8.3	6.7	5.0	6.7	11.7	1.7	3.3	1.7	0.0	0.0	6.7	0.0	3.3	1.7	1.7	8.3	1.7	1.7	1.7	0.0
	本町 (n=107)	13.1	7.5	8.4	9.3	13.1	10.3	11.2	8.4	10.3	6.5	11.2	5.6	9.3	3.7	5.6	5.6	4.7	10.3	4.7	5.6
	中央 (n=103)	10.7	7.8	8.7	7.8	11.7	6.8	6.8	10.7	7.8	9.7	9.7	6.8	6.8	4.9	6.8	6.8	9.7	7.8	4.9	7.8
	東中野 (n=87)	4.6	3.4	1.1	3.4	5.7	4.6	4.6	4.6	4.6	3.4	5.7	4.6	4.6	4.6	2.3	4.6	6.9	4.6	4.6	4.6
	中野 (n=97)	14.4	15.5	15.5	15.5	20.6	9.3	11.3	10.3	13.4	10.3	16.5	15.5	10.3	12.4	11.3	12.4	10.3	13.4	9.3	9.3
	上高田 (n=58)	10.3	10.3	6.9	13.8	17.2	12.1	12.1	13.8	13.8	8.6	8.6	8.6	6.9	5.2	8.6	12.1	13.8	10.3	8.6	12.1
	新井 (n=66)	6.1	10.6	6.1	7.6	10.6	6.1	6.1	4.5	7.6	4.5	3.0	3.0	3.0	3.0	4.5	3.0	4.5	3.0	3.0	6.1
	沼袋 (n=50)	16.0	18.0	16.0	20.0	22.0	16.0	18.0	16.0	20.0	10.0	10.0	8.0	12.0	6.0	12.0	12.0	16.0	16.0	6.0	10.0
	松が丘 (n=24)	12.5	12.5	12.5	12.5	20.8	12.5	8.3	8.3	8.3	12.5	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	16.7	8.3	8.3	8.3
	江原町 (n=27)	3.7	0.0	3.7	0.0	11.1	0.0	3.7	0.0	3.7	0.0	3.7	3.7	3.7	3.7	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0
	江古田 (n=35)	2.9	2.9	8.6	0.0	11.4	2.9	5.7	2.9	2.9	0.0	2.9	2.9	0.0	2.9	2.9	0.0	5.7	2.9	0.0	5.7
	丸山 (n=13)	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	野方 (n=61)	8.2	6.6	6.6	6.6	11.5	4.9	8.2	3.3	4.9	1.6	4.9	3.3	6.6	3.3	8.2	6.6	4.9	9.8	3.3	4.9
	大和町 (n=45)	2.2	2.2	6.7	2.2	11.1	2.2	4.4	2.2	4.4	2.2	4.4	2.2	2.2	2.2	2.2	4.4	0.0	6.7	0.0	4.4
	若宮 (n=42)	9.5	9.5	2.4	4.8	19.0	11.9	9.5	9.5	7.1	7.1	11.9	7.1	7.1	9.5	7.1	11.9	7.1	9.5	7.1	9.5
	白鷺 (n=32)	3.1	6.3	9.4	3.1	21.9	6.3	6.3	6.3	3.1	6.3	9.4	6.3	6.3	6.3	9.4	6.3	3.1	6.3	3.1	6.3
鷺宮 (n=59)	10.2	3.4	3.4	1.7	8.5	6.8	3.4	5.1	6.8	5.1	5.1	3.4	3.4	3.4	5.1	8.5	10.2	6.8	3.4	5.1	
上鷺宮 (n=50)	2.0	2.0	4.0	4.0	8.0	2.0	0.0	0.0	2.0	4.0	6.0	2.0	4.0	2.0	0.0	2.0	2.0	4.0	0.0	4.0	

※上記表は「そう思う」の割合を示したものである。

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

「どちらかといえばそう思う」の割合を性別で見ると、『①国籍や文化、年齢、障害、性別などが異なる多様な人々が暮らす中で、人権や価値観が尊重されている』は男性に比べ女性で約4割とやや高くなっている。

年代別で見ると、『③文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整い、にぎわいにあふれている』は30歳代、40歳代で、『⑤中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている』は40歳代、60歳代で、『⑩若者がチャレンジできる環境や、若者一人ひとりの課題の解決を支える体制が整っている』、『⑫いくつになっても生きがいを見つけられ、就労や社会参画などを通じて生涯現役で活躍できる環境が整っている』、『⑯環境負荷の少ないライフスタイルなどが、区民の生活や企業活動に浸透している』は20歳代以下で、『⑬障害や生活困窮、生活上の様々な課題や困りごとを抱えても、相談や支援が受けられる体制が整っている』、『⑯防災まちづくりの推進や地域の防災力の向上などにより、災害に強いまちづくりが進んでいる』、『⑱居心地が良く歩きたくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境が整備され、快適で魅力ある住環境の形成が進んでいる』は60歳代で、『⑰西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくりや地区の特性に応じたまちづくりにより、安全性・快適性が向上している』は40歳代で、それぞれやや高くなっている。

	① 国籍や文化、年齢、障害、性別などが異なる多様な人々が暮らす中で、人権や価値観が尊重されている	② 気軽に地域で関わりを持てるようなつながりがあり、人々の地域への愛着が生まれている	③ 文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整い、にぎわいにあふれている	④ 区内産業の発展や新たな企業の参入、商店街の活発な活動などにより、地域経済が活性化している	⑤ 中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている	⑥ 子どもたちは、一人の人間として尊重されており、虐待の防止や学びの支援など子どもの命と権利を守る体制が整っている	⑦ 良質な教育環境が整うとともに、学校や幼稚園、保育園などが家庭や地域と連携し、協働しながら特色のある教育が行われている	⑧ 子育てに関する様々な人や団体の活動が活発であり、多様な体制が整っている	⑨ 子どもと子育て家庭にとつて快適な住まいや魅力的な空間・施設などが整備され、住み続けたいと思えるまちである	⑩ 若者がチャレンジできる環境や、若者一人ひとりの課題の解決を支える体制が整っている	⑪ 地域のつながりや見守り・支えあいが生まれ、介護・福祉サービスの体制が整っている	⑫ いくつになっても生きがいを見つけられ、就労や社会参画などを通じて生涯現役で活躍できる環境が整っている	⑬ 障害や生活困窮、生活上の様々な課題や困りごとを抱えても、相談や支援が受けられる体制が整っている	⑭ 障害や認知症の有無などにかかわらず、個々の特性や強みを生かし、自分らしく暮らせる環境が整っている	⑮ 健康的な生活習慣が身につけられる環境が整うとともに、誰もが運動や学びなどに楽しみながら取り組んでいる	⑯ 防災まちづくりの推進や地域の防災力の向上などにより、災害に強いまちづくりが進んでいる	⑰ 西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくりや地区の特性に応じたまちづくりにより、安全性・快適性が向上している	⑱ 居心地が良く歩きたくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境が整備され、快適で魅力ある住環境の形成が進んでいる	⑲ 環境負荷の少ないライフスタイルなどが、区民の生活や企業活動に浸透している	⑳ 防犯、消費生活、感染症などに関する意識の高まりや行動の変化が生まれ、安全・安心な暮らしが守られている	
全体 (n=1,105)	36.8	31.6	34.3	33.7	44.1	31.0	28.9	25.5	29.0	18.1	26.9	20.5	22.4	19.7	27.9	31.0	26.8	32.2	17.9	32.5	
性別	男性 (n=562)	34.5	32.0	33.3	33.1	42.3	31.3	28.3	26.0	30.4	18.5	27.2	22.2	24.2	21.5	28.5	29.0	29.2	32.9	20.6	32.4
	女性 (n=524)	39.7	31.3	35.5	34.5	46.4	30.9	30.0	25.4	27.7	17.9	26.7	18.7	20.4	18.3	27.1	33.8	24.2	31.5	15.1	33.2
年代別	20歳代以下 (n=138)	37.0	28.3	33.3	36.2	36.2	27.5	26.1	27.5	29.7	26.1	29.7	27.5	21.7	23.9	29.0	31.2	29.7	31.9	23.9	36.2
	30歳代 (n=204)	41.7	33.3	40.7	37.7	45.6	29.9	28.4	27.9	29.4	16.7	24.5	21.6	19.6	21.6	30.9	29.9	23.0	33.3	19.1	28.4
	40歳代 (n=187)	37.4	31.6	40.1	37.4	49.7	32.6	26.7	24.6	25.7	18.7	25.7	20.9	19.8	16.0	27.8	33.2	32.1	36.9	17.1	33.7
	50歳代 (n=200)	36.0	30.5	28.0	27.0	46.0	29.5	28.5	24.0	31.0	18.0	27.0	18.5	26.0	18.0	25.5	28.0	27.0	29.5	16.5	36.0
	60歳代 (n=161)	39.8	36.0	34.8	34.8	50.3	33.5	29.2	22.4	31.7	19.9	31.7	21.1	28.6	24.2	28.6	38.5	27.3	38.5	19.9	36.0
	70歳代以上 (n=203)	31.0	30.5	30.0	30.0	36.9	32.5	33.5	27.1	27.1	12.3	24.6	15.8	19.2	17.2	25.6	28.1	23.2	25.1	12.8	27.6

※上記表は「どちらかといえばそう思う」の割合を示したものである。

「どちらかといえばそう思う」の割合を居住地域別で見ると、『①国籍や文化、年齢、障害、性別などが異なる多様な人々が暮らす中で、人権や価値観が尊重されている』は若宮で、『③文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整い、にぎわいにあふれている』は野方で、『⑥子どもたちは、一人の人間として尊重されており、虐待の防止や学びの支援など子どもの命と権利を守る体制が整っている』は新井で、『⑨子どもと子育て家庭にとって快適な住まいや魅力的な空間・施設などが整備され、住み続けたいと思えるまちである』は大和町で、『⑬障害や生活困窮、生活上の様々な課題や困りごとを抱えても、相談や支援が受けられる体制が整っている』は江古田で、『⑭障害や認知症の有無などにかかわらず、個々の特性や強みを生かし、自分らしく暮らせる環境が整っている』は本町で、『⑮健康的な生活習慣が身につけられる環境が整うとともに、誰もが運動や学びなどに楽しみながら取り組んでいる』は白鷺で、『⑰西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくりや地区の特性に応じたまちづくりにより、安全性・快適性・利便性が向上している』は沼袋で、それぞれ高くなっている。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳		
	国籍や文化、年齢、障害、性別などが異なる多様な人々が暮らす中で、人権や価値観が尊重されている	気軽に地域で関わりを持てるようなつながりがあり、人々の地域への愛着が生まれている	文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整い、にぎわいにあふれている	区内産業の発展や新たな企業の参入、商店街の活発な活動などにより、地域経済が活性化している	中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている	子どもたちは、一人の人間として尊重されており、虐待の防止や学びの支援など子どもの命と権利を守る体制が整っている	家庭や地域と連携し、協働しながら特色のある教育が行われていく	良好な教育環境を整うとともに、学校や幼稚園、保育園などが整っている	子育てに関する様々な人や団体の活動が活発であり、多様なサービスを提供している	子どもと子育て家庭にとって快適な住まいや魅力的な空間・施設などが整備され、住み続けたいと思えるまちである	若者がチャレンジできる環境や、若者一人ひとりの課題の解決を支える体制が整っている	地域のつながりや見守り・支えあいがある環境が整っている	いくつになっても生きがいを見つければ、就労や社会参画などを通じて生涯現役で活躍できる環境が整っている	障害や生活困窮、生活上の様々な課題や困りごとを抱えても、相談や支援が受けられる体制が整っている	障害や認知症の有無などにかかわらず、個々の特性や強みを生かし、自分らしく暮らせる環境が整っている	健康的な生活習慣が身につけられる環境が整うとともに、誰もが運動や学びなどに楽しみながら取り組んでいる	防災まちづくりの推進や地域の防災力の向上などにより、災害に強いまちづくりが進んでいる	西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくりや地区の特性に応じたまちづくりにより、安全性・快適性・利便性が向上している	環境負荷の少ないライフスタイルなどが、区民の生活や企業活動に浸透している	防犯、消費生活、感染症などに関する意識の高まりや行動の変化が生まれ、安全・安心な暮らしが守られている	
全体 (n=1,105)	36.8	31.6	34.3	33.7	44.1	31.0	28.9	25.5	29.0	18.1	26.9	20.5	22.4	19.7	27.9	31.0	26.8	32.2	17.9	32.5	
居住地域別	南台 (n=70)	35.7	28.6	25.7	27.1	34.3	30.0	31.4	28.6	28.6	10.0	24.3	12.9	11.4	11.4	15.7	27.1	17.1	22.9	15.7	22.9
	弥生町 (n=60)	36.7	28.3	30.0	30.0	48.3	33.3	21.7	25.0	28.3	23.3	33.3	25.0	28.3	28.3	25.0	31.7	23.3	45.0	16.7	46.7
	本町 (n=107)	32.7	33.6	35.5	33.6	43.9	23.4	21.5	26.2	35.5	24.3	29.9	29.0	26.2	29.9	33.6	42.1	28.0	36.4	18.7	34.6
	中央 (n=103)	36.9	37.9	37.9	37.9	54.4	37.9	36.9	31.1	32.0	18.4	26.2	27.2	30.1	26.2	30.1	33.0	21.4	32.0	18.4	36.9
	東中野 (n=87)	32.2	25.3	28.7	28.7	49.4	20.7	19.5	18.4	19.5	9.2	20.7	11.5	14.9	11.5	23.0	21.8	24.1	25.3	11.5	20.7
	中野 (n=97)	32.0	29.9	29.9	38.1	36.1	24.7	24.7	16.5	14.4	15.5	14.4	16.5	22.7	15.5	23.7	21.6	24.7	25.8	14.4	24.7
	上高田 (n=58)	29.3	19.0	29.3	34.5	37.9	24.1	27.6	17.2	24.1	15.5	15.5	8.6	13.8	17.2	24.1	19.0	20.7	32.8	6.9	19.0
	新井 (n=66)	43.9	31.8	40.9	47.0	57.6	43.9	45.5	34.8	34.8	27.3	33.3	27.3	30.3	25.8	30.3	43.9	34.8	43.9	27.3	47.0
	沼袋 (n=50)	44.0	34.0	34.0	32.0	34.0	28.0	22.0	18.0	20.0	16.0	32.0	22.0	26.0	22.0	32.0	30.0	42.0	44.0	24.0	32.0
	松が丘 (n=24)	20.8	29.2	25.0	20.8	37.5	25.0	12.5	12.5	16.7	8.3	20.8	25.0	12.5	12.5	20.8	16.7	16.7	25.0	12.5	20.8
	江原町 (n=27)	48.1	48.1	33.3	37.0	48.1	37.0	29.6	44.4	55.6	18.5	63.0	11.1	11.1	14.8	37.0	33.3	33.3	37.0	29.6	48.1
	江古田 (n=35)	45.7	37.1	42.9	31.4	37.1	40.0	28.6	20.0	31.4	22.9	28.6	17.1	34.3	17.1	31.4	45.7	25.7	37.1	22.9	34.3
	丸山 (n=13)	53.8	23.1	30.8	38.5	69.2	46.2	53.8	38.5	46.2	15.4	23.1	7.7	15.4	7.7	15.4	46.2	46.2	38.5	15.4	46.2
	野方 (n=61)	42.6	27.9	47.5	45.9	57.4	34.4	29.5	31.1	31.1	19.7	32.8	21.3	18.0	18.0	31.1	27.9	36.1	36.1	23.0	32.8
	大和町 (n=45)	37.8	33.3	40.0	35.6	48.9	37.8	24.4	31.1	42.2	24.4	28.9	22.2	22.2	15.6	26.7	31.1	35.6	26.7	17.8	31.1
	若宮 (n=42)	52.4	33.3	42.9	40.5	47.6	33.3	33.3	31.0	28.6	26.2	33.3	21.4	21.4	21.4	28.6	35.7	31.0	28.6	11.9	33.3
	白鷺 (n=32)	43.8	37.5	37.5	25.0	31.3	34.4	34.4	28.1	28.1	15.6	25.0	21.9	21.9	18.8	40.6	43.8	18.8	12.5	15.6	31.3
鷺宮 (n=59)	25.4	28.8	32.2	18.6	32.2	27.1	28.8	23.7	27.1	13.6	23.7	20.3	25.4	18.6	25.4	25.4	18.6	28.8	18.6	37.3	
上鷺宮 (n=50)	36.0	40.0	34.0	28.0	38.0	40.0	44.0	30.0	36.0	16.0	28.0	22.0	20.0	20.0	32.0	32.0	34.0	34.0	22.0	40.0	

※上記表は「どちらかといえばそう思う」の割合を示したものである。

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

「どちらかといえばそう思わない」の割合を性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別でみると、『③文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整い、にぎわいにあふれている』、『④区内産業の発展や新たな企業の参入、商店街の活発な活動などにより、地域経済が活性化している』、『⑦良好な教育環境が整うとともに、学校や幼稚園、保育園などが家庭や地域と連携し、協働しながら特色のある教育が行われている』などの12項目は60歳代で、それぞれやや高くなっている。

	① 国籍や文化、年齢、障害、性別などが異なる多様な人々が暮らす中で、人権や価値観が尊重されている	② 気軽に地域で関わりを持てるようなつながりがあり、人々の地域への愛着が生まれている	③ 文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整い、にぎわいにあふれている	④ 区内産業の発展や新たな企業の参入、商店街の活発な活動などにより、地域経済が活性化している	⑤ 中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている	⑥ 子どもたちは、一人の人間として尊重されており、虐待の防止や学びの支援など子どもの命と権利を守る体制が整っている	⑦ 家庭や地域と連携し、協働しながら特色のある教育が行われている	⑧ 良好な教育環境が整うとともに、学校や幼稚園、保育園などが整っている	⑨ サービスの提供により安心して子どもを産み、育てられる体制が整っている	⑩ 子どもと子育て家庭にとつて快適な住まいや魅力的な空間・施設などが整備され、住み続けたいと思えるまちである	⑪ 子育てに関する様々な人や団体の活動が活発であり、多様な体制が整っている	⑫ 若者がチャレンジできる環境や、若者一人ひとりの課題の解決を支える体制が整っている	⑬ 地域をつながりや見守り・支えあいが生まれ、介護・福祉サービスや医療を受けながら、高齢期も安心して過ごすことができる体制が整っている	⑭ いくつになっても生きがいを見つけられ、就労や社会参画などを通じて生涯現役で活躍できる環境が整っている	⑮ 障害や生活困窮、生活上の様々な課題や困りごとを抱えても、相談や支援を受けられる体制が整っている	⑯ 健康的な生活習慣が身につけられる環境が整うとともに、誰もが運動や学びなどに楽しみながら取り組んでいる	⑰ 防災まちづくりの推進や地域の防災力の向上などにより、災害に強いまちづくりが進んでいる	⑱ 西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくり・利便性が向上している	⑲ 動環境が良く歩きやすくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境が整備され、快適で魅力ある住環境の形成が進んでいる	⑳ 防犯、消費生活、感染症などに関する意識の高まりや行動の変	
全体 (n=1,105)	12.4	22.4	19.4	18.5	11.3	8.8	8.5	10.9	11.9	15.5	14.2	15.5	12.5	12.8	13.9	14.8	11.7	19.6	17.1	15.6	
性別	男性 (n=562)	12.3	21.7	20.3	18.3	10.1	7.1	6.8	9.6	9.8	16.0	11.9	15.1	11.9	12.1	13.9	15.1	11.4	17.8	17.1	15.5
	女性 (n=524)	12.8	23.3	18.5	18.7	12.4	10.5	10.3	12.4	14.5	15.1	16.2	15.8	13.4	13.2	14.5	14.7	12.0	21.8	17.4	15.6
年代別	20歳代以下 (n=138)	7.2	14.5	10.9	10.9	5.8	5.8	2.9	2.9	2.2	12.3	8.0	8.0	9.4	5.1	8.0	8.0	7.2	12.3	9.4	10.1
	30歳代 (n=204)	13.2	24.5	15.2	17.6	10.3	5.9	6.9	8.8	11.3	15.2	9.8	13.2	9.8	7.8	9.8	12.3	11.3	18.1	15.2	13.7
	40歳代 (n=187)	16.6	25.7	20.9	16.6	14.4	10.2	11.8	12.3	17.6	15.0	17.6	16.0	13.9	13.9	12.8	13.9	12.8	23.0	21.4	23.5
	50歳代 (n=200)	13.5	21.0	19.5	22.5	10.0	11.0	8.5	12.0	11.5	13.0	10.0	15.0	9.0	14.0	13.0	17.5	12.0	18.5	14.0	10.5
	60歳代 (n=161)	12.4	26.1	25.5	24.8	12.4	9.3	13.7	16.8	14.9	22.4	21.7	24.8	19.3	20.5	22.4	16.1	9.9	21.1	22.4	21.1
	70歳代以上 (n=203)	10.3	21.7	22.7	17.7	13.3	9.9	6.9	11.3	12.3	14.8	17.2	15.8	13.8	13.8	18.2	18.7	14.8	22.2	19.2	13.8

※上記表は「どちらかといえばそう思わない」の割合を示したものである。

「どちらかといえばそう思わない」の割合を居住地域別でみると、『②気軽に地域に関わりを持てるようなつながりがあり、人々の地域への愛着が生まれている』は上高田で、『⑤中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている』は江古田で、『⑩西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくりや地区の特性に応じたまちづくりにより、安全性・快適性・利便性が向上している』は若宮、白鷺、鷺宮で、『⑬居心地が良く歩きたくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境が整備され、快適で魅力ある住環境の形成が進んでいる』は白鷺で、それぞれ高くなっている。

	① 国籍や文化、年齢、障害、性別などが異なる多様な人々が暮らす中で、人権や価値観が尊重されている	② 気軽に地域に関わりを持てるようなつながりがあり、人々の地域への愛着が生まれている	③ 文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整い、にぎわいにあふれている	④ 区内産業の発展や新たな企業の参入、商店街の活発な活動などにより、地域経済が活性化している	⑤ 中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている	⑥ 子どもたちは、一人の人間として尊重されており、虐待の防止や学びの支援など子どもの命と権利を守る体制が整っている	⑦ 家庭や地域と連携し、協働しながら特色のある教育が行われている	⑧ 良好な教育環境が整うとともに、学校や幼稚園、保育園などが揃っている	⑨ サービスの提供により安心して子どもを産み、育てられる体制が整っている	⑩ 子どもと子育て家庭にとつて快適な住まいや魅力的な空間・施設などが整備され、住み続けたいと思えるまちである	⑪ 子育てに関する様々な人や団体の活動が活発であり、多様な体制が整っている	⑫ 若者がチャレンジできる環境や、若者一人ひとりの課題の解決を支える体制が整っている	⑬ 地域のつながりや見守り・支えあいが生まれ、介護・福祉サービスや医療を受けながら、高齢期も安心して過ごすことができる体制が整っている	⑭ いくつになっても生きがいを見つけれ、就労や社会参画などを通じて生涯現役で活躍できる環境が整っている	⑮ 障害や生活困窮、生活上の様々な課題や困りごとを抱えても、相談や支援が受けられる体制が整っている	⑯ 障害や認知症の有無などにかかわらず、個々の特性や強みを生かし、自分らしく暮らせる環境が整っている	⑰ 健康的な生活習慣が身につけられる環境が整うとともに、誰もが運動や学びなどに楽しみながら取り組んでいる	⑱ 防災まちづくりの推進や地域の防災力の向上などにより、災害に強いまちづくりが進んでいる	⑳ 西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくり・利便性が向上している	㉑ 居心地が良く歩きたくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境が整備され、快適で魅力ある住環境の形成が進んでいる	㉒ 環境負荷の少ないライフスタイルなどが、区民の生活や企業活動に浸透している	㉓ 防犯、消費生活、感染症などに関する意識の高まりや行動の変化が生まれ、安全・安心な暮らしが守られている	
全体 (n=1,105)	12.4	22.4	19.4	18.5	11.3	8.8	8.5	10.9	11.9	15.5	14.2	15.5	12.5	12.8	13.9	14.8	11.7	19.6	17.1	15.6			
居住地域別	南台 (n=70)	10.0	24.3	18.6	24.3	10.0	5.7	11.4	12.9	15.7	18.6	11.4	12.9	17.1	14.3	17.1	17.1	10.0	17.1	12.9	12.9		
	弥生町 (n=60)	10.0	20.0	23.3	15.0	8.3	5.0	5.0	10.0	13.3	18.3	8.3	13.3	11.7	8.3	16.7	13.3	6.7	21.7	23.3	15.0		
	本町 (n=107)	14.0	17.8	18.7	18.7	13.1	9.3	8.4	12.1	5.6	16.8	13.1	12.1	10.3	11.2	14.0	13.1	5.6	15.0	15.0	10.3		
	中央 (n=103)	9.7	15.5	20.4	18.4	9.7	8.7	7.8	9.7	11.7	10.7	16.5	17.5	14.6	14.6	20.4	14.6	11.7	19.4	14.6	17.5		
	東中野 (n=87)	12.6	26.4	20.7	13.8	5.7	8.0	11.5	8.0	13.8	9.2	9.2	12.6	8.0	6.9	11.5	16.1	6.9	21.8	16.1	16.1		
	中野 (n=97)	16.5	16.5	17.5	12.4	15.5	9.3	4.1	10.3	9.3	9.3	14.4	11.3	11.3	10.3	14.4	15.5	5.2	18.6	13.4	21.6		
	上高田 (n=58)	13.8	32.8	20.7	17.2	8.6	6.9	8.6	12.1	8.6	15.5	13.8	13.8	5.2	6.9	3.4	13.8	6.9	13.8	19.0	13.8		
	新井 (n=66)	16.7	30.3	21.2	18.2	10.6	7.6	7.6	19.7	21.2	18.2	16.7	22.7	10.6	16.7	16.7	15.2	19.7	22.7	18.2	12.1		
	沼袋 (n=50)	12.0	22.0	22.0	20.0	18.0	8.0	8.0	10.0	14.0	20.0	12.0	14.0	12.0	8.0	12.0	18.0	8.0	8.0	20.0	18.0		
	松が丘 (n=24)	4.2	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	4.2	4.2	4.2	12.5	16.7	8.3	8.3	12.5	12.5	12.5	12.5	4.2	0.0		
	江原町 (n=27)	14.8	25.9	37.0	33.3	11.1	7.4	14.8	7.4	3.7	22.2	11.1	22.2	18.5	18.5	14.8	7.4	3.7	25.9	14.8	14.8		
	江古田 (n=35)	8.6	28.6	8.6	25.7	25.7	5.7	2.9	8.6	5.7	17.1	17.1	22.9	14.3	20.0	8.6	8.6	20.0	20.0	20.0	14.3		
	丸山 (n=13)	0.0	30.8	23.1	38.5	15.4	23.1	7.7	0.0	7.7	23.1	30.8	30.8	23.1	15.4	15.4	23.1	7.7	30.8	15.4	23.1		
	野方 (n=61)	11.5	23.0	14.8	19.7	13.1	9.8	9.8	9.8	16.4	14.8	16.4	19.7	16.4	14.8	14.8	23.0	13.1	21.3	21.3	19.7		
	大和町 (n=45)	13.3	22.2	13.3	13.3	11.1	8.9	13.3	13.3	8.9	24.4	17.8	11.1	20.0	20.0	17.8	17.8	13.3	26.7	17.8	20.0		
	若宮 (n=42)	11.9	28.6	16.7	19.0	4.8	11.9	9.5	7.1	19.0	14.3	11.9	14.3	9.5	11.9	14.3	7.1	23.8	19.0	19.0	14.3		
	白鷺 (n=32)	6.3	18.8	18.8	18.8	6.3	9.4	9.4	6.3	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	15.6	3.1	9.4	21.9	34.4	25.0	12.5		
鷺宮 (n=59)	18.6	23.7	16.9	23.7	20.3	11.9	10.2	16.9	15.3	18.6	20.3	18.6	18.6	18.6	13.6	18.6	23.7	23.7	16.9	18.6			
上鷺宮 (n=50)	16.0	24.0	26.0	16.0	4.0	12.0	4.0	8.0	12.0	16.0	12.0	16.0	6.0	10.0	14.0	10.0	14.0	16.0	20.0	14.0			

※上記表は「どちらかといえばそう思わない」の割合を示したものである。

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

「そう思わない」の割合を性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別でみると、『⑪地域のつながりや見守り・支えあい生まれ、介護・福祉サービスや医療を受けながら、高齢期も安心して過ごすことができる体制が整っている』、『⑫いくつになっても生きがいを見つけられ、就労や社会参画などを通じて生涯現役で活躍できる環境が整っている』、『⑬障害や生活困窮、生活上の様々な課題や困りごとを抱えても、相談や支援が受けられる体制が整っている』、『⑭障害や認知症の有無などにかかわらず、個々の特性や強みを生かし、自分らしく暮らせる環境が整っている』は70歳代以上で、それぞれやや高くなっている。

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	
		国籍や文化、年中で、人権や価値観が尊重されている	気軽に地域で関わりを持てるようなつながりがあり、人々の地域への愛着が生まれている	文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整い、にぎわいにあふれている	区内産業の発展や新たな企業の参入、商店街の活発な活動などにより、地域経済が活性化している	中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている	子どもたちは、一人の人間として尊重されており、虐待の防止や学びの支援など子どもの命と権利を守る体制が整っている	良好な教育環境が整うとともに、学校や幼稚園、保育園などがいる	子育てに関する様々な安心や団体の活動が活発であり、多様なサービスが提供により安心して子どもを産み、育てられる体制が整っている	子どもと子育て家庭にとって快適な住まいや魅力的な空間・施設などが整備され、住み続けたいと思えるまちである	若者がチャレンジできる環境や、若者一人ひとりの課題の解決を支える体制が整っている	地域のつながりや見守り・支えあいが生まれ、介護・福祉サービスの体制が整っている	いくつになっても生きがいを見つけれ、就労や社会参画などを通じて生涯現役で活躍できる環境が整っている	相談や支援が受けられる様々な課題や困りごとを抱えても、相談や生活困窮、生活上の様々な課題や困りごとを抱えても、	障害や認知症の有無などにかかわらず、個々の特性や強みを生かし、自分らしく暮らせる環境が整っている	健康的な生活習慣が身につけられる環境が整うとともに、誰もが運動や学びなどに楽しみながら取り組んでいる	防災まちづくりの推進や地域の防災力の向上などにより、災害に強いまちづくりが進んでいる	西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくり・利便性が向上している	居心地が良く歩きやすくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境が整備され、快適で魅力ある住環境の形成が進んでいる	環境負荷の少ないライフスタイルなどが、区民の生活や企業活動に浸透している	防犯、消費生活、感染症などに関する意識の高まりや行動の変化が生まれ、安全・安心な暮らしが守られている
	全体 (n=1,105)	6.5	9.8	8.8	12.3	7.2	3.9	5.0	5.1	5.1	8.3	7.7	9.0	6.7	7.8	7.4	7.1	11.1	12.9	11.2	8.8
性別	男性 (n=562)	7.1	9.1	7.7	12.8	8.4	4.4	5.9	5.5	5.7	9.1	8.7	8.9	7.1	7.7	7.1	8.5	10.9	13.5	10.7	8.2
	女性 (n=524)	5.7	10.5	9.9	11.6	5.9	3.1	4.0	4.6	4.4	7.4	6.9	9.2	6.3	8.0	7.8	5.3	11.6	12.4	11.8	9.4
年代別	20歳代以下 (n=138)	5.8	9.4	4.3	6.5	5.8	2.2	5.8	2.2	3.6	8.7	1.4	5.8	2.2	2.9	6.5	2.9	8.7	7.2	8.0	3.6
	30歳代 (n=204)	6.9	12.3	12.3	12.3	9.3	4.4	5.4	6.9	7.4	11.3	6.4	4.9	7.4	6.9	7.8	3.9	10.3	14.7	10.8	12.3
	40歳代 (n=187)	8.6	12.3	9.1	13.4	5.9	2.7	3.7	6.4	5.3	8.6	5.9	6.4	7.5	7.5	8.0	8.6	11.8	10.2	9.1	6.4
	50歳代 (n=200)	5.0	10.5	9.5	15.5	8.0	5.0	5.5	3.5	4.5	6.5	8.5	9.5	4.5	6.0	7.0	7.5	11.0	17.5	15.5	10.5
	60歳代 (n=161)	5.6	5.0	6.2	8.7	8.1	4.3	5.0	5.6	4.3	6.2	8.1	11.2	5.0	6.8	5.6	8.7	12.4	10.6	8.7	5.0
	70歳代以上 (n=203)	7.4	8.4	8.9	14.8	5.9	4.4	4.9	5.4	4.9	8.4	13.8	14.8	12.3	14.8	8.4	10.3	12.8	15.8	13.3	12.3

※上記表は「そう思わない」の割合を示したものである。

「そう思わない」の割合を居住地域別でみると、『⑰西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくりや地区の特性に応じたまちづくりにより、安全性・快適性・利便性が向上している』は白鷺、鷺宮で、それぞれ高くなっている。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳		
	国籍や文化、人権や価値観が尊重されている	気軽に地域で関わりを持てるようなつながりがあり、人々の地域への愛着が生まれている	文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整い、にぎわいにあふれている	区内産業の発展や新たな企業の参入、商店街の活発な活動などにより、地域経済が活性化している	中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている	子どもたちは、一人の人間として尊重されており、虐待の防止や学びの支援など子どもの命と権利を守る体制が整っている	家庭や地域と連携し、協働しながら特色のある教育が行われている	良好な教育環境が整うとともに、学校や幼稚園、保育園などが揃っている	子育てに関する様々な人や団体の活動が活発であり、多様なサービスを提供により安心して子育てができる体制が整っている	子どもと子育て家庭にとって快適な住まいや魅力的な空間・施設などが整備され、住み続けたいと思えるまちである	若者がチャレンジできる環境や、若者一人ひとりの課題の解決を支える体制が整っている	地域のつながりや見守り・支えあいが生まれ、介護・福祉サービスの体制が整っている	地域をつながりや見守り・支えあいが生まれ、介護・福祉サービスや医療を受けながら、高齢期も安心して過ごすことができている	相害や生活困窮、生活上の様々な課題や困りごとを抱えても、相談や支援を受けられる体制が整っている	障害や認知症の有無などにかかわらず、個々の特性や強みを生かし、自分らしく暮らせる環境が整っている	健康的な生活習慣が身につけられる環境が整うとともに、誰もが運動や学びなどに楽しみながら取り組んでいる	防災まちづくりの推進や地域の防災力の向上などにより、災害に強いまちづくりが進んでいる	西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくりや地区の特性に応じたまちづくりにより、安全性・快適性・利便性が向上している	居心地が良く歩きたくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境が整備され、快適で魅力ある住環境の形成が進んでいる	環境負荷の少ないライフスタイルなどが、区民の生活や企業活動に浸透している	防犯、消費生活、感染症などに関する意識の高まりや行動の変化が生まれ、安全・安心な暮らしが守られている
全体 (n=1,105)	6.5	9.8	8.8	12.3	7.2	3.9	5.0	5.1	5.1	8.3	7.7	9.0	6.7	7.8	7.4	7.1	11.1	12.9	11.2	8.8	
居住地域別	南台 (n=70)	4.3	10.0	11.4	17.1	4.3	5.7	5.7	4.3	4.3	10.0	8.6	5.7	4.3	4.3	5.7	5.7	5.7	5.7	8.6	11.4
	弥生町 (n=60)	1.7	6.7	8.3	10.0	1.7	0.0	1.7	1.7	0.0	3.3	1.7	5.0	0.0	1.7	3.3	1.7	3.3	1.7	8.3	3.3
	本町 (n=107)	5.6	7.5	6.5	11.2	9.3	3.7	4.7	5.6	4.7	8.4	8.4	9.3	3.7	4.7	4.7	4.7	3.7	13.1	10.3	9.3
	中央 (n=103)	10.7	16.5	10.7	14.6	10.7	3.9	1.9	3.9	3.9	8.7	7.8	8.7	3.9	7.8	5.8	8.7	2.9	14.6	12.6	9.7
	東中野 (n=87)	8.0	12.6	11.5	19.5	10.3	6.9	6.9	6.9	5.7	13.8	8.0	13.8	10.3	12.6	5.7	5.7	8.0	9.2	10.3	13.8
	中野 (n=97)	7.2	9.3	11.3	13.4	9.3	6.2	8.2	7.2	11.3	11.3	7.2	10.3	5.2	8.2	9.3	11.3	11.3	18.6	18.6	11.3
	上高田 (n=58)	10.3	10.3	6.9	6.9	10.3	5.2	10.3	8.6	5.2	8.6	10.3	10.3	15.5	8.6	6.9	12.1	19.0	10.3	13.8	12.1
	新井 (n=66)	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	4.5	9.1	4.5	6.1	9.1	12.1	9.1	12.1	10.6	10.6	9.1	19.7	13.6	15.2	10.6
	沼袋 (n=50)	10.0	6.0	10.0	10.0	6.0	4.0	6.0	4.0	4.0	6.0	10.0	12.0	10.0	10.0	8.0	4.0	16.0	14.0	8.0	8.0
	松が丘 (n=24)	0.0	4.2	4.2	4.2	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	4.2	4.2	8.3	4.2	0.0	12.5	4.2	8.3	4.2
	江原町 (n=27)	7.4	11.1	7.4	11.1	7.4	0.0	0.0	0.0	7.4	14.8	7.4	11.1	11.1	11.1	18.5	14.8	11.1	22.2	18.5	3.7
	江古田 (n=35)	5.7	2.9	5.7	8.6	0.0	2.9	2.9	2.9	5.7	2.9	5.7	5.7	2.9	5.7	5.7	5.7	8.6	2.9	2.9	0.0
	丸山 (n=13)	0.0	15.4	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	15.4	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	15.4	7.7	0.0	0.0
	野方 (n=61)	4.9	11.5	9.8	9.8	1.6	1.6	1.6	0.0	0.0	8.2	8.2	6.6	4.9	11.5	4.9	6.6	6.6	13.1	8.2	9.8
	大和町 (n=45)	4.4	8.9	2.2	4.4	0.0	0.0	2.2	2.2	2.2	4.4	4.4	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	0.0	6.7	6.7	4.4
	若宮 (n=42)	2.4	7.1	4.8	11.9	7.1	4.8	4.8	4.8	7.1	9.5	9.5	9.5	9.5	7.1	11.9	9.5	19.0	19.0	14.3	4.8
	白鷺 (n=32)	6.3	12.5	6.3	15.6	6.3	6.3	3.1	9.4	6.3	6.3	9.4	6.3	3.1	6.3	6.3	6.3	31.3	18.8	9.4	9.4
鷺宮 (n=59)	1.7	5.1	5.1	13.6	10.2	5.1	8.5	8.5	6.8	10.2	6.8	10.2	5.1	5.1	8.5	3.4	23.7	16.9	11.9	6.8	
上鷺宮 (n=50)	14.0	14.0	14.0	22.0	12.0	2.0	6.0	8.0	4.0	4.0	10.0	12.0	12.0	14.0	12.0	12.0	20.0	22.0	12.0	10.0	

※上記表は「そう思わない」の割合を示したものである。

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

「わからない」の割合を性別で見ると、『⑰西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくりや地区の特性に応じたまちづくりにより、安全性・快適性・利便性が向上している』、『⑲環境負荷の少ないライフスタイルなどが、区民の生活や企業活動に浸透している』は男性に比べ女性でやや高くなっている。

年代別で見ると、『①国籍や文化、年齢、障害、性別などが異なる多様な人々が暮らす中で、人権や価値観が尊重されている』は70歳代以上で、『②気軽に地域で関わりを持てるようなつながりがあり、人々の地域への愛着が生まれている』、『⑧子育てに関する様々な人や団体の活動が活発であり、多様なサービスの提供により安心して子どもを産み、育てられる体制が整っている』、『⑯防災まちづくりの推進や地域の防災力の向上などにより、災害に強いまちづくりが進んでいる』は20歳代以下で、『③文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整い、にぎわいにあふれている』は50歳代で、『⑫いくつになっても生きがいを見つけられ、就労や社会参画などを通じて生涯現役で活躍できる環境が整っている』は40歳代で、それぞれやや高くなっている。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	
	国籍や文化、年齢、障害、性別などが異なる多様な人々が暮らす中で、人権や価値観が尊重されている	気軽に地域で関わりを持てるようなつながりがあり、人々の地域への愛着が生まれている	文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整い、にぎわいにあふれている	区内産業の発展や新たな企業の参入、商店街の活発な活動などにより、地域経済が活性化している	中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている	子どもたちは、一人の人間として尊重されており、虐待の防止や学びの支援など子どもの命と権利を守る体制が整っている	良質な教育環境が整うとともに、学校や幼稚園、保育園などが家庭や地域と連携し、協働しながら特色のある教育が行われ、子どもが育ちやすい環境が整っている	子育てに関する様々な人や団体の活動が活発であり、多様なサービスの提供により安心して子どもを産み、育てられる体制が整っている	子どもと子育て家庭にとつて快適な住まいや魅力的な空間・施設などが整備され、住み続けたいと思えるまちである	子どもが育ちやすい環境を整える体制が整っている	若者がチャレンジできる環境や、若者一人ひとりの課題の解決を支える体制が整っている	地域のつながりや見守り・支えあいが生まれ、介護・福祉サービスの体制が整っている	いくつになっても生きがいを見つけられ、就労や社会参画などを通じて生涯現役で活躍できる環境が整っている	障害や生活困窮、生活上の様々な課題や困りごとを抱えても、相談や支援を受けられる体制が整っている	障害や認知症の有無などにかかわらず、個々の特性や強みを生かし、自分らしく暮らせる環境が整っている	健康的な生活習慣が身につけられる環境が整うとともに、誰もが運動や学びなどに楽しみながら取り組んでいる	防災まちづくりの推進や地域の防災力の向上などにより、災害に強いまちづくりが進んでいる	西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくり・利便性が向上している	居心地が良く歩きやすくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境が整備され、快適な環境の形成が進んでいる	環境負荷の少ないライフスタイルなどが、区民の生活や企業活動に浸透している	防犯、消費生活、感染症などに関する意識の高まりや行動の変革が生まれ、安全・安心な暮らしが守られている
全体 (n=1,105)	32.4	25.7	27.1	25.2	20.5	45.3	46.2	47.2	42.3	48.1	39.3	44.9	48.1	50.1	40.5	35.7	39.1	23.4	45.2	32.5	
性別	男性 (n=562)	32.4	24.9	26.9	24.9	21.2	44.8	46.8	47.2	41.1	45.9	38.8	43.4	46.1	48.9	39.5	34.7	35.9	23.1	42.7	32.9
	女性 (n=524)	32.1	26.7	27.5	25.6	20.0	46.2	45.4	47.1	43.3	50.6	40.1	46.9	50.6	51.5	41.6	36.6	42.6	23.9	47.9	31.9
年代別	20歳代以下 (n=138)	33.3	31.9	31.2	28.3	27.5	48.6	46.4	52.2	47.1	39.1	43.5	46.4	52.2	56.5	42.0	42.8	41.3	27.5	45.7	34.8
	30歳代 (n=204)	26.5	19.6	20.1	19.6	17.2	45.1	45.6	42.6	38.7	43.6	45.1	46.1	50.5	51.5	37.3	39.7	41.2	19.1	44.1	32.4
	40歳代 (n=187)	31.0	25.1	24.6	25.7	17.6	47.6	50.3	49.2	44.4	52.9	46.0	52.4	52.4	57.8	46.0	37.4	39.6	24.1	48.1	31.0
	50歳代 (n=200)	36.0	28.0	32.5	25.5	21.0	47.0	50.5	51.0	43.0	54.0	45.0	48.0	51.5	54.0	45.5	37.0	41.0	24.5	47.0	35.0
	60歳代 (n=161)	28.6	23.0	25.5	24.8	14.3	44.1	41.6	45.3	39.1	44.7	27.3	34.8	39.8	40.4	35.4	28.6	37.3	20.5	42.9	29.2
70歳代以上 (n=203)	37.9	28.6	30.5	29.1	27.1	41.4	42.9	44.8	42.9	53.2	30.0	42.9	44.3	42.9	38.4	30.5	35.5	26.6	45.3	33.5	

※上記表は「わからない」の割合を示したものである。

「わからない」の割合を居住地域別でみると、『⑦良好な教育環境が整うとともに、学校や幼稚園、保育園などが家庭や地域と連携し、協働しながら特色のある教育が行われている』、『⑰西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくりや地区の特性に応じたまちづくりにより、安全性・快適性・利便性が向上している』は弥生町で、それぞれ高くなっている。

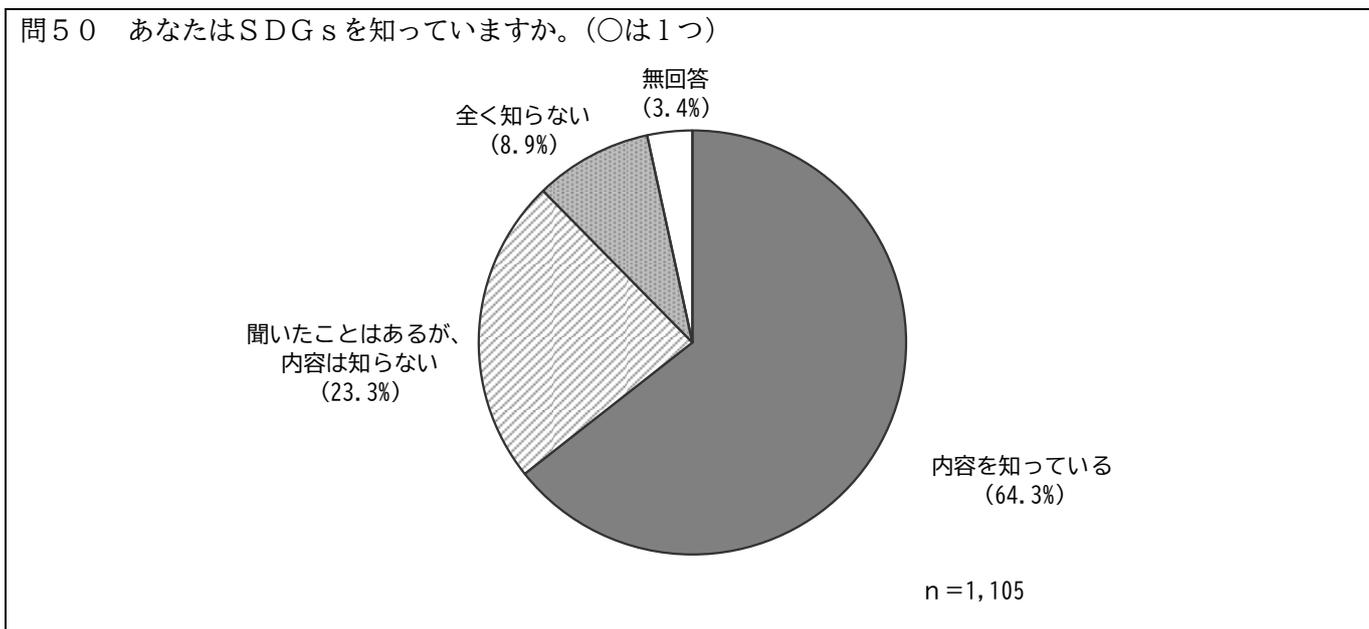
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳		
	国籍や文化、年齢、障害、価値観が尊重されている	域への愛着が生まれている	文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整い、にぎわいにあふれている	区内産業の発展や新たな企業の参入、商店街の活発な活動などにより、地域経済が活性化している	中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている	子どもたちは、一人の人間として尊重されており、虐待の防止や学びの支援など子どもの命と権利を守る体制が整っている	良好な教育環境が整うとともに、学校や幼稚園、保育園などが家庭や地域と連携し、協働しながら特色のある教育が行われている	子育てに関する様々な人や団体の活動が活発であり、多様なサービスを提供により安心して暮らすことができる	子どもと子育て家庭にとって快適な住まいや魅力的な空間・施設などが整備されている	子育てに関する様々な人や団体の活動が活発であり、多様なサービスを提供により安心して暮らすことができる	若者がチャレンジできる環境や、若者一人ひとりの課題の解決を支える体制が整っている	地域のつながりや見守り・支えあいが生まれ、介護・福祉サービスや医療を受けながら、高齢期も安心して過ごすことができる	いくつになっても生きがいを見つけれ、就労や社会参画などを通じて生涯現役で活躍できる環境が整っている	障害や生活困窮、生活上の様々な課題や困りごとを抱えても、相談や支援を受けられる体制が整っている	障害や認知症の有無などにかかわらず、個々の特性や強みを生かし、自分らしく暮らせる環境が整っている	健康的な生活習慣が身につけられる環境が整うとともに、誰もが運動や学びなどに楽しみながら取り組んでいる	防災まちづくりの推進や地域の防災力の向上などにより、災害に強いまちづくりが進んでいる	西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくりや地区の特性に応じたまちづくりにより、安全性・快適性・利便性が向上している	居心地が良く歩きやすくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境が整備され、快適で魅力ある住環境の形成が進んでいる	環境負荷の少ないライフスタイルなどが、区民の生活や企業活動に浸透している	防犯、消費生活、感染症などに関する意識の高まりや行動の変化が生まれ、安全・安心な暮らしが守られている
全体 (n=1,105)	32.4	25.7	27.1	25.2	20.5	45.3	46.2	47.2	42.3	48.1	39.3	44.9	48.1	50.1	40.5	35.7	39.1	23.4	45.2	32.5	
居住地域別	南台 (n=70)	40.0	31.4	37.1	25.7	37.1	50.0	44.3	45.7	42.9	55.7	47.1	58.6	60.0	62.9	51.4	42.9	58.6	37.1	55.7	41.4
	弥生町 (n=60)	43.3	38.3	33.3	38.3	28.3	58.3	66.7	60.0	56.7	51.7	48.3	55.0	55.0	56.7	51.7	41.7	63.3	28.3	48.3	33.3
	本町 (n=107)	32.7	31.8	29.0	25.2	18.7	51.4	51.4	44.9	42.1	42.1	35.5	42.1	48.6	47.7	40.2	31.8	56.1	23.4	48.6	36.4
	中央 (n=103)	30.1	20.4	20.4	20.4	12.6	40.8	44.7	42.7	41.7	50.5	37.9	37.9	42.7	44.7	35.0	35.0	51.5	24.3	47.6	26.2
	東中野 (n=87)	41.4	29.9	36.8	34.5	27.6	59.8	57.5	62.1	56.3	63.2	56.3	56.3	60.9	63.2	56.3	50.6	52.9	37.9	56.3	42.5
	中野 (n=97)	25.8	24.7	21.6	16.5	12.4	44.3	45.4	48.5	45.4	47.4	41.2	40.2	43.3	45.4	34.0	32.0	42.3	17.5	38.1	26.8
	上高田 (n=58)	34.5	27.6	34.5	25.9	22.4	48.3	37.9	43.1	43.1	44.8	46.6	53.4	53.4	56.9	51.7	36.2	34.5	27.6	46.6	37.9
	新井 (n=66)	22.7	18.2	21.2	16.7	10.6	34.8	28.8	31.8	27.3	36.4	33.3	34.8	42.4	40.9	34.8	25.8	18.2	13.6	33.3	22.7
	沼袋 (n=50)	16.0	16.0	14.0	14.0	18.0	40.0	44.0	50.0	40.0	46.0	34.0	42.0	38.0	52.0	34.0	34.0	14.0	16.0	40.0	30.0
	松が丘 (n=24)	50.0	29.2	33.3	37.5	20.8	50.0	66.7	58.3	54.2	58.3	37.5	29.2	50.0	45.8	33.3	45.8	25.0	29.2	50.0	50.0
	江原町 (n=27)	22.2	14.8	18.5	18.5	22.2	55.6	48.1	48.1	29.6	44.4	14.8	51.9	55.6	51.9	29.6	44.4	48.1	14.8	37.0	33.3
	江古田 (n=35)	25.7	17.1	22.9	22.9	14.3	37.1	48.6	54.3	42.9	45.7	34.3	40.0	37.1	42.9	40.0	28.6	28.6	25.7	42.9	34.3
	丸山 (n=13)	38.5	23.1	23.1	7.7	7.7	30.8	38.5	46.2	38.5	53.8	46.2	53.8	53.8	76.9	61.5	30.8	30.8	23.1	69.2	30.8
	野方 (n=61)	31.1	29.5	19.7	16.4	13.1	45.9	47.5	50.8	44.3	52.5	34.4	45.9	50.8	49.2	37.7	32.8	36.1	16.4	41.0	29.5
	大和町 (n=45)	37.8	28.9	33.3	40.0	22.2	44.4	48.9	44.4	33.3	37.8	37.8	48.9	40.0	46.7	37.8	31.1	44.4	26.7	51.1	33.3
	若宮 (n=42)	21.4	19.0	31.0	21.4	19.0	31.0	38.1	42.9	33.3	40.5	31.0	45.2	50.0	47.6	35.7	33.3	16.7	21.4	45.2	35.7
	白鷺 (n=32)	37.5	25.0	25.0	34.4	25.0	34.4	37.5	40.6	40.6	50.0	34.4	43.8	46.9	40.6	31.3	25.0	15.6	18.8	37.5	31.3
	鷺宮 (n=59)	35.6	30.5	33.9	33.9	23.7	44.1	42.4	39.0	37.3	45.8	37.3	40.7	40.7	47.5	40.7	37.3	16.9	16.9	42.4	25.4
上鷺宮 (n=50)	32.0	20.0	22.0	30.0	36.0	42.0	44.0	52.0	44.0	58.0	42.0	46.0	56.0	52.0	40.0	42.0	28.0	22.0	44.0	30.0	

※上記表は「わからない」の割合を示したものである。

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

26 SDGsについて

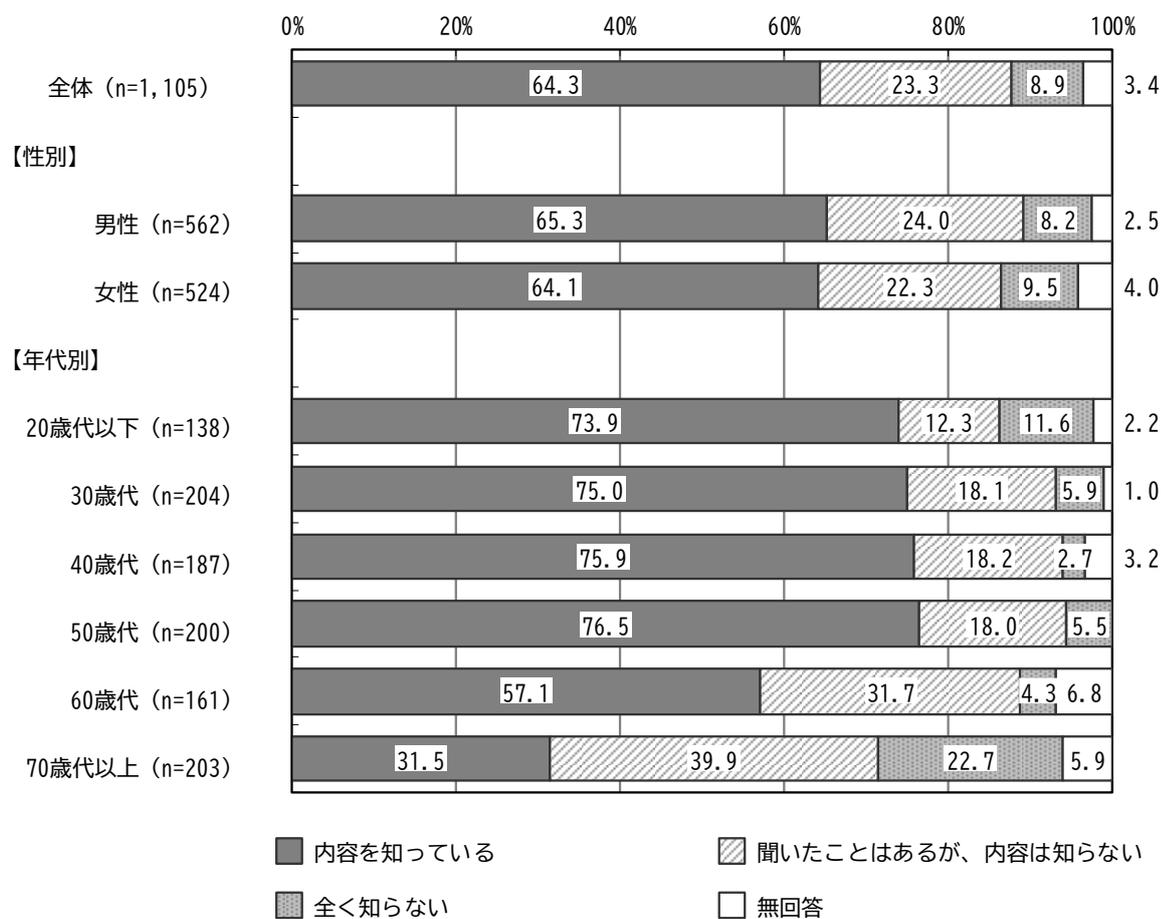
「内容を知っている」が6割半ば



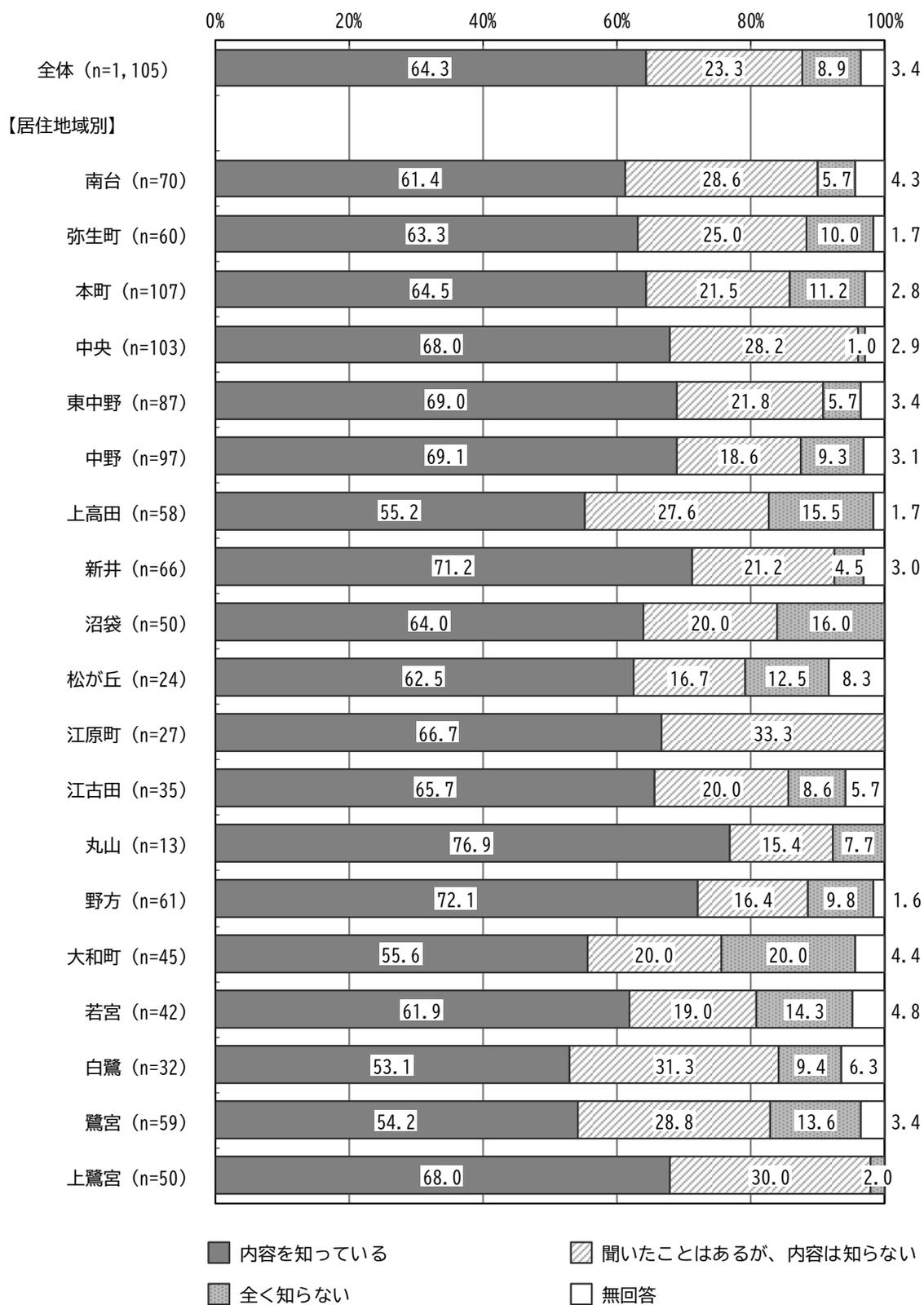
SDGsの認知度を聞いたところ、「内容を知っている」(64.3%)が6割半ばで最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」(23.3%)、「全く知らない」(8.9%)となっている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別でみると、「内容を知っている」は20歳代以下から50歳代の各世代で7割前半から7割半ばと高く、70歳代以上で約3割と低くなっている。



居住地域別でみると、「内容を知っている」は新井、野方で約7割前半とやや高くなっている。



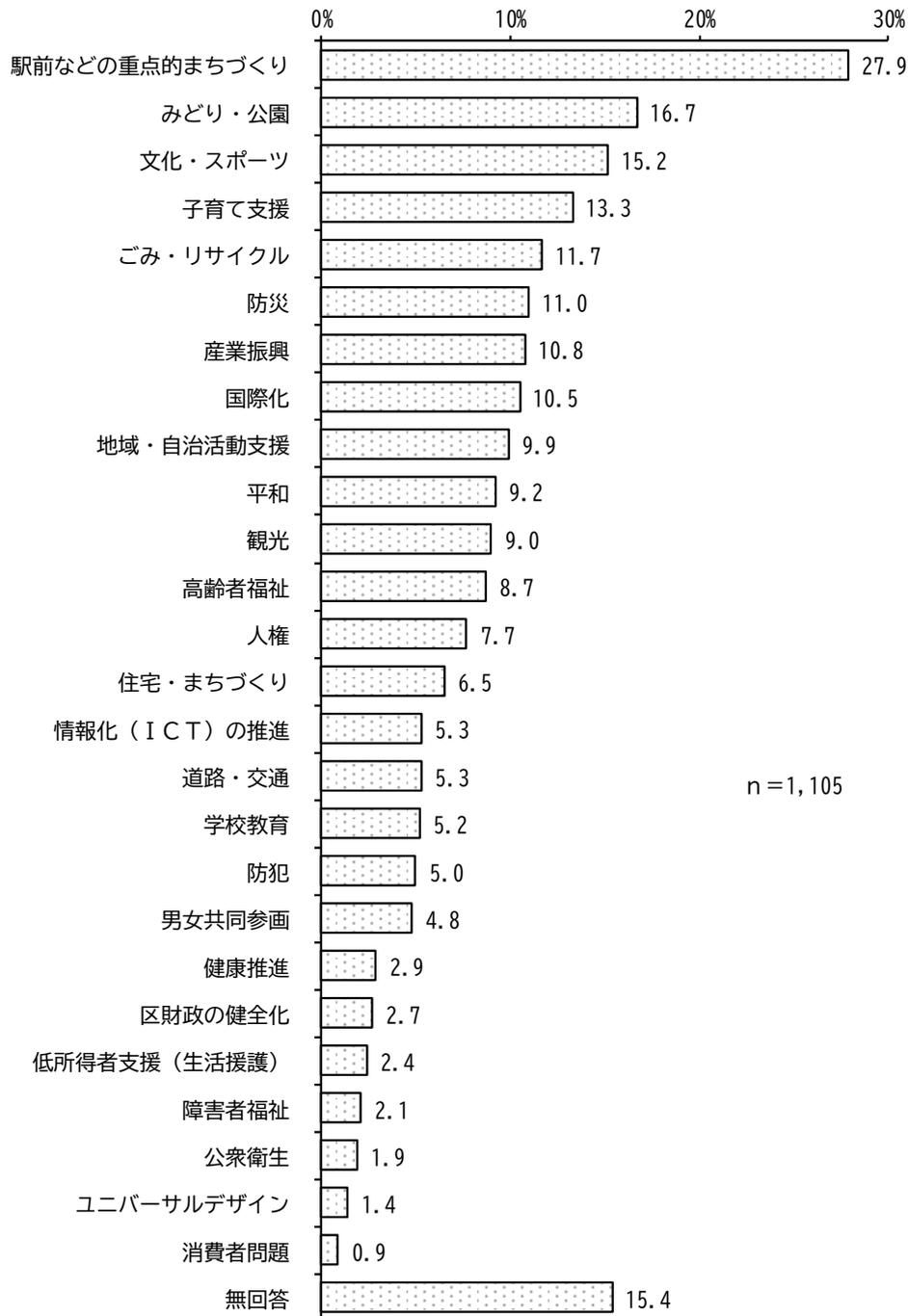
※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

2.7 施策への評価・要望について

(1) 区の施策への評価

「駅前などの重点的まちづくり」が2割後半で最も高い

問5 1 ①中野区が特に力を入れていると感じる施策を以下の選択肢から3つ以内で選び、番号を記入してください。



区が特に力を入れていると評価できる施策（3つまで回答）を聞いたところ、「駅前などの重点的まちづくり」（27.9%）が2割後半で最も高く、次いで「みどり・公園」（16.7%）、「文化・スポーツ」（15.2%）となっている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別でみると、「みどり・公園」は50歳代で、「ごみ・リサイクル」は60歳代で、それぞれ高くなっている。

	駅前などの重点的まちづくり	みどり・公園	文化・スポーツ	子育て支援	ごみ・リサイクル	防災	産業振興	国際化	地域・自治活動支援	平和	観光	高齢者福祉	人権	住宅・まちづくり	情報化（ICT）の推進	道路・交通	学校教育	防犯	男女共同参画	健康推進	区財政の健全化	低所得者支援（生活支援）	障害者福祉	公衆衛生	ユニバーサルデザイン	消費者問題	無回答	
全体 (n=1,105)	27.9	16.7	15.2	13.3	11.7	11.0	10.8	10.5	9.9	9.2	9.0	8.7	7.7	6.5	5.3	5.3	5.2	5.0	4.8	2.9	2.7	2.4	2.1	1.9	1.4	0.9	15.4	
性別	男性 (n=562)	26.3	16.4	14.4	13.2	11.6	11.2	10.5	10.7	8.5	10.3	9.6	8.5	8.0	6.0	6.9	5.5	5.2	6.4	5.5	2.7	3.0	3.2	2.0	1.6	1.6	1.2	13.9
	女性 (n=524)	29.6	17.0	15.8	13.7	12.0	10.9	11.1	10.1	11.6	7.8	8.6	8.8	7.4	7.1	3.8	5.2	5.3	3.6	4.2	3.2	2.5	1.7	2.3	2.3	1.1	0.6	16.2
年代別	20歳代以下 (n=138)	16.7	18.8	17.4	10.1	8.7	8.0	8.0	13.0	8.7	12.3	13.8	11.6	8.0	13.8	3.6	6.5	7.2	5.1	5.1	1.4	0.7	2.9	1.4	3.6	2.9	0.0	10.1
	30歳代 (n=204)	24.5	18.1	21.1	19.6	6.9	11.8	10.8	10.3	14.7	6.9	11.8	4.9	6.9	8.3	4.9	5.9	3.9	2.5	6.4	2.5	1.5	2.5	1.0	2.0	2.5	1.5	10.3
	40歳代 (n=187)	33.7	15.5	21.4	15.5	8.6	9.1	15.5	12.3	9.6	5.3	16.0	6.4	3.2	3.2	5.9	4.8	3.2	3.2	5.3	2.1	1.6	3.7	3.2	2.7	0.0	0.5	11.2
	50歳代 (n=200)	33.5	27.0	17.0	12.0	11.5	12.5	11.0	13.5	10.5	8.0	8.0	9.5	10.5	3.5	5.0	4.0	5.5	5.0	4.0	2.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.5	0.5	9.0
	60歳代 (n=161)	29.2	13.0	9.9	13.0	22.4	13.7	8.7	8.7	8.7	10.6	3.7	9.3	7.5	8.7	5.0	6.2	3.7	6.2	3.1	3.7	4.3	1.9	1.9	1.2	1.2	0.6	18.0
	70歳代以上 (n=203)	27.1	6.9	5.4	8.9	13.3	10.8	10.3	5.9	6.9	13.3	2.0	11.3	10.3	4.4	6.9	4.9	7.9	8.4	4.9	5.4	6.9	2.0	3.0	1.5	0.5	2.0	30.0

居住地域別でみると、「駅前などの重点的まちづくり」、「ごみ・リサイクル」は江古田で、「みどり・公園」は沼袋、野方で、「文化・スポーツ」は野方で、「防災」は大和町で、「国際化」は白鷺で、「情報化（ICT）の推進」は鷺宮で、それぞれ高くなっている。

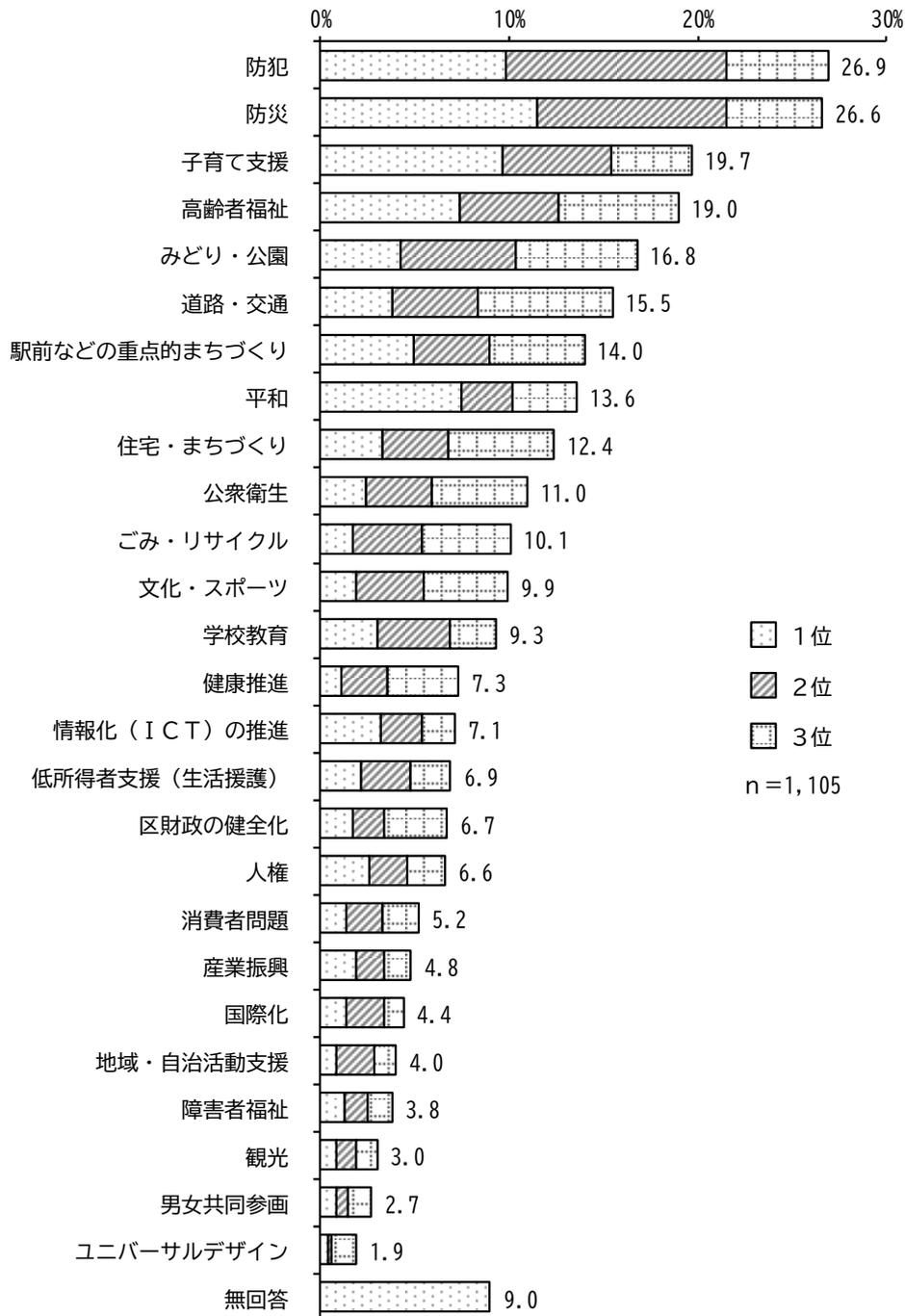
	駅前などの重点的まちづくり	みどり・公園	文化・スポーツ	子育て支援	ごみ・リサイクル	防災	産業振興	国際化	地域・自治活動支援	平和	観光	高齢者福祉	人権	住宅・まちづくり	情報化（ICT）の推進	道路・交通	学校教育	防犯	男女共同参画	健康推進	区財政の健全化	低所得者支援（生活支援）	障害者福祉	公衆衛生	ユニバーサルデザイン	消費者問題	無回答	
全体 (n=1,105)	27.9	16.7	15.2	13.3	11.7	11.0	10.8	10.5	9.9	9.2	9.0	8.7	7.7	6.5	5.3	5.3	5.2	5.0	4.8	2.9	2.7	2.4	2.1	1.9	1.4	0.9	15.4	
居住地域別	南台 (n=70)	22.9	20.0	7.1	14.3	7.1	10.0	10.0	7.1	11.4	14.3	4.3	7.1	4.3	4.3	2.9	4.3	12.9	4.3	5.7	0.0	2.9	0.0	0.0	5.7	4.3	1.4	21.4
	弥生町 (n=60)	18.3	18.3	16.7	11.7	8.3	11.7	8.3	5.0	10.0	11.7	6.7	15.0	6.7	10.0	6.7	5.0	8.3	6.7	5.0	3.3	0.0	1.7	5.0	1.7	0.0	0.0	16.7
	本町 (n=107)	29.0	13.1	15.9	12.1	15.0	15.0	8.4	4.7	12.1	6.5	8.4	3.7	8.4	4.7	0.9	2.8	5.6	7.5	6.5	3.7	3.7	2.8	2.8	0.9	0.9	1.9	17.8
	中央 (n=103)	35.0	13.6	13.6	15.5	9.7	7.8	14.6	12.6	12.6	10.7	8.7	9.7	6.8	7.8	7.8	8.7	6.8	6.8	3.9	1.9	5.8	1.9	1.0	1.0	2.9	0.0	5.8
	東中野 (n=87)	34.5	11.5	13.8	12.6	13.8	11.5	10.3	12.6	6.9	9.2	8.0	5.7	9.2	3.4	2.3	3.4	4.6	4.6	4.6	1.1	2.3	1.1	0.0	3.4	0.0	2.3	14.9
	中野 (n=97)	24.7	16.5	17.5	9.3	8.2	11.3	15.5	16.5	9.3	13.4	12.4	8.2	8.2	7.2	6.2	8.2	1.0	5.2	2.1	3.1	7.2	4.1	3.1	1.0	0.0	0.0	11.3
	上高田 (n=58)	36.2	17.2	24.1	10.3	13.8	5.2	10.3	6.9	13.8	6.9	13.8	5.2	3.4	13.8	8.6	5.2	6.9	3.4	1.7	5.2	6.9	3.4	1.7	1.7	0.0	0.0	13.8
	新井 (n=66)	33.3	24.2	10.6	16.7	9.1	9.1	15.2	18.2	10.6	3.0	18.2	10.6	6.1	4.5	1.5	6.1	1.5	1.5	3.0	4.5	1.5	0.0	0.0	3.0	3.0	0.0	13.6
	沼袋 (n=50)	18.0	34.0	6.0	14.0	10.0	12.0	6.0	12.0	4.0	8.0	12.0	16.0	12.0	6.0	8.0	6.0	4.0	2.0	6.0	4.0	0.0	8.0	6.0	4.0	0.0	4.0	12.0
	松が丘 (n=24)	25.0	4.2	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5	16.7	12.5	4.2	4.2	12.5	12.5	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	4.2	0.0	4.2	4.2	0.0	0.0	33.3
	江原町 (n=27)	18.5	18.5	14.8	18.5	18.5	18.5	3.7	0.0	7.4	7.4	3.7	25.9	0.0	7.4	3.7	0.0	7.4	3.7	7.4	3.7	0.0	3.7	7.4	0.0	7.4	0.0	14.8
	江古田 (n=35)	45.7	17.1	14.3	22.9	22.9	11.4	14.3	8.6	8.6	2.9	5.7	11.4	8.6	11.4	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	0.0	2.9	2.9	2.9	0.0	2.9	14.3
	丸山 (n=13)	61.5	15.4	23.1	15.4	7.7	23.1	7.7	0.0	7.7	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0
	野方 (n=61)	34.4	32.8	26.2	19.7	14.8	11.5	9.8	9.8	3.3	8.2	9.8	8.2	8.2	4.9	0.0	8.2	1.6	6.6	4.9	3.3	0.0	1.6	1.6	1.6	3.3	0.0	9.8
	大和町 (n=45)	26.7	15.6	24.4	8.9	11.1	22.2	6.7	4.4	2.2	11.1	13.3	6.7	2.2	4.4	2.2	6.7	0.0	8.9	4.4	2.2	0.0	4.4	2.2	0.0	0.0	0.0	22.2
	若宮 (n=42)	11.9	9.5	14.3	7.1	4.8	7.1	16.7	11.9	14.3	9.5	9.5	11.9	16.7	9.5	11.9	4.8	2.4	0.0	2.4	7.1	4.8	0.0	2.4	2.4	0.0	2.4	16.7
	白鷺 (n=32)	31.3	12.5	15.6	12.5	9.4	12.5	6.3	21.9	9.4	3.1	6.3	6.3	6.3	0.0	3.1	3.1	9.4	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	25.0
鷺宮 (n=59)	22.0	5.1	11.9	11.9	16.9	10.2	6.8	11.9	13.6	15.3	6.8	5.1	10.2	8.5	15.3	3.4	13.6	6.8	6.8	3.4	0.0	8.5	1.7	0.0	0.0	1.7	16.9	
上鷺宮 (n=50)	18.0	14.0	14.0	14.0	14.0	10.0	14.0	12.0	14.0	10.0	4.0	4.0	12.0	10.0	12.0	8.0	4.0	6.0	10.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0	

※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(2) 区の施策への要望

「防犯」、「防災」が2割を超える

問5 1 ②今後、特に力を入れてほしい施策を以下の選択肢から3つ以内で選び、第1位から第3位までの順位をつけて、それぞれの番号を記入してください。



今後特に力を入れてほしい施策について第1位から第3位までの順位を聞いたところ、合計では「防犯」（26.9%）が2割半ばで最も高く、次いで「防災」（26.6%）、「子育て支援」（19.7%）、「高齢者福祉」（19.0%）となっている。

過去9年間および今回の施策要望の上位10位までの推移をみると、「防犯」は今回初めて第1位となっている。また、「防災」、「高齢者福祉」、「子育て支援」は2016年以降、一貫して上位に位置している。

上段は施策、下段は回答割合(%)
同率の場合は、同順位とする

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
2016	防災	防犯	高齢者福祉	子育て支援	住宅・まちづくり	みどり・公園	道路・交通	駅前などの重点的まちづくり	区財政の健全化	学校教育
(n=1,228)	27.8	22.5	22.4	21.2	17.0	15.9	14.3	13.3	11.1	11.0
2017	防災	高齢者福祉	子育て支援	みどり・公園	防犯	道路・交通	住宅・まちづくり	学校教育	駅前などの重点的まちづくり	ごみ・リサイクル/区財政の健全化
(n=1,167)	24.7	23.1	21.2	18.6	17.5	17.3	16.4	13.1	12.3	9.8
2018	防災	高齢者福祉	子育て支援	道路・交通	防犯	みどり・公園	住宅・まちづくり	駅前などの重点的まちづくり	区財政の健全化	学校教育
(n=1,145)	28.1	26.6	21.1	18.2	17.9	15.1	14.7	14.0	11.8	10.1
2019	防災	子育て支援	高齢者福祉	道路・交通	防犯	みどり・公園	住宅・まちづくり	駅前などの重点的まちづくり	学校教育	区財政の健全化
(n=1,060)	23.4	20.9	20.8	18.5	17.7	16.7	13.1	10.8	10.7	10.0
2020	防災	高齢者福祉	みどり・公園	道路・交通	子育て支援	防犯	駅前などの重点的まちづくり	住宅・まちづくり	ごみ・リサイクル	学校教育
(n=1,148)	20.6	19.8	19.3	19.2	18.9	18.1	16.4	13.7	11.8	10.1
2021	防災	道路・交通	みどり・公園	防犯	高齢者福祉	子育て支援	住宅・まちづくり	駅前などの重点的まちづくり	区財政の健全化	公衆衛生
(n=1,084)	23.5	21.8	20.3	19.8	19.5	16.9	13.8	11.7	11.1	11.0
2022	高齢者福祉	防災	道路・交通	子育て支援	みどり・公園	防犯	住宅・まちづくり	学校教育	ごみ・リサイクル 駅前などの重点的まちづくり	
(n=1,016)	24.4	21.8	18.9	17.0	16.8	15.6	14.7	10.8	10.1	
2023	子育て支援	高齢者福祉	みどり・公園	道路・交通	防災	防犯	学校教育	住宅・まちづくり	駅前などの重点的まちづくり	ごみ・リサイクル
(n=872)	24.0	21.6	20.2	19.3	18.9	17.1	13.4	13.2	11.6	10.2
2024	防災	子育て支援	防犯	高齢者福祉	道路・交通	みどり・公園	住宅・まちづくり	駅前などの重点的まちづくり	ごみ・リサイクル	学校教育
(n=907)	28.3	22.4	22.2	21.7	17.9	16.4	15.4	14.1	11.6	11.4
2025	防犯	防災	子育て支援	高齢者福祉	みどり・公園	道路・交通	駅前などの重点的まちづくり	平和	住宅・まちづくり	公衆衛生
(n=1,105)	26.9	26.6	19.7	19.0	16.8	15.5	14.0	13.6	12.4	11.0

施策要望の上位10位を性別で見ると、男性では「防災」、女性では「防犯」が第1位となっている。

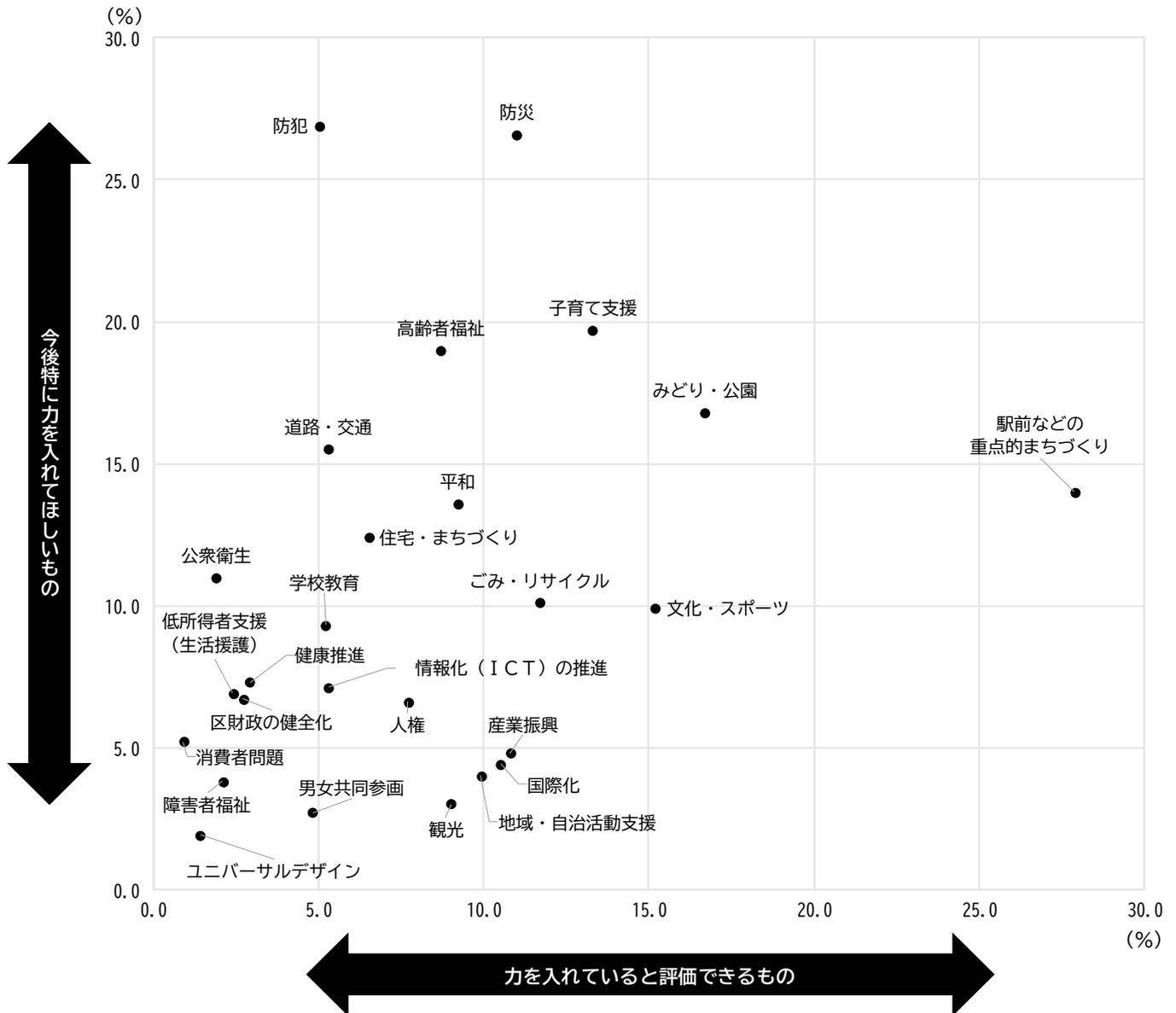
年代別で見ると、20歳代以下、40歳代で「防犯」が、30歳代で「子育て支援」が、50歳代、60歳代で「防災」が、70歳代以上で「高齢者福祉」がそれぞれ第1位となっている。「子育て支援」は30歳代で3割半ばと高くなっている。

上段は施策、下段は回答割合(%)
同率の場合は、同順位とする

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
全体		防犯	防災	子育て支援	高齢者福祉	みどり・公園	道路・交通	駅前などの重点的まちづくり	平和	住宅・まちづくり	公衆衛生
(n=1,105)		26.9	26.6	19.7	19.0	16.8	15.5	14.0	13.6	12.4	11.0
性別	男性	防災	防犯	子育て支援	高齢者福祉	みどり・公園	道路・交通	住宅・まちづくり	駅前などの重点的まちづくり	平和	文化・スポーツ
	(n=562)	25.6	25.0	19.0	18.8	16.2	14.5	13.8	13.3	12.9	12.5
性別	女性	防犯	防災	子育て支援	高齢者福祉	みどり・公園	道路・交通	駅前などの重点的まちづくり	平和	公衆衛生	住宅・まちづくり
	(n=524)	29.0	27.3	21.0	19.1	17.2	16.8	14.9	14.3	11.3	11.1
年代別	20歳代以下	防犯	平和	子育て支援	公衆衛生	みどり・公園/ 住宅・まちづくり		駅前などの重点的まちづくり	道路・交通	国際化	防災
	(n=138)	26.7	25.3	23.9	16.0	15.9		15.3	15.1	13.7	13.0
	30歳代	子育て支援	みどり・公園	防犯	学校教育	道路・交通/防災		駅前などの重点的まちづくり	住宅・まちづくり/ 公衆衛生		平和
	(n=204)	36.3	22.1	22.0	17.1	16.6		16.2	14.7		14.2
	40歳代	防犯	防災	子育て支援	みどり・公園	駅前などの重点的まちづくり	公衆衛生	学校教育/道路・交通		ごみ・リサイクル	住宅・まちづくり
	(n=187)	32.7	31.0	25.1	20.4	16.6	14.4	13.3		12.9	11.8
	50歳代	防災	防犯	高齢者福祉	道路・交通	駅前などの重点的まちづくり	みどり・公園	平和	子育て支援	住宅・まちづくり	ごみ・リサイクル
	(n=200)	35.0	32.0	22.5	21.0	19.0	16.0	14.0	13.0	12.0	10.5
	60歳代	防災	高齢者福祉	防犯	道路・交通	みどり・公園	子育て支援/ 区財政の健全化		駅前などの重点的まちづくり/ ごみ・リサイクル		文化・スポーツ
(n=161)	36.7	34.2	26.1	16.2	14.9	10.5		10.0		9.9	
70歳代以上	高齢者福祉	防災	防犯	ごみ・リサイクル/ 健康推進		住宅・まちづくり	平和	みどり・公園	道路・交通	子育て支援	
(n=203)	37.5	25.1	22.2	12.8		12.8	12.4	11.3	10.4	10.3	

区の施策への評価と要望の関係をみるために、「力を入れていると評価できるもの」を横軸、「今後特に力を入れてほしいもの」を縦軸にとり、26 項目の位置をあらわしたのが下の図である。この図では、左下に位置するほど「評価」も「要望」も低い施策、反対に図の右上に位置するほど「評価」も「要望」も高い施策であることを意味している。さらに、左上に位置するほど、「評価」は低い「要望」が高い施策であることを、反対に右下に位置するほど「評価」は高い「要望」が低いことを意味している。

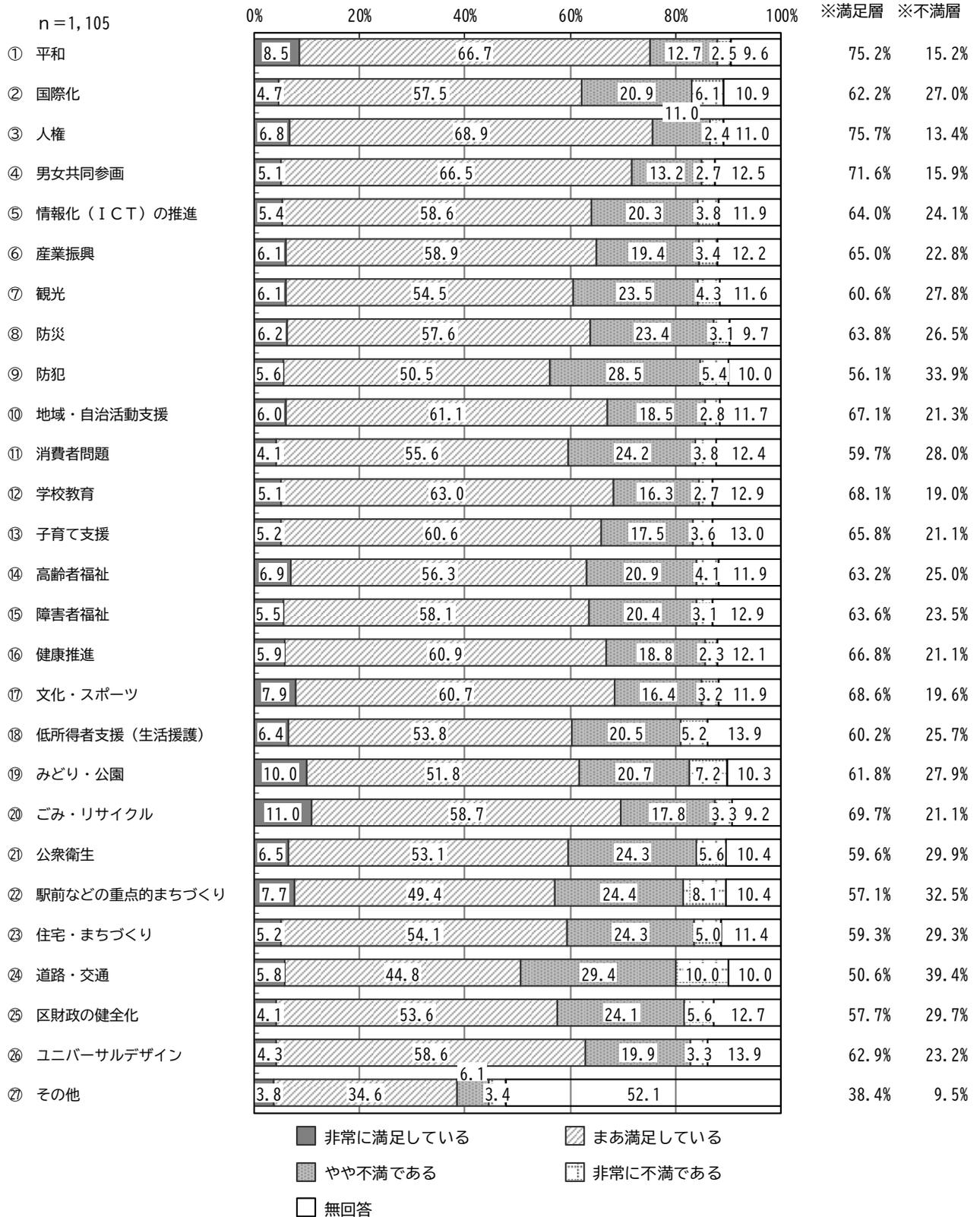
それぞれのカテゴリー別でみると、左上（「評価」は低い「要望」が高い施策）には、「防犯」、「防災」、「高齢者福祉」などが位置付けられている。左下（「評価」も「要望」も低い施策）には、「ユニバーサルデザイン」、「消費者問題」、「男女共同参画」、「障害者福祉」などが含まれている。



(3) 行政サービスの満足度

満足度は『人権』が最も高く、『道路・交通』が最も低い

問5 2 中野区の行政サービスに満足していますか（過去1年間）。（○はそれぞれ1つ）



行政サービスの満足度について項目別に聞いたところ、「非常に満足している」と「まあ満足している」を合わせた「満足層」では、『③人権』(75.7%)が7割半ばで最も高く、次いで『①平和』(75.2%)、『④男女共同参画』(71.6%)となっている。

一方、「やや不満である」と「非常に不満である」を合わせた「不満層」では、『④道路・交通』(39.4%)が約4割と最も高く、次いで『⑨防犯』(33.9%)、『②駅前などの重点的まちづくり』(32.5%)となっている。

「非常に満足している」の割合を性別で見ると、「⑭高齢者福祉」、「⑳ごみ・リサイクル」は女性に比べ男性でやや高くなっている。

年代別で見ると、「③人権」、「⑤情報化（ICT）の推進」、「⑥産業振興」、「⑧防災」、「⑭高齢者福祉」、「⑮障害者福祉」、「⑯健康推進」、「⑰文化・スポーツ」、「⑲みどり・公園」、「㉑公衆衛生」、「㉒駅前などの重点的まちづくり」、「㉓住宅・まちづくり」、「㉔道路・交通」、「㉕区財政の健全化」で、20歳代以下でやや高くなっている。

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗
		平和	国際化	人権	男女共同参画	情報化（ICT）の推進	産業振興	観光	防災	防犯	地域・自治活動支援	消費者問題	学校教育	子育て支援	高齢者福祉	障害者福祉	健康推進	文化・スポーツ	低所得者支援（生活支援）	みどり・公園	ごみ・リサイクル	公衆衛生	駅前などの重点的まちづくり	住宅・まちづくり	道路・交通	区財政の健全化	ユニバーサルデザイン	その他
全体 (n=1,105)		8.5	4.7	6.8	5.1	5.4	6.1	6.1	6.2	5.6	6.0	4.1	5.1	5.2	6.9	5.5	5.9	7.9	6.4	10.0	11.0	6.5	7.7	5.2	5.8	4.1	4.3	3.8
性別	男性 (n=562)	10.5	6.0	8.4	7.1	6.9	7.8	8.4	8.2	7.3	6.9	6.0	6.4	6.2	9.6	7.7	8.0	9.6	8.5	11.0	13.7	7.8	9.4	6.0	6.8	5.3	5.7	5.3
	女性 (n=524)	6.5	3.4	5.3	3.1	3.8	4.4	3.8	4.4	4.0	5.2	2.1	3.8	4.4	4.2	3.4	3.8	6.1	4.4	9.2	8.4	5.3	6.1	4.4	5.0	2.9	2.9	2.1
年代別	20歳代以下 (n=138)	13.0	5.8	14.5	8.0	10.9	12.3	10.9	11.6	8.7	9.4	8.7	8.0	9.4	13.8	10.9	12.3	15.2	10.9	18.1	15.9	12.3	15.9	15.2	13.0	10.1	8.0	10.9
	30歳代 (n=204)	10.8	4.4	6.4	4.9	5.9	7.4	8.8	7.4	6.4	8.8	5.4	4.9	5.9	6.4	6.4	5.9	11.8	10.3	11.8	15.7	8.3	8.8	6.4	8.3	4.4	6.4	4.4
	40歳代 (n=187)	6.4	5.3	5.9	5.9	4.8	7.0	7.0	6.4	3.7	4.8	4.3	5.3	5.9	7.5	5.3	6.4	5.9	6.4	8.0	6.4	4.3	6.4	3.7	6.4	4.3	3.2	3.2
	50歳代 (n=200)	9.5	6.0	7.5	6.5	6.5	6.0	8.5	5.5	6.5	6.0	5.0	7.5	7.0	7.0	6.5	5.0	8.5	6.0	11.5	9.5	6.0	8.0	5.0	4.5	5.0	5.5	5.0
	60歳代 (n=161)	9.3	6.8	8.1	4.3	5.0	6.2	2.5	5.6	6.2	4.3	2.5	3.7	3.1	6.2	3.1	5.6	6.2	4.3	8.7	11.2	7.5	6.8	3.7	3.7	1.9	2.5	1.2
	70歳代以上 (n=203)	3.9	1.0	1.5	2.0	1.5	0.0	0.0	3.0	3.4	3.4	0.0	2.0	1.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.0	4.4	8.9	3.0	3.0	0.0	1.0	0.5	1.0	0.0

※上記表は「非常に満足している」の割合を示したものである。

「まあ満足している」の割合を性別で見ると、『⑨防犯』、『⑭道路・交通』、『⑮区財政の健全化』は女性に比べ男性でやや高くなっている。

年代別で見ると、『①平和』、『③人権』、『④男女共同参画』、『⑤情報化（ICT）の推進』、『⑥産業振興』、『⑬健康推進』、『⑭文化・スポーツ』、『⑯ごみ・リサイクル』は50歳代で、『②国際化』は40歳代で、『⑨防犯』、『⑩地域・自治活動支援』、『⑫学校教育』、『⑲住宅・まちづくり』、『⑳道路・交通』、『㉑区財政の健全化』、『㉒ユニバーサルデザイン』は20歳代以下で、それぞれやや高くなっている。

		① 平和	② 国際化	③ 人権	④ 男女共同参画	⑤ 情報化（ICT）の推進	⑥ 産業振興	⑦ 観光	⑧ 防災	⑨ 防犯	⑩ 地域・自治活動支援	⑪ 消費者問題	⑫ 学校教育	⑬ 子育て支援	⑭ 高齢者福祉	⑮ 障害者福祉	⑯ 健康推進	⑰ 文化・スポーツ	⑱ 低所得者支援（生活支援）	⑲ みどり・公園	⑳ ごみ・リサイクル	㉑ 公衆衛生	㉒ 駅前などの重点的まちづくり	㉓ 住宅・まちづくり	㉔ 道路・交通	㉕ 区財政の健全化	㉖ ユニバーサルデザイン	㉗ その他
全体 (n=1,105)		66.7	57.5	68.9	66.5	58.6	58.9	54.5	57.6	50.5	61.1	55.6	63.0	60.6	56.3	58.1	60.9	60.7	53.8	51.8	58.7	53.1	49.4	54.1	44.8	53.6	58.6	34.6
性別	男性 (n=562)	67.1	57.5	69.4	67.6	60.3	60.5	54.6	58.7	54.8	62.6	57.1	63.7	63.0	56.2	57.7	63.0	62.3	55.2	52.1	58.2	55.3	48.9	53.4	47.5	56.9	60.7	36.1
	女性 (n=524)	67.4	58.8	69.7	66.8	57.8	58.2	55.0	57.3	46.6	60.5	54.8	63.2	59.2	57.3	59.4	59.5	60.1	53.2	52.5	60.3	51.5	50.8	55.9	42.4	50.4	57.3	33.4
年代別	20歳代以下 (n=138)	66.7	58.7	64.5	65.2	62.3	58.7	55.8	64.5	58.0	68.1	59.4	68.1	61.6	58.7	55.1	62.3	59.4	51.4	48.6	54.3	47.1	52.2	60.9	52.9	60.1	65.9	50.0
	30歳代 (n=204)	65.7	60.3	75.0	70.6	59.8	63.7	61.8	66.7	50.0	65.2	60.3	63.7	58.3	66.2	63.7	63.7	60.8	61.8	52.5	56.9	51.0	52.5	58.3	48.5	58.8	63.2	46.6
	40歳代 (n=187)	71.1	62.6	72.7	72.7	59.4	63.6	60.4	56.7	52.4	63.6	57.8	67.4	62.6	63.6	64.7	61.5	62.6	57.8	52.4	61.5	54.5	52.4	57.2	43.3	54.0	63.1	47.6
	50歳代 (n=200)	73.0	60.5	75.5	73.5	64.0	64.5	56.0	58.0	47.0	63.5	58.5	64.5	66.5	59.5	64.5	68.5	68.0	60.5	55.5	66.0	57.0	47.5	56.5	40.0	54.5	64.0	35.0
	60歳代 (n=161)	65.8	54.7	67.1	66.5	60.9	55.9	54.0	50.9	49.7	59.6	52.2	62.1	66.5	47.8	57.8	60.2	58.4	52.2	53.4	58.4	57.8	49.7	52.8	45.3	52.2	57.8	23.6
	70歳代以上 (n=203)	61.6	51.7	60.6	54.7	50.2	50.2	42.9	52.7	51.2	52.2	48.8	57.1	53.2	44.8	45.8	53.2	58.1	41.4	50.2	56.7	53.2	46.3	44.3	43.8	46.3	43.8	10.3

※上記表は「まあ満足している」の割合を示したものである。

「やや不満である」の割合を性別で見ると、『⑨防犯』、『⑭道路・交通』、『⑮区財政の健全化』は男性に比べ女性でやや高くなっている。

年代別で見ると、『⑧防災』は60歳代で、『⑨防犯』、『⑭道路・交通』は50歳代で、『⑫学校教育』、『⑬子育て支援』は30歳代で、『⑳ごみ・リサイクル』、『㉑公衆衛生』は40歳代で、それぞれやや高くなっている。

	① 平和	② 国際化	③ 人権	④ 男女共同参画	⑤ 情報化（ICT）の推進	⑥ 産業振興	⑦ 観光	⑧ 防災	⑨ 防犯	⑩ 地域・自治活動支援	⑪ 消費者問題	⑫ 学校教育	⑬ 子育て支援	⑭ 高齢者福祉	⑮ 障害者福祉	⑯ 健康推進	⑰ 文化・スポーツ	⑱ 低所得者支援（生活支援）	⑲ みどり・公園	㉑ ごみ・リサイクル	㉒ 公衆衛生	㉓ 駅前などの重点的まちづくり	㉔ 住宅・まちづくり	㉕ 道路・交通	㉖ 区財政の健全化	㉗ ユニバーサルデザイン	㉘ その他	
全体 (n=1,105)	12.7	20.9	11.0	13.2	20.3	19.4	23.5	23.4	28.5	18.5	24.2	16.3	17.5	20.9	20.4	18.8	16.4	20.5	20.7	17.8	24.3	24.4	24.3	29.4	24.1	19.9	6.1	
性別	男性 (n=562)	11.6	20.6	9.8	12.1	18.7	18.7	22.2	23.0	24.7	18.9	23.8	16.2	16.2	21.2	21.9	17.1	16.2	20.8	19.8	16.5	23.0	22.8	25.3	27.2	21.2	19.4	6.9
	女性 (n=524)	13.9	20.8	11.8	13.9	21.9	20.0	25.4	24.2	33.0	18.1	25.0	16.6	18.9	21.0	19.3	21.2	16.8	20.6	21.8	19.3	26.1	26.5	23.5	32.3	27.9	21.0	5.3
年代別	20歳代以下 (n=138)	8.7	18.1	8.7	12.3	15.2	12.3	21.7	13.8	19.6	13.0	20.3	12.3	15.2	13.8	21.7	14.5	13.0	21.0	18.8	18.8	26.1	18.1	11.6	17.4	15.9	12.3	7.2
	30歳代 (n=204)	16.2	25.5	12.7	16.7	23.5	19.6	20.1	20.1	31.9	17.6	25.0	22.5	23.0	19.1	20.1	21.6	17.2	15.7	21.6	20.1	25.5	24.0	22.5	26.0	24.0	22.1	8.8
	40歳代 (n=187)	13.4	17.6	11.2	11.2	24.1	19.8	21.4	26.2	29.9	19.3	25.1	15.5	18.7	17.6	18.7	20.9	20.9	19.3	24.6	23.5	29.9	27.8	27.8	33.2	26.2	20.9	7.5
	50歳代 (n=200)	11.5	21.5	9.0	11.0	20.5	19.5	26.0	27.0	35.0	20.0	25.0	16.5	15.5	20.0	18.5	17.5	14.0	21.5	20.0	14.0	25.0	29.0	27.0	39.0	27.5	19.5	6.5
	60歳代 (n=161)	13.0	20.5	10.6	11.8	18.0	19.9	24.2	28.6	28.6	20.5	26.7	15.5	13.7	26.1	20.5	19.9	19.3	21.7	21.7	18.0	20.5	23.6	26.7	29.8	27.3	20.5	3.1
	70歳代以上 (n=203)	12.8	21.7	13.3	15.8	19.2	23.2	27.6	23.6	24.1	19.2	23.6	14.8	18.2	27.6	23.2	18.7	14.8	25.1	18.7	14.3	20.2	22.7	27.6	29.6	23.2	22.2	3.4

※上記表は「やや不満である」の割合を示したものである。

「非常に不満である」の割合を性別、年代別で見ると、特徴的な差はみられない。

	① 平和	② 国際化	③ 人権	④ 男女共同参画	⑤ 情報化（ICT）の推進	⑥ 産業振興	⑦ 観光	⑧ 防災	⑨ 防犯	⑩ 地域・自治活動支援	⑪ 消費者問題	⑫ 学校教育	⑬ 子育て支援	⑭ 高齢者福祉	⑮ 障害者福祉	⑯ 健康推進	⑰ 文化・スポーツ	⑱ 低所得者支援（生活援護）	⑲ みどり・公園	⑳ ごみ・リサイクル	㉑ 公衆衛生	㉒ 駅前などの重点的まちづくり	㉓ 住宅・まちづくり	㉔ 道路・交通	㉕ 区財政の健全化	㉖ コニバーサルデザイン	㉗ その他	
全体 (n=1,105)	2.5	6.1	2.4	2.7	3.8	3.4	4.3	3.1	5.4	2.8	3.8	2.7	3.6	4.1	3.1	2.3	3.2	5.2	7.2	3.3	5.6	8.1	5.0	10.0	5.6	3.3	3.4	
性別	男性 (n=562)	3.2	6.6	3.0	3.6	4.8	3.9	5.7	3.2	5.7	3.0	3.4	3.2	4.4	4.3	3.2	3.2	3.6	5.9	8.5	4.6	5.7	10.3	6.4	11.2	6.4	3.4	5.0
	女性 (n=524)	1.9	5.7	1.7	1.9	2.9	3.1	2.9	2.9	5.2	2.5	4.2	2.3	2.9	3.8	2.9	1.1	2.7	4.6	5.7	1.7	5.5	5.5	3.4	8.8	4.8	3.1	1.9
年代別	20歳代以下 (n=138)	4.3	10.1	5.1	5.1	4.3	8.0	3.6	2.2	6.5	2.2	2.9	4.3	5.8	2.9	1.4	2.2	3.6	6.5	8.0	4.3	6.5	6.5	5.1	8.7	6.5	5.1	5.1
	30歳代 (n=204)	3.4	5.9	2.0	3.4	5.9	3.4	4.4	1.5	7.4	2.9	3.9	2.9	6.9	1.5	2.5	2.5	4.4	4.4	9.3	2.5	9.3	9.3	6.9	12.7	5.4	2.0	2.0
	40歳代 (n=187)	3.2	8.0	2.7	2.1	4.8	2.1	3.7	3.2	6.4	3.7	4.3	2.1	2.7	2.1	2.7	2.1	2.1	7.5	7.5	2.7	5.3	7.5	3.7	10.2	5.9	3.2	4.8
	50歳代 (n=200)	2.0	6.5	3.0	2.5	3.5	4.0	4.5	4.0	6.0	4.5	5.0	4.0	3.5	6.0	3.5	2.0	3.5	3.5	7.5	4.5	6.0	8.5	5.5	10.5	7.0	4.0	4.0
	60歳代 (n=161)	0.6	4.3	0.6	1.2	1.2	2.5	4.3	4.3	4.3	0.0	3.7	1.9	0.6	6.2	3.7	1.9	2.5	5.0	6.2	2.5	2.5	8.1	3.1	9.9	5.0	3.7	3.1
	70歳代以上 (n=203)	2.0	3.0	1.5	2.5	3.0	2.0	5.4	3.4	2.5	3.0	2.5	1.5	2.5	5.9	4.4	2.5	2.5	5.4	5.4	3.4	3.9	8.4	5.4	6.9	3.9	2.5	2.5

※上記表は「非常に不満である」の割合を示したものである。